

令和7年度版

地域生活に関する調査報告書

令和8年3月

杉並区



# 目次

I	調査の概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査の種類・方法・回収状況	1
3.	集計値や図表の表記について	2
II	調査結果	3
1.	18歳以上	3
(1)	回答者について	3
(2)	暮らしと住まいについて	11
(3)	健康・医療について	21
(4)	仕事の状況について	25
(5)	福祉サービスなどについて	32
(6)	情報の入手やコミュニケーションについて	47
(7)	社会参加について	63
(8)	災害時（地震や水害など）の備えについて	73
(9)	差別解消と共生社会の実現に向けて	76
(10)	エネルギー機器について	83
(11)	区の施策について	88
(12)	主な介護者の状況	93
2.	18歳未満	103
(1)	お子さんについて	103
(2)	ご家族について	116
(3)	療育・教育について	130
(4)	福祉サービスなどについて	141
(5)	情報の入手やコミュニケーションについて	154
(6)	社会参加について	166
(7)	災害時の備えについて	173
(8)	差別解消と共生社会の実現に向けて	176
(9)	エネルギー機器について	183
(10)	区の施策について	186
(11)	お子さんへの質問	191

3. 事業所.....	197
(1) 事業運営について .....	197
(2) 人材確保・育成・定着の取組について.....	207
(3) サービス提供について .....	233
(4) 高次脳機能障害・高齢障害者の支援について.....	252
(5) 虐待防止について .....	263
(6) 共生社会の実現に向けて.....	269
(7) 災害時の対策について .....	282
(8) 医療的ケア児・者について.....	285
(9) 「すぎなみ福祉サーチ」について.....	289
(10) 障害者施策について .....	293
4. 従事者.....	301
(1) 基本事項について .....	301
(2) 勤務状況について .....	307
(3) 仕事に対する考え方などについて.....	316
(4) 人材確保・育成の取組について.....	334
(5) サービスの提供について.....	354
(6) 虐待防止について .....	362
(7) 共生社会の実現に向けて.....	367
(8) 「すぎなみ福祉サーチ」について.....	377
(9) サービス・施策について.....	379
Ⅲ 資料.....	385
1. 18歳以上調査票 .....	385
2. 18歳未満調査票 .....	399
3. サービス事業所調査票.....	412
4. 従事者調査票.....	420

# I 調査の概要

## 1. 調査目的

障害者計画、第8期障害福祉計画（令和9～11年度）及び第4期障害児福祉計画（令和9～11年度）を包括した杉並区障害者施策推進計画の策定に向けて障害者の方の生活実態やサービスの利用意向等を把握するとともに、サービスを提供する事業所及び従事者に対して運営状況やサービスの提供等に係る意見や要望を把握し、区の施策に反映するため、アンケート調査を実施しました。

## 2. 調査の種類・方法・回収状況

### (1) 障害者調査

○対象者：令和7年10月1日現在の各手帳保持者等区の台帳から対象者を無作為抽出

調査	種別		配付数		有効回収数	有効回答率
18歳以上	身体障害者手帳 所持者	肢体不自由	3,045	4,938	2,382	48.2%
		内部障害				
		聴覚・平衡機能障害				
		音声・言語・そしゃく機能障害				
		視覚障害	320			
	愛の手帳所持者	406				
	重度重複（※）	146				
	精神保健福祉手帳所持者	730				
難病	291					
18歳未満	身体障害者手帳 所持者	肢体不自由	288	1,004	589	58.7%
		内部障害				
		聴覚・平衡機能障害				
		音声・言語・そしゃく機能障害				
		視覚障害	24			
	愛の手帳所持者	178				
	児童通所支援受給者証所持者	370				
	学齢期発達支援事業決定通知書発送先	144				

※重度重複は、重度の身体障害と重度の知的障害が重複している方です。

○調査方法：郵送による配付・回収（インターネット回答を併用）

○調査期間：令和7（2025）年11月4日（火）～12月1日（月）

### (2) 事業所調査

○対象者：事業所調査…都・区に登録している事業所（単位／事業所番号ごと）

従事者調査…対象の事業所に勤務している従事者



調査	対象	配付数	有効回収数	有効回答率
事業所	都・区に登録している事業所	324件	155件	47.8%
従事者	対象の事業所に勤務している従事者	—※	794件	—

※従事者調査については、対象事業所を通して依頼したため、配付数の算出は不可

○調査方法：インターネット回答

○調査期間：令和7（2025）年11月4日（火）～12月1日（月）

### 3. 集計値や図表の表記について

- ・集計した数値(%)は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。  
そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値(%)をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- ・回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- ・集計表は「その他」「無回答」を除いた上位2位まで着色しています。(1位：濃グレー 、2位：薄グレー )
- ・クロス集計において母数が10件未満のものは、分析から除外する場合があります。
- ・全体集計では全ての回答者を含めていますが、属性別クロス集計では、その属性項目に無回答の方を除いて集計しているため、各属性の合計と全体の回答者数が一致しない場合があります。
- ・各サービスは、クロス集計において以下のとおり分類しています。

区分	サービス名
訪問系	訪問系 《居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・重度障害者等包括支援・移動支援・訪問看護》
居住系	入所施設系 《施設入所支援》
	居住系 《共同生活援助(グループホーム)・自立生活援助》
	短期入所系 《短期入所(ショートステイ)日帰りショート(日中一時支援)》
日中活動系	日中活動系 《療養介護・生活介護》
	訓練・就労系 《自立訓練(機能訓練)・自立訓練(生活訓練)・就労移行支援・就労継続支援(A型)・就労継続支援(B型)・就労定着支援・就労選択支援》
障害児系	障害児系 《児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援・学齢期発達支援》
相談支援系	相談支援系 《計画相談支援・地域移行支援・地域定着支援・障害児相談支援》

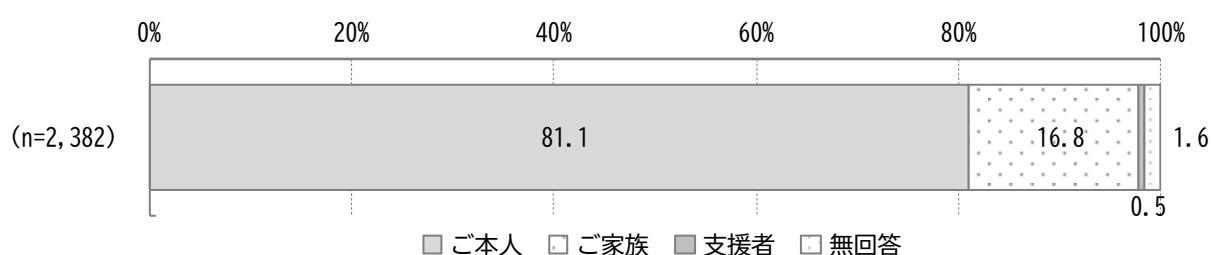
## II 調査結果

### 1. 18 歳以上

#### (1) 回答者について

問1 このアンケートにお答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つ)

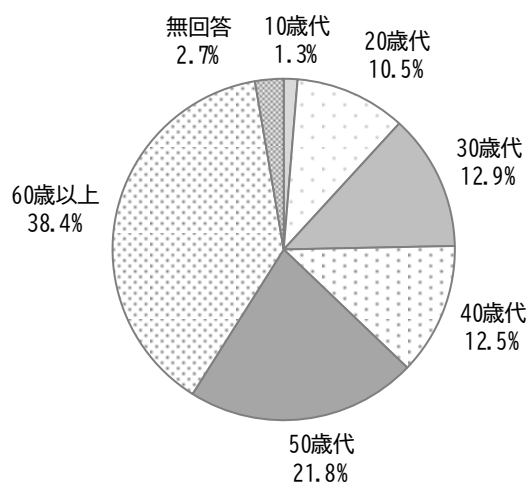
「ご本人」が81.1%と最も多く、次いで「ご家族」が16.8%、「支援者」が0.5%の順となっています。



問2 今、なん才ですか。(年齢を記入)

「60歳以上」が38.4%と最も多く、次いで「50歳代」が21.8%、「30歳代」が12.9%、「40歳代」が12.5%の順となっています。

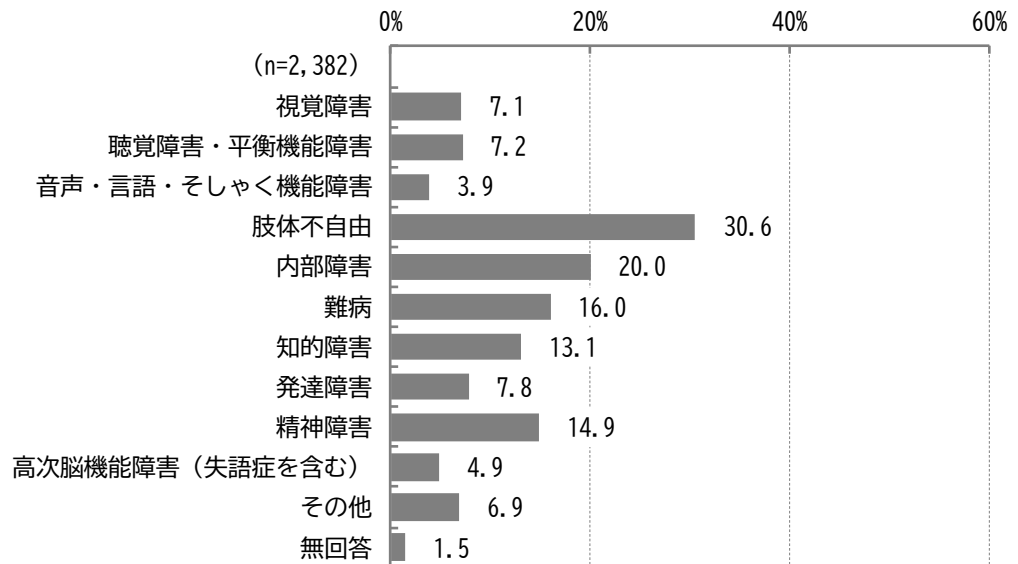
(n=2,382)



問3 あなたの障害や病気はなんですか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が30.6%と最も多く、次いで「内部障害」が20.0%、「難病」が16.0%、「精神障害」が14.9%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代と20歳代は「知的障害」、30歳代は「精神障害」、40歳以上は「肢体不自由」が最も多くなっています。



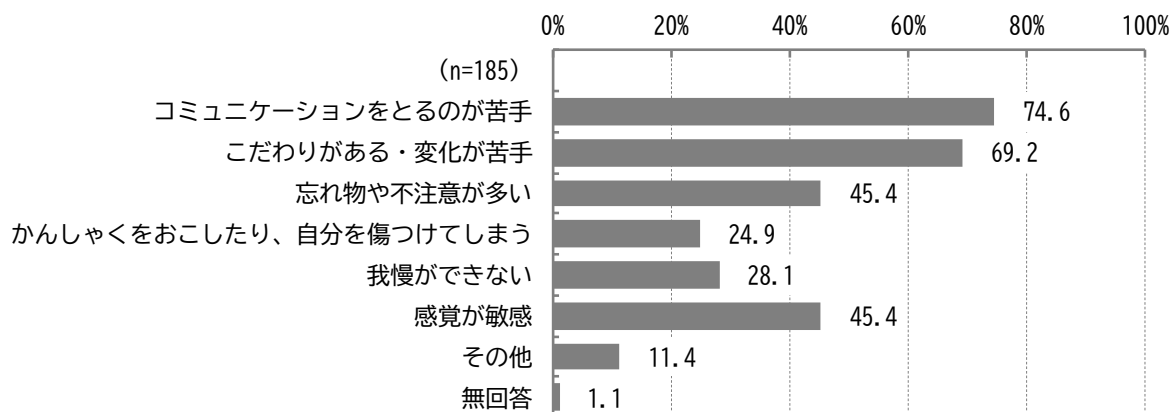
【年齢別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	視覚障害	聴覚障害・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	難病	知的障害	発達障害	精神障害	高次脳機能障害 (失語症を含む)	その他	無回答
全体	2,382	7.1	7.2	3.9	30.6	20.0	16.0	13.1	7.8	14.9	4.9	6.0	1.1
10歳代	30	3.3	3.3	3.3	40.0	13.3	16.7	53.3	36.7	3.3	3.3	10.0	-
20歳代	249	4.4	8.8	0.8	24.1	8.8	7.2	40.2	27.3	20.5	1.6	2.0	0.4
30歳代	307	7.5	9.8	2.3	22.1	10.1	9.1	27.7	19.5	28.3	2.0	2.6	0.3
40歳代	298	8.4	5.0	2.3	33.9	21.8	16.4	15.1	7.4	15.8	6.0	5.7	1.7
50歳代	519	6.6	5.2	3.1	35.3	26.8	17.5	7.3	2.1	14.8	6.0	6.2	0.4
60歳以上	914	8.1	8.3	6.1	30.5	22.5	20.2	2.5	0.8	9.3	5.7	10.5	1.8

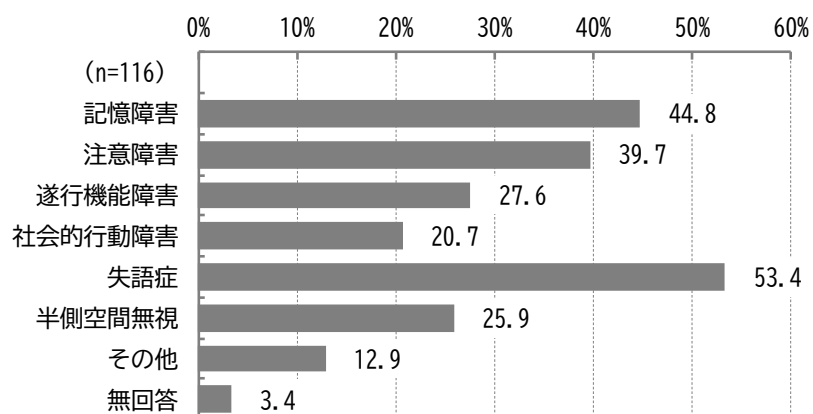
問4-1 (問3で、「8. 発達障害」に○をつけた人)  
 どのような症状ですか。(○はいくつでも)

「コミュニケーションをとるのが苦手」が74.6%と最も多く、次いで「こだわりがある・変化が苦手」が69.2%、「忘れ物や不注意が多い」と「感覚が敏感」が45.4%の順となっています。



問4-2 (問3で、「10. 高次脳機能障害 (失語症を含む)」に○をつけた人)  
 どのような症状ですか。(○はいくつでも)

「失語症」が53.4%と最も多く、次いで「記憶障害」が44.8%、「注意障害」が39.7%、「遂行機能障害」が27.6%の順となっています。

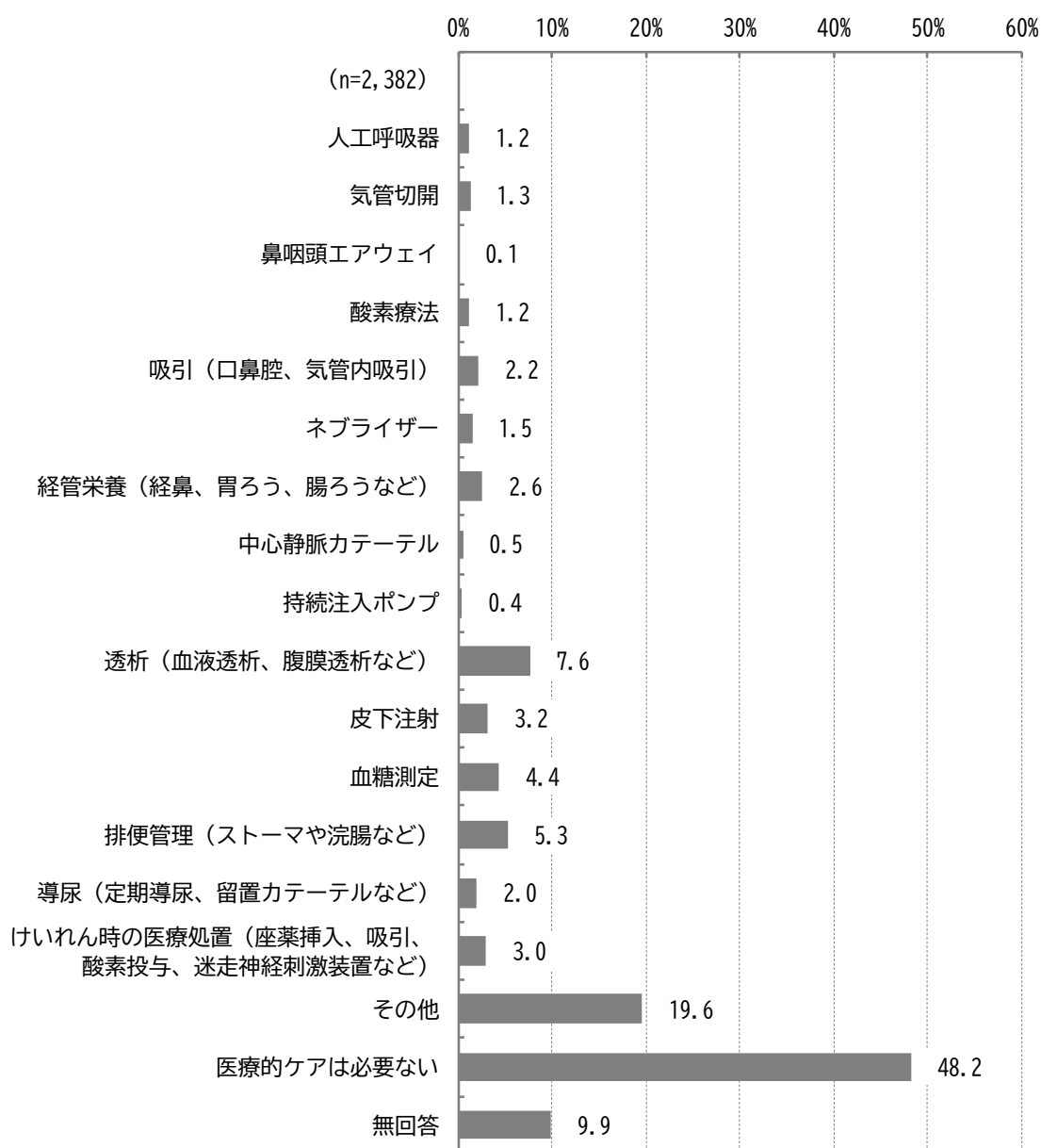


問5 あなたに必要な医療的ケアはなんですか。(〇はいくつでも)

医療的ケアの必要な人の中では、「透析（血液透析、腹膜透析など）」が7.6%と最も多く、次いで「排便管理（ストーマや浣腸など）」が5.3%、「血糖測定」が4.4%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代から30歳代は「けいれん時の医療処置」、40歳以上は「透析」が多くなっています。

障害別にみると、内部障害は「透析」が最も多く、重度障害は「けいれん時の医療処置」、音声・言語・そしゃく機能障害は「吸引」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

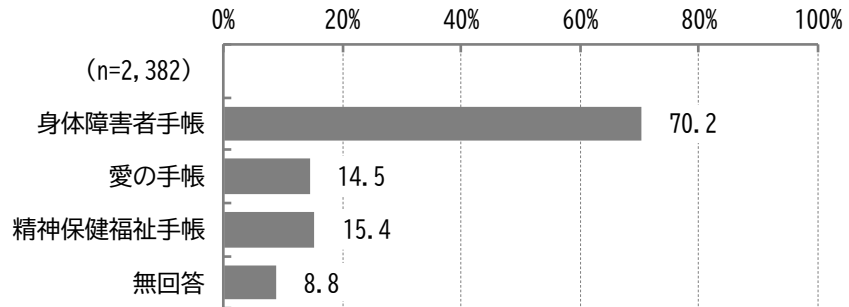
区分		回答者数 (件)	人工呼吸器	気管切開	鼻咽頭 エアウェイ	酸素療法	吸引	ネブライザー	経管栄養	中心静脈 カテーテル	持続注入ポンプ
全体		2382	1.2	1.3	0.1	1.2	2.2	1.5	2.6	0.5	0.4
年齢別	10歳代	30	3.3	3.3	-	3.3	3.3	3.3	6.7	-	-
	20歳代	249	2.8	1.2	-	3.6	2.8	2.4	3.6	1.6	1.2
	30歳代	307	1.3	2.3	-	0.7	2.9	1.6	3.6	0.3	0.3
	40歳代	298	0.7	0.7	0.3	0.7	1.7	1.7	2.0	-	-
	50歳代	519	0.6	0.8	-	0.4	0.8	0.8	2.3	0.6	0.6
	60歳以上	914	0.8	1.2	0.1	1.2	2.3	1.1	1.6	0.1	0.3
障害種別	視覚障害	170	-	1.2	-	1.2	2.4	1.2	3.5	-	0.6
	聴覚障害・平衡機能障害	172	0.6	1.2	-	1.2	1.2	1.7	2.3	-	0.6
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	2.2	14.0	1.1	1.1	22.6	11.8	19.4	-	2.2
	肢体不自由	730	2.5	2.9	0.3	1.6	5.1	3.0	6.3	0.1	1.0
	内部障害	476	0.8	0.4	0.2	2.9	0.6	1.7	1.3	1.7	0.6
	難病	382	3.7	3.4	-	3.1	4.2	2.4	6.3	0.8	1.6
	知的障害	312	1.6	1.9	0.6	1.3	4.5	2.9	4.2	0.3	0.3
	重度重複	66	4.5	7.6	1.5	6.1	16.7	7.6	19.7	-	3.0
	発達障害	185	-	0.5	-	-	0.5	1.6	1.1	1.1	-
	精神障害	355	-	0.3	-	-	0.6	0.6	1.1	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	-	1.7	-	-	4.3	2.6	3.4	-	-
	その他	164	-	0.6	-	2.4	2.4	2.4	1.2	-	-
	区分		透析	皮下注射	血糖測定	排便管理	導尿	けいれん時の 医療処置	その他	医療的ケアは 必要ない	無回答
全体		7.6	3.2	4.4	5.3	2.0	3.0	19.6	48.2	9.9	
年齢別	10歳代	-	-	-	3.3	6.7	13.3	13.3	60.0	13.3	
	20歳代	0.4	1.2	0.8	3.6	2.0	6.0	14.5	64.3	7.2	
	30歳代	0.7	3.3	1.0	3.9	1.0	4.6	17.9	61.2	6.8	
	40歳代	6.4	5.4	2.3	4.4	0.7	3.4	18.5	52.7	7.4	
	50歳代	11.6	3.7	4.2	6.2	2.1	1.9	23.3	42.8	9.1	
	60歳以上	10.1	3.1	7.0	6.2	2.3	1.4	20.8	41.1	12.4	
障害種別	視覚障害	3.5	4.7	7.1	2.4	0.6	1.2	12.9	61.8	9.4	
	聴覚障害・平衡機能障害	2.3	1.7	4.1	2.3	1.2	1.2	18.6	57.0	14.0	
	音声・言語・そしゃく機能障害	3.2	2.2	7.5	11.8	2.2	4.3	10.8	38.7	7.5	
	肢体不自由	2.1	3.3	4.4	7.5	4.0	5.6	16.8	52.7	8.4	
	内部障害	26.1	3.6	6.1	13.4	2.5	0.4	23.9	25.4	4.8	
	難病	11.8	9.7	3.4	6.8	2.4	2.4	23.8	36.4	8.4	
	知的障害	0.6	1.6	1.6	4.8	1.6	12.2	12.5	52.9	14.7	
	重度重複	-	1.5	1.5	15.2	3.0	24.2	4.5	43.9	7.6	
	発達障害	0.5	1.6	3.2	0.5	-	3.2	18.4	58.4	14.6	
	精神障害	0.6	2.5	3.9	1.4	1.4	2.5	28.2	52.7	10.1	
	高次脳機能障害（失語症を含む）	3.4	0.9	6.0	2.6	-	9.5	18.1	45.7	12.9	
	その他	12.2	7.9	12.2	6.1	2.4	6.1	30.5	27.4	8.5	

※「医療的ケアは必要ない」と「無回答」を除いた上位2位まで着色しています。

問6 あなたの手帳の等級・等度はなんですか。(持っている手帳すべて)

「身体障害者手帳」が70.2%と最も多く、次いで「精神保健福祉手帳」が15.4%、「愛の手帳」が14.5%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代と20歳代は「愛の手帳」、30歳以上は「身体障害者手帳」が最も多くなっています。



【年齢別】

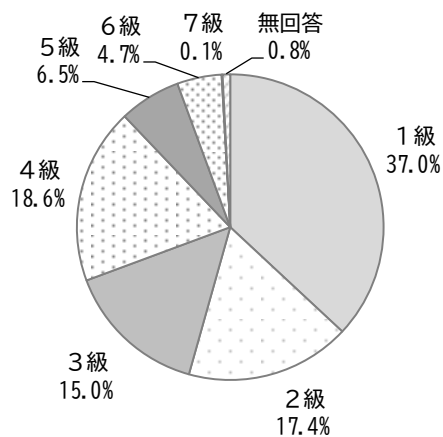
単位：%

区分	回答者数 (件)	身体障害者手帳	愛の手帳	精神保健福祉手帳	無回答
全体	2382	70.2	14.5	15.4	8.8
10歳代	30	60.0	66.7	6.7	-
20歳代	249	45.4	45.8	26.5	3.6
30歳代	307	48.5	30.9	31.6	3.9
40歳代	298	70.5	14.8	15.8	10.7
50歳代	519	77.5	7.7	13.9	7.7
60歳以上	914	79.9	2.6	8.1	12.0

### ①身体障害者手帳の等級

「1級」が37.0%と最も多く、次いで「4級」が18.6%、「2級」が17.4%、「3級」が15.0%の順となっています。

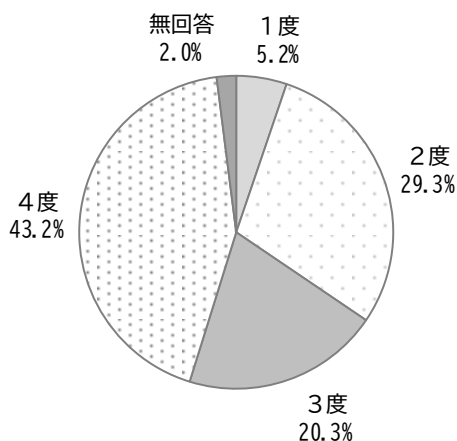
(n=1,671)



### ②愛の手帳の等度

「4度」が43.2%と最も多く、次いで「2度」が29.3%、「3度」が20.3%の順となっています。

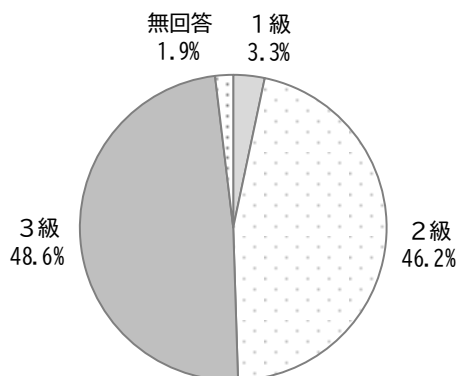
(n=345)



### ③精神保健福祉手帳の等級

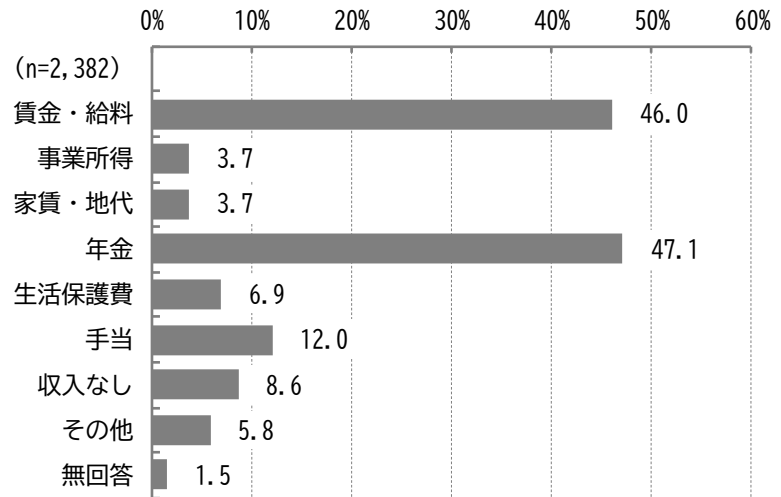
「3級」が48.6%と最も多く、次いで「2級」が46.2%、「1級」が3.3%の順となっています。

(n=368)



問7 令和6年1月から12月の間のあなたの収入はなんですか。(○はいくつでも)

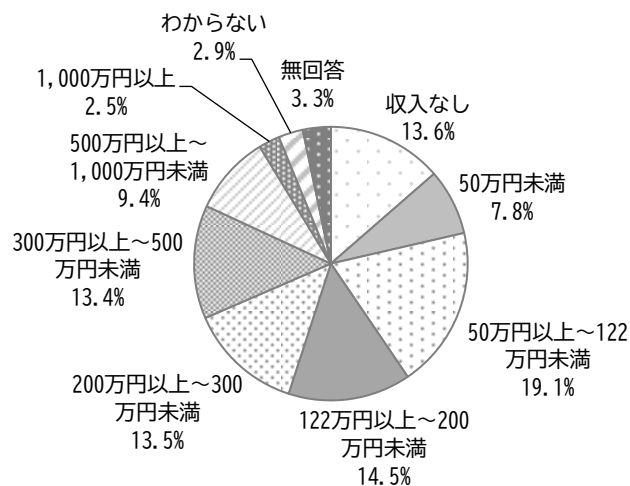
「年金」が47.1%と最も多く、次いで「賃金・給料」が46.0%、「手当」が12.0%、「収入なし」が8.6%の順となっています。



問8 あなたが、令和6年1月～12月の間にもらった収入はどのくらいですか。生活保護費は入れないでください。(○は1つ)

「50万円以上～122万円未満」が19.1%と最も多く、次いで「122万円以上～200万円未満」が14.5%、「収入なし」が13.6%、「200万円以上～300万円未満」が13.5%の順となっています。

(n=2,382)



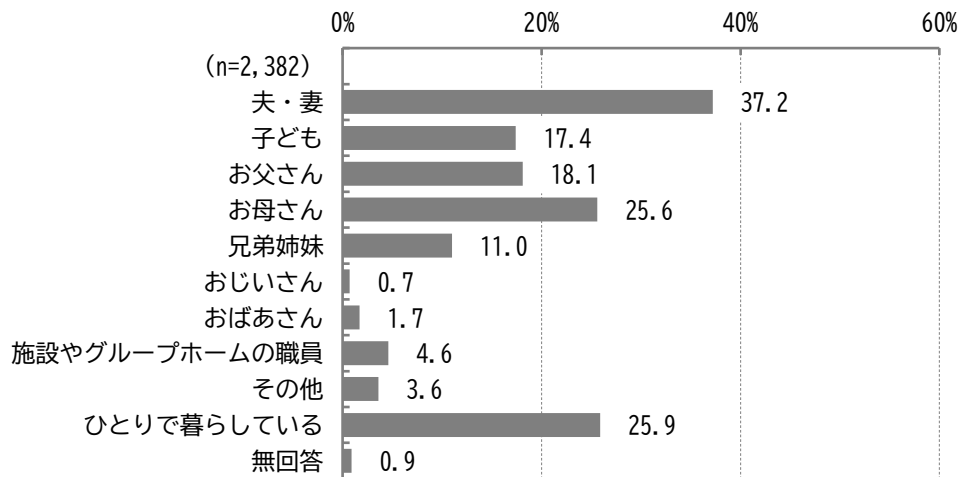
## (2) 暮らしと住まいについて

問9 今、だれと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「夫・妻」が37.2%と最も多く、次いで「ひとりで暮らしている」が25.9%、「お母さん」が25.6%、「お父さん」が18.1%、「子ども」が17.4%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代から30歳代は「お母さん」、40歳以上は「夫・妻」が最も多くなっています。

障害別にみると、身体障害と難病、高次脳機能障害（失語症を含む）は「夫・妻」、知的障害と重度重複、発達障害は「お母さん」、精神障害は「ひとりで暮らしている」が最も多くなっています。



### 【年齢別・障害種別】

単位：%

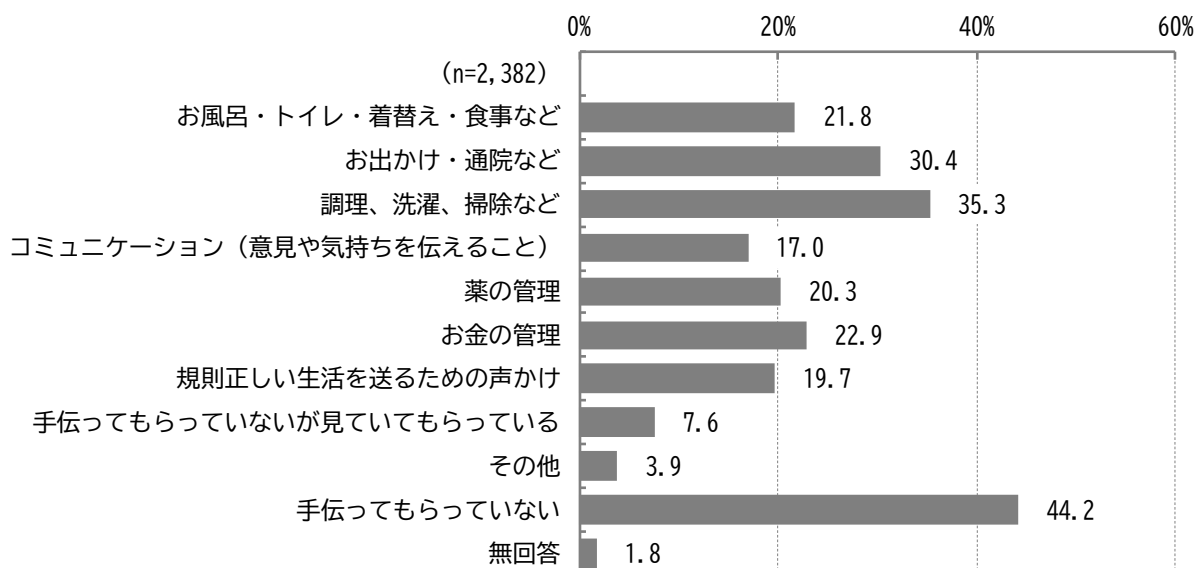
区分		回答者数 (件)	夫・妻	子ども	お父さん	お母さん	兄弟姉妹	おじいさん	おばあさん	施設やグループ ホームの職員	その他	ひとりで暮らして いる	無回答
全体		2382	37.2	17.4	18.1	25.6	11.0	0.7	1.7	4.6	3.6	25.9	0.9
年齢別	10歳代	30	-	-	76.7	96.7	50.0	-	6.7	3.3	-	-	-
	20歳代	249	4.4	1.2	59.0	70.7	38.2	3.6	6.8	7.2	5.2	12.4	-
	30歳代	307	17.9	9.4	42.0	48.5	14.3	1.3	4.9	7.8	2.6	24.4	-
	40歳代	298	31.5	20.8	21.1	28.9	8.7	0.3	0.3	4.4	2.7	29.9	1.7
	50歳代	519	39.1	23.3	9.1	19.7	7.9	0.2	0.6	3.7	4.8	29.7	0.2
	60歳以上	914	55.6	21.3	0.8	4.8	3.5	-	0.1	3.3	3.2	27.4	1.5
障害種別	視覚障害	170	38.8	21.8	12.4	18.2	7.1	-	0.6	4.1	4.1	29.4	2.4
	聴覚障害・平衡機能障害	172	37.2	16.9	13.4	16.9	7.6	-	1.2	4.1	4.7	32.0	1.2
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	43.0	15.1	11.8	21.5	8.6	-	1.1	7.5	5.4	22.6	1.1
	肢体不自由	730	39.0	18.4	20.4	28.9	12.2	0.5	1.6	5.1	3.3	21.6	1.0
	内部障害	476	49.2	22.3	9.5	16.4	6.7	0.4	0.6	1.9	2.1	27.3	0.8
	難病	382	49.5	24.3	9.9	14.1	7.1	-	0.3	3.1	2.4	27.2	0.8
	知的障害	312	0.6	0.6	58.3	72.4	33.0	0.6	5.1	22.4	2.9	6.1	0.3
	重度重複	66	1.5	-	72.7	81.8	48.5	-	3.0	18.2	1.5	-	1.5
	発達障害	185	5.4	1.6	50.3	61.1	28.1	4.9	7.0	6.5	4.3	21.6	-
	精神障害	355	18.9	6.8	18.3	29.0	10.1	0.8	0.8	5.1	5.1	38.3	0.3
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	46.6	21.6	12.1	23.3	11.2	-	0.9	8.6	3.4	16.4	1.7
その他	164	39.6	18.9	10.4	18.3	4.3	1.2	1.8	3.7	2.4	28.7	2.4	

問 10-1 毎日の生活の中で、手伝ってもらっていることはどれですか。家族だけでなく、近所の人やヘルパーに手伝ってもらっていることも含みます。(〇はいくつでも)

「手伝ってもらっていない」が44.2%と最も多く、次いで「調理、洗濯、掃除など」が35.3%、「お出かけ・通院など」が30.4%、「お金の管理」が22.9%、「お風呂・トイレ・着替え・食事など」が21.8%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代は「お出かけ・通院など」、20歳代と30歳代は「調理、洗濯、掃除など」、40歳以上は「手伝ってもらっていない」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と重度重複は「お出かけ・通院など」、音声・言語・そしゃく機能障害は「お風呂・トイレ・着替え・食事など」と「お出かけ・通院など」、肢体不自由と発達障害、高次脳機能障害（失語症を含む）は「調理、洗濯、掃除など」、知的障害は「お金の管理」、それ以外は「手伝ってもらっていない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数(件)	お風呂・トイレ・着替え・食事など	お出かけ・通院など	調理、洗濯、掃除など	コミュニケーション(意見や気持ちを伝えること)	薬の管理	お金の管理	規則正しい生活を送るための声かけ	手伝ってもらっていないが見えてもらっている	その他	手伝ってもらっていない	無回答
全体		2382	21.8	30.4	35.3	17.0	20.3	22.9	19.7	7.6	3.9	44.2	1.8
年齢別	10歳代	30	53.3	76.7	73.3	63.3	73.3	70.0	66.7	3.3	-	6.7	-
	20歳代	249	34.5	48.2	53.0	37.8	39.0	48.2	44.2	11.6	4.0	24.5	-
	30歳代	307	24.8	37.5	45.0	28.3	28.0	35.2	33.6	8.1	2.6	37.5	0.7
	40歳代	298	18.1	25.2	33.6	18.1	16.4	21.5	20.8	6.7	3.0	48.7	3.0
	50歳代	519	17.9	22.5	28.3	9.1	13.3	14.3	10.8	6.7	4.8	52.0	1.5
	60歳以上	914	19.0	27.7	30.5	9.6	15.5	15.5	11.3	7.5	4.2	47.7	2.3
障害種別	身体障害	170	18.2	50.0	38.8	11.2	18.8	16.5	11.2	9.4	5.3	31.8	1.2
	聴覚障害・平衡機能障害	172	15.1	20.3	18.6	20.3	10.5	12.2	12.2	10.5	4.7	55.8	2.3
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	48.4	48.4	46.2	37.6	33.3	37.6	32.3	6.5	5.4	32.3	2.2
	肢体不自由	730	38.9	43.3	48.4	19.3	27.1	27.3	23.7	7.0	4.0	33.8	1.6
	内部障害	476	11.1	16.0	22.5	6.1	9.5	11.6	11.1	6.3	2.9	63.4	1.1
	難病	382	24.1	32.2	35.9	12.3	19.1	17.8	14.9	5.5	2.6	45.5	2.9
	知的障害	312	56.4	74.0	73.1	57.7	68.6	80.4	64.1	11.9	4.5	6.1	1.6
	重度重複	66	90.9	92.4	83.3	87.9	86.4	86.4	81.8	3.0	-	1.5	3.0
	発達障害	185	23.8	37.8	51.9	38.9	36.8	47.6	42.7	9.2	4.9	23.2	2.7
	精神障害	355	15.5	21.4	35.5	19.7	21.4	22.5	25.6	9.9	5.4	36.6	1.4
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	54.3	56.0	62.9	28.4	46.6	48.3	40.5	9.5	2.6	17.2	0.9
	その他	164	16.5	28.7	32.9	15.2	17.1	17.1	13.4	9.1	6.1	51.8	1.2

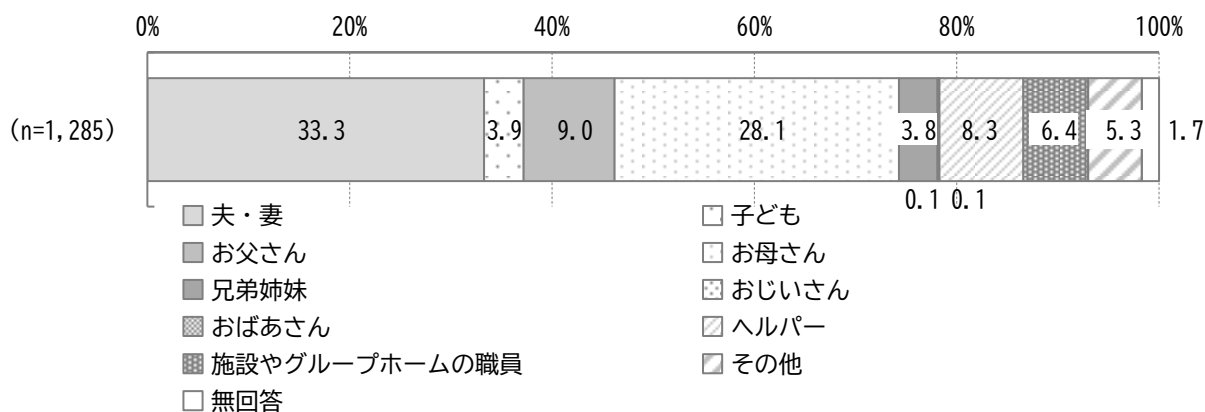
問 10-2 (問 10-1 で 1～9 に ○ をつけた人)

今、主にだれに手伝ってもらっていますか。(○は1つ)

「夫・妻」が 33.3% と最も多く、次いで「お母さん」が 28.1%、「お父さん」が 9.0%、「ヘルパー」が 8.3% の順となっています。

年齢別にみると、10 歳代から 40 歳代は「お母さん」、50 歳以上は「夫・妻」が最も多くなっています。

障害別にみると、知的障害と重度重複、発達障害、精神障害は「お母さん」、それ以外は「夫・妻」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

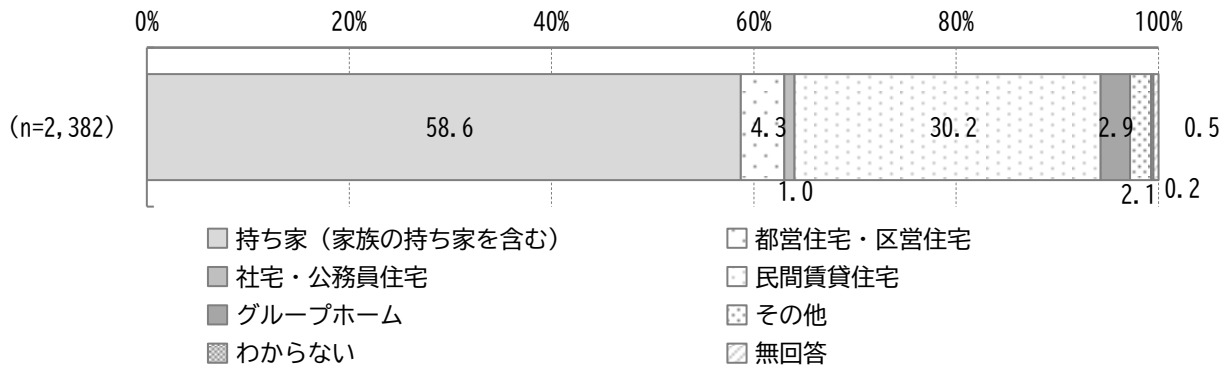
区分		回答者数 (件)	夫・妻	子ども	お父さん	お母さん	兄弟姉妹	おじいさん	おばあさん	ヘルパー	施設やグループホームの職員	その他	無回答
全体		1285	33.3	3.9	9.0	28.1	3.8	0.1	0.1	8.3	6.4	5.3	1.7
年齢別	10歳代	28	-	-	25.0	71.4	-	-	-	3.6	-	-	-
	20歳代	188	2.7	-	19.1	64.4	0.5	0.5	-	2.7	6.9	2.7	0.5
	30歳代	190	12.6	0.5	21.1	44.7	0.5	-	0.5	5.3	8.4	4.7	1.6
	40歳代	144	25.0	3.5	8.3	40.3	2.1	-	-	6.9	6.3	6.3	1.4
	50歳代	241	37.3	3.7	6.6	21.6	5.8	-	-	7.5	6.6	8.3	2.5
	60歳以上	457	58.6	7.2	0.4	1.8	6.3	-	-	12.9	5.7	5.0	2.0
障害種別	身体障害	114	36.0	7.0	5.3	13.2	5.3	-	-	19.3	4.4	7.0	2.6
	聴覚障害・平衡機能障害	72	37.5	6.9	8.3	18.1	6.9	-	-	11.1	1.4	8.3	1.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	61	42.6	1.6	3.3	16.4	3.3	-	-	18.0	8.2	6.6	-
	肢体不自由	471	35.2	3.8	8.9	27.0	3.4	-	-	9.8	6.2	4.5	1.3
	内部障害	169	49.1	5.9	4.7	21.3	3.6	-	-	4.1	3.0	6.5	1.8
	難病	197	55.3	3.0	5.6	12.2	4.1	-	-	9.6	4.1	3.0	3.0
	知的障害	288	1.0	-	20.1	55.2	4.5	-	0.3	2.8	13.9	1.4	0.7
	重度重複	63	1.6	-	19.0	58.7	1.6	-	-	1.6	15.9	-	1.6
	発達障害	137	5.1	-	18.2	59.9	2.2	-	-	4.4	2.9	7.3	-
	精神障害	220	20.0	0.9	6.8	35.5	2.7	0.5	-	10.0	9.5	11.4	2.7
高次脳機能障害 (失語症を含む)	95	46.3	2.1	2.1	16.8	5.3	-	-	8.4	10.5	4.2	4.2	
その他	77	29.9	7.8	7.8	27.3	2.6	-	-	11.7	7.8	5.2	-	

問 11 あなたが今すんでいる家は、どれですか。(○は1つ)

「持ち家（家族の持ち家を含む）」が58.6%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅」が30.2%、「都営住宅・区営住宅」が4.3%、「グループホーム」が2.9%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「持ち家（家族の持ち家を含む）」が最も多くなっています。

障害別にみると、精神障害は「民間賃貸住宅」、それ以外は「持ち家（家族の持ち家を含む）」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

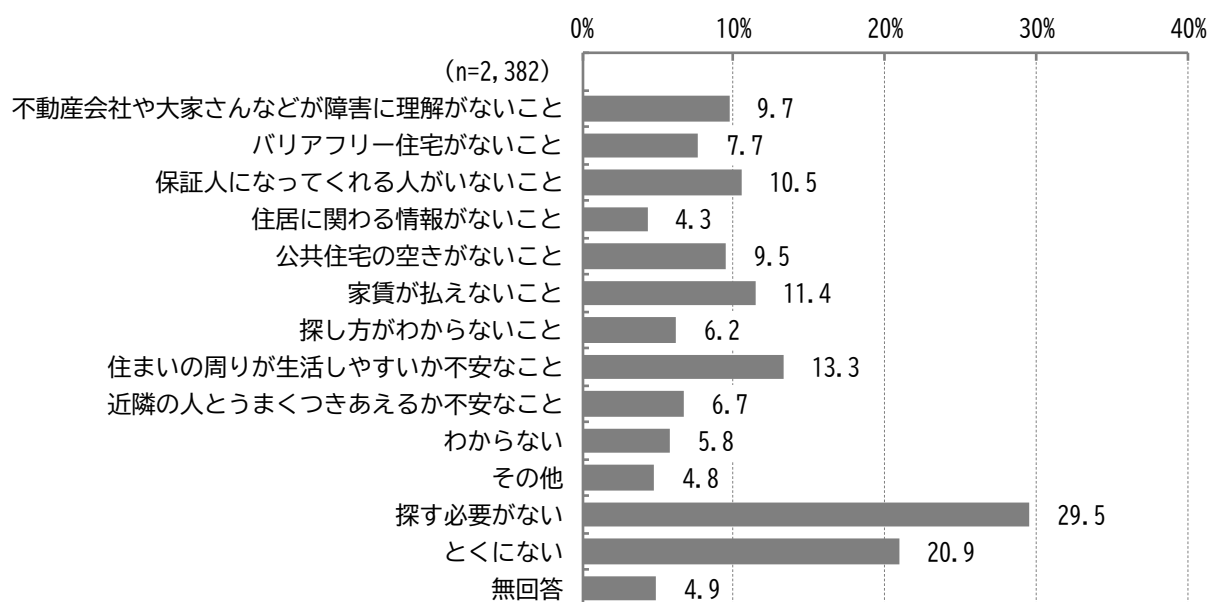
区分	回答者数 (件)	持ち家 (家族の持ち家を含む)	都営住宅・区営住宅	社宅・公務員住宅	民間賃貸住宅	グループホーム	その他	わからない	無回答
全体	2382	58.6	4.3	1.0	30.2	2.9	2.1	0.2	0.5
年齢別	10歳代	30	70.0	10.0	-	20.0	-	-	-
	20歳代	249	56.2	4.0	2.8	28.5	5.6	2.4	0.4
	30歳代	307	49.8	1.3	1.3	40.4	5.9	1.3	-
	40歳代	298	50.3	2.3	1.7	39.9	2.7	1.3	-
	50歳代	519	55.1	5.4	1.2	32.4	2.9	2.1	0.4
	60歳以上	914	67.5	4.7	0.3	23.1	1.2	2.7	-
障害種別	視覚障害	170	57.6	3.5	-	34.7	2.9	0.6	-
	聴覚障害・平衡機能障害	172	50.0	5.8	4.1	36.0	1.7	1.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	64.5	3.2	-	22.6	4.3	5.4	-
	肢体不自由	730	64.8	5.1	0.5	23.6	2.9	2.5	0.1
	内部障害	476	58.2	4.4	1.9	33.0	0.6	1.7	0.2
	難病	382	61.0	3.1	1.0	31.7	1.3	1.0	-
	知的障害	312	61.9	4.8	0.3	11.2	17.6	2.9	-
	重度重複	66	74.2	6.1	-	4.5	12.1	1.5	-
	発達障害	185	57.3	2.7	0.5	33.0	3.2	2.2	0.5
	精神障害	355	41.7	5.9	0.6	44.2	3.1	3.4	0.6
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	116	60.3	5.2	0.9	23.3	1.7	7.8	-
	その他	164	62.2	3.7	-	28.0	2.4	3.0	-

問 12 あなたが家を探すときに、困ることはなんですか。(〇は3つまで)

「探す必要がない」が 29.5%と最も多く、次いで「住まいの周りが生活しやすいか不安なこと」が 13.3%、「家賃が払えないこと」が 11.4%、「保証人になってくれる人がいないこと」が 10.5%、「不動産会社や大家さんなどが障害に理解がないこと」が 9.7%の順となっています。

年齢別にみると、10 歳代は「わからない」、20 歳代は「家賃が払えないこと」、30 歳代は「住まいの周りが生活しやすいか不安なこと」が多くなっています。

障害別にみると、発達障害は「家賃が払えないこと」、精神障害は「保証人になってくれる人がいないこと」と「住まいの周りが生活しやすいか不安なこと」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

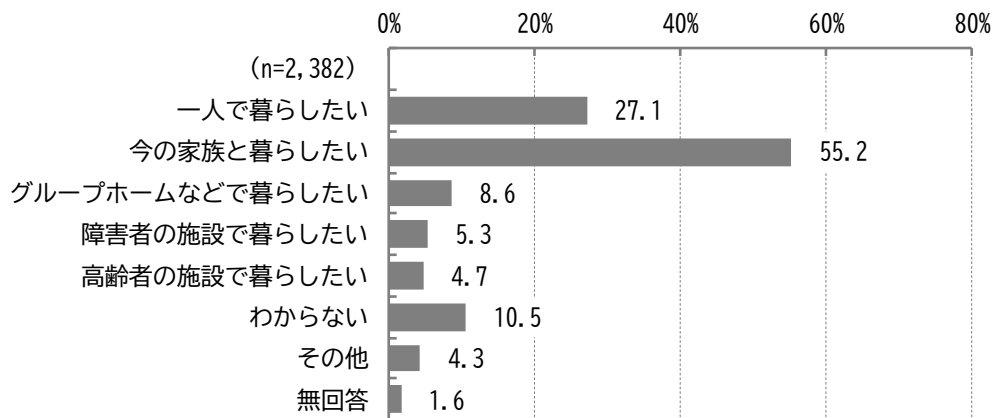
区分		回答者数(件)	不動産会社や大家さんなどが障害に理解がないこと	バリアフリー住宅がないこと	保証人になってくれる人がいないこと	住居に関する情報がないこと	公共住宅の空きがないこと	家賃が払えないこと	探し方がわからないこと	住まいの周りが生活しやすいか不安なこと	近隣の人とうまくつきあえるか不安なこと	わからない	その他	探す必要がない	とくにない	無回答
全体		2382	9.7	7.7	10.5	4.3	9.5	11.4	6.2	13.3	6.7	5.8	4.8	29.5	20.9	4.9
年齢別	10歳代	30	3.3	10.0	0.0	10.0	6.7	13.3	13.3	13.3	6.7	16.7	3.3	43.3	6.7	0.0
	20歳代	249	13.7	8.0	4.4	6.4	5.2	20.5	17.3	16.1	12.4	11.2	6.8	20.5	14.5	2.0
	30歳代	307	15.6	6.5	8.5	5.2	5.9	14.7	10.4	21.5	12.4	9.1	7.2	22.8	14.7	2.0
	40歳代	298	11.7	9.1	12.8	4.4	9.4	12.4	5.7	18.5	7.4	5.4	5.4	22.5	23.8	4.0
	50歳代	519	9.8	9.4	12.9	4.4	10.8	10.2	3.9	12.3	5.0	4.6	3.9	28.9	22.9	4.2
	60歳以上	914	5.7	5.9	10.8	3.2	11.2	8.1	3.1	8.9	4.0	3.5	3.8	37.2	23.3	7.3
障害種別	視覚障害	170	15.3	7.6	10.0	3.5	8.2	8.2	2.9	15.9	5.3	4.7	2.9	34.1	15.3	7.1
	聴覚障害・平衡機能障害	172	22.1	8.7	9.3	5.2	11.0	10.5	2.9	18.0	9.3	2.9	3.5	25.0	18.0	5.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	10.8	8.6	11.8	3.2	7.5	6.5	0.0	10.8	5.4	4.3	8.6	40.9	17.2	6.5
	肢体不自由	730	8.5	18.2	9.0	4.1	9.5	8.5	3.6	12.6	3.7	5.9	6.0	32.7	17.8	5.2
	内部障害	476	5.0	3.8	11.1	2.9	12.8	10.1	4.2	9.9	4.2	3.6	4.4	33.0	28.2	3.4
	難病	382	5.8	8.9	12.0	4.2	11.8	11.8	2.6	13.4	3.4	3.1	6.0	34.8	18.3	7.6
	知的障害	312	10.3	4.2	7.1	6.7	3.5	14.4	17.9	11.2	8.3	17.3	10.3	27.9	6.7	5.8
	重度重複	66	3.0	9.1	1.5	4.5	6.1	6.1	0.0	4.5	3.0	9.1	15.2	48.5	10.6	4.5
	発達障害	185	17.3	3.2	13.0	8.6	8.6	24.3	19.5	21.1	20.0	13.0	6.5	17.8	8.1	0.5
	精神障害	355	19.2	4.5	20.3	5.4	10.7	17.7	9.0	20.3	13.2	6.5	7.6	16.9	16.3	2.3
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	12.1	17.2	12.1	3.4	10.3	14.7	2.6	8.6	3.4	10.3	6.0	31.0	13.8	5.2
	その他	164	9.1	6.7	10.4	5.5	10.4	8.5	6.7	12.2	4.9	6.1	4.9	28.7	25.0	3.7

問 13 あなたはこれからどのような暮らしを望んでいますか。(〇はいくつでも)

「今の家族と暮らしたい」が55.2%と最も多く、次いで「一人で暮らしたい」が27.1%、「わからない」が10.5%、「グループホームで暮らしたい」が8.6%、「障害者の施設で暮らしたい」が5.3%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「今の家族と暮らしたい」が最も多くなっています。

障害別にみると、精神障害は「一人で暮らしたい」、それ以外は「今の家族と暮らしたい」が最も多くなっています。また、知的障害と重度重複は「グループホームなどで暮らしたい」が他の障害よりも割合が高くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

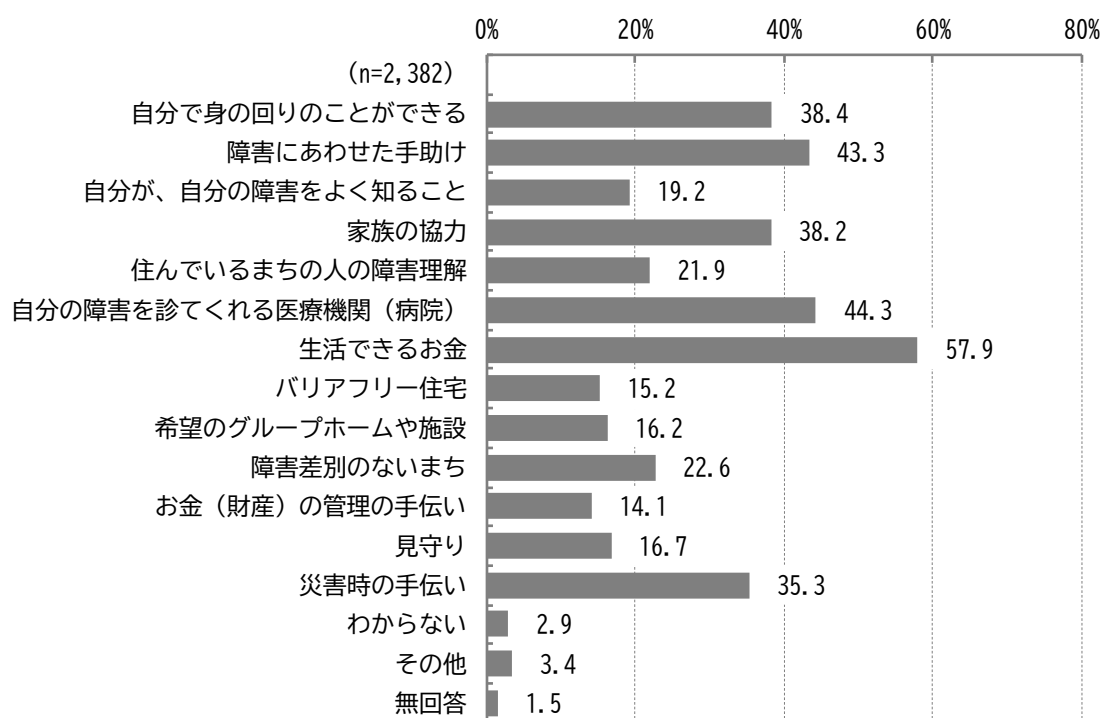
区分		回答者数(件)	一人で暮らしたい	今の家族と暮らしたい	グループホームなどで暮らしたい	障害者の施設で暮らしたい	高齢者の施設で暮らしたい	わからない	その他	無回答
全体		2382	27.1	55.2	8.6	5.3	4.7	10.5	4.3	1.6
年齢別	10歳代	30	23.3	73.3	30.0	6.7	-	13.3	-	-
	20歳代	249	33.3	50.6	22.9	12.9	2.8	9.6	6.4	0.8
	30歳代	307	35.2	54.7	14.3	6.5	1.0	7.8	4.2	1.3
	40歳代	298	29.9	57.4	9.1	3.7	1.0	10.7	4.7	0.7
	50歳代	519	25.6	53.8	6.0	4.6	3.5	12.1	5.0	1.3
	60歳以上	914	22.6	57.3	3.4	3.4	8.5	10.1	3.3	2.2
障害種別	身体障害									
	視覚障害	170	27.6	54.7	5.9	6.5	4.7	7.6	4.7	0.6
	聴覚障害・平衡機能障害	172	33.1	51.2	4.1	5.8	7.6	9.9	6.4	1.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	22.6	54.8	7.5	10.8	6.5	9.7	6.5	4.3
	肢体不自由	730	22.2	58.6	8.9	8.6	5.1	10.1	4.1	1.6
	内部障害	476	26.1	60.9	3.2	1.7	3.2	10.1	2.9	0.8
	難病	382	24.6	56.8	3.4	4.7	4.7	11.3	5.2	1.8
	知的障害	312	14.4	51.3	42.9	18.3	4.5	11.9	4.8	1.3
	重度重複	66	1.5	63.6	45.5	39.4	1.5	9.1	3.0	1.5
	発達障害	185	39.5	50.8	23.2	10.8	3.8	10.3	5.9	2.2
	精神障害	355	44.2	40.8	8.5	5.9	5.1	9.3	6.8	1.1
高次脳機能障害(失語症を含む)	116	16.4	60.3	4.3	8.6	6.0	11.2	7.8	1.7	
その他	164	26.2	50.0	6.7	3.7	5.5	11.6	6.1	2.4	

問 14 杉並区で暮らしていくのに必要なことはなんですか。(〇はいくつでも)

「生活できるお金」が57.9%と最も多く、次いで「自分の障害を診てくれる医療機関(病院)」が44.3%、「障害にあわせた手助け」が43.3%、「自分で身の回りのことができる」が38.4%、「家族の協力」が38.2%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代は「障害にあわせた手助け」、それ以外は「生活できるお金」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と知的障害、重度重複は「障害にあわせた手助け」、音声・言語・そしゃく機能障害は「自分の障害を診てくれる医療機関(病院)」、それ以外は「生活できるお金」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

区分		回答者数(件)	自分で身の回りのことができる	障害にあわせた手助け	自分が、自分の障害をよく知ること	家族の協力	住んでいるまちの人の障害理解	自分の障害を診てくれる医療機関(病院)	生活できるお金	バリアフリー住宅
全体		2382	38.4	43.3	19.2	38.2	21.9	44.3	57.9	15.2
年齢別	10歳代	30	40.0	70.0	26.7	63.3	36.7	60.0	66.7	23.3
	20歳代	249	39.4	58.2	25.7	47.8	33.7	49.4	64.7	11.6
	30歳代	307	35.2	51.1	25.7	44.3	29.6	50.2	67.4	11.4
	40歳代	298	38.3	44.6	26.8	32.6	21.1	45.3	63.4	14.4
	50歳代	519	41.4	42.0	19.5	33.1	22.2	44.3	58.4	15.6
	60歳以上	914	38.5	35.8	13.0	37.9	14.8	40.2	50.8	16.4
障害種別	身体障害									
	視覚障害	170	40.0	62.9	18.2	36.5	33.5	38.2	52.4	18.8
	聴覚障害・平衡機能障害	172	34.9	51.7	20.9	27.9	30.2	37.8	52.9	11.6
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	24.7	53.8	20.4	46.2	21.5	58.1	50.5	23.7
	肢体不自由	730	35.3	52.2	15.1	41.9	24.0	44.5	55.1	28.1
	内部障害	476	37.8	34.0	18.3	34.9	12.2	48.7	60.7	11.3
	難病	382	40.6	40.6	18.3	41.1	20.7	52.6	62.6	19.9
	知的障害	312	31.1	67.6	15.4	61.5	41.0	58.3	67.0	18.9
	重度重複	66	15.2	83.3	10.6	74.2	56.1	81.8	74.2	47.0
	発達障害	185	45.4	53.5	38.4	48.1	33.5	50.8	67.0	9.2
	精神障害	355	44.8	46.8	33.5	34.6	24.8	50.1	67.0	10.4
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	34.5	57.8	25.9	47.4	24.1	44.8	63.8	26.7
	その他	164	48.8	34.8	23.2	33.5	18.3	40.9	51.2	15.2
区分		希望のグループホームや施設	障害差別のないまち	お金(財産)の管理の手伝い	見守り	災害時の手伝い	わからない	その他	無回答	
全体		16.2	22.6	14.1	16.7	35.3	2.9	3.4	1.5	
年齢別	10歳代	46.7	36.7	46.7	43.3	50.0	6.7	-	-	
	20歳代	36.1	35.7	35.7	27.3	39.0	4.4	1.6	0.8	
	30歳代	20.8	35.8	26.4	22.8	40.4	2.0	3.6	2.0	
	40歳代	13.4	22.8	13.8	16.4	35.6	1.3	4.4	1.3	
	50歳代	11.2	22.7	8.3	12.3	35.6	3.1	3.5	1.3	
	60歳以上	11.7	13.0	6.2	13.1	31.9	3.2	3.8	1.5	
障害種別	身体障害									
	視覚障害	11.2	33.5	14.1	15.9	44.1	2.9	2.9	1.8	
	聴覚障害・平衡機能障害	14.0	32.6	12.2	12.8	37.2	3.5	4.1	1.7	
	音声・言語・そしゃく機能障害	24.7	25.8	12.9	18.3	46.2	2.2	3.2	1.1	
	肢体不自由	18.9	23.6	13.3	17.3	42.9	2.9	3.8	0.8	
	内部障害	8.8	13.2	6.9	10.5	32.8	1.9	4.2	1.7	
	難病	12.6	15.7	8.1	15.7	35.6	2.1	3.4	1.6	
	知的障害	59.9	37.5	53.2	38.1	51.3	2.9	1.9	1.6	
	重度重複	66.7	51.5	54.5	40.9	74.2	-	4.5	-	
	発達障害	32.4	41.6	34.6	36.8	34.6	3.2	4.3	0.5	
	精神障害	14.6	29.3	19.4	17.2	29.9	3.4	4.2	0.8	
	高次脳機能障害(失語症を含む)	19.0	30.2	19.0	23.3	46.6	1.7	5.2	0.9	
	その他	15.9	17.7	14.6	20.7	29.3	3.0	7.3	1.2	

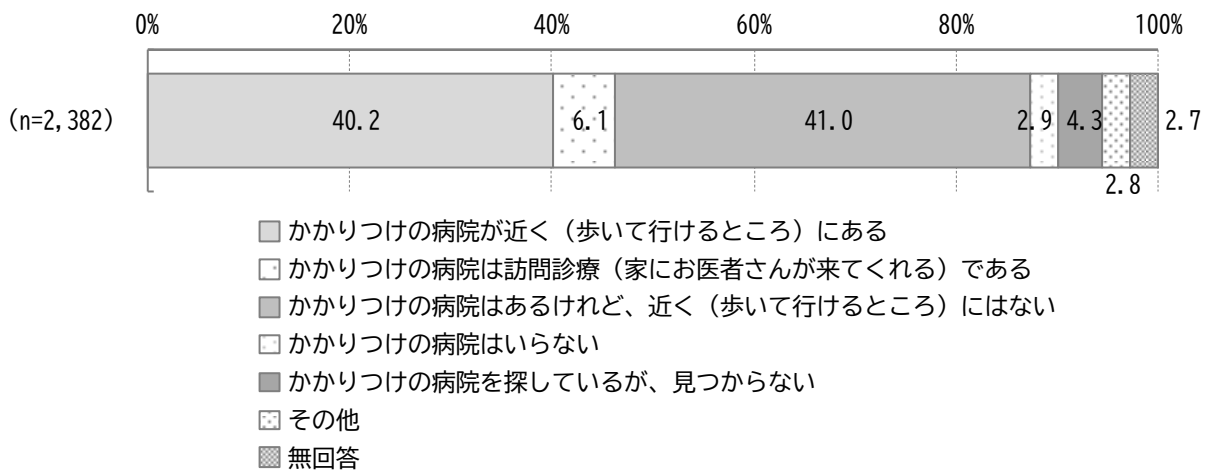
### (3) 健康・医療について

問 15 あなたは、近くにかかりつけの病院はありますか。ある場合はその病院の名前を記入してください。  
(○は1つ)

「かかりつけの病院はあるけれど、近く（歩いて行けるところ）にはない」が 41.0%と最も多く、次いで「かかりつけの病院が近く（歩いて行けるところ）にある」が 40.2%、「かかりつけの病院は訪問診療（家にお医者さんが来てくれる）である」が 6.1%、「かかりつけの病院を探しているが、見つからない」が 4.3%の順となっています。

年齢別にみると、10 歳代から 50 歳代は「かかりつけの病院はあるけれど、近く（歩いて行けるところ）にはない」、60 歳以上は「かかりつけの病院が近く（歩いて行けるところ）にある」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と聴覚障害・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害、知的障害、高次脳機能障害（失語症を含む）は「かかりつけの病院が近く（歩いて行けるところ）にある」、それ以外は「かかりつけの病院はあるけれど、近く（歩いて行けるところ）にはない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

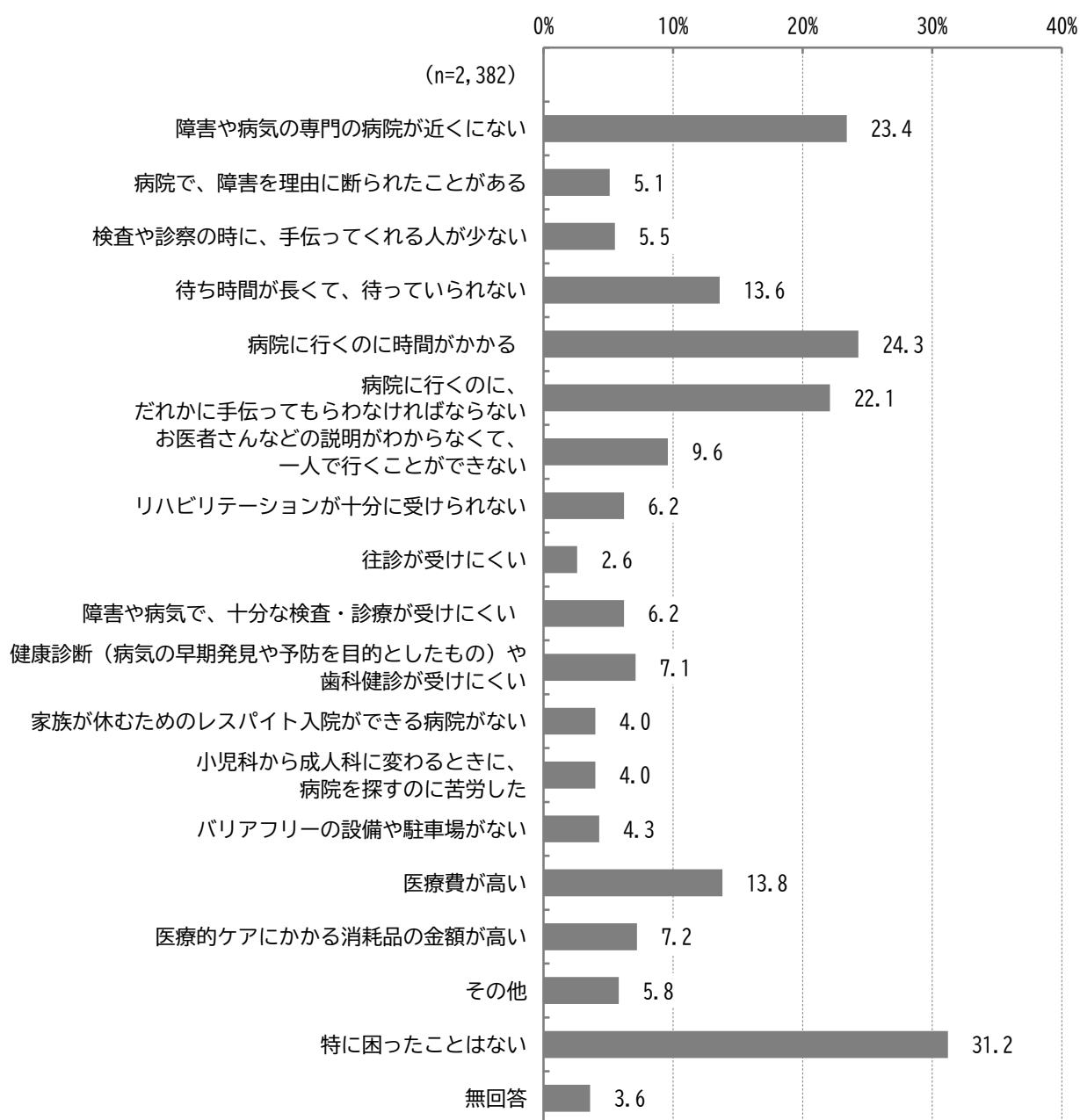
区分		回答者数 (件)	かかりつけの病院が近く (歩いて行けるところ) にある	かかりつけの病院は訪問 診療(家にお医者さんが 来てくれる)である	かかりつけの病院はある けれど、近く(歩いて行 けるところ)にはない	かかりつけの病院はいら ない	かかりつけの病院を探し ているが、見つからない	その他	無回答
全体		2382	40.2	6.1	41.0	2.9	4.3	2.8	2.7
年齢別	10歳代	30	33.3	6.7	53.3	3.3	3.3	-	-
	20歳代	249	37.8	3.2	44.2	3.6	7.2	2.4	1.6
	30歳代	307	33.2	6.5	45.9	3.6	5.5	3.3	2.0
	40歳代	298	38.9	4.4	41.9	4.7	5.7	2.0	2.3
	50歳代	519	40.8	5.2	41.8	2.5	4.4	2.7	2.5
	60歳以上	914	43.8	7.4	37.7	2.2	2.8	3.0	3.1
障害種別	視覚障害	170	48.8	8.2	31.2	2.9	5.3	1.8	1.8
	聴覚障害・平衡機能障害	172	44.8	5.8	28.5	5.2	6.4	6.4	2.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	37.6	24.7	26.9	-	2.2	4.3	4.3
	肢体不自由	730	36.4	14.0	37.5	3.7	4.0	1.9	2.5
	内部障害	476	34.7	1.9	55.0	1.7	2.1	2.7	1.9
	難病	382	32.7	10.2	47.9	1.6	3.4	3.1	1.0
	知的障害	312	44.6	9.3	33.0	0.6	7.7	1.6	3.2
	重度重複	66	27.3	25.8	37.9	-	7.6	-	1.5
	発達障害	185	40.5	2.2	42.2	2.2	6.5	4.9	1.6
	精神障害	355	38.6	3.7	44.2	2.3	5.1	3.7	2.5
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	38.8	19.0	31.0	1.7	1.7	4.3	3.4
	その他	164	39.6	6.1	41.5	1.8	1.8	4.3	4.9

問 16 あなたは、病院について、困ることはありますか。(〇はいくつでも)

「特に困ったことはない」が 31.2%と最も多く、次いで「病院に行くのに時間がかかる」が 24.3%、「障害や病気の専門の病院が近くにない」が 23.4%の順となっています。

年齢別にみると、10 歳代と 20 歳代は「病院に行くのに、だれかに手伝ってもらわなければならない」、30 歳代は「障害や病気の専門の病院が近くにない」と「病院に行くのに時間がかかる」、40 歳以上は「特に困ったことはない」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、知的障害、重度重複、高次脳機能障害（失語症を含む）は「病院に行くのに、だれかに手伝ってもらわなければならない」、難病は「病院に行くのに時間がかかる」、発達障害は「障害や病気の専門の病院が近くにない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数(件)	障害や病気の専門の病院が近くにない	病院で、障害を理由に断られたことがある	検査や診察の時に、手伝ってくれる人が少ない	待ち時間が長くて、待ってられない	病院に行くのに時間がかかる	病院に行くのに、だれかに手伝ってもらわなければならない	お医者さんなどの説明がわからなくて、一人で行くことができない	リハビリテーションが十分に受けられない	往診が受けにくい	
全体		2382	23.4	5.1	5.5	13.6	24.3	22.1	9.6	6.2	2.6	
年齢別	10歳代	30	36.7	6.7	10.0	10.0	40.0	63.3	26.7	13.3	-	
	20歳代	249	34.5	11.6	11.6	17.7	26.9	39.4	28.1	6.0	4.0	
	30歳代	307	30.0	7.8	8.8	16.3	30.0	27.0	14.7	4.9	1.6	
	40歳代	298	23.5	5.7	7.0	15.1	23.2	18.5	10.7	5.7	3.0	
	50歳代	519	24.5	3.7	4.6	14.3	23.9	15.6	5.8	6.9	2.1	
	60歳以上	914	16.6	2.6	2.4	10.8	21.6	19.4	4.4	5.9	2.7	
障害種別	身体障害											
	視覚障害	170	25.9	4.7	10.6	17.6	25.9	33.5	5.9	2.9	5.3	
	聴覚障害・平衡機能障害	172	20.3	4.7	6.4	15.7	18.6	18.0	13.4	3.5	3.5	
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	24.7	8.6	9.7	7.5	25.8	31.2	12.9	12.9	5.4	
	肢体不自由	730	28.1	7.0	7.1	14.7	25.8	29.6	8.2	13.7	3.8	
	内部障害	476	18.1	3.6	2.7	12.4	27.7	10.3	3.8	1.5	1.3	
	難病	382	29.8	5.2	6.8	16.0	32.5	23.0	4.2	9.2	5.0	
	知的障害	312	35.3	14.7	17.3	22.1	27.2	63.8	47.4	9.6	3.5	
	重度重複	66	53.0	36.4	22.7	36.4	40.9	74.2	34.8	22.7	7.6	
	発達障害	185	35.1	8.1	9.7	15.7	24.9	31.9	24.9	3.2	2.7	
	精神障害	355	25.1	6.5	5.1	17.7	27.9	16.6	8.2	3.4	3.7	
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	22.4	4.3	5.2	8.6	21.6	41.4	13.8	19.0	5.2	
	その他	164	22.0	3.0	2.4	13.4	25.0	26.2	9.8	3.7	1.8	
区分			障害や病気で、十分な検査・診療が受けにくい	健康診断(病気の早期発見や予防を目的としたもの)や歯科健診が受けにくい	家族が休むためのレスパイト入院ができる病院がない	小児科から成人科に変わるときに、病院を探すのに苦労した	バリアフリーの設備や駐車場がない	医療費が高い	医療的ケアにかかる消耗品の金額が高い	その他	特に困ったことはない	無回答
全体		6.2	7.1	4.0	4.0	4.3	13.8	7.2	5.8	31.2	3.6	
年齢別	10歳代	6.7	3.3	16.7	13.3	10.0	10.0	3.3	-	16.7	-	
	20歳代	11.2	13.3	7.6	20.1	8.0	13.7	8.0	4.8	22.1	1.6	
	30歳代	9.4	9.4	5.2	8.5	4.9	15.0	6.8	8.8	26.4	1.3	
	40歳代	7.0	5.4	2.3	2.3	3.4	15.1	6.7	7.4	29.9	3.4	
	50歳代	7.5	6.7	2.9	0.4	4.4	15.8	6.7	6.0	31.6	3.3	
	60歳以上	2.4	5.3	3.1	0.2	3.1	12.1	7.7	4.6	36.4	4.9	
障害種別	身体障害											
	視覚障害	4.1	7.1	4.7	2.9	3.5	9.4	5.3	7.6	29.4	3.5	
	聴覚障害・平衡機能障害	6.4	5.2	0.6	5.2	2.3	18.0	9.9	12.2	27.3	7.0	
	音声・言語・そしゃく機能障害	14.0	12.9	11.8	7.5	9.7	10.8	12.9	6.5	24.7	5.4	
	肢体不自由	9.3	10.1	7.9	6.7	10.5	12.3	8.8	4.7	26.8	2.7	
	内部障害	3.4	3.2	2.3	2.5	2.1	16.8	10.1	6.3	39.1	1.7	
	難病	6.0	9.4	6.5	1.6	4.2	16.8	8.1	6.0	25.1	3.7	
	知的障害	19.6	17.6	11.9	20.8	9.6	8.7	6.4	4.5	10.6	3.2	
	重度重複	30.3	24.2	25.8	47.0	30.3	3.0	16.7	3.0	4.5	3.0	
	発達障害	11.9	10.8	4.3	13.0	2.7	17.8	10.3	9.2	22.7	2.7	
	精神障害	6.8	8.5	1.7	3.1	1.7	18.3	8.7	9.0	28.2	2.5	
	高次脳機能障害(失語症を含む)	7.8	9.5	8.6	1.7	9.5	16.4	10.3	9.5	19.0	4.3	
	その他	4.3	4.3	3.0	3.7	4.3	15.9	6.7	7.9	32.3	3.7	

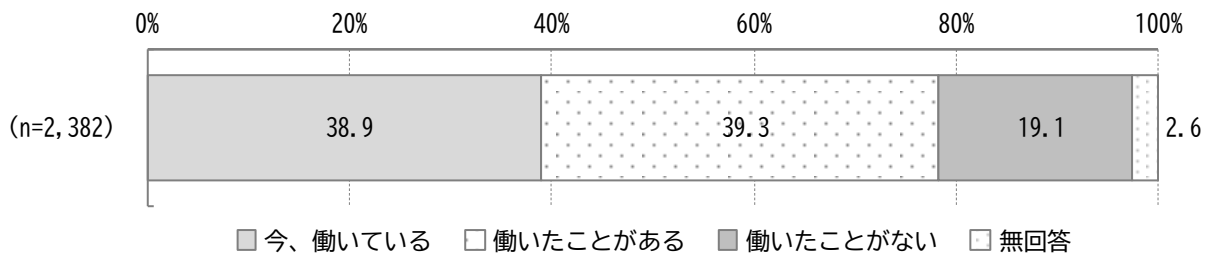
## (4) 仕事の状況について

問 17 あなたは、企業などで働いたことがありますか。作業所などでの「福祉的就労」は含みません。  
(○は1つ)

「働いたことがある」が 39.3%と最も多く、次いで「今、働いている」が 38.9%、「働いたことがない」が 19.1%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代は「働いたことがない」、20歳代から50歳代は「今、働いている」、60歳以上は「働いたことがある」が最も多くなっています。

障害別にみると、聴覚障害・平衡機能障害と内部障害、発達障害は「今、働いている」、視覚障害と音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、難病、精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）は「働いたことがある」、知的障害と重度重複は「働いたことがない」が最も多くなっています。



### 【年齢別・障害種別】

単位：%

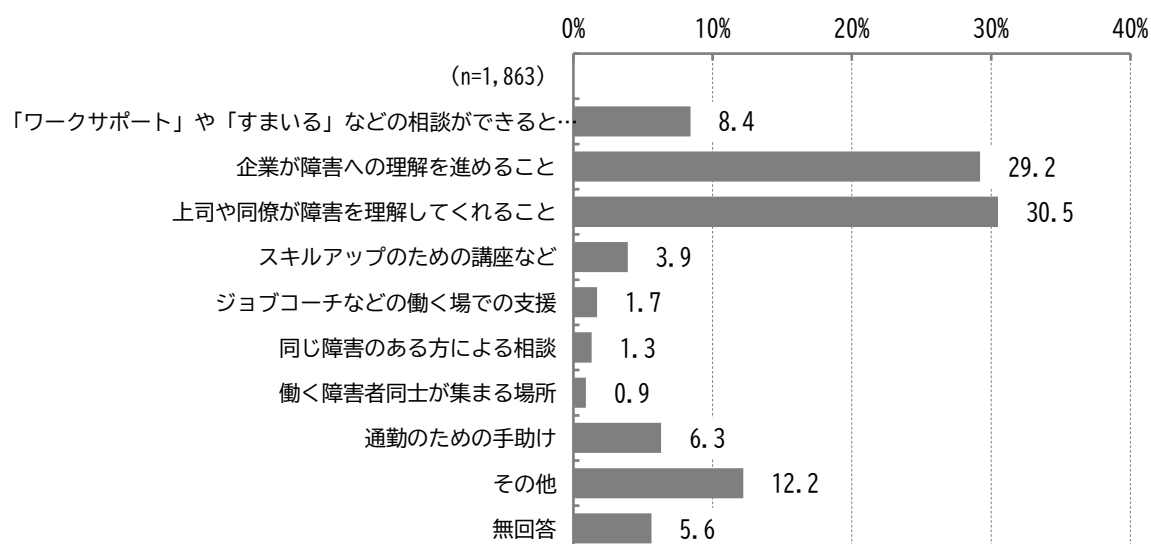
区分		回答者数 (件)	今、働いてい る	働いたことが ある	働いたことが ない	無回答
全体		2382	38.9	39.3	19.1	2.6
年齢別	10歳代	30	20.0	3.3	76.7	-
	20歳代	249	46.2	11.6	41.0	1.2
	30歳代	307	54.4	20.2	24.4	1.0
	40歳代	298	58.4	24.8	14.4	2.3
	50歳代	519	46.4	38.5	12.5	2.5
	60歳以上	914	22.5	59.8	14.1	3.5
障害種別	視覚障害	170	37.6	40.6	19.4	2.4
	聴覚障害・平衡機能障害	172	48.8	32.0	14.5	4.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	19.4	53.8	23.7	3.2
	肢体不自由	730	34.7	38.5	24.8	2.1
	内部障害	476	46.2	41.0	10.7	2.1
	難病	382	35.9	47.6	14.4	2.1
	知的障害	312	23.4	12.8	61.2	2.6
	重度重複	66	3.0	1.5	93.9	1.5
	発達障害	185	44.9	24.9	28.6	1.6
	精神障害	355	33.0	48.2	16.1	2.8
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	19.8	55.2	23.3	1.7
	その他	164	29.9	48.2	18.9	3.0

問 18 (問 17 で「1. 今、働いている」または、「2. 働いたことがある」に○をつた人)  
働き続けるために、一番必要だと思うことはなんですか。(○は1つ)

「上司や同僚が障害を理解してくれること」が 30.5%と最も多く、次いで「企業が障害への理解を進めること」が 29.2%、「ワークサポート」や「すまいる」などの相談ができるところが 8.4%、「通勤のための手助け」が 6.3%の順となっています。

年齢別にみると、20 歳代から 50 歳代は「上司や同僚が障害を理解してくれること」、60 歳以上は「企業が障害への理解を進めること」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と聴覚障害・平衡機能障害、難病、知的障害は「上司や同僚が障害を理解してくれること」、音声・言語・そしゃく機能障害と肢体不自由、内部障害、発達障害、精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）は「企業が障害への理解を進めること」が最も多くなっています。知的障害は「ワークサポート」や「すまいる」などの相談ができる」と回答した人が 27.4%と、他の障害よりも割合が高くなっています。



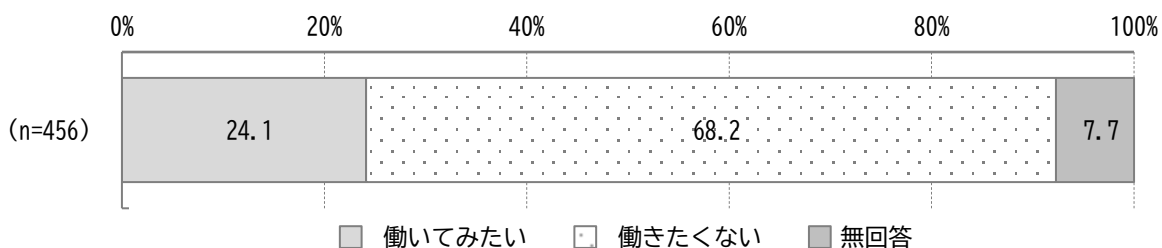
【年齢別・障害種別】

単位：％

区分		回答者数(件)	「ワークサポート」や「すまいる」などの相談ができるところ	企業が障害への理解を進めること	上司や同僚が障害を理解してくれること	スキルアップのための講座など	ジョブコーチなどの働く場での支援	同じ障害のある方による相談	働く障害者同士が集まる場所	通勤のための手助け	その他	無回答
全体		1863	8.4	29.2	30.5	3.9	1.7	1.3	0.9	6.3	12.2	5.6
年齢別	10歳代	7	57.1	28.6	-	-	14.3	-	-	-	-	-
	20歳代	144	13.9	23.6	41.0	4.9	4.2	1.4	0.7	3.5	6.9	-
	30歳代	229	10.0	33.2	35.4	2.2	2.6	0.9	2.6	5.2	6.1	1.7
	40歳代	248	7.7	31.0	36.3	6.9	1.6	0.8	0.8	4.8	7.3	2.8
	50歳代	441	6.6	32.9	34.7	2.0	1.8	1.1	0.9	7.3	10.0	2.7
	60歳以上	753	7.7	26.0	23.8	4.1	0.8	1.6	0.5	7.4	17.9	10.1
障害種別	視覚障害	133	7.5	27.1	32.3	4.5	0.8	2.3	-	6.0	12.0	7.5
	聴覚障害・平衡機能障害	139	2.9	25.9	48.9	2.2	-	2.2	0.7	3.6	8.6	5.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	68	10.3	29.4	22.1	-	-	2.9	1.5	5.9	14.7	13.2
	肢体不自由	534	6.0	32.0	27.7	3.0	1.5	0.9	1.1	11.2	11.2	5.2
	内部障害	415	5.3	32.8	31.1	5.8	0.7	0.7	0.5	5.1	13.0	5.1
	難病	319	4.7	28.2	29.5	3.8	0.9	1.3	1.6	9.1	13.5	7.5
	知的障害	113	27.4	23.0	32.7	0.9	6.2	0.9	0.9	0.9	3.5	3.5
	重度重複	3	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	発達障害	129	17.8	31.0	27.9	5.4	5.4	0.8	1.6	-	7.0	3.1
	精神障害	288	11.8	30.6	29.2	2.8	3.5	1.0	1.0	2.8	13.5	3.8
	高次脳機能障害（失語症を含む）	87	10.3	25.3	24.1	-	2.3	2.3	-	10.3	18.4	6.9
	その他	128	14.1	14.1	23.4	6.3	2.3	3.9	0.8	7.8	17.2	10.2

問 19 (問 17 で「3. 働いたことがない」に○をつけた人)  
 これからは会社などで働いてみたいですか。(○は1つ)

「働いてみたい」が24.1%、「働きたくない」が68.2%となっています。  
 年齢別にみると、10歳代は「働いてみたい」、20歳以上は「働きたくない」が多くなっています。  
 障害別にみると、いずれも「働きたくない」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	働いてみたい	働きたくない	無回答
全体		456	24.1	68.2	7.7
年齢別	10歳代	23	56.5	43.5	-
	20歳代	102	44.1	52.9	2.9
	30歳代	75	18.7	77.3	4.0
	40歳代	43	18.6	67.4	14.0
	50歳代	65	26.2	63.1	10.8
	60歳以上	129	4.7	85.3	10.1
障害種別	視覚障害	33	15.2	72.7	12.1
	聴覚障害・平衡機能障害	25	24.0	68.0	8.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	22	13.6	72.7	13.6
	肢体不自由	181	23.2	66.9	9.9
	内部障害	51	19.6	74.5	5.9
	難病	55	23.6	69.1	7.3
	知的障害	191	22.0	71.2	6.8
	重度重複	62	16.1	77.4	6.5
	発達障害	53	41.5	54.7	3.8
	精神障害	57	29.8	64.9	5.3
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	27	33.3	63.0	3.7
	その他	31	16.1	71.0	12.9

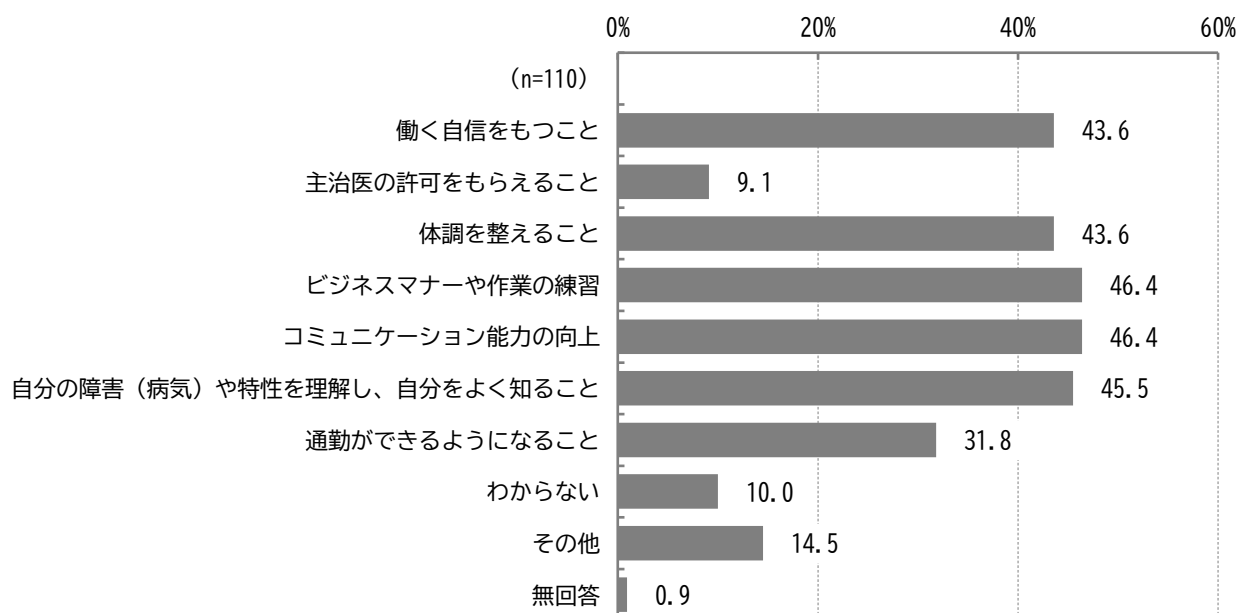
問 20-1 (問 19 で「1. 働いてみたい」に○をつけた人)

現在、あなたが働くには何が必要だと思えますか。(○はいくつでも)

「ビジネスマナーや作業の練習」と「コミュニケーション能力の向上」が 46.4%と最も多く、次いで「自分の障害(病気)や特性を理解し、自分をよく知ること」が 45.5%、「働く自信をもつこと」と「体調を整えること」が 43.6%の順となっています。

年齢別にみると、10 歳代と 20 歳代は「ビジネスマナーや作業の練習」、30 歳代は「自分の障害(病気)や特性を理解し、自分をよく知ること」、50 歳代は「体調を整えること」が最も多くなっています。

障害別にみると、肢体不自由と内部障害、難病は「体調を整えること」、知的障害は「ビジネスマナーや作業の練習」、精神障害は「働く自信を持つこと」と「ビジネスマナーや作業の練習」、「自分の障害(病気)や特性を理解し、自分をよく知ること」、発達障害は「コミュニケーション能力の向上」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

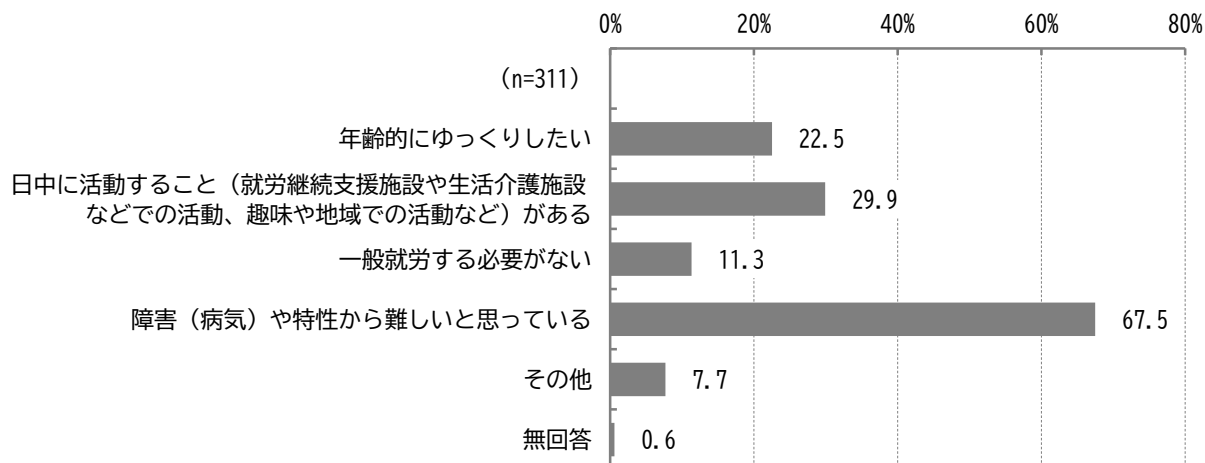
単位：％

区分		回答者数 (件)	働く自信をもつこと	主治医の許可をもらえること	体調を整えること	ビジネスマナーや作業の練習	コミュニケーション能力の向上	自分の障害(病気)や特性を理解し、自分をよく知ること	通勤ができるようになること	わからない	その他	無回答
全体		110	43.6	9.1	43.6	46.4	46.4	45.5	31.8	10.0	14.5	0.9
年齢別	10歳代	13	23.1	-	7.7	46.2	38.5	30.8	15.4	23.1	7.7	7.7
	20歳代	45	57.8	8.9	42.2	64.4	62.2	51.1	42.2	11.1	13.3	-
	30歳代	14	50.0	21.4	57.1	50.0	42.9	78.6	28.6	-	14.3	-
	40歳代	8	37.5	12.5	62.5	25.0	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	-
	50歳代	17	17.6	11.8	58.8	29.4	35.3	29.4	23.5	-	17.6	-
	60歳以上	6	66.7	-	50.0	16.7	16.7	50.0	16.7	16.7	-	-
障害種別	視覚障害	5	40.0	-	40.0	40.0	60.0	60.0	40.0	-	40.0	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	33.3	-	33.3	33.3	50.0	33.3	16.7	33.3	16.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-
	肢体不自由	42	31.0	4.8	40.5	28.6	38.1	38.1	23.8	14.3	21.4	2.4
	内部障害	10	40.0	10.0	80.0	30.0	20.0	10.0	40.0	-	20.0	-
	難病	13	7.7	7.7	46.2	30.8	7.7	7.7	15.4	15.4	23.1	7.7
	知的障害	42	40.5	9.5	31.0	64.3	61.9	50.0	40.5	9.5	16.7	-
	重度重複	10	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	-	30.0	40.0	-
	発達障害	22	50.0	9.1	31.8	63.6	77.3	59.1	40.9	9.1	4.5	-
	精神障害	17	58.8	23.5	52.9	58.8	47.1	58.8	47.1	-	17.6	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	9	44.4	-	44.4	11.1	22.2	44.4	33.3	11.1	22.2	-
	その他	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-

問 20-2 (問 19 で「2. 働きたくない」に○をつけた人)  
働きたくない理由はなんですか。(○はいくつでも)

「障害(病気)や特性から難しいと思っている」が 67.5%と最も多く、次いで「日中に活動すること(就労継続支援施設や生活介護施設などでの活動、趣味や地域での活動など)がある」が 29.9%、「年齢的にゆっくりしたい」が 22.5%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「障害(病気)や特性から難しいと思っている」が最も多くなっています。障害別にみると、いずれも「障害(病気)や特性から難しいと思っている」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分	回答者数(件)	年齢的にゆっくりしたい	日中に活動すること(就労継続支援施設や生活介護施設などでの活動、趣味や地域での活動など)がある	一般就労する必要がない	障害(病気)や特性から難しいと思っている	その他	無回答
全体	311	22.5	29.9	11.3	67.5	7.7	0.6
年齢別	10歳代	10	-	60.0	-	70.0	-
	20歳代	54	1.9	50.0	5.6	74.1	5.6
	30歳代	58	-	46.6	6.9	72.4	8.6
	40歳代	29	10.3	37.9	10.3	69.0	6.9
	50歳代	41	12.2	26.8	12.2	70.7	9.8
	60歳以上	110	54.5	8.2	18.2	60.0	7.3
障害種別	視覚障害	24	20.8	12.5	16.7	75.0	4.2
	聴覚障害・平衡機能障害	17	11.8	29.4	-	76.5	11.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	16	6.3	12.5	12.5	75.0	12.5
	肢体不自由	121	14.0	27.3	12.4	80.2	5.8
	内部障害	38	42.1	23.7	18.4	47.4	13.2
	難病	38	26.3	13.2	18.4	73.7	10.5
	知的障害	136	7.4	50.7	6.6	75.0	5.1
	重度重複	48	2.1	45.8	8.3	81.3	2.1
	発達障害	29	3.4	58.6	3.4	75.9	6.9
	精神障害	37	32.4	16.2	5.4	64.9	8.1
	高次脳機能障害(失語症を含む)	17	5.9	17.6	-	94.1	-
その他	22	36.4	31.8	13.6	54.5	4.5	

## (5) 福祉サービスなどについて

問 21 次の①～⑰の福祉サービスの利用についてうかがいます。

Aで「利用している」に○をした人 → 表のBとCに教えてください。

「給付決定しているが利用していない」「福祉サービスを申請していない」に○をした人  
→ 表のDとEに教えてください。

### (1) 利用サービスの充足度・満足度

各福祉サービスの利用者に回数と時間は足りているかを、「十分足りている」「ほぼ足りている」「あまり足りていない」「足りていない」の4段階で尋ねました。サービスごとの「十分足りている」と「ほぼ足りている」と回答した人の割合の合計は、下表「充足度」欄のとおりとなっています。

各福祉サービスの利用者にサービスに満足しているか、「とても満足している」「まあまあ満足している」「あまり満足していない」「満足していない」の4段階で尋ねました。サービスごとの「とても満足している」「まあまあ満足している」と回答した人の割合の合計は、下表「満足度」欄のとおりとなっています。

単位：%

区分	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	生活介護	就労継続支援 (A型・B型)	就労移行支援	就労定着支援	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	共同生活援助 (グループホーム)	自立生活援助	短期入所 (シヨートステイ)	行動援護	同行援護	計画相談支援	移動支援	訪問入浴	日帰りショートステイ	
全体	75.9	86.7	77.7	79.6	83.3	86.2	72.0	73.3	80.2	60.8	52.0	66.7	66.6	78.3	67.8	67.6	63.1	
充足度	視覚障害	79.0	100.0	85.8	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	42.9	-	64.5	92.0	77.0	60.0	75.0	
	聴覚障害・平衡機能障害	75.0	66.6	83.3	87.5	100.0	100.0	33.3	66.7	75.0	-	50.0	-	100.0	42.9	62.5	-	
	音声・言語・そしゃく機能障害	75.1	87.5	63.7	75.0	100.0	100.0	90.0	85.7	100.0	50.0	25.0	100.0	100.0	75.0	55.5	75.0	100.0
	肢体不自由	76.3	95.9	80.6	75.0	71.4	80.0	67.3	78.2	100.0	50.0	45.9	70.0	71.5	80.4	72.9	72.1	45.9
	内部障害	83.3	100.0	81.8	91.0	-	50.0	50.0	75.0	-	100.0	37.5	-	-	75.1	66.7	57.2	100.0
	難病	80.0	71.5	65.0	70.0	100.0	100.0	76.5	100.0	71.5	66.7	26.6	33.3	50.0	78.3	60.8	70.0	62.5
	知的障害	67.5	100.0	86.2	85.4	77.8	63.7	58.4	72.8	82.3	75.0	43.5	100.0	66.7	72.4	71.5	78.6	64.3
	重度重複	65.0	100.0	86.1	100.0	100.0	-	28.6	-	100.0	-	25.9	-	-	84.6	73.6	80.0	25.0
	発達障害	71.5	100.0	88.2	78.6	84.6	88.9	33.3	60.0	80.0	50.0	57.1	100.0	100.0	71.4	71.5	-	100.0
	精神障害	72.8	66.6	60.0	75.0	95.2	95.4	66.7	50.0	76.9	66.7	44.4	100.0	100.0	83.0	75.0	66.6	100.0
	高次脳機能障害(失語症を含む)	70.8	50.0	61.6	69.3	66.6	100.0	60.0	50.0	100.0	-	80.0	50.0	-	66.6	50.0	57.2	37.5
	その他	66.6	-	83.3	83.3	-	100.0	100.0	80.0	66.6	-	50.0	-	-	87.5	62.5	50.0	100.0
	全体	76.4	80.0	80.4	75.0	75.0	74.1	74.6	77.8	78.9	69.5	67.9	66.7	77.8	74.6	73.6	86.5	69.5
	満足度	視覚障害	73.7	100.0	57.2	50.0	66.6	100.0	80.0	66.7	100.0	100.0	71.4	-	80.7	84.0	69.3	80.0
聴覚障害・平衡機能障害		75.0	66.7	83.3	87.5	100.0	100.0	66.7	66.6	50.0	100.0	-	-	100.0	71.4	71.4	87.5	-
音声・言語・そしゃく機能障害		68.8	87.5	90.9	75.0	100.0	100.0	90.0	71.5	-	100.0	37.5	100.0	100.0	58.4	55.5	100.0	100.0
肢体不自由		80.7	95.9	80.7	72.3	71.4	60.0	76.4	78.3	82.3	75.0	62.1	80.0	85.7	70.6	71.1	91.8	58.3
内部障害		66.6	100.0	81.8	63.7	-	-	50.0	50.0	-	100.0	50.0	-	-	62.6	57.1	85.7	66.7
難病		80.0	57.2	80.0	50.0	-	50.0	94.1	100.0	71.4	66.7	60.0	33.3	25.0	69.6	52.1	90.0	75.0
知的障害		72.9	100.0	81.6	86.7	88.9	54.6	66.7	81.9	83.8	50.0	68.1	66.6	100.0	75.3	80.0	85.7	57.2
重度重複		70.0	100.0	83.7	100.0	100.0	-	57.2	-	77.8	-	70.3	-	-	74.3	68.4	90.0	25.0
発達障害		57.2	100.0	94.1	78.6	84.7	81.4	33.3	80.0	70.0	50.0	71.5	100.0	100.0	73.8	85.7	100.0	100.0
精神障害		54.6	66.7	60.0	65.0	80.9	81.8	66.7	75.0	69.3	83.3	66.6	100.0	100.0	70.8	56.3	66.6	100.0
高次脳機能障害(失語症を含む)		70.8	50.0	84.6	69.3	66.7	100.0	60.0	62.5	-	-	66.7	50.0	-	44.4	70.0	92.8	75.0
その他		66.6	-	83.3	66.7	-	100.0	75.0	80.0	100.0	100.0	83.4	-	-	75.0	87.5	100.0	80.0

## (2) 利用サービスの利用希望

各福祉サービスを利用していない人に、これから（2～3年後）の利用希望について、「利用したい」「あなたの状況によっては利用したい」「家族の状況によっては利用したい」「利用するつもりはない」の4段階で尋ねました。サービスごとの「利用したい」と「利用を検討している」（「あなたの状況によっては利用したい」と「家族の状況によっては利用したい」と回答した人の割合の合計）は、下表のとおりとなっています。

単位：%

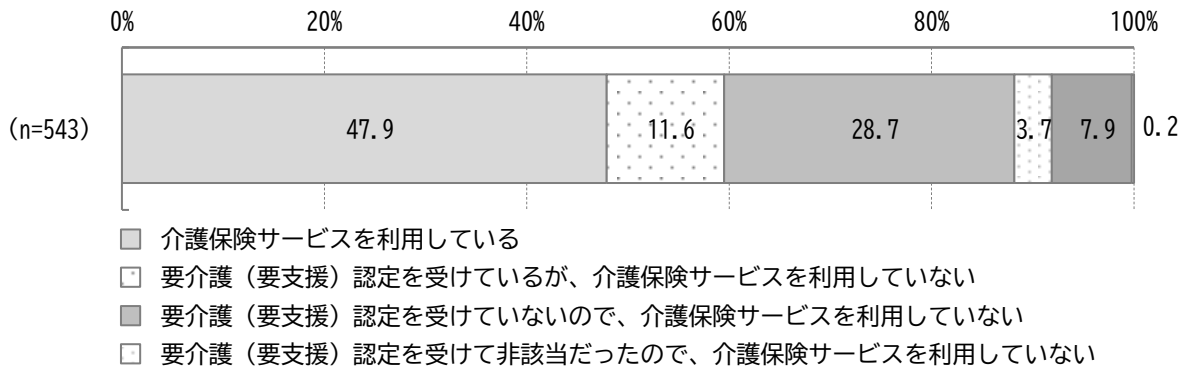
区分	居宅介護（ホームヘルプ）	重度訪問介護	生活介護	就労継続支援（A型・B型）	就労移行支援	就労定着支援	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	共同生活援助（グループホーム）	自立生活援助	短期入所（シヨートステイ）	行動援護	同行援護	計画相談支援	移動支援	訪問入浴	日帰りショートステイ	
全体	1.9	1.4	1.6	1.7	2.0	2.1	1.9	2.0	2.3	1.6	2.4	1.5	1.7	1.6	3.3	0.8	2.0	
利用したい	視覚障害	3.6	0.9	0.9	-	-	0.8	2.6	3.4	1.7	3.4	3.5	2.5	2.9	2.9	5.4	0.9	2.6
	聴覚障害・平衡機能障害	2.3	2.3	1.5	1.6	1.5	2.3	2.3	1.5	1.5	2.3	4.5	3.0	3.0	3.1	3.1	1.6	3.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	5.6	6.7	1.7	3.1	3.1	1.5	4.9	4.8	3.1	1.6	10.2	3.2	3.2	1.8	1.8	-	6.2
	肢体不自由	3.5	2.6	3.3	2.9	2.7	2.5	3.8	3.6	2.2	1.6	3.4	2.2	2.5	1.6	4.9	1.0	2.0
	内部障害	-	-	0.3	1.1	1.1	0.8	1.1	0.5	0.3	0.8	1.3	0.8	0.8	1.1	2.2	0.5	0.8
	難病	2.3	2.5	2.2	1.5	1.4	1.1	0.7	1.1	0.7	0.4	1.8	1.1	1.1	1.2	2.7	0.7	2.2
	知的障害	3.7	2.7	5.4	3.6	4.0	4.0	5.8	5.8	15.7	4.1	16.5	4.4	5.6	8.8	19.3	2.8	8.6
	重度重複	2.7	4.3	12.5	2.3	2.1	2.1	6.8	6.3	14.0	2.1	23.5	6.3	6.3	7.7	29.2	4.7	8.7
	発達障害	0.7	0.7	1.5	3.2	4.6	3.3	4.4	5.8	9.6	5.1	3.9	1.4	2.2	5.0	8.9	0.7	5.8
	精神障害	1.6	0.8	1.6	2.5	4.1	5.4	1.9	2.3	2.7	1.9	1.2	2.3	2.0	2.7	4.0	0.4	1.2
	高次脳機能障害（失語症を含む）	3.5	1.5	3.2	9.7	4.4	5.9	5.0	6.3	-	-	3.3	-	1.4	-	3.0	1.6	3.0
	その他	-	1.0	2.2	1.0	1.1	2.2	1.1	2.1	1.1	2.1	3.2	1.0	2.1	2.2	2.2	1.1	1.0
	全体	27.1	19.7	23.7	18.4	19.3	19.1	20.0	19.2	18.1	21.0	19.1	18.8	20.3	22.0	22.9	17.8	18.7
	利用を検討している	視覚障害	26.4	21.4	23.9	-	-	16.9	23.5	18.8	17.1	18.1	11.5	16.1	28.8	20.5	25.9	14.0
聴覚障害・平衡機能障害		27.0	19.6	25.8	20.2	18.8	19.0	18.3	18.3	21.2	22.0	18.0	22.0	24.2	21.9	21.3	18.0	17.7
音声・言語・そしゃく機能障害		27.8	18.3	20.7	20.3	13.9	15.4	14.8	16.1	27.7	18.8	18.7	19.0	20.6	19.7	24.5	-	21.5
肢体不自由		34.9	25.8	29.6	15.7	16.8	17.4	20.8	19.5	20.4	19.4	21.7	21.4	21.9	22.8	28.8	24.5	24.0
内部障害		-	-	22.1	12.7	14.6	13.3	14.4	13.9	12.2	16.3	15.1	14.0	16.3	17.4	19.3	14.2	13.5
難病		35.8	27.0	30.4	15.7	18.2	17.6	25.0	22.3	20.2	23.9	22.3	24.4	25.0	28.5	29.9	27.3	24.3
知的障害		37.2	28.1	27.7	19.0	21.0	20.0	24.2	24.6	52.3	29.7	37.3	24.7	27.0	40.0	31.9	28.4	38.7
重度重複		67.6	53.2	50.1	4.6	2.1	4.2	20.4	16.7	62.8	19.1	38.2	16.7	20.8	23.1	41.7	46.5	45.6
発達障害		27.4	17.0	22.3	33.0	35.2	35.8	26.2	26.2	30.1	24.6	29.7	23.0	21.3	27.0	19.6	15.0	19.5
精神障害		23.0	12.4	22.5	32.7	33.1	32.5	26.4	24.5	18.1	29.6	17.2	20.4	20.4	26.6	20.2	13.2	15.0
高次脳機能障害（失語症を含む）		21.0	20.6	20.6	14.6	17.6	16.2	21.6	23.4	-	-	25.0	22.3	27.2	-	19.4	21.3	25.7
その他		-	17.8	19.5	15.6	11.6	15.1	20.0	16.7	11.6	14.8	15.1	13.5	14.8	17.2	21.8	13.7	19.8

問 22 「65歳以上の介護保険サービスの対象の人（40～64歳で特定疾病の人を含みます）」  
 今、あなたは介護保険のサービスを利用していますか。（○は1つ）

「介護保険サービスを利用している」が47.9%と最も多く、次いで「要介護（要支援）認定を受けていないので、介護保険サービスを利用していない」が28.7%、「要介護（要支援）認定を受けているが、介護保険サービスを利用していない」が11.6%の順となっています。

年齢別にみると、40歳以上は「介護保険サービスを利用している」が最も多くなっています。

障害別にみると、内部障害は「要介護（要支援）認定を受けていないので、介護保険サービスを利用していない」、それ以外は「介護保険サービスを利用している」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

区分		回答者数 (件)	介護保険サービスを利用している	要介護（要支援）認定を受けているが、介護保険サービスを利用していない	要介護（要支援）認定を受けていないので、介護保険サービスを利用していない	要介護（要支援）認定を受けて非該当だったので、介護保険サービスを利用していない	その他	無回答
全体		543	47.9	11.6	28.7	3.7	7.9	0.2
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	39	35.9	12.8	33.3	10.3	5.1	2.6
	50歳代	86	54.7	12.8	23.3	2.3	7.0	-
	60歳以上	418	47.6	11.2	29.4	3.3	8.4	-
障害種別	身体障害	45	42.2	8.9	33.3	6.7	8.9	-
	聴覚障害・平衡機能障害	39	48.7	12.8	25.6	5.1	7.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	44	70.5	9.1	15.9	2.3	2.3	-
	肢体不自由	230	63.9	12.6	16.1	1.7	5.2	0.4
	内部障害	84	27.4	9.5	47.6	2.4	13.1	-
	難病	129	60.5	10.1	20.2	3.1	6.2	-
	知的障害	28	53.6	10.7	28.6	3.6	3.6	-
	重度重複	3	33.3	-	66.7	-	-	-
	発達障害	9	44.4	11.1	-	22.2	22.2	-
	精神障害	55	56.4	9.1	20.0	3.6	10.9	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	64	81.3	10.9	-	3.1	3.1	1.6
	その他	54	37.0	16.7	29.6	5.6	11.1	-

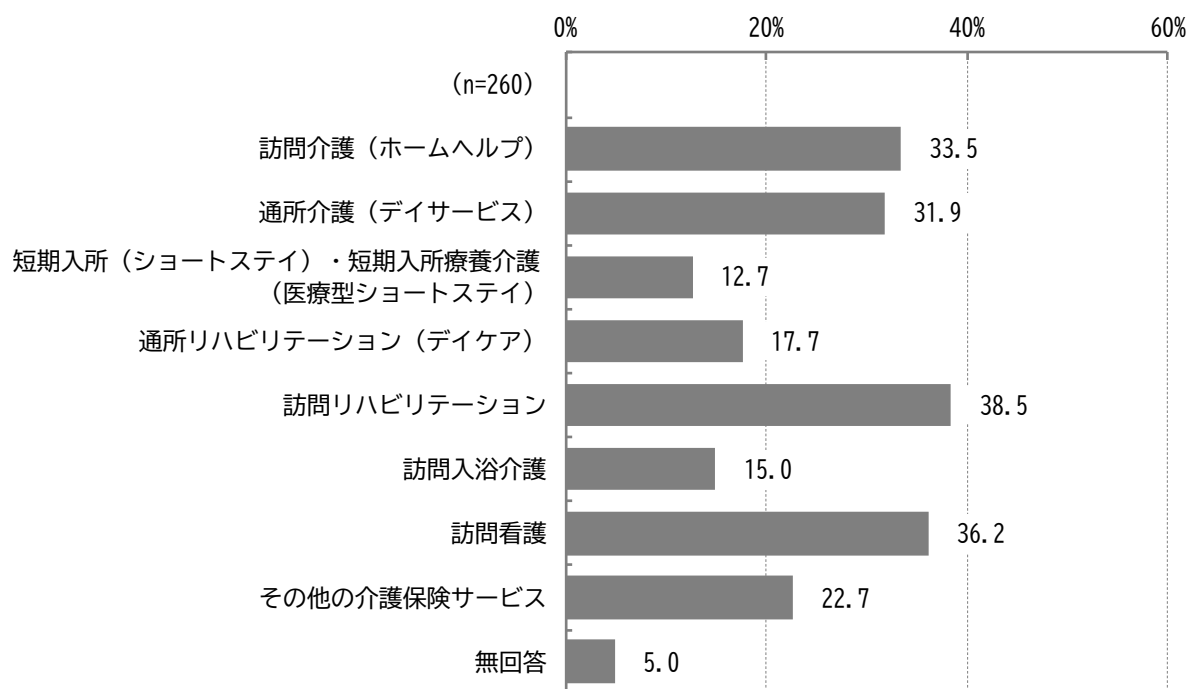
問 23-1 (問 22 で「1. 介護保険サービスを利用している」に○をつけた人)

今、あなたが利用している介護保険のサービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

「訪問リハビリテーション」が 38.5%と最も多く、次いで「訪問看護」が 36.2%、「訪問介護 (ホームヘルプ)」が 33.5%、「通所介護 (デイサービス)」が 31.9%の順となっています。

年齢別にみると、40 歳代は「訪問リハビリテーション」、50 歳代は「訪問介護 (ホームヘルプ)」と「訪問リハビリテーション」、60 歳以上は「訪問リハビリテーション」と「訪問看護」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と聴覚障害・平衡機能障害、肢体不自由、高次脳機能障害 (失語症を含む) は「訪問リハビリテーション」、音声・言語・そしゃく機能障害と内部障害、難病は「訪問看護」、知的障害は「通所介護 (デイサービス)」、精神障害は「訪問介護 (ホームヘルプ)」と「訪問看護」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

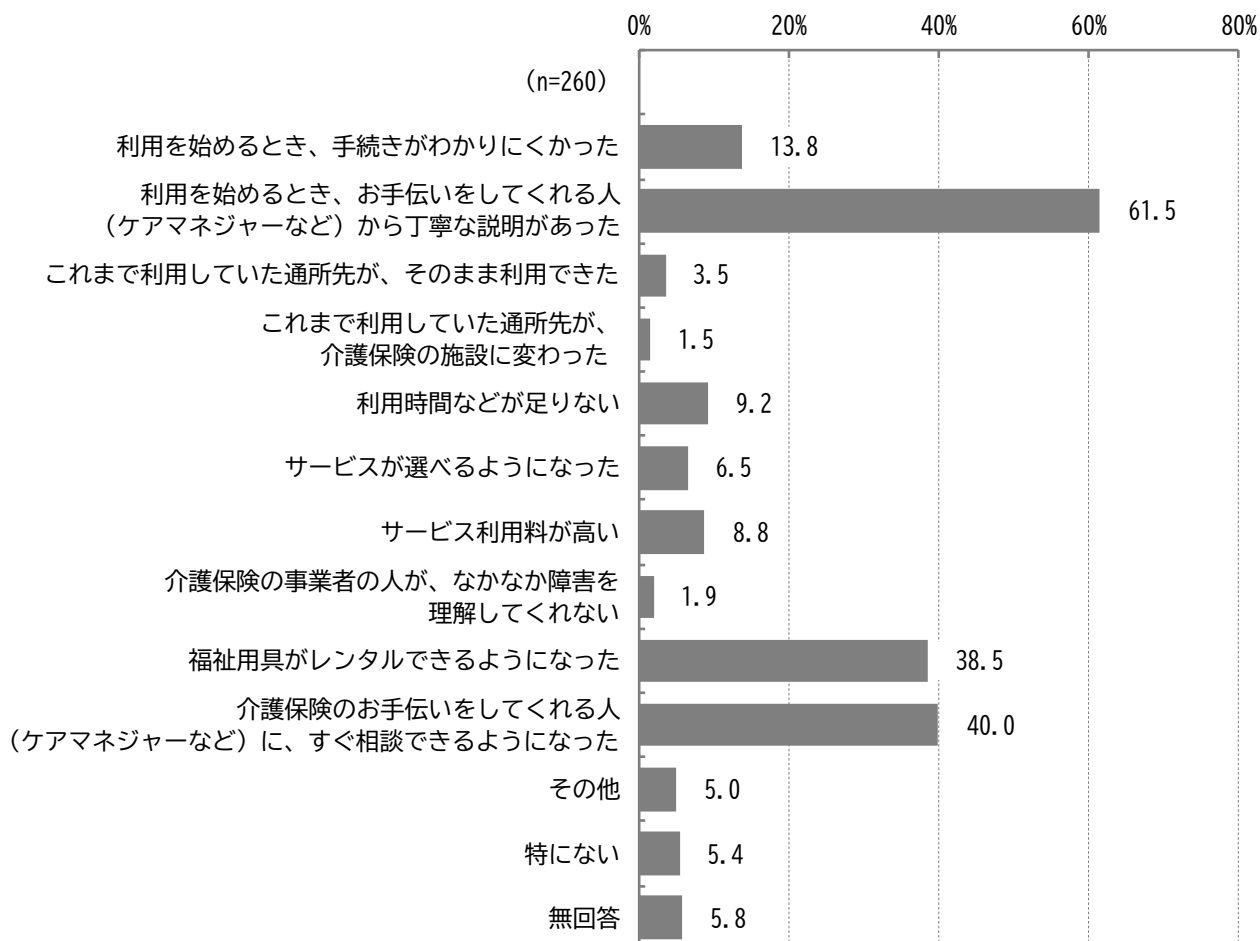
区分		回答者数 (件)	訪問介護 (ホームヘルプ)	通所介護 (デイサービス)	短期入所(ショートステイ) ・短期入所療養介護(医療型 ショートステイ)	通所リハビリテーション (デイケア)	訪問リハビリテーション	訪問入浴介護	訪問看護	その他の介護保険サービス	無回答
全体		260	33.5	31.9	12.7	17.7	38.5	15.0	36.2	22.7	5.0
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	14	28.6	14.3	14.3	21.4	57.1	35.7	35.7	21.4	7.1
	50歳代	47	42.6	25.5	12.8	12.8	42.6	23.4	36.2	34.0	2.1
	60歳以上	199	31.7	34.7	12.6	18.6	36.2	11.6	36.2	20.1	5.5
障害種別	視覚障害	19	31.6	26.3	15.8	26.3	52.6	15.8	26.3	15.8	-
	聴覚障害・平衡機能障害	19	15.8	15.8	5.3	21.1	52.6	26.3	42.1	36.8	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	31	38.7	35.5	16.1	25.8	58.1	35.5	61.3	19.4	3.2
	肢体不自由	147	34.0	32.0	15.6	22.4	49.0	22.4	37.4	23.1	2.7
	内部障害	23	43.5	13.0	4.3	8.7	43.5	26.1	52.2	13.0	-
	難病	78	33.3	33.3	10.3	17.9	43.6	17.9	44.9	28.2	5.1
	知的障害	15	40.0	53.3	6.7	-	26.7	-	26.7	13.3	20.0
	重度重複	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	発達障害	4	50.0	50.0	25.0	-	50.0	-	75.0	25.0	-
	精神障害	31	41.9	32.3	6.5	6.5	9.7	6.5	41.9	12.9	9.7
	高次脳機能障害(失語症を含む)	52	28.8	32.7	17.3	21.2	53.8	19.2	40.4	25.0	1.9
	その他	20	40.0	45.0	5.0	20.0	25.0	5.0	40.0	15.0	5.0

問 23-2 介護保険サービスを利用したときに、どう思いましたか。(〇はいくつでも)

「利用を始めるとき、お手伝いをしてくれる人（ケアマネジャーなど）から丁寧な説明があった」が61.5%と最も多く、次いで「介護保険のお手伝いをしてくれる人（ケアマネジャーなど）に、すぐ相談できるようになった」が40.0%、「福祉用具がレンタルできるようになった」が38.5%、「利用を始めるとき、手続きがわかりにくかった」が13.8%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「利用を始めるとき、お手伝いをしてくれる人（ケアマネジャーなど）から丁寧な説明があった」が最も多くなっています。

障害別にみると、内部障害は「利用を始めるとき、お手伝いをしてくれる人（ケアマネジャーなど）から丁寧な説明があった」と「福祉用具がレンタルできるようになった」、難病は「福祉用具がレンタルできるようになった」、それ以外は「利用を始めるとき、お手伝いをしてくれる人（ケアマネジャーなど）から丁寧な説明があった」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

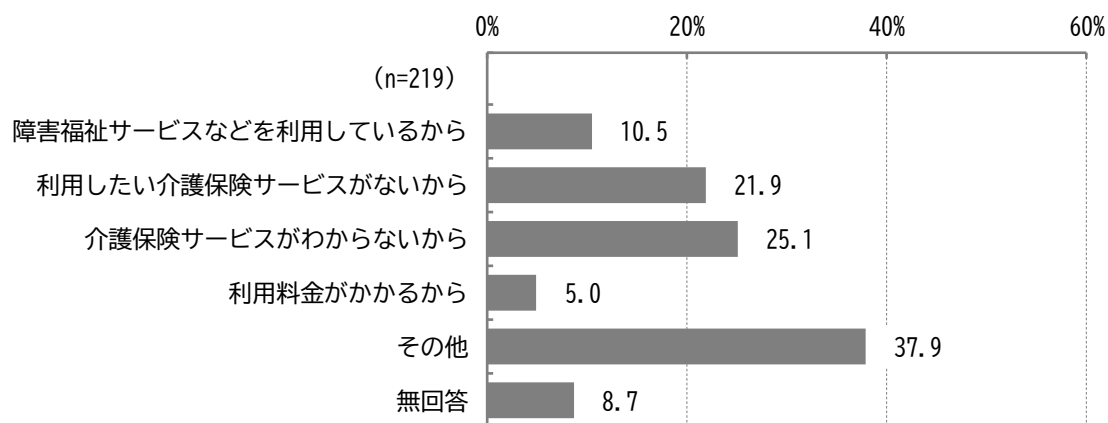
区分	回答者数(件)	利用を始めるとき、手続きがわかりにくかった	利用を始めるとき、お手伝いをしてくれる人(ケアマネジャーなど)から丁寧な説明があった	これまで利用していた通所先が、そのまま利用できた	これまで利用していた通所先が、介護保険の施設に変わった	利用時間などが足りない	サービスが選べるようになった	サービス利用料が高い	介護保険の事業者の人が、なかなか障害を理解してくれない	福祉用具がレンタルできるようになった	介護保険のお手伝いをしてくれる人(ケアマネジャーなど)に、すぐ相談できるようになった	その他	特にない	無回答	
														無回答	
全体	260	13.8	61.5	3.5	1.5	9.2	6.5	8.8	1.9	38.5	40.0	5.0	5.4	5.8	
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40歳代	14	28.6	50.0	-	7.1	14.3	14.3	7.1	7.1	35.7	35.7	-	7.1	14.3
	50歳代	47	8.5	66.0	-	2.1	19.1	8.5	2.1	2.1	46.8	42.6	6.4	8.5	6.4
	60歳以上	199	14.1	61.3	4.5	1.0	6.5	5.5	10.6	1.5	36.7	39.7	5.0	4.5	5.0
障害種別	視覚障害	19	21.1	52.6	5.3	-	21.1	5.3	15.8	5.3	31.6	21.1	-	-	5.3
	聴覚障害・平衡機能障害	19	15.8	73.7	10.5	5.3	10.5	15.8	15.8	5.3	47.4	36.8	-	-	10.5
	音声・言語・そしゃく機能障害	31	6.5	58.1	9.7	3.2	9.7	16.1	3.2	-	48.4	54.8	3.2	3.2	16.1
	肢体不自由	147	11.6	67.3	3.4	2.0	10.9	6.8	9.5	1.4	40.8	38.8	6.8	4.8	5.4
	内部障害	23	4.3	43.5	-	-	8.7	8.7	8.7	-	43.5	34.8	4.3	8.7	8.7
	難病	78	19.2	53.8	5.1	1.3	6.4	9.0	7.7	-	59.0	48.7	6.4	5.1	6.4
	知的障害	15	20.0	46.7	13.3	6.7	-	13.3	13.3	13.3	26.7	26.7	6.7	13.3	-
	重度重複	1	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	発達障害	4	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	25.0	75.0	75.0	-	-	-
	精神障害	31	19.4	48.4	3.2	6.5	9.7	6.5	9.7	-	19.4	45.2	-	6.5	9.7
	高次脳機能障害(失語症を含む)	52	15.4	73.1	1.9	1.9	19.2	3.8	3.8	3.8	30.8	34.6	-	1.9	5.8
	その他	20	25.0	55.0	5.0	-	10.0	15.0	5.0	5.0	40.0	55.0	5.0	5.0	5.0

問 24-1 (問 22 で「2・3 介護保険サービスを利用していない」に○をつけた人)  
 なぜ介護保険サービスを利用しないのですか。(○はいくつでも)

「介護保険サービスがわからないから」が 25.1%と最も多く、次いで「利用したい介護保険サービスがないから」が 21.9%、「障害福祉サービスなどを利用しているから」が 10.5%の順となっています。

年齢別にみると、40 歳代と 50 歳代は「介護保険サービスがわからないから」、60 歳以上は「利用したい介護保険サービスがないから」が多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と知的障害は「障害福祉サービスなどを利用しているから」、音声・言語・そしゃく機能障害と難病、精神障害は「介護保険サービスがわからないから」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

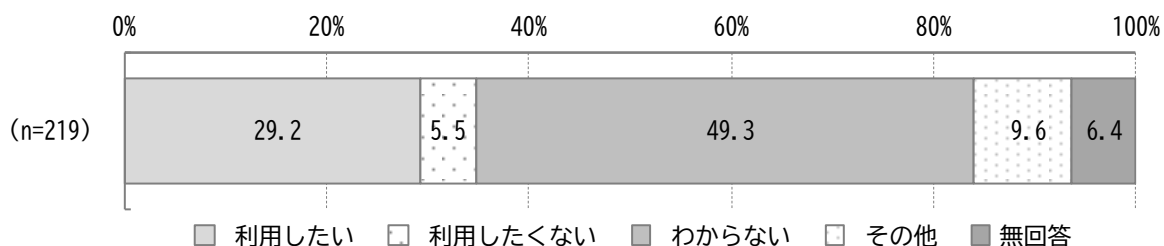
区分	回答者数 (件)	障害福祉サービスなど を利用しているから	利用したい介護保険 サービスがないから	介護保険サービスがわ からないから	利用料金がかかるから	その他	無回答	
全体	219	10.5	21.9	25.1	5.0	37.9	8.7	
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	
	20歳代	-	-	-	-	-	-	
	30歳代	-	-	-	-	-	-	
	40歳代	18	11.1	5.6	27.8	5.6	33.3	27.8
	50歳代	31	6.5	22.6	38.7	12.9	25.8	9.7
	60歳以上	170	11.2	23.5	22.4	3.5	40.6	6.5
障害種別	視覚障害	19	31.6	10.5	15.8	-	31.6	21.1
	聴覚障害・平衡機能障害	15	6.7	33.3	13.3	-	46.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	11	-	27.3	36.4	-	36.4	9.1
	肢体不自由	66	12.1	28.8	25.8	7.6	34.8	4.5
	内部障害	48	10.4	14.6	22.9	6.3	47.9	8.3
	難病	39	2.6	17.9	38.5	5.1	38.5	5.1
	知的障害	11	36.4	-	9.1	9.1	27.3	27.3
	重度重複	2	100.0	-	-	-	-	-
	発達障害	1	-	-	-	-	-	100.0
	精神障害	16	12.5	6.3	31.3	6.3	25.0	25.0
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	7	-	42.9	14.3	28.6	71.4	-
	その他	25	4.0	32.0	8.0	4.0	56.0	12.0

問 24-2 今後、介護保険サービスを利用したいですか。

「わからない」が49.3%と最も多く、次いで「利用したい」が29.2%、「利用したくない」が5.5%の順となっています。

年齢別にみると、40歳以上はいずれも「わからない」が最も多くなっています。

障害別にみると、知的障害は「利用したい」、それ以外（重度重複、発達障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「わからない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

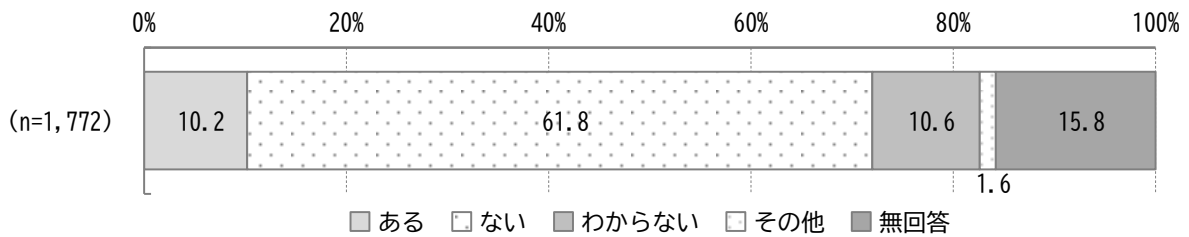
区分		回答者数 (件)	利用したい	利用したくない	わからない	その他	無回答
全体		219	29.2	5.5	49.3	9.6	6.4
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-
	20歳代	-	-	-	-	-	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-
	40歳代	18	16.7	5.6	50.0	16.7	11.1
	50歳代	31	25.8	3.2	48.4	6.5	16.1
	60歳以上	170	31.2	5.9	49.4	9.4	4.1
障害種別	視覚障害	19	26.3	-	52.6	10.5	10.5
	聴覚障害・平衡機能障害	15	26.7	6.7	60.0	6.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	11	36.4	9.1	45.5	-	9.1
	肢体不自由	66	27.3	3.0	51.5	10.6	7.6
	内部障害	48	29.2	4.2	50.0	12.5	4.2
	難病	39	30.8	2.6	48.7	15.4	2.6
	知的障害	11	45.5	9.1	36.4	-	9.1
	重度重複	2	50.0	-	50.0	-	-
	発達障害	1	-	-	100.0	-	-
	精神障害	16	31.3	-	43.8	6.3	18.8
	高次脳機能障害（失語症を含む）	7	42.9	14.3	14.3	28.6	-
その他	25	32.0	12.0	40.0	8.0	8.0	

問 25 区では 65 歳未満の介護保険の対象とならない障害者が、介護保険事業所が提供するデイサービス・ショートステイを利用できるよう「共生型サービス事業所」の開設を進め、利用できるサービスの選択肢を増やしています。あなたは今、年齢が上がったことで食事、歩く、トイレなどの日常動作で困ることがありますか。(〇は1つ)

「ある」が10.2%、「ない」が61.8%、「わからない」が10.6%となっています。

年齢別にみると、いずれも「ない」が最も多くなっていますが、50歳以上は、「ある」の割合が高くなっています。

障害別にみると、重度重複は「ある」、それ以外は「ない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

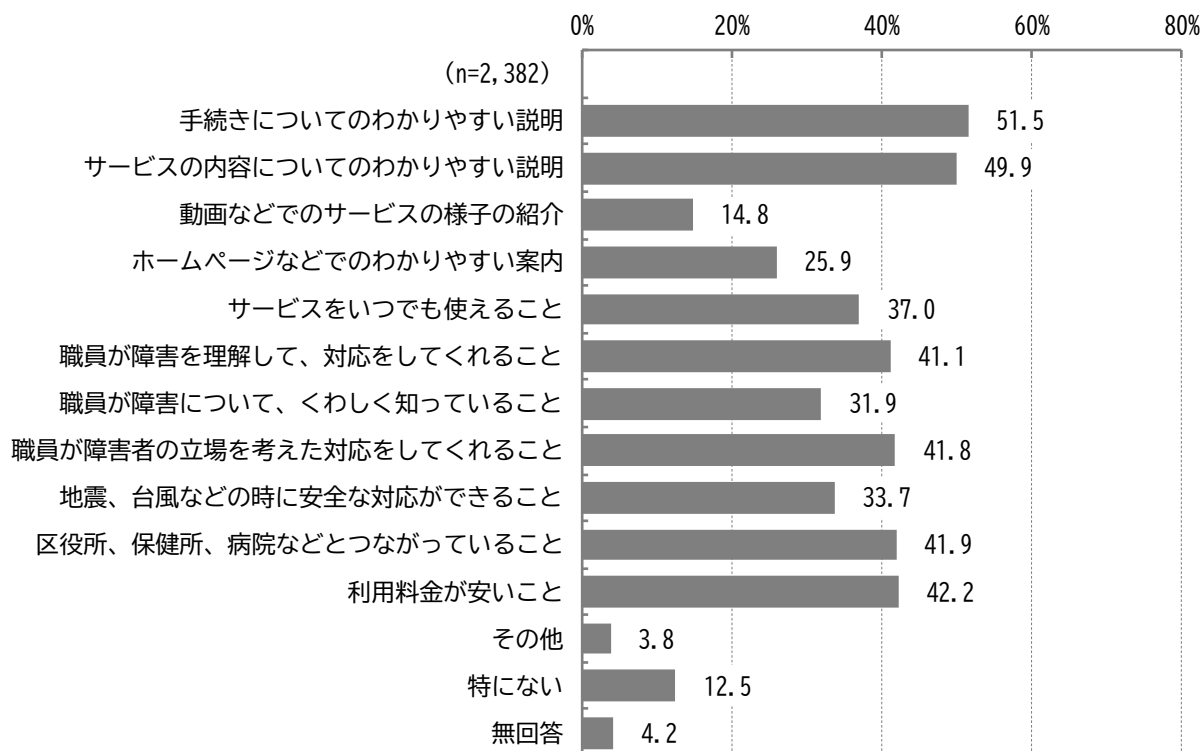
区分		回答者数 (件)	ある	ない	わからない	その他	無回答
全体		1772	10.2	61.8	10.6	1.6	15.8
年齢別	10歳代	29	10.3	51.7	20.7	3.4	13.8
	20歳代	243	9.1	61.3	16.0	0.8	12.8
	30歳代	304	9.5	63.2	10.5	1.0	15.8
	40歳代	258	9.3	64.0	12.4	0.4	14.0
	50歳代	433	12.5	62.4	9.9	2.5	12.7
	60歳以上	492	9.6	61.4	6.9	1.6	20.5
障害種別	視覚障害	122	9.8	67.2	9.8	1.6	11.5
	聴覚障害・平衡機能障害	132	5.3	70.5	8.3	1.5	14.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	44	18.2	54.5	6.8	4.5	15.9
	肢体不自由	480	21.7	44.4	14.0	3.3	16.7
	内部障害	381	6.6	74.3	8.7	1.3	9.2
	難病	245	12.2	60.0	9.4	2.0	16.3
	知的障害	277	15.5	42.2	13.4	2.2	26.7
	重度重複	62	43.5	11.3	25.8	4.8	14.5
	発達障害	165	6.7	62.4	14.5	0.6	15.8
	精神障害	287	8.0	66.2	11.8	1.4	12.5
	高次脳機能障害(失語症を含む)	48	10.4	39.6	14.6	2.1	33.3
その他	105	13.3	59.0	7.6	3.8	16.2	

問 26 あなたが、障害福祉サービスの事業者へのぞむことはなんですか。(〇はいくつでも)

「手続きについてのわかりやすい説明」が 51.5%と最も多く、次いで「サービスの内容についてのわかりやすい説明」が 49.9%、「利用料金が安いこと」が 42.2%、「区役所、保健所、病院などにつながっていること」が 41.9%の順となっています。

年齢別にみると、10 歳代は「職員が障害者の立場を考えた対応をしてくれること」、20 歳代は「手続きについてのわかりやすい説明」と「職員が障害を理解して、対応をしてくれること」、30 歳代から 50 歳代は「手続きについてのわかりやすい説明」、60 歳以上は「サービスの内容についてのわかりやすい説明」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由は「サービスの内容についてのわかりやすい説明」、知的障害と重度重複は「職員が障害者の立場を考えた対応をしてくれること」、高次脳機能障害（失語症を含む）は「手続きについてのわかりやすい説明」と「職員が障害者の立場を考えた対応をしてくれること」、それ以外は「手続きについてのわかりやすい説明」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

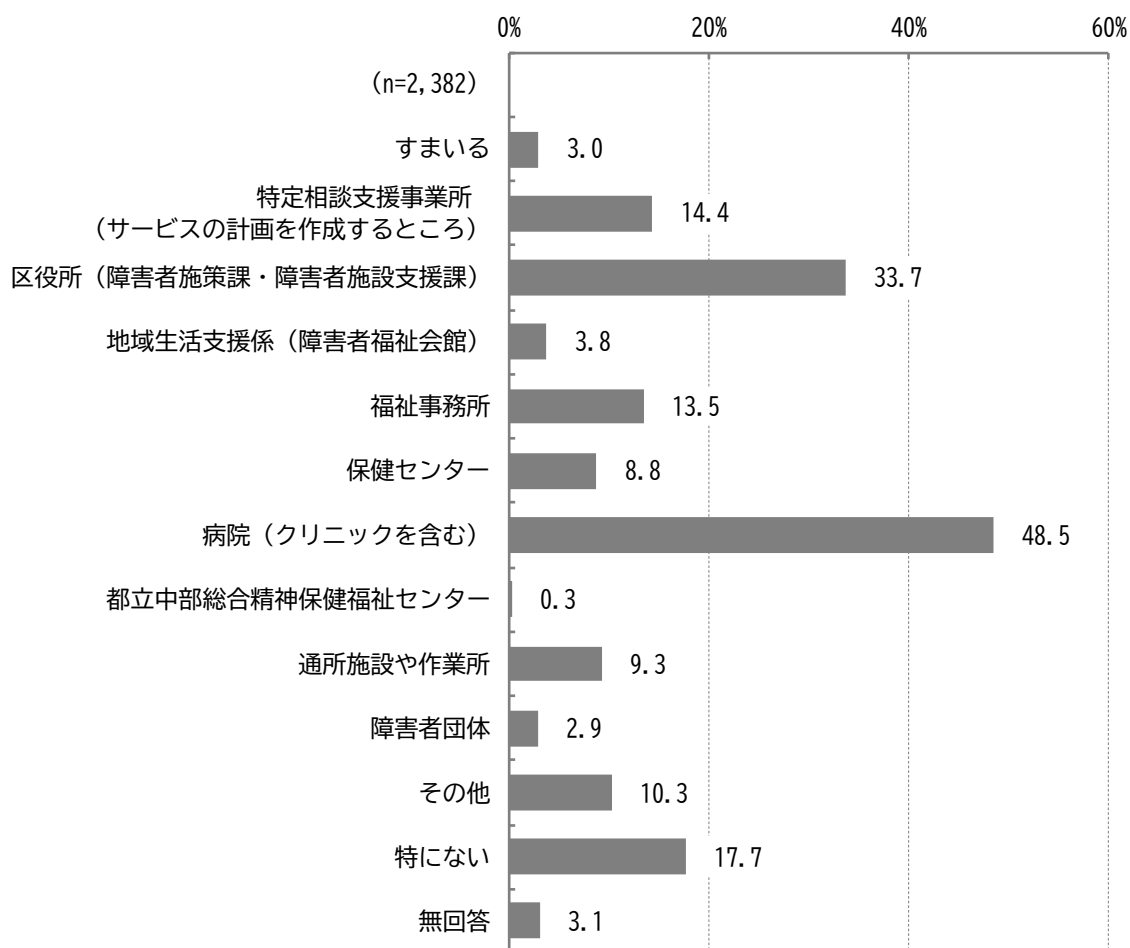
区分		回答者数(件)	手続きについての わかりやすい説明	サービスの内容についての わかりやすい説明	動画などのサービスの 様子の紹介	ホームページなどの わかりやすい案内	サービスをいつでも使える こと	職員が障害を理解して、 対応してくれること	職員が障害について、 くわしく知っていること	職員が障害者の方を考 え、対応してくれること	地震・台風などの時に 安全な対応ができること	区役所、保健所、病院など とつながっていること	利用料金が安いこと	その他	特にな い	無回 答
全体		2382	51.5	49.9	14.8	25.9	37.0	41.1	31.9	41.8	33.7	41.9	42.2	3.8	12.5	4.2
年齢別	10歳代	30	63.3	63.3	26.7	40.0	60.0	63.3	53.3	66.7	56.7	60.0	53.3	3.3	0.0	0.0
	20歳代	249	59.4	54.2	24.5	34.1	49.4	59.4	44.6	55.8	37.8	48.2	46.2	5.6	7.6	1.6
	30歳代	307	59.9	58.3	17.3	35.5	44.6	55.7	39.7	53.4	39.7	53.1	45.9	3.9	7.2	2.3
	40歳代	298	54.7	53.0	18.1	32.9	39.9	46.6	34.9	46.6	35.2	39.9	45.6	4.0	9.4	5.0
	50歳代	519	52.8	50.1	11.6	27.6	35.5	39.5	32.6	41.2	33.7	41.4	43.9	3.7	14.1	4.0
	60歳以上	914	44.7	45.1	11.7	17.1	30.4	29.5	23.5	32.1	28.9	36.5	37.9	2.8	16.3	5.4
障害種別	身体障害	170	50.0	52.9	10.0	23.5	38.2	48.2	31.2	47.6	37.1	36.5	40.6	5.3	10.0	4.1
	聴覚障害・平衡機能障害	172	55.8	54.1	20.9	33.1	39.0	52.9	37.2	48.3	43.0	45.3	40.1	4.7	6.4	4.1
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	44.1	47.3	9.7	17.2	37.6	40.9	30.1	39.8	32.3	44.1	30.1	5.4	11.8	5.4
	肢体不自由	730	43.8	45.5	11.2	22.3	39.3	38.8	29.6	40.4	34.0	39.2	37.5	3.8	13.3	3.8
	内部障害	476	51.5	50.4	14.3	25.8	34.0	31.9	26.5	34.5	31.7	39.5	46.0	3.6	15.8	3.6
	難病	382	52.1	51.6	15.2	26.4	40.1	39.5	31.9	38.5	32.7	45.3	46.3	3.9	11.5	3.4
	知的障害	312	58.0	59.3	20.8	29.2	55.1	64.4	51.3	67.0	48.1	55.1	41.7	3.2	6.4	5.1
	重度重複	66	51.5	57.6	21.2	31.8	65.2	77.3	59.1	81.8	63.6	63.6	33.3	4.5	3.0	3.0
	発達障害	185	67.0	63.2	27.0	38.9	47.0	64.3	49.7	61.6	35.1	55.7	54.6	5.4	3.8	2.2
	精神障害	355	60.3	55.8	15.8	31.0	38.6	51.5	42.3	52.1	34.1	51.3	50.4	5.9	9.3	2.5
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	50.0	47.4	16.4	18.1	44.0	44.0	35.3	50.0	30.2	41.4	42.2	2.6	7.8	7.8
	その他	164	48.8	48.2	13.4	22.0	28.0	34.8	28.0	35.4	29.9	37.2	36.0	6.7	14.0	6.1

問 27 あなたが困ったとき、相談するところはどこですか。(〇はいくつでも)

「病院（クリニックを含む）」が48.5%と最も多く、次いで「区役所（障害者施策課・障害者施設支援課）」が33.7%、「特定相談支援事業所（サービスの計画を作成するところ）」が14.4%、「福祉事務所」が13.5%の順となっており、「特にない」は17.7%となっています。

年齢別にみると、10歳代は「区役所（障害者施策課・障害者施設支援課）」と「病院（クリニックを含む）」、20歳以上は「病院（クリニックを含む）」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と聴覚障害・平衡機能障害は「区役所（障害者施策課・障害者施設支援課）」、知的障害は「特定相談支援事業所（サービスの計画を作成するところ）」、重度重複は「通所施設や作業所」、それ以外は「病院（クリニックを含む）」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

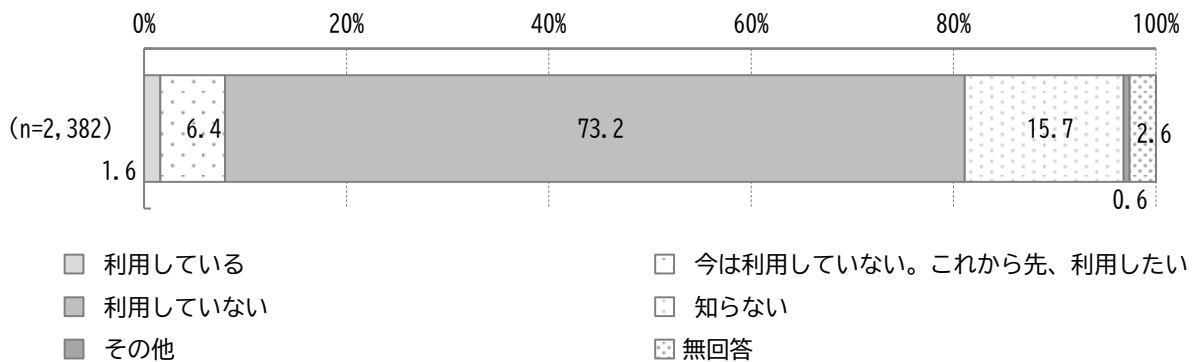
区分		回答者数 (件)	すまいる	特定相談支援事業所 (サービスの計画を作成する中心)	区役所 (障害者施策課・障害者施設支援課)	地域生活支援係 (障害者福祉会館)	福祉事務所	保健センター	病院 (クリニックを含む)	都立中部総合精神保健福祉センター	通所施設や作業所	障害者団体	その他	特にない	無回答
全体		2382	3.0	14.4	33.7	3.8	13.5	8.8	48.5	0.3	9.3	2.9	10.3	17.7	3.1
年齢別	10歳代	30	0.0	40.0	46.7	3.3	13.3	6.7	46.7	0.0	16.7	3.3	13.3	10.0	0.0
	20歳代	249	4.0	30.9	30.5	1.2	8.4	10.4	51.4	0.0	23.3	4.8	16.1	12.4	1.2
	30歳代	307	4.2	22.8	30.0	2.0	9.1	11.1	49.8	0.3	21.2	2.9	12.4	15.6	1.0
	40歳代	298	4.0	11.4	32.6	2.0	12.8	9.4	48.7	0.0	10.4	3.0	8.1	18.5	2.7
	50歳代	519	3.7	7.5	37.6	4.2	13.9	9.4	49.5	0.4	5.6	2.1	8.7	20.4	2.9
	60歳以上	914	1.3	10.5	33.8	5.6	16.2	7.2	47.4	0.4	3.0	2.7	9.7	18.1	4.7
障害種別	視覚障害	170	2.4	15.9	39.4	7.1	22.9	3.5	35.9	0.6	8.8	8.8	10.6	22.4	2.4
	聴覚障害・平衡機能障害	172	1.7	7.6	43.6	7.6	11.0	4.1	40.1	0.0	5.8	6.4	9.9	22.1	3.5
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	1.1	21.5	34.4	4.3	10.8	6.5	46.2	1.1	11.8	5.4	15.1	10.8	2.2
	肢体不自由	730	2.1	19.3	38.1	4.4	13.0	5.1	39.6	0.1	10.8	3.2	11.6	19.3	2.9
	内部障害	476	0.8	5.5	38.2	2.9	12.8	5.7	59.0	0.0	3.2	1.3	4.8	21.2	1.9
	難病	382	1.6	10.7	28.3	3.4	11.8	16.5	60.2	0.3	4.2	2.9	11.3	13.9	3.7
	知的障害	312	5.4	45.5	35.6	2.9	10.9	4.8	37.5	0.3	43.3	5.1	13.1	8.0	3.5
	重度重複	66	1.5	59.1	43.9	1.5	12.1	4.5	40.9	0.0	63.6	4.5	7.6	7.6	3.0
	発達障害	185	8.1	25.4	25.9	2.7	10.8	18.4	55.7	1.1	21.6	4.9	16.8	11.4	0.5
	精神障害	355	6.5	9.9	20.0	2.0	16.3	25.1	61.4	1.4	10.7	0.8	16.1	11.5	3.1
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	116	2.6	17.2	27.6	11.2	10.3	3.4	34.5	0.9	10.3	3.4	23.3	10.3	6.0
	その他	164	3.7	8.5	31.7	3.7	17.1	7.9	53.0	0.0	9.1	3.0	16.5	14.6	3.0

問 28 あなたは「成年後見制度」を利用していますか。(○は1つ)

「利用していない」が73.2%と最も多く、次いで「知らない」が15.7%、「今は利用していない。これから先、利用したい」が6.4%、「利用している」が1.6%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「利用していない」が最も多くなっていますが、10歳代は「今は利用していない。これから先、利用したい」の割合が高くなっています。

障害別にみると、いずれも「利用していない」が最も多くなっていますが、知的障害と重度重複、発達障害は「今は利用していない。これから先、利用したい」の割合が高くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数(件)	利用している	今は利用していない。これから先、利用したい	利用していない	知らない	その他	無回答
全体		2382	1.6	6.4	73.2	15.7	0.6	2.6
年齢別	10歳代	30	3.3	23.3	56.7	16.7	-	-
	20歳代	249	1.2	14.9	64.7	18.5	0.8	-
	30歳代	307	1.0	9.4	71.7	16.3	-	1.6
	40歳代	298	2.3	5.0	71.1	18.8	-	2.7
	50歳代	519	1.7	3.9	75.7	15.4	1.0	2.3
	60歳以上	914	1.4	3.7	76.8	13.6	0.7	3.8
障害種別	身体障害							
	視覚障害	170	1.8	2.9	77.6	14.1	-	3.5
	聴覚障害・平衡機能障害	172	1.7	5.2	71.5	18.6	-	2.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	4.3	8.6	72.0	11.8	1.1	2.2
	肢体不自由	730	2.1	7.1	73.3	13.7	1.1	2.7
	内部障害	476	0.4	2.5	78.2	16.0	0.4	2.5
	難病	382	1.6	4.7	76.7	13.4	0.3	3.4
	知的障害	312	5.4	22.1	61.2	8.7	0.3	2.2
	重度重複	66	6.1	22.7	65.2	3.0	-	3.0
	発達障害	185	2.2	14.1	67.6	14.1	0.5	1.6
	精神障害	355	1.7	7.9	64.5	23.4	1.1	1.4
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	6.0	2.6	66.4	20.7	0.9	3.4
	その他	164	1.2	6.1	67.7	20.1	1.8	3.0

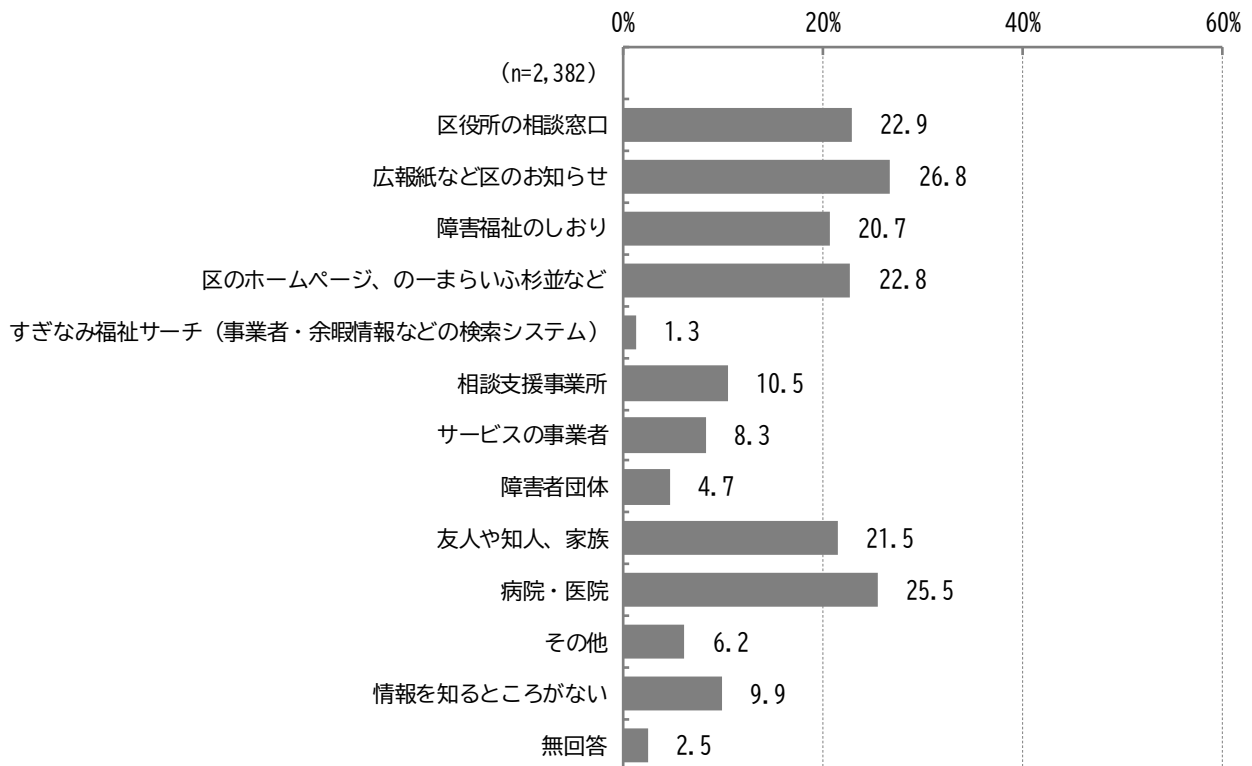
## (6) 情報の入手やコミュニケーションについて

問 29 あなたは、福祉サービスの情報などを何で知りますか。(〇はいくつでも)

「広報紙など区のお知らせ」が26.8%と最も多く、次いで「病院・医院」が25.5%、「区役所の相談窓口」が22.9%、「区のホームページ、の一まらいふ杉並など」が22.8%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代から30歳代は「友人や知人、家族」、40歳代と50歳代は「区のホームページ、の一まらいふ杉並など」、60歳以上は「広報紙など区のお知らせ」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と知的障害、発達障害は「友人や知人、家族」、聴覚障害・平衡機能障害と肢体不自由、高次脳機能障害（失語症を含む）は「広報紙など区のお知らせ」、音声・言語・そしゃく機能障害は「区役所の相談窓口」、内部障害と難病、精神障害は「病院・医院」、重度重複は「相談支援事業所」と「友人や知人、家族」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

区分		回答者数 (件)	区役所の相談窓口	広報紙など区のお知らせ	障害福祉のしおり	区のホームページ、 のーまらいふ杉並など	すぎなみ福祉サーチ(事業者・ 余暇情報などの検索システム)	相談支援事業所	サービスの事業者	障害者団体	友人や知人、家族	病院・医院	その他	情報を知るところがない	無回答
全体		2382	22.9	26.8	20.7	22.8	1.3	10.5	8.3	4.7	21.5	25.5	6.2	9.9	2.5
年齢別	10歳代	30	16.7	10.0	20.0	23.3	3.3	33.3	10.0	3.3	66.7	20.0	3.3	3.3	0.0
	20歳代	249	17.7	19.3	16.9	20.5	2.8	22.9	13.7	10.4	41.8	20.5	7.2	16.5	0.8
	30歳代	307	23.5	24.1	17.9	25.4	1.3	16.3	12.4	5.2	27.0	23.1	5.9	10.1	1.6
	40歳代	298	23.2	19.8	18.1	26.8	1.0	11.1	6.0	5.0	19.8	23.5	6.7	14.1	2.7
	50歳代	519	26.2	26.0	24.3	28.3	1.0	6.9	5.8	3.9	15.2	27.0	8.5	9.2	1.9
	60歳以上	914	22.3	33.7	21.7	18.5	1.1	6.2	6.9	3.4	16.2	27.6	4.7	7.0	3.6
障害種別	身体障害	170	27.6	26.5	18.2	18.2	0.6	13.5	7.6	9.4	30.0	18.8	5.3	12.4	1.8
	視覚障害	172	26.2	34.3	31.4	29.7	2.3	6.4	5.8	6.4	23.8	20.9	5.2	4.1	2.9
	聴覚障害・平衡機能障害	93	25.8	20.4	21.5	16.1	3.2	12.9	15.1	8.6	24.7	24.7	5.4	9.7	2.2
	音声・言語・そしゃく機能障害	730	23.2	26.7	25.3	22.3	1.2	12.5	11.1	5.6	21.8	19.3	6.2	9.0	3.0
	肢体不自由	476	25.4	31.7	24.4	30.7	0.4	2.5	4.8	2.1	13.4	33.6	5.3	8.0	1.7
	内部障害	382	20.9	27.0	20.7	25.7	0.8	7.3	6.8	3.1	21.7	33.2	8.9	8.4	1.8
	難病	312	17.9	24.0	24.7	16.3	2.6	37.5	19.6	13.8	44.6	10.6	5.1	7.1	4.2
	知的障害	66	12.1	33.3	31.8	19.7	1.5	48.5	21.2	22.7	48.5	13.6	0.0	3.0	3.0
	重度重複	185	16.8	17.3	15.1	14.1	2.2	23.8	10.8	8.6	30.8	25.9	8.1	16.8	1.6
	発達障害	355	18.3	19.4	11.3	19.4	2.0	7.6	6.2	2.8	18.3	36.6	10.4	15.2	1.4
	精神障害	116	20.7	22.4	16.4	16.4	1.7	11.2	15.5	6.0	19.0	16.4	13.8	11.2	5.2
高次脳機能障害(失語症を含む)	164	20.1	22.6	17.1	17.1	1.2	11.0	7.3	3.0	17.7	34.1	9.1	6.7	3.7	
その他															

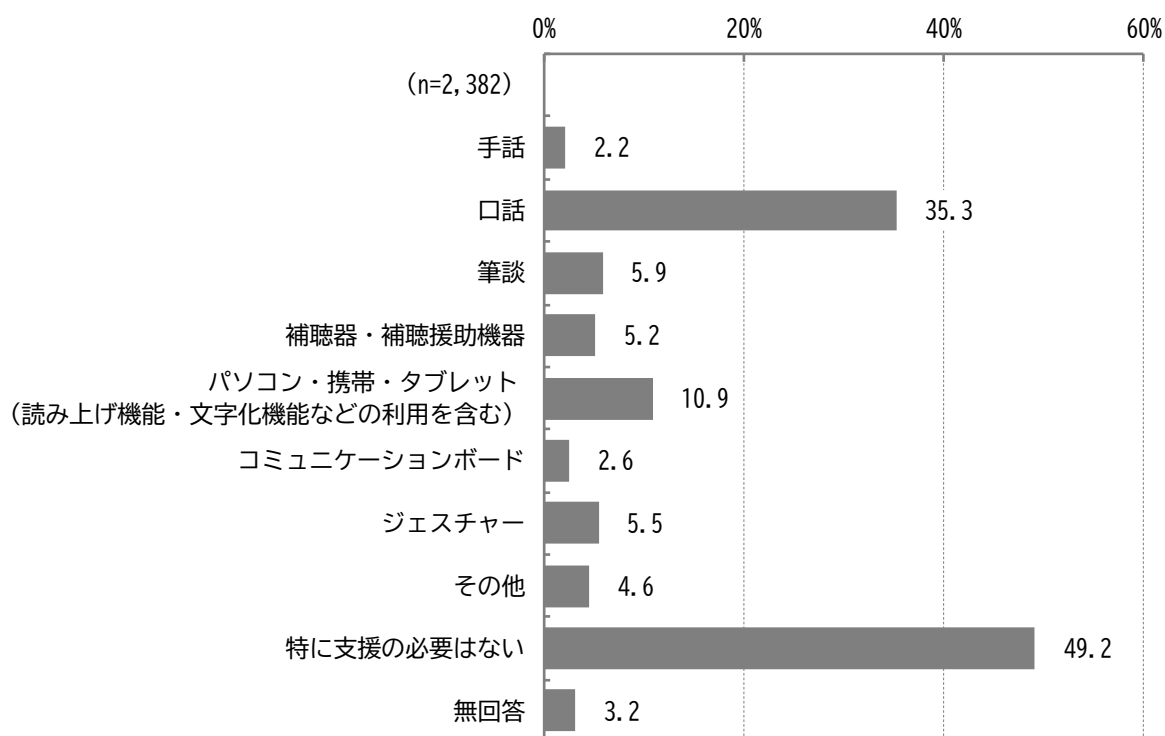
問 30 あなたは、家族や友達、作業所の職員などとコミュニケーションをとるときに、どのような方法をとりますか。(〇はいくつでも)

### ①手段

「特に支援の必要はない」が49.2%と最も多く、次いで「口話」が35.3%、「パソコン・携帯・タブレット（読み上げ機能・文字化機能などの利用を含む）」が10.9%、「筆談」が5.9%、「ジェスチャー」が5.5%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代と20歳代は「口話」が、30歳代から60歳以上は「特に支援の必要はない」が最も多くなっています。

障害別にみると、聴覚障害・平衡機能障害は「補聴器・補聴援助機器」、音声・言語・そしゃく機能障害は「筆談」、重度重複は「ジェスチャー」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

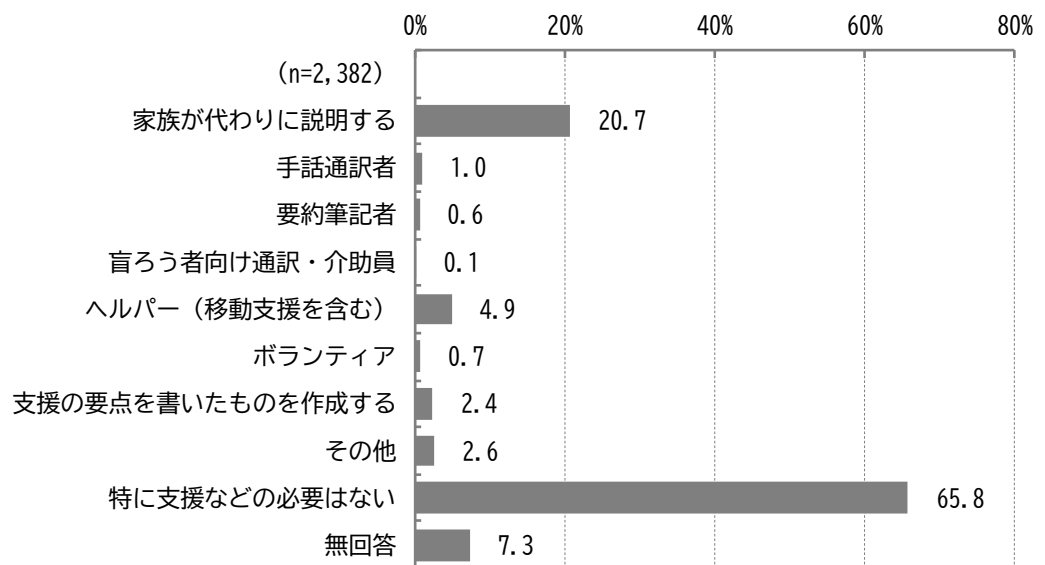
区分		回答者数 (件)	手話	口話	筆談	補聴器・補聴援助機器	パソコン・携帯・タブレット 文字化機能などの利用を含む	コミュニケーションボード	ジェスチャー	その他	特に支援の必要はない	無回答
全体		2382	2.2	35.3	5.9	5.2	10.9	2.6	5.5	4.6	49.2	3.2
年齢別	10歳代	30	6.7	33.3	-	-	3.3	6.7	26.7	16.7	30.0	3.3
	20歳代	249	5.2	48.2	6.0	6.8	10.4	5.6	12.0	10.0	35.3	2.8
	30歳代	307	5.2	40.4	8.8	6.8	12.4	3.6	9.8	7.2	46.6	1.3
	40歳代	298	2.3	34.9	5.4	3.7	10.7	3.4	6.0	3.7	52.3	3.4
	50歳代	519	1.5	35.5	3.7	3.3	10.2	1.5	3.1	2.3	54.9	2.5
	60歳以上	914	0.8	30.6	6.8	6.2	11.5	1.6	2.6	3.1	50.7	3.8
障害種別	視覚障害	170	0.6	43.5	1.2	1.8	15.3	2.4	0.6	4.1	44.1	2.9
	聴覚障害・平衡機能障害	172	27.9	47.1	40.1	62.8	37.2	14.5	22.7	4.1	7.0	1.2
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	2.2	31.2	36.6	1.1	24.7	11.8	15.1	8.6	12.9	3.2
	肢体不自由	730	0.3	32.7	2.9	1.1	9.6	2.3	6.3	6.4	50.3	3.4
	内部障害	476	-	30.5	1.3	1.9	7.1	0.4	1.3	2.5	62.0	1.7
	難病	382	0.3	33.2	2.6	3.4	10.2	2.1	2.9	5.2	52.6	2.9
	知的障害	312	2.6	44.2	5.1	3.2	4.8	5.8	18.6	16.7	24.4	5.4
	重度重複	66	6.1	15.2	6.1	3.0	1.5	9.1	37.9	42.4	9.1	6.1
	発達障害	185	2.7	51.4	5.9	1.6	12.4	2.7	7.6	7.0	35.1	2.7
	精神障害	355	0.6	40.0	3.4	1.1	10.7	1.4	3.1	3.4	51.8	2.5
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	0.9	50.0	9.5	0.9	8.6	1.7	11.2	10.3	25.9	6.0
	その他	164	1.2	33.5	6.1	2.4	11.0	3.0	4.3	6.1	51.2	3.7

## ②支援

「特に支援などの必要はない」が 65.8%と最も多く、次いで「家族が代わりに説明する」が 20.7%、「ヘルパー（移動支援を含む）」が 4.9%、「支援の要点を書いたものを作成する」が 2.4%、「手話通訳者」が 1.0%の順となっています。

年齢別にみると、10 歳代は「家族が代わりに説明する」、それ以外は「特に支援などの必要はない」が最も多くなっています。

障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害と知的障害、重度重複、高次脳機能障害（失語症を含む）は「家族が代わりに説明する」、視覚障害と聴覚障害・平衡機能障害、肢体不自由、内部障害、難病発達障害、精神障害は「特に支援などの必要はない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

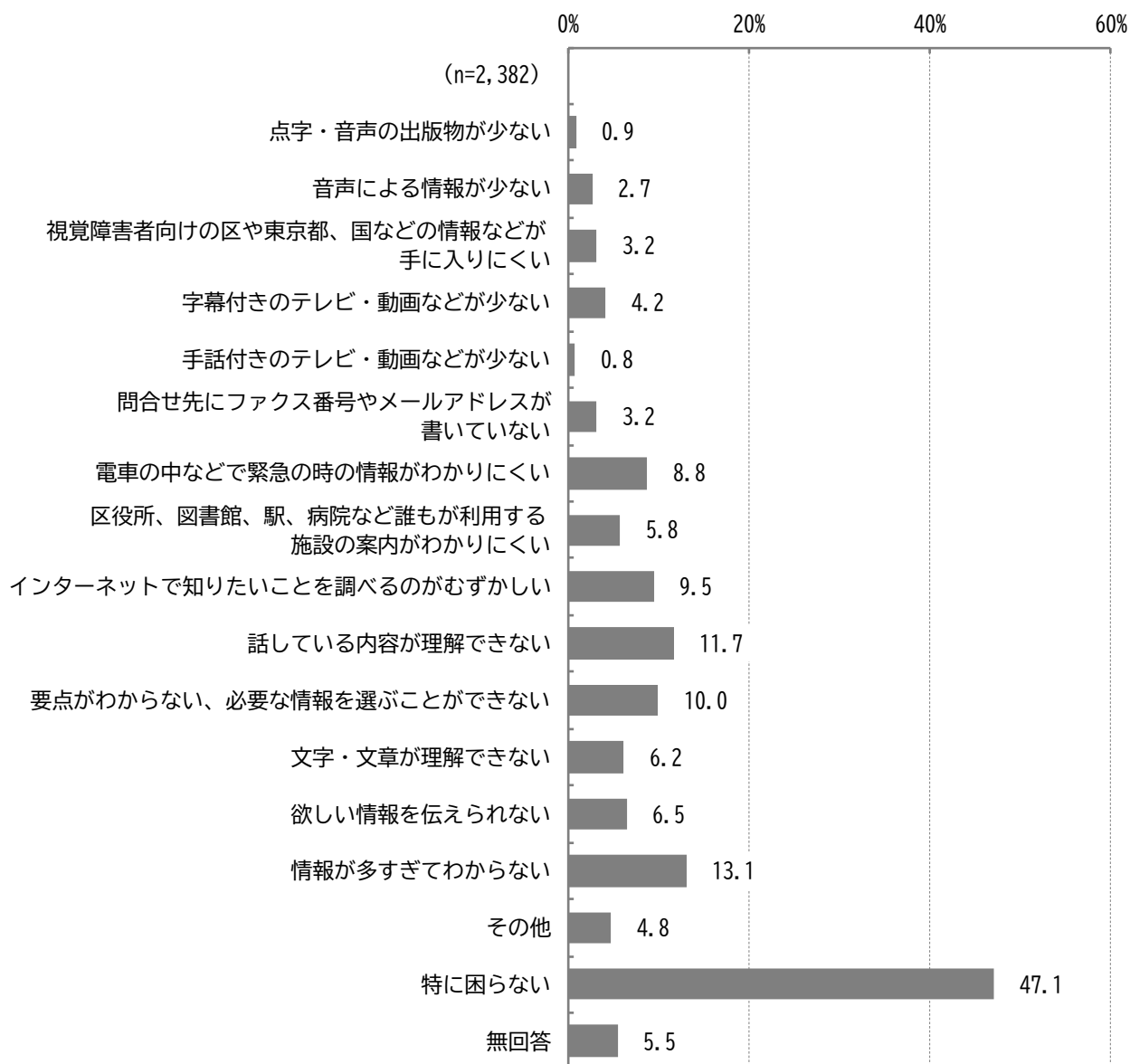
区分		回答者数 (件)	家族が代わりに 説明する	手話通訳者	要約筆記者	介助員 盲ろう者向け通訳・	ヘルパー（移動支援を 含む）	ボランティア	支援の要点を書いた ものを作成する	その他	特に支援などの必要は ない	無回答
全体		2382	20.7	1.0	0.6	0.1	4.9	0.7	2.4	2.6	65.8	7.3
年齢別	10歳代	30	73.3	-	-	-	6.7	-	3.3	-	26.7	-
	20歳代	249	42.6	1.6	0.8	-	6.8	0.8	3.6	4.0	50.2	1.6
	30歳代	307	29.3	1.6	1.0	0.3	7.5	0.3	4.6	2.0	61.9	2.9
	40歳代	298	15.8	1.0	0.3	-	6.7	0.7	2.3	3.0	68.8	8.4
	50歳代	519	12.3	1.0	1.0	-	3.5	1.0	1.5	2.3	76.7	6.0
	60歳以上	914	16.3	0.7	0.3	0.1	3.5	0.5	1.6	2.4	66.4	10.6
障害種別	視覚障害	170	20.0	0.6	-	0.6	8.8	2.4	1.2	1.8	60.6	8.2
	聴覚障害・平衡機能障害	172	33.7	12.8	7.0	-	4.7	1.7	5.2	9.9	35.5	8.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	47.3	1.1	1.1	-	12.9	2.2	6.5	4.3	35.5	3.2
	肢体不自由	730	22.7	-	-	-	6.4	0.4	1.9	2.1	64.2	8.1
	内部障害	476	7.8	-	-	-	1.7	-	1.1	0.8	85.3	4.8
	難病	382	18.1	-	0.3	-	4.5	0.8	1.6	1.8	72.5	5.5
	知的障害	312	69.2	-	-	-	18.6	1.3	4.5	4.8	17.3	7.1
	重度重複	66	90.9	-	-	-	21.2	-	4.5	1.5	6.1	1.5
	発達障害	185	40.5	-	1.1	-	8.1	2.2	7.6	4.9	44.9	5.4
	精神障害	355	14.1	-	0.3	-	2.8	1.1	4.5	3.7	70.4	7.6
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	44.0	-	0.9	-	8.6	0.9	1.7	6.0	37.1	10.3
	その他	164	15.9	0.6	-	0.6	7.3	1.8	1.8	4.3	64.0	11.6

問 31-1 あなたがいろいろな情報を知るのに困ることはなんですか。(〇は3つまで)

「特に困らない」が47.1%と最も多く、次いで「情報が多すぎてわからない」が13.1%、「話している内容が理解できない」が11.7%、「要点がわからない、必要な情報を選ぶことができない」が10.0%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代と20歳代は「話している内容が理解できない」、30歳代から60歳以上は「特に困らない」が最も多くなっています。

障害別にみると、知的障害と発達障害、高次脳機能障害（失語症を含む）は「話している内容が理解できない」、視覚障害は「視覚障害者向けの区や東京都、国などの情報などが手に入りにくい」、聴覚障害・平衡機能障害は「字幕付きのテレビ・動画などが少ない」と「電車の中などで緊急の時の情報がわかりにくい」、重度重複は「文字・文章が理解できない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

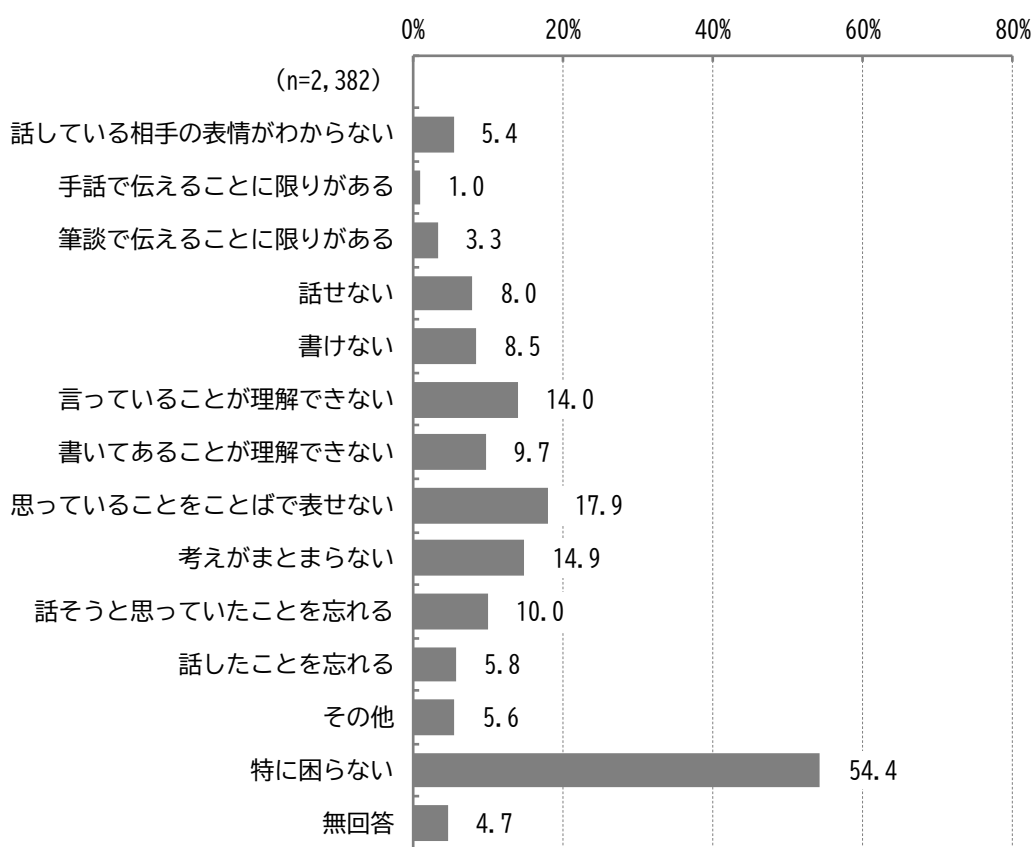
区分		回答者数(件)	点字・音声の出版物が少ない	音声による情報が少ない	視覚障害者向けの区や東京都、国などの情報が手に入りにくい	字幕付きのテレビ・動画などが少ない	手話付きのテレビ・動画などが少ない	問合せ先にファクス番号やメールアドレスが書いていない	電車の中などで緊急時の情報がわかりにくい	区役所、図書館、駅、病院など誰もが利用する施設の案内がわかりにくい
全体		2382	0.9	2.7	3.2	4.2	0.8	3.2	8.8	5.8
年齢別	10歳代	30	-	6.7	-	-	-	-	10.0	3.3
	20歳代	249	0.4	0.4	2.8	6.8	0.8	4.8	13.3	3.6
	30歳代	307	0.7	2.0	3.6	6.8	1.6	4.9	13.7	6.2
	40歳代	298	1.0	2.7	4.4	3.0	-	3.4	6.0	6.7
	50歳代	519	0.4	2.1	2.3	2.5	1.3	3.1	7.5	5.8
	60歳以上	914	1.3	3.7	3.4	3.9	0.4	2.4	6.9	5.9
障害種別	身体障害	170	11.2	27.1	33.5	3.5	-	1.2	12.9	10.0
	聴覚障害・平衡機能障害	172	1.7	4.7	2.9	43.6	8.1	18.6	43.6	7.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	-	2.2	2.2	1.1	-	8.6	5.4	4.3
	肢体不自由	730	0.3	1.4	1.2	1.6	-	2.5	4.1	5.6
	内部障害	476	-	0.4	0.6	1.1	0.2	1.3	5.3	4.4
	難病	382	0.3	1.6	2.6	1.8	-	1.8	6.0	5.5
	知的障害	312	0.3	-	0.3	1.3	0.6	2.2	11.5	6.1
	重度重複	66	-	-	1.5	-	-	-	6.1	-
	発達障害	185	1.1	2.2	1.1	3.8	-	4.3	11.9	7.6
	精神障害	355	0.3	0.8	1.7	2.3	0.6	3.1	6.5	7.0
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	0.9	4.3	3.4	4.3	0.9	2.6	2.6	7.8
その他	164	1.2	1.8	2.4	1.8	0.6	1.2	9.8	7.3	
区分		9.5	11.7	10.0	6.2	6.5	13.1	4.8	47.1	5.5
年齢別	10歳代	13.3	43.3	30.0	30.0	20.0	6.7	3.3	26.7	-
	20歳代	8.8	30.5	22.9	14.1	14.9	22.9	4.4	26.1	3.2
	30歳代	6.5	21.2	15.6	12.4	11.1	17.6	3.6	35.8	3.3
	40歳代	10.7	9.1	8.1	6.7	5.7	14.4	5.4	48.3	5.4
	50歳代	7.7	8.1	6.9	4.4	4.6	10.2	5.8	54.5	4.6
	60歳以上	11.3	5.1	6.6	2.2	3.6	11.2	4.5	52.7	7.5
障害種別	身体障害	11.2	2.9	3.5	1.8	2.4	8.2	8.2	27.1	6.5
	聴覚障害・平衡機能障害	8.1	22.7	7.6	4.1	5.2	5.8	5.2	11.6	3.5
	音声・言語・そしゃく機能障害	14.0	4.3	6.5	3.2	17.2	8.6	14.0	39.8	5.4
	肢体不自由	10.1	8.2	8.4	5.5	5.9	11.1	6.2	50.3	7.5
	内部障害	10.7	3.8	6.1	1.5	1.7	11.1	5.9	64.5	2.7
	難病	9.7	3.7	7.1	1.8	5.5	14.7	6.3	51.6	7.1
	知的障害	10.9	46.5	29.5	32.1	20.2	17.0	7.4	9.6	7.1
	重度重複	4.5	33.3	22.7	36.4	10.6	7.6	16.7	9.1	12.1
	発達障害	11.9	31.9	29.2	13.0	17.8	23.8	4.3	22.2	2.7
	精神障害	12.4	13.0	15.2	5.4	11.8	17.7	5.9	44.8	3.1
	高次脳機能障害(失語症を含む)	12.1	24.1	17.2	10.3	17.2	17.2	12.9	21.6	11.2
その他	9.1	9.8	11.0	4.9	7.9	12.8	5.5	47.6	6.7	

問 31-2 あなたがコミュニケーションをとるときに困ることはなんですか。(〇はいくつでも)

「特に困らない」が54.4%と最も多く、次いで「思っていることをことばで表せない」が17.9%、「考えがまとまらない」が14.9%、「言っていることが理解できない」が14.0%、「話そうと思っていたことを忘れる」が10.0%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代と20歳代は「思っていることをことばで表せない」、それ以外は「特に困らない」が最も多くなっています。

障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害と重度重複は「話せない」、聴覚障害・平衡機能障害は「言っていることが理解できない」、知的障害と発達障害、高次脳機能障害（失語症を含む）は「思っていることをことばで表せない」、それ以外は「特に困らない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

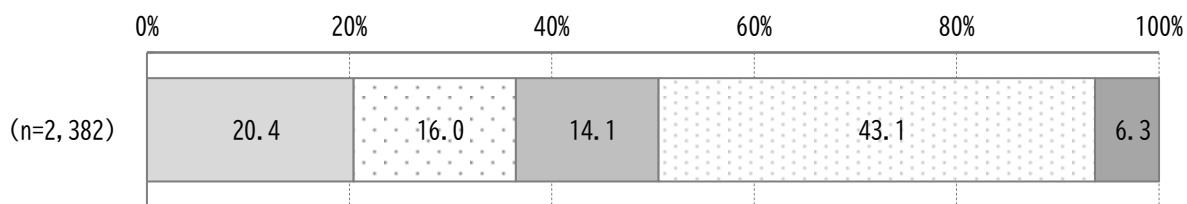
区分	回答者数(件)	話している相手の表情がわからない	話している相手の表情がある	筆談で伝えることに限りがある	話せない	書けない	理解できない	言っていることが理解できない	書いてあることが理解できない	思っていることを口で表せない	考えがまとまらない	話そうと思っただけを忘れる	話したことを忘れる	その他	特に困らない	無回答
全体	2382	5.4	1.0	3.3	8.0	8.5	14.0	9.7	17.9	14.9	10.0	5.8	5.6	54.4	4.7	
年齢別	10歳代	30	6.7	3.3	0.0	40.0	30.0	43.3	33.3	53.3	36.7	16.7	6.7	0.0	16.7	0.0
	20歳代	249	9.2	0.8	1.6	16.9	15.7	35.3	25.7	42.2	31.7	14.9	10.8	7.6	29.3	0.8
	30歳代	307	7.8	1.6	3.9	12.7	12.4	26.7	16.6	31.9	27.0	15.0	7.8	7.8	37.8	1.6
	40歳代	298	5.4	0.3	3.0	6.7	7.7	11.4	9.4	17.8	17.4	10.1	6.7	5.0	55.0	5.4
	50歳代	519	3.9	1.3	2.3	4.4	6.7	8.5	5.8	11.9	10.2	7.3	4.0	4.2	66.3	4.2
	60歳以上	914	4.5	0.7	4.3	4.7	5.3	7.0	4.2	8.5	7.4	8.2	4.5	5.3	61.9	6.8
障害種別	視覚障害	170	27.6	0.0	2.4	4.7	16.5	5.9	11.8	8.2	5.9	5.9	7.1	9.4	40.6	7.1
	聴覚障害・平衡機能障害	172	16.9	11.6	20.3	7.0	4.7	34.3	7.0	18.6	10.5	7.6	5.2	15.1	22.7	5.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	2.2	1.1	24.7	38.7	24.7	7.5	7.5	24.7	6.5	9.7	4.3	12.9	19.4	5.4
	肢体不自由	730	1.9	0.0	1.6	11.1	12.2	10.0	7.9	15.5	8.1	7.8	3.2	6.0	58.6	5.6
	内部障害	476	1.5	0.2	0.4	2.5	2.3	4.6	3.6	5.3	5.5	5.0	2.7	4.4	81.3	2.1
	難病	382	3.7	0.3	2.1	6.5	7.6	5.2	5.0	11.5	9.9	6.5	3.1	6.8	62.0	6.5
	知的障害	312	6.1	1.0	2.6	28.5	31.1	51.0	44.6	61.5	34.9	12.2	9.3	8.0	9.0	4.2
	重度重複	66	3.0	3.0	4.5	63.6	60.6	43.9	40.9	50.0	4.5	1.5	1.5	12.1	1.5	7.6
	発達障害	185	17.3	1.1	1.6	14.6	11.9	42.2	24.9	60.0	49.7	37.3	20.5	10.3	10.3	2.2
	精神障害	355	4.8	0.0	0.8	4.8	3.7	17.7	9.9	23.4	33.2	22.8	16.6	7.6	45.4	3.1
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	4.3	0.0	6.0	19.8	19.8	24.1	14.7	49.1	26.7	25.0	12.1	8.6	14.7	11.2
	その他	164	4.9	0.0	4.3	7.3	6.7	15.2	7.3	17.1	15.9	15.2	5.5	4.9	58.5	5.5

問 32 インターネットやパソコンなどの情報技術・情報機器を使った情報の入手について、格差を感じていますか。(〇は1つ)

「感じていない」が43.1%と最も多く、次いで「感じている」が20.4%、「どちらかというと感じている」が16.0%、「どちらかというと感じていない」が14.1%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「感じていない」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と知的障害、重度重複は「感じている」、それ以外は「感じていない」が最も多くなっています。



■ 感じている □ どちらかというと感じている ■ どちらかというと感じていない □ 感じていない ■ 無回答

【年齢別・障害種別】

単位：%

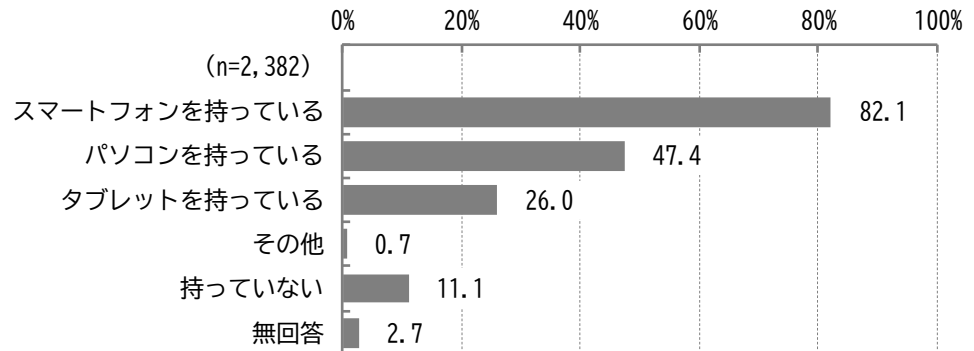
区分		回答者数(件)	感じている	どちらかというと感じている	どちらかというと感じていない	感じていない	無回答
全体		2382	20.4	16.0	14.1	43.1	6.3
年齢別	10歳代	30	23.3	23.3	13.3	40.0	-
	20歳代	249	16.9	14.5	18.9	43.8	6.0
	30歳代	307	17.9	13.7	15.6	48.2	4.6
	40歳代	298	20.1	9.7	16.4	48.7	5.0
	50歳代	519	14.5	16.2	14.5	50.3	4.6
	60歳以上	914	25.3	19.1	11.8	35.6	8.2
障害種別	視覚障害	170	37.6	16.5	10.0	26.5	9.4
	聴覚障害・平衡機能障害	172	22.1	22.1	17.4	32.0	6.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	29.0	14.0	15.1	33.3	8.6
	肢体不自由	730	17.7	14.1	15.6	46.6	6.0
	内部障害	476	18.5	10.9	9.9	58.0	2.7
	難病	382	17.0	20.7	14.9	40.6	6.8
	知的障害	312	34.0	15.7	12.2	25.6	12.5
	重度重複	66	33.3	18.2	6.1	30.3	12.1
	発達障害	185	18.4	19.5	23.8	30.3	8.1
	精神障害	355	24.8	17.2	15.8	36.9	5.4
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	22.4	18.1	20.7	27.6	11.2
	その他	164	23.8	19.5	12.2	34.8	9.8

問 33-1 スマートフォンやパソコンなどを持っていますか。(○はいくつでも)

「スマートフォンを持っている」が 82.1%と最も多く、次いで「パソコンを持っている」が 47.4%、「タブレットを持っている」が 26.0%、「持っていない」が 11.1%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「スマートフォンを持っている」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複は「持っていない」、それ以外は「スマートフォンを持っている」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	スマートフォンを持っている	パソコンを持っている	タブレットを持っている	その他	持っていない	無回答	
全体	2382	82.1	47.4	26.0	0.7	11.1	2.7	
年齢別	10歳代	30	56.7	30.0	53.3	-	13.3	3.3
	20歳代	249	79.9	43.0	33.3	0.8	14.1	1.2
	30歳代	307	79.2	56.0	29.6	1.0	15.3	2.0
	40歳代	298	84.9	52.7	27.5	1.3	8.7	3.4
	50歳代	519	86.9	54.1	29.5	0.4	6.7	2.3
	60歳以上	914	81.7	41.6	20.1	0.5	11.9	3.1
障害種別	身体障害	170	75.9	45.3	22.4	1.2	12.9	5.3
	聴覚障害・平衡機能障害	172	87.8	50.6	23.8	0.6	8.7	2.3
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	71.0	35.5	23.7	2.2	17.2	3.2
	肢体不自由	730	77.8	47.9	27.5	0.7	14.1	2.5
	内部障害	476	91.4	56.3	32.4	0.4	5.7	1.3
	難病	382	83.8	48.7	26.4	0.5	7.6	3.9
	知的障害	312	45.5	11.2	15.1	2.6	43.3	3.2
	重度重複	66	7.6	3.0	7.6	4.5	77.3	3.0
	発達障害	185	78.4	44.9	23.8	1.1	14.6	1.6
	精神障害	355	87.0	47.9	25.1	0.8	9.0	1.1
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	116	75.0	41.4	19.8	-	16.4	4.3
その他	164	79.9	42.1	26.2	1.2	8.5	4.9	

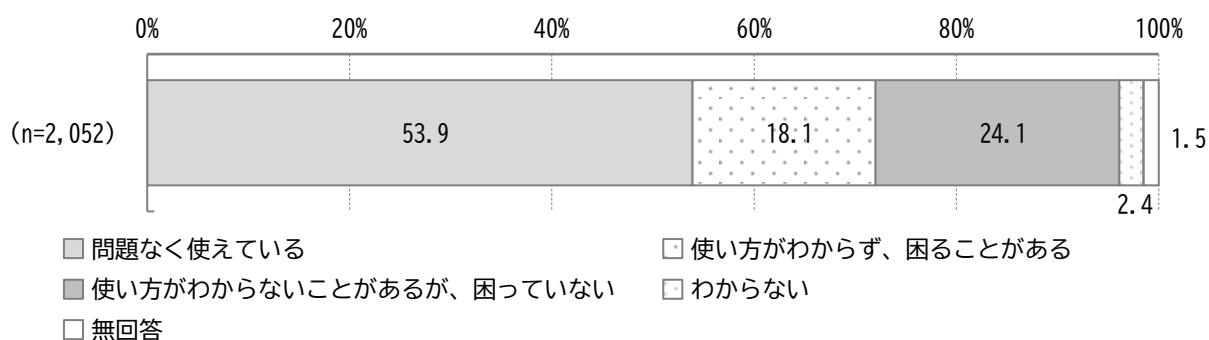
問 33-2 (問 33-1 で 1～4 に ○ を つ け た 人)

スマートフォンやパソコンを十分に使いこなせていますか。(○は1つ)

「問題なく使えている」が 53.9%と最も多く、次いで「使い方がわからないことがあるが、困っていない」が 24.1%、「使い方がわからず、困ることがある」が 18.1%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代は「使い方がわからないことがあるが、困っていない」、それ以外は「問題なく使えている」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複は「問題なく使えている」と「使い方がわからず、困ることがある」が同率で、それ以外は「問題なく使えている」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分	回答者数(件)	問題なく使えている	使い方がわからず、困ることがある	使い方がわからないことがあるが、困っていない	わからない	無回答	
全体	2052	53.9	18.1	24.1	2.4	1.5	
年齢別	10歳代	25	36.0	20.0	40.0	4.0	-
	20歳代	211	66.8	11.4	18.5	1.9	1.4
	30歳代	254	78.7	7.1	11.0	1.6	1.6
	40歳代	262	67.2	12.2	17.6	2.3	0.8
	50歳代	472	57.4	13.6	25.2	2.3	1.5
	60歳以上	777	36.6	27.8	31.1	2.8	1.7
障害種別	視覚障害	139	41.7	30.9	18.7	5.0	3.6
	聴覚障害・平衡機能障害	153	52.3	17.6	26.8	2.6	0.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	74	36.5	21.6	31.1	9.5	1.4
	肢体不自由	609	55.3	15.9	23.8	3.4	1.5
	内部障害	443	60.9	13.3	23.7	1.6	0.5
	難病	338	50.0	19.8	24.6	3.8	1.8
	知的障害	167	36.5	25.1	30.5	5.4	2.4
	重度重複	13	30.8	30.8	23.1	15.4	-
	発達障害	155	60.0	17.4	16.8	3.9	1.9
	精神障害	319	57.4	21.3	18.2	1.9	1.3
	高次脳機能障害(失語症を含む)	92	34.8	27.2	28.3	6.5	3.3
その他	142	34.5	25.4	34.5	4.2	1.4	

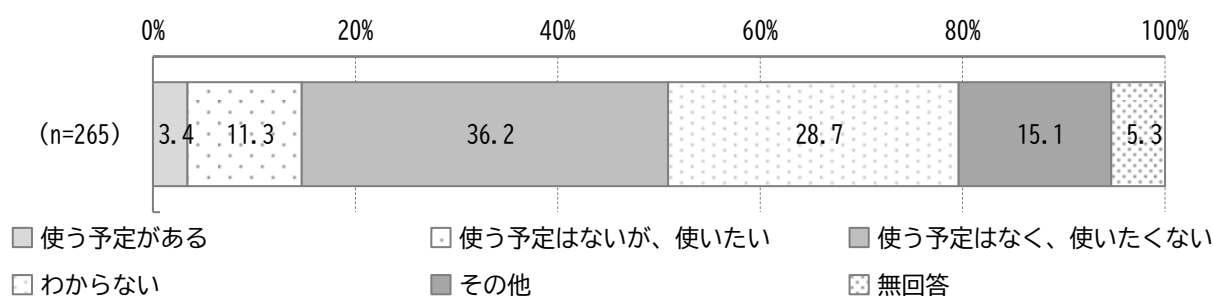
問 33-3 (問 33-1 で5に○をつけた人)

今後、スマートフォンやパソコンを使う予定はありますか。(○は1つ)

「使う予定はなく、使いたくない」が36.2%と最も多く、次いで「わからない」が28.7%、「使う予定はないが、使いたい」が11.3%の順となっています。

年齢別にみると、30歳代と50歳代以上は「使う予定はなく、使いたくない」、20歳代は「わからない」が最も多くなっています。

障害別にみると、難病と知的障害、発達障害は「わからない」、音声・言語・そしゃく機能障害は「使う予定はなく、使いたくない」と「わからない」が同率となっており、それ以外は「使う予定はなく、使いたくない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

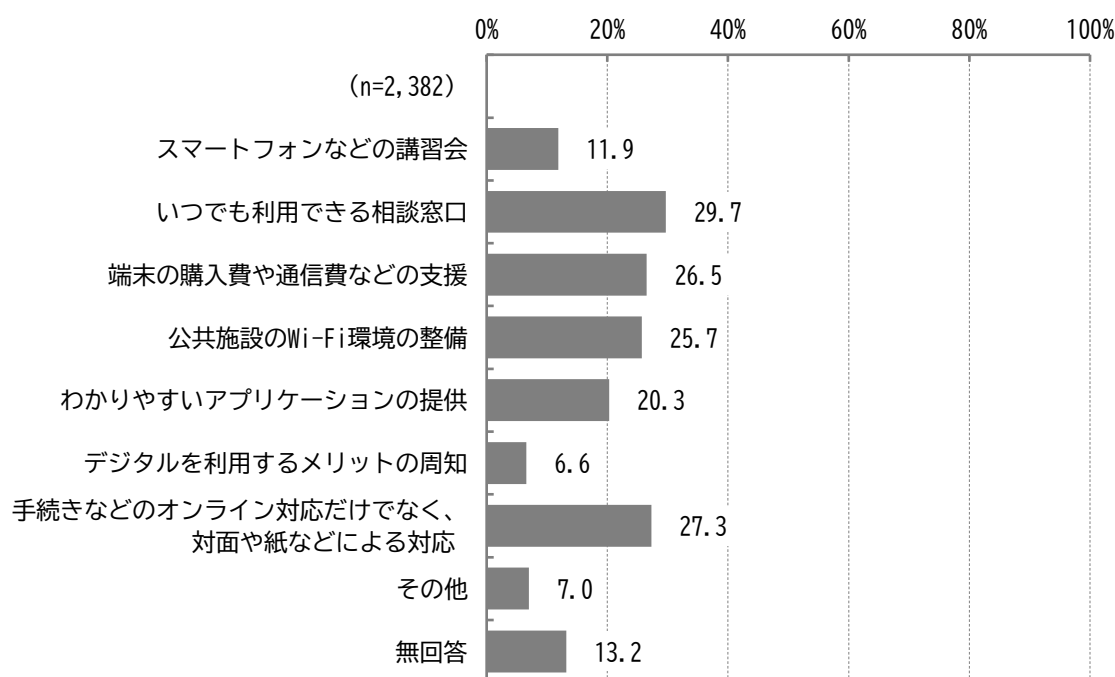
区分		回答者数(件)	使う予定がある	使う予定はないが、使いたい	使う予定はなく、使いたくない	わからない	その他	無回答
全体		265	3.4	11.3	36.2	28.7	15.1	5.3
年齢別	10歳代	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-
	20歳代	35	-	14.3	25.7	42.9	14.3	2.9
	30歳代	47	-	6.4	42.6	25.5	21.3	4.3
	40歳代	26	3.8	-	34.6	23.1	38.5	-
	50歳代	35	-	5.7	40.0	28.6	14.3	11.4
	60歳以上	109	5.5	14.7	37.6	26.6	9.2	6.4
障害種別	身体障害							
	視覚障害	22	4.5	27.3	36.4	22.7	4.5	4.5
	聴覚障害・平衡機能障害	15	13.3	6.7	33.3	26.7	13.3	6.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	16	12.5	6.3	25.0	25.0	18.8	12.5
	肢体不自由	103	1.9	14.6	35.9	23.3	17.5	6.8
	内部障害	27	14.8	14.8	44.4	18.5	7.4	-
	難病	29	6.9	3.4	24.1	31.0	27.6	6.9
	知的障害	135	1.5	7.4	31.1	31.9	24.4	3.7
	重度重複	51	2.0	7.8	31.4	23.5	29.4	5.9
	発達障害	27	7.4	14.8	25.9	33.3	14.8	3.7
	精神障害	32	3.1	9.4	40.6	34.4	6.3	6.3
	高次脳機能障害(失語症を含む)	19	5.3	10.5	42.1	31.6	10.5	-
その他	14	-	21.4	42.9	21.4	14.3	-	

問 34 インターネットやパソコンなどの情報技術・情報機器による情報入手の格差を解消するために、  
 区に期待することはありますか。(〇は3つまで)

「いつでも利用できる相談窓口」が 29.7%と最も多く、次いで「手続きなどのオンライン対応だけでなく、対面や紙などによる対応」が 27.3%、「端末の購入費や通信費などの支援」が 26.5%、「公共施設の Wi-Fi 環境の整備」が 25.7%の順となっています。

年齢別にみると、10 歳代と 20 歳代、40 歳代は「公共施設の Wi-Fi 環境の整備」、30 歳代と 50 歳代は「端末の購入費や通信費などの支援」、60 歳以上は「いつでも利用できる相談窓口」が最も多くなっています。

障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害と肢体不自由、難病、高次機能障害（失語症を含む）は「いつでも利用できる相談窓口」、聴覚障害・平衡機能障害と精神障害は「端末の購入費や通信費などの支援」、内部障害と発達障害は「公共施設の Wi-Fi 環境の整備」、知的障害と重度重複は「手続きなどのオンライン対応だけでなく、対面や紙などによる対応」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

区分		回答者数(件)	スマートフォンなどの講習会	いつでも利用できる相談窓口	端末の購入費や通信費などの支援	公共施設の「三」環境の整備	わかりやすいアプリケーションの提供	デジタルを利用するメリットの周知	手続きなどのオンライン対応だけでなく、対面や紙などによる対応	その他	無回答
全体		2382	11.9	29.7	26.5	25.7	20.3	6.6	27.3	7.0	13.2
年齢別	10歳代	30	3.3	20.0	36.7	43.3	26.7	6.7	26.7	3.3	10.0
	20歳代	249	10.4	25.7	28.5	34.5	20.1	7.6	18.9	9.2	14.9
	30歳代	307	7.2	26.7	30.6	28.7	20.8	7.8	26.7	7.2	14.7
	40歳代	298	9.1	26.5	26.5	28.5	24.2	9.7	19.1	7.7	13.4
	50歳代	519	9.8	30.1	30.4	27.7	21.4	8.1	28.5	5.4	10.4
	60歳以上	914	16.1	32.4	22.4	20.2	18.3	4.3	31.7	7.0	13.6
障害種別	身体障害										
	視覚障害	170	17.1	29.4	31.2	15.3	20.6	5.3	29.4	10.0	18.2
	聴覚障害・平衡機能障害	172	14.0	25.6	34.9	26.2	18.0	10.5	29.1	5.8	14.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	5.4	30.1	24.7	25.8	11.8	4.3	25.8	14.0	15.1
	肢体不自由	730	9.3	27.8	24.7	25.1	21.1	6.3	26.3	7.5	13.7
	内部障害	476	13.7	30.9	28.8	32.6	25.4	6.7	26.7	5.3	7.1
	難病	382	11.8	30.9	24.1	26.2	22.5	6.0	30.1	5.8	14.4
	知的障害	312	9.0	29.2	17.3	16.0	16.0	4.2	30.1	12.5	20.8
	重度重複	66	1.5	22.7	18.2	13.6	16.7	4.5	25.8	19.7	18.2
	発達障害	185	13.0	31.9	31.4	33.5	21.6	9.7	28.1	5.4	14.1
	精神障害	355	12.7	34.1	34.9	27.6	18.9	7.9	24.2	6.2	11.5
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	11.2	33.6	25.0	19.8	14.7	6.9	27.6	6.9	14.7
	その他	164	13.4	33.5	22.6	17.1	17.1	6.1	35.4	8.5	12.2

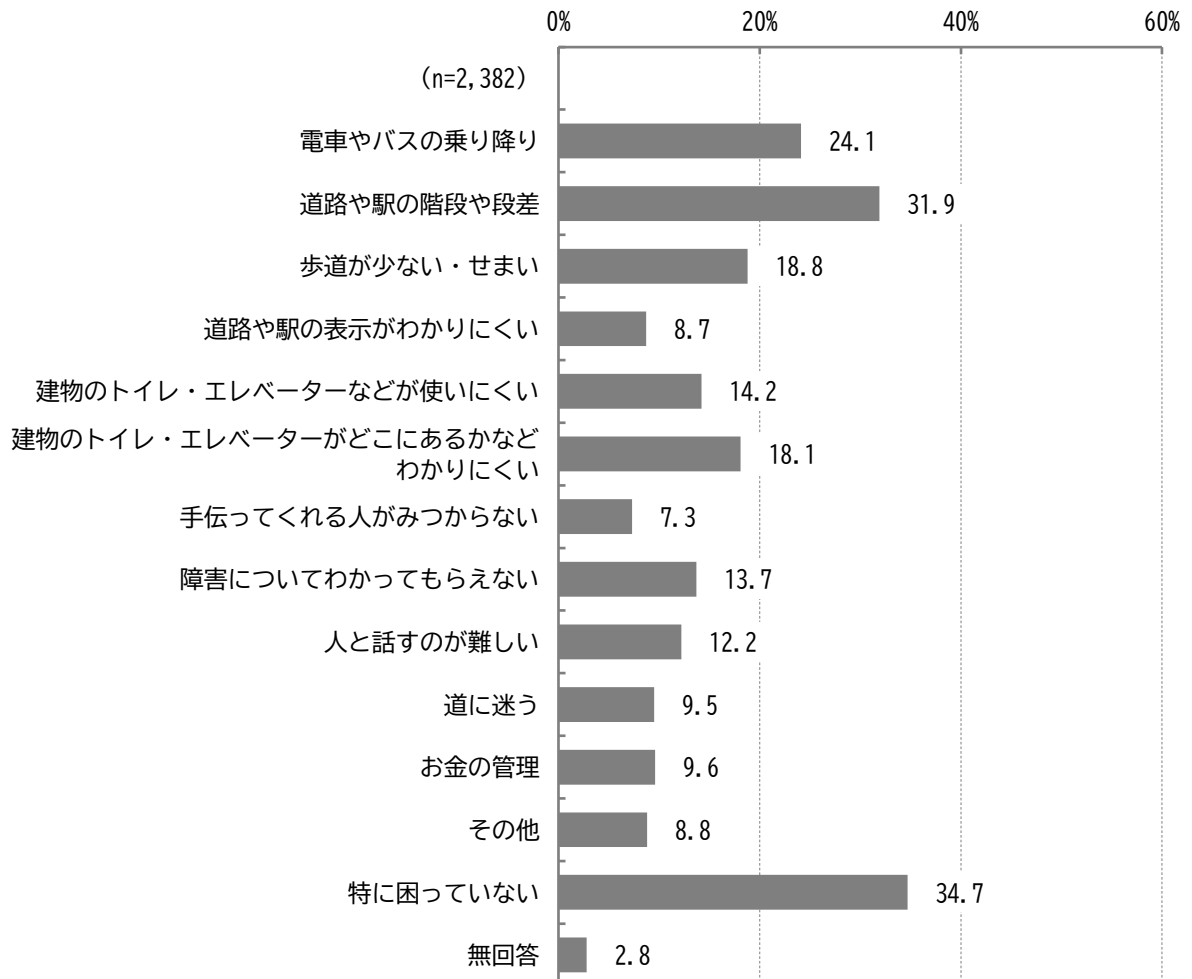
## (7) 社会参加について

問 35 出かけるときに、困ることはありますか。(〇はいくつでも)

「特に困っていない」が34.7%と最も多く、次いで、「道路や駅の階段や段差」が31.9%、「電車やバスの乗り降り」が24.1%、「歩道が少ない・せまい」が18.8%、「建物のトイレ・エレベーターがどこにあるかなどわかりにくい」が18.1%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代は「電車やバスの乗り降り」、それ以外は「特に困っていない」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度障害は「電車やバスの乗り降り」、視覚障害と肢体不自由、難病、高次機能障害（失語症を含む）は「道路や駅の階段や段差」、聴覚障害・平衡機能障害と音声・言語・そしゃく機能障害は「人と話すのが難しい」、知的障害と発達障害は「お金の管理」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

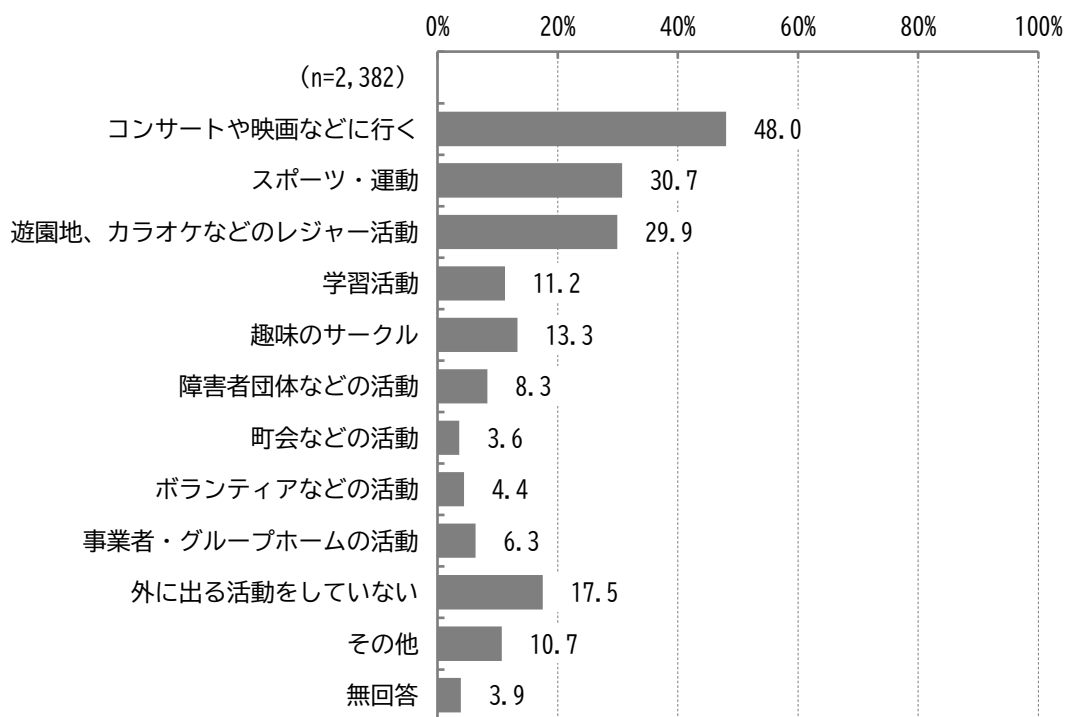
区分		回答者数 (件)	電車やバスの乗り降り	道路や駅の階段や段差	歩道が少ない・せまい	道路や駅の表示がわかりにくい	建物のトイレ・エレベーター などが使いにくい	建物のトイレ・エレベーターがどこにある かなどわかりにくい	手伝ってくれる人が みつからない	障害についてわかって もらえない	人と話すのが難しい	道に迷う	お金の管理	その他	特に困っていない	無回答
全体		2382	24.1	31.9	18.8	8.7	14.2	18.1	7.3	13.7	12.2	9.5	9.6	8.8	34.7	2.8
年齢別	10歳代	30	46.7	30.0	23.3	20.0	23.3	20.0	16.7	16.7	30.0	13.3	43.3	10.0	10.0	0.0
	20歳代	249	21.3	20.1	18.5	12.9	18.5	18.9	10.8	16.5	24.9	16.5	25.3	11.6	26.5	1.2
	30歳代	307	22.1	23.5	16.6	10.4	15.0	17.6	8.8	21.5	20.2	15.3	19.5	10.4	30.6	2.0
	40歳代	298	22.1	30.5	21.8	9.1	12.1	13.8	5.7	14.8	11.7	8.1	7.0	9.7	37.2	3.7
	50歳代	519	24.5	33.5	18.5	6.9	13.9	18.3	5.2	16.2	8.5	7.5	6.6	7.7	36.4	1.5
	60歳以上	914	24.5	36.9	18.1	7.3	12.6	18.2	6.3	8.3	7.4	7.1	3.7	7.5	38.4	3.9
障害種別	身体障害	170	38.8	51.2	40.6	35.9	15.9	42.4	14.7	21.2	4.7	25.9	5.9	13.5	11.2	4.1
	視覚障害	172	17.4	19.8	13.4	6.4	5.2	11.6	5.8	19.2	37.2	5.8	6.4	13.4	30.2	2.3
	聴覚障害・平衡機能障害	93	30.1	33.3	26.9	8.6	21.5	18.3	6.5	16.1	34.4	5.4	7.5	11.8	26.9	2.2
	音声・言語・そしゃく機能障害	730	42.9	56.7	32.5	7.7	26.7	26.6	9.9	13.7	8.1	5.6	7.0	10.0	19.7	2.2
	肢体不自由	476	12.8	22.7	9.9	4.0	10.5	11.8	4.0	7.8	2.1	4.0	2.9	7.8	54.4	1.7
	内部障害	382	30.4	42.7	23.3	6.3	19.4	23.0	7.3	11.8	7.1	6.5	5.0	9.4	31.2	3.4
	難病	312	36.2	29.5	23.7	17.0	22.1	21.8	17.6	24.4	37.5	21.8	44.2	12.2	10.6	2.9
	知的障害	66	66.7	62.1	51.5	12.1	53.0	33.3	18.2	24.2	31.8	9.1	24.2	15.2	3.0	0.0
	重度重複	185	16.8	14.6	10.3	12.4	7.6	14.6	9.7	23.8	30.8	24.3	32.4	13.0	25.4	2.2
	発達障害	355	17.5	16.9	14.4	7.3	7.6	12.1	7.6	18.6	15.8	16.6	13.8	9.9	40.0	2.0
	精神障害	116	39.7	46.6	27.6	9.5	20.7	20.7	11.2	22.4	25.0	16.4	13.8	19.0	13.8	6.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	164	22.6	30.5	12.2	11.0	13.4	14.6	6.7	15.9	11.0	10.4	9.1	11.0	42.7	3.0
	その他															

問 36 あなたは、この1年間で、次のような外に出る活動をしましたか。(○はいくつでも)

「コンサートや映画などに行く」が 48.0%と最も多く、次いで「スポーツ・運動」が 30.7%、「遊園地、カラオケなどのレジャー活動」が 29.9%、「外に出る活動をしていない」が 17.5%の順となっています。

年齢別にみると、10 歳代は「コンサートや映画などに行く」と「遊園地、カラオケなどのレジャー活動」が同率で、それ以外は「コンサートや映画などに行く」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と肢体不自由、内部障害、難病、発達障害、精神障害は「コンサートや映画などに行く」、聴覚障害・平衡機能障害は「スポーツ・運動」、知的障害と重度重複は「遊園地、カラオケなどのレジャー活動」、音声・言語・そしゃく機能障害と高次脳機能障害（失語症を含む）は「外に出る活動をしていない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

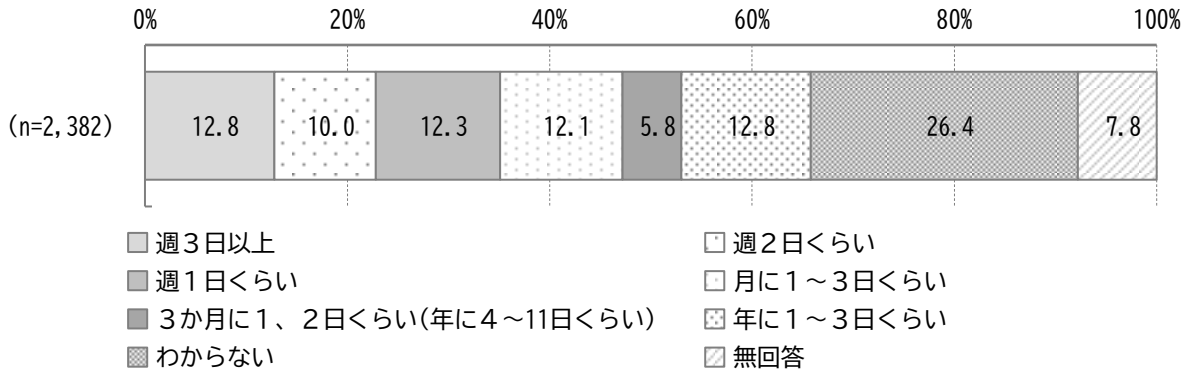
単位：%

区分		回答者数(件)	コンサートや映画などに行く	スポーツ・運動	遊園地、カラオケなどのレジャー活動	学習活動	趣味のサークル	障害者団体などの活動	町会などの活動	ボランティアなどの活動	事業者・グループホームの活動	外に出る活動をしていない	その他	無回答
全体		2382	48.0	30.7	29.9	11.2	13.3	8.3	3.6	4.4	6.3	17.5	10.7	3.9
年齢別	10歳代	30	66.7	36.7	66.7	23.3	13.3	20.0	3.3	3.3	13.3	6.7	10.0	-
	20歳代	249	61.4	38.2	54.2	15.7	20.1	16.1	2.0	3.2	16.1	6.0	9.2	1.6
	30歳代	307	59.9	38.4	50.8	15.3	17.9	11.4	0.3	5.5	11.1	8.8	8.8	2.0
	40歳代	298	57.0	37.2	38.9	15.4	12.1	9.1	4.7	6.4	5.4	12.4	9.7	4.0
	50歳代	519	46.4	29.3	24.7	10.8	11.2	6.7	4.0	4.6	3.9	18.7	11.9	4.0
	60歳以上	914	38.0	25.3	15.8	7.3	11.6	5.4	4.6	3.8	3.1	25.2	11.7	4.9
障害種別	視覚障害	170	45.9	30.6	28.2	11.8	14.1	14.7	2.9	2.9	6.5	14.7	13.5	3.5
	聴覚障害・平衡機能障害	172	43.0	49.4	26.7	15.7	16.9	15.7	4.7	11.6	3.5	13.4	12.8	5.2
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	25.8	20.4	12.9	6.5	9.7	10.8	3.2	3.2	4.3	38.7	11.8	2.2
	肢体不自由	730	43.0	23.7	24.9	11.4	10.1	9.6	2.9	4.0	6.8	22.1	12.3	4.0
	内部障害	476	55.0	32.8	32.6	12.2	14.9	2.3	4.8	4.0	1.5	16.2	10.7	2.1
	難病	382	45.0	25.9	26.4	9.2	11.3	6.3	2.6	3.9	3.4	22.5	9.9	4.7
	知的障害	312	39.1	32.1	41.7	5.8	15.4	23.7	2.2	2.9	25.3	11.5	10.6	3.5
	重度重複	66	19.7	18.2	27.3	7.6	9.1	22.7	-	-	25.8	24.2	10.6	4.5
	発達障害	185	56.2	28.6	43.2	15.1	16.8	13.0	1.1	3.8	15.1	8.6	14.1	3.8
	精神障害	355	45.9	25.4	29.6	12.4	11.3	5.6	2.5	4.8	5.6	21.7	10.1	3.1
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	26.7	14.7	17.2	4.3	4.3	15.5	2.6	2.6	6.0	31.0	16.4	12.1
	その他	164	40.9	30.5	21.3	10.4	11.6	6.1	4.3	3.7	6.1	21.3	18.3	4.9

問 37 あなたが、この1年間でスポーツ・運動などをした日はどのくらいですか。(○は1つ)

「わからない」が26.4%と最も多く、次いで、「週3日以上」と「年に1～3回くらい」が12.8%、「週1日くらい」が12.3%、「月1～3日くらい」が12.1%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代は「月1～3日くらい」、それ以外は「わからない」が最も多くなっています。障害別にみると、いずれも「わからない」が最も多くなっていますが、視覚障害と音声・言語・そしゃく機能障害、精神障害は「週3日以上」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

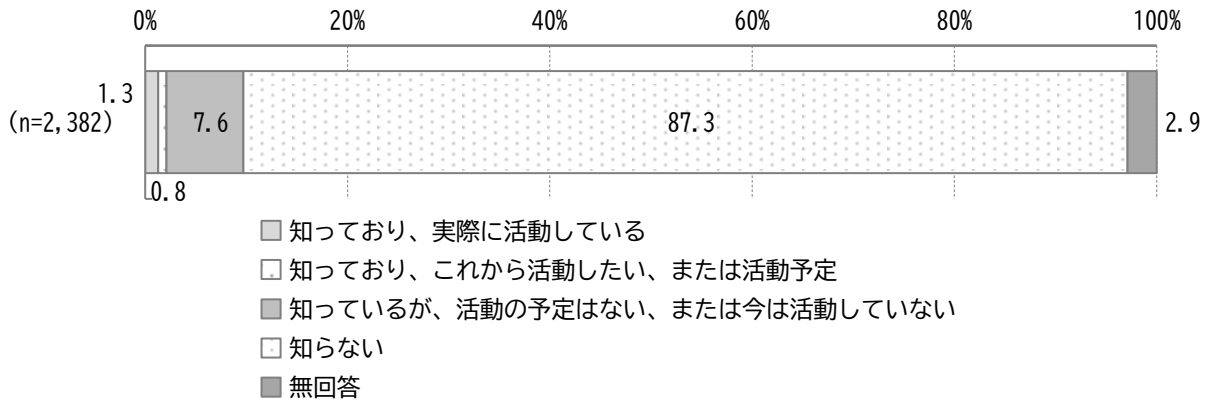
単位：%

区分		回答者数 (件)	週3日以上	週2日くらい	週1日くらい	月に1～3日くらい	い(3か月に1、2日くらい)	年に1～3日くらい	わからない	無回答
全体		2382	12.8	10.0	12.3	12.1	5.8	12.8	26.4	7.8
年齢別	10歳代	30	13.3	16.7	13.3	23.3	10.0	3.3	16.7	3.3
	20歳代	249	9.2	8.0	16.1	19.7	8.4	8.4	26.9	3.2
	30歳代	307	10.4	10.4	14.0	17.9	6.5	15.3	20.2	5.2
	40歳代	298	12.4	9.4	12.1	15.8	7.0	12.1	24.2	7.0
	50歳代	519	11.8	8.5	10.6	10.2	6.4	15.4	30.3	6.9
	60歳以上	914	15.6	11.1	11.7	8.3	3.9	11.9	27.1	10.3
障害種別	視覚障害	170	17.6	9.4	8.2	11.2	6.5	15.9	20.6	10.6
	聴覚障害・平衡機能障害	172	15.7	17.4	12.2	14.0	8.7	7.0	18.0	7.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	11.8	10.8	7.5	10.8	1.1	9.7	35.5	12.9
	肢体不自由	730	12.1	8.8	9.7	10.8	4.8	13.0	30.4	10.4
	内部障害	476	12.8	8.8	13.9	12.8	6.1	16.4	22.5	6.7
	難病	382	10.7	11.0	9.9	8.4	5.2	11.8	31.4	11.5
	知的障害	312	5.8	6.1	14.4	20.8	5.1	9.0	30.8	8.0
	重度重複	66	10.6	4.5	7.6	13.6	3.0	6.1	39.4	15.2
	発達障害	185	12.4	11.4	15.7	15.7	4.9	9.7	25.9	4.3
	精神障害	355	13.8	7.6	11.0	11.8	4.5	13.5	32.1	5.6
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	11.2	13.8	10.3	5.2	1.7	9.5	37.1	11.2
	その他	164	11.6	9.1	14.0	9.8	6.1	8.5	33.5	7.3

問 38 あなたは、ピア活動（当事者活動）を知っていますか。（○は1つ）

「知らない」が 87.3%と最も多く、次いで「知っているが、活動の予定はない、または今は活動していない」が 7.6%、「知っており、実際に活動している」が 1.3%の順となっています。

年齢別、障害別にみると、いずれも「知らない」が最も多く、次いで「知っているが、活動の予定はない、または今は活動していない」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	知っており、実際に活動している	知っており、これから活動したい、または活動予定	知っているが、活動の予定はない、または今は活動していない	知らない	無回答	
全体	2382	1.3	0.8	7.6	87.3	2.9	
年齢別	10歳代	30	-	3.3	13.3	83.3	-
	20歳代	249	1.6	1.2	6.0	89.6	1.6
	30歳代	307	2.3	1.3	13.7	81.8	1.0
	40歳代	298	1.3	0.3	9.4	84.6	4.4
	50歳代	519	1.2	0.6	8.3	86.7	3.3
	60歳以上	914	1.0	0.7	4.6	90.6	3.2
障害種別	視覚障害	170	1.8	1.2	11.8	81.8	3.5
	聴覚障害・平衡機能障害	172	2.3	2.3	9.9	82.6	2.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	2.2	2.2	2.2	88.2	5.4
	肢体不自由	730	1.4	0.8	7.7	87.1	3.0
	内部障害	476	0.8	0.4	5.7	92.0	1.1
	難病	382	0.8	0.5	7.6	86.9	4.2
	知的障害	312	1.0	1.0	9.0	85.3	3.8
	重度重複	66	3.0	-	7.6	86.4	3.0
	発達障害	185	3.2	2.2	8.6	82.7	3.2
	精神障害	355	1.4	1.1	13.2	82.8	1.4
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	3.4	-	5.2	88.8	2.6
	その他	164	1.8	0.6	5.5	89.6	2.4

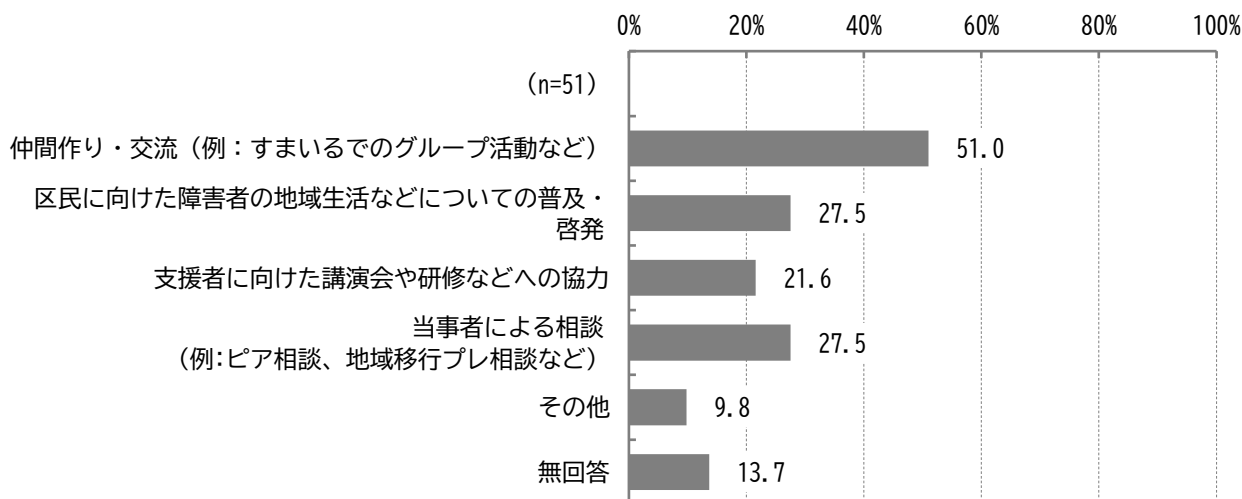
問 39 (問 38 で1 または2 に○をつけた人)

どのようなピア活動をしていますか。またはどのような活動を希望していますか。(○はいくつでも)

「仲間作り・交流(例:すまいるでのグループ活動など)」が51.0%と最も多く、次いで「区民に向けた障害者の地域生活などについての普及・啓発」と「当事者による相談(例:ピア相談、地域移行プレ相談など)」が27.5%の順となっています。

年齢別にみると、30歳代と60歳以上は「仲間作り・交流(例:すまいるでのグループ活動など)」と「区民に向けた障害者の地域生活などについての普及・啓発」が同率で最も多くなっています。

障害別にみると、発達障害は「仲間作り・交流(例:すまいるでのグループ活動など)」、肢体不自由は「区民に向けた障害者の地域生活などについての普及・啓発」と「支援者に向けた講演会や研修などへの協力」が同率で最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

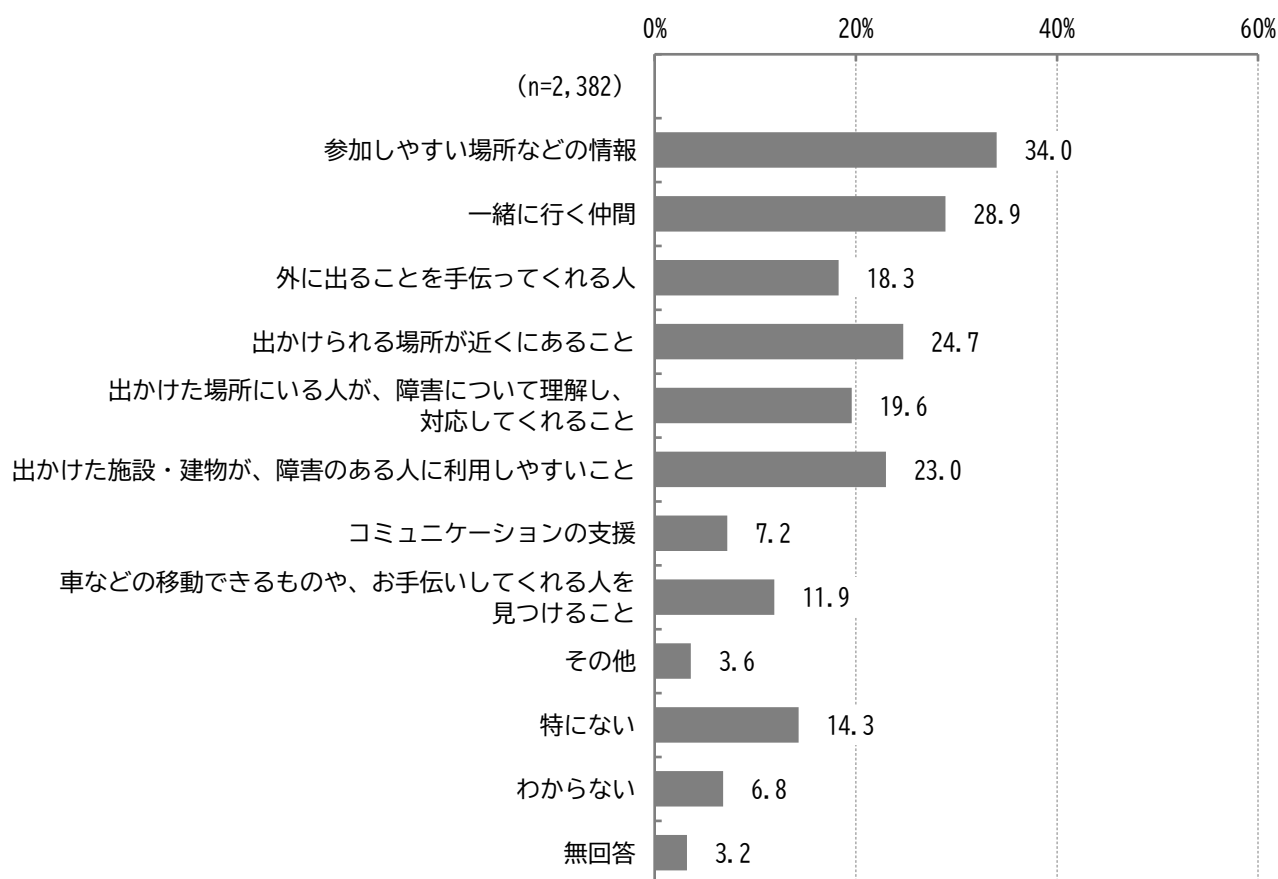
区分		回答者数 (件)	仲間作り・交流 グループ活動(例： すまいるでのグルー プ活動など)	啓発 生活などに向けた 障害者の普及・ 地域	支援者に向けた講 演会や研修など への協力	当事者による相談 (例：ア相談、地域移 行プレ相談など)	その他	無回答
全体		51	51.0	27.5	21.6	27.5	9.8	13.7
年齢別	10歳代	1	100.0	-	-	100.0	-	-
	20歳代	7	42.9	14.3	42.9	28.6	-	14.3
	30歳代	11	54.5	54.5	27.3	18.2	9.1	9.1
	40歳代	5	60.0	-	20.0	20.0	20.0	-
	50歳代	9	88.9	22.2	-	33.3	11.1	-
	60歳以上	15	33.3	33.3	26.7	26.7	13.3	20.0
障害種別	身体障害							
	視覚障害	5	40.0	40.0	60.0	60.0	-	20.0
	聴覚障害・平衡機能障害	8	75.0	37.5	12.5	12.5	-	12.5
	音声・言語・そしゃく機能障害	4	50.0	50.0	25.0	75.0	-	-
	肢体不自由	16	25.0	31.3	31.3	12.5	12.5	25.0
	内部障害	6	16.7	-	33.3	-	16.7	50.0
	難病	5	40.0	20.0	20.0	40.0	-	-
	知的障害	6	66.7	33.3	16.7	50.0	-	-
	重度重複	2	100.0	-	-	-	-	-
	発達障害	10	60.0	30.0	10.0	40.0	10.0	10.0
	精神障害	9	66.7	22.2	-	33.3	-	22.2
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	75.0	25.0	-	-	50.0	-
その他	4	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	

問 40 外に出て楽しい活動をするには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「参加しやすい場所などの情報」が34.0%と最も多く、次いで「一緒に行く仲間」が28.9%、「出かけられる場所が近くにあること」が24.7%、「出かけた施設・建物が、障害のある人に利用しやすいこと」が23.0%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代から30歳代は「一緒に行く仲間」、40歳代以上は「参加しやすい場所などの情報」が最も多くなっています。

障害別にみると、肢体不自由は「出かけた施設・建物が、障害のある人に利用しやすいこと」、視覚障害と知的障害、重度重複、高次脳機能障害（失語症を含む）は「外に出ることを手伝ってくれる人」、それ以外は「参加しやすい場所などの情報」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	参加しやすい場所などの情報	一緒に行く仲間	外に出ることを手伝ってくれる人	出かけられる場所が近くにあること	出かけた場所にいる人が、障害について理解し、対応してくれること	出かけた施設・建物が、障害のある人に利用しやすいこと	コミュニケーションの支援	車などの移動できるものや、お手伝いしてくれる人を見つけること	その他	特にない	わからない	無回答
全体		2382	34.0	28.9	18.3	24.7	19.6	23.0	7.2	11.9	3.6	14.3	6.8	3.2
年齢別	10歳代	30	30.0	56.7	46.7	20.0	36.7	26.7	10.0	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0
	20歳代	249	34.9	39.0	27.3	24.5	23.7	22.1	14.9	10.8	3.2	8.4	4.0	2.0
	30歳代	307	39.1	41.0	23.8	26.1	25.1	27.7	12.4	10.4	2.9	9.4	3.9	1.6
	40歳代	298	34.6	33.2	17.1	24.5	20.8	23.5	7.4	11.1	4.7	13.1	7.0	3.4
	50歳代	519	34.9	30.3	14.8	26.0	18.7	23.7	4.0	11.2	4.2	14.6	6.7	3.3
	60歳以上	914	31.3	19.5	15.2	24.2	16.0	21.1	5.0	13.5	3.3	18.3	8.2	3.8
障害種別	視覚障害	170	31.8	30.0	36.5	25.9	22.9	31.2	3.5	12.9	3.5	11.2	4.7	3.5
	聴覚障害・平衡機能障害	172	41.3	29.1	15.1	18.6	34.3	22.1	22.1	6.4	3.5	9.3	4.1	3.5
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	30.1	19.4	21.5	21.5	12.9	23.7	10.8	12.9	3.2	12.9	9.7	6.5
	肢体不自由	730	31.5	22.2	25.5	26.0	20.1	34.5	2.7	17.5	2.6	12.1	6.2	3.4
	内部障害	476	33.8	29.8	9.7	24.2	13.7	20.8	1.7	10.7	4.8	19.3	7.6	1.5
	難病	382	33.0	27.0	17.8	24.6	16.8	27.0	2.6	16.5	3.7	11.0	7.3	5.8
	知的障害	312	37.5	34.6	46.8	21.8	31.4	26.3	20.8	15.4	0.6	2.9	3.2	5.1
	重度重複	66	31.8	18.2	53.0	25.8	39.4	50.0	6.1	27.3	1.5	1.5	1.5	3.0
	発達障害	185	39.5	37.8	22.7	27.6	29.7	15.7	21.1	7.6	3.8	7.6	7.0	2.2
	精神障害	355	35.8	34.9	13.0	31.5	21.1	11.8	8.7	9.3	6.2	10.4	9.0	2.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	29.3	25.0	32.8	24.1	19.8	22.4	3.4	19.0	2.6	11.2	11.2	3.4
	その他	164	34.8	26.2	18.3	17.7	16.5	15.2	7.3	12.2	4.3	25.0	6.1	1.8

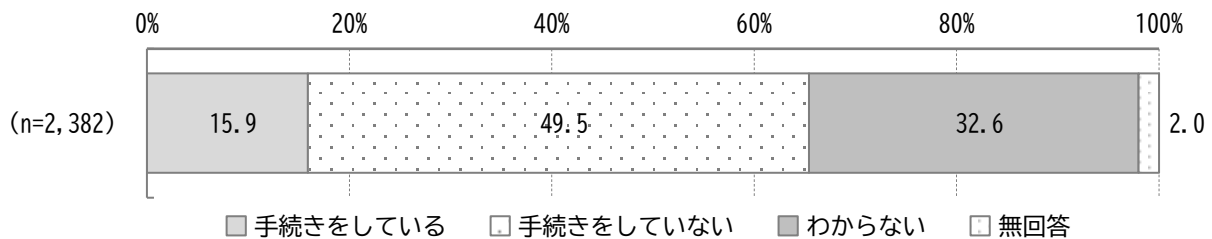
## (8) 災害時（地震や水害など）の備えについて

問 41 あなたは、「地域のたすけあいネットワーク」の手続きをしていますか。  
していない場合はその理由を書いてください。（〇は1つ）

「手続きをしている」が15.9%、「手続きをしていない」が49.5%、「わからない」が32.6%となっています。

年齢別にみると、10歳代は「手続きをしている」と「手続きをしていない」が同率で、それ以外は「手続きをしていない」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複は「手続きをしている」、知的障害は「わからない」、それ以外は「手続きをしていない」が最も多くなっています。



### 【年齢別・障害種別】

単位：%

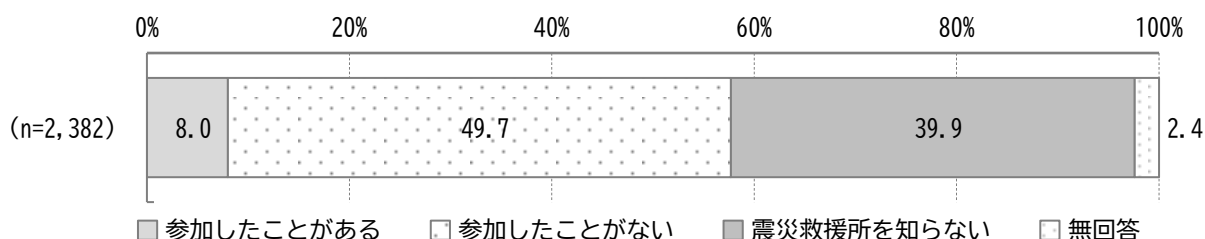
区分	回答者数 (件)	手続きを している	手続きを していない	わからない	無回答	
全体	2382	15.9	49.5	32.6	2.0	
年齢別	10歳代	30	36.7	36.7	26.7	-
	20歳代	249	17.3	45.4	36.9	0.4
	30歳代	307	19.9	47.2	32.2	0.7
	40歳代	298	16.4	46.3	34.2	3.0
	50歳代	519	13.1	52.8	32.6	1.5
	60歳以上	914	14.6	51.8	31.2	2.5
障害種別	視覚障害	170	19.4	51.8	27.1	1.8
	聴覚障害・平衡機能障害	172	18.0	45.3	34.3	2.3
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	29.0	37.6	32.3	1.1
	肢体不自由	730	23.3	44.8	30.0	1.9
	内部障害	476	12.0	57.8	29.0	1.3
	難病	382	21.5	43.7	32.5	2.4
	知的障害	312	29.5	33.0	34.9	2.6
	重度重複	66	45.5	31.8	21.2	1.5
	発達障害	185	16.8	45.4	36.8	1.1
	精神障害	355	9.6	50.7	37.7	2.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	21.6	42.2	34.5	1.7
	その他	164	10.4	50.0	37.2	2.4

問 42 あなたは、震災救援所訓練に参加したことがありますか。  
 参加したことがない場合はその理由を書いてください。(○は1つ)

「参加したことがある」が8.0%、「参加したことがない」が49.7%、「震災救援所を知らない」が39.9%となっています。

年齢別にみると、40歳代は「参加したことがない」と「震災救援所を知らない」が同率で、それ以外は「参加したことがない」が最も多くなっています。

障害別にみると、発達障害と精神障害は「震災救援所を知らない」、それ以外は「参加したことがない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数(件)	参加したことがある	参加したことがない	震災救援所を知らない	無回答
全体		2382	8.0	49.7	39.9	2.4
年齢別	10歳代	30	6.7	53.3	40.0	-
	20歳代	249	8.0	47.4	44.2	0.4
	30歳代	307	6.2	49.2	43.0	1.6
	40歳代	298	8.1	44.0	44.0	4.0
	50歳代	519	8.1	50.3	39.9	1.7
	60歳以上	914	8.6	51.9	36.7	2.8
障害種別	身体障害					
	視覚障害	170	6.5	50.0	39.4	4.1
	聴覚障害・平衡機能障害	172	10.5	48.3	39.0	2.3
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	6.5	46.2	44.1	3.2
	肢体不自由	730	7.9	52.5	37.3	2.3
	内部障害	476	9.2	52.5	37.4	0.8
	難病	382	6.0	48.7	42.4	2.9
	知的障害	312	10.9	51.9	33.7	3.5
	重度重複	66	13.6	60.6	22.7	3.0
	発達障害	185	8.6	42.2	47.0	2.2
	精神障害	355	5.9	43.9	47.0	3.1
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	7.8	53.4	35.3	3.4
	その他	164	9.1	53.0	34.8	3.0

問 43 あなたは、震災救護所での避難生活が難しい災害時要配慮者を受け入れ、専門性の高い支援を行う福祉救護所の存在を知っていますか。(○は1つ)

「知っている」が9.3%、「知らない」が88.4%となっています。  
 年齢別、障害別にみると、いずれも「知らない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全体		2382	9.3	88.4	2.3
年齢別	10歳代	30	13.3	86.7	-
	20歳代	249	11.6	87.6	0.8
	30歳代	307	11.4	87.3	1.3
	40歳代	298	9.1	87.6	3.4
	50歳代	519	9.4	88.8	1.7
	60歳以上	914	7.7	89.9	2.4
障害種別	身体障害				
	視覚障害	170	8.8	89.4	1.8
	聴覚障害・平衡機能障害	172	10.5	86.0	3.5
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	11.8	86.0	2.2
	肢体不自由	730	13.0	85.2	1.8
	内部障害	476	7.6	91.2	1.3
	難病	382	9.9	87.2	2.9
	知的障害	312	16.7	80.4	2.9
	重度重複	66	34.8	63.6	1.5
	発達障害	185	6.5	91.9	1.6
	精神障害	355	5.1	93.5	1.4
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	12.1	86.2	1.7
	その他	164	9.8	88.4	1.8

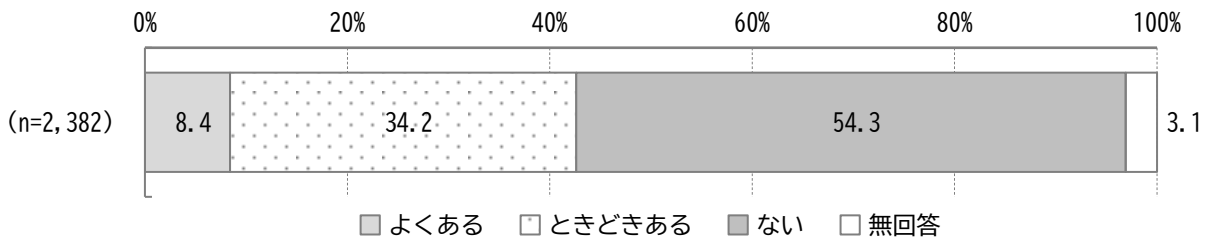
## (9) 差別解消と共生社会の実現に向けて

問 44 あなたは、これまでに障害があることを理由に差別されたり、いやな思いをしたことがありますか。  
(○は1つ)

「よくある」が8.4%、「ときどきある」が34.2%、「ない」が54.3%となっており、「よくある」と「ときどきある」を合わせると、42.6%が差別やいやな思いをした経験があると回答しています。

年齢別にみると、10歳代から30歳代は「ときどきある」、それ以外は「ない」が最も多くなっています。

障害別にみると、聴覚障害・平衡機能障害と知的障害、重度重複、発達障害は「ときどきある」、それ以外は「ない」が最も多くなっています。



### 【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	よくある	ときどきある	ない	無回答
全体		2382	8.4	34.2	54.3	3.1
年齢別	10歳代	30	6.7	50.0	43.3	-
	20歳代	249	12.9	46.2	39.8	1.2
	30歳代	307	13.7	49.5	36.5	0.3
	40歳代	298	9.7	41.9	43.6	4.7
	50歳代	519	7.7	37.8	51.6	2.9
	60歳以上	914	5.3	20.7	70.0	4.0
障害種別	視覚障害	170	8.2	41.8	44.1	5.9
	聴覚障害・平衡機能障害	172	14.0	48.3	31.4	6.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	8.6	34.4	52.7	4.3
	肢体不自由	730	9.2	40.7	47.0	3.2
	内部障害	476	4.8	22.1	71.6	1.5
	難病	382	6.8	28.3	60.7	4.2
	知的障害	312	15.7	49.7	31.1	3.5
	重度重複	66	16.7	59.1	22.7	1.5
	発達障害	185	19.5	44.9	34.1	1.6
	精神障害	355	16.1	40.3	41.1	2.5
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	8.6	37.1	48.3	6.0
	その他	164	7.9	25.6	60.4	6.1

問 45 (問 44 で「1. よくある」「2. ときどきある」に○をつけた人)

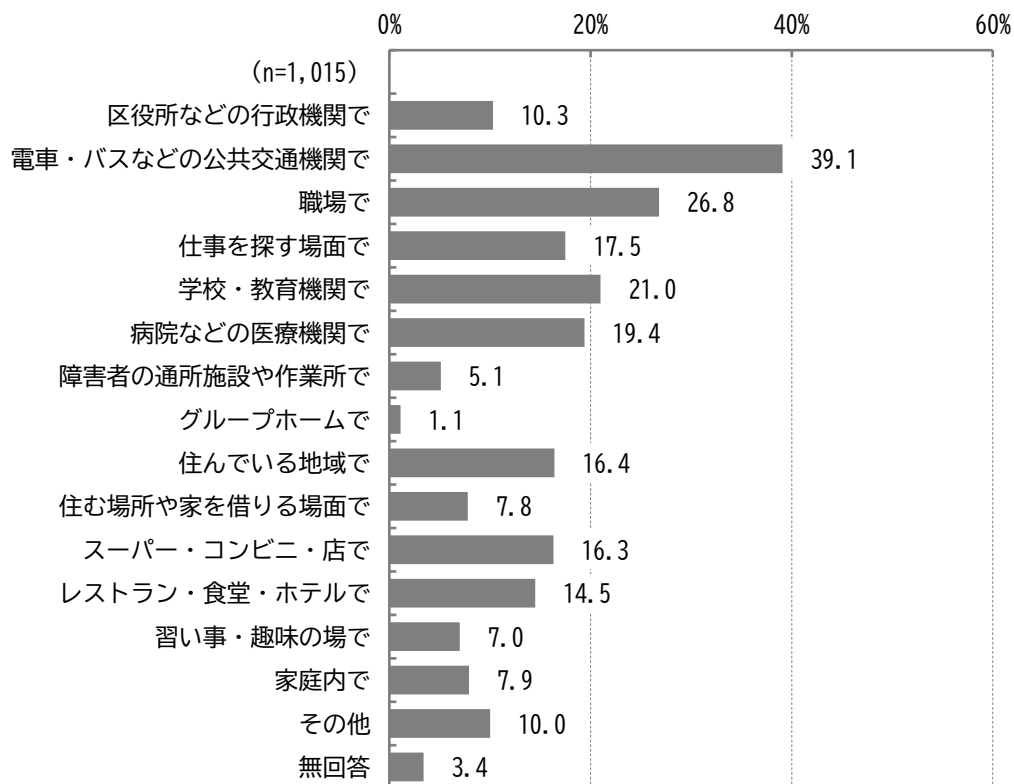
どのような場所で差別されたり、いやな思いをしましたか。その場所の番号に○をしてください。  
よろしければ、どのようないやな思いをしたかを書いてください。

(書きたくない場合は、書かなくてもかまいません。)(○はいくつでも)

「電車・バスなどの公共交通機関で」が 39.1%と最も多く、次いで「職場で」が 26.8%、「学校・教育機関で」が 21.0%、「病院などの医療機関で」が 19.4%の順となっています。

年齢別にみると、10 歳代と 20 歳代は「学校・教育機関で」、それ以外は「電車・バスなどの公共交通機関で」が最も多くなっています。

障害別にみると、発達障害は「学校・教育機関で」、聴覚障害・平衡機能障害と精神障害は「職場で」、それ以外は「電車・バスなどの公共交通機関で」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

区分		回答者数 (件)	区役所などの行政機関で	電車・バスなどの公共交通機関で	職場で	仕事を探す場面で	学校・教育機関で	病院などの医療機関で	障害者の通所施設や 作業所で	グループホームで	住んでいる地域で
全体		1015	10.3	39.1	26.8	17.5	21.0	19.4	5.1	1.1	16.4
年齢別	10歳代	17	5.9	35.3	11.8	17.6	47.1	5.9	5.9	5.9	29.4
	20歳代	147	10.2	37.4	19.0	15.0	38.1	19.0	8.2	2.0	14.3
	30歳代	194	11.9	35.6	29.4	19.1	30.4	22.2	5.7	1.5	18.6
	40歳代	154	8.4	42.9	37.0	22.7	20.1	18.2	2.6	1.3	16.2
	50歳代	236	11.4	41.1	33.5	17.8	12.3	17.4	4.2	0.4	16.9
	60歳以上	237	9.3	38.8	18.6	15.6	8.9	21.1	4.6	0.4	13.5
障害種別	身体障害										
	視覚障害	85	12.9	47.1	27.1	20.0	23.5	23.5	9.4	1.2	23.5
	聴覚障害・平衡機能障害	107	16.8	33.6	40.2	18.7	32.7	35.5	3.7	0.9	10.3
	音声・言語・そしゃく機能障害	40	25.0	45.0	2.5	15.0	10.0	22.5	10.0	-	22.5
	肢体不自由	364	9.1	47.8	20.1	15.1	14.3	19.0	4.9	0.5	20.3
	内部障害	128	7.8	39.1	25.0	22.7	16.4	14.8	3.9	0.8	12.5
	難病	134	12.7	43.3	23.9	17.9	11.2	17.2	3.7	2.2	14.2
	知的障害	204	10.8	43.6	14.2	8.8	28.4	20.6	9.3	3.4	22.1
	重度重複	50	16.0	54.0	2.0	2.0	12.0	32.0	10.0	2.0	24.0
	発達障害	119	12.6	37.0	31.9	17.6	47.1	19.3	9.2	2.5	21.8
	精神障害	200	15.5	29.0	34.5	28.0	21.0	24.0	10.0	2.0	17.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	53	15.1	45.3	26.4	9.4	9.4	20.8	11.3	1.9	15.1
	その他	55	18.2	32.7	32.7	12.7	27.3	23.6	1.8	-	12.7
	区分		住む場所や家を借りる場面で	スーパー・コンビニ・店で	レストラン・食堂・ホテルで	習い事・趣味の場で	家庭内で	その他	無回答		
全体		7.8	16.3	14.5	7.0	7.9	10.0	3.4			
年齢別	10歳代	11.8	23.5	29.4	11.8	5.9	11.8	-			
	20歳代	4.8	15.0	19.7	9.5	9.5	9.5	1.4			
	30歳代	9.3	14.4	15.5	8.2	9.8	7.7	1.0			
	40歳代	11.0	11.7	13.0	9.1	9.1	7.1	4.5			
	50歳代	6.8	18.2	12.7	6.8	5.1	10.2	3.8			
	60歳以上	6.3	19.4	11.8	3.4	7.2	12.7	5.5			
障害種別	身体障害										
	視覚障害	10.6	27.1	15.3	10.6	5.9	8.2	1.2			
	聴覚障害・平衡機能障害	12.1	32.7	27.1	16.8	9.3	6.5	0.9			
	音声・言語・そしゃく機能障害	5.0	20.0	17.5	2.5	2.5	10.0	7.5			
	肢体不自由	5.8	15.9	19.0	3.3	4.1	8.5	3.8			
	内部障害	5.5	10.2	10.2	3.1	3.9	13.3	6.3			
	難病	8.2	17.2	14.9	0.7	6.0	15.7	3.7			
	知的障害	3.9	18.1	22.1	5.9	3.4	7.8	2.5			
	重度重複	4.0	16.0	40.0	4.0	-	4.0	2.0			
	発達障害	9.2	15.1	13.4	15.1	11.8	10.9	0.8			
	精神障害	13.5	10.5	7.5	11.5	17.5	10.0	1.0			
	高次脳機能障害（失語症を含む）	11.3	15.1	13.2	3.8	3.8	13.2	11.3			
	その他	9.1	10.9	12.7	5.5	9.1	21.8	-			

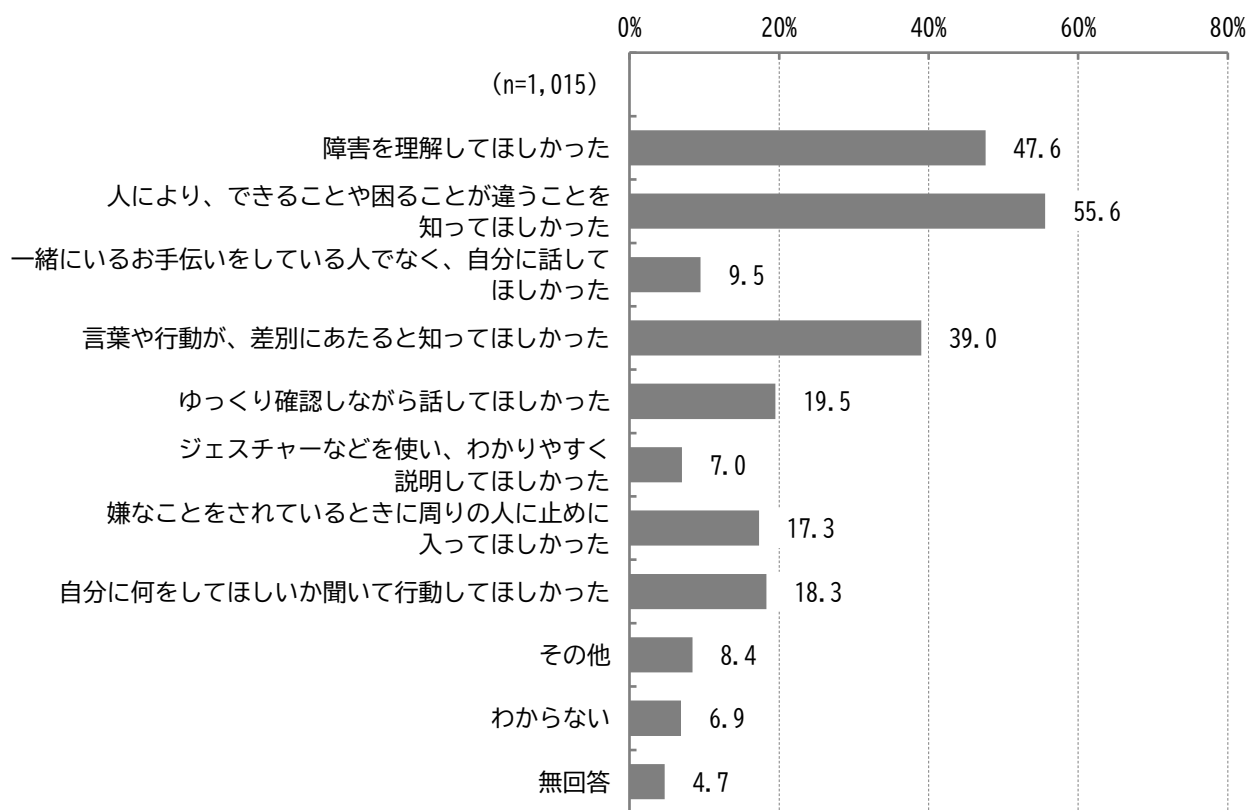
問 46 (問 44 で「1. よくある」「2. ときどきある」に○をつけた人)

あなたが、差別を受けたり、いやな思いをしたときに、相手や周りの人にどのようなことをしてほしかったですか。(○はいくつでも)

「人により、できることや困ることが違うことを知ってほしかった」が 55.6%と最も多く、次いで「障害を理解してほしかった」が 47.6%、「言葉や行動が、差別にあたると知ってほしかった」が 39.0%、「ゆっくり確認しながら話してほしかった」が 19.5%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「人により、できることや困ることが違うことを知ってほしかった」が最も多くなっています。

障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害と重度重複、高次脳機能障害（失語症を含む）は「障害を理解してほしかった」、それ以外は「人により、できることや困ることが違うことを知ってほしかった」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

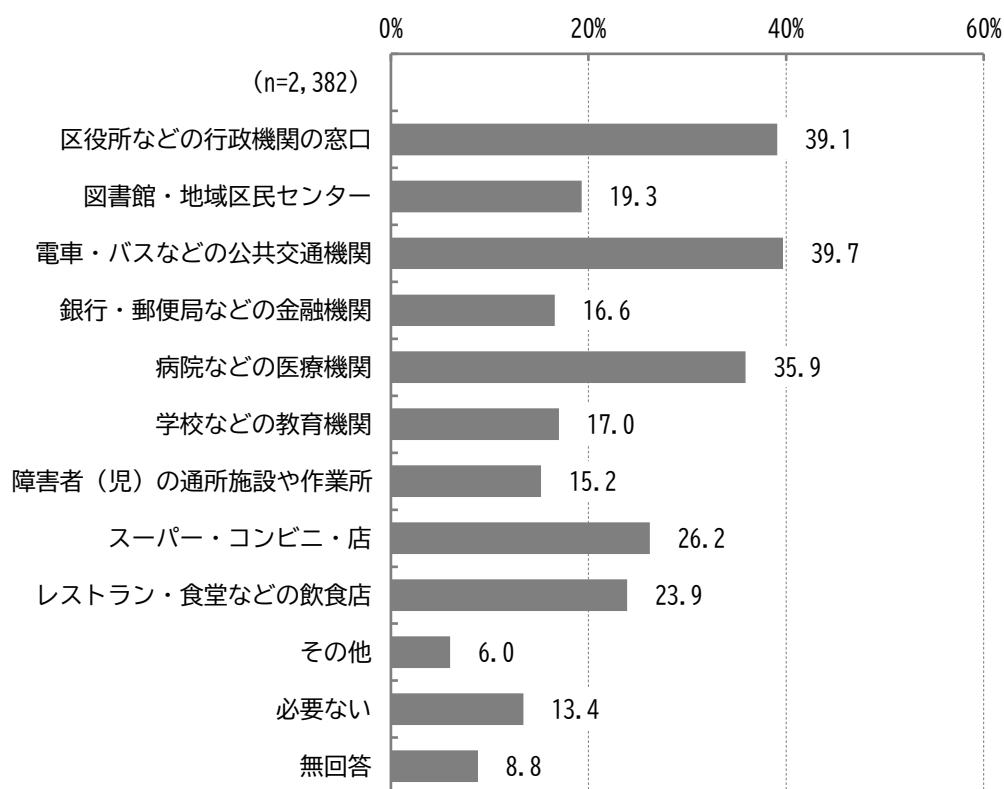
区分		回答者数 (件)	障害を 理解して ほしかった	人により、 できること や困ること が違 うことを 知って ほしかった	一緒に いるお 手伝い をして いる人 でな く、自 分に 話して ほし かつ た	言葉や 行動が、 差別に あたる と知っ て ほし かつ た	ゆっ くり 確認 しな がら 話して ほし かつ た	ジ エ ス チ ャ ー な ど を 使 い、 わ か り や す く 説 明 し て ほ し かつ た	嫌 な こ と を さ れ て い る と き に 周 り の 人 に 止 め に 入 っ て ほ し かつ た	自 分 に 何 を し て ほ し い か 聞 い て 行 動 し て ほ し かつ た	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体		1015	47.6	55.6	9.5	39.0	19.5	7.0	17.3	18.3	8.4	6.9	4.7
年齢別	10歳代	17	58.8	64.7	11.8	23.5	11.8	5.9	17.6	11.8	-	11.8	-
	20歳代	147	44.2	55.8	11.6	39.5	22.4	12.2	23.1	17.7	8.2	10.2	3.4
	30歳代	194	47.4	60.3	9.8	44.8	22.7	8.2	25.8	20.1	7.7	5.2	3.6
	40歳代	154	47.4	59.1	8.4	39.0	13.6	4.5	20.8	18.2	8.4	6.5	3.2
	50歳代	236	48.7	51.3	8.1	42.4	13.1	5.5	13.1	15.3	8.9	6.8	5.1
	60歳以上	237	46.0	54.0	9.3	30.0	25.3	5.1	8.4	20.3	9.7	6.8	7.2
障害種別	身体障害	85	54.1	62.4	17.6	36.5	18.8	4.7	16.5	31.8	5.9	2.4	3.5
	視覚障害	107	55.1	57.0	21.5	39.3	50.5	30.8	18.7	24.3	9.3	2.8	2.8
	聴覚障害・平衡機能障害	40	50.0	42.5	10.0	25.0	22.5	7.5	5.0	22.5	2.5	10.0	10.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	364	49.5	53.3	7.4	34.6	9.1	2.2	12.4	14.8	8.5	7.4	4.4
	肢体不自由	128	39.1	47.7	3.9	32.0	10.2	0.8	10.2	10.9	11.7	9.4	9.4
	内部障害	134	45.5	49.3	4.5	30.6	13.4	2.2	8.2	13.4	9.0	6.7	6.7
	難病	204	50.5	60.3	9.8	42.2	25.0	9.3	24.0	18.1	3.4	7.4	4.9
	知的障害	50	64.0	52.0	8.0	44.0	8.0	4.0	10.0	10.0	2.0	8.0	4.0
	重度重複	119	43.7	64.7	13.4	52.1	32.8	15.1	33.6	18.5	8.4	8.4	1.7
	発達障害	200	51.5	59.5	8.0	50.5	24.5	6.0	26.0	22.5	12.5	6.0	2.0
	精神障害	53	64.2	52.8	11.3	43.4	26.4	7.5	13.2	20.8	5.7	5.7	7.5
	高次脳機能障害（失語症を含む）	55	45.5	54.5	12.7	50.9	23.6	7.3	23.6	16.4	16.4	10.9	1.8
その他													

問 47 あなたが、「良かったこと」を広げてほしい場所は、どこですか。(〇はいくつでも)

「電車・バスなどの公共交通機関」が 39.7%と最も多く、次いで「区役所などの行政機関の窓口」が 39.1%、「病院などの医療機関」が 35.9%、「スーパー・コンビニ・店」が 26.2%の順となっています。

年齢別にみると、10 歳代は「電車・バスなどの公共交通機関」と「学校などの教育機関」、60 歳以上は「区役所などの行政機関の窓口」、それ以外は「電車・バスなどの公共交通機関」が最も多くなっています。

障害別にみると、聴覚障害・平衡機能障害は「病院などの医療機関」、重度重複は「障害者（児）の通所施設や作業所」、音声・言語・そしゃく機能障害と発達障害、精神障害は「区役所などの行政機関の窓口」、それ以外は「電車・バスなどの公共交通機関」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

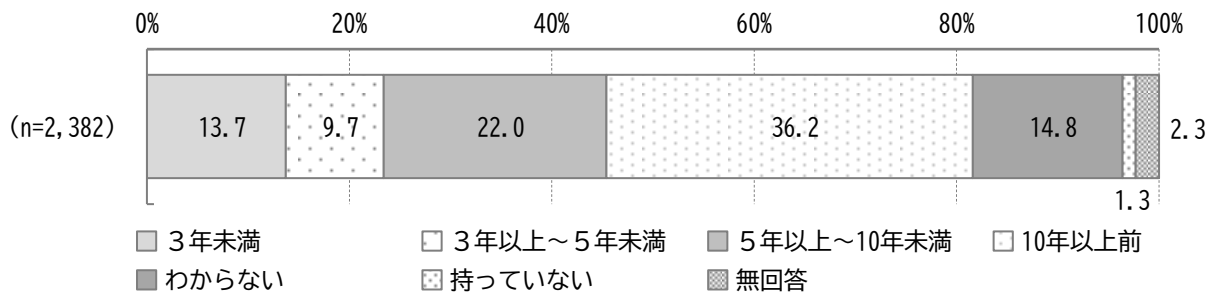
区分		回答者数 (件)	区役所などの行政機関の窓口	図書館・地域区民センター	電車・バスなどの公共交通機関	銀行・郵便局などの金融機関	病院などの医療機関	学校などの教育機関	障害者(児)の通所施設や作業所	スーパー・コンビニ・店	レストラン・食堂などの飲食店	その他	必要ない	無回答
全体		2382	39.1	19.3	39.7	16.6	35.9	17.0	15.2	26.2	23.9	6.0	13.4	8.8
年齢別	10歳代	30	30.0	13.3	46.7	6.7	33.3	46.7	30.0	20.0	26.7	-	3.3	6.7
	20歳代	249	37.8	22.1	39.0	18.9	35.7	28.5	30.1	29.3	31.3	5.6	14.1	6.4
	30歳代	307	38.8	22.8	43.3	19.5	41.4	30.9	28.0	29.3	26.4	5.2	11.7	6.5
	40歳代	298	37.6	16.4	41.3	13.8	35.2	18.5	17.1	23.5	23.2	7.0	16.8	8.1
	50歳代	519	38.5	15.4	42.6	15.2	33.9	13.5	10.8	25.4	22.7	5.2	15.0	7.1
	60歳以上	914	40.0	20.9	36.4	17.3	35.7	9.4	7.9	25.9	22.0	6.2	12.3	11.5
障害種別	視覚障害	170	39.4	21.8	44.1	23.5	33.5	18.2	13.5	31.2	27.1	5.9	9.4	11.2
	聴覚障害・平衡機能障害	172	40.7	23.3	40.7	23.3	43.6	23.3	11.6	35.5	29.7	5.8	7.6	10.5
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	44.1	15.1	29.0	12.9	37.6	11.8	15.1	25.8	17.2	4.3	12.9	10.8
	肢体不自由	730	36.3	16.4	42.7	15.8	31.2	17.3	16.8	25.9	28.4	4.9	13.0	8.6
	内部障害	476	38.4	19.1	42.0	12.8	39.9	14.5	7.8	21.0	15.3	5.7	16.2	8.0
	難病	382	43.2	16.8	43.5	17.0	38.7	17.3	12.3	28.0	25.7	5.5	10.2	11.8
	知的障害	312	34.0	18.6	43.3	18.3	36.9	22.4	41.3	31.4	32.4	4.5	3.5	11.9
	重度重複	66	28.8	13.6	48.5	12.1	45.5	19.7	54.5	21.2	34.8	1.5	-	15.2
	発達障害	185	43.8	26.5	39.5	23.8	40.0	30.8	31.4	30.8	28.1	8.1	9.7	8.6
	精神障害	355	43.1	21.1	34.4	19.2	38.3	17.5	19.2	25.6	21.1	10.1	15.5	6.5
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	42.2	17.2	44.8	14.7	33.6	10.3	23.3	21.6	25.0	6.0	9.5	11.2
その他	164	37.2	19.5	32.3	17.7	37.2	15.2	9.8	25.6	20.7	10.4	12.8	9.8	

## (10) エネルギー機器について

問 48-1 現在、ご家庭で使用しているエアコン（一番古いもの）を購入したのはいつ頃ですか。  
（○は1つ）

「10年以上前」が36.2%と最も多く、次いで「5年以上～10年未満」が22.0%、「3年未満」が13.7%の順となっており、「わからない」が14.8%、「持っていない」が1.3%となっています。

年齢別、障害別にみると、いずれも「10年以上前」が最も多くなっています。



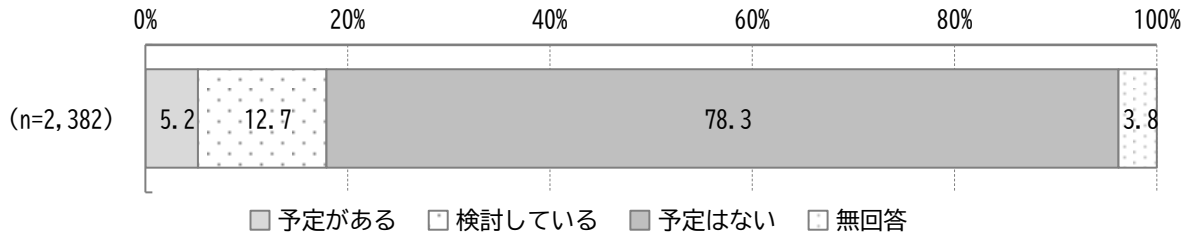
### 【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	3年未満	3年以上 ～ 5年未満	満5年 以上 ～ 10年未 満	10年以上前	わからない	持っていない	無回答
全体		2382	13.7	9.7	22.0	36.2	14.8	1.3	2.3
年齢別	10歳代	30	13.3	13.3	30.0	33.3	10.0	-	-
	20歳代	249	12.9	9.2	18.9	32.1	23.3	2.4	1.2
	30歳代	307	14.0	9.8	23.8	30.0	20.8	1.0	0.7
	40歳代	298	13.8	6.7	22.5	35.2	17.4	1.7	2.7
	50歳代	519	15.0	11.4	21.4	33.9	14.6	1.0	2.7
	60歳以上	914	13.3	9.4	22.5	41.5	9.7	1.0	2.5
障害種別	視覚障害	170	11.8	9.4	20.0	32.9	19.4	2.9	3.5
	聴覚障害・平衡機能障害	172	11.6	15.7	18.6	37.2	9.9	2.3	4.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	7.5	11.8	24.7	35.5	14.0	2.2	4.3
	肢体不自由	730	13.6	11.8	23.7	37.3	10.0	1.0	2.7
	内部障害	476	12.2	9.5	20.0	39.7	16.2	1.1	1.5
	難病	382	12.6	8.6	23.3	37.4	13.9	0.8	3.4
	知的障害	312	14.7	9.3	26.0	34.3	10.9	2.6	2.2
	重度重複	66	13.6	10.6	24.2	45.5	4.5	-	1.5
	発達障害	185	16.8	8.1	15.1	38.4	18.9	0.5	2.2
	精神障害	355	14.6	7.0	17.7	31.8	26.5	1.1	1.1
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	12.1	8.6	23.3	37.9	12.9	0.9	4.3
	その他	164	13.4	7.3	18.3	43.9	12.8	0.6	3.7

問 48-2 おおむね1年以内にエアコンを買い替えまたは購入する予定はありますか。(○は1つ)

「予定がある」が5.2%、「検討している」が12.7%、「予定はない」が78.3%となっています。  
年齢別、障害別にみると、いずれも「予定はない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

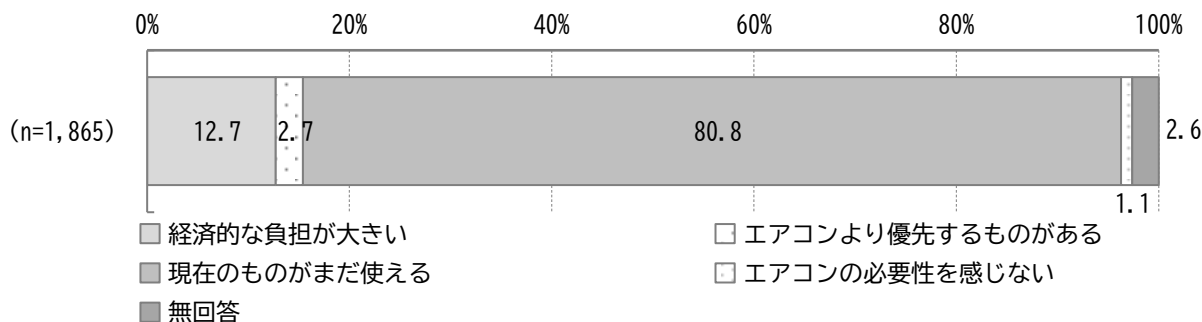
単位：%

区分		回答者数 (件)	予定 がある	検討 している	予定 はない	無 回答
全体		2382	5.2	12.7	78.3	3.8
年齢別	10歳代	30	6.7	10.0	83.3	-
	20歳代	249	3.2	13.3	81.1	2.4
	30歳代	307	4.6	9.1	84.7	1.6
	40歳代	298	6.0	12.8	77.5	3.7
	50歳代	519	4.2	12.5	80.3	2.9
	60歳以上	914	6.2	13.9	74.7	5.1
障害種別	身体障害					
	視覚障害	170	7.6	11.2	77.1	4.1
	聴覚障害・平衡機能障害	172	6.4	13.4	71.5	8.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	4.3	12.9	75.3	7.5
	肢体不自由	730	5.2	14.1	77.5	3.2
	内部障害	476	5.0	13.9	78.4	2.7
	難病	382	5.2	12.0	76.7	6.0
	知的障害	312	6.1	13.5	75.6	4.8
	重度重複	66	3.0	18.2	75.8	3.0
	発達障害	185	5.9	12.4	76.8	4.9
	精神障害	355	3.1	8.5	86.2	2.3
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	6.0	12.1	75.0	6.9
	その他	164	4.3	12.2	79.3	4.3

問 48-3 (問 48-2 で「3. 予定はない」に○をつけた人)  
 予定はないとした最も大きな理由はなんですか。(○は1つ)

「現在のものがまだ使える」が 80.8%と最も多く、次いで「経済的な負担が大きい」が 12.7%、「エアコンより優先するものがある」が 2.7%の順となっています。

年齢別、障害別にみると、いずれも「現在のものがまだ使える」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

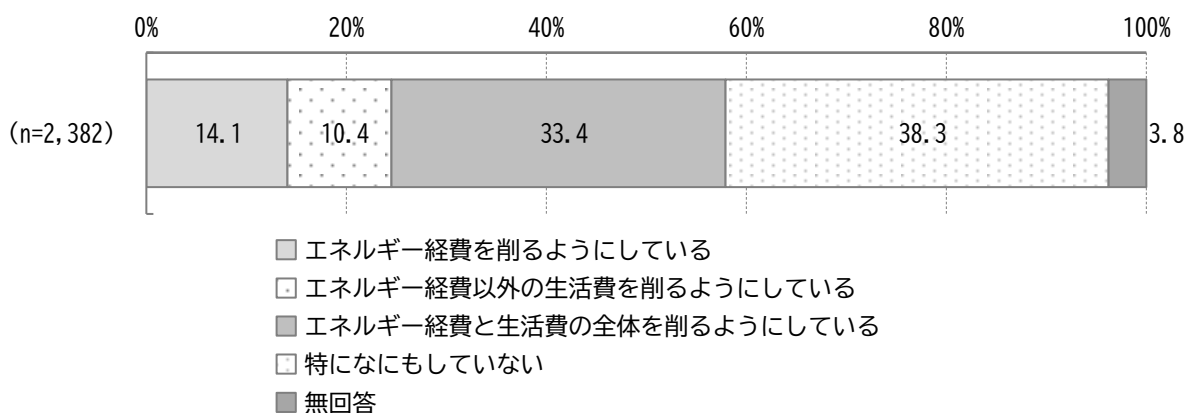
区分		回答者数 (件)	経済的な負担が大きい	エアコンより優先するものがある	現在のものがまだ使える	エアコンの必要性を感じない	無回答
全体		1865	12.7	2.7	80.8	1.1	2.6
年齢別	10歳代	25	12.0	12.0	72.0	4.0	-
	20歳代	202	13.9	2.5	81.7	0.5	1.5
	30歳代	260	10.4	2.7	84.2	0.8	1.9
	40歳代	231	16.0	3.0	78.8	-	2.2
	50歳代	417	12.7	2.6	80.3	1.0	3.4
	60歳以上	683	12.3	2.2	80.8	1.8	2.9
障害種別	視覚障害	131	12.2	3.8	78.6	0.8	4.6
	聴覚障害・平衡機能障害	123	15.4	1.6	79.7	0.8	2.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	70	10.0	-	87.1	1.4	1.4
	肢体不自由	566	12.5	3.2	80.6	1.4	2.3
	内部障害	373	12.6	3.2	81.0	1.1	2.1
	難病	293	14.3	3.4	77.1	1.4	3.8
	知的障害	236	12.3	4.2	79.7	0.8	3.0
	重度重複	50	14.0	2.0	80.0	-	4.0
	発達障害	142	16.9	4.2	76.8	-	2.1
	精神障害	306	19.6	2.6	74.5	0.7	2.6
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	87	14.9	3.4	75.9	2.3	3.4
	その他	130	10.8	2.3	83.1	1.5	2.3

問 49 エネルギー経費（電気・ガス・ガソリン代など）が家計の負担となっていて、エアコンやガスなどの使用を抑えたり、その他の生活費（食費、服飾費、住居費など）を削減していますか。（○は1つ）

「特になにもしていない」が38.3%と最も多く、次いで「エネルギー経費と生活費の全体を削るようにしている」が33.4%、「エネルギー経費を削るようにしている」が14.1%、「エネルギー経費以外の生活費を削るようにしている」が10.4%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「特になにもしていない」が最も多くなっています。

障害別にみると、聴覚障害・平衡機能障害と精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）は「エネルギー経費と生活費の全体を削るようにしている」、それ以外は「特になにもしていない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

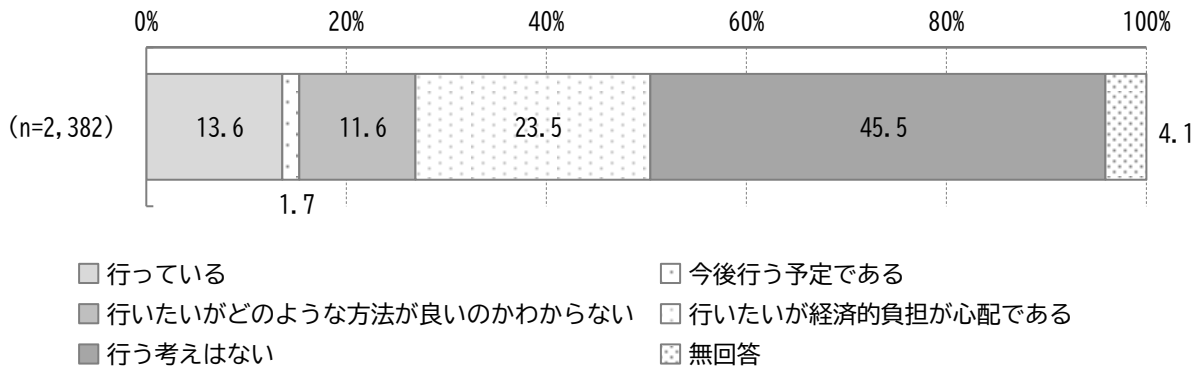
区分	回答者数 (件)	エネルギー経費を削るよう	エネルギー以外の生活費を削るよう	エネルギー経費と生活費の全体を削るよう	特になにもしていない	無回答	
全体	2382	14.1	10.4	33.4	38.3	3.8	
年齢別	10歳代	30	23.3	6.7	20.0	46.7	3.3
	20歳代	249	12.9	10.4	32.5	40.2	4.0
	30歳代	307	14.3	11.4	29.0	43.6	1.6
	40歳代	298	14.8	13.1	30.9	37.2	4.0
	50歳代	519	14.8	9.8	35.3	35.6	4.4
	60歳以上	914	13.8	9.7	34.8	38.0	3.7
障害種別	身体障害						
	視覚障害	170	16.5	10.0	30.0	38.8	4.7
	聴覚障害・平衡機能障害	172	17.4	8.7	36.0	32.0	5.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	12.9	14.0	33.3	34.4	5.4
	肢体不自由	730	12.7	11.1	34.5	37.8	3.8
	内部障害	476	12.8	10.7	32.4	41.8	2.3
	難病	382	17.3	10.5	31.9	35.6	4.7
	知的障害	312	12.8	8.3	33.3	40.1	5.4
	重度重複	66	15.2	7.6	33.3	37.9	6.1
	発達障害	185	16.8	9.2	31.9	36.2	5.9
	精神障害	355	14.6	13.2	36.9	31.3	3.9
	高次脳機能障害（失語症を含む）	116	16.4	12.9	31.9	31.0	7.8
	その他	164	13.4	8.5	34.8	38.4	4.9

問 50 エネルギー経費削減のため、住宅の壁、床、屋根、窓などの断熱化や太陽光発電機器の導入などの対策を行っていますか。(〇は1つ)

「行う考えはない」が 45.5%と最も多く、次いで「行いたいが経済的負担が心配である」が 23.5%、「行っている」が 13.6%、「行いたいがどのような方法が良いのかわからない」が 11.6%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「行う考えはない」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複は「行いたいが経済的負担が心配である」、それ以外は「行う考えはない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	行っている	今後行う予定である	行いたい方法がどのようなものかわからない	行いたい経済的負担が心配である	行う考えはない	無回答	
全体	2382	13.6	1.7	11.6	23.5	45.5	4.1	
年齢別	10歳代	30	23.3	3.3	3.3	20.0	50.0	-
	20歳代	249	11.6	2.0	14.5	20.1	50.6	1.2
	30歳代	307	10.1	2.0	16.0	23.5	46.3	2.3
	40歳代	298	12.1	0.7	11.7	23.8	48.0	3.7
	50歳代	519	12.5	1.5	11.4	23.9	45.9	4.8
	60歳以上	914	16.6	2.0	9.4	23.9	42.9	5.3
障害種別	身体障害							
	視覚障害	170	20.0	1.2	8.8	14.7	49.4	5.9
	聴覚障害・平衡機能障害	172	10.5	1.7	9.9	25.0	45.3	7.6
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	12.9	1.1	6.5	25.8	47.3	6.5
	肢体不自由	730	15.5	1.9	11.8	25.9	41.4	3.6
	内部障害	476	14.9	2.3	9.9	24.4	45.0	3.6
	難病	382	14.1	0.8	10.5	27.0	42.7	5.0
	知的障害	312	13.1	1.9	15.4	24.0	40.4	5.1
	重度重複	66	21.2	4.5	16.7	31.8	22.7	3.0
	発達障害	185	11.9	1.1	15.1	23.2	45.4	3.2
	精神障害	355	8.5	0.8	14.6	21.4	51.0	3.7
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	116	12.9	1.7	6.0	31.9	38.8	8.6
その他	164	10.4	3.0	14.0	22.6	44.5	5.5	

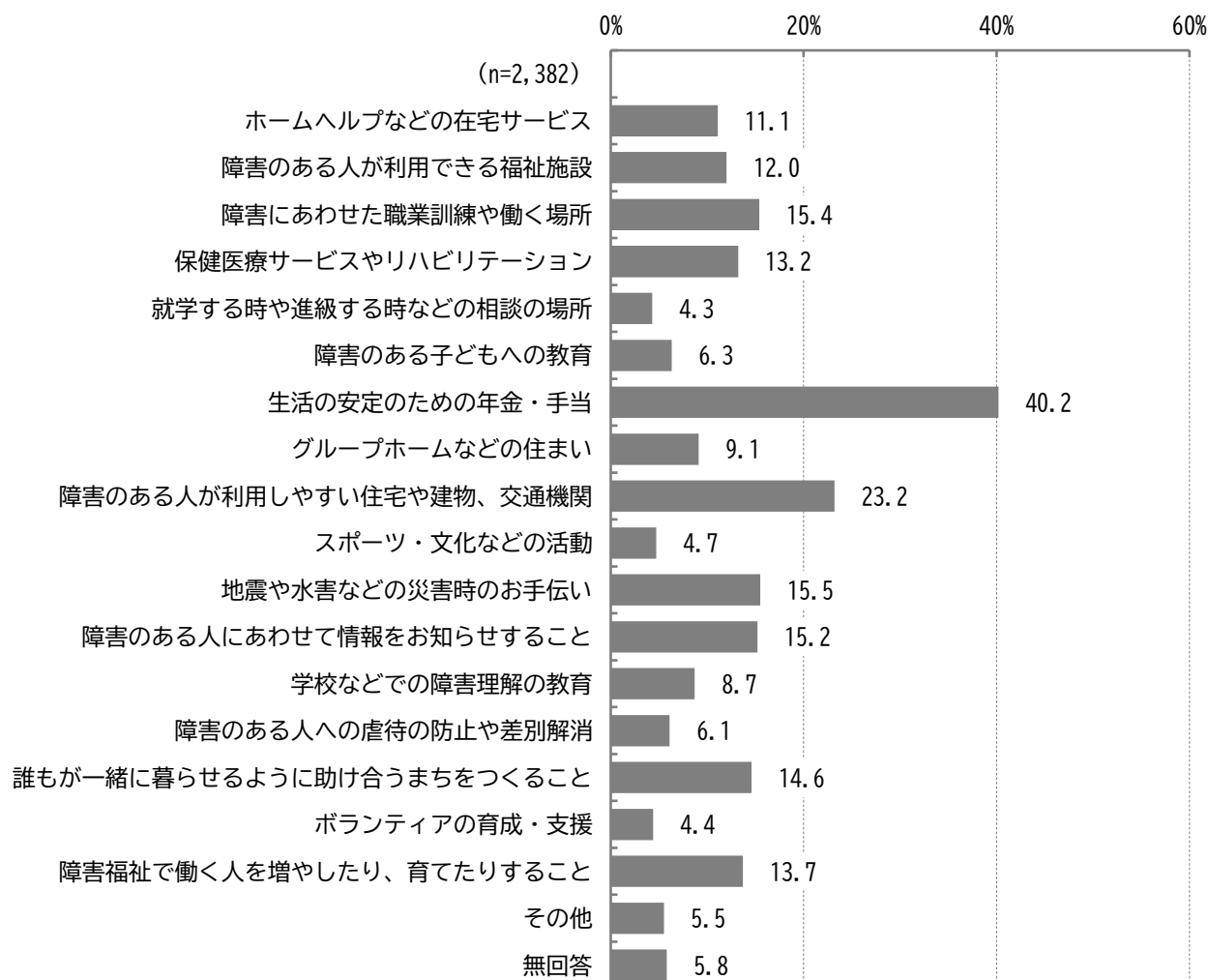
## (11) 区の施策について

問 51 障害のある人に対して、杉並区が今よりもっと取り組んだほうが良いと思うものはどれですか。  
(〇は3つまで)

「生活の安定のための年金・手当」が40.2%と最も多く、次いで「障害のある人が利用しやすい住宅や建物、交通機関」が23.2%、「地震や水害などの災害時のお手伝い」が15.5%、「障害にあわせた職業訓練や働く場所」が15.4%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代は「グループホームなどの住まい」、それ以外は「生活の安定のための年金・手当」が最も多くなっています。

障害別にみると、知的障害は「グループホームなどの住まい」、重度重複は「障害福祉で働く人を増やしたり、育てたりすること」、それ以外は「生活の安定のための年金・手当」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

区分		回答者数(件)	ホームヘルプなどの在宅サービス	障害のある人が利用できる福祉施設	障害にあわせた職業訓練や働く場所	保健医療サービスやリハビリテーション	就学する時や進級する時などの相談の場所	障害のある子どもへの教育	生活の安定のための年金・手当	グループホームなどの住まい	障害のある人が利用しやすい住宅や建物、交通機関
全体		2382	11.1	12.0	15.4	13.2	4.3	6.3	40.2	9.1	23.2
年齢別	10歳代	30	16.7	20.0	16.7	13.3	6.7	16.7	33.3	36.7	20.0
	20歳代	249	6.8	17.7	24.5	6.4	8.0	10.4	37.8	22.9	17.7
	30歳代	307	8.8	12.7	19.9	6.8	7.8	9.1	41.0	15.6	18.2
	40歳代	298	9.1	12.1	23.8	12.4	7.4	8.4	39.3	7.4	22.8
	50歳代	519	10.6	10.8	14.5	13.7	2.3	3.9	41.6	7.3	27.2
	60歳以上	914	13.7	10.5	9.4	16.8	2.1	4.5	40.2	3.8	23.7
障害種別	身体障害										
	視覚障害	170	8.2	9.4	14.1	12.4	2.4	5.9	36.5	5.3	29.4
	聴覚障害・平衡機能障害	172	4.1	13.4	14.5	12.2	3.5	9.9	45.3	7.0	16.3
	音声・言語・そしゃく機能障害	93	16.1	11.8	10.8	18.3	2.2	4.3	32.3	7.5	18.3
	肢体不自由	730	16.2	13.3	12.3	17.8	3.0	4.4	36.3	9.0	28.1
	内部障害	476	9.9	7.1	14.5	14.7	5.3	6.7	45.6	3.8	27.5
	難病	382	12.3	10.5	10.5	17.3	4.5	5.0	40.8	6.0	26.4
	知的障害	312	10.6	21.8	20.2	7.7	6.1	6.4	39.7	42.0	9.9
	重度重複	66	21.2	24.2	9.1	22.7	1.5	3.0	31.8	37.9	7.6
	発達障害	185	7.6	15.1	27.0	8.1	5.4	12.4	40.0	22.7	14.6
	精神障害	355	10.7	14.1	25.9	6.8	4.8	5.4	44.5	7.9	18.3
	高次脳機能障害(失語症を含む)	116	20.7	19.0	22.4	27.6	1.7	2.6	32.8	3.4	26.7
その他	164	15.2	12.2	11.0	15.2	3.0	7.3	31.1	6.7	18.9	
区分		活動スポーツ・文化などの	地震や水害などの災害時のお手伝い	障害のある人にあわせて情報をお知らせすること	学校などでの障害理解の教育	障害のある人への虐待の防止や差別解消	誰もが一緒に暮らせるように助け合うまちをつくること	ボランティアの育成・支援	障害福祉で働く人を増やしたり、育てたりすること	その他	無回答
全体		4.7	15.5	15.2	8.7	6.1	14.6	4.4	13.7	5.5	5.8
年齢別	10歳代	6.7	6.7	16.7	23.3	10.0	10.0	3.3	20.0	3.3	-
	20歳代	5.6	11.2	10.4	14.1	10.0	16.1	2.0	20.5	5.6	3.2
	30歳代	6.5	17.3	17.6	12.7	9.8	13.0	2.9	18.6	7.5	3.9
	40歳代	6.0	14.4	13.1	9.7	6.4	14.1	3.0	14.1	3.7	6.4
	50歳代	3.3	14.3	18.1	7.3	6.6	14.8	5.4	11.6	5.8	4.8
	60歳以上	4.0	17.7	14.9	5.8	3.5	15.3	5.5	11.3	5.0	7.5
障害種別	身体障害										
	視覚障害	4.1	22.4	24.7	10.0	6.5	12.4	6.5	9.4	4.1	5.9
	聴覚障害・平衡機能障害	5.8	19.8	22.1	16.3	7.6	19.2	1.7	8.1	4.7	6.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	4.3	15.1	17.2	6.5	6.5	12.9	5.4	19.4	4.3	7.5
	肢体不自由	4.7	15.1	11.8	6.6	5.8	12.2	4.8	17.3	4.9	4.8
	内部障害	2.5	17.9	17.9	7.8	4.4	12.6	3.4	10.9	5.3	5.0
	難病	3.4	14.7	13.9	9.9	4.2	15.2	4.5	16.2	6.5	5.2
	知的障害	5.1	14.1	13.5	8.3	8.3	19.6	4.8	27.9	2.6	2.9
	重度重複	3.0	13.6	12.1	6.1	4.5	19.7	3.0	39.4	3.0	1.5
	発達障害	6.5	10.8	19.5	12.4	11.9	16.2	3.2	16.8	3.8	4.3
	精神障害	4.2	13.0	14.6	5.6	9.3	12.4	2.8	11.3	8.5	6.2
	高次脳機能障害(失語症を含む)	2.6	5.2	7.8	6.9	3.4	6.0	3.4	12.9	6.9	9.5
その他	3.7	12.2	10.4	8.5	5.5	20.1	6.7	11.6	7.3	12.8	

問 52 これから 10 年くらいの杉並区に望むことはなんですか。(自由に書いてください)

これから 10 年くらいの杉並区に望むことについて、970 人の方からご意見・ご要望をいただきました。内容別に分類した結果と、各分類の主な意見は以下の通りです。

分類		件数
①	福祉サービスについて	221
②	経済的不安・経済的支援について	112
③	健康・医療について	34
④	障害理解について	220
⑤	生活環境について	219
⑥	雇用・就労について	47
⑦	保育・療育・教育について	16
⑧	将来の不安について	33
⑨	災害時の不安・災害対策について	38
⑩	その他	30
合計		970

【主な意見】※基本的に原文のまま掲載しています。

〔① 福祉サービスについて〕

- 他の地区から転居してきました。サービスが手厚く、ありがたいです。オンライン申請が可能になると助かります（フルタイム就労のため）。
- 障害といっても色々な種類がある。自分のような身体障害でも話せないだけならメモを書けばどこにでも行ける。だが体に不自由がある人や知的、発達、精神、いろいろな障害がある方たちが平等に福祉サービスを受けられる行政であってほしい。

〔② 経済的不安・経済的支援について〕

- 移動（外出）支援に伴う交通費を負担してほしい。生活費の援助をしてほしい。
- 親がいなくなっても生活できるような手当や保障、ケアがほしいです。それらの手続きがわかりやすく、そして早く進めてもらえることを望みます。他人から見て障害者とわかりにくいので、とても暮らしにくいです。

〔③ 健康・医療について〕

- 誰もが安心・安全に暮らせる町であり続けてほしいです。保健医療、リハビリテーションの充実を切に希望します。
- 重度の医療的ケアがあっても安全に過ごせる施設や環境があること

〔④ 障害理解について〕

- 車椅子で入れるお店がもっと欲しい。
- 障害あるなしに関わらず、誰もが嫌な思いをせずに、それぞれの当たり前権利を守られて暮らせる街であってほしい。
- 高齢化が進んでいく中、障害の有無にかかわらず地域がひとつとなって住みやすい地域を作っていく必要があると感じます。孤独な人を作らない。

〔⑤ 生活環境について〕

- 道路、歩道、階段などのバリアフリーが進む事を願います。高齢者も多くなるので少し休めるベンチ等を多く設置して頂けたら嬉しいです。緑も多くなると良いです。
- 障害者、健常者に関係なく使いやすい住みやすい街、駅作り

〔⑥ 雇用・就労について〕

- 障害があっても堂々と働きたい。週5働くのは難しいけれど、週1～2なら働ける時もある。また、働けないのに税金を多く取られるのは辛い。減税してほしい。
- 働く場所や就労がもう少し幅が広がるとよい。また障害者雇用をする職場が増えてくれたら良いなと思います。私自身、腎移植後の内部障害で身体手帳を持っていますが、見た目は普通です。そういう見た目は普通だが、手帳を持っている人がいるという理解が広まれば嬉しいです。
- 障害を持っている人も、普通に生活している方も、一緒の時給が変わらず、気をお互いつかわない関係を目指す。できる限り無理な行動をさせない取り組み。

〔⑦ 保育・療育・教育について〕

- 小学校などの支援学級に情緒級を作ってほしい。支援級と普通級のはざまかつ支援教室対象外の子に対する支援をしてほしい。
- 医ケア児が増加傾向の中、就学後の施設が圧倒的に少ないと思う。週5で定期的に通える施設を増やしていただきたい。

〔⑧ 将来の不安について〕

- 今は障害があっても就労できていますが何歳まで働けるのか。また働けなくなったらどうすればいいのか。やはり生きていくということに対しての不安が大きいです。私は人工透析をしているので災害時にちゃんと透析を受けられるのかも心配です。老後も安心して暮らせるシステムや、災害時の病院の手配など、もう少し詳しく示してほしいです。
- 今は親と住んでいるので問題ないが親がいなくなった後に心配です。
- 成人になっております。今後の年齢に合わせた情報を知ることのできる手段や方法を連絡がくると助かります。ガイドをみても年齢にあわせてお知らせが分かりにくいと思います。あと兄弟児についてサポートがあるといいと思います。

〔⑨ 災害時の不安・災害対策について〕

- 避難所の利用が必要になった場合、ベッドなど利用できるのか心配。福祉救護所について詳しく知りたい。本人を移動させるにも、車椅子に移乗してあげることができない。リフト車を一般のタクシーと同様に予約なしで乗車できるようにしてほしい。
- 災害時において、ケアが必要な人たちのために、手伝って下さる人材の確保・育成と災害時の情報の共有・支援がスムーズに実施出来るような体制づくりを望みます。

〔⑩ その他〕

- 困った時や何か知りたい際に目当ての情報がすぐに探すことが出来るようなHPを作って欲しいです。
- より良い取り組みをしている自治体を参考にすること。

## (12) 主な介護者の状況

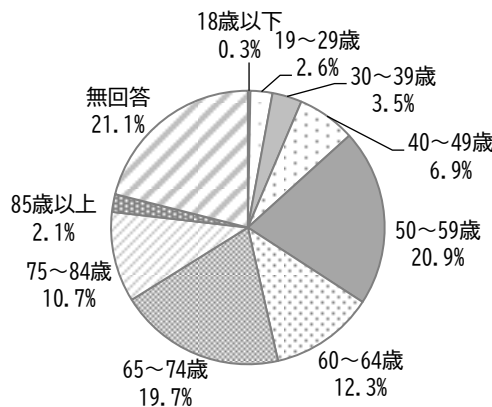
問 53 あなたの、年齢はいくつですか。(○は1つ)

「50～59歳」が20.9%と最も多く、次いで「65～74歳」が19.7%、「60～64歳」が12.3%、「75～84歳」が10.7%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代と20歳代、50歳代は「50～59歳」、それ以外は「65～74歳」が最も多くなっています。

障害別にみると、聴覚障害・平衡機能障害と音声・言語・そしゃく機能障害、難病は「65～74歳」、精神障害は「50～59歳」と「65～74歳」、それ以外は「50～59歳」が最も多くなっています。

(n=1,006)



### 【年齢別・障害種別】

単位：%

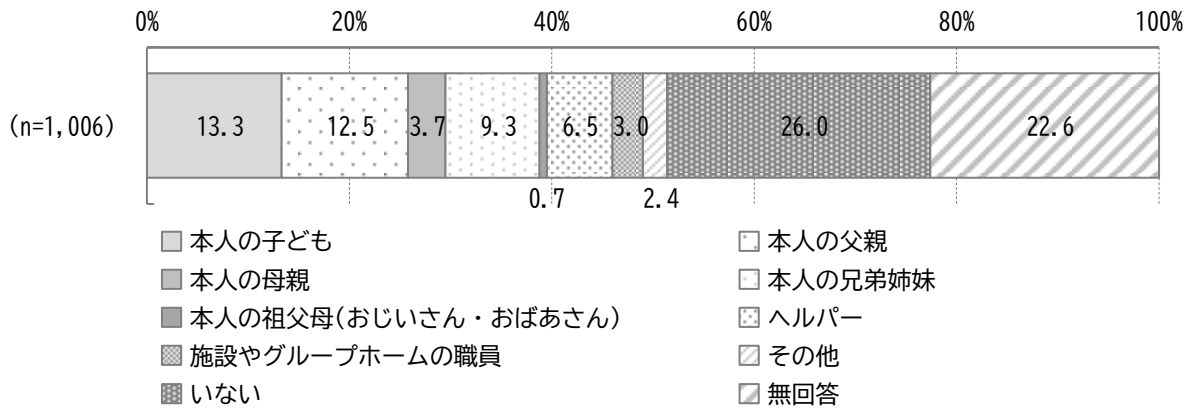
区分		回答者数(件)	18歳以下	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答
全体		1006	0.3	2.6	3.5	6.9	20.9	12.3	19.7	10.7	2.1	21.1
年齢別	10歳代	27	3.7	-	-	25.9	55.6	7.4	-	-	-	7.4
	20歳代	164	-	12.8	-	3.0	43.3	16.5	4.9	0.6	-	18.9
	30歳代	152	0.7	-	16.4	1.3	5.9	15.1	30.3	3.9	-	26.3
	40歳代	114	0.9	1.8	2.6	25.4	4.4	-	26.3	15.8	0.9	21.9
	50歳代	181	-	1.1	-	4.4	36.5	6.1	4.4	15.5	6.6	25.4
	60歳以上	340	-	-	1.8	3.5	12.1	16.8	29.7	15.3	2.4	18.5
障害種別	身体障害											
	視覚障害	76	1.3	1.3	6.6	10.5	22.4	9.2	21.1	7.9	1.3	18.4
	聴覚障害・平衡機能障害	56	-	1.8	3.6	7.1	21.4	10.7	23.2	12.5	-	19.6
	音声・言語・そしゃく機能障害	41	-	2.4	2.4	2.4	17.1	14.6	34.1	14.6	2.4	9.8
	肢体不自由	369	-	1.6	3.0	8.7	22.8	14.1	20.3	13.3	3.8	12.5
	内部障害	143	-	1.4	2.8	8.4	18.2	12.6	16.8	8.4	0.7	30.8
	難病	158	0.6	1.9	1.3	7.6	15.8	14.6	29.1	9.5	2.5	17.1
	知的障害	234	0.9	3.0	0.9	3.8	28.2	15.8	24.8	11.1	1.7	9.8
	重度重複	51	-	-	2.0	7.8	33.3	17.6	27.5	7.8	-	3.9
	発達障害	117	-	5.1	3.4	5.1	31.6	11.1	13.7	2.6	-	27.4
	精神障害	146	0.7	3.4	8.9	5.5	15.1	9.6	15.1	4.8	2.7	34.2
	高次脳機能障害(失語症を含む)	69	-	1.4	1.4	7.2	29.0	18.8	21.7	13.0	2.9	4.3
	その他	58	-	1.7	3.4	6.9	15.5	6.9	19.0	19.0	1.7	25.9

問 54 あなたが病気などで介護できなくなった場合に、代わりに介護できる人はどなたですか。(○は1つ)

「いない」が26.0%と最も多く、次いで「本人の子ども」が13.3%、「本人の父親」が12.5%、「本人の兄弟姉妹」が9.3%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代から30歳代は「本人の父親」、それ以外は「いない」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害は「本人の子ども」、知的障害と重度重複、発達障害は「本人の父親」、それ以外は「いない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

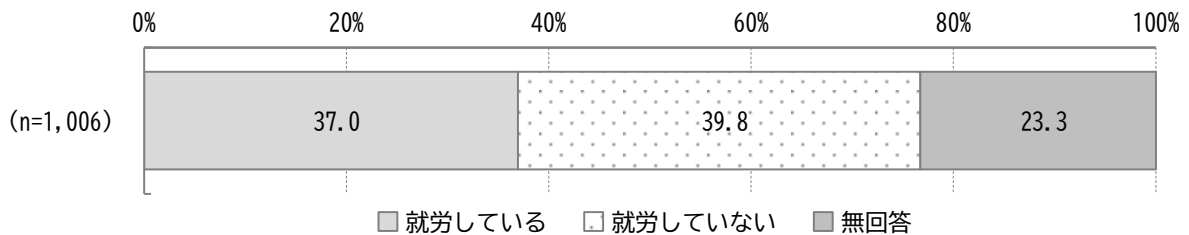
区分		回答者数(件)	本人の子ども	本人の父親	本人の母親	本人の兄弟姉妹	本人の祖父母(おじいさん・おばあさん)	ヘルパー	施設やグループホームの職員	その他	いない	無回答
全体		1006	13.3	12.5	3.7	9.3	0.7	6.5	3.0	2.4	26.0	22.6
年齢別	10歳代	27	-	55.6	3.7	3.7	7.4	-	3.7	-	14.8	11.1
	20歳代	164	1.2	34.8	4.3	10.4	2.4	1.2	1.2	1.2	22.0	21.3
	30歳代	152	2.0	20.4	7.2	16.4	-	3.3	4.6	2.0	15.8	28.3
	40歳代	114	7.9	9.6	7.0	11.4	-	6.1	4.4	2.6	28.1	22.8
	50歳代	181	12.7	3.9	3.9	11.0	-	7.7	1.7	2.2	30.4	26.5
	60歳以上	340	27.6	-	0.3	4.7	0.3	10.0	3.2	3.2	30.9	19.7
障害種別	視覚障害	76	26.3	5.3	6.6	9.2	-	3.9	1.3	2.6	26.3	18.4
	聴覚障害・平衡機能障害	56	17.9	12.5	5.4	8.9	-	7.1	1.8	5.4	21.4	19.6
	音声・言語・そしゃく機能障害	41	19.5	9.8	4.9	9.8	-	4.9	2.4	4.9	29.3	14.6
	肢体不自由	369	14.6	13.0	4.1	7.3	0.5	10.0	2.7	3.3	30.6	13.8
	内部障害	143	13.3	7.0	2.8	7.0	0.7	7.7	2.1	1.4	25.9	32.2
	難病	158	20.9	5.7	2.5	5.1	-	8.9	1.3	0.6	37.3	17.7
	知的障害	234	0.9	34.6	4.7	15.8	0.9	3.8	7.3	2.1	18.4	11.5
	重度重複	51	2.0	35.3	11.8	11.8	-	7.8	3.9	-	21.6	5.9
	発達障害	117	-	28.2	3.4	11.1	2.6	1.7	2.6	0.9	17.9	31.6
	精神障害	146	2.7	10.3	5.5	8.9	0.7	4.8	3.4	2.7	25.3	35.6
	高次脳機能障害(失語症を含む)	69	23.2	4.3	7.2	7.2	-	11.6	1.4	4.3	36.2	4.3
	その他	58	20.7	8.6	3.4	6.9	-	6.9	1.7	-	27.6	24.1

問 55-1 あなたは就労していますか。(○は1つ)

「就労している」が37.0%、「就労していない」が39.8%となっています。

年齢別にみると、10歳代と20歳代、50歳代は「就労している」、それ以外は「就労していない」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害は「就労している」と「就労していない」が同率で、聴覚障害・平衡機能障害と内部障害、難病、高次脳機能障害（失語症を含む）は「就労している」、それ以外は「就労していない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	就労している	就労して いない	無回答
全体		1006	37.0	39.8	23.3
年齢別	10歳代	27	51.9	40.7	7.4
	20歳代	164	45.1	33.5	21.3
	30歳代	152	31.6	38.8	29.6
	40歳代	114	33.3	44.7	21.9
	50歳代	181	37.0	35.9	27.1
	60歳以上	340	35.6	43.2	21.2
障害種別	視覚障害	76	39.5	39.5	21.1
	聴覚障害・平衡機能障害	56	42.9	37.5	19.6
	音声・言語・そしゃく機能障害	41	34.1	56.1	9.8
	肢体不自由	369	38.5	47.7	13.8
	内部障害	143	35.0	32.9	32.2
	難病	158	41.8	41.1	17.1
	知的障害	234	35.5	51.3	13.2
	重度重複	51	25.5	70.6	3.9
	発達障害	117	31.6	36.8	31.6
	精神障害	146	31.5	32.2	36.3
	高次脳機能障害（失語症を含む）	69	49.3	44.9	5.8
	その他	58	27.6	48.3	24.1

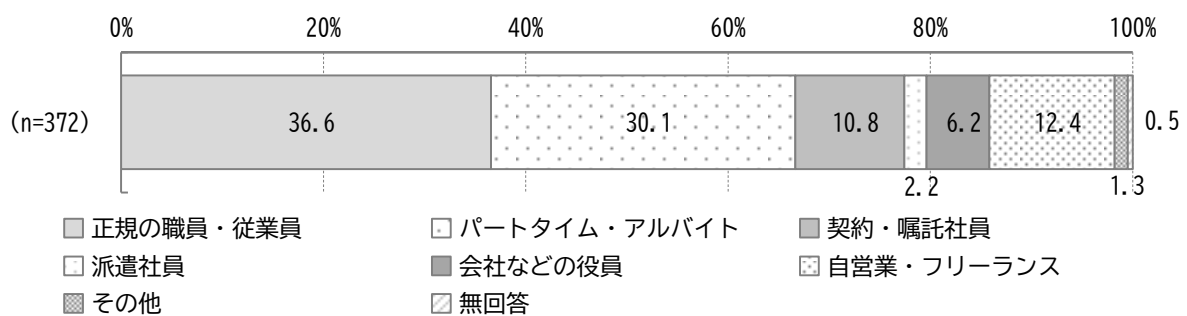
問 55-2 (問 55-1で「1. 就労している」に○をつけた人)

雇用はどのような形態ですか。(○は1つ)

「正規の職員・従業員」が36.6%と最も多く、次いで「パートタイム・アルバイト」が30.1%、「自営業・フリーランス」が12.4%、「契約・嘱託社員」が10.8%の順となっています。

年齢別にみると、30歳代から50歳代は「正規の職員・従業員」、それ以外は「パートタイム・アルバイト」が最も多くなっています。

障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害は「正規の職員・従業員」と「パートタイム・アルバイト」、「会社などの役員」が同率で、知的障害と発達障害、高次脳機能障害（失語症を含む）は「パートタイム・アルバイト」、それ以外は「正規の職員・従業員」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

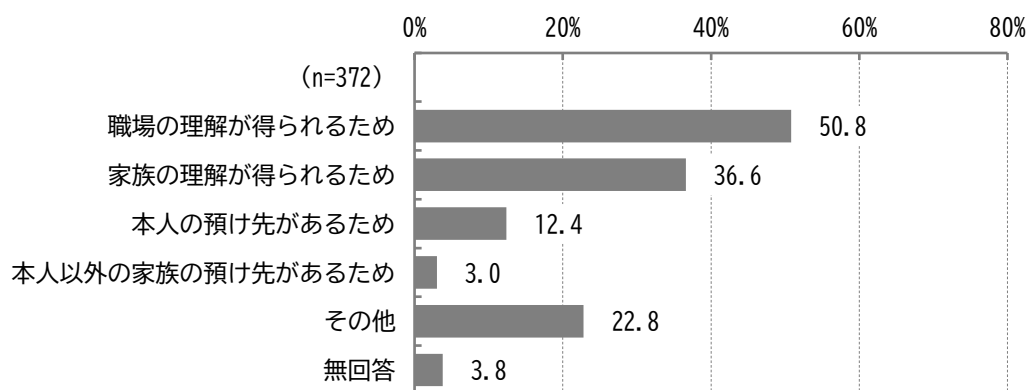
区分	回答者数 (件)	正規の職員・従業員	パートタイム・アルバイト	契約・嘱託社員	派遣社員	会社などの役員	自営業・フリーランス	その他	無回答
全体	372	36.6	30.1	10.8	2.2	6.2	12.4	1.3	0.5
年齢別	10歳代	21.4	57.1	7.1	7.1	7.1	-	-	-
	20歳代	35.1	36.5	12.2	-	8.1	5.4	2.7	-
	30歳代	37.5	33.3	6.3	2.1	2.1	18.8	-	-
	40歳代	57.9	23.7	5.3	2.6	5.3	5.3	-	-
	50歳代	46.3	17.9	11.9	3.0	7.5	10.4	3.0	-
	60歳以上	24.8	29.8	14.0	2.5	6.6	19.8	0.8	1.7
障害種別	視覚障害	43.3	20.0	16.7	-	3.3	16.7	-	-
	聴覚障害・平衡機能障害	37.5	33.3	12.5	-	-	16.7	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	28.6	28.6	-	-	28.6	14.3	-	-
	肢体不自由	35.9	28.9	12.0	2.8	7.0	12.0	0.7	0.7
	内部障害	40.0	24.0	6.0	2.0	8.0	14.0	4.0	2.0
	難病	40.9	27.3	13.6	3.0	6.1	9.1	-	-
	知的障害	25.3	49.4	6.0	2.4	9.6	4.8	2.4	-
	重度重複	46.2	15.4	7.7	-	15.4	15.4	-	-
	発達障害	21.6	45.9	10.8	-	5.4	13.5	2.7	-
	精神障害	41.3	30.4	10.9	-	2.2	15.2	-	-
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	23.5	35.3	14.7	2.9	2.9	14.7	2.9	2.9
	その他	25.0	31.3	6.3	-	-	31.3	6.3	-

問 55-3 (問 55-1で「1. 就労している」に○をつけた人)  
就労できている理由は、どれですか。(○はいくつでも)

「職場の理解が得られるため」が50.8%と最も多く、次いで「家族の理解が得られるため」が36.6%、「本人の預け先があるため」が12.4%、「本人以外の家族の預け先があるため」が3.0%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「職場の理解が得られるため」が最も多くなっています。

障害別にみると、内部障害は「職場の理解が得られるため」と「家族の理解が得られるため」が同率で、発達障害は「家族の理解が得られるため」、それ以外は「職場の理解が得られるため」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

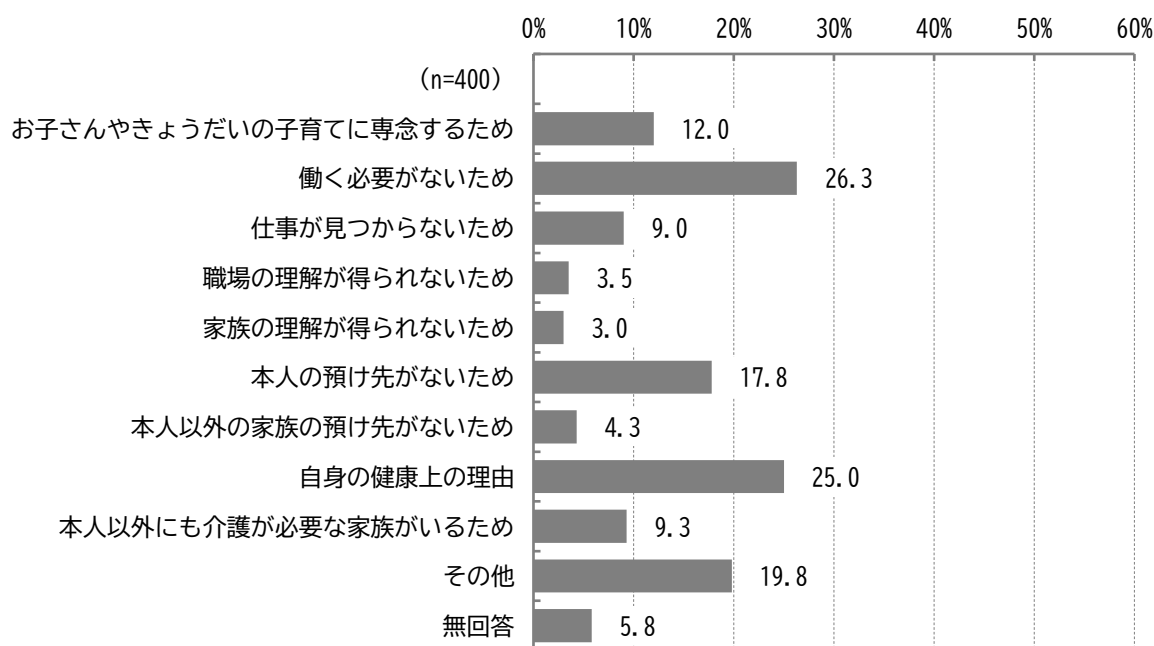
区分	回答者数 (件)	職場の理解が得られるため	家族の理解が得られるため	本人の預け先があるため	本人以外の家族の預け先があるため	その他	無回答	
全体	372	50.8	36.4	12.7	3.0	22.8	3.8	
年齢別	10歳代	14	71.4	57.1	28.6	-	7.1	-
	20歳代	74	45.9	41.9	21.6	5.4	23.0	1.4
	30歳代	48	54.2	43.8	18.8	-	16.7	-
	40歳代	38	63.2	31.6	5.3	2.6	23.7	-
	50歳代	67	46.3	31.3	7.5	-	32.8	4.5
	60歳以上	121	47.1	33.1	6.6	3.3	23.1	7.4
障害種別	身体障害	30	46.7	36.7	6.7	3.3	23.3	6.7
	聴覚障害・平衡機能障害	24	62.5	45.8	4.2	-	16.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	14	50.0	21.4	14.3	7.1	35.7	-
	肢体不自由	142	52.1	33.1	16.2	4.9	24.6	4.9
	内部障害	50	54.0	54.0	2.0	-	16.0	10.0
	難病	66	60.6	37.9	3.0	1.5	25.8	3.0
	知的障害	83	54.2	38.6	31.3	3.6	14.5	-
	重度重複	13	61.5	53.8	38.5	-	7.7	-
	発達障害	37	32.4	40.5	18.9	-	27.0	2.7
	精神障害	46	56.5	30.4	6.5	-	26.1	-
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	34	44.1	17.6	20.6	11.8	29.4	2.9
	その他	16	18.8	31.3	6.3	6.3	43.8	12.5

問 55-4 (問 55-1で「2. 就労していない」に○をつけた人)  
就労していない理由は、どれですか。(○はいくつでも)

「働く必要がないため」が26.3%と最も多く、次いで「自身の健康上の理由」が25.0%、「本人の預け先がないため」が17.8%、「お子さんやきょうだいの子育てに専念するため」が12.0%の順となっています。

年齢別にみると、10歳代は「お子さんやきょうだいの子育てに専念するため」、20歳代は「本人の預け先がないため」、30歳代と60歳以上は「働く必要がないため」、40歳代と50歳代は「自身の健康上の理由」が最も多くなっています。

障害別にみると、肢体不自由は「働く必要がないため」と「自身の健康上の理由」が同率で、視覚障害と内部障害は「働く必要がないため」、音声・言語・そしゃく機能障害と知的障害、重度重複、高次脳機能障害（失語症を含む）は「本人の預け先がないため」、それ以外は「自身の健康上の理由」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

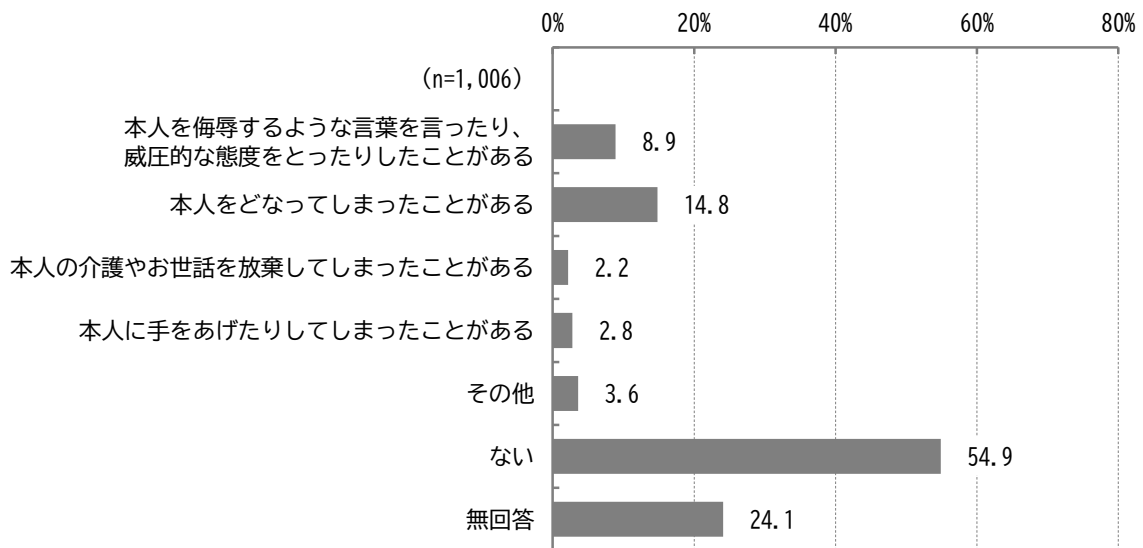
単位：%

区分		回答者数 (件)	お子さんやきょうだいの子育てに専念 するため	働く必要がないため	仕事が見つからないため	職場の理解が得られないため	家族の理解が得られないため	本人の預け先がないため	本人以外の家族の預け先がないため	自身の健康上の理由	本人以外にも介護が必要な家族がいる ため	その他	無回答
全体		400	12.0	26.3	9.0	3.5	3.0	17.8	4.3	25.0	9.3	19.8	5.8
年齢別	10歳代	11	54.5	18.2	18.2	9.1	18.2	36.4	18.2	18.2	18.2	18.2	-
	20歳代	55	30.9	16.4	12.7	10.9	7.3	36.4	9.1	25.5	16.4	3.6	1.8
	30歳代	59	13.6	37.3	11.9	3.4	1.7	20.3	1.7	20.3	10.2	11.9	1.7
	40歳代	51	17.6	23.5	5.9	3.9	-	13.7	5.9	25.5	9.8	17.6	9.8
	50歳代	65	7.7	15.4	9.2	3.1	1.5	13.8	3.1	33.8	7.7	27.7	3.1
	60歳以上	147	-	34.0	7.5	0.7	2.7	10.2	2.7	21.8	6.1	26.5	8.2
障害種別	身体障害	30	3.3	33.3	6.7	3.3	3.3	20.0	3.3	30.0	10.0	26.7	-
	視覚障害	21	14.3	23.8	9.5	9.5	4.8	19.0	4.8	28.6	9.5	23.8	-
	聴覚障害・平衡機能障害	23	21.7	17.4	13.0	-	-	34.8	8.7	30.4	13.0	21.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	176	16.5	23.3	10.2	1.7	3.4	22.2	3.4	23.3	10.8	19.3	4.5
	肢体不自由	47	12.8	36.2	14.9	6.4	4.3	17.0	6.4	27.7	6.4	19.1	2.1
	内部障害	65	4.6	21.5	9.2	6.2	3.1	15.4	3.1	13.8	7.7	26.2	12.3
	難病	120	25.0	23.3	8.3	5.0	4.2	30.8	6.7	20.0	13.3	16.7	5.0
	知的障害	36	36.1	19.4	11.1	8.3	8.3	38.9	8.3	16.7	19.4	8.3	-
	重度重複	43	27.9	23.3	11.6	9.3	7.0	23.3	11.6	37.2	20.9	11.6	4.7
	発達障害	47	17.0	25.5	17.0	6.4	2.1	10.6	8.5	51.1	10.6	12.8	-
	精神障害	31	3.2	12.9	9.7	12.9	6.5	32.3	6.5	25.8	12.9	29.0	9.7
高次脳機能障害（失語症を含む）	28	10.7	17.9	7.1	7.1	3.6	10.7	3.6	17.9	3.6	39.3	14.3	
その他													

問 56 この6か月以内に介護が原因で本人との関係が難しくなったことがありますか。(〇はいくつでも)

「ない」が54.9%と最も多く、次いで「本人をどなってしまったことがある」が14.8%、「本人を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」が8.9%、「本人に手をあげたりしてしまっただことがある」が2.8%の順となっています。

年齢別、障害別にみると、いずれも「ない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

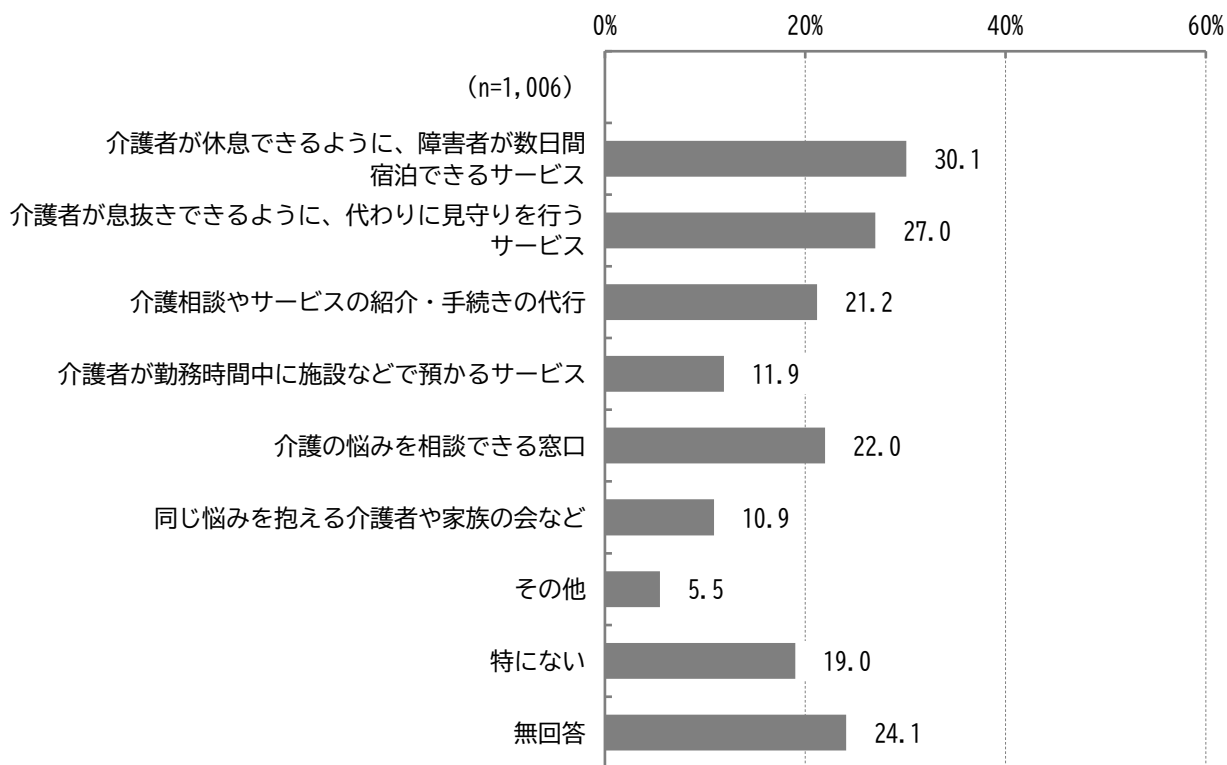
区分	回答者数 (件)	本人を侮辱するよう な言葉を言ったり、 威圧的な態度をとつ たりしたことがある	本人をどなってし まったことがある	本人の介護やお世 話を放棄してしまっ たことがある	本人に手をあげたり してしまっただこと がある	その他	ない	無回答	
全体	1006	8.9	14.8	2.2	2.8	3.6	54.9	24.1	
年齢別	10歳代	27	18.5	22.2	-	7.4	3.7	59.3	11.1
	20歳代	164	12.8	21.3	2.4	5.5	4.3	49.4	21.3
	30歳代	152	6.6	15.1	0.7	2.0	2.0	52.0	29.6
	40歳代	114	6.1	13.2	1.8	4.4	2.6	59.6	22.8
	50歳代	181	6.6	11.6	2.2	1.7	3.3	54.7	28.7
	60歳以上	340	9.1	12.6	2.1	1.2	4.7	57.9	21.8
障害種別	身体障害								
	視覚障害	76	6.6	10.5	3.9	2.6	3.9	61.8	21.1
	聴覚障害・平衡機能障害	56	7.1	12.5	3.6	5.4	3.6	64.3	21.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	41	22.0	29.3	7.3	9.8	7.3	48.8	12.2
	肢体不自由	369	13.0	17.9	3.3	3.3	3.5	57.5	17.1
	内部障害	143	7.7	10.5	3.5	4.9	2.1	51.7	32.9
	難病	158	11.4	12.7	3.2	1.3	5.1	58.9	18.4
	知的障害	234	12.8	28.2	2.1	7.3	3.4	54.3	11.1
	重度重複	51	13.7	25.5	2.0	9.8	-	58.8	9.8
	発達障害	117	7.7	18.8	-	3.4	6.8	44.4	32.5
	精神障害	146	6.2	11.0	0.7	2.7	2.1	48.6	37.0
高次脳機能障害 (失語症を含む)	69	23.2	27.5	7.2	4.3	7.2	58.0	4.3	
その他	58	3.4	10.3	3.4	1.7	6.9	55.2	27.6	

問 57 介護を続けるために、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「介護者が休息できるように、障害者が数日間宿泊できるサービス」が30.1%と最も多く、次いで「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」が27.0%、「介護の悩みを相談できる窓口」が22.0%、「介護相談やサービスの紹介・手続きの代行」が21.2%の順となっています。

年齢別にみると、40歳代は「特にない」、60歳以上は「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」、それ以外は「介護者が休息できるように、障害者が数日間宿泊できるサービス」が最も多くなっています。

障害別にみると、内部障害は「特にない」、難病は「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」、発達障害と精神障害は「介護の悩みを相談できる窓口」、それ以外は「介護者が休息できるように、障害者が数日間宿泊できるサービス」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

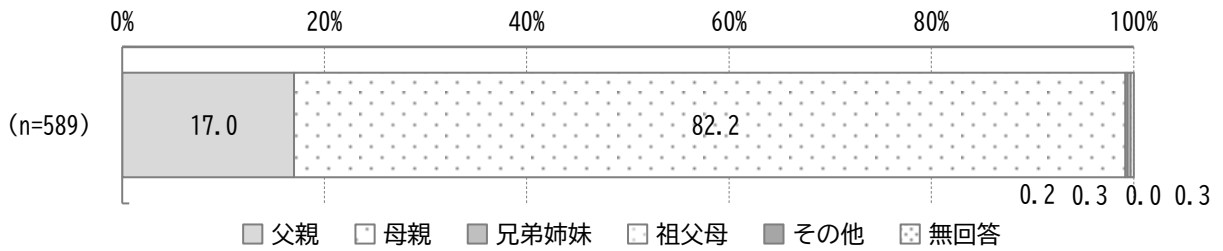
区分		回答者数 (件)	介護者が数日間宿泊できるサービス	介護者が休息できるように、代わりに見守りを行うサービス	介護相談やサービスの紹介・手続きの代行	介護者が勤務時間中に施設などで預かるサービス	介護の悩みを相談できる窓口	同じ悩みを抱える介護者や家族の会など	その他	特になし	無回答
全体		1006	30.1	27.0	21.2	11.9	22.0	10.9	5.5	19.0	24.1
年齢別	10歳代	27	48.1	29.6	29.6	33.3	29.6	22.2	14.8	11.1	7.4
	20歳代	164	43.9	42.7	32.9	20.1	28.0	18.9	4.3	8.5	21.3
	30歳代	152	27.6	16.4	19.7	4.6	23.0	11.2	3.9	15.1	30.9
	40歳代	114	21.9	17.5	13.2	7.0	17.5	10.5	3.5	28.9	23.7
	50歳代	181	26.5	20.4	15.5	9.9	26.0	8.3	6.6	22.1	27.6
	60歳以上	340	26.5	29.7	20.9	10.3	16.8	6.8	6.5	21.8	22.1
障害種別	視覚障害	76	28.9	25.0	23.7	10.5	15.8	10.5	9.2	21.1	21.1
	聴覚障害・平衡機能障害	56	35.7	32.1	26.8	21.4	33.9	10.7	3.6	17.9	21.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	41	39.0	29.3	19.5	14.6	29.3	12.2	9.8	17.1	9.8
	肢体不自由	369	40.4	33.9	20.1	13.6	22.2	9.5	8.1	17.1	16.3
	内部障害	143	19.6	20.3	16.1	8.4	13.3	4.2	4.9	24.5	30.8
	難病	158	36.7	38.0	26.6	17.1	22.8	9.5	5.7	16.5	18.4
	知的障害	234	46.6	35.5	30.8	17.5	30.3	17.5	6.4	13.7	12.0
	重度重複	51	68.6	49.0	29.4	15.7	31.4	5.9	7.8	3.9	3.9
	発達障害	117	26.5	25.6	25.6	11.1	28.2	19.7	2.6	12.0	32.5
	精神障害	146	17.1	19.9	19.2	8.9	24.7	12.3	3.4	20.5	36.3
	高次脳機能障害（失語症を含む）	69	55.1	40.6	27.5	20.3	26.1	17.4	13.0	10.1	4.3
	その他	58	31.0	20.7	19.0	8.6	15.5	8.6	13.8	20.7	27.6

## 2. 18歳未満

### (1) お子さんについて

問1 この調査票に回答いただく方とお子さんとの関係を記入してください。(〇は1つ)

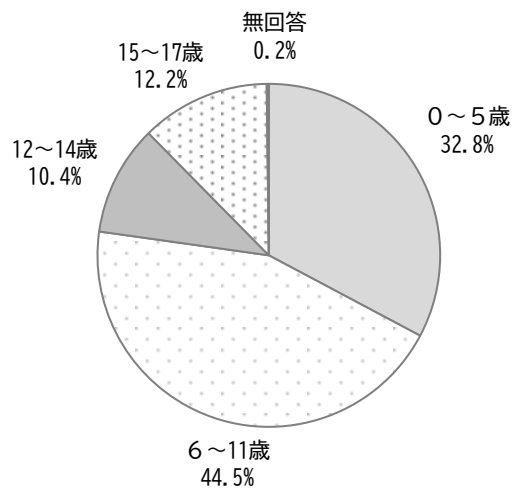
「母親」が82.2%と最も多く、次いで「父親」が17.0%、「祖父母」が0.3%、「兄弟姉妹」が0.2%の順となっています。



問2 お子さんの年齢を、令和7年11月1日現在で記入してください。(年齢を記入)

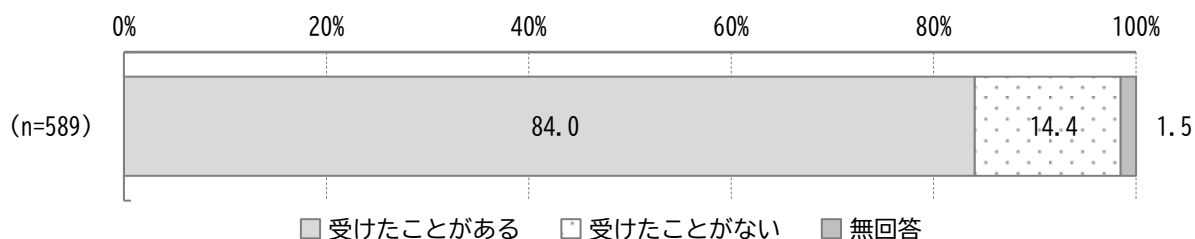
「6～11歳」が44.5%と最も多く、次いで「0～5歳」が32.8%、「15～17歳」が12.2%、「12～14歳」が10.4%の順となっています。

(n=589)



問3 お子さんは病院や相談機関などで、診断を受けたことがありますか。(○は1つ)

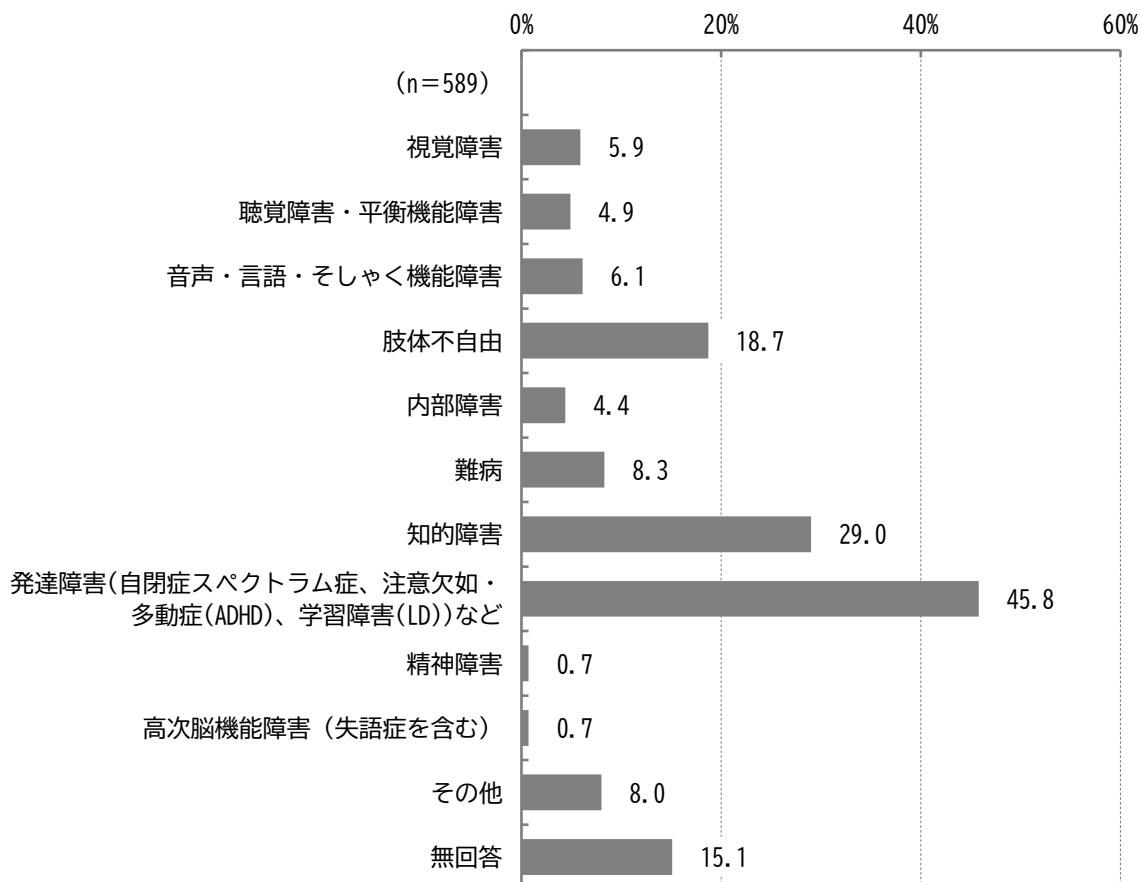
「受けたことがある」が84.0%、「受けたことがない」が14.4%となっています。



問4 お子さんの診断・障害(疑いを含む)についてお答えください。(○はいくつでも)

「発達障害(自閉症スペクトラム症、注意欠如・多動症(ADHD)、学習障害(LD))など」が45.8%と最も多く、次いで「知的障害」が29.0%、「肢体不自由」が18.7%、「難病」が8.3%の順となっています。

年齢別にみると、0～5歳と6～11歳は「発達障害(自閉症スペクトラム症、注意欠如・多動症(ADHD)、学習障害(LD))など」、12～14歳と15～17歳は「知的障害」が最も多くなっています。



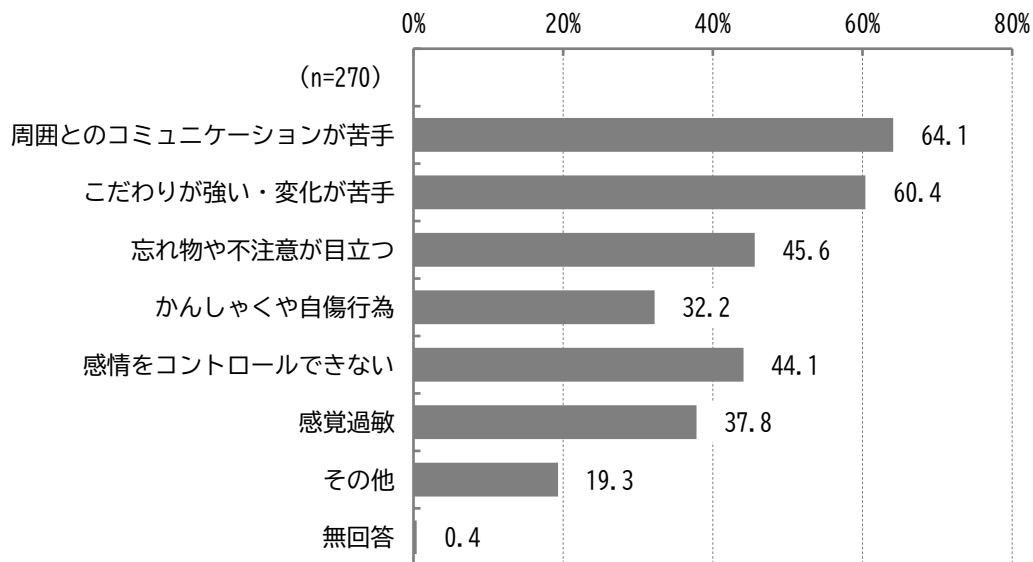
【年齢別】

単位：%

区分	回答者数(件)	視覚障害	聴覚障害・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	難病	知的障害	発達障害(自閉症スペクトラム症、注意欠如・多動症(ADHD)、学習障害(LD)など)	精神障害	高次脳機能障害(失語症を含む)	その他	無回答
全体	588	6.0	4.9	6.1	18.7	4.4	8.3	29.1	45.9	0.7	0.7	8.0	15.0
0～5歳	193	6.7	4.1	4.7	11.9	4.1	8.8	16.1	26.9	0.5	0.5	12.4	36.3
6～11歳	262	4.6	3.8	6.9	17.2	2.3	6.9	25.2	64.9	0.8	0.4	6.1	6.1
12～14歳	61	4.9	6.6	6.6	32.8	9.8	9.8	50.8	39.3	-	-	4.9	-
15～17歳	72	9.7	9.7	6.9	30.6	8.3	11.1	59.7	33.3	1.4	2.8	5.6	2.8

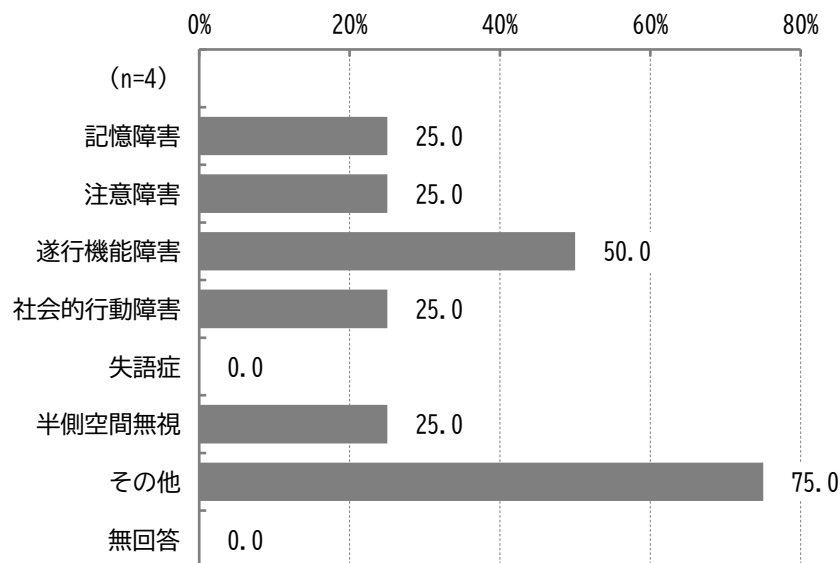
問5-1 (問4で「8. 発達障害」に○をつけた人)  
 どのような症状ですか。(○はいくつでも)

「周囲とのコミュニケーションが苦手」が64.1%と最も多く、次いで「こだわりが強い・変化が苦手」が60.4%、「忘れ物や不注意が目立つ」が45.6%、「感情をコントロールできない」が44.1%の順となっています。



問5-2 (問4で「10. 高次脳機能障害」に○をつけた人)  
 どのような症状ですか。(○はいくつでも)

「遂行機能障害」が50.0%と最も多く、次いで「記憶障害」、「注意障害」、「社会的行動障害」、「半側空間無視」が25.0%で同率となっています。

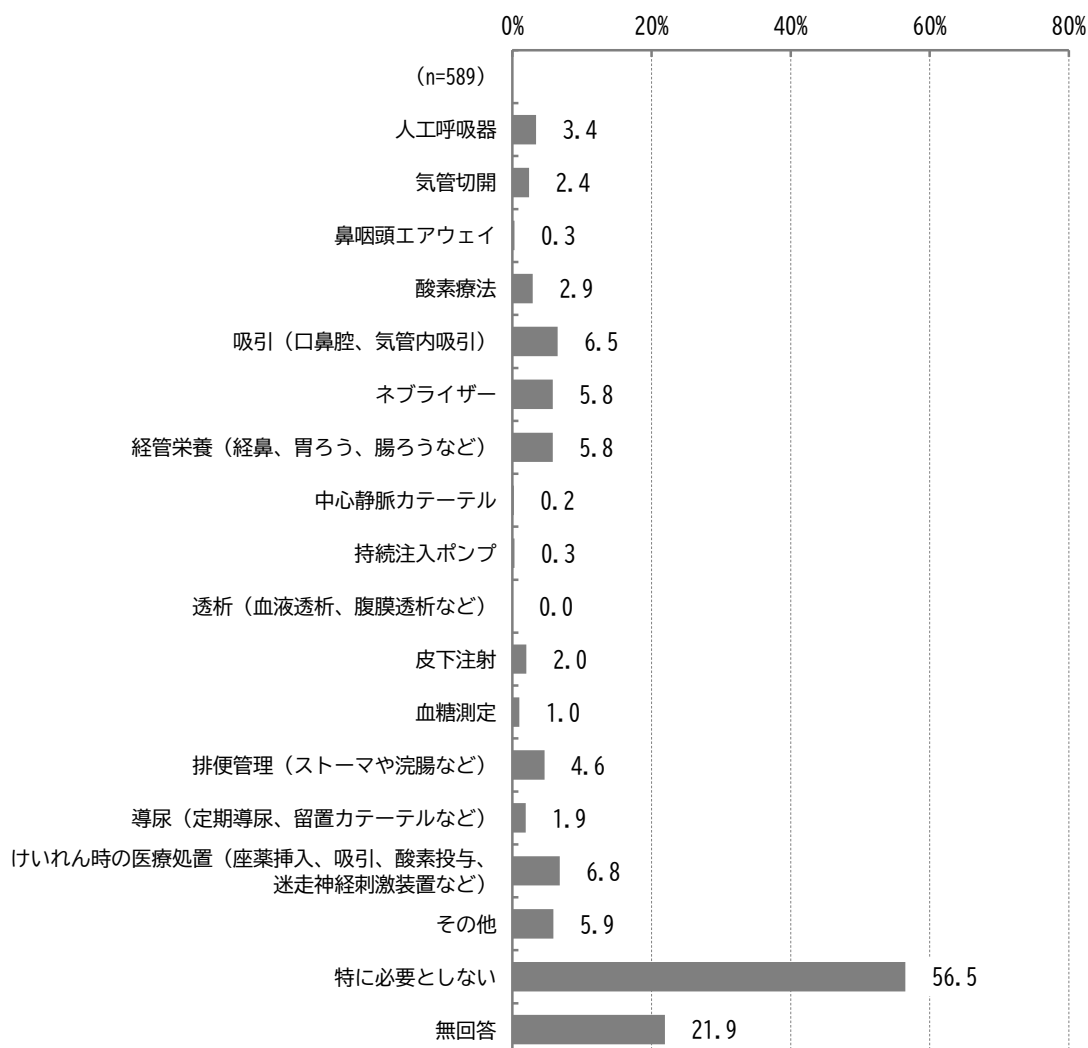


問6 お子さんが必要とする医療的ケアは何か教えてください。(〇はいくつでも)

「特に必要としない」が56.5%で最も多く、次いで「けいれん時の医療処置（座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置など）」6.8%、「吸引（口鼻腔、気管内吸引）」6.5%、「ネブライザー」と「経管栄養（経鼻、胃ろう、腸ろうなど）」が5.8%の順となっています。

年齢別にみると、0～5歳は「吸引（口鼻腔、気管内吸引）」と「ネブライザー」、6～11歳は「吸引（口鼻腔、気管内吸引）」と「ネブライザー」、「けいれん時の医療処置（座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置など）」、12～14歳は「けいれん時の医療処置（座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置など）」、15～17歳は「経管栄養（経鼻、胃ろう、腸ろうなど）」が多くなっています。

障害別にみると、視覚障害は「経管栄養（経鼻、胃ろう、腸ろうなど）」と「けいれん時の医療処置（座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置など）」が多く、聴覚障害・平衡機能障害と音声・言語・そしゃく機能障害は「吸引（口鼻腔、気管内吸引）」、肢体不自由は「吸引（口鼻腔、気管内吸引）」と「けいれん時の医療処置（座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置など）」、内部障害は「排便管理（ストーマや浣腸など）」、難病と知的障害、重度重複は「けいれん時の医療処置（座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置など）」、発達障害は「ネブライザー」と「けいれん時の医療処置（座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置など）」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

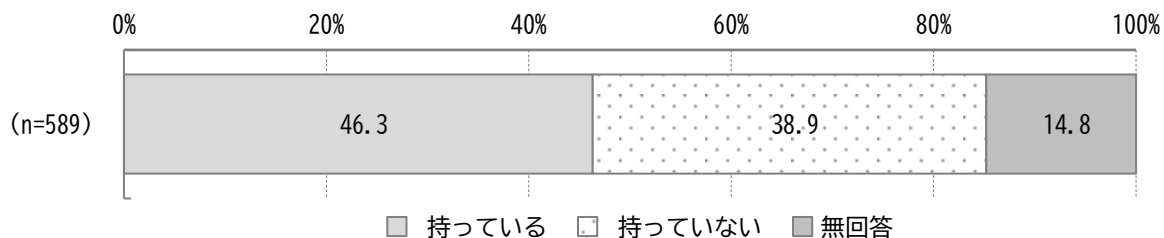
単位：%

区分	回答者数(件)	人工呼吸器	気管切開	鼻咽喉工アウェイ	酸素療法	吸引(口鼻腔、気管内吸引)	ネブライザー	経管栄養(経鼻、胃ろう、腸ろうなど)	中心静脈カテーテル	持続注入ポンプ
全体	589	3.4	2.4	0.3	2.9	6.5	5.8	5.8	0.2	0.3
年齢別	0～5歳	193	2.6	2.6	0.5	3.6	5.7	5.7	4.7	0.5
	6～11歳	262	2.3	1.1	-	1.5	5.0	5.0	3.8	-
	12～14歳	61	8.2	8.2	-	6.6	11.5	9.8	11.5	-
	15～17歳	72	5.6	1.4	1.4	2.8	9.7	5.6	11.1	-
障害種別	身体障害 視覚障害	35	11.4	5.7	-	11.4	25.7	20.0	28.6	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	10.3	3.4	3.4	6.9	20.7	10.3	13.8	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	16.7	11.1	-	16.7	36.1	22.2	30.6	-
	肢体不自由	110	16.4	10.9	0.9	10.9	29.1	23.6	26.4	-
	内部障害	26	3.8	3.8	-	19.2	7.7	7.7	7.7	3.8
	難病	49	16.3	12.2	-	10.2	26.5	22.4	24.5	-
	知的障害	171	4.1	1.8	0.6	3.5	8.8	8.2	7.0	-
	重度重複	24	12.5	4.2	-	8.3	16.7	12.5	12.5	-
	発達障害	270	-	-	-	-	0.7	2.2	0.7	-
	精神障害	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	25.0	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-
	診断を受けていない	85	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	47	10.6	6.4	2.1	8.5	19.1	12.8	14.9	-
区分	透析(血液透析、腹膜透析など)	皮下注射	血糖測定	排便管理(ストーマや洗腸など)	導尿(定期導尿、留置カテーテルなど)	吸入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置など	その他	特に必要なとしない	無回答	
全体	0.0	2.0	1.0	4.6	1.9	6.8	5.9	56.5	21.9	
年齢別	0～5歳	-	2.6	1.0	3.1	2.6	5.2	3.1	39.9	39.9
	6～11歳	-	1.1	0.8	4.6	0.4	5.0	6.9	67.6	14.5
	12～14歳	-	3.3	3.3	11.5	3.3	16.4	6.6	54.1	11.5
	15～17歳	-	2.8	-	2.8	4.2	9.7	9.7	63.9	8.3
障害種別	身体障害 視覚障害	-	8.6	-	11.4	2.9	28.6	11.4	37.1	2.9
	聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	10.3	3.4	6.9	24.1	55.2	3.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	-	2.8	2.8	22.2	2.8	33.3	8.3	38.9	-
	肢体不自由	-	3.6	0.9	18.2	6.4	29.1	9.1	38.2	4.5
	内部障害	-	15.4	3.8	26.9	23.1	15.4	11.5	23.1	3.8
	難病	-	14.3	-	16.3	8.2	32.7	8.2	36.7	2.0
	知的障害	-	4.1	1.8	8.2	2.3	11.7	3.5	63.2	7.6
	重度重複	-	4.2	-	20.8	4.2	25.0	4.2	50.0	8.3
	発達障害	-	1.9	1.1	1.5	0.7	2.2	6.3	74.4	11.5
	精神障害	-	-	-	-	-	25.0	25.0	50.0	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	-	50.0	-	-	-	50.0	25.0	25.0	-
	診断を受けていない	-	-	-	-	-	-	1.2	3.5	95.3
	その他	-	4.3	-	6.4	2.1	12.8	4.3	57.4	6.4

※「医療的ケアは必要ない」と「無回答」を除いた上位2位まで着色しています。

問7 お子さんは、障害者手帳をお持ちですか。(○は1つ)

「持っている」が46.3%、「持っていない」が38.9%となっています。

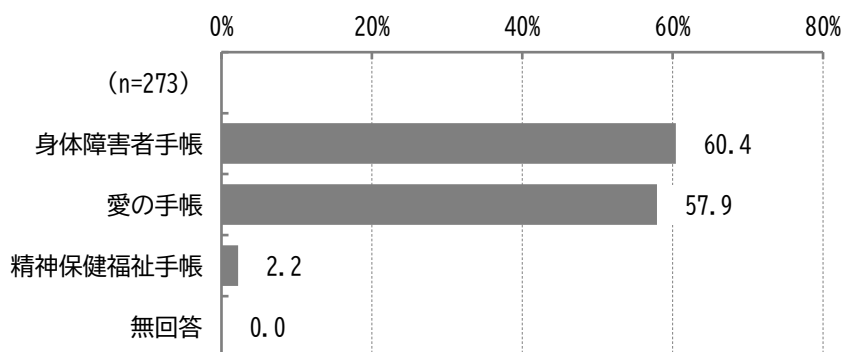


問8 (問7で「1. 持っている」に○をつけた方)

現在お持ちの手帳および等級・等度を教えてください。(持っている手帳すべて)

①所持している手帳

「身体障害者手帳」が60.4%、「愛の手帳」が57.9%、「精神保健福祉手帳」が2.2%となっています。

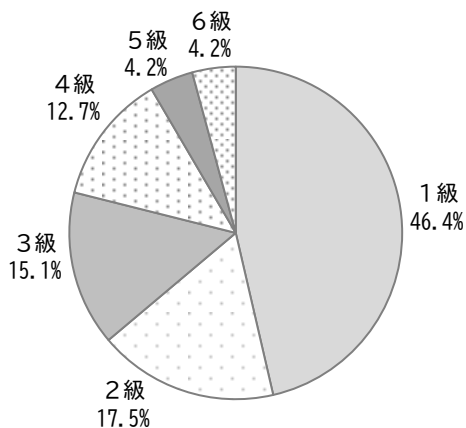


## ②身体障害者手帳の等級

「1級」が46.4%と最も多く、次いで「2級」が17.5%、「3級」が15.1%、「4級」が12.7%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「1級」が最も多くなっています。

(n=166)



### 【年齢別】

単位：%

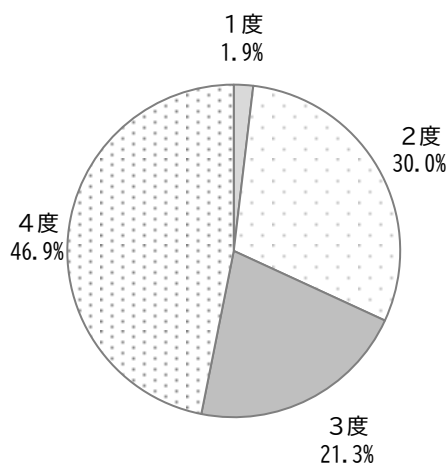
区分	回答者数 (件)	1級	2級	3級	4級	5級	6級
全体	166	46.4	17.5	15.1	12.7	4.2	4.2
0～5歳	193	55.0	12.5	15.0	10.0	2.5	5.0
6～11歳	262	49.2	25.4	13.6	5.1	3.4	3.4
12～14歳	61	31.3	12.5	18.8	25.0	9.4	3.1
15～17歳	72	45.7	14.3	14.3	17.1	2.9	5.7

### ③愛の手帳の等級

「4度」が46.9%と最も多く、次いで「2度」が30.0%、「3度」が21.3%、「1度」が1.9%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「4度」が最も多くなっています。

(n=160)



#### 【年齢別】

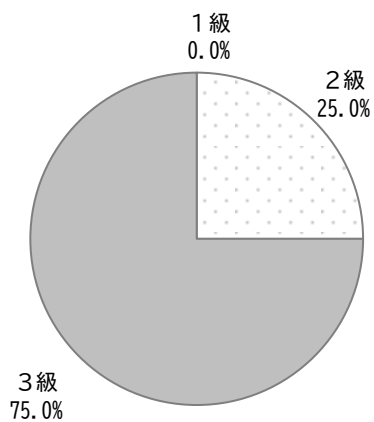
単位：%

区分	回答者数 (件)	1度	2度	3度	4度
全体	160	1.9	30.0	21.3	46.9
0～5歳	28	-	14.3	32.1	53.6
6～11歳	63	-	38.1	19.0	42.9
12～14歳	31	3.2	32.3	19.4	45.2
15～17歳	38	5.3	26.3	18.4	50.0

④精神保健福祉手帳の等級

「3級」が75.0%、「2級」が25.0%となっています。  
 年齢別にみると、6～14歳は「3級」が最も多くなっています。

(n=4)



【年齢別】

単位：%

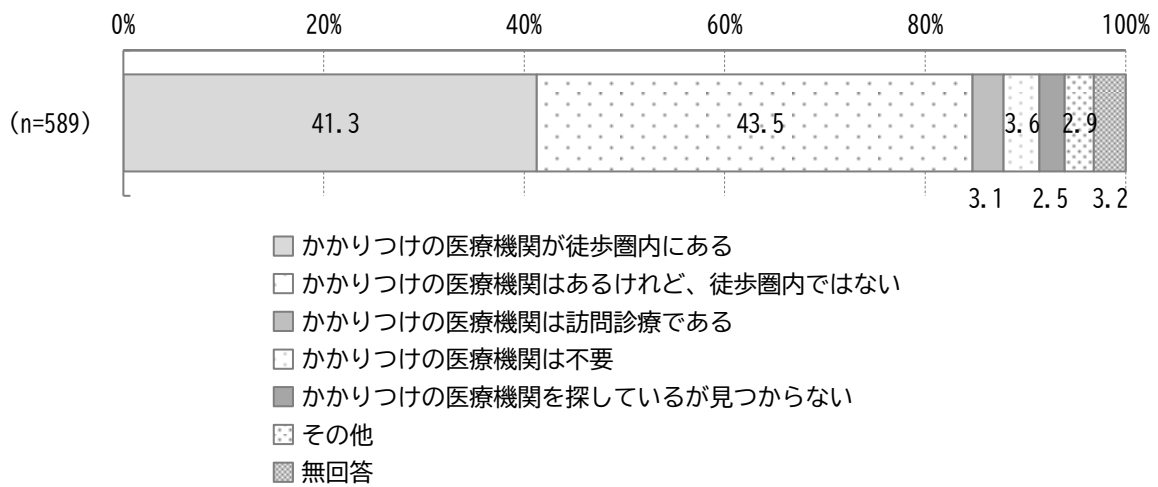
区分	回答者数 (件)	1級	2級	3級
全体	4	-	25.0	75.0
0～5歳	-	-	-	-
6～11歳	3	-	33.3	66.7
12～14歳	1	-	-	100.0
15～17歳	-	-	-	-

問9 お子さんは、自宅からの徒歩圏内に、日常的なかかりつけの医療機関はありますか。  
ある場合はその医療機関名を記入してください。(○は1つ)

「かかりつけの医療機関はあるけれど、徒歩圏内ではない」が43.5%と最も多く、次いで「かかりつけの医療機関が徒歩圏内にある」が41.3%、「かかりつけの医療機関は不要」が3.6%、「かかりつけの医療機関は訪問診療である」が3.1%の順となっています。

年齢別にみると、0～5歳は「かかりつけの医療機関が徒歩圏内にある」、それ以外は「かかりつけの医療機関はあるけれど、徒歩圏内ではない」が最も多くなっています。

障害別にみると、いずれの障害も「かかりつけの医療機関はあるけれど、徒歩圏内ではない」が最も多く、診断を受けていないは「かかりつけの医療機関が徒歩圏内にある」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

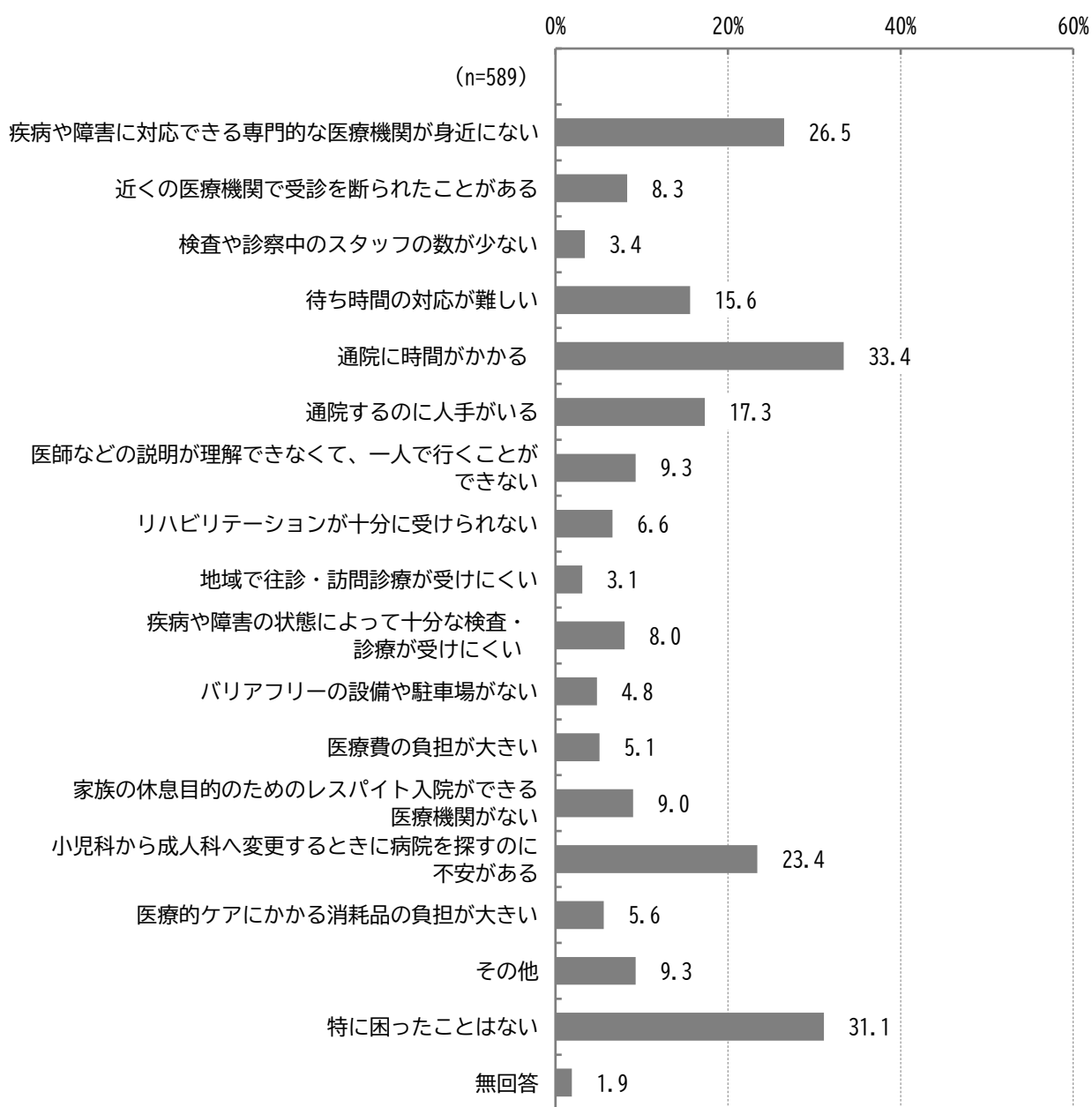
区分	回答者数(件)	かかりつけの医療機関が徒歩圏内にある	かかりつけの医療機関はあるけれど、徒歩圏内ではない	かかりつけの医療機関は訪問診療である	かかりつけの医療機関は不要	かかりつけの医療機関を探しているが見つからない	その他	無回答	
全体	589	41.3	43.5	3.1	3.6	2.5	2.9	3.2	
年齢別	0～5歳	193	52.3	30.1	2.6	7.3	1.6	3.1	3.1
	6～11歳	262	39.3	48.5	2.7	1.9	2.3	2.3	3.1
	12～14歳	61	27.9	55.7	3.3	-	6.6	-	6.6
	15～17歳	72	30.6	51.4	5.6	2.8	2.8	6.9	-
	身体障害								
視覚障害	35	17.1	68.6	11.4	-	-	-	2.9	
聴覚障害・平衡機能障害	29	27.6	44.8	6.9	6.9	6.9	-	6.9	
音声・言語・そしゃく機能障害	36	19.4	44.4	19.4	5.6	-	5.6	5.6	
肢体不自由	110	21.8	50.9	14.5	-	2.7	4.5	5.5	
内部障害	26	19.2	65.4	7.7	-	-	3.8	3.8	
障害種別	難病	49	16.3	57.1	14.3	-	-	2.0	10.2
	知的障害	171	32.7	50.9	5.3	1.8	2.3	2.3	4.7
	重度重複	24	16.7	54.2	16.7	-	4.2	-	8.3
	発達障害	270	43.3	44.1	0.7	3.0	3.0	3.7	2.2
	精神障害	4	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-
	診断を受けていない	85	64.7	21.2	-	7.1	3.5	1.2	2.4
	その他	47	38.3	38.3	8.5	4.3	2.1	2.1	6.4

問 10 お子さんの医療機関や健康管理について、困ったり不便に思ったりすることはありますか。  
(〇はいくつでも)

「通院に時間がかかる」が33.4%と最も多く、次いで「特に困ったことはない」は31.1%、「疾病や障害に対応できる専門的な医療機関が身近にない」が26.5%、「小児科から成人科へ変更するとき病院を探すのに不安がある」が23.4%の順となっています。

年齢別にみると、0～5歳は「特に困ったことはない」、6～11歳は「通院に時間がかかる」、12～17歳は「小児科から成人科へ変更するとき病院を探すのに不安がある」が最も多くなっています。

障害別にみると、発達障害と診断を受けていないは「特に困ったことはない」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）は除く）は「通院に時間がかかる」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

区分		回答者数 (件)	疾病や障害に対応できる専門的な医療機関が身近にない	近くの医療機関で受診を断られたことがある	検査や診察中のスタッフの数が少ない	待ち時間の対応が難しい	通院に時間がかかる	通院するのに人手がいる	医師などの説明が理解できなくて、一人で行くことができない	リハビリテーションが十分に受けられない	地域で往診・訪問診療が受けにくい
全体		589	26.5	8.3	3.4	15.6	33.4	17.3	9.3	6.6	3.1
年齢別	0～5歳	193	20.2	7.8	0.5	17.6	29.0	14.5	2.6	3.1	2.6
	6～11歳	262	29.4	6.9	5.0	14.1	34.7	15.3	8.4	6.9	3.8
	12～14歳	61	32.8	6.6	3.3	11.5	42.6	26.2	9.8	14.8	3.3
	15～17歳	72	27.8	16.7	5.6	19.4	33.3	25.0	30.6	8.3	1.4
障害種別	身体障害										
	視覚障害	35	54.3	20.0	2.9	25.7	77.1	31.4	14.3	14.3	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	31.0	10.3	3.4	24.1	58.6	44.8	13.8	10.3	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	52.8	22.2	-	30.6	58.3	27.8	16.7	8.3	11.1
	肢体不自由	110	39.1	14.5	1.8	20.0	59.1	34.5	12.7	20.9	7.3
	内部障害	26	23.1	23.1	-	15.4	73.1	23.1	11.5	19.2	-
	難病	49	38.8	20.4	-	30.6	73.5	42.9	22.4	18.4	8.2
	知的障害	171	36.3	11.1	4.1	22.8	45.0	28.7	22.8	9.9	5.8
	重度重複	24	70.8	12.5	4.2	41.7	79.2	50.0	25.0	25.0	12.5
	発達障害	270	28.9	8.5	5.2	14.8	27.8	13.7	7.4	4.8	3.0
	精神障害	4	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	-	-	25.0	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	-	25.0	-	25.0	50.0	75.0	25.0	50.0	25.0
	診断を受けていない	85	14.1	1.2	-	11.8	12.9	5.9	1.2	1.2	2.4
その他	47	27.7	12.8	4.3	17.0	29.8	17.0	2.1	6.4	-	
区分			疾病や障害の状態によつて十分な検査・診療が受けにくい	バリアフリーの設備や駐車場がない	医療費の負担が大きい	家族の休息目的のためのレスパイト入院がでさる医療機関がない	小児科から成人科へ変更するときに病院を探すのに不安がある	医療的ケアにかかる消耗品の負担が大きい	その他	特に困ったことはない	無回答
全体		8.0	4.8	5.1	9.0	23.4	5.6	9.3	31.1	1.9	
年齢別	0～5歳	5.7	3.1	3.6	4.1	10.4	3.1	4.1	45.6	2.1	
	6～11歳	8.8	4.6	5.3	9.2	22.5	5.3	10.3	27.1	1.5	
	12～14歳	8.2	4.9	4.9	16.4	47.5	9.8	18.0	18.0	3.3	
	15～17歳	11.1	9.7	8.3	15.3	41.7	9.7	12.5	18.1	-	
障害種別	身体障害										
	視覚障害	17.1	8.6	-	31.4	31.4	8.6	20.0	5.7	-	
	聴覚障害・平衡機能障害	17.2	10.3	6.9	17.2	34.5	17.2	24.1	20.7	-	
	音声・言語・そしゃく機能障害	13.9	16.7	-	36.1	50.0	5.6	16.7	16.7	-	
	肢体不自由	12.7	20.9	4.5	32.7	51.8	16.4	17.3	7.3	-	
	内部障害	7.7	3.8	15.4	11.5	30.8	23.1	7.7	3.8	-	
	難病	16.3	14.3	6.1	28.6	49.0	8.2	8.2	2.0	-	
	知的障害	15.8	7.6	2.9	17.0	43.3	8.2	8.8	14.6	1.2	
	重度重複	33.3	37.5	4.2	62.5	45.8	8.3	25.0	4.2	-	
	発達障害	6.7	1.5	6.7	4.4	17.4	2.2	11.5	33.3	2.6	
	精神障害	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	
	高次脳機能障害（失語症を含む）	25.0	25.0	-	25.0	50.0	25.0	-	-	-	
	診断を受けていない	4.7	2.4	1.2	2.4	3.5	1.2	4.7	61.2	2.4	
その他	8.5	4.3	4.3	12.8	29.8	4.3	14.9	34.0	2.1		

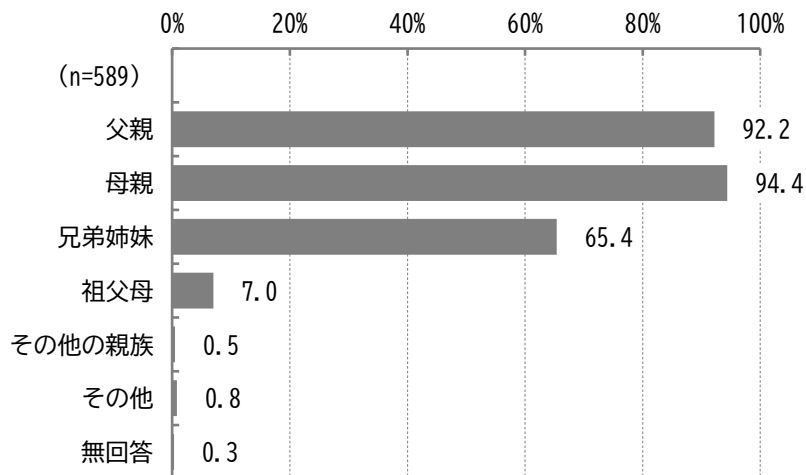
## (2) ご家族について

問 11 現在、お子さんと一緒に暮らしている人は、どなたですか。(〇はいくつでも)

「母親」が94.4%と最も多く、次いで「父親」が92.2%、「兄弟姉妹」が65.4%、「祖父母」が7.0%の順となっています。

年齢別にみると、0～5歳は「父親」、それ以外は「母親」が最も多くなっています。

障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害と難病、重度重複、診断を受けていないは「父親」、それ以外は「母親」が最も多くなっています。



### 【年齢別・障害種別】

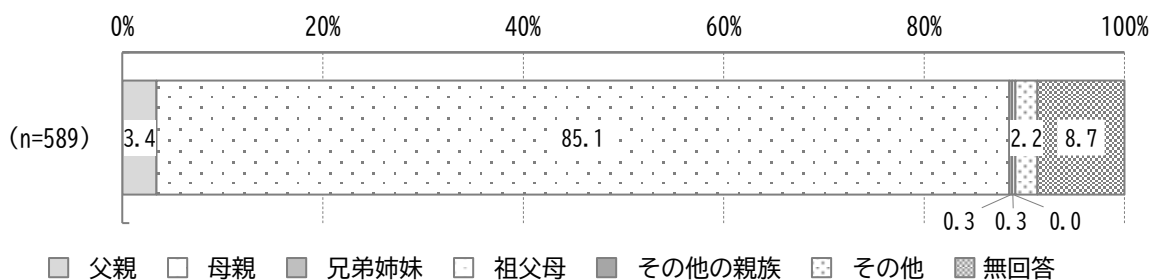
単位：%

区分		回答者数 (件)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族	その他	無回答
全体		589	92.2	94.4	65.4	7.0	0.5	0.8	0.3
年齢別	0～5歳	193	97.4	94.3	61.7	4.7	-	-	-
	6～11歳	262	90.8	95.4	66.8	6.9	1.1	1.1	0.4
	12～14歳	61	90.2	96.7	67.2	14.8	-	-	-
	15～17歳	72	86.1	90.3	69.4	6.9	-	2.8	-
障害種別	視覚障害	35	94.3	97.1	71.4	8.6	-	-	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	82.8	100.0	58.6	3.4	-	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	94.4	91.7	72.2	8.3	-	-	-
	肢体不自由	110	90.0	92.7	59.1	8.2	0.9	0.9	-
	内部障害	26	88.5	96.2	61.5	3.8	-	3.8	-
	難病	49	93.9	91.8	59.2	8.2	2.0	-	-
	知的障害	171	90.6	93.6	66.1	5.3	-	2.3	0.6
	重度重複	24	91.7	87.5	58.3	8.3	-	-	-
	発達障害	270	90.7	94.1	67.0	7.8	0.4	0.4	0.4
	精神障害	4	100.0	100.0	75.0	-	-	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
	診断を受けていない	85	98.8	95.3	60.0	4.7	1.2	1.2	-
その他	47	95.7	97.9	66.0	6.4	-	-	-	

問 12-1 お子さんを主にケア(介護)している人についてご記入ください。  
 お子さんを主にケア(介護)している人は、どなたですか。(○は1つ)

「母親」が85.1%と最も多く、次いで「父親」が3.4%、「祖父母」、「兄弟姉妹」が0.3%の順となっています。

年齢別・障害別にみると、いずれも「母親」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

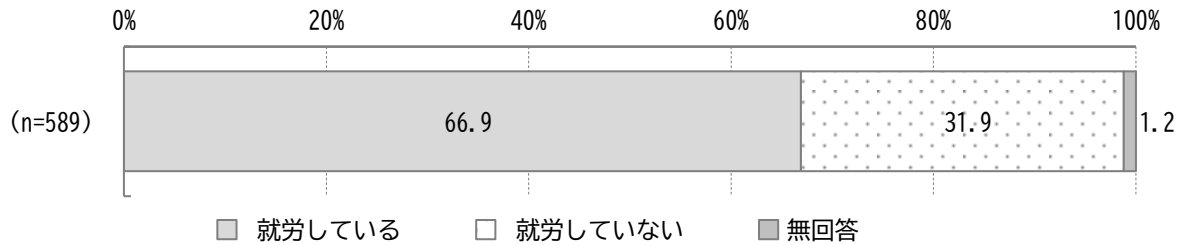
単位：%

区分	回答者数 (件)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族	その他	無回答	
全体	589	3.4	85.1	0.3	0.3	-	2.2	8.7	
年齢別	0～5歳	193	4.7	81.9	1.0	-	-	2.6	9.8
	6～11歳	262	3.8	85.1	-	0.8	-	1.9	8.4
	12～14歳	61	-	93.4	-	-	-	-	6.6
	15～17歳	72	1.4	87.5	-	-	-	4.2	6.9
	障害種別	視覚障害	35	2.9	88.6	2.9	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害		29	-	86.2	-	-	-	6.9	6.9
音声・言語・そしゃく機能障害		36	2.8	86.1	-	-	-	-	11.1
肢体不自由		110	7.3	80.0	-	0.9	-	2.7	9.1
内部障害		26	-	80.8	-	-	-	7.7	11.5
難病		49	6.1	79.6	-	2.0	-	4.1	8.2
知的障害		171	3.5	86.5	-	0.6	-	3.5	5.8
重度重複		24	8.3	79.2	-	-	-	-	12.5
発達障害		270	3.0	86.3	-	0.4	-	1.5	8.9
精神障害		4	-	100.0	-	-	-	-	-
高次脳機能障害(失語症を含む)		4	25.0	75.0	-	-	-	-	-
診断を受けていない		85	4.7	85.9	1.2	-	-	1.2	7.1
その他		47	2.1	91.5	-	-	-	-	6.4

問 12-2 お子さんを主にケア(介護)している人は、就労していますか。(○は1つ)

「就労している」が66.9%、「就労していない」が31.9%となっています。

年齢別・障害別にみると、すべての年代、障害種別（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）で「就労している」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	就労している	就労していない	無回答
全体		589	66.9	31.9	1.2
年齢別	0～5歳	193	69.4	30.1	0.5
	6～11歳	262	64.1	34.4	1.5
	12～14歳	61	72.1	26.2	1.6
	15～17歳	72	66.7	33.3	-
	障害種別	視覚障害	35	62.9	37.1
	聴覚障害・平衡機能障害	29	62.1	37.9	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	63.9	36.1	-
	肢体不自由	110	63.6	35.5	0.9
	内部障害	26	73.1	26.9	-
	難病	49	75.5	24.5	-
	知的障害	171	70.8	28.7	0.6
	重度重複	24	58.3	41.7	-
	発達障害	270	69.3	29.6	1.1
	精神障害	4	25.0	75.0	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	25.0	75.0	-
	診断を受けていない	85	60.0	38.8	1.2
	その他	47	70.2	29.8	-

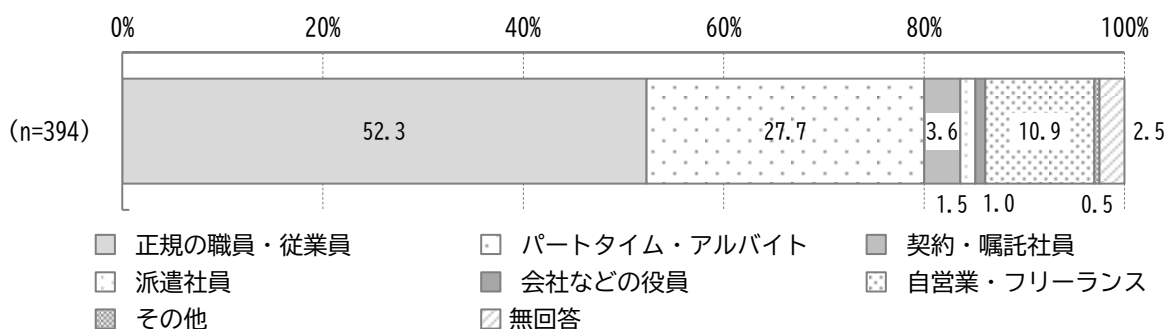
問 12-3 (問 12-2 で「1. 就労している」に○をつけた人)

雇用はどのような形態ですか。(○は1つ)

「正規の職員・従業員」が 52.3%と最も多く、次いで「パートタイム・アルバイト」が 27.7%、「契約・嘱託社員」が 3.6%、「派遣社員」が 1.5%の順となっています。

年齢別にみると、0～11 歳は「正規の職員・従業員」、12～17 歳は「パートタイム・アルバイト」が最も多くなっています。

障害別にみると、いずれの障害種別(精神障害、高次脳機能障害(失語症を含む)を除く)で「正規の職員・従業員」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

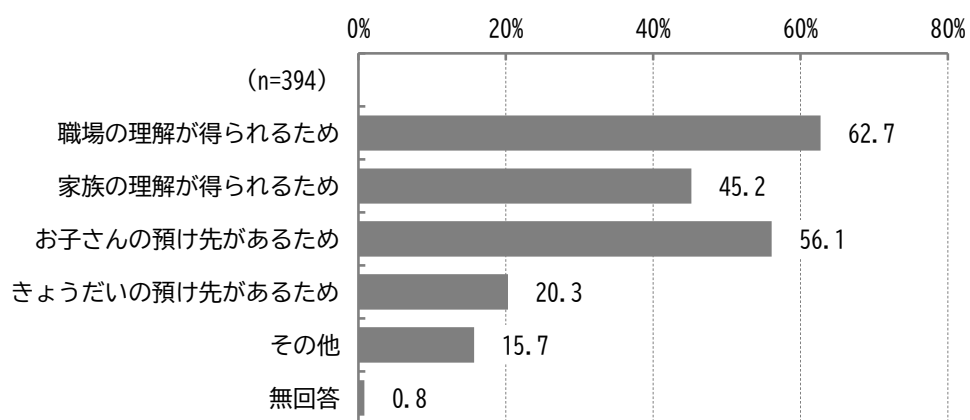
区分	回答者数 (件)	正規の職員・従業員	パートタイム・アルバイト	契約・嘱託社員	派遣社員	会社などの役員	自営業・フリーランス	その他	無回答	
全体	394	52.3	27.7	3.6	1.5	1.0	10.9	0.5	2.5	
年齢別	0～5歳	134	67.2	15.7	4.5	1.5	0.7	9.7	-	0.7
	6～11歳	168	53.0	26.2	1.8	2.4	1.2	11.9	1.2	2.4
	12～14歳	44	29.5	50.0	2.3	-	2.3	11.4	-	4.5
	15～17歳	48	29.2	45.8	8.3	-	-	10.4	-	6.3
障害種別	視覚障害	22	72.7	-	9.1	-	-	18.2	-	-
	聴覚障害・平衡機能障害	18	61.1	27.8	-	-	-	5.6	-	5.6
	音声・言語・そしゃく機能障害	23	47.8	21.7	4.3	-	-	21.7	-	4.3
	肢体不自由	70	48.6	27.1	5.7	-	1.4	14.3	1.4	1.4
	内部障害	19	42.1	31.6	5.3	-	-	15.8	-	5.3
	難病	37	51.4	21.6	8.1	-	2.7	13.5	-	2.7
	知的障害	121	42.1	37.2	5.8	1.7	1.7	8.3	-	3.3
	重度重複	14	50.0	14.3	7.1	-	7.1	21.4	-	-
	発達障害	187	46.5	31.0	4.8	2.1	0.5	11.2	0.5	3.2
	精神障害	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
診断を受けていない	51	74.5	11.8	-	2.0	-	11.8	-	-	
その他	33	45.5	24.2	6.1	3.0	3.0	9.1	3.0	6.1	

問 12-4 (問 12-2 で「1. 就労している」に○をつけた人)  
 就労できている理由は、どれですか。(○はいくつでも)

「職場の理解が得られるため」が62.7%と最も多く、次いで「お子さんの預け先があるため」が56.1%、「家族の理解が得られるため」が45.2%、「きょうだいの預け先があるため」が20.3%の順となっています。

年齢別にみると、0～5歳は「お子さんの預け先があるため」、それ以外は「職場の理解が得られるため」が最も多くなっています。

障害別にみると、聴覚障害・平衡機能障害と肢体不自由、内部障害、発達障害は「職場の理解が得られるため」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）は除く）は「お子さんの預け先があるため」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

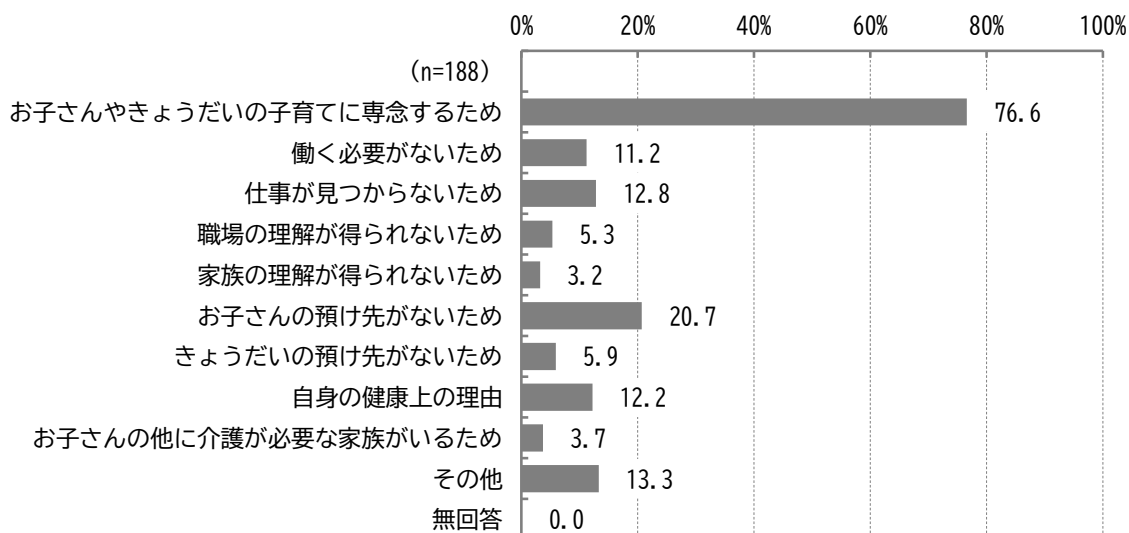
単位：%

区分	回答者数 (件)	職場の理解が得られるため	家族の理解が得られるため	お子さんの預け先があるため	きょうだいの預け先があるため	その他	無回答	
全体	394	62.7	45.2	56.1	20.3	15.7	0.8	
年齢別	0～5歳	134	70.1	41.8	75.4	26.1	5.2	-
	6～11歳	168	61.3	45.2	56.0	22.6	21.4	0.6
	12～14歳	44	54.5	47.7	31.8	6.8	22.7	2.3
	15～17歳	48	54.2	52.1	25.0	8.3	18.8	2.1
障害種別	視覚障害	22	63.6	54.5	68.2	40.9	22.7	-
	聴覚障害・平衡機能障害	18	83.3	38.9	50.0	16.7	22.2	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	23	60.9	39.1	65.2	30.4	34.8	-
	肢体不自由	70	67.1	44.3	55.7	14.3	27.1	-
	内部障害	19	68.4	47.4	47.4	15.8	21.1	-
	難病	37	64.9	51.4	70.3	10.8	13.5	-
	知的障害	121	55.4	47.9	62.8	17.4	17.4	1.7
	重度重複	14	64.3	50.0	71.4	14.3	35.7	-
	発達障害	187	59.4	41.7	47.1	20.3	21.4	1.1
	精神障害	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-
診断を受けていない	51	60.8	45.1	78.4	27.5	3.9	-	
その他	33	60.6	45.5	60.6	27.3	18.2	-	

問 12-5 (問 12-2 で「2. 就労していない」に○をつけた人)  
就労していない理由は、どれですか。(○はいくつでも)

「お子さんやきょうだいの子育てに専念するため」が 76.6%と最も多く、次いで「お子さんの預け先がないため」が 20.7%、「仕事が見つからないため」が 12.8%、「自身の健康上の理由」が 12.2%の順となっています。

年齢別・障害別にみると、いずれの年代、障害種別（内部障害、精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）で「お子さんやきょうだいの子育てに専念するため」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

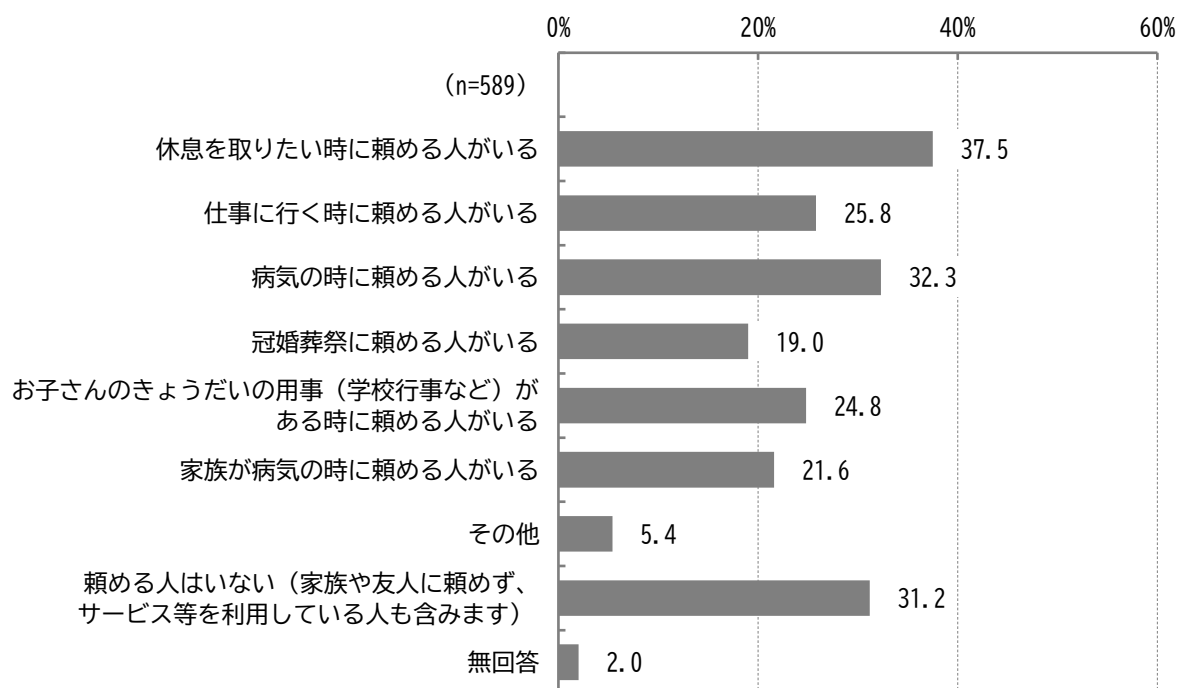
区分	回答者数 (件)	お子さんやきょうだいの子育てに専念するため	働く必要がないため	仕事が見つからないため	職場の理解が得られないため	家族の理解が得られないため	お子さんの預け先がないため	きょうだいの預け先がないため	自身の健康上の理由	お子さんの他に介護が必要な家族がいるため	その他	無回答	
全体	188	76.6	11.2	12.8	5.3	3.2	20.7	5.9	12.2	3.7	13.3	0.0	
年齢別	0～5歳	58	74.1	12.1	12.1	5.2	3.4	15.5	6.9	8.6	1.7	13.8	-
	6～11歳	90	78.9	11.1	8.9	3.3	3.3	24.4	6.7	15.6	3.3	13.3	-
	12～14歳	16	62.5	12.5	12.5	-	-	18.8	6.3	-	12.5	12.5	-
	15～17歳	24	83.3	8.3	29.2	16.7	4.2	20.8	-	16.7	4.2	12.5	-
障害種別	視覚障害	13	69.2	7.7	15.4	-	-	53.8	-	-	7.7	15.4	-
	聴覚障害・平衡機能障害	11	63.6	-	18.2	-	-	36.4	9.1	-	-	18.2	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	13	61.5	7.7	7.7	-	-	38.5	-	7.7	7.7	15.4	-
	肢体不自由	39	76.9	7.7	10.3	7.7	-	33.3	2.6	10.3	5.1	17.9	-
	内部障害	7	71.4	-	14.3	28.6	-	14.3	-	-	14.3	-	-
	難病	12	75.0	8.3	-	-	-	33.3	-	-	8.3	16.7	-
	知的障害	49	75.5	10.2	20.4	8.2	4.1	26.5	4.1	2.0	4.1	12.2	-
	重度重複	10	80.0	10.0	20.0	10.0	-	70.0	10.0	20.0	10.0	-	-
	発達障害	80	80.0	11.3	12.5	6.3	3.8	20.0	8.8	15.0	6.3	10.0	-
	精神障害	3	33.3	-	33.3	33.3	-	66.7	-	33.3	-	33.3	-
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	3	100.0	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-
診断を受けていない	33	75.8	15.2	6.1	6.1	6.1	3.0	6.1	21.2	-	15.2	-	
その他	14	57.1	7.1	7.1	-	-	42.9	7.1	-	-	21.4	-	

問 13 お子さんを主にケア(介護)している人以外に、代わりにケア(介護)を頼める家族や友人はいますか。  
(〇はいくつでも)

「休息を取りたい時に頼める人がいる」が 37.5%と最も多く、次いで「病気の時に頼める人がいる」が 32.3%、「頼める人はいない（家族や友人に頼めず、サービス等を利用している人も含みます）」が 31.2%、「仕事に行く時に頼める人がいる」が 25.8%の順となっています。

年齢別にみると、0～11歳は「休息を取りたい時に頼める人がいる」、12～17歳は「頼める人はいない（家族や友人に頼めず、サービス等を利用している人も含みます）」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と発達障害、診断を受けていないは、「休息を取りたい時に頼める人がいる」、聴覚障害は、「病気の時に頼める人がいる、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）」は、「頼める人はいない（家族や友人に頼めず、サービス等を利用している人も含みます）」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

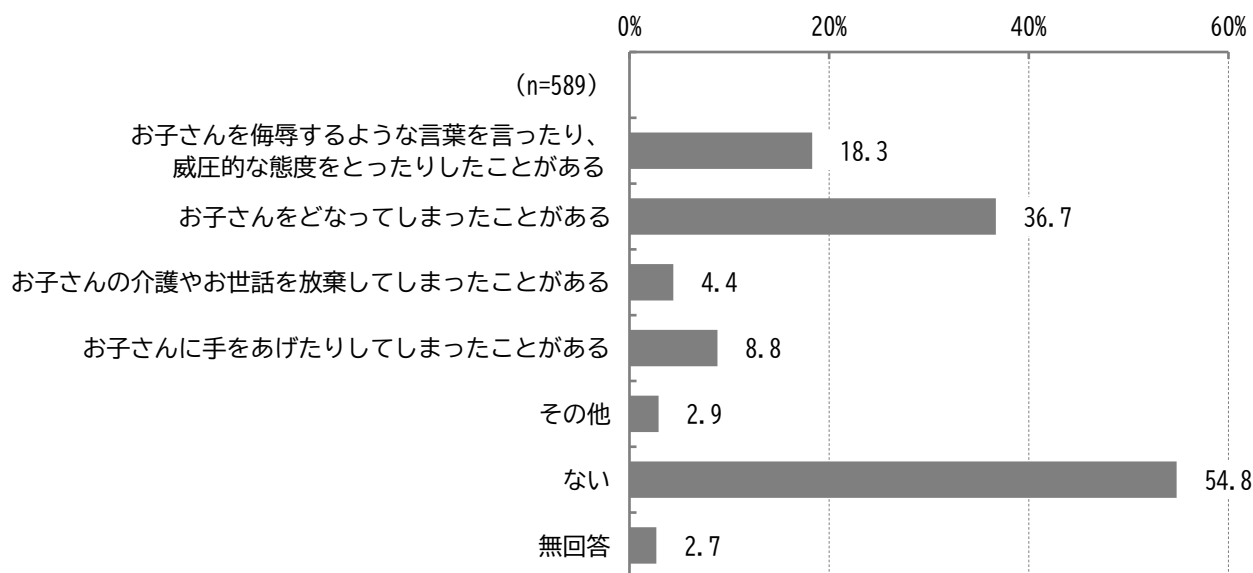
区分		回答者数(件)	休息を取りたい時に頼める人がいる	仕事に行く時に頼める人がいる	病気の時に頼める人がいる	冠婚葬祭に頼める人がいる	お子さんのきょうだいの用事(学校行事など)がある時に頼める人がいる	家族が病気の時に頼める人がいる	その他	頼める人はいない(家族や友人に頼めず、サービス等を利用している人も含みます)	無回答
全体		589	37.5	25.8	32.3	19.0	24.8	21.6	5.4	31.2	2.0
年齢別	0～5歳	193	45.6	27.5	35.2	23.3	22.8	24.9	4.1	25.9	2.1
	6～11歳	262	36.3	24.8	32.8	18.3	26.7	21.8	5.0	33.6	1.1
	12～14歳	61	23.0	31.1	29.5	13.1	21.3	13.1	4.9	32.8	3.3
	15～17歳	72	33.3	20.8	25.0	15.3	26.4	19.4	11.1	36.1	2.8
障害種別	身体障害										
	視覚障害	35	48.6	25.7	40.0	20.0	25.7	17.1	-	25.7	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	24.1	17.2	37.9	13.8	31.0	20.7	3.4	27.6	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	33.3	13.9	25.0	11.1	22.2	11.1	8.3	36.1	-
	肢体不自由	110	28.2	20.9	26.4	13.6	18.2	10.9	5.5	40.9	1.8
	内部障害	26	26.9	11.5	7.7	11.5	15.4	15.4	11.5	46.2	3.8
	難病	49	30.6	24.5	26.5	16.3	12.2	16.3	4.1	40.8	4.1
	知的障害	171	28.7	25.1	29.8	12.9	21.6	21.1	5.3	40.9	2.3
	重度重複	24	29.2	20.8	25.0	12.5	16.7	8.3	4.2	41.7	-
	発達障害	270	34.4	26.7	31.1	17.8	25.9	20.4	4.8	32.2	1.5
	精神障害	4	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	50.0	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	25.0	-	-	-	25.0	-	-	50.0	-
	診断を受けていない	85	52.9	28.2	42.4	27.1	23.5	24.7	4.7	18.8	2.4
その他	47	38.3	25.5	36.2	19.1	25.5	17.0	6.4	29.8	-	

問 14 この6か月以内に介護が原因でお子さんとの関係が難しくなったことがありますか。  
(〇はいくつでも)

「ない」が54.8%と最も多く、次いで「お子さんをどなってしまったことがある」が36.7%、「お子さんを侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」が18.3%、「お子さんに手をあげたりしてしまったことがある」が8.8%の順となっています。

年齢別にみると、6～11歳は「お子さんをどなってしまったことがある」、それ以外は「ない」が最も多くなっています。

障害別にみると、発達障害は「お子さんをどなってしまったことがある」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「ない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

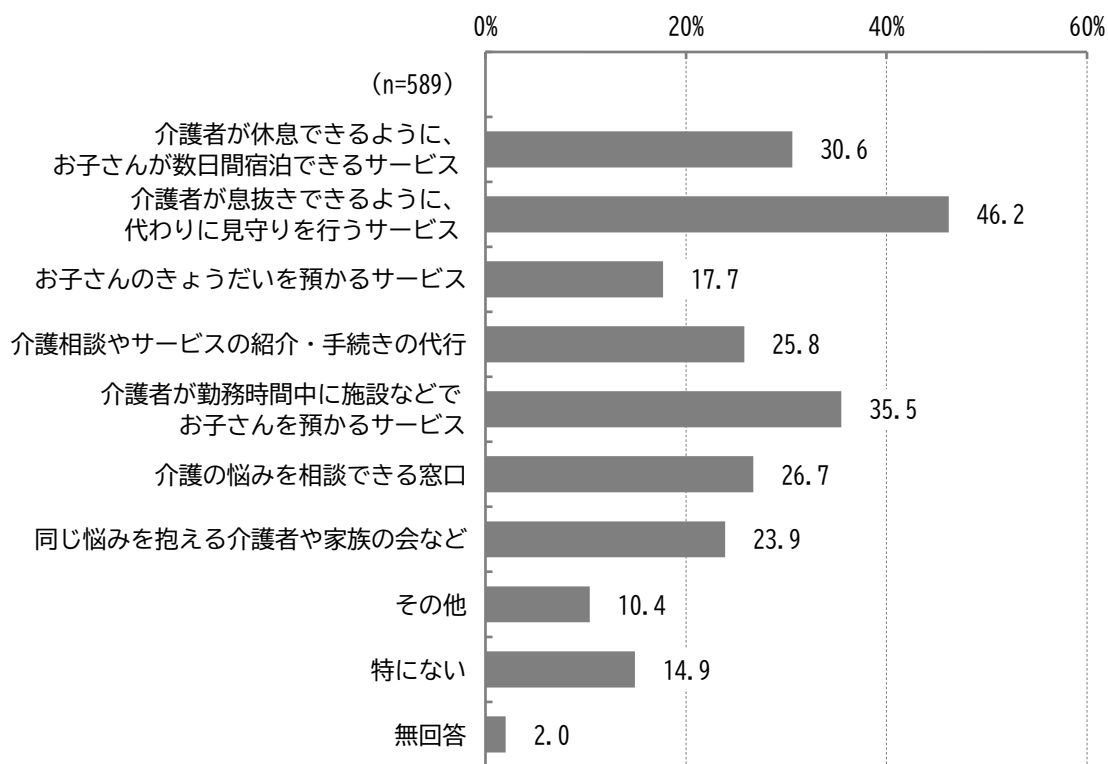
区分		回答者数(件)	お子さんを侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある	お子さんをどなってしまったことがある	お子さんの介護やお世話を放棄してしまっただことがある	お子さんに手をあげたりしてしまっただことがある	その他	ない	無回答
全体		589	18.3	36.7	4.4	8.8	2.9	54.8	2.7
年齢別	0～5歳	193	13.0	30.6	4.1	7.8	1.6	64.2	1.0
	6～11歳	262	27.1	48.1	5.0	11.5	2.7	43.5	2.7
	12～14歳	61	6.6	26.2	3.3	4.9	4.9	59.0	4.9
	15～17歳	72	11.1	20.8	4.2	5.6	5.6	68.1	4.2
障害種別	身体障害								
	視覚障害	35	8.6	17.1	14.3	2.9	-	62.9	5.7
	聴覚障害・平衡機能障害	29	17.2	31.0	13.8	10.3	3.4	55.2	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	2.8	19.4	8.3	8.3	5.6	61.1	5.6
	肢体不自由	110	9.1	23.6	7.3	5.5	5.5	60.9	3.6
	内部障害	26	7.7	34.6	3.8	3.8	-	65.4	-
	難病	49	2.0	22.4	6.1	4.1	4.1	67.3	2.0
	知的障害	171	17.0	36.8	8.2	10.5	2.9	52.0	2.3
	重度重複	24	4.2	33.3	16.7	4.2	12.5	41.7	-
	発達障害	270	27.4	46.7	4.1	10.7	3.3	45.2	2.2
	精神障害	4	50.0	75.0	-	25.0	-	25.0	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	-	25.0	-	-	25.0	50.0	-
診断を受けていない	85	17.6	40.0	3.5	9.4	1.2	55.3	2.4	
その他	47	19.1	34.0	8.5	17.0	2.1	59.6	-	

問 15 介護を続けるために、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」が 46.2%と最も多く、次いで「介護者が勤務時間中に施設などでお子さんを預かるサービス」が 35.5%、「介護者が休息できるように、お子さんが数日間宿泊できるサービス」が 30.6%、「介護の悩みを相談できる窓口」が 26.7%の順となっています。

年齢別にみると、12～17 歳は「介護者が休息できるように、お子さんが数日間宿泊できるサービス」、0～11 歳は「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」が最も多くなっています。

障害別にみると、いずれも「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

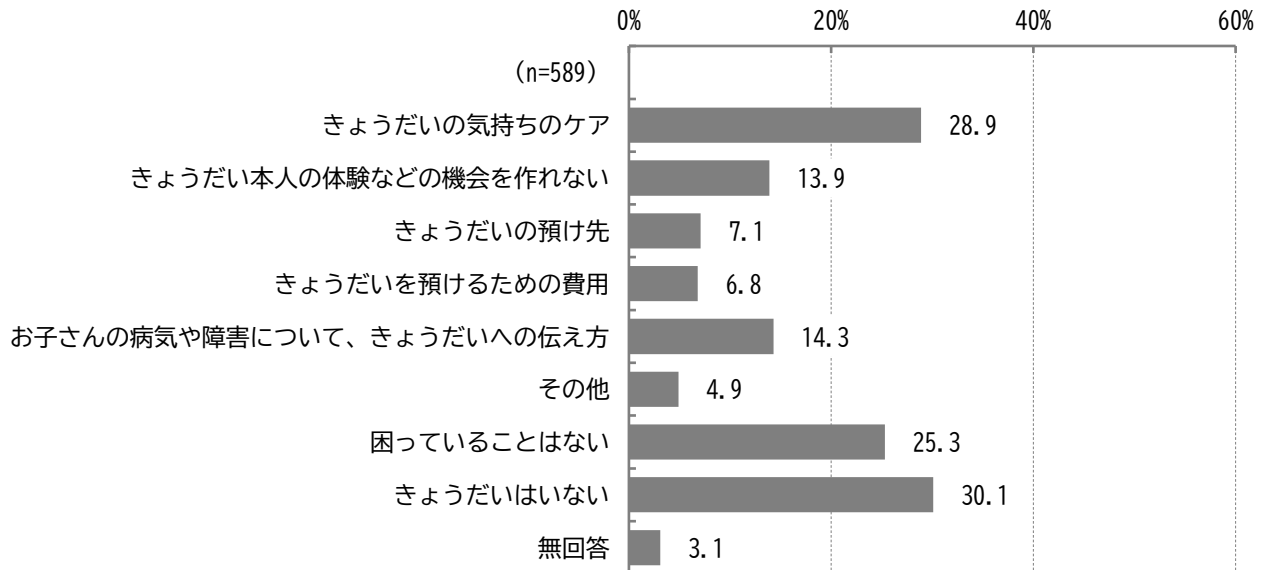
区分		回答者数 (件)	介護者が休息できるように、おこさんが数日間宿泊できるサービス	介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス	お子さんのきょうだいを預かるサービス	介護相談やサービスの紹介・手続きの代行	介護者が勤務時間中に施設などでお子さんを預かるサービス	介護の悩みを相談できる窓口	同じ悩みを抱える介護者や家族の会など	その他	特にない	無回答
全体		589	30.6	46.2	17.7	25.8	35.5	26.7	23.9	10.4	14.9	2.0
年齢別	0～5歳	193	30.1	51.3	19.2	26.4	35.8	25.4	23.8	8.3	16.6	1.6
	6～11歳	262	27.5	48.1	19.1	25.6	36.3	29.8	23.7	9.2	13.4	2.3
	12～14歳	61	41.0	39.3	16.4	29.5	36.1	27.9	36.1	14.8	14.8	1.6
	15～17歳	72	34.7	31.9	9.7	22.2	31.9	18.1	15.3	16.7	16.7	1.4
障害種別	身体障害											
	視覚障害	35	51.4	62.9	22.9	37.1	45.7	31.4	31.4	20.0	8.6	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	31.0	41.4	24.1	27.6	31.0	17.2	31.0	24.1	24.1	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	52.8	61.1	27.8	38.9	33.3	33.3	22.2	19.4	2.8	2.8
	肢体不自由	110	51.8	61.8	10.9	32.7	43.6	21.8	23.6	16.4	7.3	1.8
	内部障害	26	30.8	53.8	26.9	23.1	38.5	26.9	26.9	11.5	7.7	3.8
	難病	49	49.0	69.4	18.4	46.9	51.0	38.8	34.7	12.2	2.0	2.0
	知的障害	171	45.0	55.6	15.2	37.4	48.5	27.5	27.5	12.9	6.4	1.8
	重度重複	24	70.8	79.2	20.8	45.8	62.5	29.2	41.7	8.3	-	-
	発達障害	270	26.3	41.9	19.3	25.2	30.0	31.9	24.8	11.5	14.4	2.6
	精神障害	4	50.0	75.0	25.0	75.0	50.0	50.0	25.0	-	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	-	50.0	25.0	75.0	25.0	50.0	50.0	25.0	-	-
診断を受けていない	85	20.0	44.7	16.5	18.8	29.4	30.6	22.4	7.1	21.2	1.2	
その他	47	42.6	53.2	23.4	25.5	44.7	12.8	17.0	10.6	14.9	-	

問 16 現在、きょうだいについて、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「きょうだいの気持ちのケア」が 28.9%と最も多く、次いで「お子さんの病気や障害について、きょうだいへの伝え方」が 14.3%、「きょうだい本人の体験などの機会を作れない」が 13.9%の順となっており、「困っていることはない」は 25.3%、「きょうだいはいない」は 30.1%となっています。

困っていることを年齢別にみると、いずれの年代も「きょうだいの気持ちのケア」が多くなっています。

困っていることを障害別にみると、重度重複は「きょうだい本人の体験などの機会を作れない」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「きょうだいの気持ちのケア」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	きょうだいの気持ちのケア	きょうだい本人の体験などの機会を作れない	きょうだいの預け先	きょうだいを預けるための費用	お子さんの病気や障害について、きょうだいへの伝え方	その他	困っていることはない	きょうだいはいない	無回答
全体		589	28.9	13.9	7.1	6.8	14.3	4.9	25.3	30.1	3.1
年齢別	0～5歳	193	25.4	14.0	8.8	8.3	11.9	2.6	24.4	34.2	4.1
	6～11歳	262	32.4	14.5	8.0	7.6	17.9	6.1	20.2	30.5	1.9
	12～14歳	61	24.6	13.1	3.3	4.9	13.1	9.8	31.1	29.5	3.3
	15～17歳	72	29.2	12.5	2.8	1.4	8.3	2.8	41.7	18.1	2.8
障害種別	身体障害										
	視覚障害	35	45.7	34.3	5.7	11.4	17.1	8.6	20.0	25.7	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	31.0	20.7	6.9	3.4	13.8	10.3	24.1	37.9	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	41.7	27.8	5.6	8.3	11.1	8.3	22.2	25.0	2.8
	肢体不自由	110	28.2	20.0	3.6	2.7	11.8	6.4	20.0	34.5	4.5
	内部障害	26	38.5	19.2	11.5	7.7	19.2	7.7	23.1	23.1	7.7
	難病	49	26.5	16.3	4.1	4.1	10.2	6.1	22.4	34.7	4.1
	知的障害	171	33.9	19.9	5.3	5.3	18.7	4.7	21.1	30.4	1.2
	重度重複	24	33.3	37.5	8.3	12.5	25.0	4.2	4.2	41.7	-
	発達障害	270	33.3	16.3	8.9	7.8	16.7	6.3	20.4	30.0	1.9
	精神障害	4	75.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	25.0	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	75.0	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-
	診断を受けていない	85	16.5	5.9	7.1	5.9	8.2	1.2	34.1	35.3	3.5
その他	47	31.9	21.3	6.4	6.4	19.1	6.4	21.3	25.5	6.4	

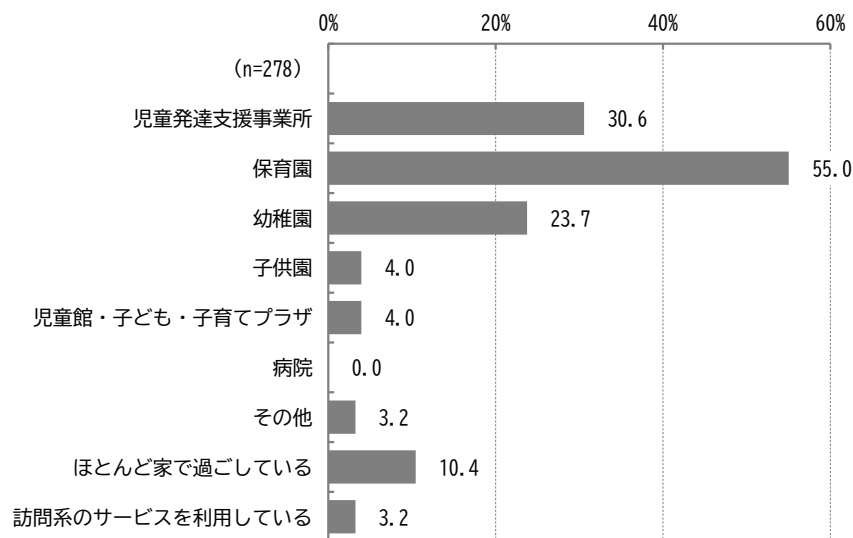
### (3) 療育・教育について

問 17 お子さんが、主に日中に過ごしている場所についてお答えください。(○はいくつでも)

#### ①就学前

「保育園」が55.0%と最も多く、次いで「児童発達支援事業所」が30.6%、「幼稚園」が23.7%、「子供園」と「児童館・子ども・子育てプラザ」が4.0%の順となっています。

障害別にみると、視覚障害と聴覚障害・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害、重度重複は「児童発達支援事業所」、それ以外の障害種別（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）と診断を受けていないは「保育園」が最も多くなっています。



#### 【障害種別】

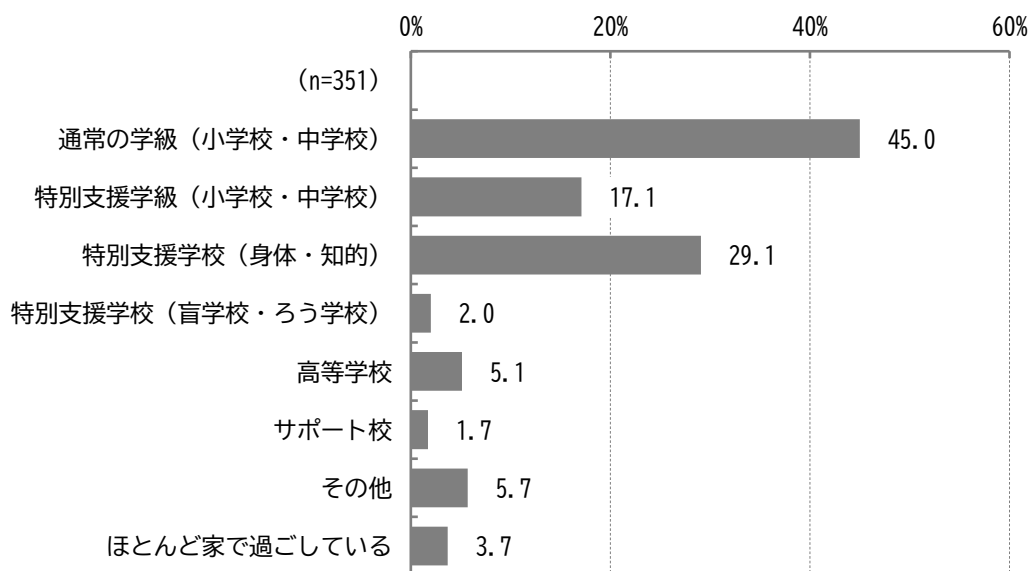
単位：%

区分	回答者数 (件)	児童発達支援事業所	保育園	幼稚園	子供園	児童館・子ども・子育てプラザ	病院	その他	ほとんど家で過ごしている	訪問系のサービスを利用している	
全体	278	30.6	55.0	23.7	4.0	4.0	-	3.2	10.4	3.2	
障害種別	視覚障害	15	60.0	46.7	20.0	-	-	-	13.3	6.7	
	聴覚障害・平衡機能障害	11	54.5	45.5	18.2	9.1	-	9.1	18.2	9.1	
	音声・言語・そしゃく機能障害	15	60.0	53.3	6.7	-	-	-	26.7	13.3	
	肢体不自由	39	46.2	51.3	10.3	-	2.6	-	2.6	12.8	10.3
	内部障害	8	25.0	50.0	12.5	-	12.5	-	-	50.0	25.0
	難病	22	50.0	63.6	4.5	-	4.5	-	4.5	13.6	9.1
	知的障害	49	42.9	53.1	10.2	-	2.0	-	6.1	18.4	6.1
	重度重複	7	42.9	42.9	14.3	-	-	-	-	14.3	14.3
	発達障害	97	29.9	48.5	32.0	5.2	4.1	-	3.1	7.2	1.0
	精神障害	2	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	診断を受けていない	82	19.5	59.8	30.5	4.9	1.2	-	3.7	4.9	-
	その他	29	37.9	62.1	13.8	-	6.9	-	3.4	17.2	10.3

## ②小学生・中学生・高校生

「通常の学級(小学校・中学校)」が45.0%と最も多く、次いで「特別支援学校(身体・知的)」は29.1%、「特別支援学級(小学校・中学校)」が17.1%、「高等学校」が5.1%の順となっています。

障害別にみると、内部障害と発達障害、診断を受けていないは「通常の学級(小学校・中学校)」、それ以外(精神障害、高次脳機能障害(失語症を含む))を除くは「特別支援学校(身体・知的)」が最も多くなっています。



## 【障害種別】

単位：%

区分	回答者数(件)	通常の学級(小学校・中学校)	特別支援学級(小学校・中学校)	特別支援学校(身体・知的)	特別支援学校(盲学校・ろう学校)	高等学校	サポート校	その他	ほとんど家で過ごしている	
全体	351	45.0	17.1	29.1	2.0	5.1	1.7	5.7	3.7	
障害種別	視覚障害	20	25.0	10.0	45.0	20.0	-	-	10.0	10.0
	聴覚障害・平衡機能障害	20	20.0	-	45.0	20.0	10.0	-	20.0	10.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	26	15.4	11.5	69.2	-	-	-	7.7	7.7
	肢体不自由	81	14.8	7.4	69.1	-	4.9	1.2	4.9	3.7
	内部障害	17	41.2	11.8	29.4	-	17.6	-	-	-
	難病	30	6.7	13.3	70.0	-	6.7	3.3	3.3	-
	知的障害	133	7.5	26.3	57.1	1.5	3.8	1.5	5.3	0.8
	重度重複	19	-	5.3	89.5	-	-	-	10.5	5.3
	発達障害	197	65.5	17.8	9.6	1.5	3.0	2.5	7.1	5.1
	精神障害	3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	33.3
	高次脳機能障害(失語症を含む)	3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-
	診断を受けていない	5	40.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-
	その他	20	15.0	15.0	45.0	-	10.0	5.0	10.0	25.0

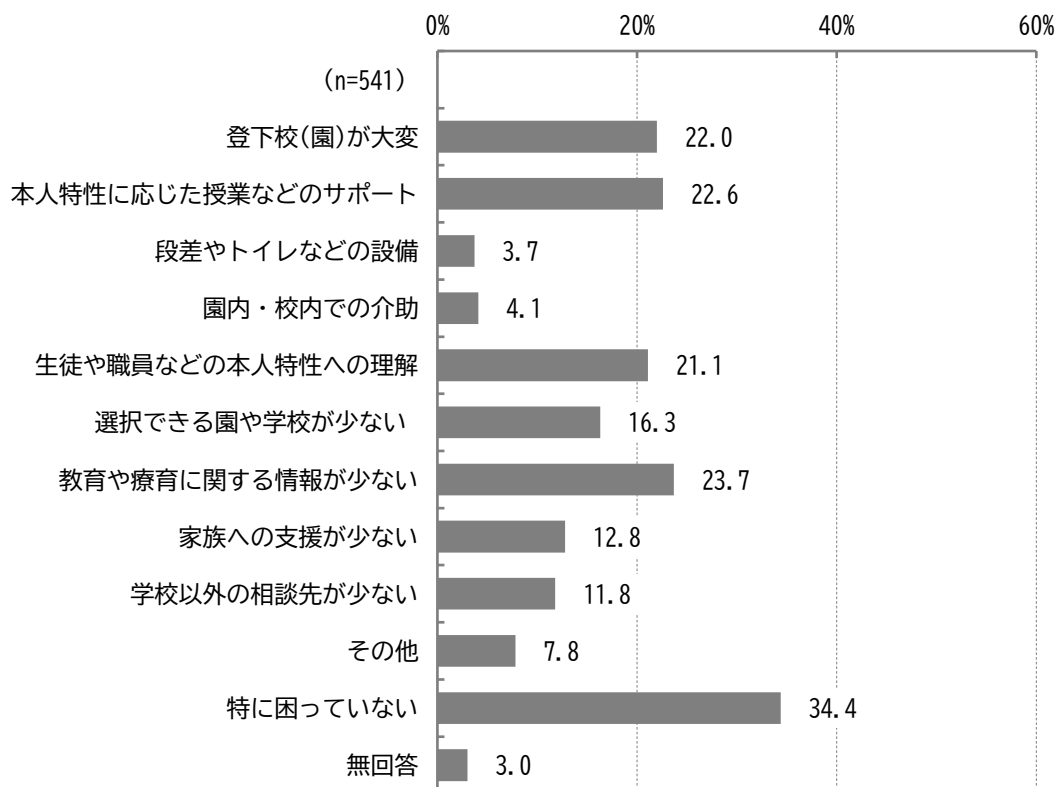
問 18-1 (お子さんが、通園・通学している人)

通園・通学する上で困っていることは、ありますか。(〇はいくつでも)

「教育や療育に関する情報が少ない」が 23.7%と最も多く、「本人特性に応じた授業などのサポート」が 22.6%、「登下校(園)が大変」が 22.0%、「生徒や職員などの本人特性への理解」が 21.1%の順となっており、「特に困っていない」は 34.4%となっています。

年齢別にみると、0～5歳と 15～17歳は「登下校(園)が大変」、6～11歳は「本人特性に応じた授業などのサポート」、12～14歳は「教育や療育に関する情報が少ない」が多くなっています。

障害別にみると、視覚障害は「登下校(園)が大変」と「選択できる園や学校が少ない」、聴覚障害・平衡機能障害は「本人特性に応じた授業などのサポート」と「教育や療育に関する情報が少ない」、音声・言語・そしゃく機能障害は「選択できる園や学校が少ない」、肢体不自由と難病、知的障害、重度重複は「登下校(園)が大変」、発達障害は「本人特性に応じた授業などのサポート」、診断を受けていないは「教育や療育に関する情報が少ない」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

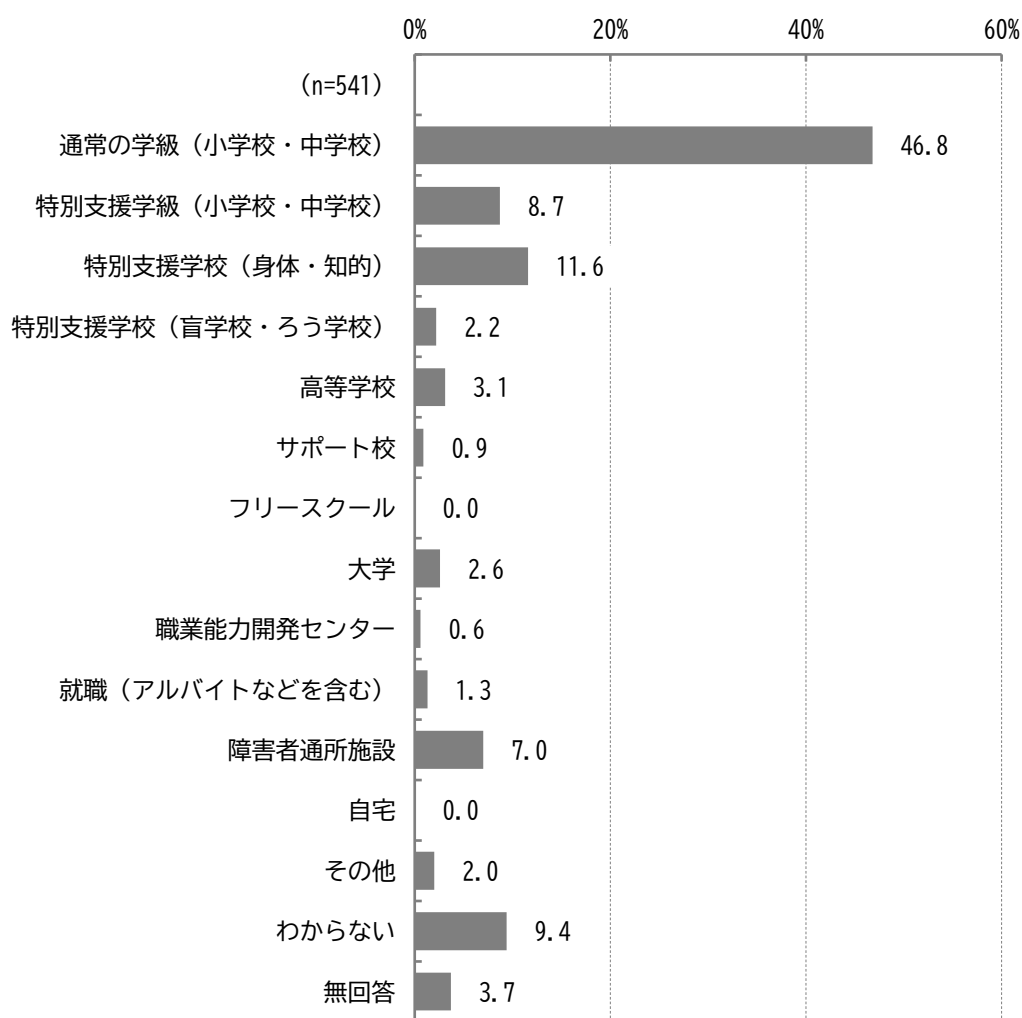
区分		回答者数 (件)	登下校(園) が大変	本人特性に 応じた授業 などのサ ポート	段差やトイ レなどの設 備	園内・校内 での介助	生徒や職員 などの本人 特性への理 解	選べる園や 学校が少な い	教育や療育 に関する情 報が少な い	家族への支 援が少な い	学校以外の 相談先が少 ない	その他	特に困って いない	無回答
全体		541	22.0	22.6	3.7	4.1	21.1	16.3	23.7	12.8	11.8	7.8	34.4	3.0
年齢別	0～5歳	164	18.9	10.4	2.4	3.7	14.0	14.0	15.9	6.1	2.4	5.5	50.0	3.0
	6～11歳	252	22.2	31.7	3.6	4.0	26.2	15.5	29.0	14.3	13.1	9.1	27.4	2.8
	12～14歳	58	25.9	24.1	5.2	5.2	24.1	19.0	29.3	20.7	25.9	6.9	17.2	5.2
	15～17歳	67	25.4	16.4	6.0	4.5	16.4	22.4	17.9	16.4	17.9	9.0	37.3	1.5
障害種別	視覚障害	29	41.4	24.1	3.4	-	20.7	41.4	24.1	31.0	13.8	24.1	17.2	-
	聴覚障害・平衡機能障害	25	24.0	32.0	-	-	16.0	28.0	32.0	24.0	20.0	12.0	28.0	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	31	19.4	12.9	-	3.2	22.6	35.5	12.9	16.1	6.5	19.4	22.6	6.5
	肢体不自由	98	35.7	13.3	13.3	10.2	12.2	29.6	20.4	18.4	11.2	12.2	24.5	6.1
	内部障害	22	27.3	22.7	9.1	4.5	27.3	18.2	18.2	18.2	13.6	4.5	40.9	-
	難病	42	40.5	9.5	11.9	14.3	7.1	35.7	26.2	14.3	9.5	9.5	21.4	2.4
	知的障害	154	35.7	14.9	6.5	7.1	15.6	31.8	24.7	20.8	16.2	11.7	20.1	2.6
	重度重複	20	50.0	5.0	5.0	15.0	5.0	40.0	20.0	30.0	10.0	20.0	10.0	5.0
	発達障害	250	15.2	34.8	0.4	1.6	28.4	10.8	28.8	14.0	14.8	7.6	32.4	2.0
	精神障害	3	-	66.7	-	-	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	75.0	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-
	診断を受けていない	82	14.6	12.2	2.4	4.9	19.5	6.1	22.0	4.9	4.9	3.7	53.7	3.7
	その他	39	33.3	5.1	2.6	-	7.7	17.9	17.9	17.9	17.9	10.3	17.9	35.9

問 18-2 現在の通園・通学先を卒業した後、どのような進路を希望しますか。(○は1つ)

「通常の学級(小学校・中学校)」が46.8%と最も多く、次いで「特別支援学校(身体・知的)」が11.6%、「特別支援学級(小学校・中学校)」が8.7%、「障害者通所施設」が7.0%の順となっています。

年齢別にみると、0～11歳は「通常の学級(小学校・中学校)」、12～14歳は「特別支援学校(身体・知的)」、15～17歳は「障害者通所施設」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害は「特別支援学校(盲学校・ろう学校)」と「障害者通所施設」、聴覚障害・平衡機能障害は「特別支援学校(盲学校・ろう学校)」、音声・言語・そしゃく機能障害と肢体不自由は「障害者通所施設」、内部障害と発達障害、診断を受けていないは「通常の学級(小学校・中学校)」、難病と知的障害、重度重複は「特別支援学校(身体・知的)」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

区分		回答者数 (件)	通常の学級 (小学校・中学校)	特別支援学級 (小学校・中学校)	特別支援学校 (身体・知的)	特別支援学校 (盲学校・ろう学校)	高等学校	サポート校	フリースクール
全体		541	46.8	8.7	11.6	2.2	3.1	0.9	-
年齢別	0～5歳	164	65.2	9.1	7.9	3.0	-	-	-
	6～11歳	252	56.7	11.5	10.7	1.2	-	0.8	-
	12～14歳	58	5.2	5.2	32.8	3.4	27.6	1.7	-
	15～17歳	67	-	-	6.0	3.0	1.5	3.0	-
障害種別	身体障害	29	13.8	13.8	3.4	24.1	-	-	-
	聴覚障害・平衡機能障害	25	16.0	-	16.0	28.0	-	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	31	22.6	9.7	12.9	-	-	-	-
	肢体不自由	98	11.2	6.1	19.4	2.0	5.1	-	-
	内部障害	22	27.3	4.5	22.7	-	13.6	4.5	-
	難病	42	9.5	14.3	31.0	2.4	2.4	2.4	-
	知的障害	154	4.5	16.9	31.8	1.9	1.9	1.9	-
	重度重複	20	-	-	35.0	5.0	-	-	-
	発達障害	250	59.6	7.2	8.4	1.6	3.6	1.6	-
	精神障害	3	33.3	-	-	-	-	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	-	50.0	-	-	25.0	-	-
	診断を受けていない	82	76.8	9.8	-	-	-	-	-
	その他	39	33.3	10.3	12.8	-	2.6	2.6	-
区分		大学	職業能力開発センター	就職（アルバイトなどを含む）	障害者通所施設	自宅	その他	わからない	無回答
全体		2.6	0.6	1.3	7.0	-	2.0	9.4	3.7
年齢別	0～5歳	-	-	-	-	-	1.2	10.4	3.0
	6～11歳	0.4	-	-	3.6	-	1.6	9.9	3.6
	12～14歳	1.7	-	-	6.9	-	3.4	8.6	3.4
	15～17歳	17.9	4.5	10.4	37.3	-	4.5	6.0	6.0
障害種別	身体障害	3.4	-	-	24.1	-	3.4	6.9	6.9
	聴覚障害・平衡機能障害	12.0	-	-	20.0	-	4.0	4.0	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	-	-	-	32.3	-	6.5	16.1	-
	肢体不自由	7.1	-	-	24.5	-	5.1	13.3	6.1
	内部障害	13.6	-	-	9.1	-	-	-	4.5
	難病	9.5	-	-	16.7	-	2.4	4.8	4.8
	知的障害	-	1.9	3.9	18.8	-	2.6	9.1	4.5
	重度重複	-	-	-	30.0	-	10.0	15.0	5.0
	発達障害	0.8	0.4	0.8	2.8	-	1.6	7.6	4.0
	精神障害	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	25.0	-	-	-	-	-	-	-
	診断を受けていない	1.2	-	-	-	-	2.4	8.5	1.2
	その他	-	-	-	7.7	-	5.1	20.5	5.1

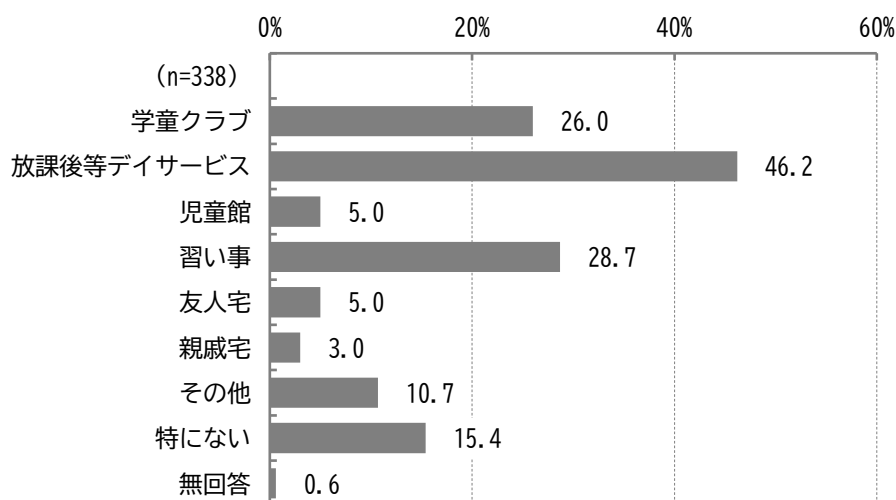
問 19-1 (お子さんが通学している人)

放課後、自宅以外に過ごす場所について記入してください。(〇はいくつでも)

「放課後等デイサービス」が46.2%と最も多く、次いで「習い事」が28.7%、「学童クラブ」が26.0%、「児童館」、「友人宅」が5.0%の順となっており、「特にない」は15.4%となっています。

年齢別にみると、6～11歳は「学童クラブ」、12～17歳は「放課後等デイサービス」が最も多くなっています。

障害別にみると、内部障害は「放課後等デイサービス」と「習い事」、発達障害は「習い事」、それ以外(精神障害、高次脳機能障害(失語症を含む)、診断を受けていないを除く)は「放課後等デイサービス」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

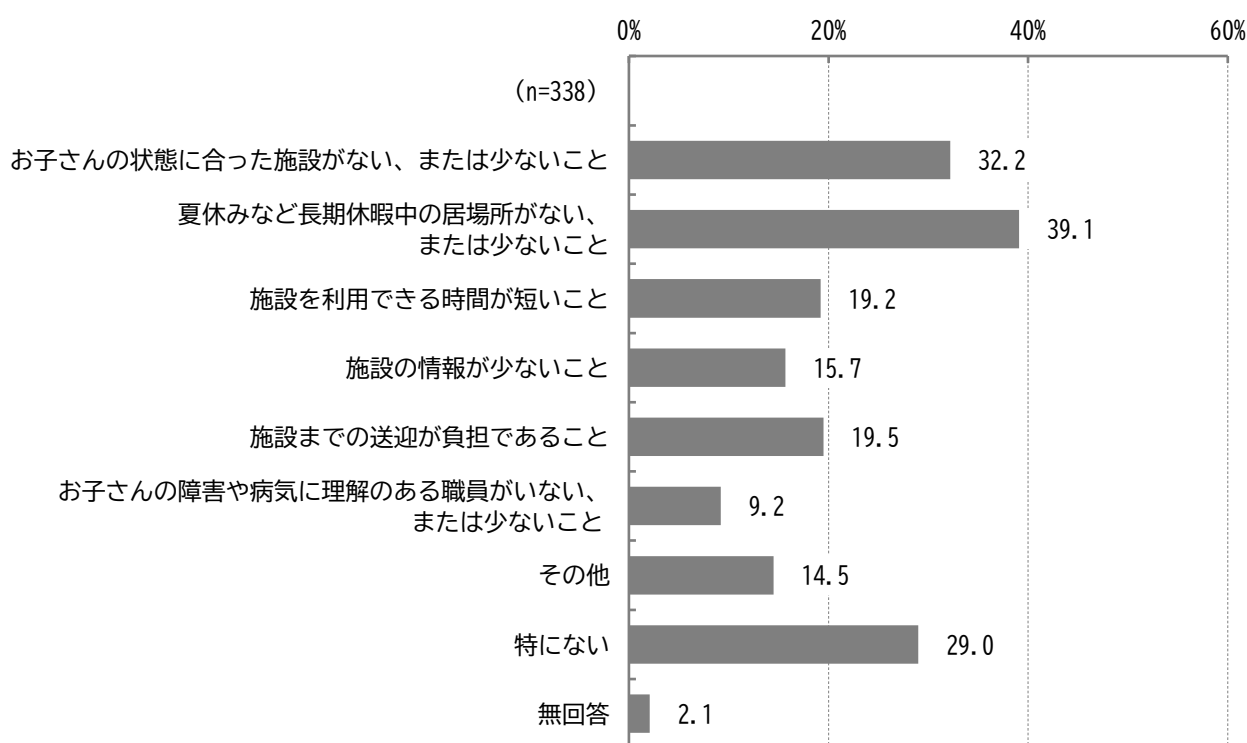
区分	回答者数(件)	学童クラブ	放課後等デイサービス	児童館	習い事	友人宅	親戚宅	その他	特にない	無回答	
全体	338	26.0	46.2	5.0	28.7	5.0	3.0	10.7	15.4	0.6	
年齢別	0～5歳	3	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-	
	6～11歳	211	40.3	38.9	7.6	36.5	7.1	3.3	10.9	9.0	0.5
	12～14歳	58	3.4	63.8	1.7	27.6	3.4	3.4	8.6	15.5	-
	15～17歳	66	-	56.1	-	6.1	-	1.5	12.1	33.3	1.5
障害種別	視覚障害	19	15.8	47.4	5.3	15.8	-	10.5	5.3	21.1	-
	聴覚障害・平衡機能障害	19	15.8	47.4	-	15.8	-	-	5.3	31.6	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	20.0	60.0	8.0	12.0	-	-	8.0	16.0	4.0
	肢体不自由	79	17.7	64.6	-	8.9	1.3	-	6.3	19.0	1.3
	内部障害	17	5.9	29.4	-	29.4	17.6	-	5.9	29.4	-
	難病	29	24.1	79.3	-	3.4	-	-	10.3	13.8	-
	知的障害	129	21.7	73.6	-	10.1	1.6	2.3	6.2	13.2	-
	重度重複	18	50.0	94.4	-	-	-	-	5.6	-	-
	発達障害	186	30.6	36.0	8.6	40.3	7.0	4.3	14.5	11.8	-
	精神障害	2	-	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	3	-	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-
診断を受けていない	5	40.0	40.0	-	-	-	-	-	40.0	-	
その他	17	35.3	47.1	5.9	11.8	-	5.9	17.6	17.6	5.9	

問 19-2 放課後の居場所について、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「夏休みなど長期休暇中の居場所がない、または少ないこと」が 39.1%と最も多く、次いで「お子さんの状態に合った施設がない、または少ないこと」が 32.2%、「施設までの送迎が負担であること」が 19.5%、「施設を利用できる時間が短いこと」が 19.2%の順となっており、「特にない」は 29.0%となっています。

困っていることを年齢別にみると、いずれも「夏休みなど長期休暇中の居場所がない、または少ないこと」が多くなっています。

困っていることを障害別にみると、難病と重度重複は「夏休みなど長期休暇中の居場所がない、または少ないこと」と「施設を利用できる時間が短いこと」、内部障害は「特にない」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）、診断を受けていないを除く）は「夏休みなど長期休暇中の居場所がない、または少ないこと」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

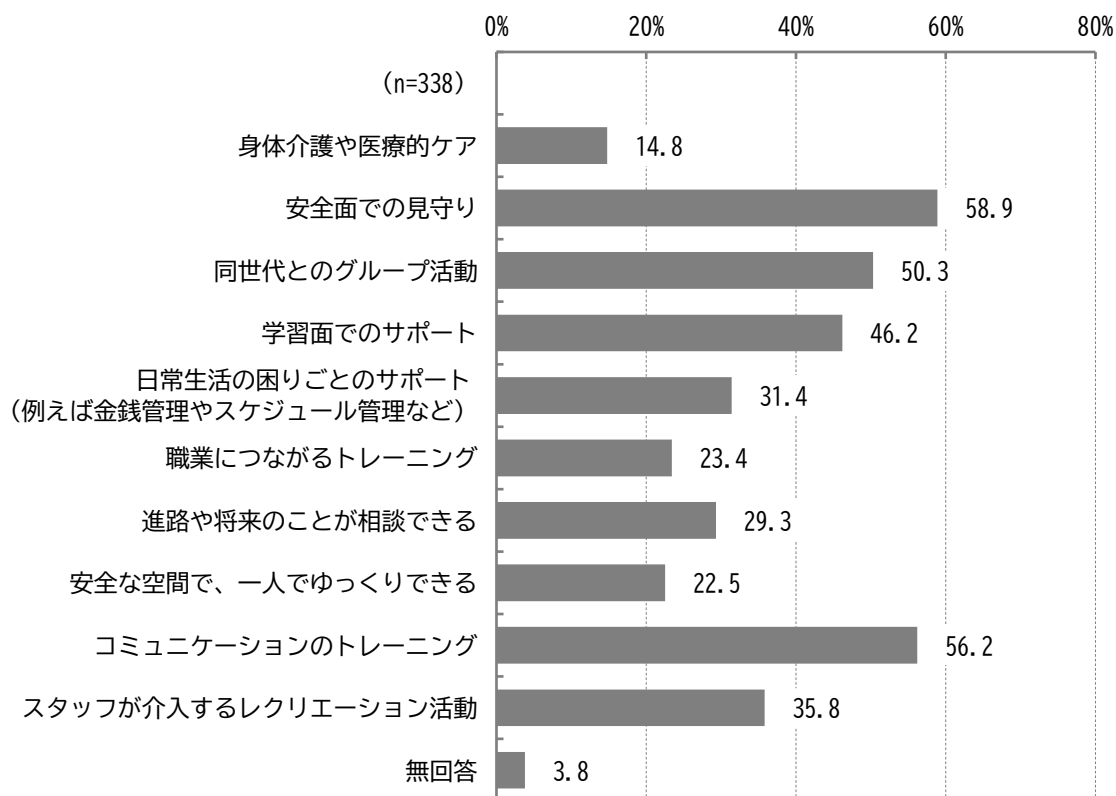
区分	回答者数(件)	お子さんの状態に合った施設がない、または少ないこと	夏休みなど長期休暇中の居場所がない、または少ないこと	施設を利用できる時間が短いこと	施設の情報が少ないこと	施設までの送迎が負担であること	お子さんの障害や病気に理解のある職員がいない、または少ないこと	その他	特になし	無回答	
全体	338	32.2	39.1	19.2	15.7	19.5	9.2	14.5	29.0	2.1	
年齢別	0～5歳	3	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-	
	6～11歳	211	36.0	39.8	17.1	16.1	23.2	10.4	17.1	24.2	1.9
	12～14歳	58	29.3	37.9	31.0	17.2	15.5	1.7	17.2	31.0	-
	15～17歳	66	24.2	37.9	16.7	13.6	12.1	12.1	4.5	40.9	4.5
障害種別	視覚障害	19	21.1	52.6	26.3	15.8	15.8	15.8	26.3	21.1	-
	聴覚障害・平衡機能障害	19	21.1	47.4	31.6	15.8	21.1	15.8	21.1	26.3	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	25	16.0	52.0	32.0	16.0	12.0	4.0	16.0	20.0	4.0
	肢体不自由	79	27.8	44.3	30.4	10.1	19.0	6.3	19.0	22.8	3.8
	内部障害	17	11.8	29.4	11.8	5.9	5.9	-	-	58.8	-
	難病	29	27.6	48.3	48.3	17.2	31.0	13.8	17.2	17.2	-
	知的障害	129	33.3	45.7	33.3	17.1	23.3	8.5	18.6	23.3	0.8
	重度重複	18	38.9	61.1	61.1	27.8	50.0	5.6	33.3	11.1	-
	発達障害	186	36.6	38.2	14.5	18.8	20.4	11.8	14.0	27.4	1.1
	精神障害	2	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	3	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-
	診断を受けていない	5	40.0	60.0	40.0	40.0	-	-	-	40.0	-
その他	17	41.2	41.2	23.5	11.8	17.6	11.8	35.3	23.5	5.9	

問 19-3 放課後の居場所で必要なことは、どんなメニューですか。(〇はいくつでも)

「安全面での見守り」が 58.9%と最も多く、次いで「コミュニケーションのトレーニング」が 56.2%、「同世代とのグループ活動」が 50.3%、「学習面でのサポート」が 46.2%の順となっています。

年齢別にみると、6～14 歳は「安全面での見守り」、15～17 歳は「同世代とのグループ活動」が最も多くなっています。

障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害は「安全面での見守り」と「コミュニケーションのトレーニング」、内部障害は「同世代とのグループ活動」、発達障害は「コミュニケーションのトレーニング」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）、診断を受けていないを除く）は「安全面での見守り」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分	回答者数(件)	身体介護や医療的ケア	安全面での見守り	同世代とのグループ活動	学習面でのサポート	日常生活の困りごとのサポート(例えば金銭管理やスケジュール管理など)	職業につながるトレーニング	進路や将来のことが相談できる	安全な空間で、一人でゆっくりできる	コミュニケーションのトレーニング	スタッフが介入するレクリエーション活動	無回答
全体	338	14.8	58.9	50.3	46.2	31.4	23.4	29.3	22.5	56.2	35.8	3.8
年齢別												
0～5歳	3	-	66.7	66.7	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-
6～11歳	211	12.8	63.5	48.8	55.9	31.8	15.6	22.7	24.6	61.1	37.0	4.3
12～14歳	58	20.7	53.4	51.7	37.9	32.8	36.2	36.2	20.7	51.7	34.5	3.4
15～17歳	66	16.7	48.5	53.0	22.7	30.3	37.9	45.5	16.7	47.0	34.8	3.0
障害種別												
身体障害												
視覚障害	19	31.6	63.2	42.1	42.1	26.3	21.1	26.3	10.5	42.1	42.1	5.3
聴覚障害・平衡機能障害	19	26.3	47.4	42.1	31.6	15.8	10.5	31.6	10.5	36.8	36.8	15.8
音声・言語・そしゃく機能障害	25	52.0	56.0	36.0	28.0	12.0	4.0	8.0	4.0	56.0	36.0	8.0
肢体不自由	79	53.2	64.6	46.8	17.7	11.4	11.4	24.1	5.1	38.0	50.6	5.1
内部障害	17	11.8	47.1	52.9	47.1	17.6	17.6	23.5	23.5	29.4	23.5	-
難病	29	48.3	79.3	55.2	37.9	24.1	20.7	37.9	6.9	55.2	58.6	-
知的障害	129	23.3	68.2	54.3	37.2	30.2	31.8	33.3	14.0	62.8	49.6	1.6
重度重複	18	66.7	88.9	44.4	11.1	16.7	5.6	22.2	5.6	55.6	83.3	-
発達障害	186	3.8	55.9	51.1	58.6	39.8	24.2	30.1	31.2	65.6	31.2	2.7
精神障害	2	-	50.0	100.0	-	50.0	50.0	-	100.0	50.0	50.0	-
高次脳機能障害(失語症を含む)	3	-	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	100.0	33.3	33.3	33.3	-
診断を受けていない	5	-	80.0	60.0	20.0	-	-	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0
その他	17	23.5	58.8	47.1	47.1	29.4	29.4	29.4	5.9	47.1	35.3	11.8

## (4) 福祉サービスなどについて

問 20 次の①～⑫の福祉サービスの利用についてうかがいます。

Aで「利用している」に○をした人 → 表のBとCに教えてください。

Aで「給付決定しているが利用していない」「福祉サービスを申請していない」に○をした人  
→ 表のDとEに教えてください。

### (1) 利用サービスの充足度・満足度

各福祉サービスの利用者に回数と時間は足りているかを、「十分足りている」「ほぼ足りている」「あまり足りていない」「足りていない」の4段階で尋ねました。サービスごとの「十分足りている」と「ほぼ足りている」と回答した人の割合の合計は、下表「充足度」欄のとおりとなっています。

各福祉サービスの利用者にサービスに満足しているか、「とても満足している」「まあまあ満足している」「あまり満足していない」「満足していない」の4段階で尋ねました。サービスごとの「とても満足している」「まあまあ満足している」と回答した人の割合の合計は、下表「満足度」欄のとおりとなっています。

単位：％

区分		児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅介護（ホームヘルプ）	ショートステイ（短期入所）	行動援護	同行援護	相談支援事業所	学齢期発達支援事業	移動支援	訪問入浴	デイリショートステイ
充足度	全体	78.1	64.6	78.2	72.9	73.3	50.0	50.0	79.9	68.6	73.5	60.0	50.0
	身体障害												
	視覚障害	92.9	70.0	80.0	85.8	100.0	-	-	85.7	-	100.0	50.0	-
	聴覚障害・平衡機能障害	62.5	45.5	100.0	66.6	100.0	-	-	63.7	-	50.0	50.0	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	87.6	66.7	50.0	80.0	83.4	100.0	100.0	89.5	75.0	85.7	50.0	50.0
	肢体不自由	85.3	56.3	90.0	77.4	66.6	50.0	50.0	81.0	100.0	82.2	60.0	50.0
	内部障害	80.0	100.0	100.0	100.0	50.0	-	-	75.0	-	-	-	-
	難病	84.2	58.3	100.0	92.3	62.5	50.0	33.3	84.0	100.0	83.3	100.0	33.3
	知的障害	73.4	67.6	78.9	70.6	87.6	50.0	50.0	82.6	50.0	75.6	66.6	33.4
	重度重複	62.5	44.5	66.6	83.4	75.0	50.0	33.3	70.0	100.0	77.0	40.0	25.0
	発達障害	73.3	60.5	77.7	42.9	83.3	-	-	83.0	67.8	61.6	-	50.0
	精神障害	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	診断を受けていない	77.1	-	64.3	-	-	-	-	83.4	-	100.0	-	-
その他	82.8	36.4	80.0	100.0	-	-	100.0	66.7	100.0	80.0	-	-	
満足度	全体	88.4	89.1	87.3	86.5	80.0	50.0	75.0	84.4	84.9	77.3	90.0	50.0
	身体障害												
	視覚障害	85.7	80.0	80.0	100.0	83.3	-	100.0	85.7	-	100.0	100.0	-
	聴覚障害・平衡機能障害	87.5	81.8	100.0	66.6	100.0	-	-	63.7	-	50.0	100.0	100.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	81.3	88.9	50.0	100.0	66.7	100.0	100.0	89.5	75.0	100.0	100.0	100.0
	肢体不自由	94.2	89.1	90.0	90.3	71.4	50.0	75.0	84.5	100.0	85.7	90.0	50.0
	内部障害	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-
	難病	94.8	83.4	100.0	84.6	62.5	50.0	66.7	76.0	100.0	75.0	100.0	66.7
	知的障害	77.5	92.9	79.0	100.0	75.1	50.0	75.0	83.7	50.0	75.6	83.3	50.0
	重度重複	87.5	83.3	100.0	100.0	75.0	50.0	66.7	80.0	100.0	77.0	80.0	50.0
	発達障害	87.2	84.0	100.0	71.4	83.3	-	100.0	87.2	84.5	69.3	-	50.0
	精神障害	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	診断を受けていない	89.1	100.0	78.6	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-
その他	89.7	63.6	80.0	100.0	-	-	100.0	75.0	100.0	80.0	100.0	-	

## (2) 利用サービスの利用希望

各福祉サービスを利用していない人にこれから（2～3年後）の利用希望について、「利用したい」「あなたの状況によっては利用したい」「家族の状況によっては利用したい」「利用するつもりはない」の4段階で尋ねました。サービスごとの「利用したい」と「利用を検討している」（「あなたの状況によっては利用したい」と「家族の状況によっては利用したい」と回答した人の割合の合計）は、下表のとおりとなっています。

単位：%

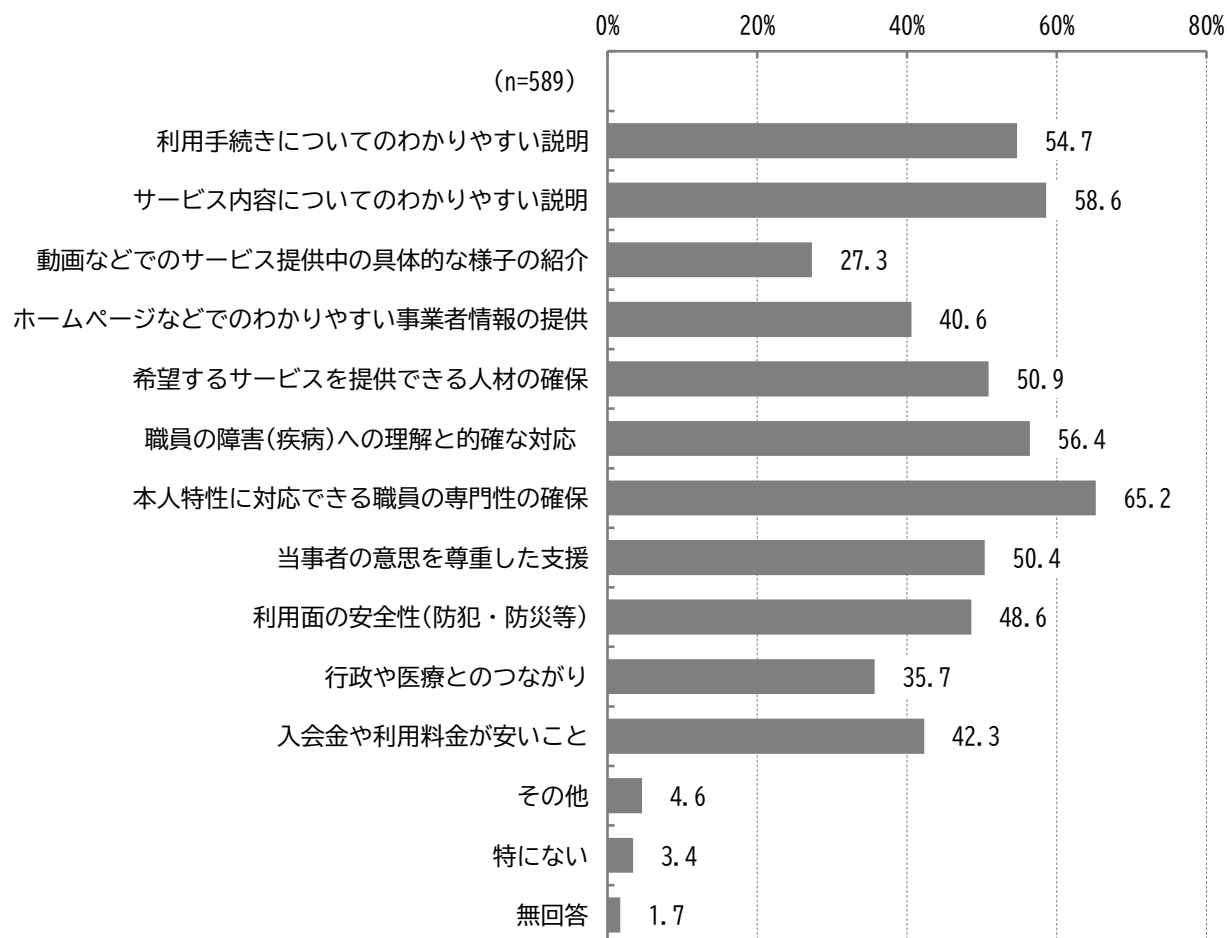
区分	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅介護 (ホームヘルプ)	ショートステイ (短期入所)	行動援護	同行援護	相談支援事業所	学齢期発達支援事業	移動支援	訪問入浴	日帰りショートステイ	
全体	9.0	25.3	4.0	4.6	11.6	4.3	4.6	8.1	12.8	14.2	3.0	7.9	
利用したい	身体障害												
	視覚障害	5.6	40.9	-	7.7	18.5	-	7.1	29.4	14.3	19.2	10.3	12.9
	聴覚障害・平衡機能障害	8.3	37.5	7.1	15.0	18.2	10.5	10.0	16.7	17.6	22.2	10.5	15.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	8.3	46.2	-	19.0	28.0	-	-	27.3	18.2	19.0	15.4	7.7
	肢体不自由	5.4	38.6	-	12.3	26.0	3.6	3.7	13.5	10.8	20.9	9.9	11.8
	内部障害	15.8	6.7	4.8	-	10.5	-	-	5.9	5.0	15.0	-	-
	難病	9.5	37.5	-	6.9	24.2	8.6	9.1	20.0	14.7	29.6	5.6	8.6
	知的障害	11.1	51.7	4.5	6.5	23.8	7.6	7.7	16.1	17.7	30.5	3.1	13.8
	重度重複	7.1	60.0	-	11.8	52.6	5.3	5.6	33.3	15.8	30.0	11.1	27.8
	発達障害	9.7	26.7	4.6	4.3	8.5	5.4	4.3	7.3	22.0	12.8	1.8	8.8
	精神障害	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	66.7	-	-
	診断を受けていない	-	11.1	2.6	-	4.3	2.2	2.2	2.6	2.2	2.3	-	-
	その他	25.0	33.3	10.5	20.8	15.4	8.0	8.7	12.5	12.5	20.0	8.7	8.0
	全体	20.7	35.1	16.8	20.2	28.2	25.6	24.0	35.4	34.9	28.7	14.7	31.8
利用を検討している	身体障害												
	視覚障害	22.3	31.8	40.0	38.5	44.4	34.4	32.1	35.3	39.3	50.0	31.0	45.1
	聴覚障害・平衡機能障害	25.0	18.8	14.3	20.0	36.4	36.9	45.0	41.7	35.2	44.4	5.3	47.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	8.3	46.2	21.7	42.8	48.0	44.0	44.0	54.6	27.3	57.1	42.3	53.9
	肢体不自由	10.7	29.5	15.0	38.4	40.3	36.9	32.9	40.5	24.1	43.3	41.9	45.9
	内部障害	26.3	26.7	14.3	31.6	31.6	35.0	35.0	35.3	30.0	35.0	20.0	35.0
	難病	4.8	50.0	35.5	55.1	51.5	37.2	33.4	33.3	38.2	37.0	47.2	60.0
	知的障害	18.9	19.0	13.5	36.6	42.9	42.4	37.6	43.5	28.2	38.1	25.6	47.7
	重度重複	21.4	20.0	27.8	41.1	31.6	36.9	38.9	33.3	26.3	50.0	27.8	50.0
	発達障害	28.0	38.3	15.2	18.0	25.6	21.7	19.6	35.5	33.9	21.2	5.5	25.0
	精神障害	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	100.0	-	100.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	-	100.0	-	50.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7
	診断を受けていない	-	42.3	25.6	10.9	13.0	17.8	17.8	35.9	58.7	20.4	11.1	17.7
	その他	12.5	28.5	21.0	25.0	38.5	32.0	30.4	31.3	33.3	35.0	17.4	48.0

問 21 サービスを提供する事業者にのぞむことはなんですか。(〇はいくつでも)

「本人特性に対応できる職員の専門性の確保」が 65.2%と最も多く、次いで「サービス内容についてのわかりやすい説明」が 58.6%、「職員の障害（疾病）への理解と的確な対応」が 56.4%、「利用手続きについてのわかりやすい説明」が 54.7%の順となっています。

年齢別にみると、0～11 歳は「本人特性に対応できる職員の専門性の確保」、12～14 歳は「利用面の安全性（防犯・防災等）」、15～17 歳は「職員の障害（疾病）への理解と的確な対応」と「当事者の意思を尊重した支援」が最も多くなっています。

障害別にみると、聴覚障害・平衡機能障害は「サービス内容についてのわかりやすい説明」、音声・言語・そしゃく機能障害は「希望するサービスを提供できる人材の確保」と「職員の障害（疾病）への理解と的確な対応」、内部障害は「利用手続きについてのわかりやすい説明」と「職員の障害（疾病）への理解と的確な対応」と「当事者の意思を尊重した支援」、重度重複は「希望するサービスを提供できる人材の確保」と「職員の障害（疾病）への理解と的確な対応」と「当事者の意思を尊重した支援」、発達障害と診断を受けていないは「本人特性に対応できる職員の専門性の確保」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

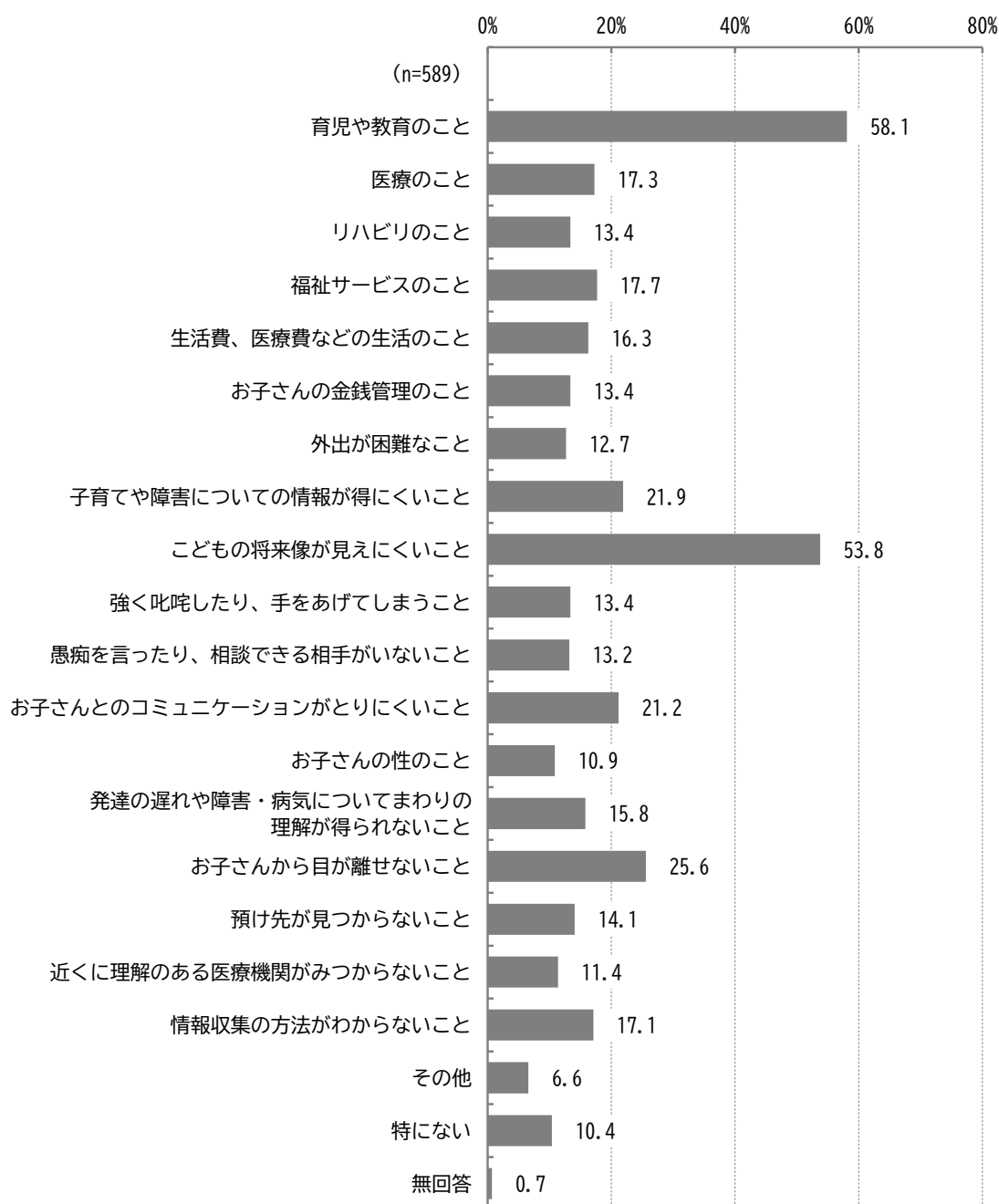
区分		回答者数 (件)	利用手続きについての わかりやすい説明	サービス内容について のわかりやすい説明	動画などでのサービス 提供中の具体的な様子 の紹介	ホームページなどでの わかりやすい事業者情 報の提供	希望するサービスを 提供できる人材の確保	職員(障害(疾病)への 理解)の確な対応	本人特性に対応できる 職員の専門性の確保
全体		589	54.7	58.6	27.3	40.6	50.9	56.4	65.2
年齢別	0～5歳	193	56.0	55.4	25.4	37.3	50.3	48.7	66.3
	6～11歳	262	58.8	65.6	31.3	45.8	50.4	60.3	67.6
	12～14歳	61	44.3	45.9	16.4	41.0	55.7	59.0	59.0
	15～17歳	72	45.8	52.8	27.8	30.6	51.4	61.1	59.7
障害種別	身体障害								
	視覚障害	35	57.1	68.6	40.0	40.0	71.4	74.3	62.9
	聴覚障害・平衡機能障害	29	58.6	65.5	27.6	34.5	51.7	58.6	51.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	55.6	55.6	25.0	38.9	69.4	69.4	66.7
	肢体不自由	110	50.9	53.6	30.0	34.5	57.3	68.2	64.5
	内部障害	26	57.7	50.0	26.9	34.6	42.3	57.7	46.2
	難病	49	63.3	63.3	28.6	40.8	51.0	71.4	69.4
	知的障害	171	61.4	65.5	38.0	49.7	64.3	72.5	65.5
	重度重複	24	45.8	58.3	37.5	45.8	83.3	83.3	75.0
	発達障害	270	55.9	61.5	27.4	43.0	50.4	55.2	70.0
	精神障害	4	-	-	25.0	25.0	75.0	50.0	75.0
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	75.0	75.0	-	25.0	25.0	50.0	25.0
	診断を受けていない	85	50.6	56.5	23.5	36.5	50.6	42.4	68.2
その他	47	51.1	55.3	23.4	34.0	48.9	53.2	53.2	
区分		当事者の意思を尊重 した支援	利用面の安全性 (防犯・防災等)	行政や医療との つながり	入会金や利用料金が 安いこと	その他	特 に な い	無 回 答	
全体		50.4	48.6	35.7	42.3	4.6	3.4	1.7	
年齢別	0～5歳	45.6	39.4	35.2	41.5	4.7	3.6	0.5	
	6～11歳	52.3	51.9	37.8	46.2	3.8	1.5	1.5	
	12～14歳	45.9	60.7	39.3	37.7	9.8	4.9	1.6	
	15～17歳	61.1	51.4	26.4	34.7	2.8	8.3	4.2	
障害種別	身体障害								
	視覚障害	65.7	60.0	42.9	57.1	11.4	2.9	-	
	聴覚障害・平衡機能障害	48.3	48.3	31.0	48.3	6.9	10.3	-	
	音声・言語・そしゃく機能障害	63.9	66.7	38.9	41.7	11.1	-	-	
	肢体不自由	55.5	59.1	41.8	35.5	8.2	2.7	1.8	
	内部障害	57.7	42.3	38.5	42.3	3.8	7.7	7.7	
	難病	59.2	51.0	34.7	42.9	16.3	2.0	2.0	
	知的障害	58.5	66.7	39.8	41.5	7.0	2.3	0.6	
	重度重複	83.3	79.2	54.2	54.2	8.3	-	-	
	発達障害	50.0	46.7	37.0	50.7	5.2	1.1	1.1	
	精神障害	25.0	50.0	25.0	50.0	-	-	-	
	高次脳機能障害(失語症を含む)	50.0	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0	
	診断を受けていない	44.7	36.5	29.4	35.3	1.2	2.4	2.4	
その他	51.1	48.9	40.4	31.9	8.5	8.5	-		

問 22 お子さんのことで現在困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「育児や教育のこと」が 58.1%と最も多く、次いで「こどもの将来像が見えにくいこと」が 53.8%、「お子さんから目を離せないこと」が 25.6%、「子育てや障害についての情報が得にくいこと」が 21.9%の順となっています。

困っていることを年齢別にみると、0～11歳は「育児や教育のこと」、12～17歳は「こどもの将来像が見えにくいこと」が多くなっています。

困っていることを障害別にみると、重度重複は「お子さんから目が離せないこと」、発達障害と診断を受けていないは、「育児や教育のこと」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「こどもの将来像が見えにくいこと」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

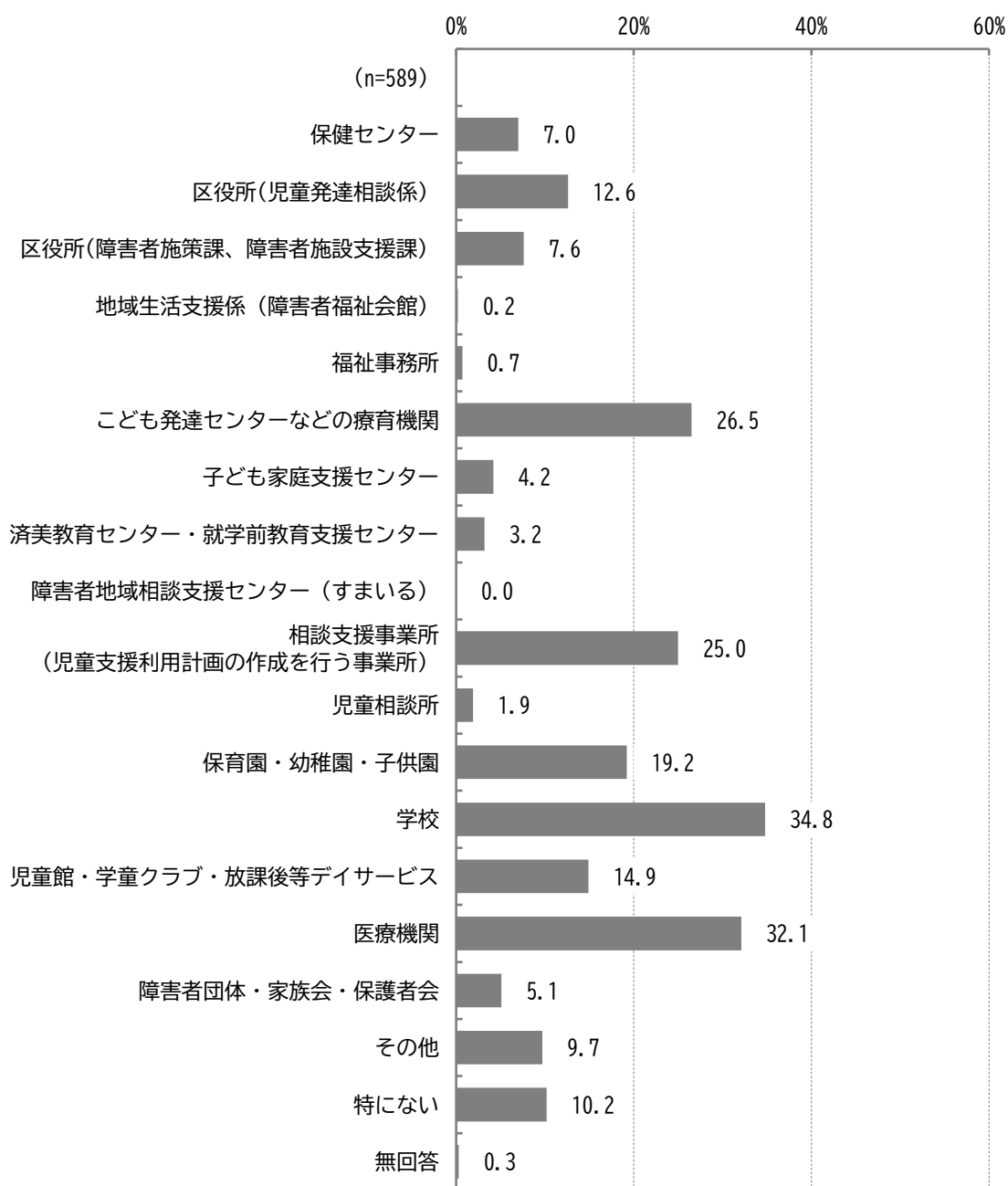
区分		回答者数 (件)	育児や教育のこと	医療のこと	リハビリのこと	福祉サービスのこと	生活費、医療費などの生活のこと	お子さんの金銭管理のこと	外出が困難なこと	子育てや障害についての情報が得にくいこと	子どもの将来像が見えにくいこと	強く叱咤したり、手をあげてしまうこと	
全体		589	58.1	17.3	13.4	17.7	16.3	13.4	12.7	21.9	53.8	13.4	
年齢別	0～5歳	193	65.3	18.7	10.4	12.4	14.0	3.1	9.3	18.1	45.1	11.9	
	6～11歳	262	66.8	14.1	14.1	16.4	15.6	12.6	13.0	27.1	58.8	19.1	
	12～14歳	61	39.3	21.3	16.4	23.0	18.0	27.9	14.8	21.3	59.0	4.9	
	15～17歳	72	23.6	22.2	16.7	31.9	23.6	31.9	19.4	13.9	55.6	4.2	
障害種別	身体障害												
	視覚障害	35	57.1	42.9	45.7	37.1	40.0	14.3	40.0	31.4	71.4	5.7	
	聴覚障害・平衡機能障害	29	48.3	31.0	27.6	31.0	31.0	17.2	20.7	31.0	58.6	17.2	
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	44.4	38.9	33.3	30.6	30.6	8.3	33.3	22.2	61.1	5.6	
	肢体不自由	110	42.7	32.7	51.8	43.6	27.3	10.9	33.6	26.4	65.5	8.2	
	内部障害	26	42.3	38.5	26.9	23.1	34.6	34.6	7.7	19.2	53.8	11.5	
	難病	49	42.9	42.9	30.6	40.8	32.7	12.2	30.6	30.6	67.3	2.0	
	知的障害	171	51.5	27.5	22.8	34.5	22.8	20.5	24.0	26.3	69.6	12.3	
	重度重複	24	41.7	37.5	58.3	70.8	45.8	8.3	66.7	41.7	79.2	12.5	
	発達障害	270	67.0	14.1	4.8	13.7	16.7	17.8	11.1	25.2	55.9	17.0	
	精神障害	4	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	-	25.0	25.0	
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	75.0	50.0	75.0	75.0	50.0	25.0	-	50.0	100.0	-	
診断を受けていない	85	68.2	10.6	1.2	7.1	8.2	-	4.7	15.3	42.4	14.1		
その他	47	63.8	23.4	29.8	21.3	27.7	14.9	17.0	23.4	51.1	17.0		
区分			愚痴を言ったり、相談できる相手がないこと	お子さんとのコミュニケーションがとりにくいこと	お子さんの性のこと	発達の遅れや障害・病気についての理解が得られないこと	お子さんから目が離せないこと	預け先が見つからないこと	近くに理解のある医療機関がみつからないこと	情報収集の方法がわからないこと	その他	特にない	無回答
全体		13.2	21.2	10.9	15.8	25.6	14.1	11.4	17.1	6.6	10.4	0.7	
年齢別	0～5歳	10.9	24.4	3.1	13.5	32.1	11.9	8.3	12.4	5.2	13.0	-	
	6～11歳	14.5	21.8	10.3	17.9	24.4	14.9	9.9	20.2	6.9	8.0	0.8	
	12～14歳	14.8	13.1	23.0	16.4	18.0	18.0	18.0	14.8	8.2	9.8	-	
	15～17歳	13.9	18.1	23.6	13.9	19.4	13.9	19.4	20.8	8.3	12.5	1.4	
障害種別	身体障害												
	視覚障害	25.7	37.1	8.6	25.7	62.9	34.3	22.9	31.4	17.1	2.9	-	
	聴覚障害・平衡機能障害	17.2	20.7	3.4	13.8	31.0	27.6	24.1	20.7	10.3	17.2	-	
	音声・言語・そしゃく機能障害	16.7	27.8	8.3	8.3	36.1	30.6	13.9	16.7	13.9	5.6	-	
	肢体不自由	8.2	16.4	9.1	10.0	41.8	25.5	10.9	13.6	10.0	3.6	0.9	
	内部障害	7.7	7.7	19.2	26.9	15.4	7.7	7.7	3.8	7.7	11.5	-	
	難病	14.3	18.4	16.3	16.3	49.0	28.6	16.3	14.3	6.1	8.2	-	
	知的障害	17.0	29.8	24.6	17.0	43.3	25.7	14.6	23.4	10.5	4.7	0.6	
	重度重複	12.5	33.3	8.3	25.0	83.3	50.0	25.0	25.0	16.7	-	-	
	発達障害	17.8	25.2	13.0	21.1	21.5	15.2	13.0	20.7	6.7	9.3	0.4	
	精神障害	50.0	50.0	-	50.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	
	高次脳機能障害（失語症を含む）	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	
診断を受けていない	14.1	22.4	2.4	12.9	18.8	4.7	11.8	14.1	5.9	12.9	-		
その他	14.9	19.1	8.5	10.6	27.7	21.3	8.5	12.8	4.3	10.6	-		

問 23 現在、困ったときの身内以外の相談先はどこですか。(〇はいくつでも)

「学校」が34.8%と最も多く、次いで「医療機関」が32.1%、「こども発達センターなどの療育機関」が26.5%、「相談支援事業所（児童支援利用計画の作成を行う事業所）」が25.0%の順となっています。

年齢別にみると、0～5歳は「保育園・幼稚園・子供園」と「こども発達センターなどの療育機関」、それ以外は「学校」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と肢体不自由、内部障害、難病は「医療機関」、聴覚障害・平衡機能障害と知的障害、発達障害は「学校」、音声・言語・そしゃく機能障害と重度重複は「相談支援事業所（児童支援利用計画の作成を行う事業所）」、診断を受けていないは「保育園・幼稚園・子供園」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

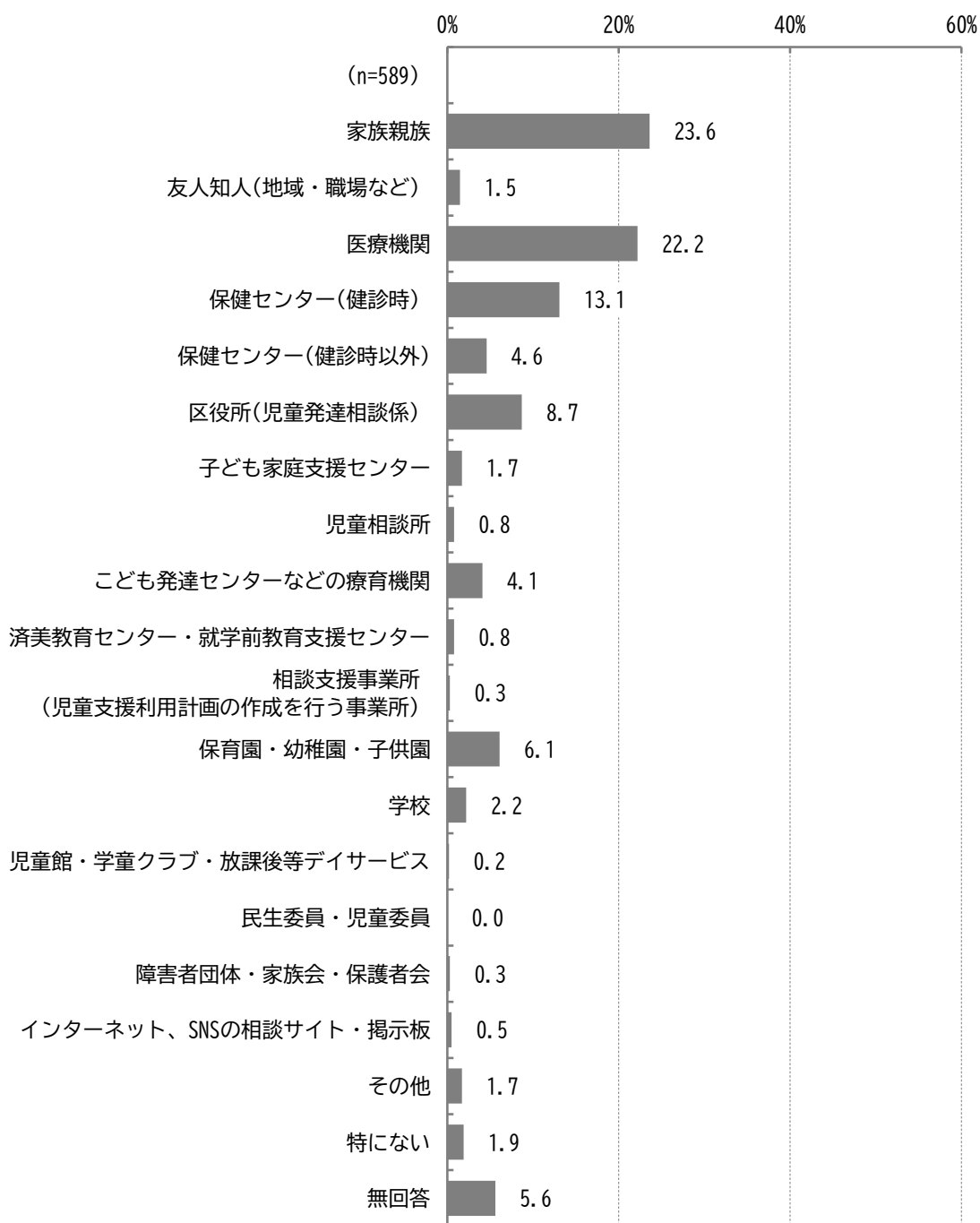
区分		回答者数 (件)	保健センター	区役所(児童発達相談係)	区役所(障害者福祉策課、 障害者施設支援課)	地域生活支援係 (障害者福祉会館)	福祉事務所	子ども発達センターなどの 療育機関	子ども家庭支援センター	済美教育センター・ 就学前教育支援センター	障害者地域相談支援センター (すまいる)
全体		589	7.0	12.6	7.6	0.2	0.7	26.5	4.2	3.2	0.0
年齢別	0～5歳	193	15.0	16.6	6.2	0.5	1.0	46.6	3.1	1.0	-
	6～11歳	262	3.4	13.7	7.3	-	0.4	23.7	5.7	4.2	-
	12～14歳	61	1.6	6.6	9.8	-	1.6	3.3	4.9	9.8	-
	15～17歳	72	2.8	2.8	11.1	-	-	2.8	1.4	-	-
障害種別	身体障害										
	視覚障害	35	5.7	5.7	22.9	-	5.7	31.4	-	-	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	3.4	-	17.2	-	-	27.6	-	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	2.8	13.9	16.7	-	-	27.8	-	-	-
	肢体不自由	110	5.5	5.5	21.8	-	2.7	20.0	0.9	0.9	-
	内部障害	26	11.5	7.7	7.7	-	-	3.8	-	-	-
	難病	49	12.2	10.2	22.4	2.0	2.0	20.4	2.0	2.0	-
	知的障害	171	3.5	5.3	15.2	-	0.6	19.9	2.3	1.2	-
	重度重複	24	-	4.2	20.8	-	4.2	25.0	4.2	-	-
	発達障害	270	5.6	16.3	4.4	-	0.4	25.2	6.3	6.3	-
	精神障害	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
診断を受けていない	85	11.8	17.6	-	-	1.2	45.9	3.5	-	-	
その他	47	12.8	6.4	8.5	-	2.1	29.8	4.3	-	-	
区分											
		相談支援事業所(児童支援利 用計画の作成を行う事業所)	児童相談所	保育園・幼稚園・子供園	学校	児童館・学童クラブ・ 放課後等デイサービス	医療機関	障害者団体・家族会・保護者 会	その他	特にない	無回答
全体		25.0	1.9	19.2	34.8	14.9	32.1	5.1	9.7	10.2	0.3
年齢別	0～5歳	22.3	1.6	46.6	1.0	2.6	27.5	3.6	3.1	11.9	-
	6～11歳	22.5	1.5	8.8	50.4	21.8	32.1	5.0	13.0	7.3	0.4
	12～14歳	29.5	3.3	-	52.5	24.6	42.6	8.2	14.8	14.8	-
	15～17歳	37.5	2.8	-	54.2	15.3	36.1	6.9	11.1	12.5	-
障害種別	身体障害										
	視覚障害	25.7	-	20.0	31.4	8.6	45.7	14.3	11.4	11.4	-
	聴覚障害・平衡機能障害	17.2	-	10.3	41.4	3.4	34.5	10.3	13.8	17.2	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	44.4	-	8.3	22.2	16.7	30.6	11.1	2.8	22.2	-
	肢体不自由	33.6	0.9	9.1	33.6	10.9	40.0	13.6	10.9	14.5	0.9
	内部障害	11.5	3.8	11.5	30.8	7.7	46.2	23.1	15.4	23.1	-
	難病	30.6	-	16.3	34.7	20.4	51.0	16.3	8.2	12.2	-
	知的障害	36.3	2.9	9.4	48.5	22.8	32.2	9.9	8.8	11.1	-
	重度重複	41.7	-	8.3	33.3	20.8	33.3	25.0	4.2	8.3	-
	発達障害	21.5	2.2	13.3	43.0	20.4	34.8	0.7	13.0	7.4	-
	精神障害	25.0	-	-	25.0	25.0	50.0	-	25.0	50.0	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	-	-	25.0	50.0	-	75.0	25.0	25.0	-	-
診断を受けていない	23.5	2.4	49.4	1.2	1.2	10.6	1.2	1.2	12.9	-	
その他	25.5	-	21.3	25.5	19.1	34.0	10.6	10.6	12.8	-	

問 24 お子さんに何らかの症状や発達上の不安があるとわかったとき、最初に相談したところはどこですか。(〇は1つ)

「家族親族」が23.6%と最も多く、次いで「医療機関」が22.2%、「保健センター(検診時)」が13.1%、「区役所(児童発達相談係)」が8.7%の順となっています。

年齢別にみると、0～11歳は「家族親族」、12～17歳は「医療機関」が最も多くなっています。

障害別にみると、発達障害と診断を受けていないは「家族親族」、それ以外(精神障害、高次脳機能障害(失語症を含む))を除く)は「医療機関」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

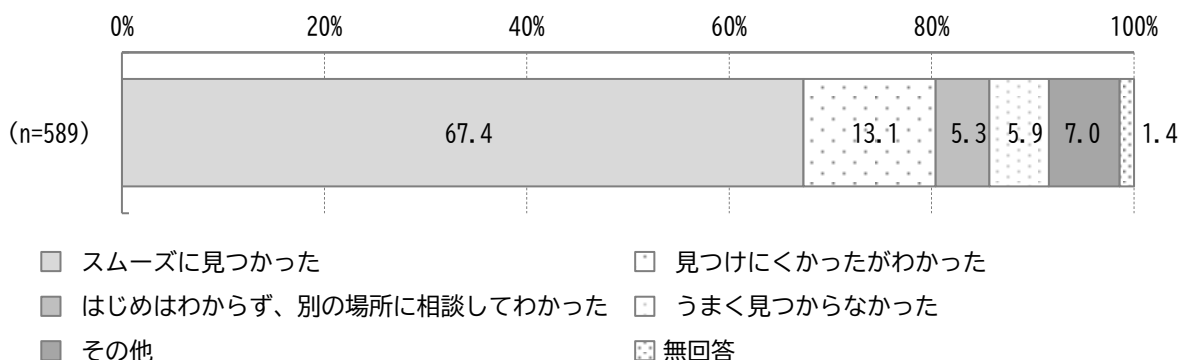
区分		回答者数 (件)	家族親族	友人知人(地域・職場など)	医療機関	保健センター(健診時)	保健センター(健診時以外)	区役所(児童発達相談係)	子ども家庭支援センター	児童相談所	こども発達センターなどの療育機関	済美教育センター・就学前教育支援センター
全体		589	23.6	1.5	22.2	13.1	4.6	8.7	1.7	0.8	4.1	0.8
年齢別	0～5歳	193	25.9	1.6	18.1	15.5	5.7	9.8	1.6	1.6	1.0	-
	6～11歳	262	24.8	1.5	18.7	12.2	3.8	11.5	1.5	0.4	4.6	0.8
	12～14歳	61	18.0	1.6	26.2	13.1	6.6	3.3	4.9	1.6	4.9	-
	15～17歳	72	18.1	1.4	43.1	9.7	2.8	-	-	-	9.7	4.2
障害種別	視覚障害	35	22.9	2.9	45.7	5.7	2.9	2.9	-	-	2.9	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	17.2	-	44.8	10.3	6.9	6.9	-	-	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	25.0	-	38.9	5.6	5.6	8.3	-	-	2.8	-
	肢体不自由	110	25.5	1.8	49.1	1.8	1.8	2.7	-	-	3.6	-
	内部障害	26	19.2	3.8	38.5	-	7.7	7.7	-	-	3.8	-
	難病	49	26.5	-	46.9	4.1	-	6.1	-	2.0	4.1	-
	知的障害	171	21.1	2.3	35.1	9.9	3.5	4.1	1.2	-	7.6	1.8
	重度重複	24	20.8	-	62.5	4.2	4.2	-	-	-	-	-
	発達障害	270	24.1	1.1	11.5	17.4	5.2	9.3	2.6	1.1	4.4	1.1
	精神障害	4	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	50.0	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	診断を受けていない	85	28.2	1.2	5.9	24.7	4.7	16.5	3.5	1.2	-	-
	その他	47	17.0	2.1	42.6	6.4	6.4	2.1	-	-	2.1	-
区分		相談支援事業所(児童支援利 用計画の作成を行う事業所)	保育園・幼稚園・子供園	学校	児童館・学童クラブ・放課後 等デイサービス	民生委員・児童委員	障害者団体・家族会・保護者 会	インターネット、SNSの相 談サイト・掲示板	その他	特になし	無回答	
全体		0.3	6.1	2.2	0.2	0.0	0.3	0.5	1.7	1.9	5.6	
年齢別	0～5歳	0.5	7.8	-	-	-	0.5	0.5	0.5	2.6	6.7	
	6～11歳	0.4	7.3	4.2	0.4	-	-	0.4	2.3	1.1	4.2	
	12～14歳	-	3.3	-	-	-	1.6	-	4.9	3.3	6.6	
	15～17歳	-	-	2.8	-	-	-	1.4	-	1.4	5.6	
障害種別	視覚障害	-	2.9	-	-	-	-	-	2.9	2.9	5.7	
	聴覚障害・平衡機能障害	-	3.4	-	-	-	-	-	3.4	6.9	-	
	音声・言語・そしゃく機能障害	-	-	-	-	-	-	-	11.1	2.8	-	
	肢体不自由	-	-	-	-	-	-	-	4.5	3.6	5.5	
	内部障害	-	-	-	-	-	-	-	3.8	7.7	7.7	
	難病	-	-	-	-	-	-	-	4.1	2.0	4.1	
	知的障害	0.6	1.8	2.3	-	-	1.2	0.6	3.5	-	3.5	
	重度重複	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	-	
	発達障害	0.4	8.9	3.7	0.4	-	-	1.1	1.9	-	5.9	
	精神障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	高次脳機能障害(失語症を含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	診断を受けていない	-	8.2	-	-	-	-	-	-	2.4	3.5	
	その他	-	4.3	-	-	-	2.1	-	2.1	6.4	6.4	

問 25 問 24 の最初の相談先は、スムーズにみつかりましたか。(○は1つ)

「スムーズに見つかった」が 67.4%と最も多く、次いで「見つけにくかったがわかった」が 13.1%、「うまく見つからなかった」が 5.9%、「はじめはわからず、別の場所に相談してわかった」が 5.3%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「スムーズに見つかった」が最も多くなっています。

障害種にみると、いずれも（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）「スムーズに見つかった」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

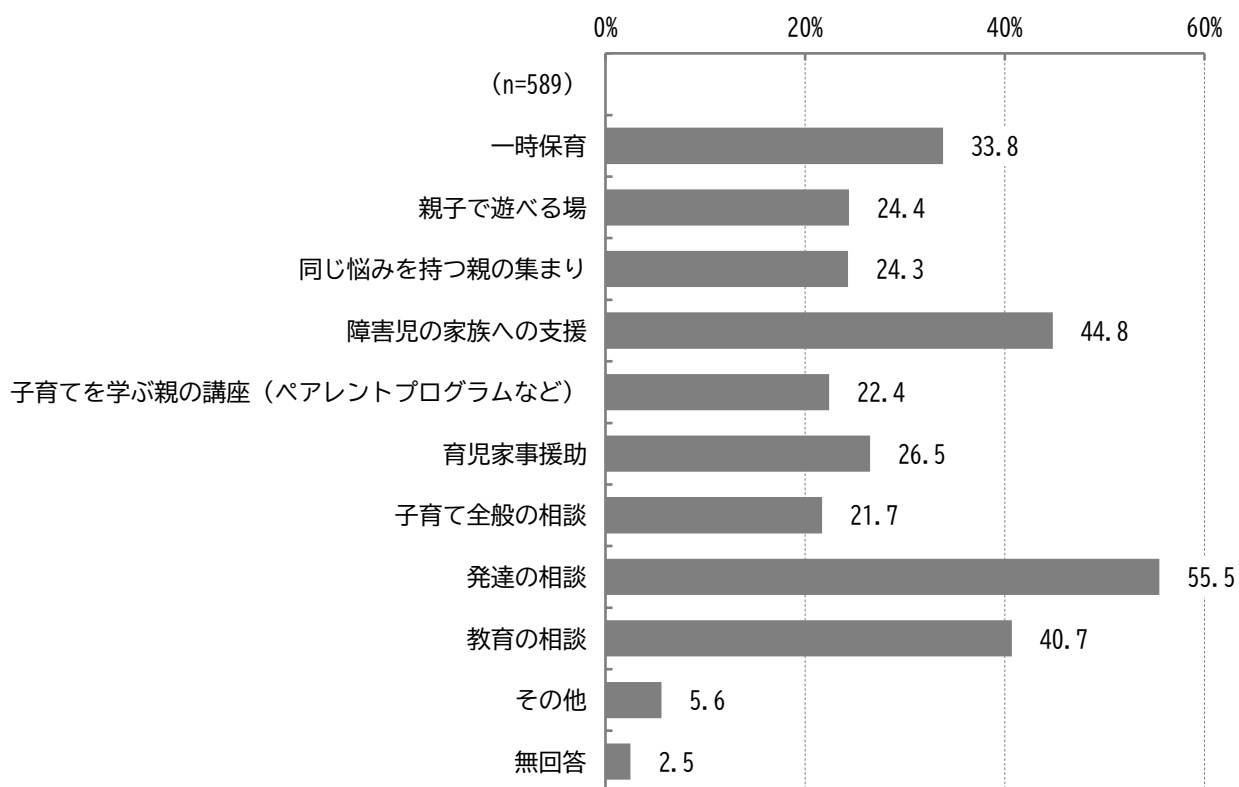
区分	回答者数 (件)	スムーズに見つかった	見つけにくかったがわかった	はじめはわからず、別の場所に相談してわかった	うまく見つからなかった	その他	無回答	
全体	589	67.4	13.1	5.3	5.9	7.0	1.4	
年齢別	0～5歳	193	74.6	7.8	5.7	4.7	6.2	1.0
	6～11歳	262	66.4	15.6	4.6	6.1	6.5	0.8
	12～14歳	61	60.7	14.8	4.9	4.9	11.5	3.3
	15～17歳	72	58.3	16.7	6.9	9.7	6.9	1.4
	障害種別	視覚障害	35	57.1	20.0	5.7	5.7	8.6
聴覚障害・平衡機能障害		29	75.9	13.8	3.4	6.9	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害		36	66.7	11.1	-	2.8	13.9	5.6
肢体不自由		110	64.5	12.7	3.6	5.5	9.1	4.5
内部障害		26	53.8	7.7	15.4	7.7	11.5	3.8
難病		49	61.2	10.2	2.0	8.2	16.3	2.0
知的障害		171	64.9	13.5	5.8	5.8	8.2	1.8
重度重複		24	66.7	20.8	-	-	12.5	-
発達障害		270	63.3	15.6	4.4	8.5	7.8	0.4
精神障害		4	25.0	-	-	50.0	25.0	-
高次脳機能障害（失語症を含む）		4	25.0	50.0	25.0	-	-	-
診断を受けていない		85	81.2	7.1	7.1	1.2	3.5	-
その他		47	70.2	10.6	4.3	6.4	8.5	-

問 26 区の子育て支援について、保護者の方が希望するものはどれですか。(〇はいくつでも)

「発達の相談」が 55.5%と最も多く、次いで「障害児の家族への支援」が 44.8%、「教育の相談」が 40.7%、「一時保育」が 33.8%の順となっています。

年齢別にみると、0～11歳は「発達の相談」、12～14歳は「教育の相談」、15～17歳は「障害児の家族への支援」が最も多くなっています。

障害別にみると、発達障害と診断を受けていないは「発達の相談」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「障害児の家族への支援」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数(件)	一時保育	親子で遊べる場	同じ悩みを持つ親の集まり	障害児の家族への支援	子育てを学ぶ親の講座(ハアレントプログラムなど)	育児家事援助	子育て全般の相談	発達の相談	教育の相談	その他	無回答
全体		589	33.8	24.4	24.3	44.8	22.4	26.5	21.7	55.5	40.7	5.6	2.5
年齢別	0～5歳	193	48.7	39.4	26.4	36.8	17.1	29.0	19.2	58.0	35.8	3.6	3.1
	6～11歳	262	28.6	21.4	24.4	47.3	29.8	28.2	24.4	62.6	45.8	5.3	1.1
	12～14歳	61	23.0	13.1	23.0	44.3	19.7	19.7	16.4	44.3	45.9	9.8	1.6
	15～17歳	72	22.2	5.6	19.4	58.3	12.5	19.4	23.6	33.3	31.9	8.3	5.6
障害種別	視覚障害	35	40.0	28.6	28.6	68.6	8.6	37.1	22.9	28.6	25.7	14.3	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	34.5	17.2	24.1	72.4	10.3	27.6	17.2	20.7	24.1	13.8	3.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	33.3	27.8	27.8	69.4	13.9	33.3	8.3	36.1	25.0	11.1	-
	肢体不自由	110	26.4	19.1	21.8	71.8	7.3	33.6	15.5	21.8	21.8	10.0	2.7
	内部障害	26	30.8	30.8	23.1	53.8	23.1	30.8	34.6	42.3	50.0	11.5	3.8
	難病	49	36.7	24.5	24.5	71.4	14.3	46.9	24.5	36.7	26.5	10.2	2.0
	知的障害	171	35.7	22.8	28.7	67.3	15.2	30.4	18.7	43.3	39.2	8.2	2.3
	重度重複	24	45.8	41.7	33.3	83.3	8.3	58.3	25.0	20.8	8.3	12.5	-
	発達障害	270	30.7	22.2	25.9	41.5	32.2	25.2	23.0	70.7	49.3	4.4	1.5
	精神障害	4	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	-	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	50.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0	25.0	-
	診断を受けていない	85	38.8	34.1	25.9	21.2	24.7	30.6	25.9	70.6	45.9	2.4	4.7
	その他	47	38.3	27.7	25.5	48.9	10.6	31.9	14.9	51.1	36.2	6.4	-

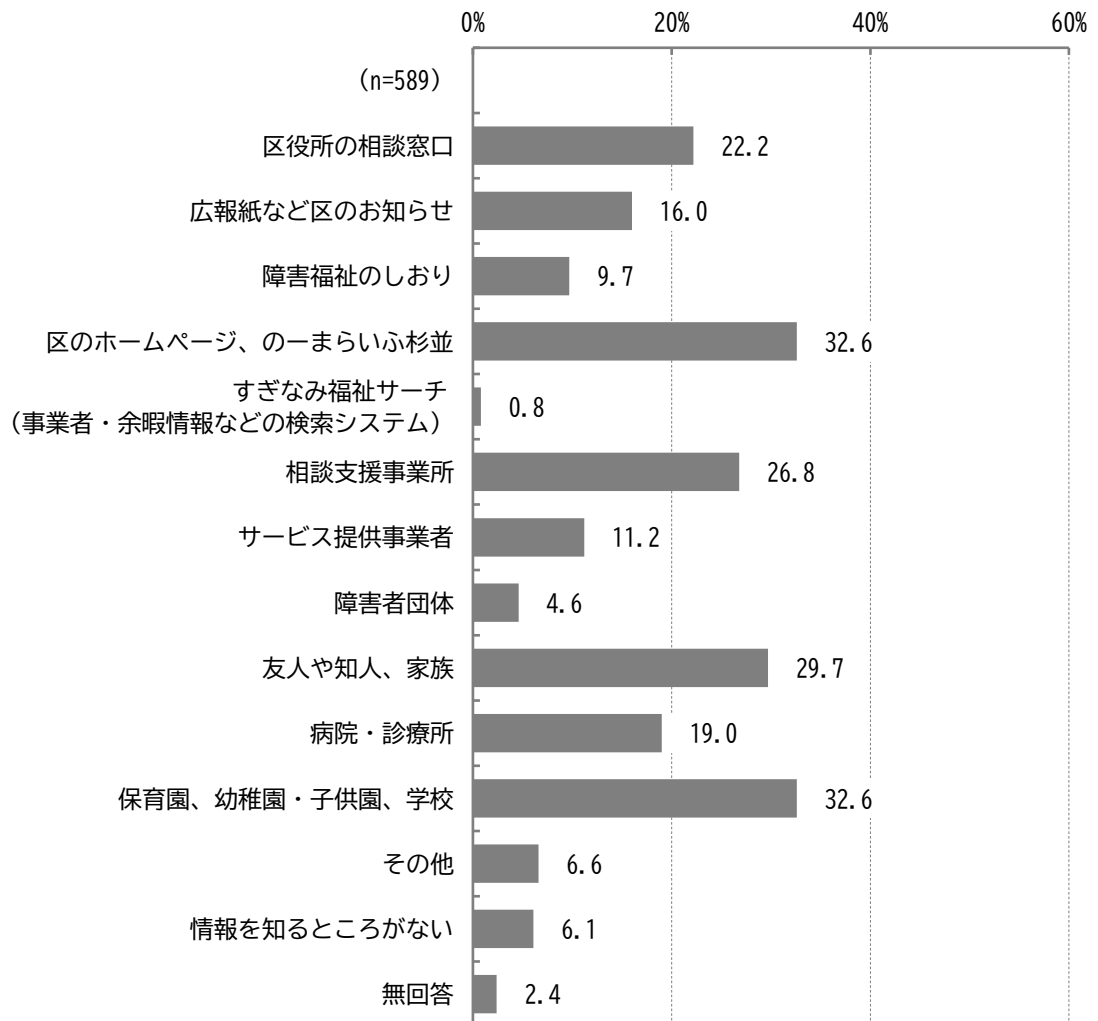
## (5) 情報の入手やコミュニケーションについて

問 28 福祉サービスの情報の入手方法はどれですか。(〇はいくつでも)

「区のホームページ、の一まらいふ杉並」と「保育園、幼稚園・子供園、学校」が32.6%と最も多く、次いで「友人や知人、家族」が29.7%、「相談支援事業所」が26.8%、「区役所の相談窓口」が22.2%の順となっています。

年齢別にみると、0～11歳は「保育園、幼稚園・子供園、学校」、12～14歳は「友人や知人、家族」、15～17歳は「区のホームページ、の一まらいふ杉並」と「相談支援事業所」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と内部障害は「病院・診療所」、聴覚障害・平衡機能障害は「区のホームページ、の一まらいふ杉並」、音声・言語・そしゃく機能障害と肢体不自由、重度重複は「相談支援事業所」、難病と知的障害は「友人や知人、家族」、発達障害と診断を受けていないは「保育園、幼稚園・子供園、学校」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

区分		回答者数 (件)	区役所の相談窓口	広報紙など区のお知らせ	障害福祉のしおり	区のホームページ、のりまらいふ杉並	すぎなみ福祉サーチ(事業者・余暇情報などの検索システム)	相談支援事業所	サービス提供事業者
全体		589	22.2	16.0	9.7	32.6	0.8	26.8	11.2
年齢別	0～5歳	193	24.4	15.5	6.2	29.0	1.0	23.3	8.8
	6～11歳	262	21.4	14.9	8.0	34.7	0.8	26.3	13.0
	12～14歳	61	21.3	18.0	11.5	34.4	-	32.8	11.5
	15～17歳	72	20.8	19.4	23.6	33.3	1.4	33.3	11.1
障害種別	身体障害								
	視覚障害	35	37.1	17.1	20.0	28.6	-	34.3	20.0
	聴覚障害・平衡機能障害	29	20.7	17.2	31.0	41.4	-	20.7	13.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	22.2	16.7	19.4	38.9	-	44.4	16.7
	肢体不自由	110	25.5	15.5	21.8	28.2	0.9	37.3	12.7
	内部障害	26	30.8	26.9	11.5	23.1	-	7.7	3.8
	難病	49	30.6	12.2	20.4	28.6	2.0	36.7	12.2
	知的障害	171	24.0	17.5	19.3	32.2	1.2	36.3	10.5
	重度重複	24	20.8	8.3	37.5	37.5	4.2	45.8	16.7
	発達障害	270	19.3	14.1	5.2	35.9	1.1	25.9	12.2
	精神障害	4	25.0	-	-	-	-	25.0	50.0
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	50.0	25.0	75.0	50.0	-	-	-
	診断を受けていない	85	25.9	10.6	-	31.8	1.2	24.7	9.4
その他	47	17.0	21.3	12.8	25.5	-	17.0	8.5	
区分		障害者団体	友人や知人、家族	病院・診療所	保育園、幼稚園・子供園、学校	その他	情報を知らぬところがない	無回答	
全体		4.6	29.7	19.0	32.6	6.6	6.1	2.4	
年齢別	0～5歳	1.6	19.7	18.7	33.2	7.8	8.8	2.1	
	6～11歳	4.6	34.7	19.8	37.8	6.9	3.8	1.9	
	12～14歳	8.2	39.3	11.5	23.0	9.8	6.6	1.6	
	15～17歳	9.7	30.6	23.6	20.8	-	6.9	4.2	
障害種別	身体障害								
	視覚障害	5.7	40.0	48.6	31.4	5.7	8.6	-	
	聴覚障害・平衡機能障害	3.4	20.7	20.7	34.5	6.9	6.9	-	
	音声・言語・そしゃく機能障害	16.7	38.9	27.8	27.8	2.8	2.8	-	
	肢体不自由	12.7	32.7	29.1	20.0	7.3	6.4	1.8	
	内部障害	15.4	30.8	38.5	11.5	11.5	3.8	-	
	難病	12.2	40.8	30.6	32.7	10.2	8.2	-	
	知的障害	11.1	41.5	11.7	27.5	6.4	7.6	2.9	
	重度重複	12.5	37.5	8.3	20.8	12.5	8.3	4.2	
	発達障害	1.1	31.9	19.3	37.4	7.0	5.9	2.2	
	精神障害	-	25.0	-	-	-	25.0	-	
	高次脳機能障害(失語症を含む)	-	25.0	75.0	-	-	-	-	
	診断を受けていない	-	12.9	7.1	41.2	3.5	7.1	1.2	
その他	4.3	12.8	25.5	27.7	8.5	6.4	6.4		

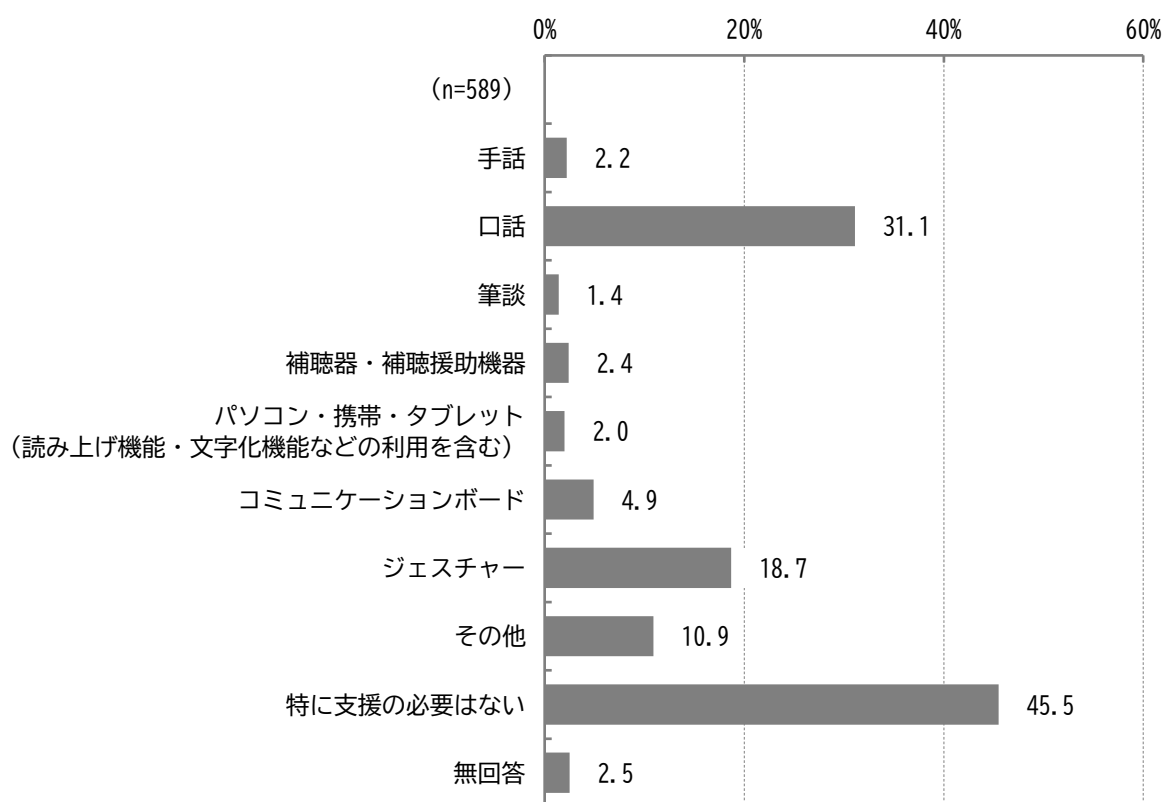
問 29 お子さんは、家族、親族、知人、支援者とコミュニケーションをとるときに、どのような意思疎通手段、支援を利用していますか。(〇はいくつでも)

### ①手段

「口話」が 31.1%と最も多く、次いで「ジェスチャー」が 18.7%、「コミュニケーションボード」が 4.9%、「補聴器・補聴援助機器」が 2.4%の順となっており、「特に支援の必要はない」は 45.5%となっています。

年齢別にみると、いずれも「口話」が多くなっています。

障害別にみると、内部障害と知的障害、発達障害、診断を受けていないは「口話」、音声・言語・そして機能障害と肢体不自由、難病、重度重複は「ジェスチャー」、聴覚障害・平衡機能障害は「補聴器」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

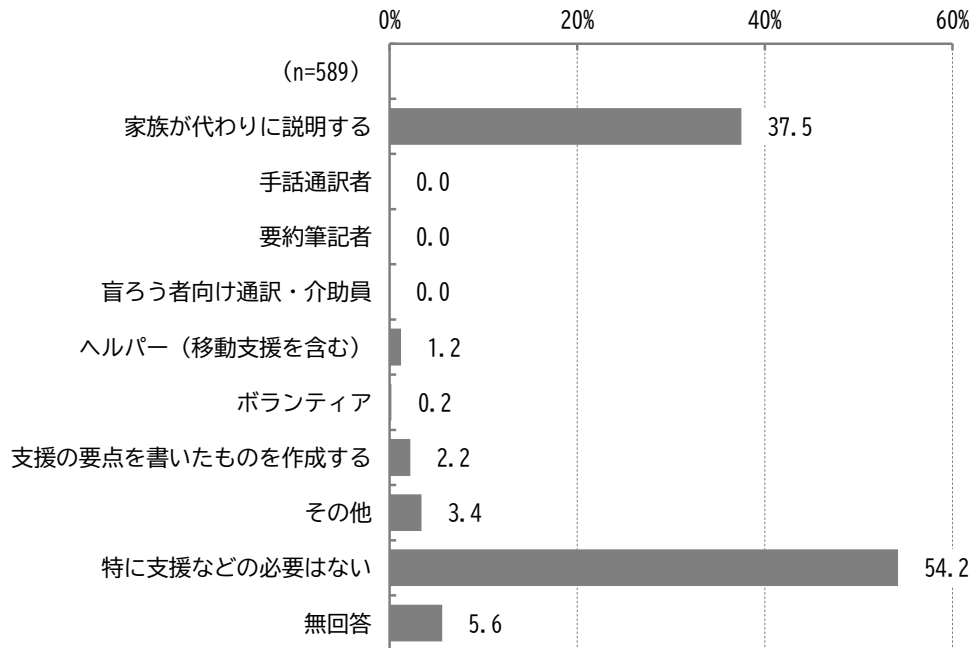
区分		回答者数 (件)	手話	口話	筆談	補聴器・補聴援助機器	パソコン・携帯・タブレット(読み上げ機能・文字化機能などの利用を含む)	コミュニケーションボード	ジェスチャー	その他	特に支援の必要はない	無回答
全体		589	2.2	31.1	1.4	2.4	2.0	4.9	18.7	10.9	45.5	2.5
年齢別	0～5歳	193	2.6	30.1	-	1.6	1.0	3.1	25.4	8.8	45.1	2.6
	6～11歳	262	1.9	33.6	0.8	1.9	1.9	6.5	13.7	8.8	48.1	1.9
	12～14歳	61	3.3	29.5	-	1.6	1.6	4.9	21.3	18.0	41.0	4.9
	15～17歳	72	1.4	26.4	8.3	6.9	5.6	4.2	16.7	18.1	41.7	1.4
障害種別	視覚障害	35	2.9	14.3	-	5.7	2.9	2.9	17.1	42.9	25.7	2.9
	聴覚障害・平衡機能障害	29	27.6	31.0	3.4	44.8	6.9	20.7	24.1	20.7	6.9	6.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	2.8	16.7	5.6	-	5.6	8.3	36.1	41.7	8.3	5.6
	肢体不自由	110	3.6	18.2	-	0.9	-	7.3	31.8	32.7	24.5	4.5
	内部障害	26	-	26.9	-	-	-	-	15.4	7.7	53.8	7.7
	難病	49	6.1	26.5	2.0	-	2.0	6.1	32.7	28.6	26.5	-
	知的障害	171	3.5	38.6	3.5	1.8	4.1	11.1	36.8	21.6	19.9	1.8
	重度重複	24	4.2	16.7	-	-	-	12.5	50.0	58.3	-	-
	発達障害	270	1.1	34.1	1.5	0.7	3.0	5.2	9.6	4.4	53.3	2.6
	精神障害	4	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	50.0	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	75.0	-
	診断を受けていない	85	-	31.8	-	1.2	-	2.4	15.3	1.2	61.2	1.2
	その他	47	6.4	19.1	2.1	2.1	-	8.5	29.8	21.3	42.6	2.1

②支援

「家族が代わりに説明する」が 37.5%と最も多く、次いで「支援の要点を書いたものを作成する」が 2.2%、「ヘルパー（移動支援を含む）」が 1.2%の順となっており、「特に支援などの必要はない」は 54.2%となっています。

年齢別にみると、いずれも「家族が代わりに説明する」が多くなっています。

障害別にみると、いずれも（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）「家族が代わりに説明する」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

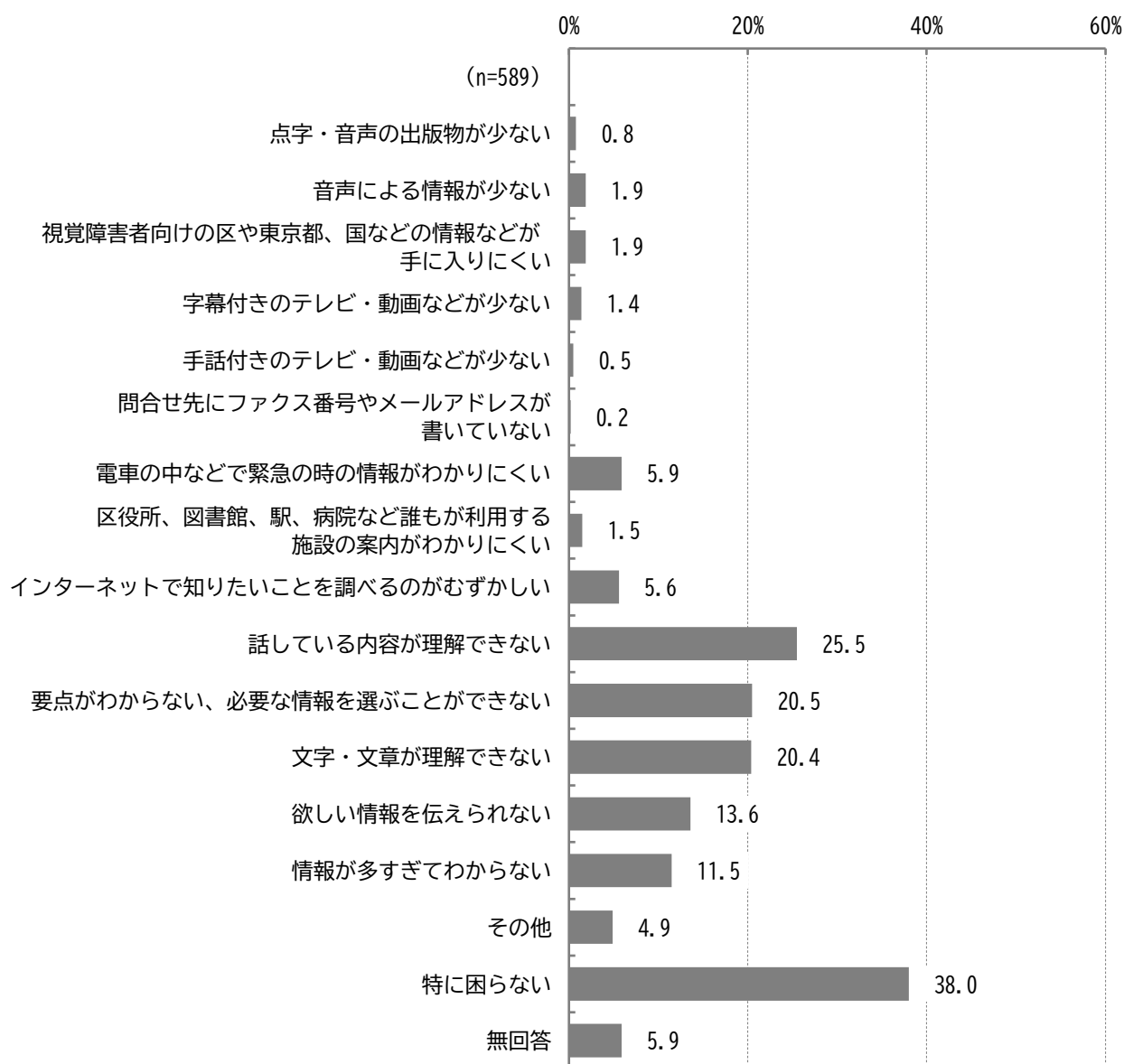
区分	回答者数 (件)	家族が代わりに説明する	手話通訳者	要約筆記者	盲ろう者向け通訳・介助員	ヘルパー（移動支援を含む）	ボランティア	支援の要点を書いたものを作成する	その他	特に支援などの必要はない	無回答
全体	589	37.5	0.0	0.0	0.0	1.2	0.2	2.2	3.4	54.2	5.6
年齢別	0～5歳	193	35.2	-	-	0.5	0.5	1.6	2.1	54.4	7.8
	6～11歳	262	34.4	-	-	1.1	-	3.4	3.4	59.2	3.8
	12～14歳	61	49.2	-	-	1.6	-	-	3.3	42.6	6.6
	15～17歳	72	45.8	-	-	2.8	-	1.4	6.9	45.8	4.2
障害種別	視覚障害	35	51.4	-	-	2.9	-	2.9	8.6	31.4	11.4
	聴覚障害・平衡機能障害	29	65.5	-	-	-	-	3.4	13.8	24.1	3.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	52.8	-	-	2.8	-	-	13.9	27.8	11.1
	肢体不自由	110	55.5	-	-	1.8	0.9	0.9	10.9	25.5	12.7
	内部障害	26	15.4	-	-	-	3.8	-	3.8	69.2	7.7
	難病	49	51.0	-	-	4.1	2.0	2.0	8.2	34.7	6.1
	知的障害	171	66.1	-	-	2.9	-	2.9	9.9	25.1	2.9
	重度重複	24	95.8	-	-	4.2	-	4.2	20.8	-	-
	発達障害	270	30.7	-	-	1.1	-	3.7	1.5	64.8	2.2
	精神障害	4	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	25.0	-	-	-	-	-	-	75.0	-
	診断を受けていない	85	25.9	-	-	-	-	-	2.4	67.1	5.9
	その他	47	29.8	-	-	-	-	-	2.1	6.4	48.9

問 30-1 お子さんがいろいろな情報を知るのに困ることはなんですか。(○は3つまで)

「話している内容が理解できない」が 25.5%と最も多く、次いで「要点がわからない、必要な情報を選ぶことができない」20.5%、「文字・文章が理解できない」が 20.4%、「欲しい情報を伝えられない」が 13.6%の順となっており、「特に困らない」は 38.0%となっています。

困ることを年齢別にみると、0～5歳と12～14歳は「話している内容が理解できない」、6～11歳は「要点がわからない、必要な情報を選ぶことができない」と「文字・文章が理解できない」、15～17歳は「要点がわからない、必要な情報を選ぶことができない」が最も多くなっています。

困ることを障害別にみると、視覚障害と音声・言語・そしゃく機能障害、難病、知的障害、重度重複、診断を受けていないは「話している内容が理解できない」、聴覚障害・平衡機能障害は「電車の中などで緊急の時の情報がわかりにくい」、肢体不自由と難病は「文字・文章が理解できない」、内部障害と発達障害は「要点がわからない、必要な情報を選ぶことができない」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

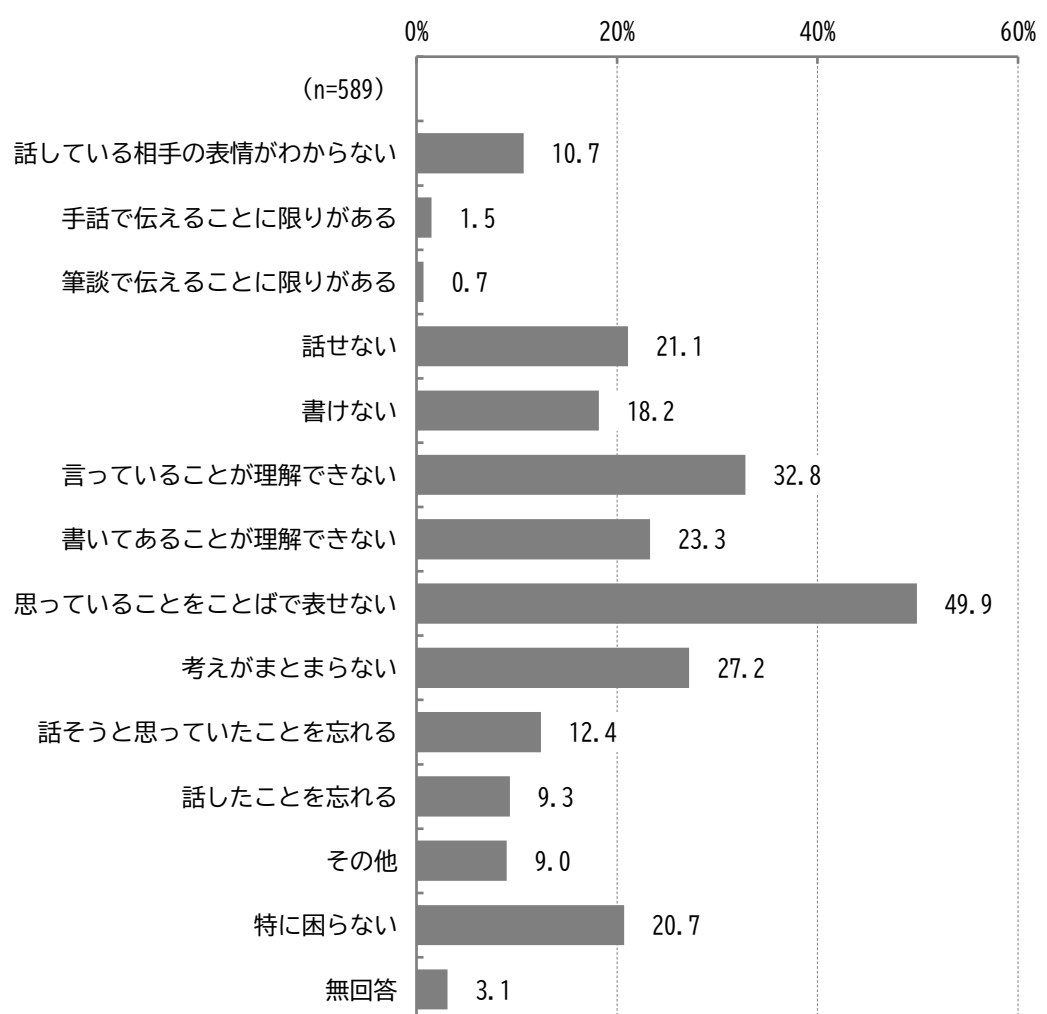
区分		回答者数(件)	点字・音声の出版物が少ない	音声による情報が少ない	視覚障害者向けの区や東京都、国などの情報などが手に入りにくい	字幕付きのテレビ・動画などが少ない	手話付きのテレビ・動画などが少ない	問合せ先にファクス番号やメールアドレスが書いていない	電車の中などで緊急の時の情報がわかりにくい	区役所、図書館、駅、病院など誰もが利用する施設の案内がわかりにくい
全体		589	0.8	1.9	1.9	1.4	0.5	0.2	5.9	1.5
年齢別	0～5歳	193	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	-	2.6	2.6
	6～11歳	262	0.8	2.7	2.3	1.1	0.4	-	5.7	0.8
	12～14歳	61	-	1.6	1.6	1.6	-	-	8.2	1.6
	15～17歳	72	2.8	1.4	4.2	4.2	1.4	1.4	13.9	1.4
障害種別	身体障害									
	視覚障害	35	8.6	5.7	22.9	2.9	2.9	-	17.1	5.7
	聴覚障害・平衡機能障害	29	3.4	-	6.9	13.8	10.3	-	41.4	6.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	2.8	2.8	5.6	-	-	-	-	2.8
	肢体不自由	110	-	1.8	0.9	-	-	0.9	2.7	1.8
	内部障害	26	-	-	3.8	-	-	-	3.8	3.8
	難病	49	2.0	2.0	6.1	-	-	-	2.0	-
	知的障害	171	0.6	2.3	1.8	1.2	0.6	0.6	9.9	0.6
	重度重複	24	-	4.2	-	-	-	-	4.2	-
	発達障害	270	0.7	2.2	0.4	1.5	0.4	-	5.6	0.7
	精神障害	4	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	-	-	25.0	-	-	-	-	-
	診断を受けていない	85	-	-	1.2	-	-	-	-	1.2
その他	47	-	2.1	-	-	-	-	4.3	4.3	
区分		インターネットで知りたいことを調べるのがむずかしい	話している内容が理解できない	要点がわからない、必要な情報を選ぶことができない	文字・文章が理解できない	欲しい情報を伝えられない	情報が多すぎてわからない	その他	特に困らない	無回答
全体		5.6	25.5	20.5	20.4	13.6	11.5	4.9	38.0	5.9
年齢別	0～5歳	2.6	21.8	7.3	15.0	10.4	3.6	3.1	52.3	9.3
	6～11歳	6.5	24.4	24.8	24.8	13.7	17.6	6.1	34.4	4.6
	12～14歳	9.8	37.7	32.8	23.0	18.0	11.5	4.9	21.3	1.6
	15～17歳	6.9	29.2	30.6	16.7	18.1	11.1	5.6	27.8	4.2
障害種別	身体障害									
	視覚障害	8.6	40.0	5.7	20.0	11.4	2.9	11.4	8.6	8.6
	聴覚障害・平衡機能障害	3.4	34.5	10.3	27.6	10.3	3.4	6.9	10.3	6.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	5.6	41.7	13.9	30.6	13.9	-	13.9	19.4	8.3
	肢体不自由	3.6	28.2	12.7	29.1	15.5	10.0	10.0	25.5	11.8
	内部障害	11.5	15.4	30.8	3.8	11.5	15.4	3.8	42.3	11.5
	難病	4.1	32.7	8.2	32.7	18.4	6.1	12.2	28.6	6.1
	知的障害	8.8	50.9	25.1	38.0	19.9	8.8	9.4	12.3	5.3
	重度重複	4.2	54.2	12.5	50.0	20.8	4.2	12.5	8.3	4.2
	発達障害	7.0	25.6	28.5	20.7	13.7	16.7	4.1	36.3	3.3
	精神障害	-	50.0	50.0	-	25.0	50.0	-	-	25.0
	高次脳機能障害(失語症を含む)	-	-	25.0	25.0	25.0	50.0	-	25.0	-
	診断を受けていない	2.4	16.5	10.6	11.8	9.4	4.7	3.5	61.2	4.7
その他	-	21.3	8.5	19.1	10.6	2.1	6.4	48.9	12.8	

問 30-2 お子さんがコミュニケーションをとるときに困ることはなんですか。(○はいくつでも)

「思っていることをことばで表せない」が 49.9%と最も多く、次いで「言っていることが理解できない」が 32.8%、「考えがまとまらない」が 27.2%、「書いてあることが理解できない」が 23.3%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「思っていることをことばで表せない」が最も多くなっています。

障害別にみると、肢体不自由と重度重複は、「話せない」、内部障害は「思っていることをことばで表せない」と「考えがまとまらない」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「思っていることをことばで表せない」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

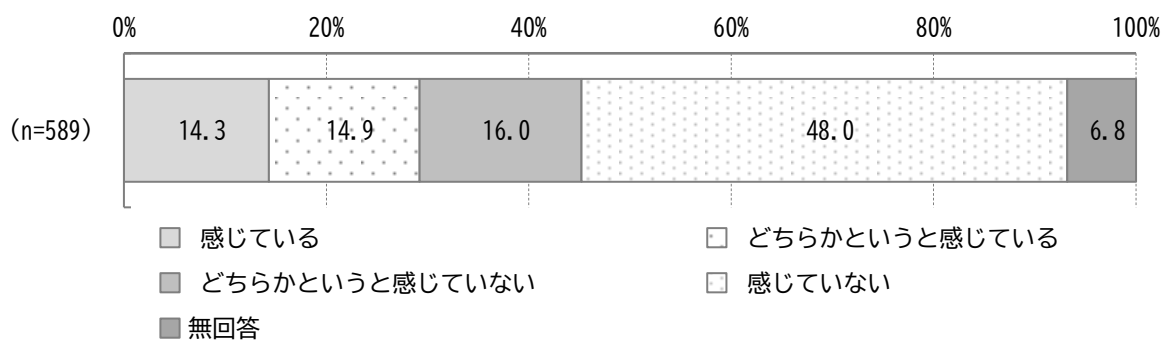
区分		回答者数 (件)	話している相手の 表情がわからない	手話で伝えること に限りがある	筆談で伝えること に限りがある	話せない	書けない	言っていることが 理解できない	書いてあることが 理解できない
全体		589	10.7	1.5	0.7	21.1	18.2	32.8	23.3
年齢別	0～5歳	193	7.3	1.0	-	25.4	14.0	29.0	15.5
	6～11歳	262	13.4	1.5	-	17.9	21.4	30.5	26.3
	12～14歳	61	8.2	3.3	-	23.0	19.7	44.3	27.9
	15～17歳	72	12.5	1.4	5.6	19.4	16.7	41.7	29.2
障害種別	身体障害								
	視覚障害	35	31.4	2.9	2.9	42.9	25.7	40.0	20.0
	聴覚障害・平衡機能障害	29	27.6	24.1	3.4	41.4	37.9	48.3	34.5
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	5.6	2.8	5.6	61.1	41.7	41.7	33.3
	肢体不自由	110	10.0	2.7	-	51.8	43.6	35.5	35.5
	内部障害	26	3.8	-	-	7.7	3.8	19.2	26.9
	難病	49	8.2	6.1	2.0	38.8	36.7	40.8	40.8
	知的障害	171	11.7	2.9	2.3	42.7	36.3	58.5	46.8
	重度重複	24	29.2	4.2	-	87.5	70.8	54.2	66.7
	発達障害	270	14.4	0.7	0.7	12.2	14.4	32.2	21.5
	精神障害	4	25.0	-	-	-	-	50.0	25.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	-	-	-	-	-	-	25.0
	診断を受けていない	85	5.9	-	-	12.9	4.7	30.6	14.1
その他	47	2.1	4.3	-	29.8	19.1	19.1	12.8	
区分			ことばで表せない	考えてまとまらない	話そうと思っ たことを忘れる	話したことを忘れ る	その他	特に困らない	無回答
全体		49.9	27.2	12.4	9.3	9.0	20.7	3.1	
年齢別	0～5歳	42.5	13.0	6.2	3.1	7.3	30.6	4.7	
	6～11歳	54.6	35.1	18.3	14.5	10.3	15.3	1.9	
	12～14歳	54.1	27.9	8.2	4.9	9.8	18.0	1.6	
	15～17歳	50.0	36.1	11.1	11.1	8.3	16.7	2.8	
障害種別	身体障害								
	視覚障害	51.4	11.4	8.6	8.6	14.3	2.9	5.7	
	聴覚障害・平衡機能障害	51.7	6.9	6.9	6.9	13.8	13.8	-	
	音声・言語・そしゃく機能障害	66.7	5.6	2.8	-	13.9	2.8	2.8	
	肢体不自由	45.5	10.9	2.7	1.8	10.0	18.2	5.5	
	内部障害	30.8	30.8	11.5	15.4	15.4	42.3	7.7	
	難病	57.1	16.3	8.2	6.1	10.2	24.5	2.0	
	知的障害	67.3	27.5	7.6	7.6	8.2	6.4	1.2	
	重度重複	79.2	4.2	-	-	8.3	-	-	
	発達障害	55.2	41.5	21.1	15.6	8.9	15.9	1.5	
	精神障害	75.0	75.0	50.0	50.0	-	-	25.0	
	高次脳機能障害（失語症を含む）	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	-	
	診断を受けていない	41.2	17.6	5.9	3.5	8.2	30.6	2.4	
その他	40.4	8.5	-	-	17.0	21.3	10.6		

問 31 お子さんがインターネットやパソコンなどの情報技術・情報機器を使って情報を入手することについて、格差を感じていますか。(〇は1つ)

「感じていない」が48.0%と最も多く、次いで「どちらかというと感じていない」が16.0%、「どちらかというと感じている」が14.9%、「感じている」が14.3%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「感じていない」が最も多くなっています。

障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害は「感じている」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「感じていない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

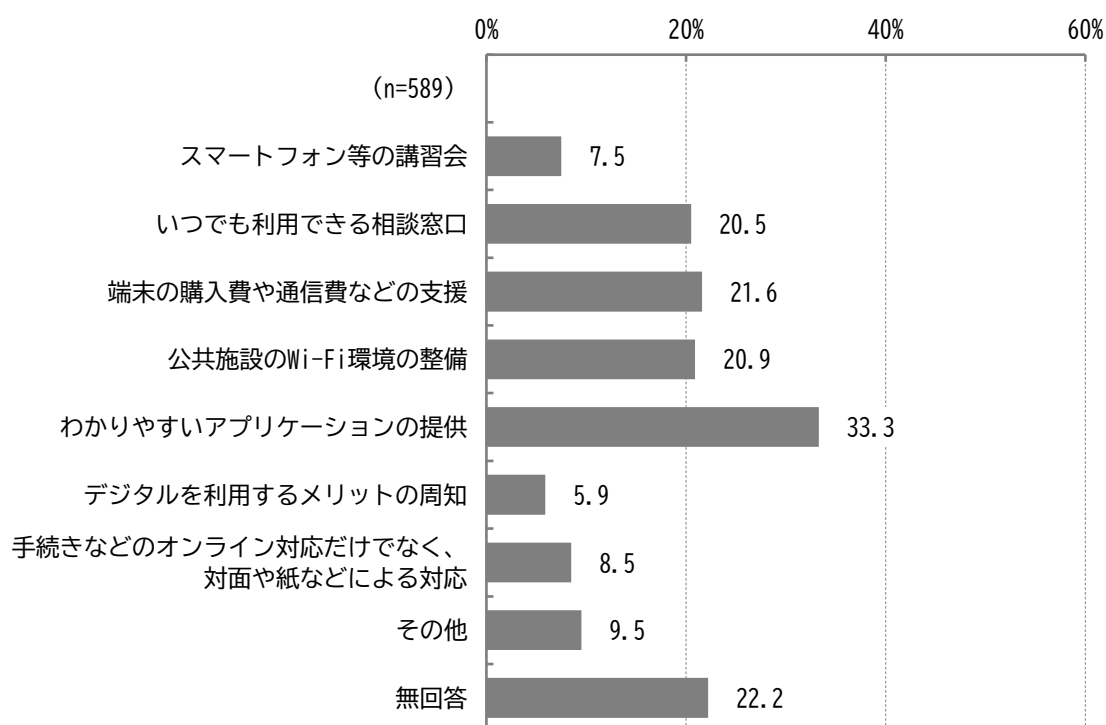
区分		回答者数 (件)	感じている	どちらかというと感じている	どちらかというと感じていない	感じていない	無回答
全体		589	14.3	14.9	16.0	48.0	6.8
年齢別	0～5歳	193	8.3	8.8	11.4	59.1	12.4
	6～11歳	262	16.4	16.0	19.1	45.0	3.4
	12～14歳	61	23.0	18.0	18.0	39.3	1.6
	15～17歳	72	15.3	25.0	15.3	37.5	6.9
	障害種別						
身体障害	視覚障害	35	22.9	20.0	14.3	34.3	8.6
	聴覚障害・平衡機能障害	29	17.2	20.7	3.4	55.2	3.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	30.6	8.3	22.2	27.8	11.1
	肢体不自由	110	24.5	10.9	14.5	38.2	11.8
	内部障害	26	7.7	11.5	23.1	46.2	11.5
難病	知的障害	49	26.5	8.2	6.1	51.0	8.2
	知的障害	171	26.9	23.4	11.7	31.6	6.4
	重度重複	24	12.5	20.8	4.2	58.3	4.2
	発達障害	270	11.1	19.3	19.3	47.4	3.0
	精神障害	4	25.0	50.0	-	-	25.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	-	-	25.0	75.0	-
	診断を受けていない	85	4.7	10.6	15.3	60.0	9.4
その他	47	14.9	2.1	17.0	51.1	14.9	

問 32 お子さんがインターネットやパソコンなどの情報技術・情報機器による情報入手の格差を解消するために、区に期待することはありますか。(〇は3つまで)

「わかりやすいアプリケーションの提供」が 33.3%と最も多く、次いで「端末の購入費や通信費などの支援」が 21.6%、「公共施設の Wi-Fi 環境の整備」が 20.9%、「いつでも利用できる相談窓口」が 20.5%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「わかりやすいアプリケーションの提供」が最も多くなっています。

障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害は「端末の購入費や通信費などの支援」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「わかりやすいアプリケーションの提供」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	スマートフォン等の講習会	いつでも利用できる相談窓口	端末の購入費や通信費などの支援	公共施設の「三」環境の整備	わかりやすいアプリケーションの提供	デジタルを利用するメリットの周知	手続きなどのオンライン対応だけでなく、対面や紙などによる対応	その他	無回答
全体		589	7.5	20.5	21.6	20.9	33.3	5.9	8.5	9.5	22.2
年齢別	0～5歳	193	6.7	20.7	19.2	21.8	26.4	3.6	7.3	6.7	31.1
	6～11歳	262	6.1	21.8	23.3	19.1	36.6	6.9	8.4	10.3	19.5
	12～14歳	61	9.8	14.8	18.0	31.1	39.3	3.3	11.5	9.8	11.5
	15～17歳	72	12.5	20.8	25.0	16.7	34.7	11.1	9.7	13.9	16.7
障害種別	視覚障害	35	5.7	17.1	28.6	28.6	34.3	5.7	-	11.4	28.6
	聴覚障害・平衡機能障害	29	3.4	24.1	24.1	37.9	41.4	-	-	6.9	13.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	11.1	16.7	30.6	16.7	25.0	2.8	2.8	19.4	22.2
	肢体不自由	110	3.6	15.5	23.6	14.5	25.5	3.6	4.5	19.1	30.0
	内部障害	26	15.4	26.9	26.9	30.8	34.6	3.8	19.2	3.8	15.4
	難病	49	4.1	20.4	20.4	14.3	24.5	2.0	4.1	18.4	30.6
	知的障害	171	12.3	22.2	21.6	11.7	42.7	5.8	11.7	12.3	17.5
	重度重複	24	-	12.5	16.7	16.7	33.3	8.3	-	33.3	16.7
	発達障害	270	6.3	24.1	21.9	22.2	35.6	8.1	9.3	8.9	17.4
	精神障害	4	-	25.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	25.0	75.0	50.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-
診断を受けていない	85	8.2	17.6	17.6	22.4	24.7	5.9	9.4	4.7	30.6	
その他	47	4.3	14.9	19.1	17.0	29.8	-	8.5	27.7	19.1	

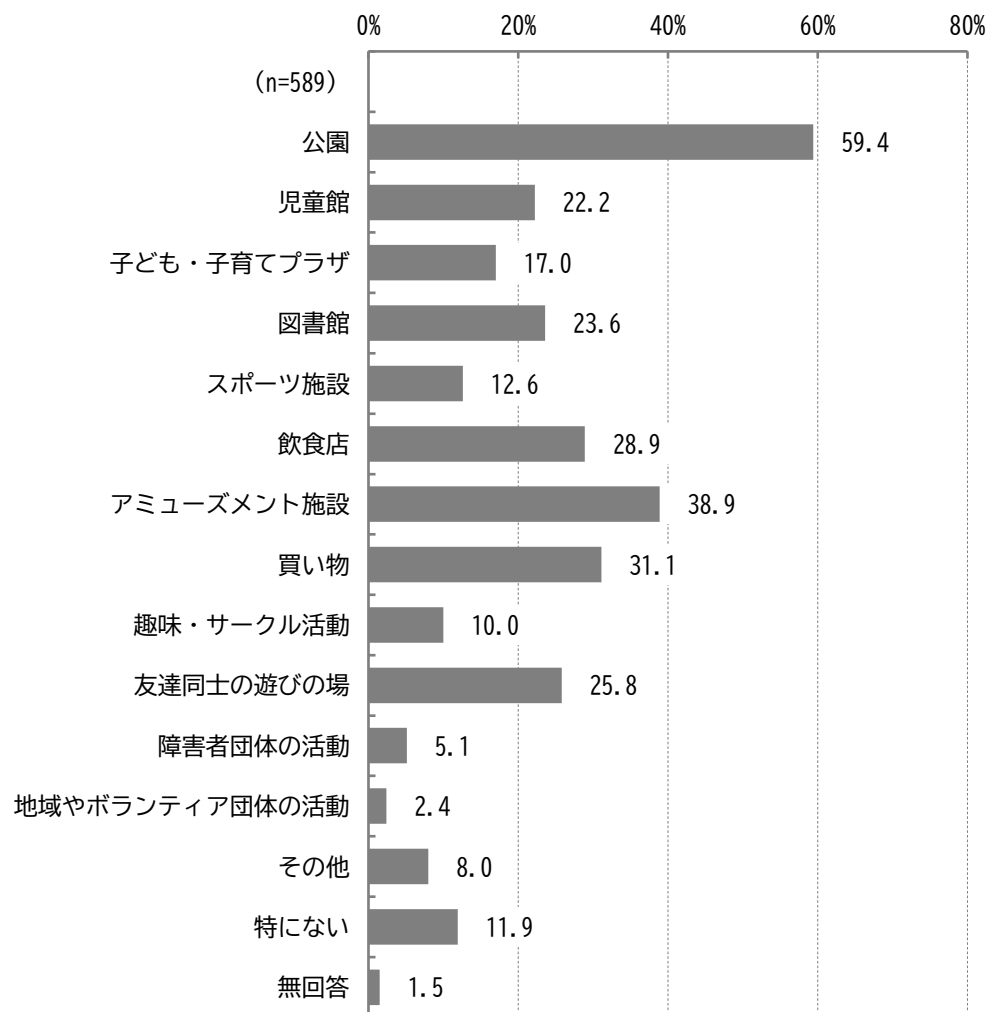
## (6) 社会参加について

問 33 お子さんが、家庭や学校以外で、地域で楽しく過ごせる場所はどこですか。(〇はいくつでも)

「公園」が59.4%と最も多く、次いで「アミューズメント施設」が38.9%、「買い物」が31.1%、「飲食店」が28.9%の順となっています。

年齢別にみると、0～11歳は「公園」、12～14歳は「飲食店」、15～17歳は「飲食店」と「買い物」が多くなっています。

障害別にみると、重度重複は「公園」と「飲食店」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「公園」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

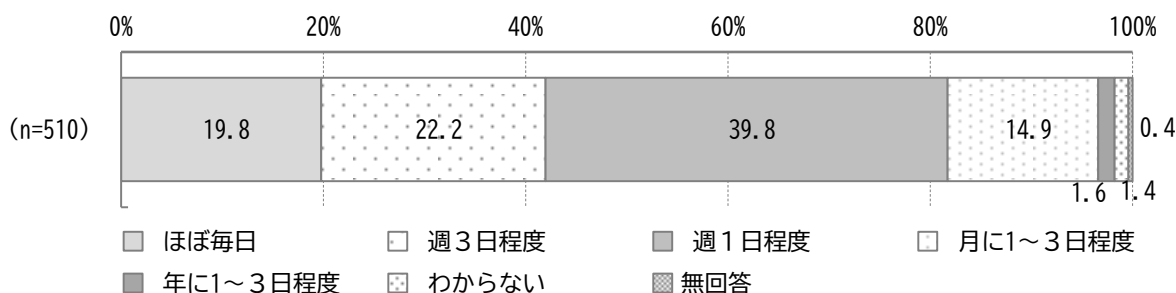
区分		回答者数 (件)	公園	児童館	子ども・子育てプラザ	図書館	スポーツ施設	飲食店	アミューズメント施設
全体		589	59.4	22.2	17.0	23.6	12.6	28.9	38.9
年齢別	0～5歳	193	82.9	31.6	39.4	25.4	8.8	24.9	45.1
	6～11歳	262	61.5	25.2	8.8	29.4	17.2	30.5	40.8
	12～14歳	61	31.1	3.3	-	16.4	6.6	41.0	39.3
	15～17歳	72	13.9	2.8	1.4	4.2	11.1	23.6	15.3
障害種別	身体障害								
	視覚障害	35	40.0	11.4	8.6	11.4	5.7	14.3	20.0
	聴覚障害・平衡機能障害	29	41.4	6.9	3.4	13.8	-	20.7	34.5
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	41.7	25.0	13.9	13.9	8.3	13.9	19.4
	肢体不自由	110	38.2	9.1	5.5	20.0	4.5	29.1	30.0
	内部障害	26	46.2	15.4	7.7	23.1	11.5	30.8	38.5
	難病	49	46.9	16.3	12.2	18.4	6.1	40.8	26.5
	知的障害	171	46.2	9.9	8.2	10.5	7.0	28.7	29.2
	重度重複	24	25.0	4.2	4.2	4.2	8.3	25.0	16.7
	発達障害	270	61.1	24.1	13.0	25.6	17.0	25.2	36.7
	精神障害	4	50.0	25.0	-	-	-	50.0	25.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	75.0	-
	診断を受けていない	85	84.7	32.9	40.0	32.9	9.4	35.3	56.5
	その他	47	70.2	17.0	23.4	12.8	10.6	21.3	34.0
区分		買い物	趣味・サークル活動	友達同士の遊びの場	障害者団体の活動	地域やボランティア 団体の活動	その他	特にな ない	無回答
全体		31.1	10.0	25.8	5.1	2.4	8.0	11.9	1.5
年齢別	0～5歳	33.2	6.2	21.2	1.6	0.5	3.1	6.2	1.6
	6～11歳	30.9	11.8	31.7	4.2	3.8	8.8	9.2	1.1
	12～14歳	34.4	9.8	24.6	13.1	3.3	13.1	16.4	-
	15～17歳	23.6	13.9	18.1	11.1	1.4	13.9	33.3	2.8
障害種別	身体障害								
	視覚障害	22.9	-	11.4	11.4	-	5.7	37.1	2.9
	聴覚障害・平衡機能障害	27.6	6.9	13.8	10.3	3.4	20.7	20.7	3.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	16.7	5.6	13.9	11.1	-	13.9	33.3	2.8
	肢体不自由	31.8	4.5	12.7	14.5	3.6	9.1	23.6	4.5
	内部障害	34.6	11.5	42.3	15.4	3.8	3.8	11.5	-
	難病	32.7	4.1	10.2	14.3	-	12.2	24.5	-
	知的障害	31.6	5.3	12.3	10.5	2.9	10.5	19.3	1.8
	重度重複	20.8	-	8.3	20.8	8.3	12.5	29.2	8.3
	発達障害	27.0	14.1	31.5	0.7	2.2	8.1	9.6	0.7
	精神障害	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	75.0	-	25.0	50.0	-	-	-	-
	診断を受けていない	37.6	7.1	27.1	-	2.4	3.5	3.5	1.2
	その他	27.7	4.3	25.5	6.4	2.1	10.6	10.6	2.1

問 34 (問 33 で 1～13 に ○ を つ け た 人)  
 どのくらい出かれますか。(○は1つ)

「週 1 日程度」が 39.8% と 最 も 多 く、次 い で「週 3 日程度」が 22.2%、「ほ ぼ 毎 日」が 19.8%、「月 に 1～3 日程度」が 14.9% の 順 と な っ て い ま す。

年 齢 別 に み る と、0～14 歳 は「週 1 日程度」、15～17 歳 は「月 に 1～3 日程度」が 最 も 多 く な っ て い ま す。

障 害 別 に み る と、内 部 障 害 は「ほ ぼ 毎 日」と「月 に 1～3 日程度」、難 病 は「ほ ぼ 毎 日」、そ れ 以 外 (精 神 障 害、高 次 脳 機 能 障 害 (失 語 症 を 含 む) を 除 く) は「週 1 日程度」が 最 も 多 く な っ て い ま す。



【年齢別・障害種別】

単位：%

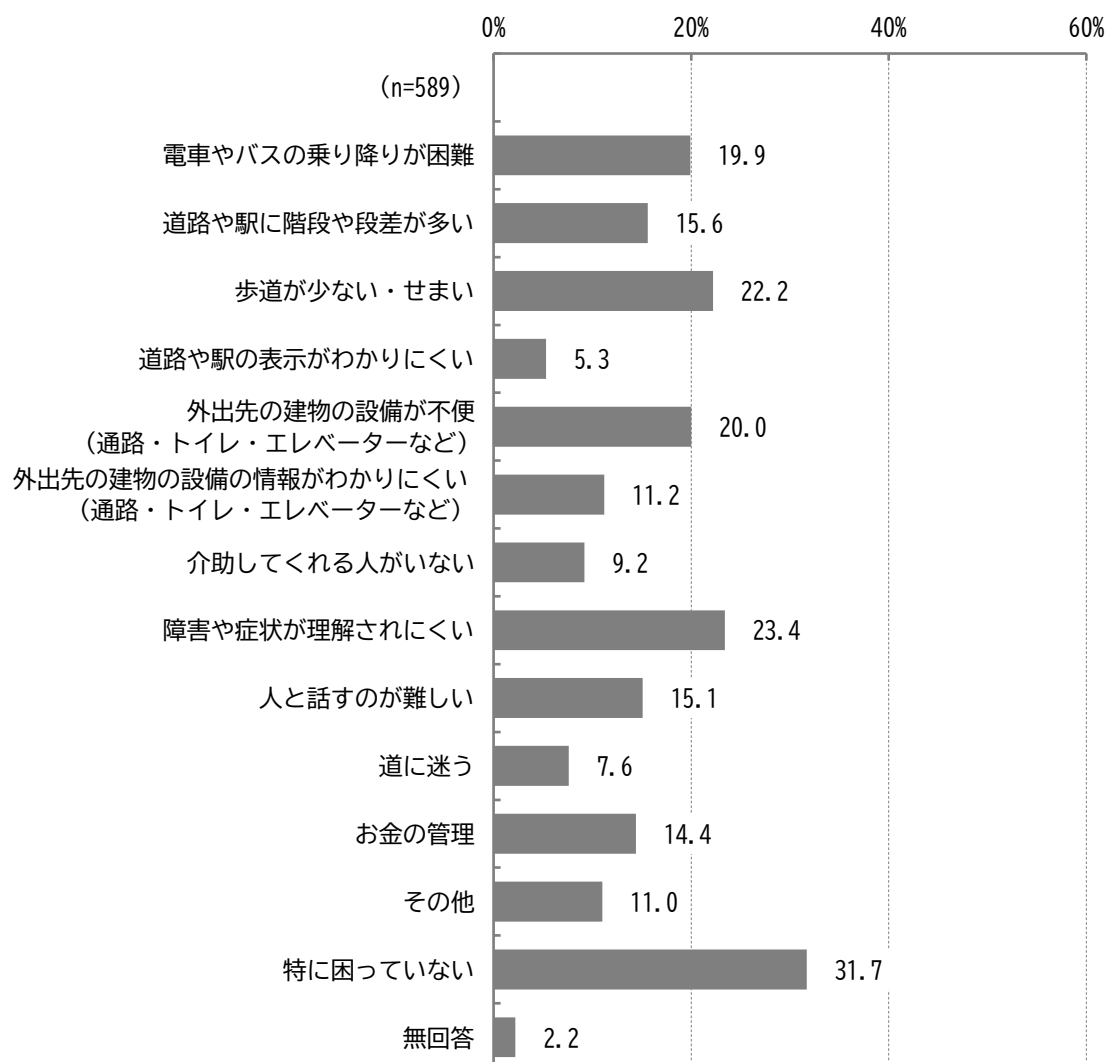
区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	週3日程度	週1日程度	月に1～3日程度	年に1～3日程度	わからない	無回答	
全体	510	19.8	22.2	39.8	14.9	1.6	1.4	0.4	
年齢別	0～5歳	178	19.7	25.3	46.1	8.4	-	0.6	-
	6～11歳	235	19.6	22.6	39.1	16.2	0.9	1.3	0.4
	12～14歳	51	21.6	17.6	31.4	17.6	5.9	3.9	2.0
	15～17歳	46	19.6	13.0	28.3	30.4	6.5	2.2	-
	障害種別	視覚障害	21	14.3	23.8	38.1	14.3	9.5	-
聴覚障害・平衡機能障害		22	18.2	22.7	36.4	18.2	4.5	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害		23	17.4	13.0	39.1	21.7	4.3	4.3	-
肢体不自由		79	17.7	13.9	36.7	24.1	5.1	2.5	-
内部障害		23	30.4	13.0	17.4	30.4	4.3	4.3	-
難病		37	35.1	8.1	32.4	24.3	-	-	-
知的障害		135	14.1	14.1	41.5	23.7	3.0	3.0	0.7
重度重複		15	13.3	-	46.7	13.3	20.0	6.7	-
発達障害		242	18.2	26.4	38.8	12.8	0.8	2.1	0.8
精神障害		3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-
高次脳機能障害 (失語症を含む)		4	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-
診断を受けていない	81	19.8	24.7	50.6	4.9	-	-	-	
その他	41	17.1	19.5	46.3	17.1	-	-	-	

問 35 お子さんが外出するときに、困ることはありますか（特に区内で）。（○はい/△は多少でも）

「障害や症状が理解されにくい」が 23.4%と最も多く、次いで「歩道が少ない・せまい」が 22.2%、「外出先の建物の設備が不便（通路・トイレ・エレベーターなど）」が 20.0%、「電車やバスの乗り降りが困難」が 19.9%の順となっています。

困ることを年齢別にみると、0～5歳は「歩道が少ない・せまい」、6～14歳は「障害や症状が理解されにくい」、15～17歳は「お金の管理」が多くなっています。

困ることを障害別にみると、視覚障害と重度重複は「電車やバスの乗り降りが困難」、聴覚障害・平衡機能障害と音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、難病は「外出先の建物の設備が不便（通路・トイレ・エレベーターなど）」、内部障害は「歩道が少ない・せまい」、知的障害と発達障害は「障害や症状が理解されにくい」が多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

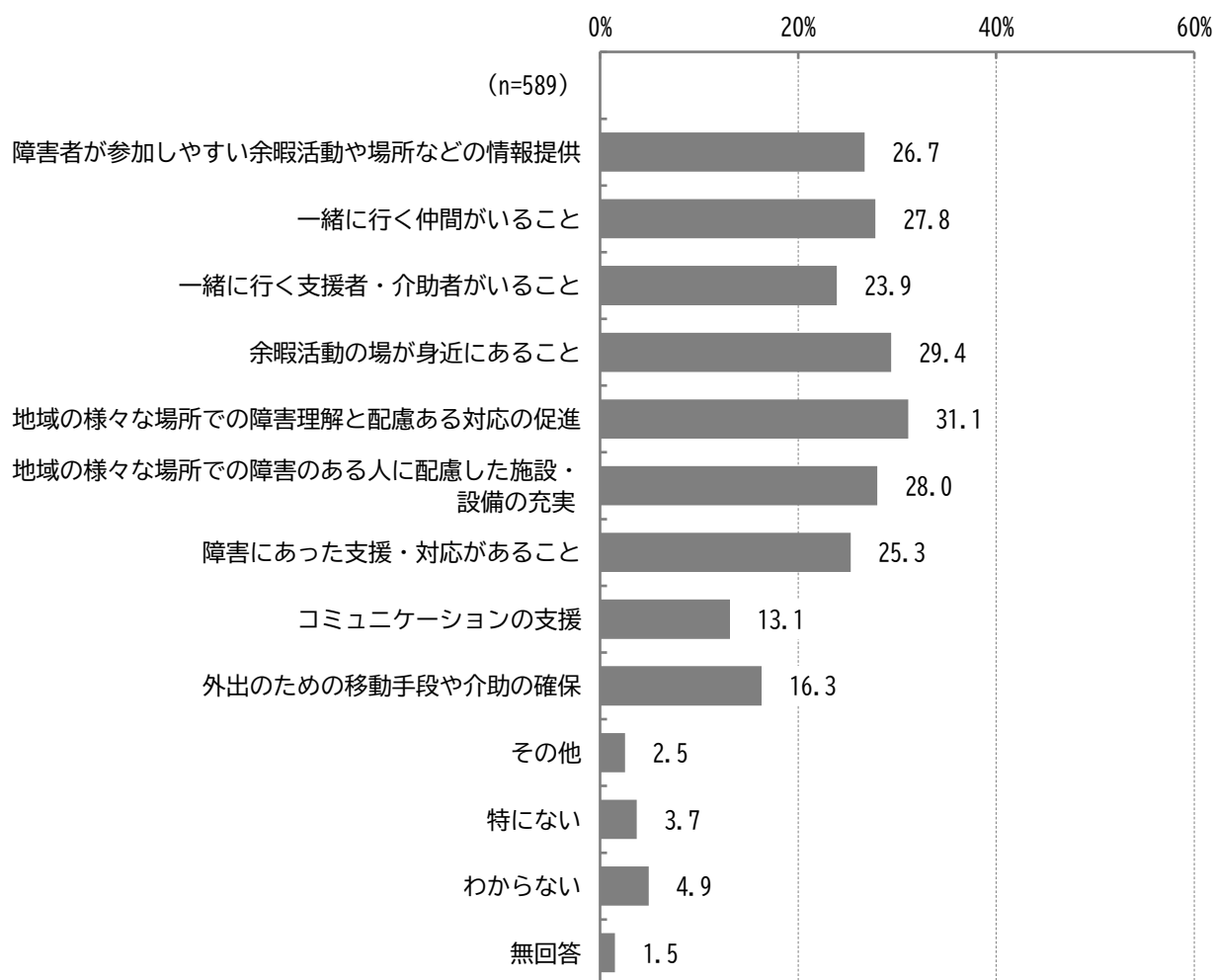
区分		回答者数 (件)	電車やバスの乗り降りが 困難	道路や駅に階段や段差が 多い	歩道が少ない・せまい	道路や駅の表示が わかりにくい	外出先の建物の設備が不便 (通路・トイレ・エレベーターなど)	外出先の建物の設備の情報が わかりにくい(通路・トイレ・エレベーターなど)	介助してくれる人が いない
全体		589	19.9	15.6	22.2	5.3	20.0	11.2	9.2
年齢別	0～5歳	193	17.6	16.1	26.9	3.6	22.3	9.3	5.7
	6～11歳	262	18.3	14.1	17.2	3.1	15.3	8.4	7.6
	12～14歳	61	26.2	16.4	24.6	9.8	27.9	18.0	16.4
	15～17歳	72	26.4	19.4	26.4	13.9	25.0	20.8	18.1
障害種別	身体障害								
	視覚障害	35	54.3	42.9	42.9	14.3	51.4	31.4	31.4
	聴覚障害・平衡機能障害	29	34.5	31.0	34.5	10.3	41.4	20.7	20.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	58.3	38.9	33.3	8.3	61.1	33.3	25.0
	肢体不自由	110	62.7	53.6	45.5	6.4	66.4	34.5	22.7
	内部障害	26	19.2	15.4	30.8	-	23.1	23.1	7.7
	難病	49	53.1	36.7	36.7	6.1	59.2	28.6	20.4
	知的障害	171	36.8	22.2	24.0	7.6	32.2	19.3	18.7
	重度重複	24	83.3	54.2	41.7	8.3	70.8	54.2	37.5
	発達障害	270	8.5	4.8	15.9	3.7	7.8	4.4	5.9
	精神障害	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	25.0	25.0	75.0	-	25.0	25.0	25.0
	診断を受けていない	85	7.1	10.6	22.4	2.4	9.4	5.9	5.9
その他	47	34.0	25.5	29.8	2.1	27.7	17.0	10.6	
区分			障害や症状が 理解されにくい	人と話すのが 難しい	道に迷う	お金の管理	その他	特に困っていない	無回答
全体		23.4	15.1	7.6	14.4	11.0	31.7	2.2	
年齢別	0～5歳	15.0	9.8	1.6	3.1	6.7	38.9	3.1	
	6～11歳	25.2	13.7	10.3	12.2	14.1	34.4	1.1	
	12～14歳	36.1	23.0	8.2	34.4	13.1	13.1	3.3	
	15～17歳	29.2	27.8	13.9	36.1	9.7	19.4	1.4	
障害種別	身体障害								
	視覚障害	45.7	17.1	11.4	8.6	2.9	5.7	2.9	
	聴覚障害・平衡機能障害	37.9	27.6	3.4	10.3	10.3	27.6	3.4	
	音声・言語・そしゃく機能障害	36.1	22.2	11.1	11.1	13.9	8.3	2.8	
	肢体不自由	30.0	11.8	0.9	7.3	12.7	6.4	5.5	
	内部障害	26.9	7.7	11.5	15.4	11.5	26.9	3.8	
	難病	30.6	16.3	8.2	8.2	12.2	8.2	2.0	
	知的障害	42.7	33.3	10.5	26.3	11.7	8.8	2.9	
	重度重複	66.7	25.0	-	-	25.0	-	4.2	
	発達障害	25.9	13.3	10.4	20.0	13.7	36.7	1.9	
	精神障害	25.0	-	25.0	-	-	25.0	-	
	高次脳機能障害(失語症を含む)	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-	
	診断を受けていない	10.6	8.2	-	3.5	5.9	54.1	1.2	
その他	14.9	12.8	2.1	8.5	12.8	31.9	2.1		

問 36 障害のある人もない人も誰もが地域で一層楽しめるようにするには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「地域の様々な場所での障害理解と配慮ある対応の促進」が 31.1%と最も多く、次いで「余暇活動の場が身近にあること」が 29.4%、「地域の様々な場所での障害のある人に配慮した施設・設備の充実」が 28.0%、「一緒に行く仲間がいること」が 27.8%の順となっています。

年齢別にみると、0～5歳は「地域の様々な場所での障害のある人に配慮した施設・設備の充実」、6～11歳は「障害にあった支援・対応があること」、12～17歳は「一緒に行く仲間がいること」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害は「障害者が参加しやすい余暇活動や場所などの情報提供」、聴覚障害・平衡機能障害は「障害にあった支援・対応があること」、音声・言語・そしゃく機能障害は「一緒に行く支援者・介助者がいること」と「地域の様々な場所での障害のある人に配慮した施設・設備の充実」、肢体不自由と難病は「地域の様々な場所での障害のある人に配慮した施設・設備の充実」、知的障害と発達障害は「地域の様々な場所での障害理解と配慮ある対応の促進」、診断を受けていないは「余暇活動の場が身近にあること」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

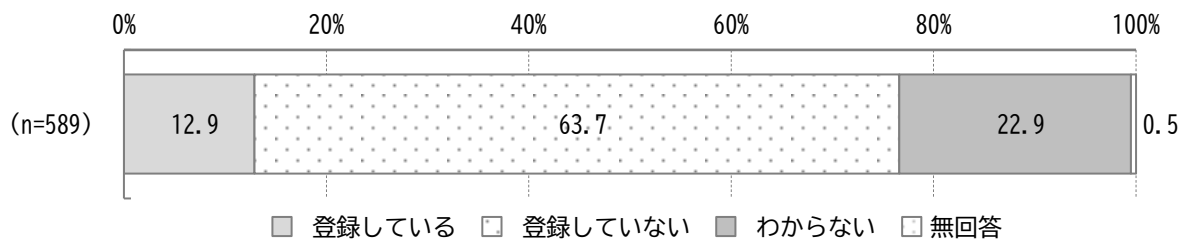
区分		回答者数(件)	障害者が参加しやすい 余暇活動や場所などの 情報提供	一緒に行く仲間がいる こと	一緒に行く支援者・ 介助者がいること	余暇活動の場が身近に あること	地域の様々な場所での 障害理解と配慮ある対 応の促進	地域の様々な場所での 障害のある人に配慮し た施設・設備の充実	
全体		589	26.7	27.8	23.9	29.4	31.1	28.0	
年齢別	0～5歳	193	28.5	22.3	23.8	30.1	28.0	30.6	
	6～11歳	262	25.6	25.6	21.0	27.1	30.5	25.2	
	12～14歳	61	27.9	41.0	29.5	26.2	39.3	29.5	
	15～17歳	72	25.0	40.3	30.6	38.9	34.7	30.6	
障害種別	身体障害								
	視覚障害	35	42.9	25.7	34.3	37.1	28.6	34.3	
	聴覚障害・平衡機能障害	29	37.9	24.1	20.7	20.7	31.0	27.6	
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	33.3	22.2	41.7	16.7	36.1	41.7	
	肢体不自由	110	33.6	15.5	28.2	29.1	39.1	41.8	
	内部障害	26	23.1	46.2	19.2	19.2	42.3	23.1	
	難病	49	32.7	18.4	36.7	12.2	34.7	40.8	
	知的障害	171	37.4	30.4	31.0	31.0	38.6	33.9	
	重度重複	24	45.8	12.5	50.0	37.5	41.7	33.3	
	発達障害	270	21.9	29.3	22.2	28.1	31.1	24.1	
	精神障害	4	-	25.0	75.0	-	50.0	25.0	
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	50.0	75.0	75.0	25.0	25.0	-	
	診断を受けていない	85	22.4	27.1	20.0	37.6	24.7	29.4	
その他	47	25.5	17.0	23.4	27.7	31.9	36.2		
区分			障害にあつた支援・ 対応があること	コミュニケーションの 支援	外出のための移動手段 や介助の確保	その他	特にない	わからない	無回答
全体		25.3	13.1	16.3	2.5	3.7	4.9	1.5	
年齢別	0～5歳	19.7	11.9	16.1	1.6	4.7	5.7	2.1	
	6～11歳	31.7	16.0	15.3	3.4	4.2	5.7	1.1	
	12～14歳	21.3	9.8	18.0	3.3	1.6	1.6	1.6	
	15～17歳	20.8	8.3	19.4	1.4	1.4	2.8	-	
障害種別	身体障害								
	視覚障害	31.4	5.7	22.9	2.9	-	-	2.9	
	聴覚障害・平衡機能障害	41.4	13.8	20.7	3.4	-	10.3	-	
	音声・言語・そしゃく機能障害	25.0	5.6	22.2	2.8	-	2.8	-	
	肢体不自由	25.5	0.9	34.5	4.5	0.9	0.9	1.8	
	内部障害	15.4	-	15.4	3.8	7.7	7.7	-	
	難病	28.6	2.0	34.7	6.1	-	2.0	2.0	
	知的障害	25.1	10.5	21.1	2.3	-	1.8	1.2	
	重度重複	16.7	-	37.5	-	-	4.2	-	
	発達障害	25.2	19.3	9.6	3.0	5.2	5.2	1.5	
	精神障害	-	25.0	-	25.0	-	-	-	
	高次脳機能障害(失語症を含む)	-	-	-	-	-	-	-	
	診断を受けていない	23.5	14.1	10.6	-	5.9	4.7	1.2	
その他	29.8	4.3	23.4	-	2.1	8.5	4.3		

## (7) 災害時の備えについて

問 37 お子さんは、「地域のたすけあいネットワーク」に登録していますか。していない場合はその理由を記入してください。(〇は1つ)

「登録している」が12.9%、「登録していない」が63.7%、「わからない」が22.9%となっています。年齢別にみると、いずれも「登録していない」が最も多くなっています。

障害別にみると、肢体不自由と重度重複は「登録している」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「登録していない」が最も多くなっています。



### 【年齢別・障害種別】

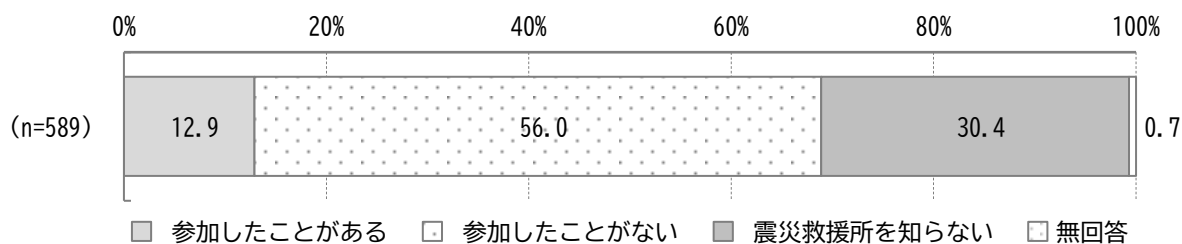
単位：%

区分		回答者数 (件)	登録している	登録していない	わからない	無回答
全体		589	12.9	63.7	22.9	0.5
年齢別	0～5歳	193	5.2	66.8	27.5	0.5
	6～11歳	262	12.2	65.6	21.8	0.4
	12～14歳	61	27.9	50.8	21.3	-
	15～17歳	72	23.6	59.7	16.7	-
障害種別	身体障害					
	視覚障害	35	22.9	48.6	28.6	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	27.6	41.4	31.0	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	36.1	47.2	16.7	-
	肢体不自由	110	40.0	36.4	22.7	0.9
	内部障害	26	23.1	42.3	34.6	-
	難病	49	30.6	44.9	24.5	-
	知的障害	171	24.0	55.6	20.5	-
	重度重複	24	50.0	29.2	20.8	-
	発達障害	270	5.2	72.2	22.6	-
	精神障害	4	-	100.0	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	25.0	25.0	50.0	-
	診断を受けていない	85	-	76.5	22.4	1.2
その他	47	19.1	61.7	19.1	-	

問 38 お子さんは、震災救援所訓練に参加したことがありますか。参加したことがない場合はその理由を記入してください。(○は1つ)

「参加したことがある」が 12.9%、「参加したことがない」が 56.0%、「震災救援所を知らない」が 30.4%となっています。

年齢別・障害別にみると、いずれも（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）「参加したことがない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

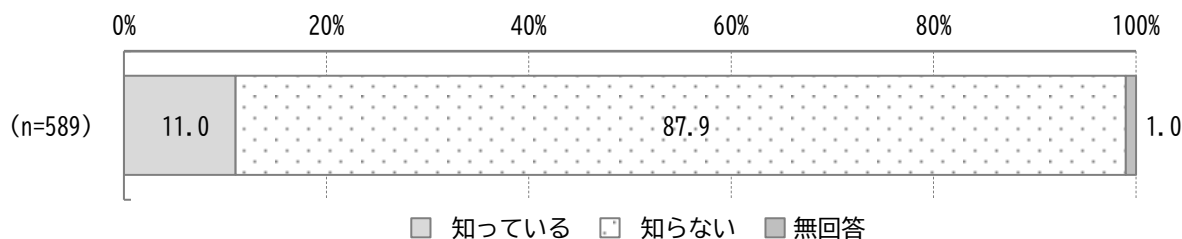
単位：%

区分		回答者数 (件)	参加したことがある	参加したことがない	震災救援所を知らない	無回答
全体		589	12.9	56.0	30.4	0.7
年齢別	0～5歳	193	7.8	60.1	31.1	1.0
	6～11歳	262	13.0	55.3	31.3	0.4
	12～14歳	61	18.0	54.1	27.9	-
	15～17歳	72	22.2	50.0	27.8	-
障害種別	視覚障害	35	8.6	60.0	31.4	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	10.3	55.2	34.5	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	13.9	69.4	16.7	-
	肢体不自由	110	12.7	61.8	25.5	-
	内部障害	26	23.1	46.2	30.8	-
	難病	49	6.1	65.3	28.6	-
	知的障害	171	11.7	55.6	32.7	-
	重度重複	24	4.2	66.7	29.2	-
	発達障害	270	13.7	55.2	30.7	0.4
	精神障害	4	-	50.0	50.0	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	25.0	50.0	25.0	-
	診断を受けていない	85	8.2	60.0	30.6	1.2
	その他	47	10.6	53.2	34.0	2.1

問 39 あなたは、震災救援所での避難生活が難しい災害時要配慮者を受け入れ、専門性の高い支援を行う福祉救援所の存在を知っていますか。(○は1つ)

「知っている」が11.0%、「知らない」が87.9%となっています。

年齢別・障害別にみると、いずれも（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）「知らない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全体		589	11.0	87.9	1.0
年齢別	0～5歳	193	8.3	90.7	1.0
	6～11歳	262	8.0	91.2	0.8
	12～14歳	61	16.4	82.0	1.6
	15～17歳	72	25.0	75.0	-
障害種別	視覚障害	35	28.6	71.4	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	20.7	79.3	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	30.6	69.4	-
	肢体不自由	110	30.0	69.1	0.9
	内部障害	26	11.5	88.5	-
	難病	49	22.4	77.6	-
	知的障害	171	15.8	84.2	-
	重度重複	24	33.3	66.7	-
	発達障害	270	6.7	92.6	0.7
	精神障害	4	-	100.0	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	50.0	50.0	-
	診断を受けていない	85	4.7	94.1	1.2
	その他	47	12.8	85.1	2.1

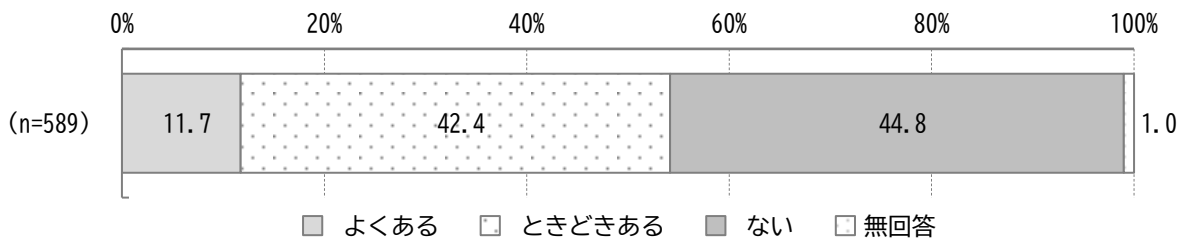
## (8) 差別解消と共生社会の実現に向けて

問 40 お子さんについて、これまでに障害や病気、本人特性などを理由に差別を受けたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。(○は1つ)

「よくある」が11.7%、「ときどきある」が42.4%、「ない」が44.8%となっています。

年齢別にみると、0～5歳は「ない」、6～11歳は「ときどきある」と「ない」、12～17歳は「ときどきある」が最も多くなっています。

障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害と内部障害は「ときどきある」と「ない」、診断を受けていないは「ない」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「ときどきある」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	よくある	ときどきある	ない	無回答
全体		589	11.7	42.4	44.8	1.0
年齢別	0～5歳	193	6.7	31.1	61.1	1.0
	6～11歳	262	11.5	43.9	43.9	0.8
	12～14歳	61	14.8	62.3	23.0	-
	15～17歳	72	23.6	51.4	23.6	1.4
障害種別	身体障害					
	視覚障害	35	22.9	45.7	31.4	-
	聴覚障害・平衡機能障害	29	13.8	44.8	41.4	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	16.7	41.7	41.7	-
	肢体不自由	110	17.3	47.3	35.5	-
	内部障害	26	23.1	38.5	38.5	-
	難病	49	12.2	51.0	36.7	-
	知的障害	171	19.9	45.0	33.9	1.2
	重度重複	24	29.2	45.8	25.0	-
	発達障害	270	13.0	43.7	42.2	1.1
	精神障害	4	25.0	75.0	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	-	100.0	-	-
	診断を受けていない	85	2.4	24.7	71.8	1.2
その他	47	8.5	38.3	51.1	2.1	

問 41 (問 40 で「1.よくある」「2.ときどきある」に○をつけた人)

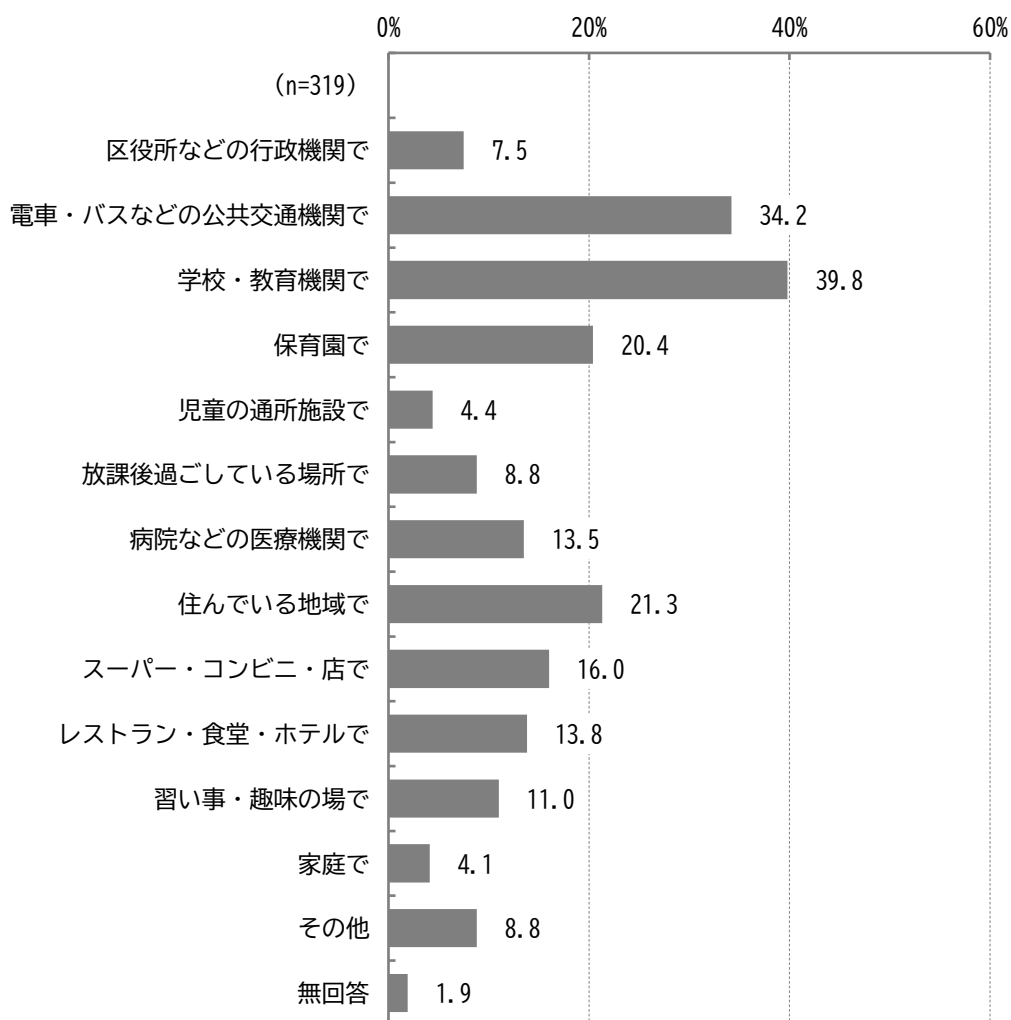
どのような場所で差別を受けたり、いやな思いを感じたりしましたか。あてはまる場所の番号に○をしてください。よろしければ、枠内に具体的な内容を記入してください。

(書きたくない場合は、記入しなくてもかまいません。)(○はいくつでも)

「学校・教育機関で」が 39.8%と最も多く、次いで「電車・バスなどの公共交通機関で」が 34.2%、「住んでいる地域で」が 21.3%、「保育園で」が 20.4%の順となっています。

年齢別にみると、0～5歳は「保育園で」、それ以外は「学校・教育機関で」が最も多くなっています。

障害別にみると、内部障害と発達障害は「学校・教育機関で」、診断を受けていないは「保育園で」、それ以外(精神障害、高次脳機能障害(失語症を含む))を除く)は「電車・バスなどの公共交通機関で」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	区役所などの行政 機関で	電車・バスなどの 公共交通機関で	学校・教育機関で	保育園で	児童の通所施設で	放課後過ごししてい る場所で	病院などの医療機 関で
全体		319	7.5	34.2	39.8	20.4	4.4	8.8	13.5
年齢別	0～5歳	73	15.1	30.1	9.6	34.2	4.1	1.4	17.8
	6～11歳	145	4.8	31.0	46.2	18.6	4.8	11.7	13.8
	12～14歳	47	6.4	36.2	55.3	14.9	-	10.6	8.5
	15～17歳	54	5.6	46.3	50.0	11.1	7.4	9.3	11.1
障害種別	視覚障害	24	12.5	45.8	33.3	20.8	-	8.3	16.7
	聴覚障害・平衡機能障害	17	5.9	47.1	35.3	11.8	5.9	17.6	11.8
	音声・言語・そしゃく機能障害	21	14.3	66.7	14.3	14.3	-	4.8	14.3
	肢体不自由	71	8.5	59.2	26.8	15.5	1.4	2.8	7.0
	内部障害	16	18.8	50.0	56.3	18.8	12.5	-	12.5
	難病	31	3.2	54.8	22.6	19.4	-	3.2	9.7
	知的障害	111	10.8	47.7	35.1	18.9	7.2	11.7	15.3
	重度重複	18	11.1	77.8	22.2	11.1	5.6	11.1	16.7
	発達障害	153	6.5	29.4	50.3	23.5	4.6	11.8	17.0
	精神障害	4	25.0	50.0	50.0	25.0	-	-	-
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	-	75.0	25.0	-	-	-	-
	診断を受けていない	23	17.4	26.1	21.7	30.4	-	4.3	8.7
	その他	22	18.2	31.8	36.4	18.2	4.5	13.6	22.7
区分		住んでいる地域で	スーパー・コンビ ニ・店で	レストラン・食 堂・ホテルで	で 習い事・趣味の場	家庭で	その他	無回答	
全体		21.3	16.0	13.8	11.0	4.1	8.8	1.9	
年齢別	0～5歳	11.0	12.3	5.5	2.7	-	13.7	4.1	
	6～11歳	18.6	17.9	14.5	18.6	6.2	9.0	0.7	
	12～14歳	23.4	19.1	21.3	6.4	2.1	4.3	-	
	15～17歳	40.7	13.0	16.7	5.6	5.6	5.6	3.7	
障害種別	視覚障害	41.7	16.7	20.8	4.2	4.2	12.5	-	
	聴覚障害・平衡機能障害	35.3	5.9	11.8	-	-	11.8	5.9	
	音声・言語・そしゃく機能障害	38.1	33.3	38.1	-	4.8	4.8	-	
	肢体不自由	35.2	25.4	15.5	4.2	4.2	11.3	1.4	
	内部障害	6.3	18.8	12.5	6.3	-	12.5	-	
	難病	29.0	19.4	22.6	6.5	-	16.1	3.2	
	知的障害	34.2	21.6	21.6	6.3	2.7	6.3	0.9	
	重度重複	44.4	33.3	44.4	-	5.6	5.6	-	
	発達障害	20.9	15.0	13.1	16.3	5.9	7.2	-	
	精神障害	25.0	-	25.0	50.0	-	-	25.0	
	高次脳機能障害（失語症を含む）	25.0	-	-	-	-	50.0	-	
	診断を受けていない	8.7	13.0	13.0	4.3	-	4.3	4.3	
	その他	18.2	27.3	18.2	9.1	-	-	4.5	

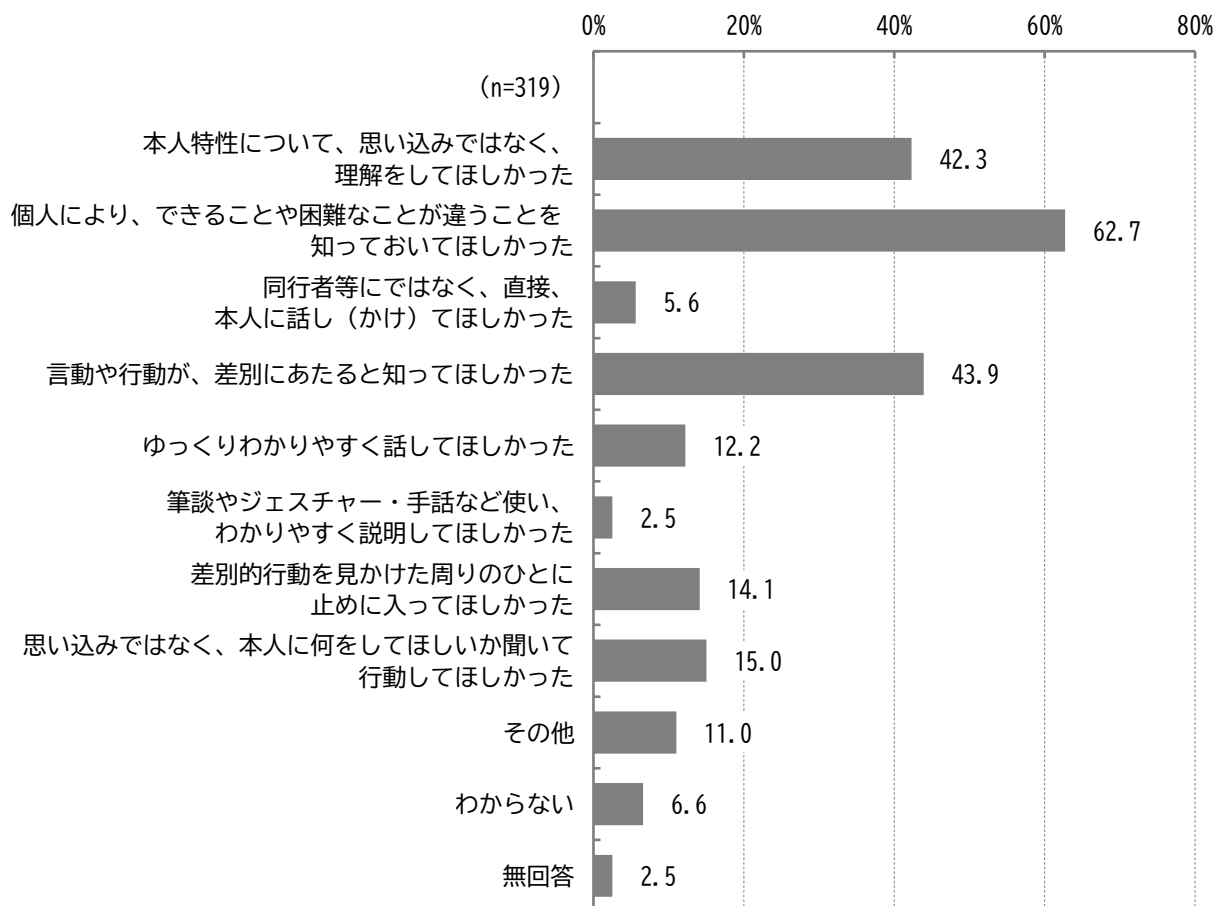
問 42 (問 40 で「1.よくある」「2.ときどきある」に○をつけた人)

お子さんが差別を受けたり、いやな思いを感じたりしたときに、相手や周りの人にどのような対応(配慮)をしてほしかったですか。(○はいくつでも)

「個人により、できることや困難なことが違うことを知っておいてほしかった」が62.7%と最も多く、次いで「言動や行動が、差別にあたると知ってほしかった」が43.9%、「本人特性について、思い込みではなく、理解をしてほしかった」が42.3%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「個人により、できることや困難なことが違うことを知っておいてほしかった」が最も多くなっています。

障害別にみると、聴覚障害・平衡機能障害は「本人特性について、思い込みではなく、理解をしてほしかった」と「言動や行動が、差別にあたると知ってほしかった」、それ以外(精神障害、高次脳機能障害(失語症を含む)を除く)は「個人により、できることや困難なことが違うことを知っておいてほしかった」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

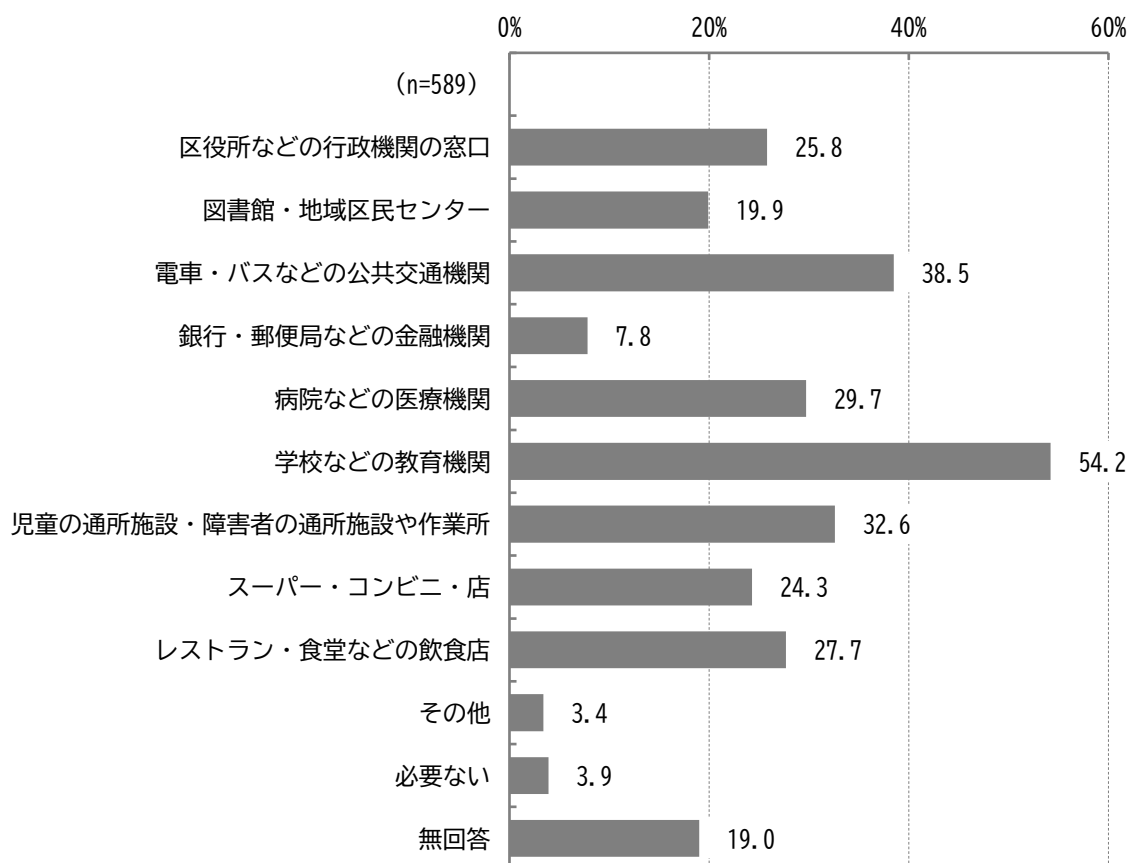
区分		回答者数(件)	本人特性について、思い込みではなく、理解をしてほしかった	個人により、できることや困難なことが違うことを知っておいてほしかった	同行者等ではなく、直接、本人に話し(かけ)てほしかった	言動や行動が、差別にあたると知ってほしかった	ゆっくりわかりやすく話してほしかった	筆談やジェスチャー・手話など使い、わかりやすく説明してほしかった	差別的行動を見かけた周りのひとに止めて入ってほしかった	思い込みではなく、本人に何をしてほしいか聞いて行動してほしかった	その他	わからない	無回答
全体		319	42.3	62.7	5.6	43.9	12.2	2.5	14.1	15.0	11.0	6.6	2.5
年齢別	0～5歳	73	46.6	61.6	2.7	31.5	9.6	1.4	8.2	9.6	8.2	6.8	4.1
	6～11歳	145	43.4	64.1	6.9	42.1	13.8	3.4	13.8	17.2	12.4	6.9	0.7
	12～14歳	47	34.0	66.0	2.1	63.8	4.3	-	19.1	12.8	10.6	6.4	-
	15～17歳	54	40.7	57.4	9.3	48.1	18.5	3.7	18.5	18.5	11.1	5.6	7.4
障害種別	視覚障害	24	50.0	54.2	12.5	37.5	16.7	-	16.7	12.5	12.5	4.2	8.3
	聴覚障害・平衡機能障害	17	29.4	23.5	17.6	29.4	17.6	11.8	17.6	5.9	17.6	11.8	5.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	21	38.1	47.6	4.8	28.6	9.5	4.8	4.8	4.8	23.8	9.5	9.5
	肢体不自由	71	39.4	54.9	8.5	45.1	1.4	-	12.7	9.9	19.7	2.8	5.6
	内部障害	16	43.8	75.0	-	62.5	12.5	-	12.5	25.0	18.8	-	6.3
	難病	31	29.0	51.6	3.2	41.9	6.5	6.5	6.5	12.9	25.8	6.5	6.5
	知的障害	111	44.1	60.4	6.3	48.6	13.5	2.7	12.6	10.8	10.8	7.2	2.7
	重度重複	18	44.4	50.0	16.7	44.4	-	-	5.6	11.1	22.2	11.1	-
	発達障害	153	48.4	70.6	5.9	40.5	15.7	2.0	14.4	19.0	11.8	4.6	1.3
	精神障害	4	50.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	50.0	25.0	-	25.0
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	50.0	100.0	-	50.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-
	診断を受けていない	23	43.5	52.2	-	30.4	13.0	4.3	17.4	8.7	4.3	8.7	4.3
	その他	22	54.5	50.0	-	36.4	13.6	-	18.2	4.5	22.7	13.6	4.5

問 43 うれしかったり、助かったりした「良かったこと」を広げてほしい場所は、どこですか。  
(〇はいくつでも)

「学校などの教育機関」が 54.2%と最も多く、次いで「電車・バスなどの公共交通機関」が 38.5%、「児童の通所施設・障害者の通所施設や作業所」が 32.6%、「病院などの医療機関」が 29.7%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「学校などの教育機関」が最も多くなっています。

障害別にみると、知的障害と発達障害、診断を受けていないは「学校などの教育機関」、重度重複は「電車・バスなどの公共交通機関」と「レストラン・食堂などの飲食店」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「電車・バスなどの公共交通機関」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

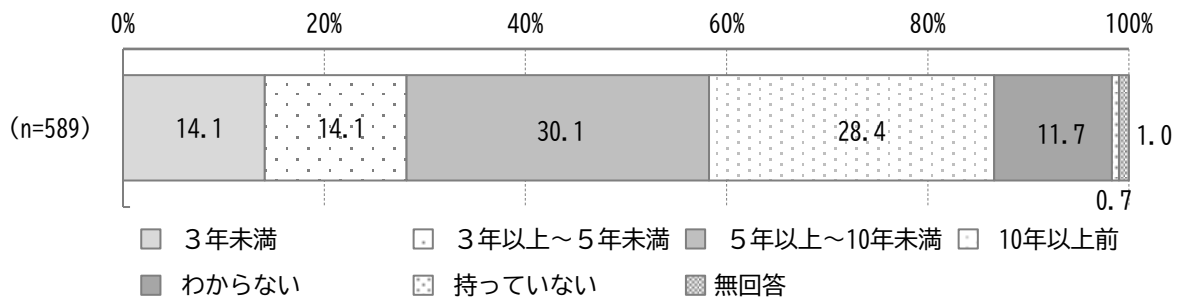
単位：%

区分		回答者数 (件)	区役所などの行政機関の窓口	図書館・地域区民センター	電車・バスなどの公共交通機関	銀行・郵便局などの金融機関	病院などの医療機関	学校などの教育機関	児童の通所施設・障害者の通所施設や作業所	スーパー・コンビニ・店	レストラン・食堂などの飲食店	その他	必要ない	無回答
全体		589	25.8	19.9	38.5	7.8	29.7	54.2	32.6	24.3	27.7	3.4	3.9	19.0
年齢別	0～5歳	193	23.8	21.8	36.3	6.7	30.1	42.0	33.7	18.7	23.8	2.6	3.6	28.0
	6～11歳	262	24.8	20.6	37.4	5.3	29.0	62.2	32.4	23.7	26.7	3.1	4.2	14.1
	12～14歳	61	31.1	19.7	42.6	14.8	31.1	57.4	31.1	36.1	32.8	6.6	1.6	14.8
	15～17歳	72	30.6	12.5	45.8	13.9	30.6	55.6	31.9	31.9	37.5	4.2	5.6	15.3
障害種別	身体障害													
	視覚障害	35	37.1	28.6	62.9	14.3	37.1	60.0	31.4	37.1	54.3	8.6	-	5.7
	聴覚障害・平衡機能障害	29	27.6	20.7	48.3	10.3	24.1	41.4	24.1	24.1	27.6	3.4	3.4	17.2
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	27.8	16.7	50.0	8.3	25.0	44.4	33.3	27.8	44.4	11.1	-	13.9
	肢体不自由	110	30.0	11.8	56.4	6.4	23.6	44.5	27.3	40.9	47.3	8.2	0.9	15.5
	内部障害	26	42.3	30.8	61.5	15.4	46.2	57.7	30.8	34.6	34.6	3.8	3.8	11.5
	難病	49	38.8	20.4	57.1	10.2	40.8	51.0	34.7	40.8	51.0	10.2	-	16.3
	知的障害	171	36.3	15.2	48.5	11.7	33.9	58.5	40.4	31.0	34.5	5.3	2.3	10.5
	重度重複	24	41.7	20.8	62.5	16.7	33.3	37.5	33.3	58.3	62.5	8.3	4.2	4.2
	発達障害	270	25.6	23.7	34.8	8.1	30.7	61.1	35.6	21.9	24.8	3.3	4.8	15.6
	精神障害	4	50.0	-	25.0	-	25.0	75.0	25.0	-	25.0	-	-	25.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	75.0	50.0	100.0	-	50.0	100.0	50.0	50.0	75.0	-	-	-
診断を受けていない	85	17.6	18.8	23.5	7.1	22.4	42.4	27.1	10.6	15.3	2.4	5.9	31.8	
その他	47	19.1	14.9	38.3	8.5	36.2	48.9	36.2	21.3	29.8	6.4	-	29.8	

## (9) エネルギー機器について

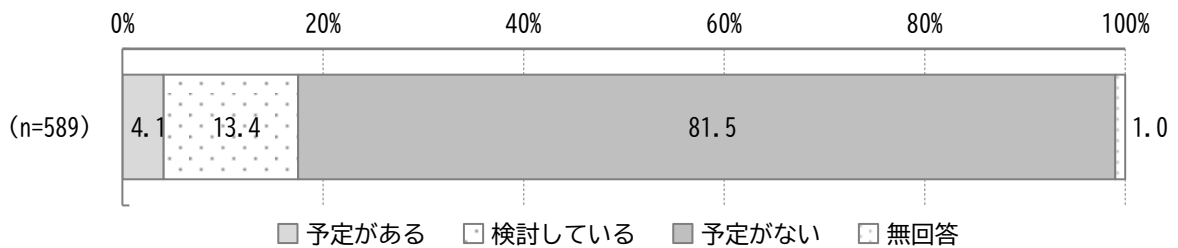
問 44-1 現在、ご家庭で使用しているエアコン（一番古いもの）を購入したのはいつ頃ですか。  
（○は1つ）

「5年以上～10年未満」が30.1%と最も多く、次いで「10年以上前」が28.4%、「3年未満」、「3年以上～5年未満」が14.1%の順となっています。



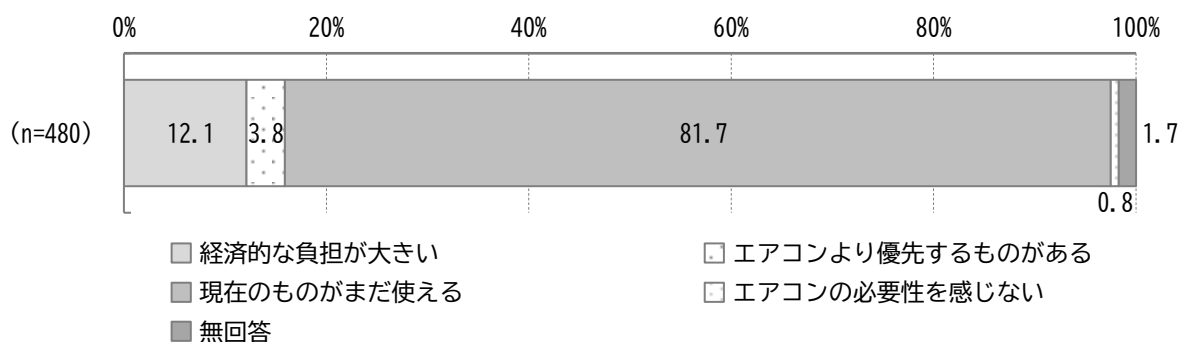
問 44-2 おおむね1年以内にエアコンを買い替え又は購入する予定はありますか。（○は1つ）

「予定がある」が4.1%、「検討している」が13.4%、「予定がない」が81.5%となっています。



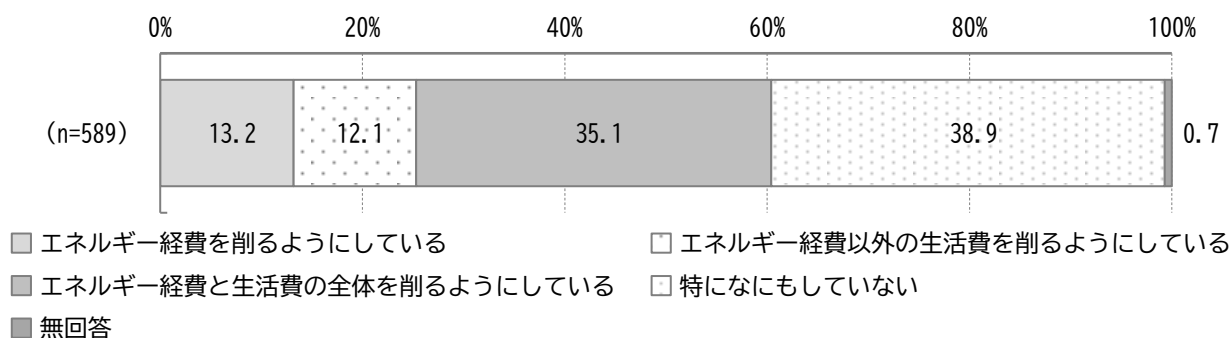
問 44-3 (問 44-2で「3. 予定がない」に○をつけた人)  
 予定はないとした最も大きな理由はなんですか。(○は1つ)

「現在のものがまだ使える」が81.7%と最も多く、次いで「経済的な負担が大きい」が12.1%、「エアコンより優先するものがある」が3.8%、「エアコンの必要性を感じない」が0.8%の順となっています。



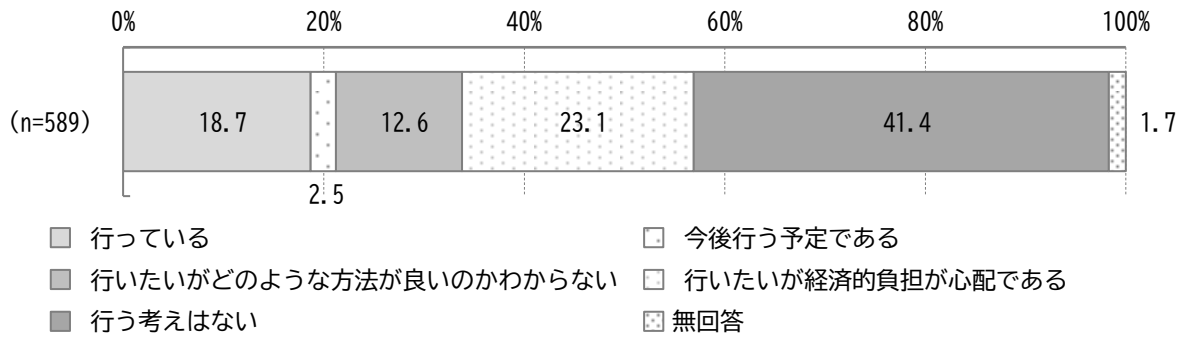
問 45 エネルギー経費（電気・ガス・ガソリン代など）が家計の負担となっていて、エアコンやガスなどの使用を控えたり、その他の生活費（食費、服飾費、住居費など）を削減していますか。(○は1つ)

「特になにもしていない」が38.9%と最も多く、次いで「エネルギー経費と生活費の全体を削るようにしている」が35.1%、「エネルギー経費を削るようにしている」が13.2%、「エネルギー経費以外の生活費を削るようにしている」が12.1%の順となっています。



問 46 エネルギー経費削減のため、住宅の壁、床、屋根、窓などの断熱化や太陽光発電機器の導入などの対策を行っていますか。(〇は1つ)

「行う考えはない」が 41.4%と最も多く、次いで「行いたいが経済的負担が心配である」が 23.1%、「行っている」が 18.7%、「行いたいがどのような方法が良いのかわからない」が 12.6%の順となっています。



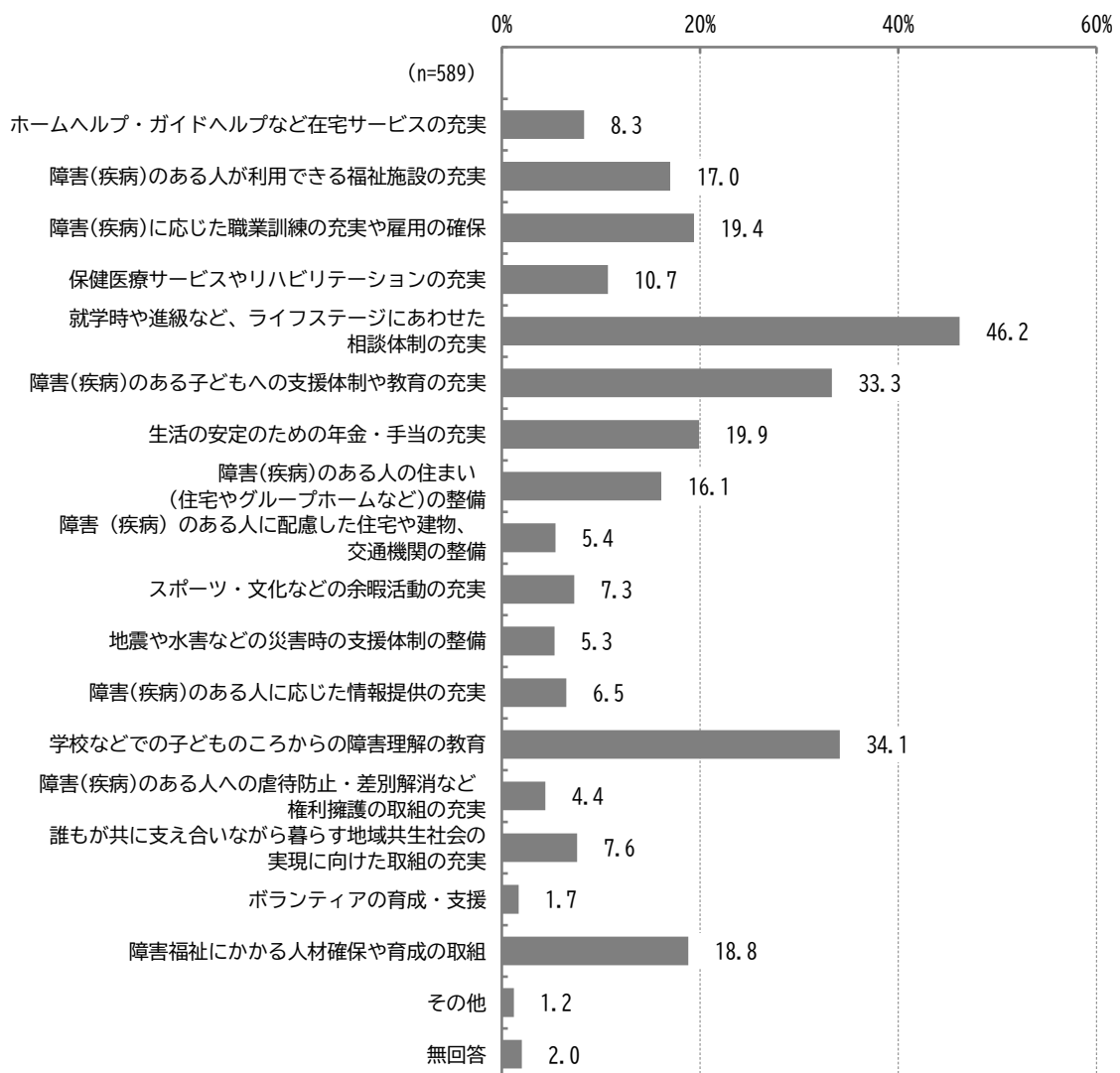
## (10) 区の施策について

問 47 障害(疾病)のある人に関する杉並区の施策のうち、もっと力を入れる必要があると思うものはどれですか。(〇は3つまで)

「就学時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実」が46.2%と最も多く、次いで「学校などでの子どもへの障害理解の教育」が34.1%、「障害(疾病)のある子どもへの支援体制や教育の充実」が33.3%、「生活の安定のための年金・手当の充実」が19.9%の順となっています。

年齢別にみると、0～14歳は「就学時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実」、15～17歳は「障害(疾病)に応じた職業訓練の充実や雇用の確保」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害は「保健医療サービスやリハビリテーションの充実」、聴覚障害・平衡機能障害は「障害(疾病)のある子どもへの支援体制や教育の充実」、音声・言語・そしゃく機能障害と肢体不自由、難病、知的障害、重度重複は「障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備」、内部障害は「学校などでの子どもへの障害理解の教育」、発達障害と診断を受けていないは「就学時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：％

区分		回答者数(件)	在宅ヘルプ・ガイドヘルプなど 在宅サービスの充実	障害(疾病)のある人が利用できる 福祉施設の充実	障害(疾病)に応じた職業訓練の充 実や雇用の確保	保健医療サービスやリハビリテー ションの充実	就学時や進級など、ライフステー ジにあわせた相談体制の充実	障害(疾病)のある子どもへの支援 体制や教育の充実	生活の安定のための年金・手当の 充実	障害(疾病)のある人の住まい(住 宅やグループホームなど)の整備	障害(疾病)のある人に配慮した住 宅や建物、交通機関の整備
全体		589	8.3	17.0	19.4	10.7	46.2	33.3	19.9	16.1	5.4
年齢別	0～5歳	193	10.4	19.2	17.1	11.4	47.7	36.8	16.1	10.9	5.2
	6～11歳	262	7.3	16.8	14.5	10.3	54.2	37.4	16.0	12.2	5.7
	12～14歳	61	3.3	9.8	24.6	9.8	34.4	24.6	27.9	27.9	4.9
	15～17歳	72	11.1	18.1	38.9	11.1	23.6	16.7	37.5	34.7	5.6
障害種別	身体障害										
	視覚障害	35	17.1	25.7	22.9	34.3	28.6	28.6	17.1	22.9	17.1
	聴覚障害・平衡機能障害	29	3.4	17.2	24.1	20.7	27.6	37.9	27.6	24.1	10.3
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	8.3	25.0	8.3	27.8	30.6	25.0	27.8	38.9	13.9
	肢体不自由	110	12.7	27.3	16.4	29.1	18.2	18.2	25.5	37.3	12.7
	内部障害	26	15.4	15.4	15.4	3.8	34.6	30.8	26.9	11.5	15.4
	難病	49	20.4	28.6	10.2	20.4	24.5	24.5	22.4	36.7	16.3
	知的障害	171	11.7	19.3	31.6	14.0	31.0	26.3	27.5	36.8	5.3
	重度重複	24	12.5	25.0	4.2	37.5	12.5	16.7	33.3	54.2	8.3
	発達障害	270	8.1	17.0	19.3	5.9	55.6	38.5	20.0	8.9	1.5
	精神障害	4	-	-	-	25.0	50.0	50.0	25.0	-	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	4	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-
診断を受けていない	85	3.5	10.6	15.3	5.9	63.5	41.2	8.2	8.2	2.4	
その他	47	4.3	38.3	21.3	12.8	40.4	27.7	17.0	12.8	12.8	
区分											
全体		7.3	5.3	6.5	34.1	4.4	7.6	1.7	18.8	1.2	2.0
年齢別	0～5歳	6.2	8.3	6.2	30.6	4.1	5.7	2.6	16.1	0.5	3.6
	6～11歳	8.0	2.3	6.5	41.2	4.2	7.3	1.1	18.7	1.5	0.8
	12～14歳	6.6	9.8	11.5	29.5	6.6	9.8	1.6	26.2	1.6	1.6
	15～17歳	8.3	4.2	2.8	22.2	4.2	12.5	1.4	20.8	1.4	1.4
障害種別	身体障害										
	視覚障害	5.7	8.6	2.9	20.0	2.9	11.4	-	22.9	-	-
	聴覚障害・平衡機能障害	3.4	-	6.9	24.1	-	10.3	-	20.7	-	3.4
	音声・言語・そしゃく機能障害	5.6	11.1	8.3	19.4	2.8	8.3	-	22.2	-	-
	肢体不自由	3.6	7.3	4.5	20.9	6.4	10.9	0.9	30.9	-	1.8
	内部障害	3.8	11.5	3.8	38.5	7.7	3.8	-	15.4	-	7.7
	難病	4.1	6.1	4.1	16.3	4.1	14.3	-	28.6	2.0	2.0
	知的障害	7.6	3.5	8.8	19.3	4.7	9.4	1.2	22.2	1.2	1.2
	重度重複	8.3	8.3	-	12.5	4.2	8.3	-	50.0	-	-
	発達障害	8.1	3.3	6.7	41.9	3.0	5.9	2.2	19.6	1.9	0.4
	精神障害	-	-	-	50.0	25.0	-	-	50.0	-	-
	高次脳機能障害(失語症を含む)	-	-	-	50.0	-	-	-	25.0	-	-
診断を受けていない	8.2	9.4	4.7	35.3	4.7	3.5	1.2	10.6	-	3.5	
その他	2.1	2.1	8.5	23.4	4.3	8.5	2.1	10.6	2.1	4.3	

問 48 今後概ね 10 年程度の杉並区の障害者施策に望むことはなんですか。(自由にご記入ください)

これから 10 年くらいの杉並区に望むことについて、276 人の方からご意見・ご要望をいただきました。内容別に分類した結果と、各分類の主な意見は以下の通りです。

分類		件数
①	福祉サービスについて	62
②	経済的不安・経済的支援について	13
③	健康・医療について	6
④	障害理解について	82
⑤	生活環境について	14
⑥	雇用・就労について	22
⑦	保育・療育・教育について	66
⑧	将来の不安について	7
⑨	その他	4
合計		276

【主な意見】※基本的に原文のまま掲載しています。

〔① 福祉サービスについて〕

- 重度の障害者や手帳を持つ人だけではなく、(日常で)特性が出てしまって過ごす際の困難を抱えている軽度の発達障害児が使える移動支援を増やしてほしい。フリースクールに通う際の支援金を都と別に出してほしい。
- 重度知的障害者が入所できる施設が欲しい。(グループホームでは自身の管理が難しいため)。生活介護施設では通所時間が短く、親の就労時間にかなり影響があるので、せめて 9:00~16:00 まで通所できるようにしてほしい。放課後デイサービスが利用できなくなるので、生活介護を利用すると、通所後 2 時間は、誰かに介護してもらわなければならない。

〔② 経済的不安・経済的支援について〕

- 障害者手帳でのタクシー券はいただけてますが、通院が頻繁かつ遠方の場合、車のない家庭はタクシー券だけでは賅えず交通費が家計をかなり圧迫してます。タクシー券の配布する家庭の選定を厳しくするかわりに金額をあげていただけると助かります。
- 子どもが未来に希望を持てるような社会。助けてと言ったら助けてもらえるような社会。相談した時には、その人の状況に応じて必要な支援や受けられる補助等、どんなものがあり、どんなことができるのか、「聞かれなくても」教えてほしい。(情報にたどりつけない事が多いので)仕事と子育ての両立ができるような支援。衣食住を整えられるような経済的支援。

### 〔③ 健康・医療について〕

- 内部障害 4 級で自己導尿しているが等級が低いため医療制度が受けられない。来年から 18 歳(高校卒業)して医療費が負担になるのが不安だ。
- 成人以降も利用できる医療的ケアに対応するショートステイ先の十分な確保。重度心身障害者と過ごせるグループホームの設立。親の所得制限によるサービス提供費の格差の撤廃。

### 〔④ 障害理解について〕

- 目ではわかりにくい LD 障害をもっと子供たちに知ってもらいたい。
- 障害理解への教育を親御さんにもしていただきたいです。明らかに発達障害なのに、親御さんが支援や医療を拒否しているケースをお見受けします。結果、学校で癩癩を起こす、教室で授業を受けられない(授業中立ち歩く等)等。お子さんの為にも親御さんの為にも先生や周りの児童の為に、早めに支援や医療に繋がれる様、親御さんの理解が深まったら、と思います。

### 〔⑤ 生活環境について〕

- 障害者とその家族が、障害を持っていることをマイナスと考えなくていいような生活ができる環境づくり。
- 高校卒業したら大人と同じ扱いになるのは辛いです。ユース中心の生活の場があってよいのではないかと思います。18~40 才くらいまでとそれ以上で、行き先に自由度がほしいです。短大のような機関、専門学校のようなところ、生活圏、高校の延長を希望する人が選べるようにしてほしいです。なぜ、一律に大人と同じになるのか。ぜひ疑問に思ってください。健常者の 18 才と障害者の 18 才ではそもそもちがいががあります。

### 〔⑥ 雇用・就労について〕

- 私が働いている会社でも、障害者雇用を何年も前から、積極的に行っていますが、そういう企業がどんどん増えていくといいなと思いました。
- 障害があっても、サポートを受けながら自立生活、就労できるよう訓練が受けられるような施策。支援を受けるだけでなく、障害者にも各々のペースで出来ることを増やす意識を持つことができる施策。小、中学生からでも希望する人は訓練を受けられるようにしてはどうか。

#### 〔⑦ 保育・療育・教育について〕

- 障害の度合いにより通える学級や学校を増やしてほしいです。知的障害ではありませんが、通常級で過ごして学習することが難しいため知的の学級に通っています。高校を卒業したあとは就労という選択肢だけでなく専門学校などの設置を杉並区でしてほしいです。障害がある方でも気兼ねなく過ごせる場所や習い事(例えばインクルーシブのスイミングスクールなど)の場所を増やしてほしいです。
- 共働きをしながら施設に通うためのサポート、例えば土日のサービス拡大や、託児の充実化。現在、幼稚園に通わせながら毎週金曜は療育、月末一回 AM に運動療育に行なっているため、仕事の量を減らさざるを得ず、自分のようにフリーランスで調整できる人は良いが、フルタイムでの通所は通いたくても厳しいと感じます。

#### 〔⑧ 将来の不安について〕

- 親亡き後も、安心して暮らせる施設と介護者の充実を切に望みます。
- 障害を抱えている子供がいても、将来安心して暮らせるという具体的な例を学校在学中に紹介していただいたり、先々の不安が少なくなっていくような(グループホーム、入所施設が希望すれば入居できる)いろいろな選択ができるとありがたいです。
- 学校卒業後の「18歳の壁」が今から不安です。放課後デイサービスの利用が出来なくなると、夕方以降に安全に過ごせる場所がなくなり、親は介護離職せざるを得ません。世帯収入や家族のQOLにも大きく影響します。制度の見直しや施設、支援の拡充について検討いただくとともに、「親なき後」の障がい者の暮らしを守れるような環境整備を強く望みます。

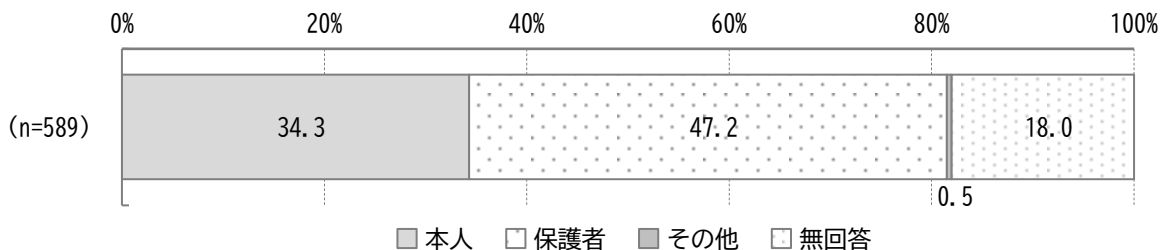
#### 〔⑨ その他〕

- 今のサービスに満足していますが、区のホームページを見てもわかりづらいので情報がスムーズにいきわたるようになると思います。
- 災害などが起きた時、避難所での生活などに不安があります。特に自閉症の人間は、変化に弱いので、心配もあり、他の方々にも迷惑をかけてしまいそうです。障害者家族だけの避難所があると大変安心です。

## (11) お子さんへの質問

問 49 このアンケートには、誰が答えていますか。

「本人」が34.3%、「保護者」が47.2%となっています。

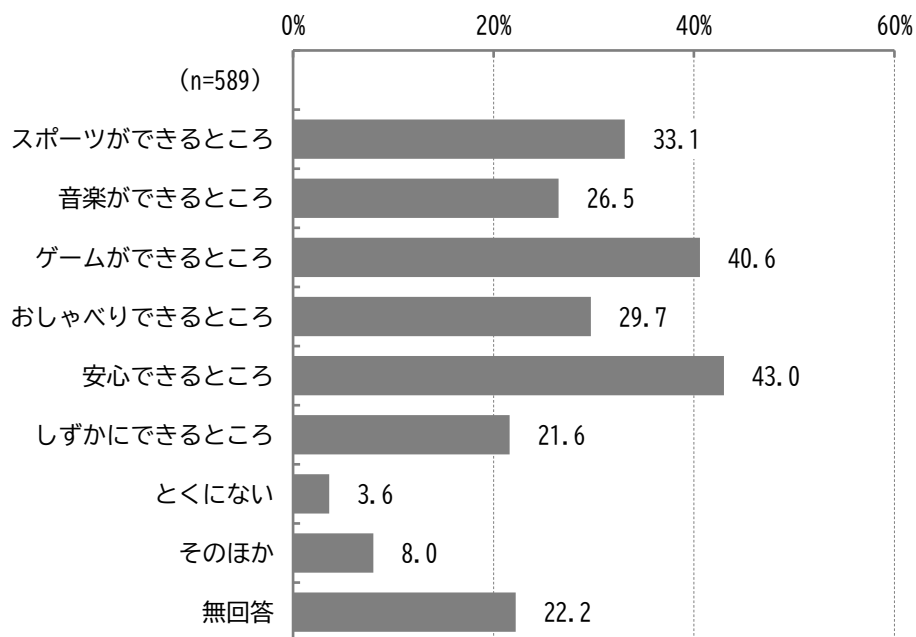


問 50 あなたが「こんなところすごしたいな」「こんなところがあるといいな」と思うところはどんなところですか。(〇はいくつでも)

「安心できる場所」が43.0%と最も多く、次いで「ゲームができる場所」が40.6%、「スポーツができる場所」が33.1%、「おしゃべりできる場所」が29.7%の順となっています。

年齢別にみると、6～11歳は「ゲームができる場所」、それ以外は「安心できる場所」が最も多くなっています。

障害別にみると、内部障害は「おしゃべりできる場所」、発達障害は「ゲームができる場所」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「安心できる場所」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

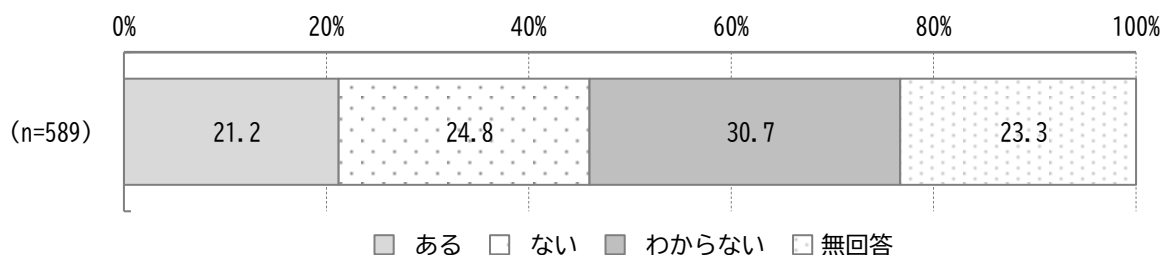
区分		回答者数 (件)	スポーツが できる ところ	音楽が できる ところ	ゲームが できる ところ	おしゃべりが できる ところ	安心できる ところ	つかえる ところ	よくない	その他	無回答
全体		589	33.1	26.5	40.6	29.7	43.0	21.6	3.6	8.0	22.2
年齢別	0～5歳	193	29.0	22.8	21.8	18.7	31.1	9.8	5.2	5.7	37.8
	6～11歳	262	37.8	24.4	51.5	34.4	46.9	28.2	3.4	9.9	14.1
	12～14歳	61	24.6	29.5	47.5	32.8	50.8	21.3	3.3	3.3	14.8
	15～17歳	72	34.7	40.3	44.4	38.9	52.8	27.8	0.0	9.7	16.7
障害種別	身体障害										
	視覚障害	35	25.7	31.4	20.0	28.6	34.3	11.4	5.7	11.4	48.6
	聴覚障害・平衡機能障害	29	27.6	24.1	34.5	17.2	48.3	27.6	10.3	6.9	20.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	27.8	25.0	22.2	19.4	36.1	11.1	0.0	5.6	47.2
	肢体不自由	110	27.3	33.6	21.8	23.6	40.0	10.9	2.7	5.5	32.7
	内部障害	26	46.2	34.6	38.5	50.0	42.3	26.9	0.0	3.8	23.1
	難病	49	26.5	38.8	18.4	26.5	40.8	10.2	2.0	2.0	42.9
	知的障害	171	32.2	30.4	30.4	24.0	39.2	17.5	2.3	7.6	29.2
	重度重複	24	25.0	45.8	8.3	12.5	50.0	16.7	4.2	8.3	33.3
	発達障害	270	35.6	22.2	53.7	35.2	47.0	28.1	3.3	9.3	15.6
	精神障害	4	0.0	0.0	50.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	75.0	75.0	25.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
診断を受けていない	85	38.8	23.5	30.6	24.7	40.0	14.1	7.1	11.8	23.5	
その他	47	25.5	23.4	23.4	25.5	38.3	8.5	2.1	2.1	42.6	

問 51 あなたは今までに、障害や病気などが理由でいやなことをされたり、いやな思いをしたことがありますか。(○は1つ)

「ある」が21.2%、「ない」が24.8%、「わからない」が30.7%となっています。

年齢別にみると、0～14歳は「わからない」、15～17歳は「ある」と「わからない」が最も多くなっています。

障害別にみると、視覚障害と難病、重度重複は「ある」、内部障害は「ない」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「わからない」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

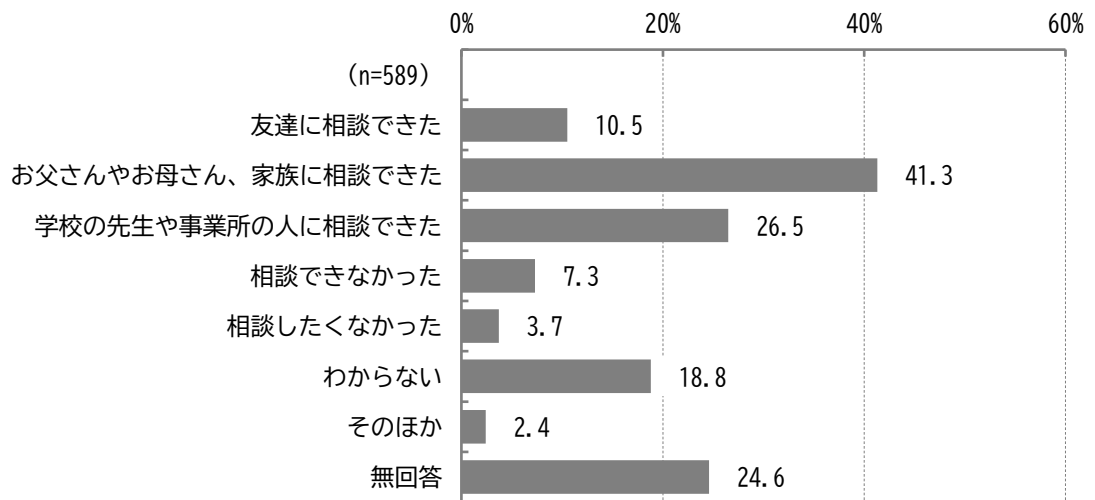
区分		回答者数 (件)	ある	ない	わからない	無回答
全体		589	21.2	24.8	30.7	23.3
年齢別	0～5歳	193	8.3	23.8	30.6	37.3
	6～11歳	262	26.7	26.7	30.2	16.4
	12～14歳	61	27.9	21.3	36.1	14.8
	15～17歳	72	29.2	23.6	29.2	18.1
障害種別	視覚障害	35	25.7	2.9	22.9	48.6
	聴覚障害・平衡機能障害	29	17.2	20.7	41.4	20.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	11.1	13.9	27.8	47.2
	肢体不自由	110	24.5	12.7	28.2	34.5
	内部障害	26	23.1	30.8	19.2	26.9
	難病	49	26.5	12.2	18.4	42.9
	知的障害	171	23.4	11.7	35.1	29.8
	重度重複	24	33.3	-	29.2	37.5
	発達障害	270	28.1	26.3	28.5	17.0
	精神障害	4	50.0	-	-	50.0
	高次脳機能障害（失語症を含む）	4	50.0	50.0	-	-
	診断を受けていない	85	4.7	36.5	37.6	21.2
その他	47	19.1	17.0	19.1	44.7	

問 52 困ったことやいやなことがあったとき、あなたは誰かに相談できましたか。(〇はいくつでも)

「お父さんやお母さん、家族に相談できた」が41.3%と最も多く、次いで「学校の先生や事業所の人に相談できた」が26.5%、「友達に相談できた」が10.5%の順となっており、「相談できなかった」は7.3%、「わからない」は18.8%となっています。

年齢別にみると、いずれも「お父さんやお母さん、家族に相談できた」が最も多くなっています。

障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害は「お父さんやお母さん、家族に相談できた」と「わからない」、肢体不自由と難病、重度重複は「わからない」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「お父さんやお母さん、家族に相談できた」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

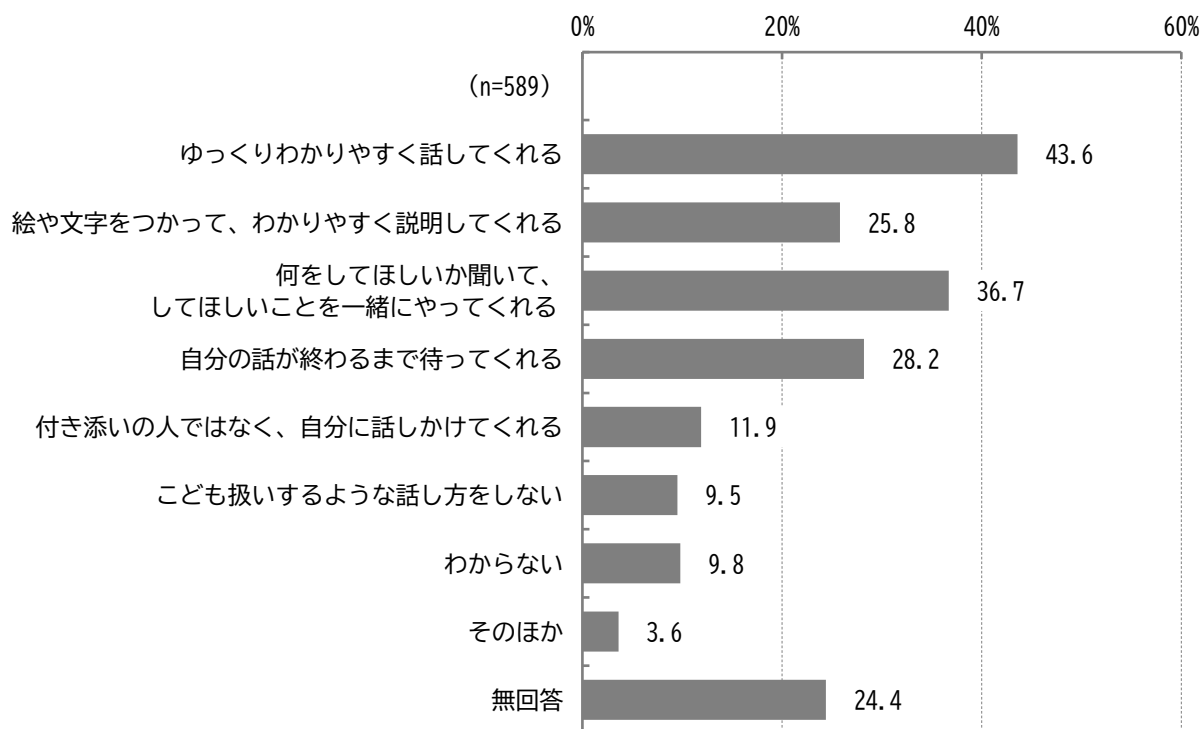
区分	回答者数 (件)	友達に相談できた	お父さんやお母さん、家族に相談できた	学校の先生や事業所の人に相談できた	相談できなかった	相談しなくなかった	わからない	そのほか	無回答	
全体	589	10.5	41.3	26.5	7.3	3.7	18.8	2.4	24.6	
年齢別	0～5歳	193	2.6	29.5	19.2	4.1	1.6	22.3	2.1	40.4
	6～11歳	262	12.6	47.3	29.0	8.8	5.7	17.2	2.3	16.4
	12～14歳	61	18.0	41.0	29.5	8.2	1.6	21.3	3.3	16.4
	15～17歳	72	18.1	51.4	34.7	9.7	2.8	13.9	2.8	19.4
障害種別	視覚障害	35	14.3	22.9	17.1	2.9	-	17.1	5.7	51.4
	聴覚障害・平衡機能障害	29	13.8	34.5	20.7	3.4	-	31.0	3.4	27.6
	音声・言語・そしゃく機能障害	36	2.8	19.4	13.9	8.3	-	19.4	2.8	50.0
	肢体不自由	110	8.2	24.5	10.9	6.4	2.7	25.5	3.6	38.2
	内部障害	26	15.4	38.5	23.1	7.7	3.8	11.5	7.7	26.9
	難病	49	4.1	18.4	16.3	6.1	2.0	28.6	-	46.9
	知的障害	171	5.3	29.2	18.7	9.4	1.8	23.4	4.7	31.0
	重度重複	24	-	8.3	4.2	8.3	-	41.7	-	41.7
	発達障害	270	12.6	50.4	31.1	9.6	5.2	14.1	1.1	17.4
	精神障害	4	25.0	75.0	50.0	-	25.0	-	-	25.0
	高次脳機能障害 (失語症を含む)	4	25.0	75.0	75.0	-	-	-	25.0	-
	診断を受けていない	85	8.2	40.0	28.2	3.5	2.4	24.7	2.4	23.5
その他	47	8.5	25.5	12.8	17.0	-	12.8	-	46.8	

問 53 話をするとき、相手がどんなふうにしてくれるとうれしいですか。(〇はいくつでも)

「ゆっくりわかりやすく話してくれる」が 43.6%と最も多く、次いで「何をしてほしいか聞いて、してほしいことを一緒にやってくれる」が 36.7%、「自分の話が終わるまで待ってくれる」が 28.2%、「絵や文字をつかって、わかりやすく説明してくれる」が 25.8%の順となっています。

年齢別にみると、0～5歳は「何をしてほしいか聞いて、してほしいことを一緒にやってくれる」、6～17歳は「ゆっくりわかりやすく話してくれる」が最も多くなっています。

障害別にみると、難病は「ゆっくりわかりやすく話してくれる」と「何をしてほしいか聞いて、してほしいことを一緒にやってくれる」、重度重複は「何をしてほしいか聞いて、してほしいことを一緒にやってくれる」、それ以外（精神障害、高次脳機能障害（失語症を含む）を除く）は「ゆっくりわかりやすく話してくれる」が最も多くなっています。



【年齢別・障害種別】

単位：%

区分		回答者数(件)	ゆっくりわかりやすく話してくれる	絵や文字をつかって、わかりやすく説明してくれる	何をしてもほしいか聞いて、してほしいことを一緒にやってくれる	自分の話が終わるまで待ってしてくれる	付き添いの人ではなく、自分に話しかけてくれる	ことも扱いするような話し方をしない	わからない	そのほか	無回答
全体		589	43.6	25.8	36.7	28.2	11.9	9.5	9.8	3.6	24.4
年齢別	0～5歳	193	26.4	16.1	27.5	16.1	5.2	2.6	15.0	2.1	41.5
	6～11歳	262	53.8	32.8	41.6	36.6	15.3	11.8	6.5	4.2	15.3
	12～14歳	61	45.9	27.9	44.3	32.8	9.8	14.8	4.9	4.9	14.8
	15～17歳	72	51.4	25.0	37.5	26.4	19.4	15.3	11.1	4.2	20.8
障害種別	身体障害	35	40.0	11.4	34.3	25.7	17.1	2.9	5.7	8.6	51.4
	視覚障害	29	55.2	37.9	31.0	24.1	20.7	6.9	10.3	13.8	24.1
	聴覚障害・平衡機能障害	36	30.6	16.7	25.0	22.2	13.9	2.8	2.8	5.6	50.0
	音声・言語・そしゃく機能障害	110	30.9	13.6	27.3	18.2	15.5	8.2	10.9	5.5	39.1
	肢体不自由	26	38.5	11.5	34.6	34.6	26.9	7.7	11.5	3.8	26.9
	内部障害	49	34.7	18.4	34.7	12.2	22.4	6.1	6.1	2.0	46.9
	難病	171	47.4	31.0	33.9	21.1	13.5	9.4	5.8	3.5	30.4
	知的障害	24	29.2	25.0	33.3	12.5	16.7	4.2	12.5	4.2	37.5
	重度重複	270	50.7	31.5	43.0	35.9	11.5	12.6	7.8	2.6	15.9
	発達障害	4	25.0	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	精神障害	4	75.0	50.0	100.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	高次脳機能障害(失語症を含む)	85	36.5	22.4	35.3	22.4	7.1	8.2	15.3	4.7	24.7
診断を受けていない	47	27.7	12.8	23.4	19.1	6.4	0.0	10.6	4.3	48.9	
その他											

### 3. 事業所

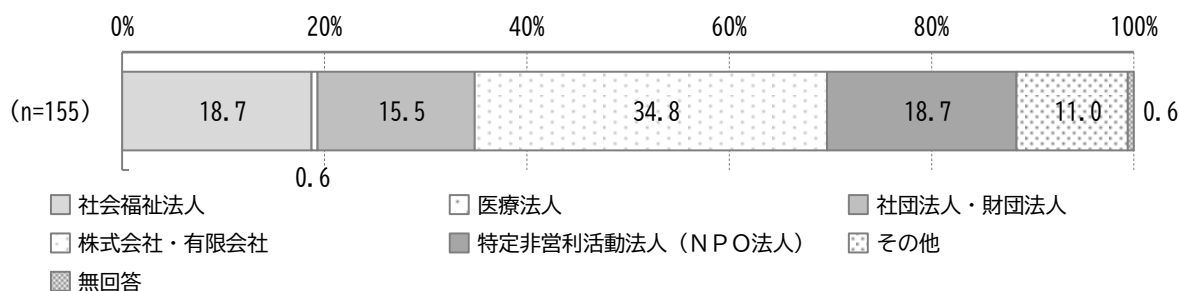
#### (1) 事業運営について

問1 貴事業所の運営主体の種別はどれにあたりますか。(○は1つ)

「株式会社・有限会社」が34.8%と最も多く、次いで「社会福祉法人」と「特定非営利活動法人（NPO法人）」が18.7%、「社団法人・財団法人」が15.5%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系と障害児系は「株式会社・有限会社」、居住系と日中活動系、相談支援系は「社会福祉法人」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5人未満は「社団法人・財団法人」、5～10人未満から10～20人未満は「株式会社・有限会社」、20～30人未満は「社会福祉法人」と「株式会社・有限会社」、30人以上は「社会福祉法人」が最も多くなっています。



#### 【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	社会福祉法人	医療法人	社団法人・財団法人	株式会社・有限会社	特定非営利活動法人（NPO法人）	その他	無回答
全体	155	18.7	0.6	15.5	34.8	18.7	11.0	0.6
訪問系	44	6.8	-	2.3	65.9	9.1	13.6	2.3
居住系	30	36.7	-	16.7	10.0	26.7	6.7	3.3
日中活動系	36	33.3	-	13.9	16.7	27.8	8.3	-
障害児系	39	10.3	-	20.5	43.6	12.8	12.8	-
相談支援系	25	24.0	4.0	20.0	12.0	16.0	20.0	4.0

#### 【職員数別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	社会福祉法人	医療法人	社団法人・財団法人	株式会社・有限会社	特定非営利活動法人（NPO法人）	その他	無回答
全体	155	18.7	0.6	15.5	34.8	18.7	11.0	0.6
5人未満	26	26.9	-	30.8	11.5	23.1	7.7	-
5～10人未満	54	9.3	1.9	16.7	38.9	16.7	16.7	-
10～20人未満	47	12.8	-	10.6	51.1	19.1	6.4	-
20～30人未満	17	29.4	-	11.8	29.4	17.6	11.8	-
30人以上	11	54.5	-	-	9.1	18.2	9.1	9.1

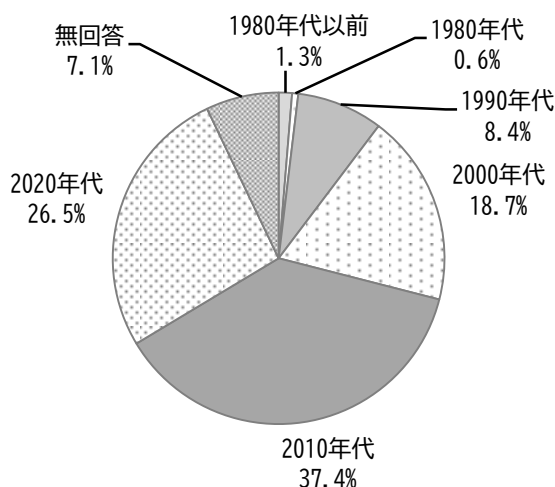
問2 貴事業所の開業年をご記入ください。

「2010年代」に開所した事業所が37.4%と最も多く、2000年以降に開所した事業所が全体の8割以上を占めています。

提供サービス別にみると、訪問系、相談支援系は「2010年代」、日中活動系は「1990年代」、「2010年代」、障害児系は「2020年代」に開所した事業所が多くなっています。

職員数別にみると、30人以上は「2000年代」に開所した事業所、それ以外は「2010年代」に開所した事業所が最も多くなっています。

(n=155)



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	1980年代以前	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2020年代	無回答
全体	155	1.3	0.6	8.4	18.7	37.4	26.5	7.1
訪問系	44	-	-	2.3	34.1	43.2	18.2	2.3
居住系	30	-	-	3.3	30.0	26.7	23.3	16.7
日中活動系	36	5.6	2.8	25.0	19.4	25.0	16.7	5.6
障害児系	39	-	-	5.1	5.1	38.5	43.6	7.7
相談支援系	25	-	-	4.0	16.0	68.0	12.0	-

【職員数別】

単位：%

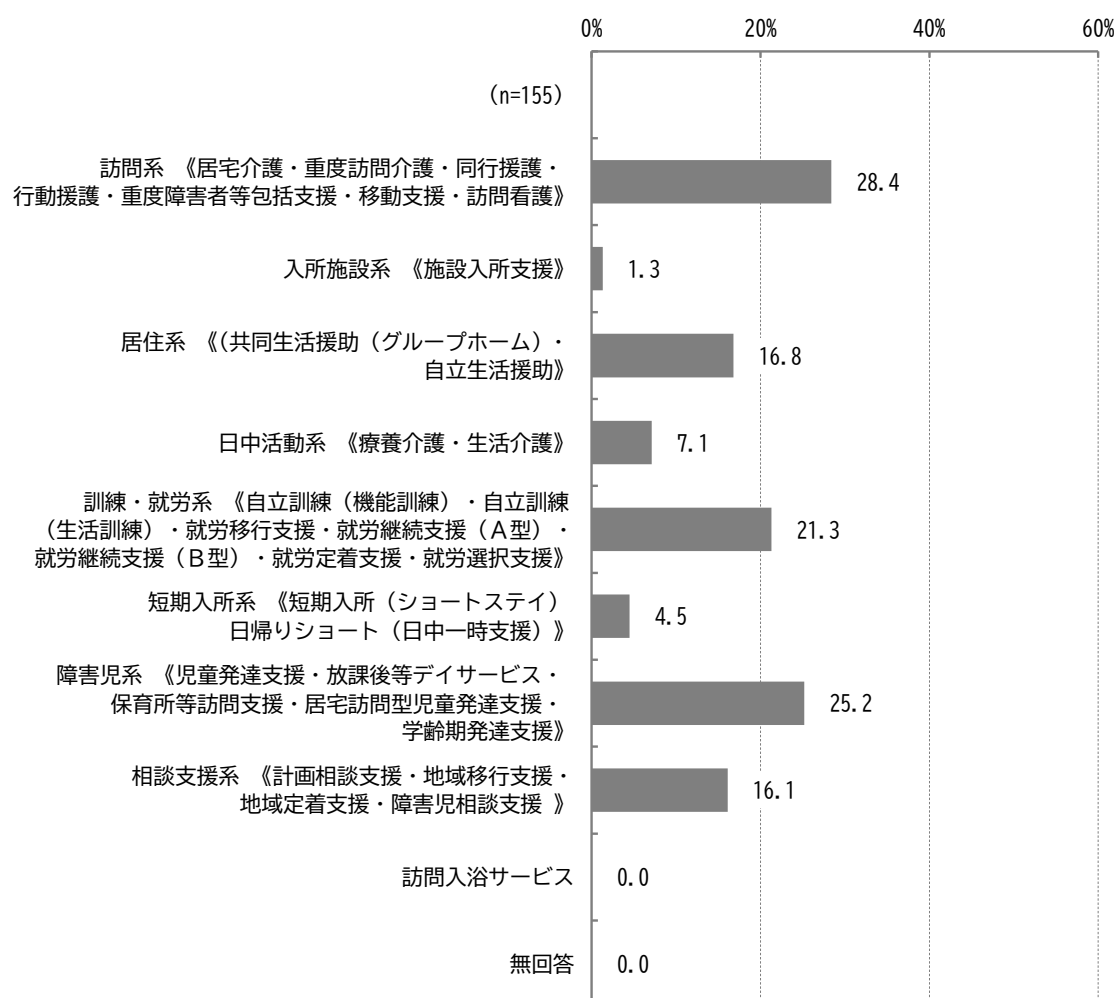
区分	回答者数 (件)	1980年代以前	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2020年代	無回答
全体	155	1.3	0.6	8.4	18.7	37.4	26.5	7.1
5人未満	26	-	-	7.7	11.5	46.2	26.9	7.7
5～10人未満	54	-	-	9.3	14.8	35.2	31.5	9.3
10～20人未満	47	-	-	2.1	23.4	38.3	31.9	4.3
20～30人未満	17	5.9	5.9	11.8	17.6	35.3	11.8	11.8
30人以上	11	9.1	-	27.3	36.4	27.3	-	-

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、相談支援、児童福祉法に基づく障害児サービス等はどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

「訪問系《居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・重度障害者等包括支援・移動支援・訪問看護》」が28.4%と最も多く、次いで「障害児系《児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援・学齢期発達支援》」が25.2%、「訓練・就労系《自立訓練（機能訓練）・自立訓練（生活訓練）・就労移行支援・就労継続支援（A型）・就労継続支援（B型）・就労定着支援・就労選択支援》」が21.3%、「居住系《（共同生活援助（グループホーム）・自立生活援助）》」が16.8%の順となっています。

利用者の障害別にみると、重度重複障害と肢体不自由は「訪問系」、知的障害と発達障害は「障害児系」、精神障害は「訓練・就労系」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5人未満は「相談支援系」、5～10人未満は「訓練・就労系」、10～20人未満と20～30人未満は「訪問系」、30人以上は「居住系」が最も多くなっています。



【障害別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	訪問系	入所施設系	居住系	日中活動系	訓練・就労系	短期入所系	障害児系	相談支援系	無回答
全体	151	28.5	1.3	15.9	7.3	21.9	4.6	24.5	15.9	-
重度重複障害	16	50.0	6.3	6.3	18.8	12.5	6.3	18.8	12.5	-
視覚障害	6	66.7	-	-	-	16.7	-	-	16.7	-
聴覚障害・平衡機能障害	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-
肢体不自由	22	45.5	-	4.5	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	-
内部障害	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	87.5	-	12.5	-	-	-	-	25.0	-
知的障害	87	25.3	1.1	20.7	9.2	19.5	5.7	29.9	13.8	-
精神障害	54	29.6	-	14.8	1.9	38.9	-	5.6	18.5	-
発達障害	44	9.1	-	11.4	2.3	15.9	2.3	54.5	15.9	-
高次脳機能障害	3	-	-	-	-	100.0	-	-	33.3	-
その他	5	40.0	-	20.0	-	-	20.0	-	40.0	-

【職員数別】

単位：％

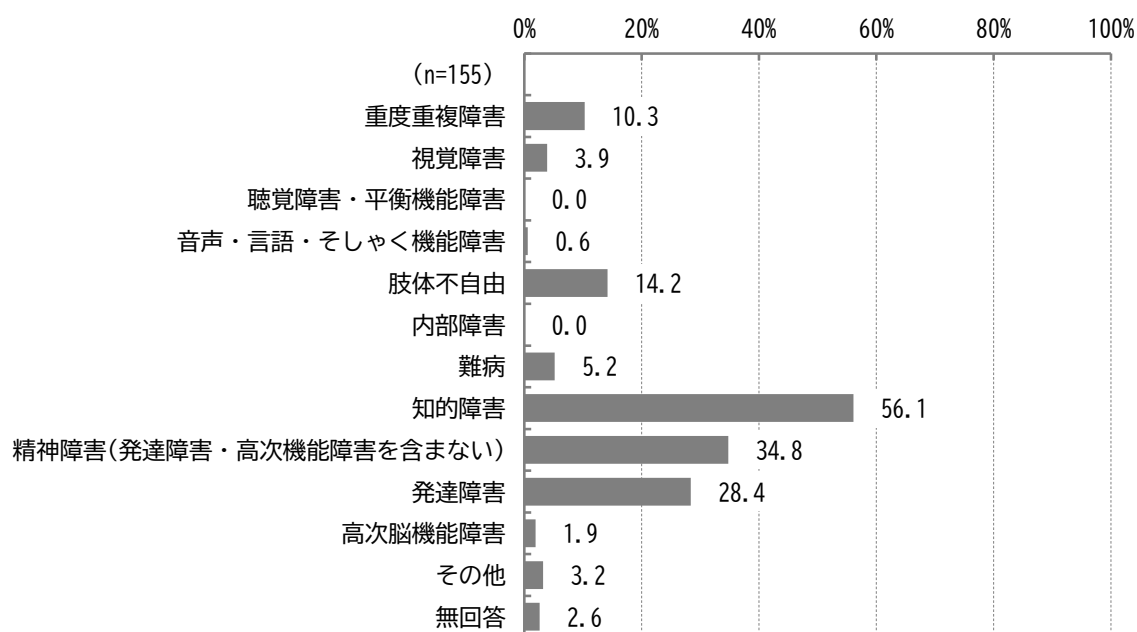
区分	回答者数 (件)	訪問系	入所施設系	居住系	日中活動系	訓練・就労系	短期入所系	障害児系	相談支援系	無回答
全体	155	28.4	1.3	16.8	7.1	21.3	4.5	25.2	16.1	-
5人未満	26	15.4	-	26.9	3.8	15.4	3.8	7.7	57.7	-
5～10人未満	54	22.2	-	14.8	1.9	29.6	5.6	22.2	5.6	-
10～20人未満	47	40.4	-	8.5	2.1	8.5	2.1	38.3	8.5	-
20～30人未満	17	35.3	5.9	11.8	23.5	29.4	5.9	29.4	5.9	-
30人以上	11	27.3	9.1	45.5	36.4	36.4	9.1	18.2	18.2	-

問4 貴事業所でサービスを提供している利用者の主な障害はどれにあたりますか。(○は2つまで)

「知的障害」が56.1%と最も多く、次いで「精神障害」が34.8%、「発達障害」が28.4%、「肢体不自由」が14.2%の順となっています。

提供サービス別にみると、日中活動系は「精神障害」、それ以外は「知的障害」が最も多く、次いで訪問系、居住系、相談支援系は「精神障害」、日中活動系は「知的障害」、障害児系は「発達障害」が多くなっています。

職員数別にみると、いずれも「知的障害」が最も多く、次いで「精神障害」となっていますが、20～30人未満は「重度重複障害」も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	重度重複障害	視覚障害	聴覚障害・ 平衡機能障害	音声・言語・そ しゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	難病	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	無回答
全体	155	10.3	3.9	-	0.6	14.2	-	5.2	56.1	34.8	28.4	1.9	3.2	2.6
訪問系	44	18.2	9.1	-	-	22.7	-	15.9	50.0	36.4	9.1	-	4.5	2.3
居住系	30	6.7	-	-	-	10.0	-	3.3	66.7	26.7	16.7	-	6.7	6.7
日中活動系	36	11.1	2.8	-	2.8	8.3	-	-	50.0	61.1	19.4	8.3	-	-
障害児系	39	7.7	-	-	-	10.3	-	-	66.7	7.7	61.5	-	-	5.1
相談支援系	25	8.0	4.0	-	4.0	8.0	-	8.0	48.0	40.0	28.0	4.0	8.0	4.0

【職員数別】

単位：％

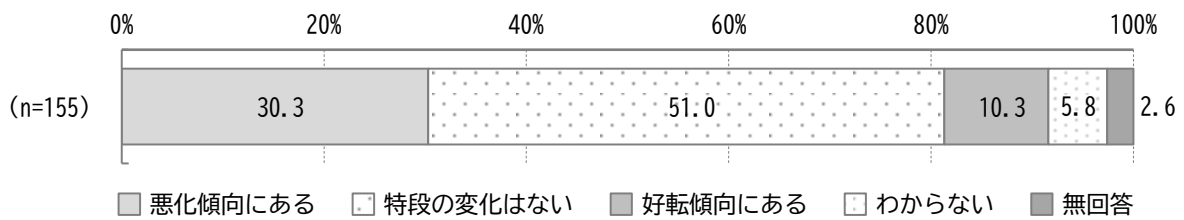
区分	回答者数(件)	重度重複障害	視覚障害	聴覚障害・ 平衡機能障害	音声・言語・そ しゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	難病	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	無回答
全体	155	10.3	3.9	-	0.6	14.2	-	5.2	56.1	34.8	28.4	1.9	3.2	2.6
5人未満	26	7.7	3.8	-	3.8	7.7	-	-	53.8	46.2	30.8	3.8	-	3.8
5～10人未満	54	5.6	3.7	-	-	16.7	-	1.9	61.1	44.4	35.2	3.7	3.7	-
10～20人未満	47	8.5	4.3	-	-	14.9	-	12.8	46.8	31.9	25.5	-	6.4	4.3
20～30人未満	17	41.2	-	-	-	23.5	-	5.9	52.9	11.8	23.5	-	-	-
30人以上	11	-	9.1	-	-	-	-	-	81.8	9.1	9.1	-	-	9.1

問5 貴事業所の現在の経営状況はどれにあたりますか。(○は1つ)

「特段の変化はない」と回答した事業所が 51.0%と半数以上を占め、「悪化傾向にある」が 30.3%、「好転傾向にある」が 10.3%となっています。

提供サービス別にみると、いずれの業種も「悪化傾向にある」と回答した事業所の割合が大きくなっています。

職員数別にみると、いずれも「悪化傾向にある」と回答した割合が大きくなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	悪化傾向にある	特段の変化はない	好転傾向にある	わからない	無回答
全体	155	30.3	51.0	10.3	5.8	2.6
訪問系	44	38.6	45.5	4.5	6.8	4.5
居住系	30	26.7	66.7	3.3	-	3.3
日中活動系	36	33.3	50.0	13.9	2.8	-
障害児系	39	23.1	48.7	15.4	7.7	5.1
相談支援系	25	32.0	44.0	8.0	8.0	8.0

【職員数別】

単位：%

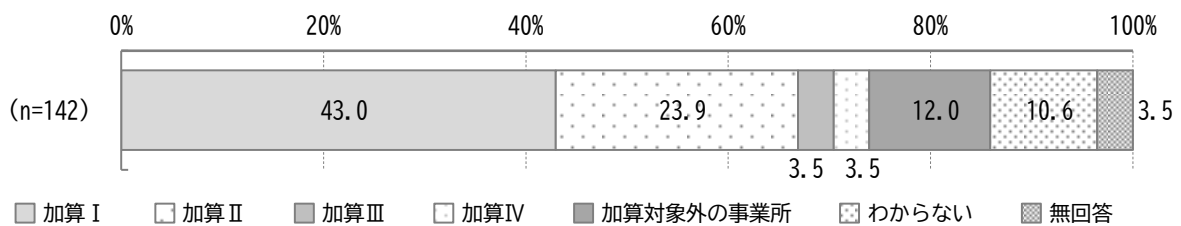
区分	回答者数 (件)	悪化傾向にある	特段の変化はない	好転傾向にある	わからない	無回答
全体	155	30.3	51.0	10.3	5.8	2.6
5人未満	26	34.6	50.0	11.5	3.8	-
5～10人未満	54	27.8	51.9	9.3	11.1	-
10～20人未満	47	31.9	48.9	10.6	2.1	6.4
20～30人未満	17	29.4	52.9	11.8	5.9	-
30人以上	11	27.3	54.5	9.1	-	9.1

問6 貴事業所の、福祉・介護職員等処遇改善加算の算定状況はどれにあたりますか。(○は1つ)

「加算Ⅰ」が43.0%と最も多く、次いで「加算Ⅱ」が23.9%、「加算対象外の事業所」が12.0%の順となっています(調査時点では、相談支援系は福祉・介護職員等処遇改善加算の対象外であったため、本調査における集計には含めていません)。

提供サービス別にみると、居住系と日中活動系、障害児系は「加算Ⅰ」、訪問系は「加算Ⅱ」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5人未満は「加算Ⅰ」と「わからない」、30人以上は「加算Ⅰ」と「加算Ⅱ」、それ以外は「加算Ⅰ」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	加算Ⅰ	加算Ⅱ	加算Ⅲ	加算Ⅳ	加算対象外の事業所	わからない	無回答
全体	142	43.0	23.9	3.5	3.5	12.0	10.6	3.5
訪問系	44	22.7	45.5	4.5	4.5	20.5	-	2.3
居住系	30	50.0	10.0	3.3	6.7	13.3	10.0	6.7
日中活動系	36	55.6	8.3	2.8	5.6	5.6	22.2	-
障害児系	39	43.6	28.2	2.6	2.6	5.1	12.8	5.1

【職員数別】

単位：%

区分	回答者数(件)	加算Ⅰ	加算Ⅱ	加算Ⅲ	加算Ⅳ	加算対象外の事業所	わからない	無回答
全体	142	43.0	23.9	3.5	3.5	12.0	10.6	3.5
5人未満	16	25.0	12.5	-	-	18.8	25.0	18.8
5~10人未満	51	47.1	23.5	5.9	2.0	9.8	11.8	-
10~20人未満	47	42.6	25.5	4.3	4.3	12.8	6.4	4.3
20~30人未満	17	52.9	23.5	-	5.9	11.8	5.9	-
30人以上	11	36.4	36.4	-	9.1	9.1	9.1	-

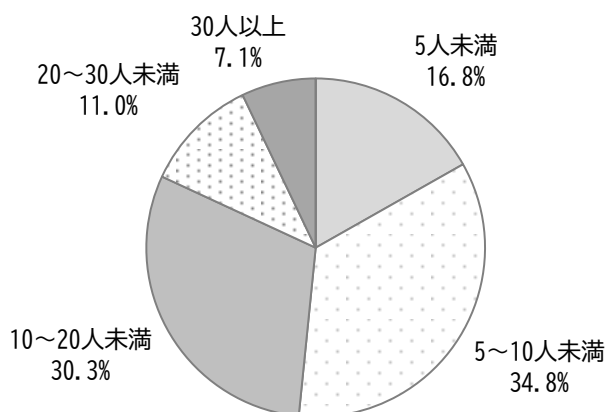
問7 貴事業所の令和7年10月1日時点の職員数をご記入ください。

### 職員数（全体）

「5～10人未満」が34.8%と最も多く、次いで「10～20人未満」が30.3%、「5人未満」が16.8%、「20～30人未満」が11.0%の順となっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「5人未満」、居住系と日中活動系は「5～10人未満」、訪問系と障害児系は「10～20人未満」が最も多くなっています。

(n=155)



### 【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	5人未満	5～10人 未満	10～20人 未満	20～30人 未満	30人以上	無回答
全体	155	16.8	34.8	30.3	11.0	7.1	-
訪問系	44	9.1	27.3	43.2	13.6	6.8	-
居住系	30	23.3	33.3	16.7	10.0	16.7	-
日中活動系	36	11.1	47.2	13.9	16.7	11.1	-
障害児系	39	5.1	30.8	46.2	12.8	5.1	-
相談支援系	25	60.0	12.0	16.0	4.0	8.0	-

問8 職員の内訳を、①雇用形態別 ②勤務時間別 ③経験年数別でご記入ください。  
いずれも問7の合計数と同じになります。

### ①正規職員の割合

事業所職員に占める正規職員の割合は「20%以上 40%未満」が25.2%と最も多くなっています。

日中活動系、相談支援系は「80%以上」、訪問系と障害児系は「20%以上 40%未満」、居住系は「20%以上 40%未満」と「40%以上 60%未満」、「80%以上」が同率で最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	20%未満	20%以上 40%未満	40%以上 60%未満	60%以上 80%未満	80%以上	無回答
全体	155	14.8	25.2	18.7	14.8	23.9	2.6
訪問系	44	25.0	40.9	9.1	18.2	4.5	2.3
居住系	30	20.0	23.3	23.3	10.0	23.3	-
日中活動系	36	5.6	8.3	27.8	19.4	38.9	-
障害児系	39	12.8	30.8	23.1	10.3	17.9	5.1
相談支援系	25	12.0	8.0	20.0	20.0	36.0	4.0

### ②週20時間以上勤務職員の割合

事業所職員に占める週20時間以上勤務職員の割合は「80%以上」が32.3%と最も多くなっています。

居住系、日中活動系、相談支援系は「80%以上」、訪問系は「20%未満」が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	20%未満	20%以上 40%未満	40%以上 60%未満	60%以上 80%未満	80%以上	無回答
全体	155	21.3	8.4	11.6	20.0	32.3	6.5
訪問系	44	31.8	6.8	11.4	25.0	15.9	9.1
居住系	30	20.0	-	6.7	20.0	40.0	13.3
日中活動系	36	16.7	2.8	-	22.2	55.6	2.8
障害児系	39	20.5	20.5	20.5	17.9	15.4	5.1
相談支援系	25	28.0	8.0	12.0	8.0	36.0	8.0

### ③障害分野勤務経験5年以上の職員の割合

障害分野で勤務した通算年数が5年以上の職員の割合は「80%以上」が31.6%と最も多くなっています。

訪問系と日中活動系、相談支援系が「80%以上」、居住系が「60%以上 80%未満」、障害児系が「40%以上 60%未満」が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	20%未満	20%以上 40%未満	40%以上 60%未満	60%以上 80%未満	80%以上	無回答
全体	155	12.9	14.2	15.5	21.9	31.6	3.9
訪問系	44	9.1	6.8	18.2	22.7	36.4	6.8
居住系	30	16.7	23.3	-	33.3	26.7	-
日中活動系	36	13.9	16.7	13.9	13.9	38.9	2.8
障害児系	39	10.3	20.5	30.8	20.5	12.8	5.1
相談支援系	25	16.0	8.0	-	16.0	52.0	8.0

## (2) 人材確保・育成・定着の取組について

問9 貴事業所の令和6年4月1日以降の採用者数と退職者数をご記入ください。

### ①採用者（経験者）

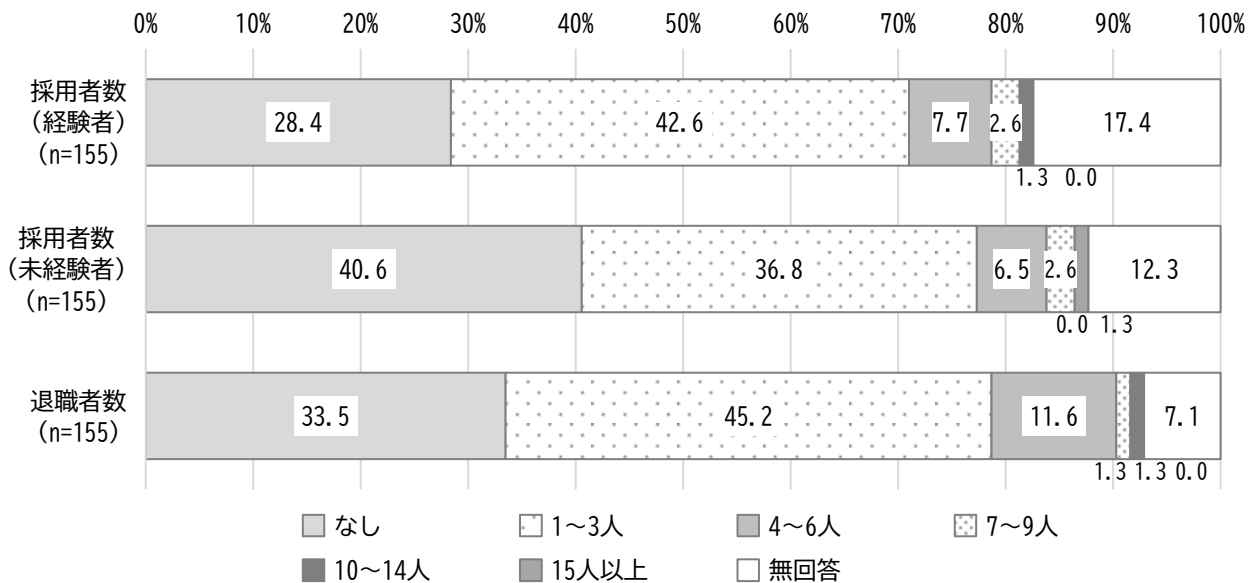
経験者の採用者は「1～3人」が42.6%と最も多く、次いで「なし」が28.4%、「4～6人」が7.7%の順となっています。

### ②採用者（未経験者）

未経験者の採用者は「なし」が40.6%と最も多く、次いで「1～3人」が36.8%、「4～6人」が6.5%の順となっています。

### ③退職者数

退職者数は「1～3人」が45.2%と最も多く、次いで「なし」が33.5%、「4～6人」が11.6%の順となっています。



【提供サービス別 採用者数（経験者＋未経験者）】

提供サービス別にみると、訪問系と相談支援系は「なし」、居住系と障害児系は「1～3人」、日中活動系は「4～6人」が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	なし	1～3人	4～6人	7～9人	10～14人	15人以上	無回答
全体	155	23.2	24.5	17.4	7.7	1.9	2.6	22.6
訪問系	44	34.1	31.8	11.4	4.5	2.3	4.5	11.4
居住系	30	10.0	30.0	13.3	16.7	3.3	6.7	20.0
日中活動系	36	22.2	13.9	27.8	8.3	-	2.8	25.0
障害児系	39	10.3	25.6	20.5	7.7	2.6	-	33.3
相談支援系	25	40.0	20.0	8.0	8.0	-	-	24.0

【提供サービス別 退職者数】

提供サービス別にみると、相談支援系は「なし」、それ以外は「1～3人」が最も多くなっています。

単位：%

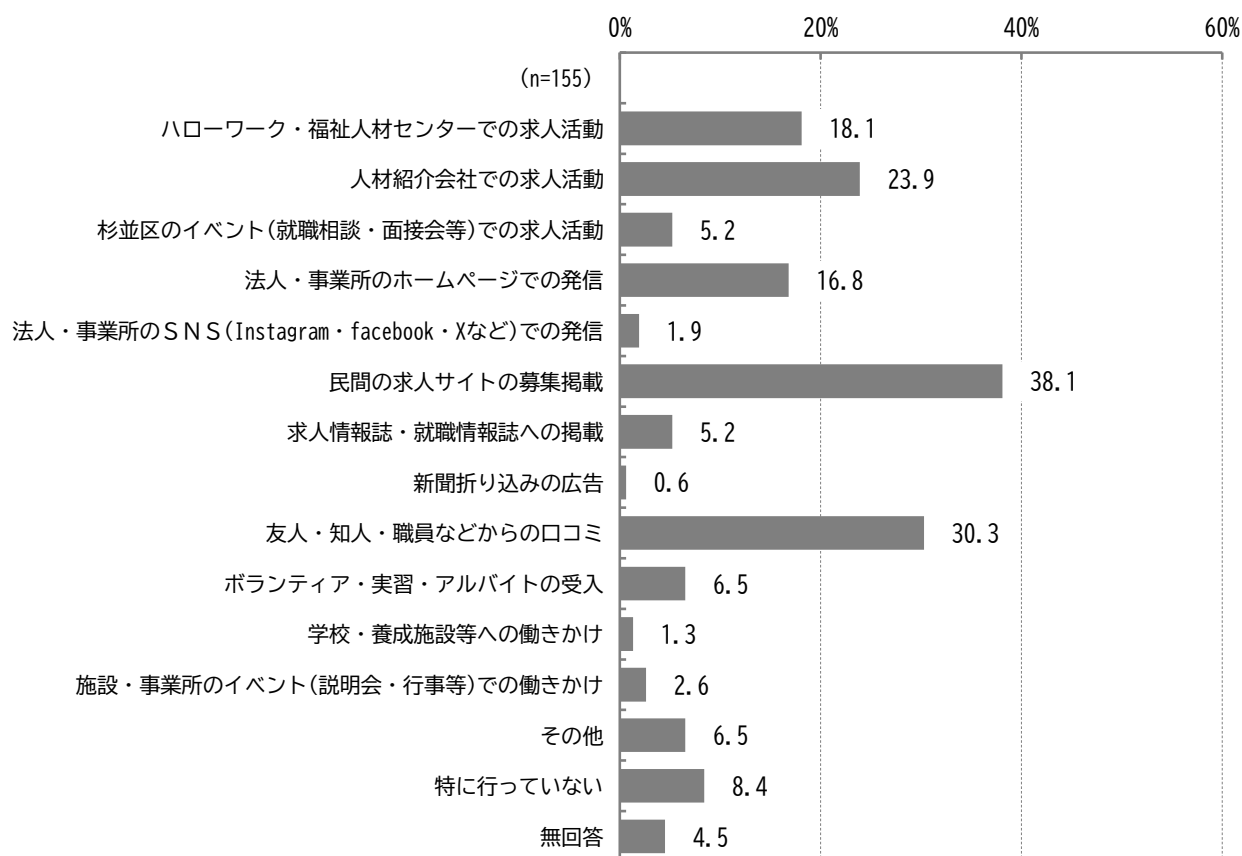
区分	回答者数 (件)	なし	1～3人	4～6人	7～9人	10～14人	15人以上	無回答
全体	155	33.5	45.2	11.6	1.3	1.3	-	7.1
訪問系	44	29.5	59.1	4.5	2.3	-	-	4.5
居住系	30	26.7	36.7	26.7	-	3.3	-	6.7
日中活動系	36	36.1	38.9	22.2	-	2.8	-	-
障害児系	39	20.5	53.8	7.7	2.6	-	-	15.4
相談支援系	25	56.0	24.0	12.0	-	-	-	8.0

問 10 貴事業所で、採用にあたり効果的だった取組はどれですか。(〇は3つまで)

「民間の求人サイトの募集掲載」が38.1%と最も多く、次いで「友人・知人・職員などからの口コミ」が30.3%、「人材紹介会社での求人活動」が23.9%、「ハローワーク・福祉人材センターでの求人活動」が18.1%の順となっています。

提供サービス別にみると、居住系と日中活動系、障害児系は「民間の求人サイトの募集掲載」、訪問系と相談支援系は「友人・知人・職員などからの口コミ」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5人未満は「友人・知人・職員などからの口コミ」、20～30人未満は「民間の求人サイトの募集掲載」と「友人・知人・職員などからの口コミ」、それ以外は「民間の求人サイトの募集掲載」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	ハローワーク・福祉人材センターでの求人活動	人材紹介会社での求人活動	杉並区のイベント(就職相談・面接会等)での求人活動	法人・事業所のホームページでの発信	S 法人・事業所のSNSでの発信	民間の求人サイトの募集掲載	求人情報誌・就職情報誌への掲載	新聞折り込みの広告	友人・知人・職員などからの口コミ
全体	155	18.1	23.9	5.2	16.8	1.9	38.1	5.2	0.6	30.3
訪問系	44	22.7	34.1	11.4	20.5	4.5	20.5	2.3	-	38.6
居住系	30	6.7	13.3	-	13.3	-	53.3	3.3	-	36.7
日中活動系	36	33.3	22.2	5.6	19.4	-	38.9	8.3	2.8	22.2
障害児系	39	7.7	20.5	-	20.5	2.6	61.5	7.7	-	23.1
相談支援系	25	20.0	16.0	8.0	16.0	-	16.0	-	-	32.0
区分	回答者数(件)	ボランティア・実習・アルバイトの受け付け	学校・養成施設等への働きかけ	施設・事業所のイベント(説明会・行事等)での働きかけ	その他	特に行っていない	無回答			
全体	6.5	1.3	2.6	6.5	8.4	4.5				
訪問系	-	-	4.5	9.1	6.8	2.3				
居住系	-	-	-	13.3	10.0	3.3				
日中活動系	11.1	2.8	-	5.6	5.6	2.8				
障害児系	12.8	2.6	5.1	-	2.6	7.7				
相談支援系	4.0	-	-	8.0	24.0	8.0				

【職員数別】

単位：％

区分	回答者数(件)	ハローワーク・福祉人材センターでの求人活動	人材紹介会社での求人活動	杉並区のイベント(就職相談・面接会等)での求人活動	法人・事業所のホームページでの発信	S 法人・事業所のSNSでの発信	民間の求人サイトの募集掲載	求人情報誌・就職情報誌への掲載	新聞折り込みの広告	友人・知人・職員などからの口コミ
全体	155	18.1	23.9	5.2	16.8	1.9	38.1	5.2	0.6	30.3
5人未満	26	23.1	23.1	7.7	11.5	-	19.2	-	-	26.9
5～10人未満	54	18.5	22.2	-	11.1	1.9	31.5	3.7	-	24.1
10～20人未満	47	14.9	25.5	4.3	19.1	4.3	44.7	6.4	-	29.8
20～30人未満	17	23.5	29.4	5.9	35.3	-	47.1	5.9	-	47.1
30人以上	11	9.1	18.2	27.3	18.2	-	72.7	18.2	9.1	45.5
区分	回答者数(件)	ボランティア・実習・アルバイトの受け付け	学校・養成施設等への働きかけ	施設・事業所のイベント(説明会・行事等)での働きかけ	その他	特に行っていない	無回答			
全体	6.5	1.3	2.6	6.5	8.4	4.5				
5人未満	3.8	-	-	3.8	23.1	3.8				
5～10人未満	1.9	1.9	1.9	11.1	7.4	5.6				
10～20人未満	14.9	2.1	2.1	4.3	6.4	4.3				
20～30人未満	5.9	-	11.8	5.9	-	5.9				
30人以上	-	-	-	-	-	-				

問 11 貴事業所の職員の定着率はどれにあたりますか。(〇は1つ)

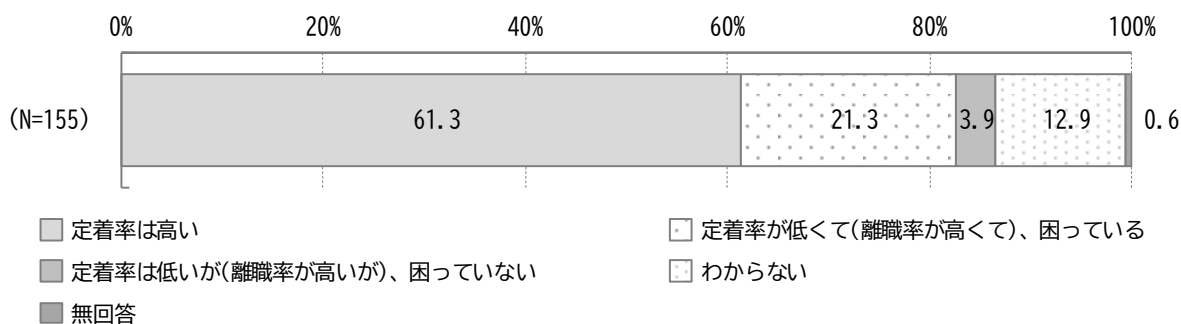
「定着率が高い」が61.3%と最も多く、次いで「定着率が低くて(離職率が高くて)、困っている」が21.3%、「わからない」が12.9%、「定着率は低い(離職率が高い)、困っていない」が3.9%の順となっています。

提供サービス別にみると、いずれも「定着率が高い」が最も多くなっています。

職員数別にみると、いずれも「定着率が高い」が最も多くなっています。

障害別にみると、難病は「定着率が低くて(離職率が高くて)、困っている」、それ以外は「定着率が高い」が最も多くなっています。

経営状況別にみると、いずれも「定着率が高い」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	定着率が高い	定着率が低くて(離職率が高くて)、困っている	定着率は低い(離職率が高い)、困っていない	わからない	無回答
全体	155	61.3	21.3	3.9	12.9	0.6
訪問系	44	70.5	18.2	4.5	6.8	-
居住系	30	56.7	26.7	3.3	10.0	3.3
日中活動系	36	55.6	22.2	8.3	13.9	-
障害児系	39	59.0	25.6	5.1	10.3	-
相談支援系	25	52.0	20.0	-	24.0	4.0

### 【職員数別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	定着率は 高い	定着率が低く て(離職率が高 くて)、困って いる	定着率は低い が(離職率が高 いが)、困って いない	わからない	無回答
全体	155	61.3	21.3	3.9	12.9	0.6
5人未満	26	50.0	19.2	3.8	23.1	3.8
5～10人未満	54	64.8	18.5	3.7	13.0	-
10～20人未満	47	63.8	23.4	2.1	10.6	-
20～30人未満	17	70.6	23.5	5.9	-	-
30人以上	11	45.5	27.3	9.1	18.2	-

### 【障害別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	定着率は 高い	定着率が低く て(離職率が高 くて)、困って いる	定着率は低い が(離職率が高 いが)、困って いない	わからない	無回答
全体	155	61.3	21.3	3.9	12.9	0.6
重度重複障害	16	75.0	18.8	-	6.3	-
視覚障害	6	83.3	16.7	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	100.0	-	-	-	-
肢体不自由	22	63.6	22.7	4.5	9.1	-
内部障害	-	-	-	-	-	-
難病	8	50.0	50.0	-	-	-
知的障害	87	58.6	21.8	3.4	14.9	1.1
精神障害	54	63.0	16.7	5.6	13.0	1.9
発達障害	44	56.8	25.0	4.5	13.6	-
高次脳機能障害	3	100.0	-	-	-	-
その他	5	80.0	20.0	-	-	-

### 【経営状況別】

単位：％

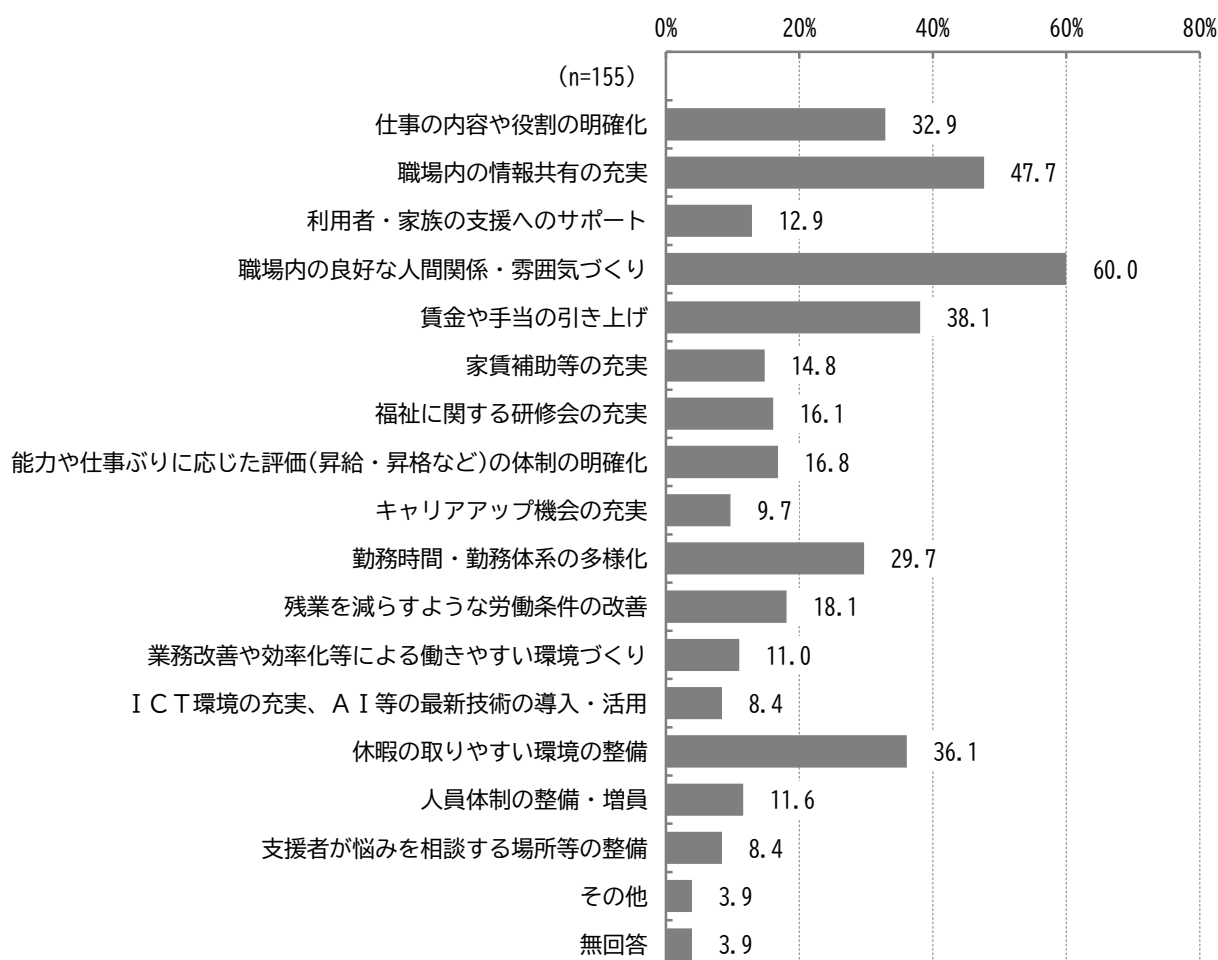
区分	回答者数 (件)	定着率は 高い	定着率が低く て(離職率が高 くて)、困って いる	定着率は低い が(離職率が高 いが)、困って いない	わからない	無回答
全体	155	61.3	21.3	3.9	12.9	0.6
悪化傾向にある	47	57.4	27.7	4.3	10.6	-
特段の変化はない	79	63.3	16.5	5.1	13.9	1.3
好転傾向にある	16	68.8	18.8	-	12.5	-
わからない	9	66.7	22.2	-	11.1	-

問 12 貴事業所で、職員の早期離職防止や定着促進を図るために行った効果的な取組はどれですか。  
(〇は5つまで)

「職場内の良好な人間関係・雰囲気づくり」が60.0%と最も多く、次いで「職場内の情報共有の充実」が47.7%、「賃金や手当の引き上げ」が38.1%、「休暇の取りやすい環境の整備」が36.1%の順となっています。

提供サービス別にみると、同様の傾向がみとれ、日中活動系は「休暇の取りやすい環境の整備」の割合が他の業種と比べて高くなっています。

職員数別にみると、いずれも「職場内の良好な人間関係・雰囲気づくり」が最も多く、それ以外に5～10人未満は「職場内の情報共有の充実」、20～30人未満は「賃金や手当の引き上げ」、30人以上は「職場内の情報共有の充実」、「勤務時間・勤務体系の多様化」、「休暇の取りやすい環境の整備」も同率で最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事の内容や役割の明確化	職場内の情報共有の充実	利用者・家族の支援へのサポート	職場内の良好な人間関係・雰囲気づくり	賃金や手当の引き上げ	家賃補助等の充実	福祉に関する研修会の充実	能力や仕事ぶりに応じた評価(昇給・昇格など)の体制の明確化	キャリアアップ機会の充実
全体	155	32.9	47.7	12.9	60.0	38.1	14.8	16.1	16.8	9.7
訪問系	44	31.8	47.7	18.2	59.1	40.9	20.5	20.5	22.7	15.9
居住系	30	30.0	46.7	13.3	53.3	50.0	20.0	10.0	3.3	10.0
日中活動系	36	22.2	44.4	2.8	61.1	36.1	11.1	13.9	11.1	8.3
障害児系	39	35.9	51.3	7.7	69.2	35.9	17.9	17.9	23.1	7.7
相談支援系	25	36.0	40.0	28.0	40.0	20.0	8.0	20.0	20.0	-
区分	勤務時間・勤務体系の多様化	残業を減らすような労働条件の改善	業務改善や効率化等による働きやすい環境づくり	ICT環境の充実、AI等の最新技術の導入・活用	休暇の取りやすい環境の整備	人員体制の整備・増員	支援者が悩みを相談する場所等の整備	その他	無回答	
全体	29.7	18.1	11.0	8.4	36.1	11.6	8.4	3.9	3.9	
訪問系	31.8	9.1	11.4	11.4	38.6	6.8	9.1	2.3	2.3	
居住系	40.0	23.3	10.0	10.0	26.7	20.0	10.0	-	6.7	
日中活動系	30.6	25.0	16.7	5.6	55.6	11.1	5.6	5.6	-	
障害児系	20.5	23.1	7.7	5.1	30.8	15.4	12.8	2.6	5.1	
相談支援系	40.0	16.0	8.0	8.0	36.0	8.0	4.0	8.0	8.0	

【職員数別】

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事の内容や役割の明確化	職場内の情報共有の充実	利用者・家族の支援へのサポート	職場内の良好な人間関係・雰囲気づくり	賃金や手当の引き上げ	家賃補助等の充実	福祉に関する研修会の充実	能力や仕事ぶりに応じた評価(昇給・昇格など)の体制の明確化	キャリアアップ機会の充実
全体	155	32.9	47.7	12.9	60.0	38.1	14.8	16.1	16.8	9.7
5人未満	26	34.6	46.2	19.2	57.7	26.9	11.5	7.7	15.4	7.7
5～10人未満	54	33.3	55.6	14.8	55.6	38.9	9.3	14.8	11.1	9.3
10～20人未満	47	36.2	36.2	6.4	66.0	31.9	21.3	14.9	21.3	14.9
20～30人未満	17	23.5	52.9	17.6	64.7	64.7	17.6	35.3	29.4	-
30人以上	11	27.3	54.5	9.1	54.5	45.5	18.2	18.2	9.1	9.1
区分	勤務時間・勤務体系の多様化	残業を減らすような労働条件の改善	業務改善や効率化等による働きやすい環境づくり	ICT環境の充実、AI等の最新技術の導入・活用	休暇の取りやすい環境の整備	人員体制の整備・増員	支援者が悩みを相談する場所等の整備	その他	無回答	
全体	29.7	18.1	11.0	8.4	36.1	11.6	8.4	3.9	3.9	
5人未満	26.9	19.2	7.7	3.8	30.8	3.8	7.7	11.5	7.7	
5～10人未満	20.4	20.4	11.1	11.1	40.7	5.6	5.6	3.7	3.7	
10～20人未満	29.8	19.1	12.8	6.4	27.7	14.9	6.4	-	4.3	
20～30人未満	47.1	17.6	17.6	11.8	41.2	35.3	17.6	-	-	
30人以上	54.5	-	-	9.1	54.5	9.1	18.2	9.1	-	

問 13 貴事業所の職員の充足状況はいかがですか。(○は1つ)

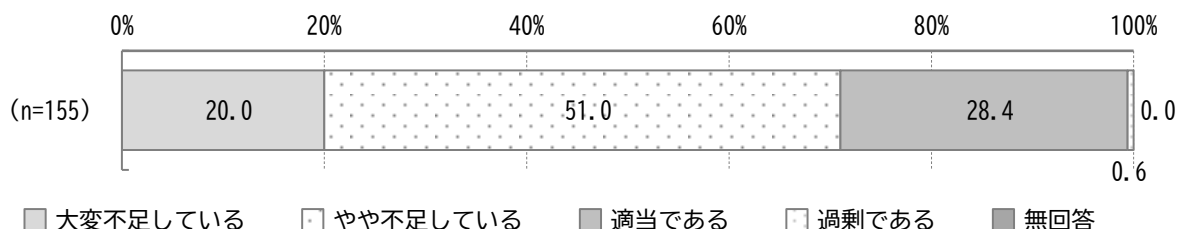
「やや不足している」が51.0%と最も多く、次いで「適当である」が28.4%、「大変不足している」が20.0%の順となっています。

提供サービス別にみると、居住系は「適当である」が最も多いのに対し、訪問系と日中活動系、障害児系は「やや不足している」、相談支援系は「大変不足している」が最も多くなっています。また、訪問系は「大変不足している」と「やや不足している」を合わせて、8割以上となっています。

職員数別にみると、5人未満は「適当である」が最も多いのに対し、5～10人未満と10～20人未満、30人以上は「やや不足している」、20～30人未満は「大変不足している」が最も多くなっています。

障害別にみると、いずれも「やや不足している」が最も多く、難病は「大変不足している」が他の障害と比較して多くなっています。

経営状況別にみると、いずれも「やや不足している」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	大変不足している	やや不足している	適当である	過剰である	無回答
全体	155	20.0	51.0	28.4	0.6	-
訪問系	44	38.6	43.2	18.2	-	-
居住系	30	30.0	33.3	36.7	-	-
日中活動系	36	13.9	63.9	22.2	-	-
障害児系	39	7.7	61.5	30.8	-	-
相談支援系	25	36.0	32.0	28.0	4.0	-

【職員数別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	大変不足している	やや不足している	適当である	過剰である	無回答
全体	155	20.0	51.0	28.4	0.6	-
5人未満	26	15.4	38.5	46.2	-	-
5～10人未満	54	14.8	53.7	29.6	1.9	-
10～20人未満	47	19.1	59.6	21.3	-	-
20～30人未満	17	41.2	29.4	29.4	-	-
30人以上	11	27.3	63.6	9.1	-	-

【障害別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	大変不足 している	やや不足 している	適当である	過剰である	無回答
全体	155	20.0	51.0	28.4	0.6	-
重度重複障害	16	25.0	43.8	31.3	-	-
視覚障害	6	-	66.7	33.3	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	100.0	-	-	-
肢体不自由	22	13.6	59.1	27.3	-	-
内部障害	-	-	-	-	-	-
難病	8	37.5	50.0	12.5	-	-
知的障害	87	24.1	44.8	31.0	-	-
精神障害	54	24.1	44.4	29.6	1.9	-
発達障害	44	9.1	61.4	27.3	2.3	-
高次脳機能障害	3	-	66.7	33.3	-	-
その他	5	20.0	40.0	40.0	-	-

【経営状況別】

単位：%

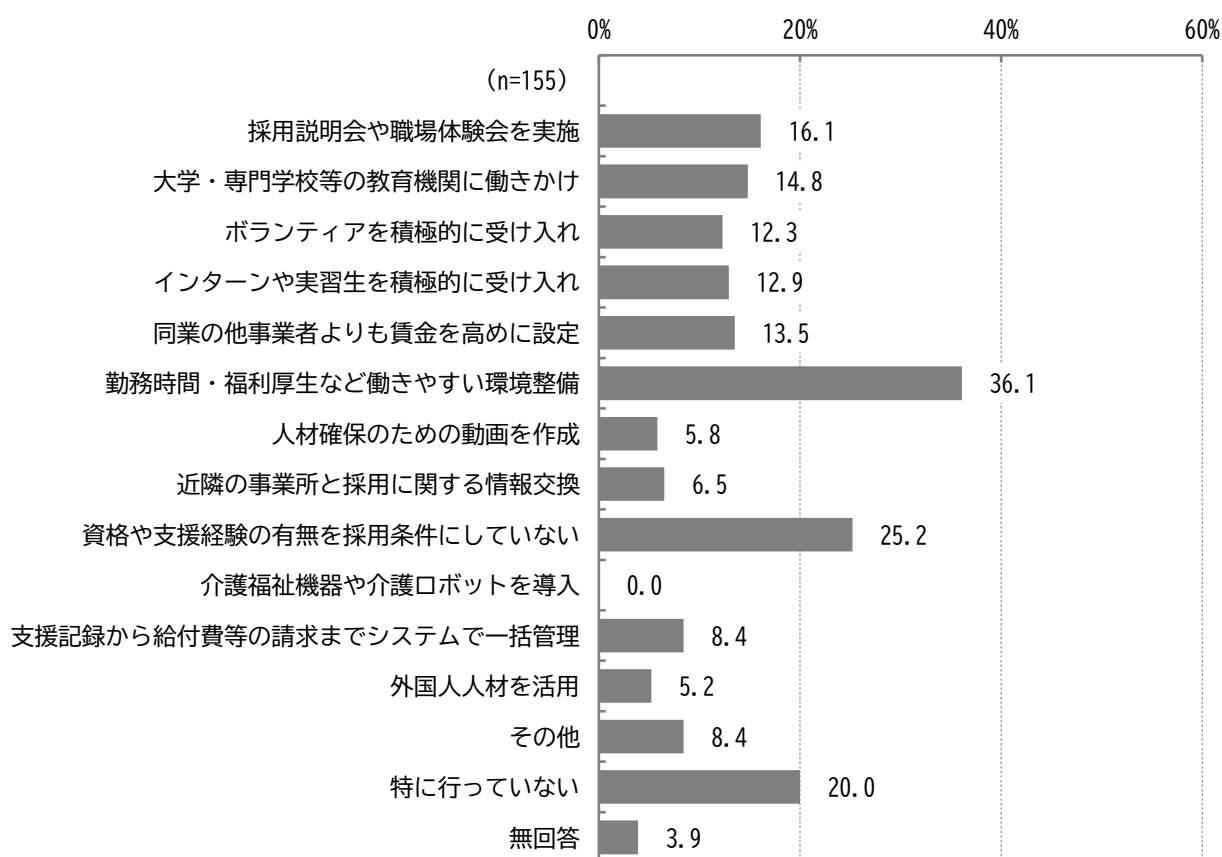
区分	回答者数 (件)	大変不足 している	やや不足 している	適当である	過剰である	無回答
全体	155	20.0	51.0	28.4	0.6	-
悪化傾向にある	47	25.5	51.1	21.3	2.1	-
特段の変化はない	79	15.2	46.8	38.0	-	-
好転傾向にある	16	12.5	68.8	18.8	-	-
わからない	9	33.3	55.6	11.1	-	-

問 14 貴事業所で、人材確保や人材不足への対応のため、どのように取り組んでいますか。  
(〇はいくつでも)

「勤務時間・福利厚生など働きやすい環境整備」が 36.1%と最も多く、次いで「資格や支援経験の有無を採用条件にしていない」が 25.2%、「採用説明会や職場体験会を実施」が 16.1%、「大学・専門学校等の教育機関に働きかけ」が 14.8%の順となっており、20.0%の事業所は「特に行っていない」と回答しています。

提供サービス別にみると、居住系は「資格や支援経験の有無を採用条件にしていない」、それ以外の業種は「勤務時間・福利厚生など働きやすい環境整備」が最も多くなっています。

職員数別にみると、30人以上は「資格や支援経験の有無を採用条件にしていない」、それ以外は「勤務時間・福利厚生など働きやすい環境整備」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	採用説明会や職場体験会を実施	大学・専門学校等の教育機関に働きかけ	ボランティアを積極的に受け入れ	インターンや実習生を積極的に受け入れ	同業の他事業者よりも賃金を高めに設定	勤務時間・福利厚生など働きやすい環境整備	人材確保のための動画を作成	近隣の事業所と採用に関する情報交換	資格や支援経験の有無を採用条件にしていな
全体	155	16.1	14.8	12.3	12.9	13.5	36.1	5.8	6.5	25.2
訪問系	44	27.3	9.1	2.3	4.5	18.2	36.4	11.4	6.8	27.3
居住系	30	16.7	13.3	6.7	3.3	20.0	33.3	10.0	6.7	46.7
日中活動系	36	16.7	22.2	22.2	27.8	5.6	44.4	2.8	5.6	30.6
障害児系	39	10.3	17.9	23.1	17.9	15.4	28.2	2.6	2.6	7.7
相談支援系	25	12.0	12.0	-	8.0	4.0	36.0	4.0	8.0	16.0
区分	介護福祉機器や介護ロボットを導入	支援記録から給付費等の請求までシステムで一括管理	外国人人材を活用	その他	特に行っていない	無回答				
全体	-	8.4	5.2	8.4	20.0	3.9				
訪問系	-	13.6	4.5	9.1	20.5	-				
居住系	-	10.0	6.7	10.0	13.3	6.7				
日中活動系	-	11.1	11.1	8.3	16.7	2.8				
障害児系	-	2.6	2.6	10.3	20.5	5.1				
相談支援系	-	-	4.0	-	28.0	12.0				

【職員数別】

単位：％

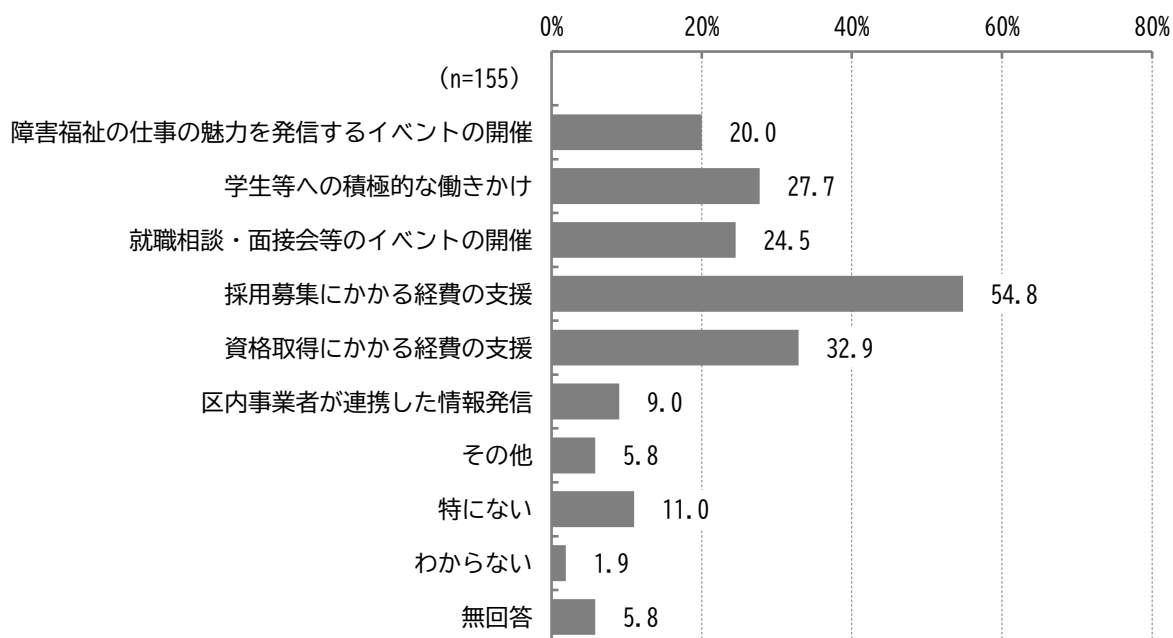
区分	回答者数(件)	採用説明会や職場体験会を実施	大学・専門学校等の教育機関に働きかけ	ボランティアを積極的に受け入れ	インターンや実習生を積極的に受け入れ	同業の他事業者よりも賃金を高めに設定	勤務時間・福利厚生など働きやすい環境整備	人材確保のための動画を作成	近隣の事業所と採用に関する情報交換	資格や支援経験の有無を採用条件にしていな
全体	155	16.1	14.8	12.3	12.9	13.5	36.1	5.8	6.5	25.2
5人未満	26	7.7	19.2	3.8	7.7	7.7	38.5	3.8	11.5	15.4
5～10人未満	54	11.1	11.1	11.1	7.4	16.7	29.6	1.9	1.9	20.4
10～20人未満	47	25.5	19.1	17.0	17.0	12.8	40.4	8.5	8.5	25.5
20～30人未満	17	17.6	-	17.6	17.6	11.8	35.3	5.9	11.8	23.5
30人以上	11	18.2	27.3	9.1	27.3	18.2	45.5	18.2	-	72.7
区分	介護福祉機器や介護ロボットを導入	支援記録から給付費等の請求までシステムで一括管理	外国人人材を活用	その他	特に行っていない	無回答				
全体	-	8.4	5.2	8.4	20.0	3.9				
5人未満	-	3.8	3.8	7.7	26.9	11.5				
5～10人未満	-	7.4	1.9	9.3	29.6	1.9				
10～20人未満	-	10.6	6.4	6.4	12.8	4.3				
20～30人未満	-	5.9	17.6	11.8	11.8	-				
30人以上	-	18.2	-	9.1	-	-				

問 15 人材確保にあたり、貴事業所が区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

「採用募集にかかる経費の支援」が 54.8%と最も多く、次いで「資格取得にかかる経費の支援」が 32.9%、「学生等への積極的な働きかけ」が 27.7%、「就職相談・面接会等のイベントの開催」が 24.5%の順となっています。

提供サービス別にみると、「採用募集にかかる経費の支援」が最も多く、次いで日中活動系は「学生等への積極的な働きかけ」、それ以外は「資格取得にかかる経費の支援」となっています。

職員数別にみると、「採用募集にかかる経費の支援」が最も多く、次いで5人未満は「学生等への積極的な働きかけ」、20～30人未満は「障害福祉の仕事の魅力を発信するイベントの開催」、30人以上は「就職相談・面接会等のイベントの開催」、それ以外は「資格取得にかかる経費の支援」となっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	障害福祉の仕事の魅力を発信するイベントの開催	学生等への積極的な働きかけ	就職相談・面接会等のイベントの開催	採用募集にかかる経費の支援	資格取得にかかる経費の支援	区内事業者が連携した情報発信	その他	特にない	わからない	無回答
全体	155	20.0	27.7	24.5	54.8	32.9	9.0	5.8	11.0	1.9	5.8
訪問系	44	20.5	11.4	22.7	50.0	31.8	15.9	11.4	9.1	-	6.8
居住系	30	23.3	23.3	26.7	60.0	36.7	6.7	-	13.3	3.3	3.3
日中活動系	36	33.3	50.0	27.8	52.8	30.6	5.6	8.3	8.3	2.8	2.8
障害児系	39	7.7	33.3	20.5	66.7	43.6	5.1	2.6	7.7	-	7.7
相談支援系	25	16.0	20.0	20.0	56.0	28.0	4.0	-	16.0	4.0	16.0

【職員数別】

単位：％

区分	回答者数(件)	障害福祉の仕事の魅力を発信するイベントの開催	学生等への積極的な働きかけ	就職相談・面接会等のイベントの開催	採用募集にかかる経費の支援	資格取得にかかる経費の支援	区内事業者が連携した情報発信	その他	特にない	わからない	無回答
全体	155	20.0	27.7	24.5	54.8	32.9	9.0	5.8	11.0	1.9	5.8
5人未満	26	15.4	30.8	19.2	50.0	26.9	11.5	3.8	11.5	3.8	7.7
5～10人未満	54	20.4	29.6	18.5	53.7	33.3	7.4	5.6	16.7	1.9	7.4
10～20人未満	47	12.8	29.8	29.8	51.1	34.0	8.5	4.3	10.6	-	4.3
20～30人未満	17	41.2	11.8	23.5	76.5	35.3	17.6	-	-	5.9	-
30人以上	11	27.3	27.3	45.5	54.5	36.4	-	27.3	-	-	9.1

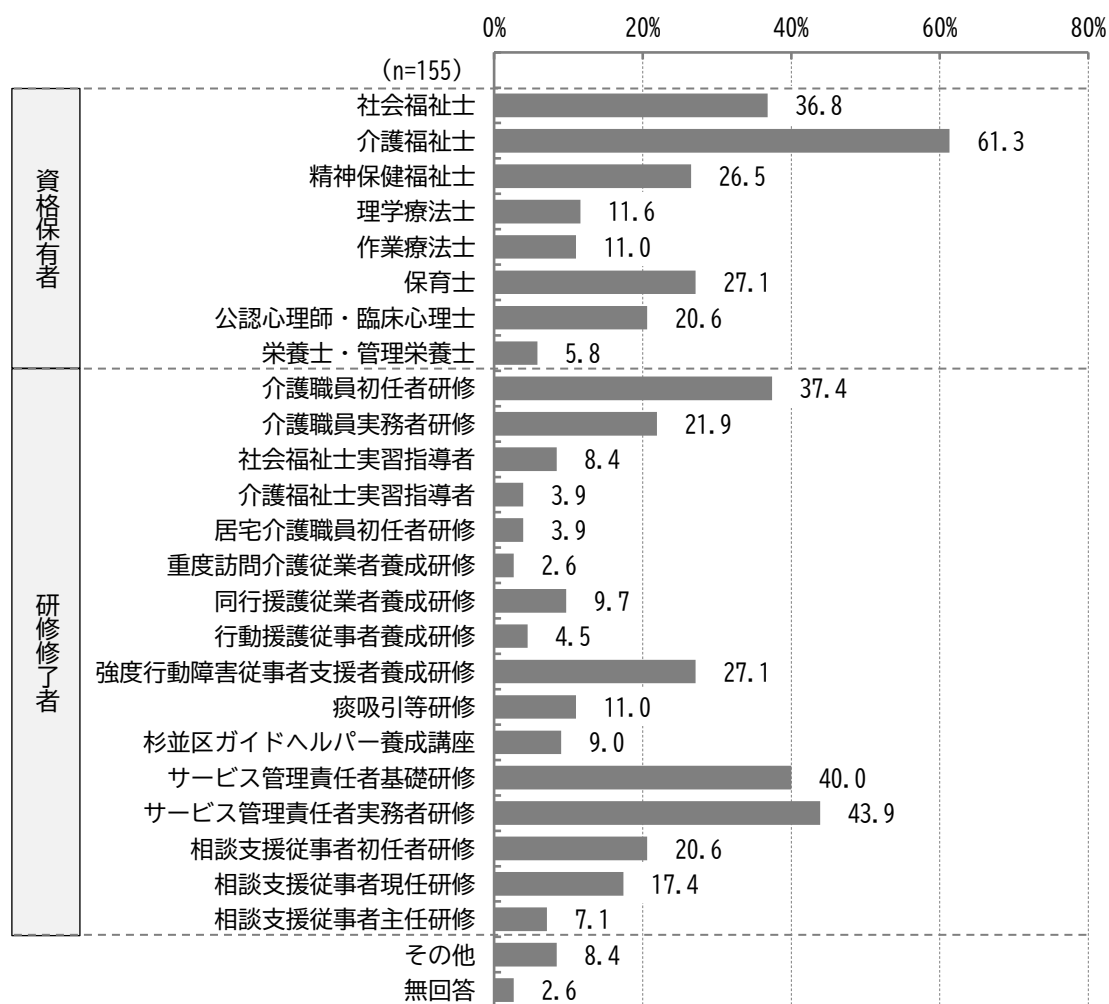
問 16 職員の資格保有者・研修修了者等について

① 貴事業所の職員の資格保有者・研修修了者等の人数をご記入ください。(人数を記入)

資格保有者がいる事業所の割合をみると、「介護福祉士」が 61.3%と最も多く、次いで「社会福祉士」が 36.8%、「保育士」が 27.1%、「精神保健福祉士」が 26.5%の順となっています。

研修修了者がいる事業所の割合をみると、「サービス管理責任者実務者研修」が 43.9%と最も多く、次いで「サービス管理責任者基礎研修」が 40.0%、「介護職員初任者研修」が 37.4%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系、居住系は「介護福祉士」、日中活動系は「サービス管理責任者実務者研修」、障害児系は「保育士」、相談支援系は「相談支援従事者現任研修」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	理学療法士	作業療法士	保育士	公認心理師・ 臨床心理士	栄養士・ 管理栄養士
全体	155	36.8	61.3	26.5	11.6	11.0	27.1	20.6	5.8
訪問系	44	11.4	86.4	4.5	6.8	6.8	6.8	4.5	4.5
居住系	30	46.7	73.3	30.0	10.0	3.3	30.0	20.0	10.0
日中活動系	36	61.1	63.9	58.3	11.1	13.9	16.7	16.7	13.9
障害児系	39	30.8	35.9	12.8	25.6	17.9	64.1	43.6	2.6
相談支援系	25	44.0	52.0	32.0	12.0	12.0	28.0	24.0	8.0
区分	研修 介護職員初任者	研修 介護職員実務者	指導者 社会福祉士実習	指導者 介護福祉士実習	初任者研修 居宅介護職員	重度訪問介護 従業者養成研修	同行援護従業者 養成研修	行動援護従事者 養成研修	強度行動障害従事 者支援者養成研修
全体	37.4	21.9	8.4	3.9	3.9	2.6	9.7	4.5	27.1
訪問系	75.0	45.5	2.3	-	9.1	4.5	20.5	4.5	4.5
居住系	43.3	33.3	10.0	10.0	3.3	-	6.7	6.7	46.7
日中活動系	30.6	11.1	22.2	2.8	-	2.8	2.8	8.3	25.0
障害児系	2.6	-	2.6	2.6	5.1	2.6	5.1	-	48.7
相談支援系	32.0	8.0	8.0	4.0	8.0	-	20.0	8.0	20.0
区分	痰吸引等研修	杉並区ガイドヘル パー養成講座	サービス管理責任 者基礎研修	サービス管理責任 者実務者研修	相談支援従事者 初任者研修	相談支援従事者 現任研修	相談支援従事者 主任研修	その他	無回答
全体	11.0	9.0	40.0	43.9	20.6	17.4	7.1	8.4	2.6
訪問系	18.2	13.6	4.5	6.8	4.5	9.1	2.3	4.5	4.5
居住系	10.0	10.0	66.7	60.0	26.7	26.7	6.7	20.0	-
日中活動系	8.3	5.6	61.1	80.6	25.0	11.1	2.8	5.6	-
障害児系	2.6	7.7	48.7	51.3	20.5	12.8	-	10.3	5.1
相談支援系	8.0	8.0	24.0	40.0	48.0	68.0	36.0	12.0	4.0

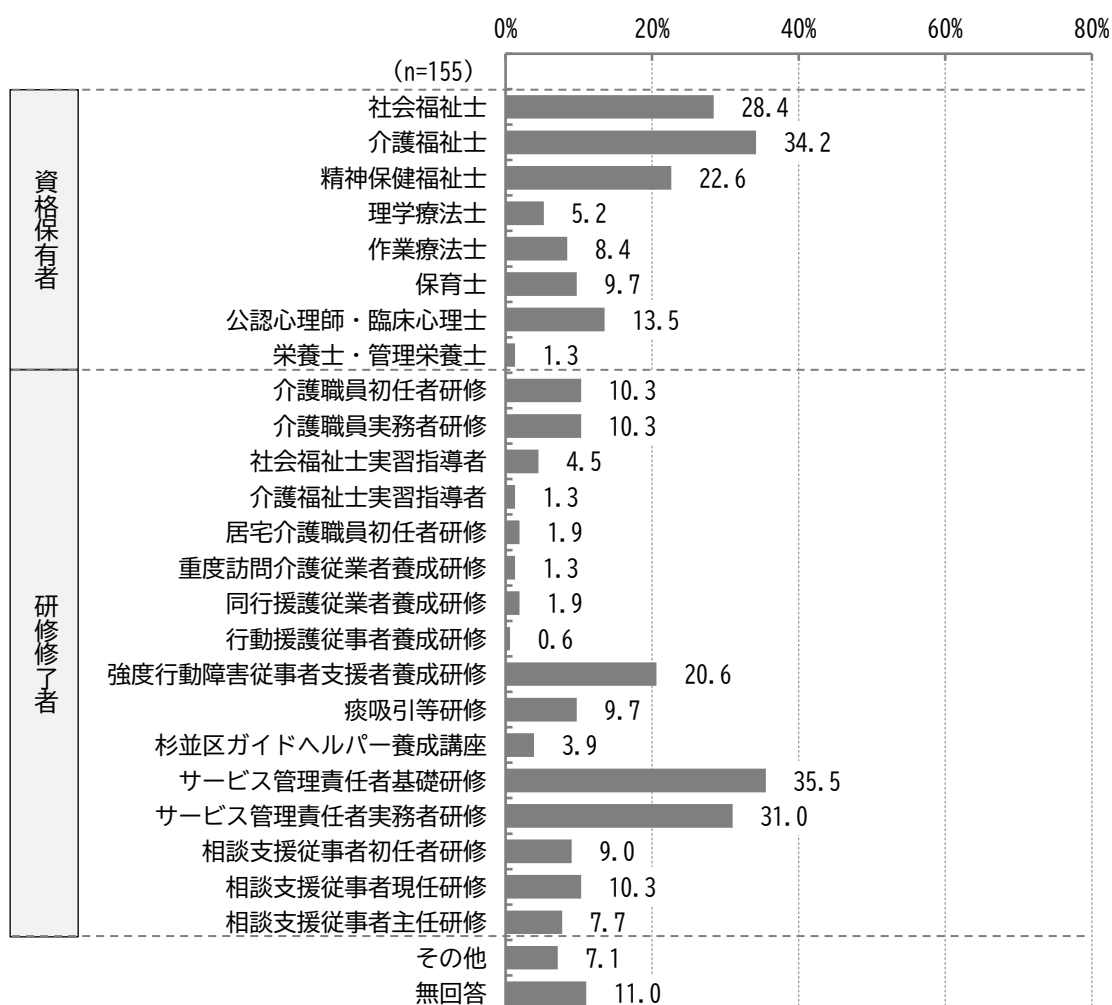
問 16 ② 貴事業所の職員に、今後保有してほしい資格・受講させたい研修等はどれですか。  
 (〇はいくつでも)

今後保有してほしい資格をみると、「介護福祉士」が34.2%と最も多く、次いで「社会福祉士」が28.4%、「精神保健福祉士」が22.6%の順となっています。

今後受講させたい研修をみると、「サービス管理責任者基礎研修」が35.5%と最も多く、次いで「サービス管理責任者実務者研修」が31.0%、「強度行動障害従事者支援者養成研修」が20.6%の順となっています。

提供サービス別に今後保有してほしい資格をみると、訪問系と居住系は「介護福祉士」、日中活動系は「社会福祉士」、障害児系は「保育士」、相談支援系は「精神保健福祉士」が最も多くなっています。

提供サービス別に今後受講させたい研修をみると、訪問系は「痰吸引等研修」と「介護職員実務者研修」、居住系と日中活動系、障害児系は「サービス管理責任者基礎研修」、相談支援系は「相談支援従事者現任研修」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

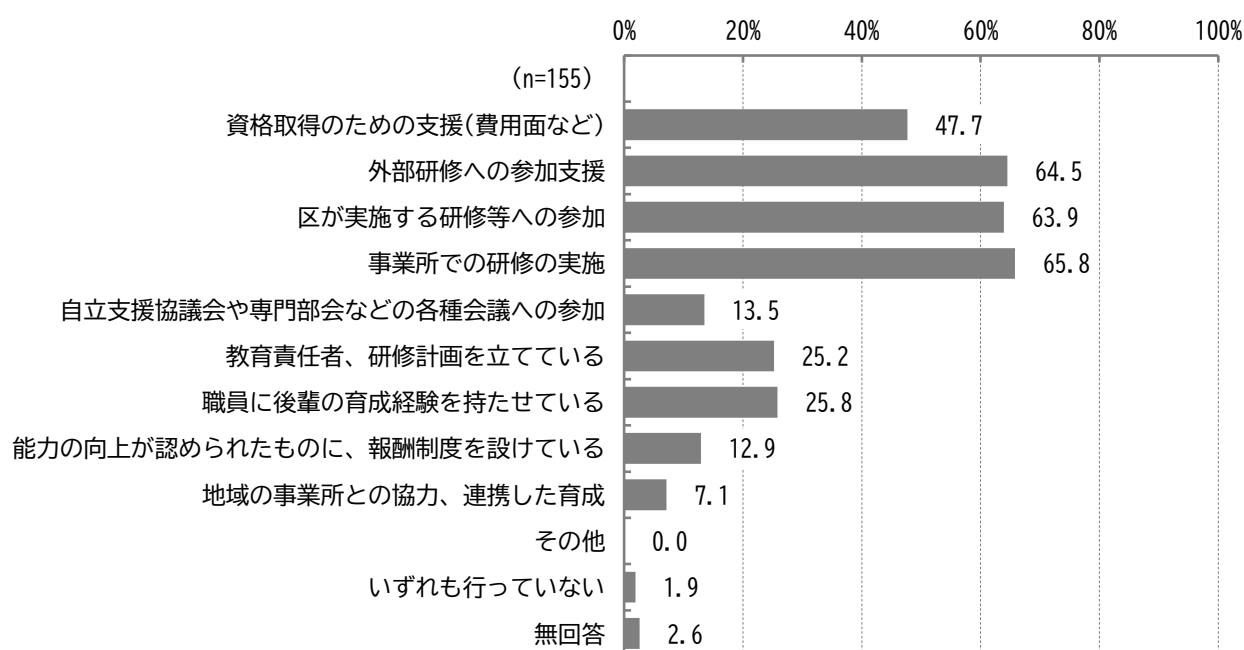
区分	回答者数 (件)	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	理学療法士	作業療法士	保育士	公認心理師・ 臨床心理士	栄養士・ 管理栄養士
全体	155	28.4	34.2	22.6	5.2	8.4	9.7	13.5	1.3
訪問系	44	9.1	65.9	9.1	-	-	-	4.5	-
居住系	30	36.7	53.3	26.7	-	-	-	13.3	3.3
日中活動系	36	66.7	25.0	47.2	2.8	11.1	2.8	16.7	2.8
障害児系	39	15.4	7.7	10.3	17.9	23.1	35.9	28.2	-
相談支援系	25	16.0	8.0	28.0	-	4.0	-	4.0	-
区分	介護職員初任者 研修	介護職員実務者 研修	社会福祉士実習 指導者	介護福祉士実習 指導者	居宅介護職員 初任者研修	重度訪問介護 従業者養成研修	同行援護従業者 養成研修	行動援護従事者 養成研修	強度行動障害従事 者支援者養成研修
全体	10.3	10.3	4.5	1.3	1.9	1.3	1.9	0.6	20.6
訪問系	20.5	22.7	-	-	4.5	4.5	4.5	2.3	4.5
居住系	30.0	20.0	10.0	3.3	6.7	-	-	3.3	43.3
日中活動系	-	2.8	11.1	2.8	-	-	2.8	-	13.9
障害児系	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	35.9
相談支援系	4.0	4.0	4.0	-	4.0	-	-	4.0	12.0
区分	痰吸引等研修	杉並区ガイドヘル パー養成講座	サービス管理責任 者基礎研修	サービス管理責任 者実務者研修	相談支援従事者 初任者研修	相談支援従事者 現任研修	相談支援従事者 主任研修	その他	無回答
全体	9.7	3.9	35.5	31.0	9.0	10.3	7.7	7.1	11.0
訪問系	22.7	6.8	9.1	11.4	2.3	4.5	2.3	2.3	11.4
居住系	-	10.0	56.7	46.7	13.3	13.3	10.0	6.7	6.7
日中活動系	8.3	2.8	50.0	44.4	8.3	5.6	5.6	2.8	13.9
障害児系	5.1	-	48.7	38.5	10.3	10.3	7.7	10.3	7.7
相談支援系	12.0	-	20.0	16.0	24.0	36.0	28.0	16.0	12.0

問 17 貴事業所では、人材育成のためにどのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

「事業所での研修の実施」が 65.8%と最も多く、次いで「外部研修への参加支援」が 64.5%、「区が実施する研修等への参加」が 63.9%、「資格取得のための支援（費用面など）」が 47.7%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「事業所での研修の実施」、居住系と障害児系は「区が実施する研修等への参加」、日中活動系と相談支援系は「外部研修への参加支援」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5人未満は「区が実施する研修等への参加」、5～10人未満と 20～30人未満は「外部研修への参加支援」、10～20人未満と 30人以上は「事業所での研修の実施」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	資格取得のための支援 (費用面など)	外部研修への参加支援	区が実施する研修等への参加	事業所での研修の実施	自立支援協議会や専門部会などの各種会議への参加	教育責任者、研修計画を立てている	職員に後輩の育成経験を持たせている	能力の向上が認められたものに、報酬制度を設けている	地域の事業所との協力、連携した育成	その他	いずれも行っていない	無回答
全体	155	47.7	64.5	63.9	65.8	13.5	25.2	25.8	12.9	7.1	-	1.9	2.6
訪問系	44	56.8	47.7	38.6	72.7	6.8	25.0	20.5	11.4	2.3	-	2.3	4.5
居住系	30	50.0	76.7	80.0	73.3	16.7	33.3	30.0	13.3	10.0	-	3.3	-
日中活動系	36	30.6	77.8	63.9	61.1	11.1	11.1	22.2	5.6	16.7	-	2.8	-
障害児系	39	61.5	59.0	76.9	69.2	12.8	33.3	35.9	23.1	2.6	-	-	5.1
相談支援系	25	28.0	76.0	72.0	52.0	28.0	32.0	12.0	-	4.0	-	4.0	-

【職員数別】

単位：％

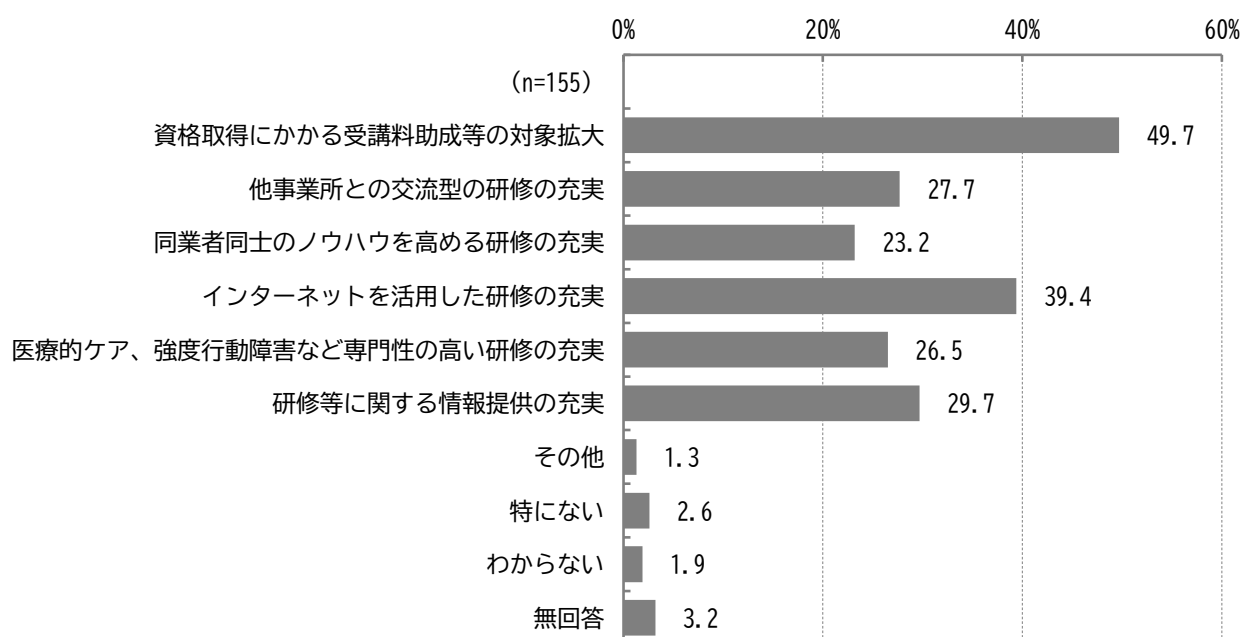
区分	回答者数(件)	資格取得のための支援 (費用面など)	外部研修への参加支援	区が実施する研修等への参加	事業所での研修の実施	自立支援協議会や専門部会などの各種会議への参加	教育責任者、研修計画を立てている	職員に後輩の育成経験を持たせている	能力の向上が認められたものに、報酬制度を設けている	地域の事業所との協力、連携した育成	その他	いずれも行っていない	無回答
全体	155	47.7	64.5	63.9	65.8	13.5	25.2	25.8	12.9	7.1	-	1.9	2.6
5人未満	26	30.8	65.4	76.9	50.0	23.1	19.2	7.7	7.7	11.5	-	-	-
5～10人未満	54	48.1	61.1	55.6	57.4	14.8	14.8	24.1	14.8	7.4	-	1.9	3.7
10～20人未満	47	48.9	57.4	55.3	74.5	10.6	36.2	34.0	17.0	2.1	-	2.1	4.3
20～30人未満	17	47.1	82.4	76.5	70.6	5.9	29.4	17.6	-	11.8	-	5.9	-
30人以上	11	81.8	81.8	90.9	100.0	9.1	36.4	54.5	18.2	9.1	-	-	-

問 18 人材育成にあたり、貴事業所が区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

「資格取得にかかる受講料助成等の対象拡大」が 49.7%と最も多く、次いで「インターネットを活用した研修の充実」が 39.4%、「研修等に関する情報提供の充実」が 29.7%の順となっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「インターネットを活用した研修の充実」と「研修等に関する情報提供の充実」、日中活動系は「資格取得にかかる受講料助成等の対象拡大」と「他事業所との交流型の研修の充実」、それ以外は「資格取得にかかる受講料助成等の対象拡大」が最も多くなっています。

職員数別にみると、いずれの規模の事業所も「資格取得にかかる受講料助成等の対象拡大」と「インターネットを活用した研修の充実」などが多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	資格取得にかかる受講料助成等の対象拡大	他事業所との交流型の研修の充実	同業者同士のノウハウを高める研修の充実	インターネットを活用した研修の充実	医療的ケア、強度行動障害など専門性の高い研修の充実	研修等に関する情報提供の充実	その他	特にない	わからない	無回答
全体	155	49.7	27.7	23.2	39.4	26.5	29.7	1.3	2.6	1.9	3.2
訪問系	44	59.1	11.4	13.6	38.6	29.5	36.4	2.3	4.5	2.3	4.5
居住系	30	53.3	23.3	16.7	43.3	33.3	33.3	-	3.3	3.3	-
日中活動系	36	41.7	41.7	30.6	33.3	27.8	19.4	2.8	2.8	2.8	-
障害児系	39	56.4	30.8	25.6	48.7	23.1	23.1	-	-	-	5.1
相談支援系	25	36.0	28.0	20.0	40.0	16.0	40.0	-	-	4.0	4.0

【職員数別】

単位：％

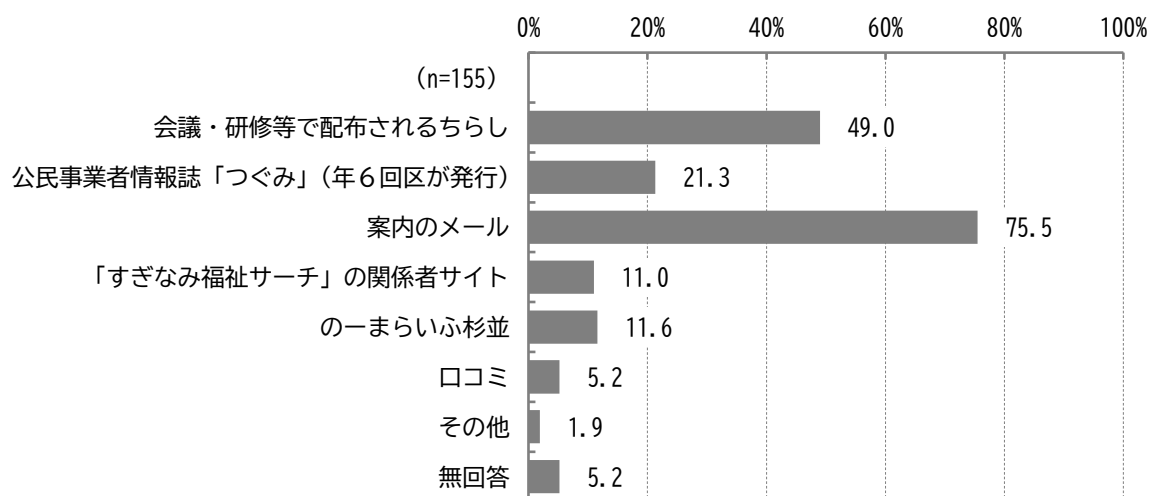
区分	回答者数(件)	資格取得にかかる受講料助成等の対象拡大	他事業所との交流型の研修の充実	同業者同士のノウハウを高める研修の充実	インターネットを活用した研修の充実	医療的ケア、強度行動障害など専門性の高い研修の充実	研修等に関する情報提供の充実	その他	特にない	わからない	無回答
全体	155	49.7	27.7	23.2	39.4	26.5	29.7	1.3	2.6	1.9	3.2
5人未満	26	34.6	34.6	23.1	34.6	15.4	34.6	-	3.8	3.8	-
5～10人未満	54	53.7	31.5	22.2	24.1	24.1	25.9	1.9	3.7	-	5.6
10～20人未満	47	51.1	17.0	14.9	53.2	25.5	34.0	2.1	2.1	2.1	4.3
20～30人未満	17	52.9	23.5	41.2	52.9	41.2	29.4	-	-	5.9	-
30人以上	11	54.5	45.5	36.4	45.5	45.5	18.2	-	-	-	-

問 19 区の研修や人材確保・育成の取組に関する情報を、どこで入手しますか。(〇はいくつでも)

「案内のメール」が75.5%と最も多く、次いで「会議・研修等で配布されるちらし」が49.0%、「公民事業者情報誌『つぐみ』(年6回区が発行)」が21.3%の順となっています。

提供サービス別にみると、「案内のメール」が最も多く、次いで「会議・研修等で配布されるちらし」となっています。

職員数別にみると、20～30人未満は「会議・研修等で配布されるちらし」、それ以外は「案内のメール」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	会議・研修等 で配布 されるちらし	公民事業者情 報誌「つぐ み」(奇数月 に区が発行)	案内の メール	「すぎなみ福 祉サーチ」の 関係者サイト	の一まらいふ 杉並	口コミ	その他	無回答
全体	155	49.0	21.3	75.5	11.0	11.6	5.2	1.9	5.2
訪問系	44	34.1	13.6	59.1	9.1	6.8	6.8	2.3	9.1
居住系	30	56.7	13.3	83.3	10.0	23.3	3.3	-	-
日中活動系	36	55.6	22.2	77.8	8.3	11.1	-	2.8	5.6
障害児系	39	56.4	35.9	84.6	10.3	7.7	2.6	2.6	5.1
相談支援系	25	56.0	32.0	80.0	24.0	32.0	12.0	-	-

【職員数別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	会議・研修等 で配布 されるちらし	公民事業者情 報誌「つぐ み」(奇数月 に区が発行)	案内の メール	「すぎなみ福 祉サーチ」の 関係者サイト	の一まらいふ 杉並	口コミ	その他	無回答
全体	155	49.0	21.3	75.5	11.0	11.6	5.2	1.9	5.2
5人未満	26	46.2	30.8	76.9	15.4	19.2	11.5	-	3.8
5～10人未満	54	48.1	13.0	75.9	11.1	9.3	3.7	3.7	9.3
10～20人未満	47	36.2	14.9	72.3	8.5	8.5	2.1	2.1	4.3
20～30人未満	17	82.4	41.2	76.5	5.9	11.8	5.9	-	-
30人以上	11	63.6	36.4	81.8	18.2	18.2	9.1	-	-

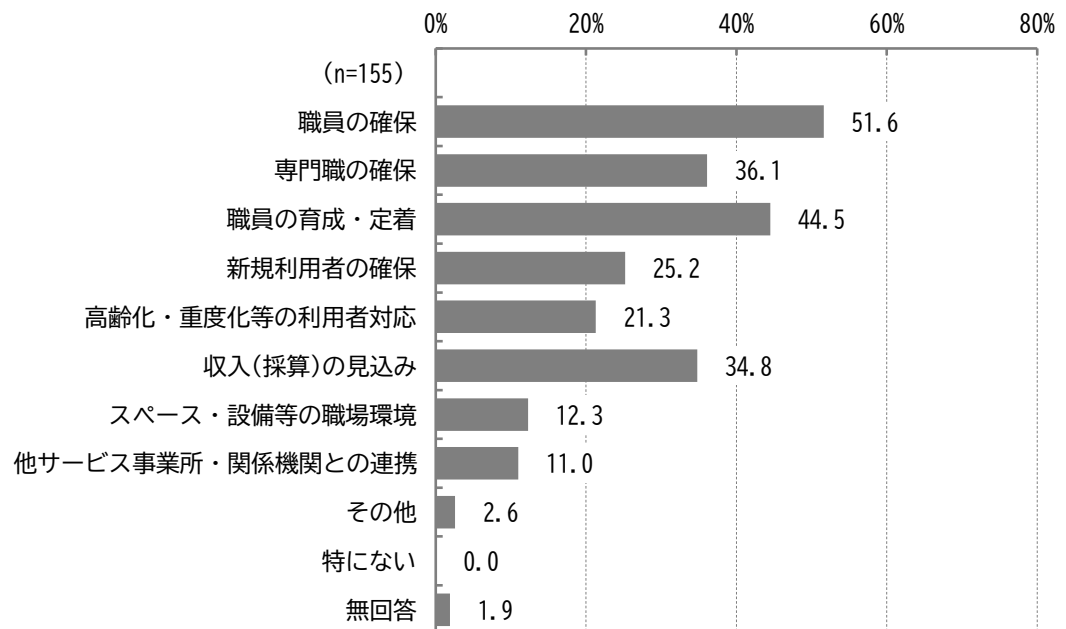
### (3) サービス提供について

問 21 貴事業所で、サービスの提供にあたっての課題は何ですか。(〇は3つまで)

サービスの提供にあたっての課題について、「職員の確保」が51.6%と最も多く、次いで「職員の育成・定着」が44.5%、「専門職の確保」が36.1%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系と居住系は「職員の確保」、日中活動系は「職員の育成・定着」と「高齢化・重度化等の利用者対応」、障害児系は「専門職の確保」、相談支援系は「専門職の確保」と「収入(採算)の見込み」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複障害と知的障害、精神障害は「職員の確保」、肢体不自由は「職員の確保」と「職員の育成・定着」、発達障害は「専門職の確保」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	職員の確保	専門職の確保	職員の育成・定着	新規利用者の確保	高齢化・重度化等の 利用者対応	収入(採算)の見込み	職場環境 スペース・設備等の	他サービス事業所・ 関係機関との連携	その他	特にない	無回答
全体	155	51.6	36.1	44.5	25.2	21.3	34.8	12.3	11.0	2.6	-	1.9
訪問系	44	79.5	18.2	45.5	34.1	13.6	22.7	6.8	6.8	-	-	2.3
居住系	30	56.7	33.3	50.0	13.3	33.3	43.3	13.3	13.3	3.3	-	-
日中活動系	36	44.4	30.6	47.2	38.9	47.2	22.2	13.9	8.3	2.8	-	-
障害児系	39	35.9	66.7	46.2	15.4	2.6	43.6	15.4	7.7	5.1	-	5.1
相談支援系	25	48.0	52.0	24.0	8.0	24.0	52.0	8.0	32.0	-	-	-

【障害別】

単位：％

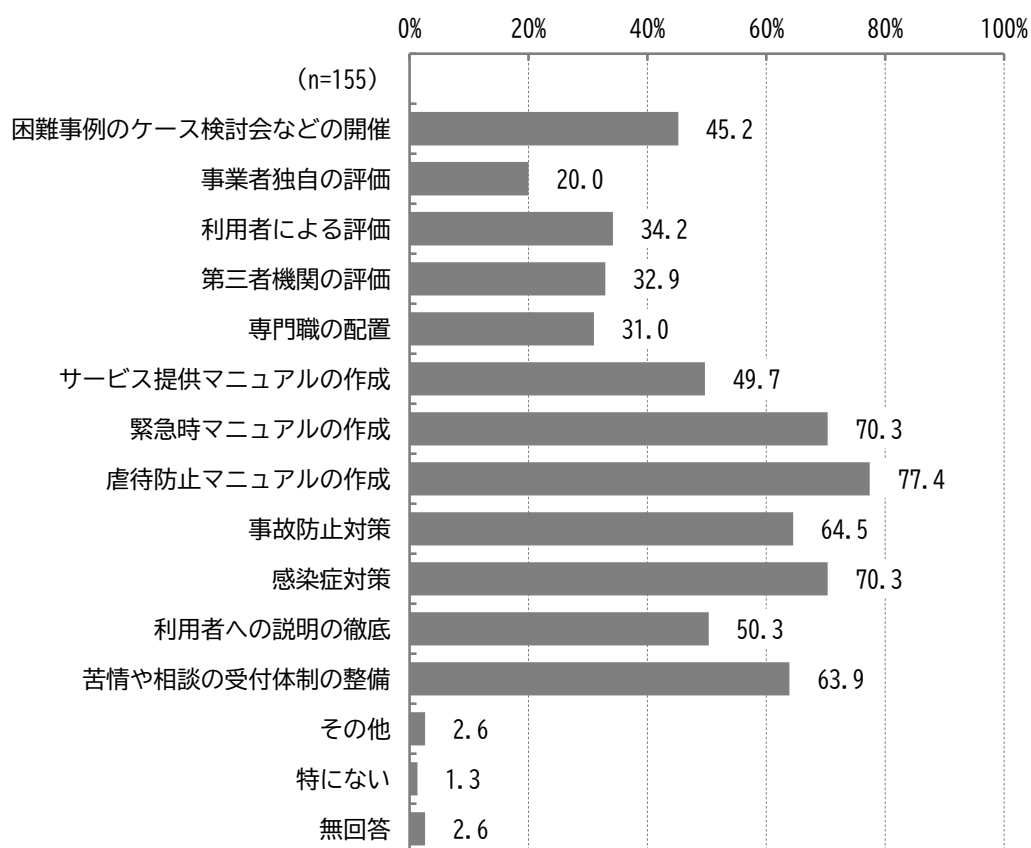
区分	回答者数 (件)	職員の確保	専門職の確保	職員の育成・定着	新規利用者の確保	高齢化・重度化等の 利用者対応	収入(採算)の見込み	職場環境 スペース・設備等の	他サービス事業所・ 関係機関との連携	その他	特にない	無回答
全体	155	51.6	36.1	44.5	25.2	21.3	34.8	12.3	11.0	2.6	-	1.9
重度重複障害	16	68.8	37.5	56.3	31.3	18.8	31.3	18.8	-	-	-	-
視覚障害	6	66.7	-	33.3	33.3	50.0	-	50.0	16.7	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
肢体不自由	22	45.5	27.3	45.5	31.8	22.7	40.9	18.2	13.6	-	-	-
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	75.0	37.5	62.5	37.5	-	37.5	-	25.0	-	-	-
知的障害	87	50.6	35.6	48.3	23.0	25.3	37.9	9.2	9.2	2.3	-	1.1
精神障害	54	55.6	29.6	44.4	29.6	20.4	37.0	9.3	13.0	3.7	-	-
発達障害	44	36.4	59.1	38.6	15.9	9.1	40.9	15.9	15.9	6.8	-	2.3
高次脳機能障害	3	-	-	-	100.0	66.7	66.7	-	-	-	-	-
その他	5	20.0	40.0	40.0	60.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-

問 22 貴事業所では、サービスの質の向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。  
 (〇はいくつでも)

「虐待防止マニュアルの作成」が 77.4%と最も多く、次いで「緊急時マニュアルの作成」と「感染症対策」が 70.3%、「事故防止対策」が 64.5%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「緊急時マニュアルの作成」、それ以外の業種は「虐待防止マニュアルの作成」が最も多くなっています。相談支援系は「虐待防止マニュアルの作成」と「感染症対策」、「苦情や相談の受付体制の整備」が同率で最も多くなっています。

障害別にみると、肢体不自由は「感染症対策」と「虐待防止マニュアルの作成」、重度重複障害は「感染症対策」、知的障害と精神障害、発達障害は「虐待防止マニュアルの作成」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	困難事例のケース 検討などの開催	事業者独自の 評価	利用者による 評価	第三者機関の 評価	専門職の 配置	サービス提供 マニュアルの 作成	緊急時 マニュアルの 作成
全体	155	45.2	20.0	34.2	32.9	31.0	49.7	70.3
訪問系	44	38.6	15.9	20.5	2.3	6.8	59.1	79.5
居住系	30	43.3	16.7	13.3	63.3	40.0	60.0	86.7
日中活動系	36	36.1	13.9	33.3	77.8	36.1	41.7	63.9
障害児系	39	56.4	33.3	71.8	15.4	51.3	51.3	74.4
相談支援系	25	44.0	4.0	8.0	12.0	28.0	28.0	52.0
区分	虐待防止 マニュアル の作成	事故防止 対策	感染症 対策	利用者への 説明の徹 底	苦情や相談の 受付体制の 整備	その他	特 に な い	無 回 答
全体	77.4	64.5	70.3	50.3	63.9	2.6	1.3	2.6
訪問系	77.3	72.7	77.3	27.3	56.8	-	2.3	4.5
居住系	93.3	76.7	76.7	46.7	76.7	3.3	-	-
日中活動系	83.3	52.8	66.7	58.3	61.1	-	-	-
障害児系	79.5	76.9	76.9	71.8	69.2	5.1	-	5.1
相談支援系	60.0	52.0	60.0	40.0	60.0	4.0	4.0	-

【障害別】

単位：%

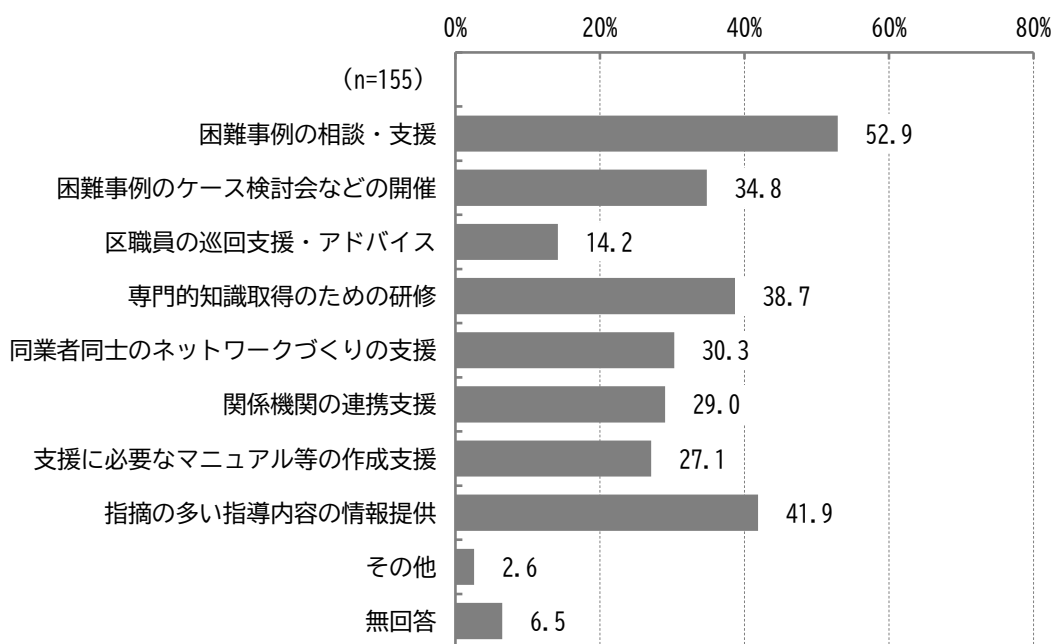
区分	回答者数 (件)	困難事例のケース 検討などの開催	事業者独自の 評価	利用者による 評価	第三者機関の 評価	専門職の 配置	サービスの提供 マニュアルの作成	緊急時 マニュアルの 作成
全体	155	45.2	20.0	34.2	32.9	31.0	49.7	70.3
重度重複障害	16	56.3	43.8	31.3	37.5	43.8	56.3	62.5
視覚障害	6	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7	66.7	83.3
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0
肢体不自由	22	59.1	18.2	31.8	27.3	31.8	54.5	68.2
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	62.5	50.0	12.5	12.5	12.5	75.0	87.5
知的障害	87	43.7	13.8	36.8	35.6	24.1	54.0	72.4
精神障害	54	40.7	9.3	24.1	37.0	24.1	38.9	61.1
発達障害	44	50.0	34.1	56.8	25.0	47.7	38.6	77.3
高次脳機能障害	3	-	-	-	66.7	33.3	33.3	66.7
その他	5	60.0	20.0	40.0	40.0	80.0	80.0	80.0
区分	虐待防止 マニュアル の作成	事故防止 対策	感染症 対策	利用者 への説明 の徹底	苦情や 相談の 受付体制 の整備	その他	特 に な い	無 回 答
全体	77.4	64.5	70.3	50.3	63.9	2.6	1.3	2.6
重度重複障害	62.5	68.8	75.0	50.0	62.5	-	-	6.3
視覚障害	83.3	66.7	66.7	50.0	66.7	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
肢体不自由	72.7	63.6	72.7	40.9	59.1	4.5	4.5	-
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	87.5	87.5	75.0	62.5	87.5	-	-	-
知的障害	81.6	64.4	70.1	49.4	63.2	2.3	1.1	2.3
精神障害	70.4	51.9	61.1	40.7	63.0	1.9	3.7	-
発達障害	81.8	72.7	79.5	63.6	70.5	6.8	-	2.3
高次脳機能障害	100.0	66.7	66.7	33.3	100.0	-	-	-
その他	80.0	60.0	80.0	60.0	60.0	-	-	-

問 23 サービスの質の確保・向上のために、貴事業所が区に力を入れてほしいことは何ですか。  
 (〇はいくつでも)

「困難事例の相談・支援」が52.9%と最も多く、次いで「指摘の多い指導内容の情報提供」が41.9%、「専門的知識取得のための研修」が38.7%となっています。

提供サービス別にみると、障害児系は「専門的知識取得のための研修」、それ以外は「困難事例の相談・支援」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複障害と知的障害、精神障害は「困難事例の相談・支援」、肢体不自由は「指摘の多い指導内容の情報提供」、発達障害は「専門的知識取得のための研修」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	困難事例 の相談・ 支援	困難事例 のケース 検討会な どの開催	区職員の 巡回支 援・ アドバ イス	専門的知 識取得の ための研 修	同業者同 士のネッ トワーク づくりの 支援	関係機関 の連携支 援	支援に必 要なマ ニユアル 等の作成 支援	指摘の多 い指導内 容の情報 提供	その他	無回答
全体	155	52.9	34.8	14.2	38.7	30.3	29.0	27.1	41.9	2.6	6.5
訪問系	44	63.6	29.5	6.8	20.5	20.5	20.5	31.8	34.1	2.3	6.8
居住系	30	53.3	36.7	20.0	33.3	26.7	36.7	30.0	40.0	3.3	3.3
日中活動系	36	55.6	38.9	16.7	44.4	38.9	30.6	16.7	44.4	-	2.8
障害児系	39	43.6	30.8	12.8	53.8	35.9	30.8	28.2	51.3	5.1	7.7
相談支援系	25	52.0	32.0	20.0	44.0	24.0	48.0	36.0	36.0	4.0	12.0

【障害別】

単位：％

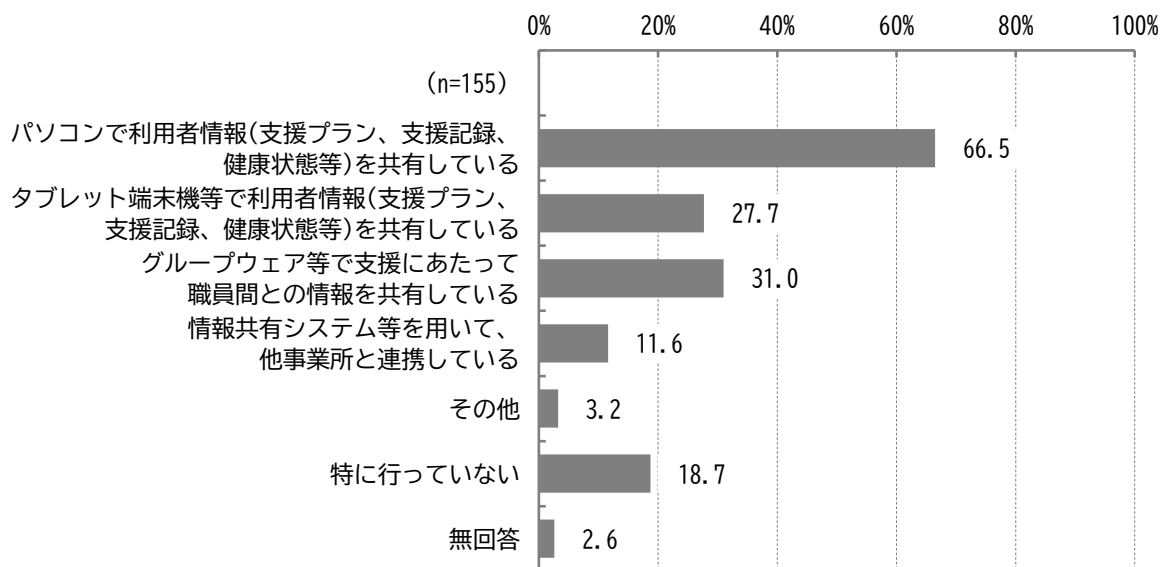
区分	回答者数 (件)	困難事例 の相談・ 支援	困難事例 のケース 検討会な どの開催	区職員の 巡回支 援・ アドバ イス	専門的知 識取得の ための研 修	同業者同 士のネッ トワーク づくりの 支援	関係機関 の連携支 援	支援に必 要なマ ニユアル 等の作成 支援	指摘の多 い指導内 容の情報 提供	その他	無回 答
全体	155	52.9	34.8	14.2	38.7	30.3	29.0	27.1	41.9	2.6	6.5
重度重複障害	16	62.5	18.8	12.5	37.5	31.3	31.3	37.5	50.0	-	12.5
視覚障害	6	83.3	16.7	16.7	-	16.7	33.3	50.0	33.3	16.7	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
肢体不自由	22	54.5	45.5	18.2	36.4	31.8	36.4	40.9	68.2	-	4.5
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	75.0	75.0	-	25.0	-	50.0	25.0	62.5	-	-
知的障害	87	54.0	39.1	19.5	41.4	31.0	21.8	24.1	35.6	2.3	5.7
精神障害	54	53.7	33.3	13.0	33.3	25.9	27.8	29.6	42.6	1.9	3.7
発達障害	44	45.5	34.1	13.6	47.7	29.5	29.5	18.2	40.9	4.5	9.1
高次脳機能障害	3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-
その他	5	20.0	-	-	60.0	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0

問 24 貴事業所では、支援等にあたり I C T 機器等を活用していますか。(〇はいくつでも)

「パソコンで利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している」が 66.5%と最も多く、次いで「グループウェア等で支援にあたって職員間との情報を共有している」が 31.0%、「タブレット端末機等で利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している」が 27.7%の順となっています。

提供サービス別にみると、「パソコンで利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している」が最も多く、次いで訪問系と日中活動系は「タブレット端末機等で利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している」、それ以外は「グループウェア等で支援にあたって職員間との情報を共有している」となっている。

障害別にみると、「パソコンで利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している」が最も多く、次いで精神障害は「タブレット端末機等で利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している」、知的障害と発達障害は「グループウェア等で支援にあたって職員間との情報を共有している」、重度重複障害と肢体不自由は「特に行っていない」となっている。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	パソコンで利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している	タブレット端末機等で利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している	グループウェア等で支援にあたって職員間の情報を共有している	情報共有システム等を用いて、他事業所と連携している	その他	特に行っていない	無回答
全体	155	66.5	27.7	31.0	11.6	3.2	18.7	2.6
訪問系	44	59.1	40.9	25.0	15.9	4.5	20.5	4.5
居住系	30	66.7	23.3	40.0	3.3	10.0	20.0	-
日中活動系	36	75.0	22.2	16.7	13.9	2.8	16.7	-
障害児系	39	59.0	25.6	38.5	10.3	-	20.5	5.1
相談支援系	25	80.0	16.0	32.0	8.0	12.0	8.0	-

【障害別】

単位：%

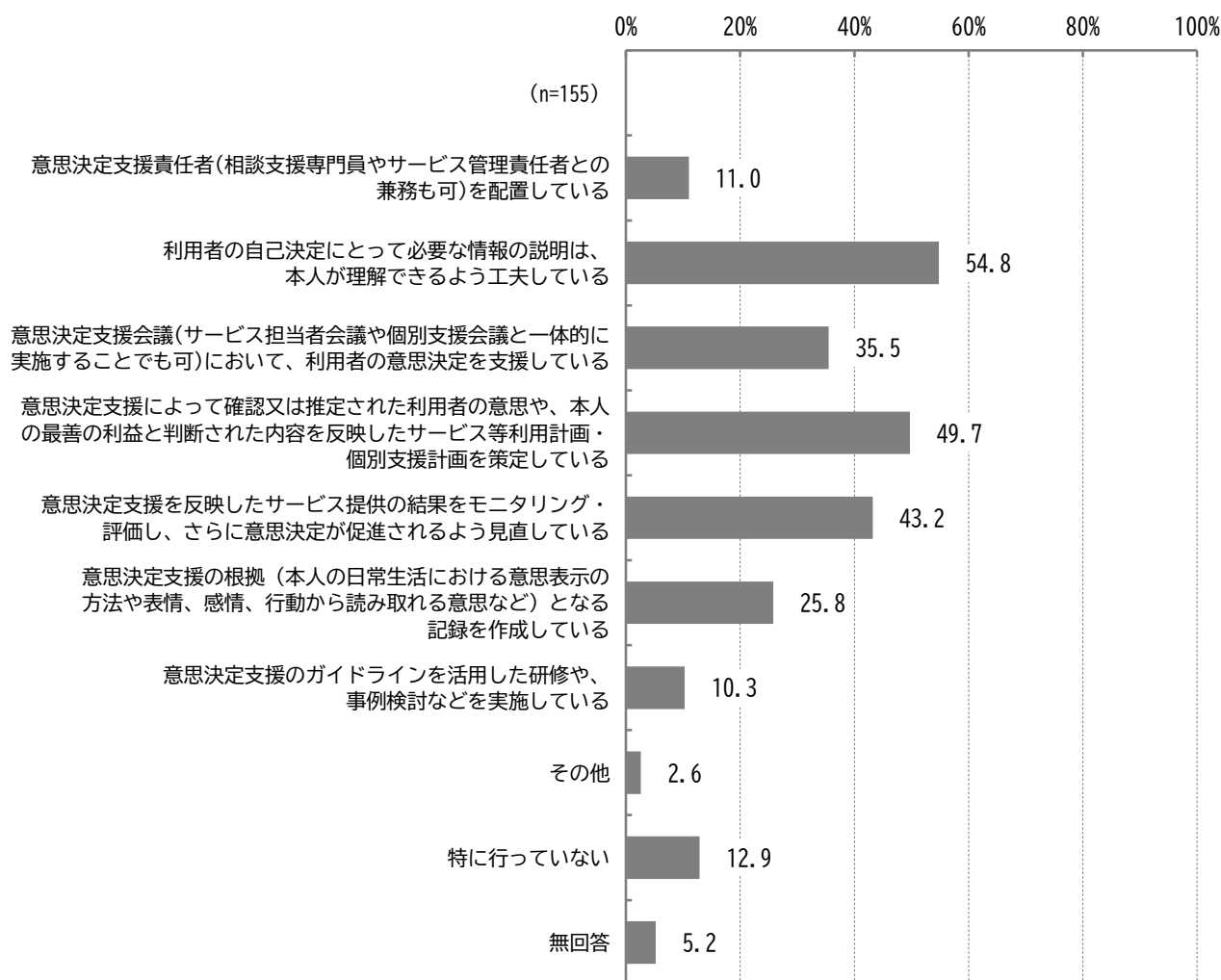
区分	回答者数(件)	パソコンで利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している	タブレット端末機等で利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している	グループウェア等で支援にあたって職員間の情報を共有している	情報共有システム等を用いて、他事業所と連携している	その他	特に行っていない	無回答
全体	155	66.5	27.7	31.0	11.6	3.2	18.7	2.6
重度重複障害	16	43.8	25.0	25.0	18.8	6.3	31.3	6.3
視覚障害	6	100.0	50.0	16.7	-	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	100.0	-	-	-	-	-	-
肢体不自由	22	45.5	27.3	22.7	18.2	4.5	36.4	-
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	75.0	50.0	50.0	37.5	-	12.5	-
知的障害	87	62.1	27.6	31.0	12.6	3.4	20.7	2.3
精神障害	54	77.8	31.5	29.6	13.0	-	13.0	-
発達障害	44	75.0	22.7	40.9	6.8	2.3	11.4	2.3
高次脳機能障害	3	66.7	33.3	33.3	-	-	33.3	-
その他	5	80.0	60.0	60.0	-	20.0	-	-

問 25 貴事業所では、利用者の意思決定を支援する取組や相談をしていますか。(〇はいくつでも)

「利用者の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるよう工夫している」が 54.8%と最も多く、次いで「意思決定支援によって確認又は推定された利用者の意思や、本人の最善の利益と判断された内容を反映したサービス等利用計画・個別支援計画を策定している」が 49.7%、「意思決定支援を反映したサービス提供の結果をモニタリング・評価し、さらに意思決定が促進されるよう見直している」が 43.2%の順となっています。

提供サービス別にみると、障害児系は「意思決定支援によって確認又は推定された利用者の意思や、本人の最善の利益と判断された内容を反映したサービス等利用計画・個別支援計画を策定している」、それ以外は「利用者の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるよう工夫している」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複障害と知的障害、精神障害は「利用者の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるよう工夫している」、肢体不自由と発達障害は「意思決定支援によって確認又は推定された利用者の意思や、本人の最善の利益と判断された内容を反映したサービス等利用計画・個別支援計画を策定している」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	意思決定支援責任者(相談支援専門員やサービス管理責任者との兼務も可)を配置している	利用者の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるように工夫している	意思決定支援会議(サービス担当者会議や個別支援会議と一体的に実施することも可)において、利用者の意思決定を支援している	意思決定支援によって確認又は推定された利用者の意思や、本人の最善の利益と判断された内容を反映したサービス等利用計画・個別支援計画を策定している	意思決定支援を反映したサービス提供の結果をモニタリング・評価し、さらに意思決定が促進されるよう見直している	意思決定支援の根拠(本人の日常生活における意思表示の方法や表情、感情、行動から読み取れる意思など)となる記録を作成している	意思決定支援のガイドラインを活用した研修や、事例検討などを実施している	その他	特に行っていない	無回答
全体	155	11.0	54.8	35.5	49.7	43.2	25.8	10.3	2.6	12.9	5.2
訪問系	44	2.3	56.8	31.8	29.5	36.4	20.5	6.8	-	15.9	6.8
居住系	30	10.0	70.0	50.0	56.7	46.7	30.0	16.7	3.3	6.7	-
日中活動系	36	22.2	72.2	44.4	66.7	47.2	19.4	11.1	5.6	5.6	2.8
障害児系	39	17.9	28.2	25.6	51.3	48.7	33.3	5.1	5.1	17.9	10.3
相談支援系	25	8.0	68.0	36.0	56.0	44.0	36.0	12.0	4.0	16.0	-

【障害別】

単位：%

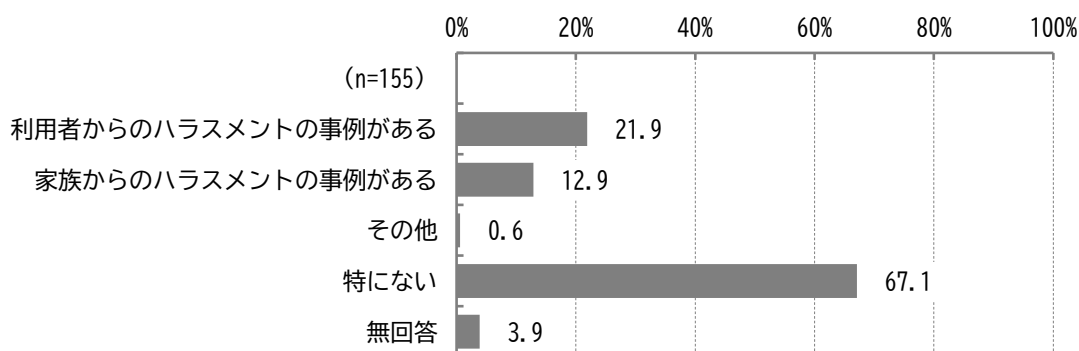
区分	回答者数(件)	意思決定支援責任者(相談支援専門員やサービス管理責任者との兼務も可)を配置している	利用者の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるよう工夫している	意思決定支援会議(サービス担当者会議や個別支援会議と一体的に実施する場合も可)において、利用者の意思決定を支援している	意思決定支援によって確認又は推定された利用者の意思や、本人の最善の利益と判断された内容を反映したサービス等利用計画・個別支援計画を策定している	意思決定支援を反映したサービス提供の結果をモニタリング・評価し、さらに意思決定が促進されるよう見直している	意思決定支援の根拠(本人の日常生活における意思表示の方法や表情、感情、行動から読み取れる意思など)となる記録を作成している	意思決定支援のガイドラインを活用した研修や、事例検討などを実施している	その他	特に行っていない	無回答
全体	155	11.0	54.8	35.5	49.7	43.2	25.8	10.3	2.6	12.9	5.2
重度重複障害	16	12.5	68.8	31.3	43.8	25.0	18.8	6.3	-	-	18.8
視覚障害	6	-	83.3	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
肢体不自由	22	-	40.9	22.7	45.5	31.8	31.8	9.1	-	13.6	9.1
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	-	62.5	25.0	50.0	50.0	12.5	25.0	-	12.5	-
知的障害	87	12.6	52.9	35.6	50.6	47.1	25.3	11.5	2.3	14.9	3.4
精神障害	54	11.1	61.1	42.6	50.0	42.6	22.2	9.3	1.9	14.8	1.9
発達障害	44	15.9	45.5	40.9	50.0	45.5	34.1	11.4	4.5	15.9	4.5
高次脳機能障害	3	66.7	66.7	-	100.0	33.3	33.3	33.3	-	-	-
その他	5	-	40.0	60.0	60.0	80.0	40.0	20.0	-	20.0	-

問 26 貴事業所では、この1年間で利用者やその家族から、暴力や暴言、契約以外のサービスの強要などのハラスメントの事例がありますか。(〇はいくつでも)

「特にない」が67.1%と最も多く、次いで「利用者からのハラスメント事例がある」が21.9%、「家族からのハラスメント事例がある」が12.9%の順となっています。

提供サービス別にみると、「特にない」が最も多く、次いで障害児系は「家族からのハラスメント事例がある」、それ以外は「利用者からのハラスメント事例がある」となっています。

障害別にみると、「特にない」が最も多く、次いでいずれの障害も「利用者からのハラスメント事例がある」となっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用者からのハラスメントの事例がある	家族からのハラスメントの事例がある	その他	特にない	無回答
全体	155	21.9	12.9	0.6	67.1	3.9
訪問系	44	31.8	18.2	-	59.1	4.5
居住系	30	23.3	10.0	-	63.3	6.7
日中活動系	36	27.8	13.9	-	63.9	-
障害児系	39	2.6	10.3	2.6	82.1	5.1
相談支援系	25	28.0	24.0	-	56.0	-

【障害別】

単位：%

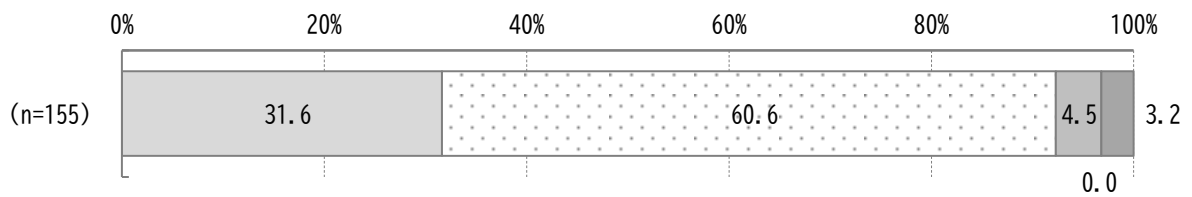
区分	回答者数 (件)	利用者からの ハラスメント の事例がある	家族からのハ ラスメントの 事例がある	その他	特にない	無回答
全体	155	21.9	12.9	0.6	67.1	3.9
重度重複障害	16	25.0	6.3	-	68.8	6.3
視覚障害	6	50.0	-	-	50.0	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	100.0	-	-	-
肢体不自由	22	22.7	9.1	-	77.3	-
内部障害	-	-	-	-	-	-
難病	8	12.5	25.0	-	75.0	-
知的障害	87	20.7	11.5	1.1	70.1	2.3
精神障害	54	27.8	16.7	-	61.1	3.7
発達障害	44	13.6	11.4	-	70.5	6.8
高次脳機能障害	3	-	33.3	-	66.7	-
その他	5	20.0	20.0	-	80.0	-

問 27 貴事業所では、「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。(○は1つ)

「言葉は知っているが、事業所としては特別な対応をしていない」が 60.6%と最も多く、次いで「言葉を知っており、事業所として意識して対応している」が 31.6%となっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「言葉を知っており、事業所として意識して対応している」、それ以外は「言葉は知っているが、事業所としては特別な対応をしていない」が最も多くなっています。

障害別にみると、肢体不自由は「言葉を知っており、事業所として意識して対応している」、それ以外は「言葉は知っているが、事業所としては特別な対応をしていない」が最も多くなっています。



- 言葉を知っており、事業所として意識して対応している
- 言葉は知っているが、事業所としては特別な対応をしていない
- 言葉を聞いたことがあるが、具体的には知らない
- 言葉を知らない
- 無回答

【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	言葉を知っており、事業所として意識して対応している	言葉は知っているが、事業所としては特別な対応をしていない	言葉を聞いたことがあるが、具体的には知らない	言葉を知らない	無回答
全体	155	31.6	60.6	4.5	-	3.2
訪問系	44	40.9	50.0	2.3	-	6.8
居住系	30	20.0	73.3	6.7	-	-
日中活動系	36	19.4	72.2	8.3	-	-
障害児系	39	38.5	53.8	2.6	-	5.1
相談支援系	25	52.0	48.0	-	-	-

【障害別】

単位：%

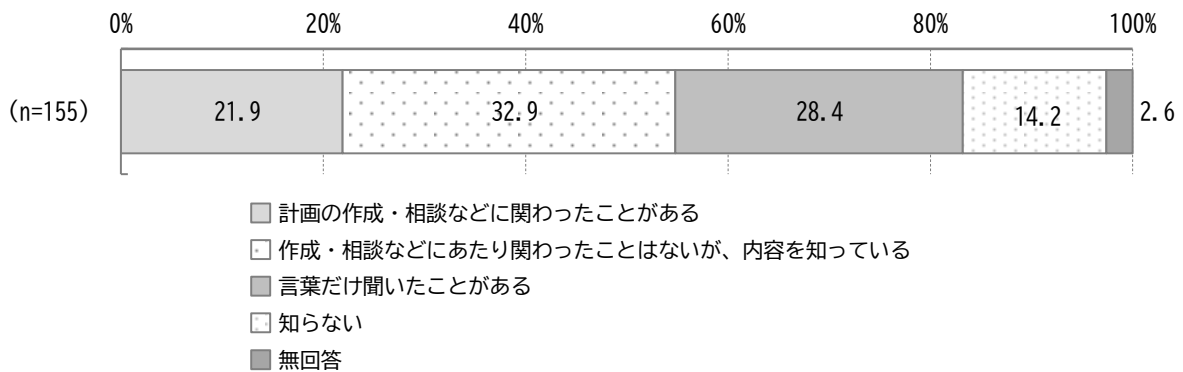
区分	回答者数(件)	言葉を知っており、事業所として意識して対応している	言葉は知っているが、事業所としては特別な対応をしていない	言葉を聞いたことがあるが、具体的には知らない	言葉を知らない	無回答
全体	155	31.6	60.6	4.5	-	3.2
重度重複障害	16	43.8	50.0	-	-	6.3
視覚障害	6	-	100.0	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	100.0	-	-	-	-
肢体不自由	22	50.0	45.5	-	-	4.5
内部障害	-	-	-	-	-	-
難病	8	50.0	50.0	-	-	-
知的障害	87	32.2	56.3	8.0	-	3.4
精神障害	54	24.1	72.2	3.7	-	-
発達障害	44	27.3	65.9	4.5	-	2.3
高次脳機能障害	3	33.3	66.7	-	-	-
その他	5	40.0	60.0	-	-	-

問 28 「緊急時対応計画」を知っていますか。(○は1つ)

「作成・相談などにあたり関わったことはないが、内容を知っている」が 32.9%と最も多く、次いで「言葉だけ聞いたことがある」が 28.4%、「計画の作成・相談などに関わったことがある」が 21.9%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系と居住系、日中活動系は「作成・相談などにあたり関わったことはないが、内容を知っている」、障害児系は「言葉だけ聞いたことがある」、相談支援系は「計画の作成・相談などに関わったことがある」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複障害は「計画の作成・相談などに関わったことがある」と「言葉だけ聞いたことがある」、肢体不自由は「言葉だけ聞いたことがある」、知的障害と精神障害、発達障害は「作成・相談などにあたり関わったことはないが、内容を知っている」の順となっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	計画の作成・相談などに 関わったことがある	作成・相談などにあた り関わったことはない が、内容を知っている	言葉だけ聞いたこと がある	知らない	無回答
全体	155	21.9	32.9	28.4	14.2	2.6
訪問系	44	13.6	34.1	29.5	18.2	4.5
居住系	30	30.0	36.7	23.3	10.0	-
日中活動系	36	19.4	36.1	27.8	16.7	-
障害児系	39	20.5	25.6	33.3	15.4	5.1
相談支援系	25	44.0	40.0	12.0	4.0	-

【障害別】

単位：%

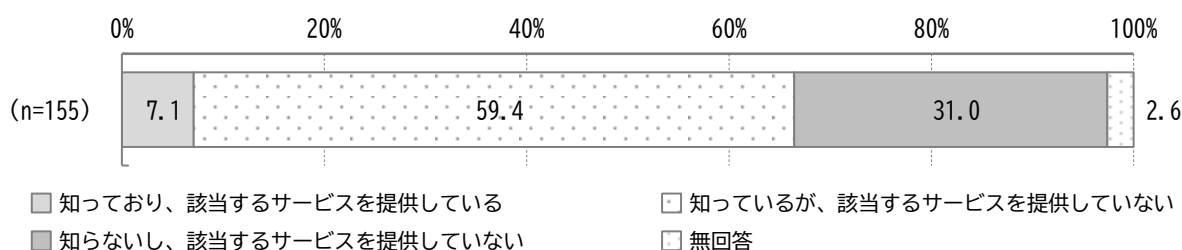
区分	回答者数(件)	計画の作成・相談などに関わったことがある	作成・相談などにあたり関わったことはないが、内容を知っている	言葉だけ聞いたことがある	知らない	無回答
全体	155	21.9	32.9	28.4	14.2	2.6
重度重複障害	16	31.3	12.5	31.3	18.8	6.3
視覚障害	6	16.7	50.0	16.7	16.7	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	100.0	-	-
肢体不自由	22	22.7	22.7	36.4	18.2	-
内部障害	-	-	-	-	-	-
難病	8	12.5	62.5	12.5	12.5	-
知的障害	87	27.6	31.0	25.3	13.8	2.3
精神障害	54	18.5	37.0	29.6	14.8	-
発達障害	44	22.7	38.6	22.7	13.6	2.3
高次脳機能障害	3	-	-	100.0	-	-
その他	5	-	80.0	20.0	-	-

問 29 「緊急時対応事業」を知っていますか。(○は1つ)

「知っているが、該当するサービスを提供していない」が 59.4%と最も多く、次いで「知らないし、該当するサービスを提供していない」が 31.0%、「知っており、該当するサービスを提供している」が 7.1%の順となっています。

提供サービス別にみると、いずれも「知っているが、該当するサービスを提供していない」が最も多く、次いで居住系は「知っており、該当するサービスを提供している」と「知らないし、該当するサービスを提供していない」、それ以外は「知らないし、該当するサービスを提供していない」となっています。

障害別にみると、重度重複障害は「知らないし、該当するサービスを提供していない」、それ以外は「知っているが、該当するサービスを提供していない」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	知っており、該当するサービスを提供している	知っているが、該当するサービスを提供していない	知らないし、該当するサービスを提供していない	無回答
全体	155	7.1	59.4	31.0	2.6
訪問系	44	2.3	56.8	36.4	4.5
居住系	30	23.3	53.3	23.3	-
日中活動系	36	5.6	58.3	36.1	-
障害児系	39	5.1	53.8	35.9	5.1
相談支援系	25	12.0	80.0	8.0	-

【障害別】

単位：％

区分	回答者数(件)	知っており、該当するサービスを提供している	知っているが、該当するサービスを提供していない	知らないし、該当するサービスを提供していない	無回答
全体	155	7.1	59.4	31.0	2.6
重度重複障害	16	-	37.5	56.3	6.3
視覚障害	6	-	66.7	33.3	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	100.0	-	-
肢体不自由	22	9.1	50.0	40.9	-
内部障害	-	-	-	-	-
難病	8	-	87.5	12.5	-
知的障害	87	9.2	59.8	28.7	2.3
精神障害	54	7.4	57.4	35.2	-
発達障害	44	4.5	68.2	25.0	2.3
高次脳機能障害	3	-	66.7	33.3	-
その他	5	-	80.0	20.0	-

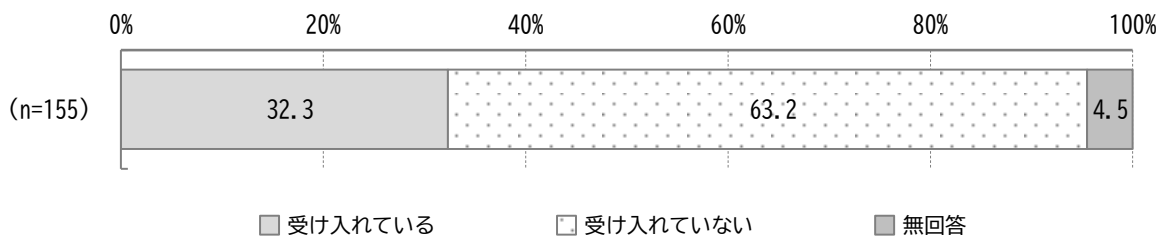
## (4) 高次脳機能障害・高齢障害者の支援について

問 30 貴事業所では、高次脳機能障害の方を受け入れていますか。(○は1つ)

「受け入れていない」が63.2%、「受け入れている」が32.3%となっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「受け入れている」、訪問系は「受け入れている」と「受け入れていない」、それ以外は「受け入れていない」が最も多くなっています。

障害別にみると、いずれも「受け入れていない」が最も多くなっており、重度重複障害、肢体不自由、精神障害は「受け入れている」が4割を超えています。



### 【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	受け入れている (%)	受け入れていない (%)	無回答 (%)
全体	155	32.3	63.2	4.5
訪問系	44	47.7	47.7	4.5
居住系	30	23.3	73.3	3.3
日中活動系	36	38.9	61.1	-
障害児系	39	7.7	84.6	7.7
相談支援系	25	56.0	40.0	4.0

### 【障害別】

単位：%

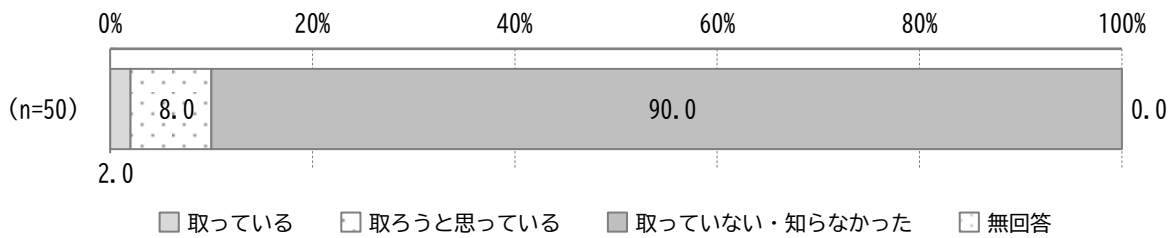
区分	回答者数 (件)	受け入れている (%)	受け入れていない (%)	無回答 (%)
全体	155	32.3	63.2	4.5
重度重複障害	16	43.8	56.3	-
視覚障害	6	50.0	50.0	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	100.0	-	-
肢体不自由	22	45.5	54.5	-
内部障害	-	-	-	-
難病	8	62.5	37.5	-
知的障害	87	25.3	71.3	3.4
精神障害	54	40.7	59.3	-
発達障害	44	25.0	68.2	6.8
高次脳機能障害	3	100.0	-	-
その他	5	40.0	40.0	20.0

問 31 貴事業所では、高次脳機能障害者支援体制加算を取っていますか。(○は1つ)

「取っていない・知らなかった」が90.0%、「取ろうと思っている」が8.0%、「取っている」が2.0%となっています。

提供サービス別にみると、「取っていない・知らなかった」が最も多く、次いで居住系は「取っている」、それ以外は「取ろうと思っている」となっています。

障害別にみても、「取っていない・知らなかった」が最も多く、次いで肢体不自由は「取ろうと思っている」、知的障害、発達障害は「取っている」、「取ろうと思っている」となっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	取っている	取ろうと思っている	取っていない・知らなかった	無回答
全体	50	2.0	8.0	90.0	-
訪問系	21	-	-	100.0	-
居住系	7	14.3	-	85.7	-
日中活動系	14	-	14.3	85.7	-
障害児系	3	-	-	100.0	-
相談支援系	14	7.1	21.4	71.4	-

【障害別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	取っている	取ろうと思っている	取っていない・知らなかった	無回答
全体	50	2.0	8.0	90.0	-
重度重複障害	7	-	-	100.0	-
視覚障害	3	-	-	100.0	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	100.0	-	-
肢体不自由	10	-	20.0	80.0	-
内部障害	-	-	-	-	-
難病	5	-	-	100.0	-
知的障害	22	4.5	4.5	90.9	-
精神障害	22	4.5	4.5	90.9	-
発達障害	11	-	-	100.0	-
高次脳機能障害	3	-	66.7	33.3	-
その他	2	-	-	100.0	-

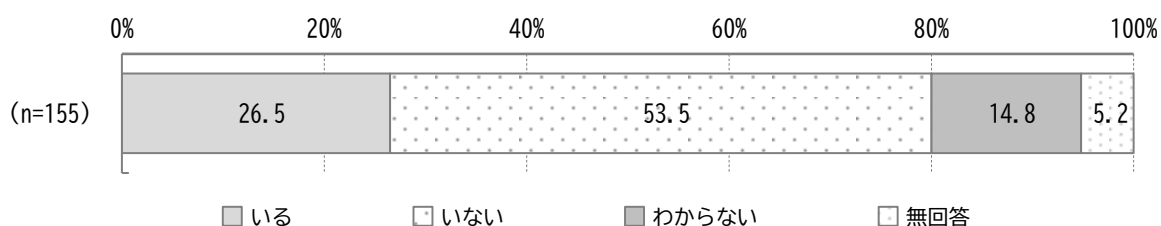
問 32 共生型サービス事業所について

① 貴事業所では、65 歳になる前に加齢による機能低下がみられる方はいますか。(○は1つ)

「いない」が53.5%、「いる」が26.5%、「わからない」が14.8%となっています。

提供サービス別にみると、「居住系」と「日中活動系」、「相談支援系」は「いる」の方が多い一方、「訪問系」と「障害児系」は「いない」の方が多くなっています。

障害別にみると、いずれも「いない」が最も多く、次いで肢体不自由は「わからない」、それ以外は「いる」となっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	わからない	無回答
全体	155	26.5	53.5	14.8	5.2
訪問系	44	11.4	70.5	13.6	4.5
居住系	30	56.7	40.0	3.3	-
日中活動系	36	44.4	36.1	16.7	2.8
障害児系	39	2.6	61.5	25.6	10.3
相談支援系	25	52.0	36.0	4.0	8.0

【障害別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	わからない	無回答
全体	155	26.5	53.5	14.8	5.2
重度重複障害	16	31.3	50.0	18.8	-
視覚障害	6	33.3	66.7	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	100.0	-	-
肢体不自由	22	18.2	54.5	27.3	-
内部障害	-	-	-	-	-
難病	8	-	100.0	-	-
知的障害	87	28.7	50.6	17.2	3.4
精神障害	54	31.5	44.4	20.4	3.7
発達障害	44	15.9	61.4	13.6	9.1
高次脳機能障害	3	33.3	33.3	33.3	-
その他	5	20.0	60.0	-	20.0

問 32 ② (①で「1.いる」に○をつけた事業所)

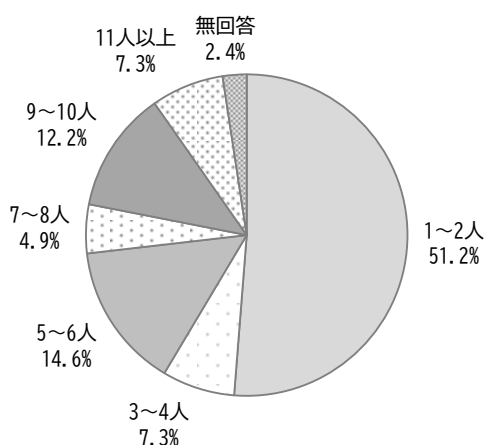
何人くらいいますか。

「1～2人」が51.2%と最も多く、次いで「5～6人」が14.6%、「9～10人」が12.2%の順となっています。

提供サービス別にみると「1～2人」が最も多く、次いで居住系は「9～10人」、それ以外は「5～6人」となっています。

障害別にみると、「1～2人」が最も多く、次いで知的障害は「5～6人」、精神障害は「9～10人」となっています。

(n=41)



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	1～2人	3～4人	5～6人	7～8人	9～10人	11人以上	無回答
全体	41	51.2	7.3	14.6	4.9	12.2	7.3	2.4
訪問系	5	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0
居住系	17	35.3	11.8	11.8	11.8	17.6	5.9	5.9
日中活動系	16	50.0	12.5	18.8	-	12.5	6.3	-
障害児系	1	100.0	-	-	-	-	-	-
相談支援系	13	53.8	7.7	23.1	-	15.4	-	-

【障害別】

単位：%

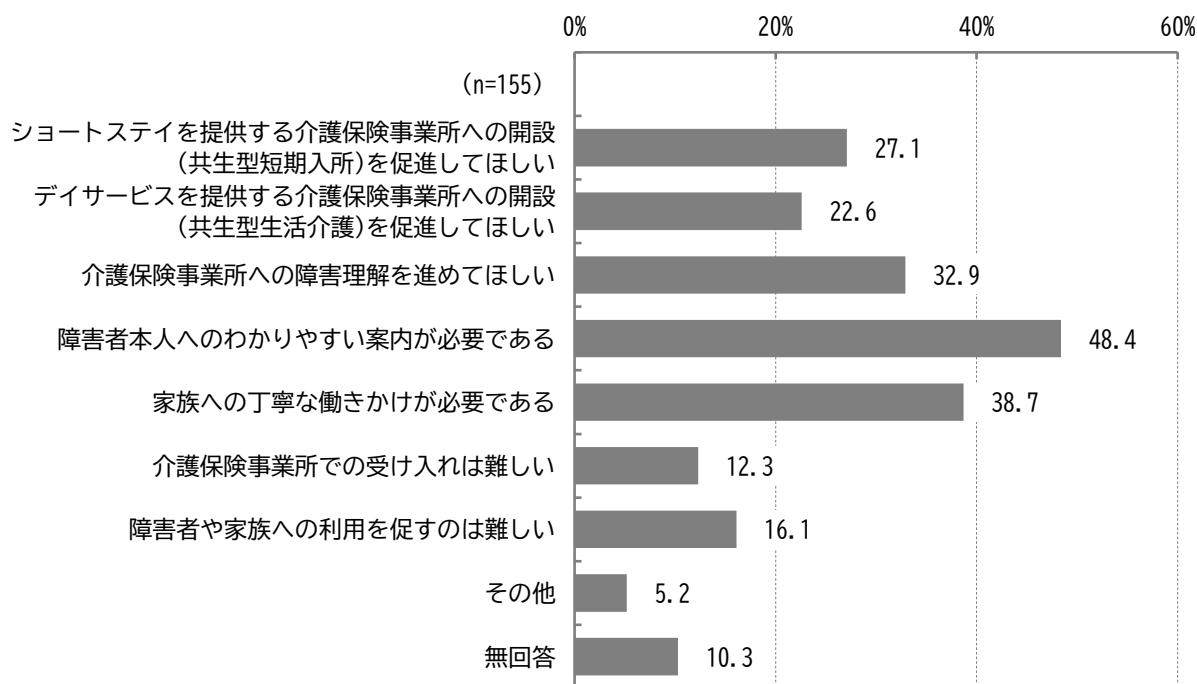
区分	回答者数 (件)	1～2人	3～4人	5～6人	7～8人	9～10人	11人以上	無回答
全体	41	51.2	7.3	14.6	4.9	12.2	7.3	2.4
重度重複障害	5	40.0	-	20.0	-	-	20.0	20.0
視覚障害	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-
肢体不自由	4	25.0	-	25.0	-	25.0	25.0	-
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	-	-	-	-	-	-
知的障害	25	44.0	4.0	20.0	8.0	12.0	8.0	4.0
精神障害	17	64.7	5.9	11.8	-	17.6	-	-
発達障害	7	57.1	-	-	14.3	28.6	-	-
高次脳機能障害	1	100.0	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	100.0	-	-

問 32 ③「共生型サービス事業所」の開設促進について、貴事業所では、どう考えますか。  
 (〇はいくつでも)

「障害者本人へのわかりやすい案内が必要である」が 48.4%と最も多く、次いで「家族への丁寧な働きかけが必要である」が 38.7%、「介護保険事業所への障害理解を進めてほしい」が 32.9%の順となっています。

提供サービス別にみると「障害者本人へのわかりやすい案内が必要である」が最も多く、次いで訪問系は「ショートステイを提供する介護保険事業所への開設（共生型短期入所）を促進してほしい」、相談支援系は「介護保険事業所への障害理解を進めてほしい」、それ以外は「家族への丁寧な働きかけが必要である」となっています。

障害別にみると、「障害者本人へのわかりやすい案内が必要である」が最も多く、次いでいずれの障害も「家族への丁寧な働きかけが必要である」となっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	シヨートステイを提供する介護保険事業所への開設(共生型短期入所)を促進してほしい	デイサービスを提供する介護保険事業所への開設(共生型生活介護)を促進してほしい	介護保険事業所への障害理解を進めてほしい	障害者本人へのわかりやすい案内が必要である	家族への丁寧な働きかけが必要である	介護保険事業所での受け入れは難しい	障害者や家族への利用を促すのは難しい	その他	無回答
全体	155	27.1	22.6	32.9	48.4	38.7	12.3	16.1	5.2	10.3
訪問系	44	31.8	22.7	22.7	36.4	29.5	29.5	20.5	9.1	4.5
居住系	30	26.7	33.3	50.0	73.3	56.7	13.3	23.3	3.3	-
日中活動系	36	25.0	27.8	47.2	61.1	55.6	2.8	13.9	5.6	5.6
障害児系	39	17.9	5.1	10.3	28.2	25.6	2.6	15.4	2.6	25.6
相談支援系	25	52.0	40.0	60.0	64.0	36.0	16.0	20.0	4.0	16.0

【障害別】

単位：％

区分	回答者数(件)	シヨートステイを提供する介護保険事業所への開設(共生型短期入所)を促進してほしい	デイサービスを提供する介護保険事業所への開設(共生型生活介護)を促進してほしい	介護保険事業所への障害理解を進めてほしい	障害者本人へのわかりやすい案内が必要である	家族への丁寧な働きかけが必要である	介護保険事業所での受け入れは難しい	障害者や家族への利用を促すのは難しい	その他	無回答
全体	155	27.1	22.6	32.9	48.4	38.7	12.3	16.1	5.2	10.3
重度重複障害	16	18.8	18.8	31.3	62.5	43.8	6.3	6.3	6.3	18.8
視覚障害	6	50.0	33.3	33.3	50.0	50.0	16.7	33.3	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
肢体不自由	22	31.8	18.2	31.8	50.0	40.9	9.1	4.5	13.6	4.5
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	25.0	25.0	37.5	50.0	37.5	62.5	50.0	-	-
知的障害	87	31.0	28.7	36.8	44.8	42.5	9.2	16.1	3.4	8.0
精神障害	54	25.9	22.2	33.3	59.3	37.0	16.7	18.5	7.4	1.9
発達障害	44	22.7	13.6	22.7	40.9	27.3	6.8	11.4	4.5	20.5
高次脳機能障害	3	33.3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3
その他	5	-	-	20.0	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0

【65歳以前に加齢による機能低下の方の有無別】

問 32①で 65 歳以前に加齢による機能低下の方がいると回答した事業所の 65.9%が「障害者本人のわかりやすい案内が必要である」と回答しています。

単位：%

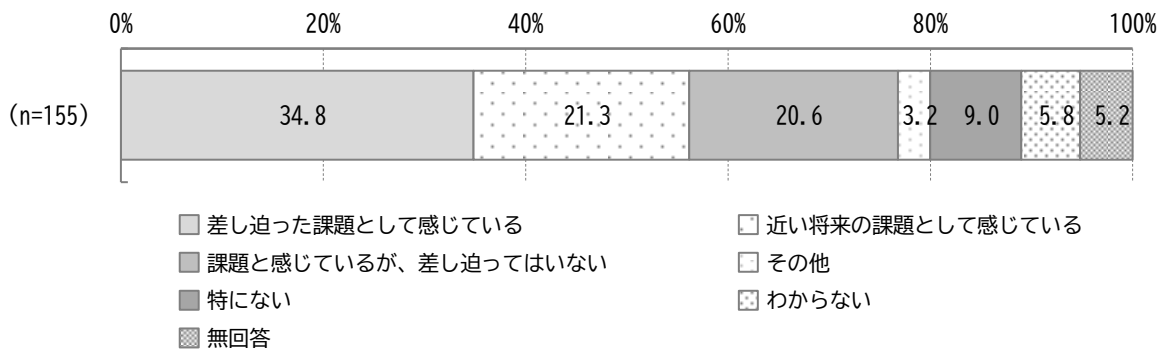
区分	回答者数(件)	ショートステイを提供する介護保険事業所への開設(共生型短期入所)を促進してほしい	デイサービスを提供する介護保険事業所への開設(共生型生活介護)を促進してほしい	介護保険事業所への障害理解を進めてほしい	障害者本人へのわかりやすい案内が必要である	家族への丁寧な働きかけが必要である	介護保険事業所での受け入れは難しい	障害者や家族への利用を促すのは難しい	その他	無回答
全体	155	27.1	22.6	32.9	48.4	38.7	12.3	16.1	5.2	10.3
いる	41	48.8	53.7	56.1	65.9	39.0	4.9	24.4	7.3	-
いない	83	21.7	13.3	25.3	44.6	38.6	16.9	13.3	6.0	8.4
わからない	23	13.0	4.3	30.4	47.8	52.2	13.0	17.4	-	8.7

問 33 貴事業所で、高齢障害者の課題をどう考えていますか。(○は1つ)

「差し迫った課題として感じている」が 34.8%と最も多く、次いで「近い将来の課題として感じている」が 21.3%、「課題と感じているが、差し迫ってはいない」が 20.6%の順となっています。

提供サービス別にみると、障害児系は「特にない」、それ以外は「差し迫った課題として感じている」が最も多く、次いで居住系は「課題と感じているが、差し迫ってはいない」、障害児系は「わからない」、それ以外は「近い将来の課題として感じている」となっています。

障害別にみると、肢体不自由は「近い将来の課題として感じている」、重度重複障害と知的障害、精神障害、発達障害は「差し迫った課題として感じている」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	差し迫った課題として感じている	近い将来の課題として感じている	課題と感じているが、差し迫ってはいない	その他	特にない	わからない	無回答
全体	155	34.8	21.3	20.6	3.2	9.0	5.8	5.2
訪問系	44	34.1	27.3	22.7	4.5	2.3	2.3	6.8
居住系	30	43.3	23.3	30.0	3.3	-	-	-
日中活動系	36	55.6	25.0	16.7	2.8	-	-	-
障害児系	39	10.3	10.3	15.4	2.6	30.8	20.5	10.3
相談支援系	25	56.0	20.0	8.0	4.0	8.0	-	4.0

【障害別】

単位：％

区分	回答者数(件)	差し迫った課題として感じている	近い将来の課題として感じている	課題と感じているが、差し迫ってはいない	その他	特にない	わからない	無回答
全体	155	34.8	21.3	20.6	3.2	9.0	5.8	5.2
重度重複障害	16	31.3	18.8	12.5	6.3	12.5	6.3	12.5
視覚障害	6	50.0	-	50.0	-	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	100.0	-	-	-	-	-
肢体不自由	22	18.2	22.7	18.2	9.1	18.2	9.1	4.5
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	37.5	25.0	37.5	-	-	-	-
知的障害	87	39.1	21.8	16.1	3.4	8.0	9.2	2.3
精神障害	54	44.4	25.9	22.2	3.7	1.9	1.9	-
発達障害	44	25.0	18.2	15.9	2.3	20.5	11.4	6.8
高次脳機能障害	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-
その他	5	20.0	20.0	40.0	-	-	-	20.0

【65歳以前に加齢による機能低下の方の有無別】

問 32①で 65 歳以前に加齢による機能低下の方がいると回答した事業所の 75.6%が「差し迫った課題として感じている」と回答しています。

単位：％

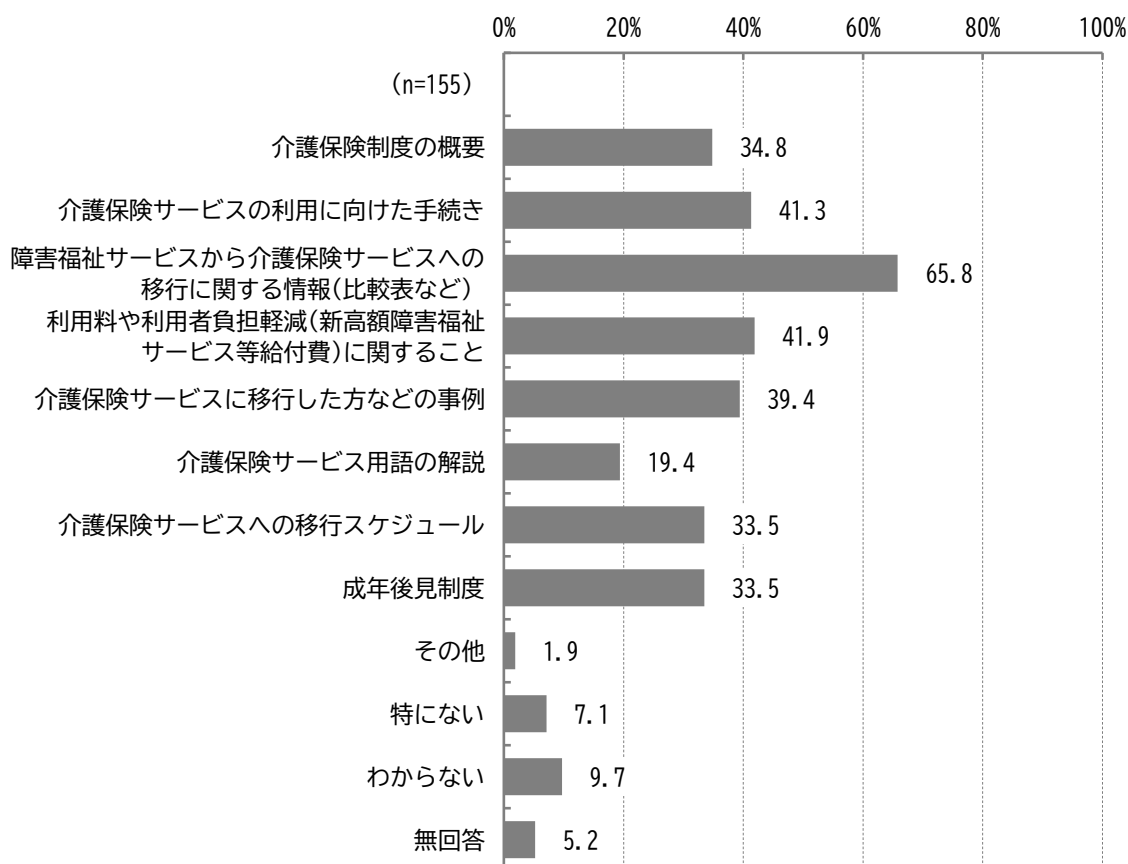
区分	回答者数(件)	差し迫った課題として感じている	近い将来の課題として感じている	課題と感じているが、差し迫ってはいない	その他	特にない	わからない	無回答
全体	155	34.8	21.3	20.6	3.2	9.0	5.8	5.2
いる	41	75.6	14.6	4.9	2.4	2.4	-	-
いない	83	16.9	26.5	28.9	4.8	13.3	7.2	2.4
わからない	23	34.8	21.7	17.4	-	8.7	13.0	4.3

問 34 区では、高齢障害者の支援の充実にあたり、介護保険移行期の障害・高齢両サービスや手続き等の情報をまとめたリーフレットの作成を検討しています。掲載してほしい項目はありますか。  
(〇はいくつでも)

「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に関する情報(比較表など)」が65.8%と最も多く、次いで「利用料や利用者負担軽減(新高額障害福祉サービス等給付費)に関すること」が41.9%、「介護保険サービスの利用に向けた手続き」が41.3%の順となっています。

提供サービス別にみると、障害児系は「わからない」、それ以外は「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に関する情報(比較表など)」が最も多く、次いで居住系と相談支援系は「介護保険サービスの利用に向けた手続き」、日中活動系は「利用料や利用者負担軽減(新高額障害福祉サービス等給付費)に関すること」、訪問系は「介護保険サービスの利用に向けた手続き」と「利用料や利用者負担軽減(新高額障害福祉サービス等給付費)に関すること」、障害児系は「特にない」が多くなっています。

障害別にみると、いずれも「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に関する情報(比較表など)」が最も多く、次いで重度重複障害と知的障害は「介護保険サービスの利用に向けた手続き」、肢体不自由と発達障害は「利用料や利用者負担軽減(新高額障害福祉サービス等給付費)に関すること」、精神障害は「利用料や利用者負担軽減(新高額障害福祉サービス等給付費)に関すること」と「介護保険サービスに移行した方などの事例」が多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	介護保険制度の概要	介護保険サービスの利用に向けた手続き	障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に関する情報(比較表など)	障害福祉サービスから介護保険サービス(新高額障害福祉サービス等給付費)に関する事	利用料や利用者負担軽減(新高額障害福祉サービス等給付費)に関する事	介護保険サービスに移行した方などの事例	介護保険サービス用語の解説	介護保険サービスへの移行スケジュール	成年後見制度	その他	特にな	わからない	無回答
全体	155	34.8	41.3	65.8	41.9	39.4	19.4	33.5	33.5	1.9	7.1	9.7	5.2	
訪問系	44	40.9	50.0	65.9	50.0	45.5	20.5	34.1	38.6	4.5	-	4.5	4.5	
居住系	30	53.3	60.0	86.7	46.7	46.7	23.3	43.3	56.7	-	3.3	-	-	
日中活動系	36	44.4	44.4	94.4	55.6	52.8	30.6	50.0	33.3	-	-	-	-	
障害児系	39	10.3	10.3	25.6	10.3	12.8	7.7	12.8	20.5	-	23.1	28.2	12.8	
相談支援系	25	40.0	56.0	68.0	52.0	36.0	24.0	40.0	28.0	4.0	12.0	8.0	4.0	

【障害別】

単位：%

区分	回答者数(件)	介護保険制度の概要	介護保険サービスの利用に向けた手続き	障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に関する情報(比較表など)	障害福祉サービス等給付費)に関する事	利用料や利用者負担軽減(新高額障害福祉サービス等給付費)に関する事	介護保険サービスに移行した方などの事例	介護保険サービス用語の解説	介護保険サービスへの移行スケジュール	成年後見制度	その他	特にな	わからない	無回答
全体	155	34.8	41.3	65.8	41.9	39.4	19.4	33.5	33.5	1.9	7.1	9.7	5.2	
重度重複障害	16	25.0	43.8	56.3	37.5	18.8	6.3	25.0	18.8	6.3	6.3	6.3	12.5	
視覚障害	6	66.7	83.3	100.0	50.0	66.7	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	
聴覚障害・平衡機能障害	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
肢体不自由	22	18.2	31.8	63.6	50.0	22.7	18.2	31.8	22.7	4.5	4.5	18.2	-	
内部障害	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
難病	8	50.0	50.0	100.0	37.5	37.5	37.5	25.0	62.5	-	-	-	-	
知的障害	87	35.6	42.5	65.5	40.2	39.1	17.2	33.3	34.5	2.3	9.2	13.8	3.4	
精神障害	54	50.0	53.7	75.9	55.6	55.6	22.2	48.1	37.0	1.9	3.7	1.9	-	
発達障害	44	18.2	22.7	38.6	31.8	20.5	18.2	27.3	25.0	2.3	18.2	18.2	9.1	
高次脳機能障害	3	33.3	33.3	100.0	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	
その他	5	20.0	20.0	60.0	20.0	20.0	-	-	40.0	-	-	-	20.0	

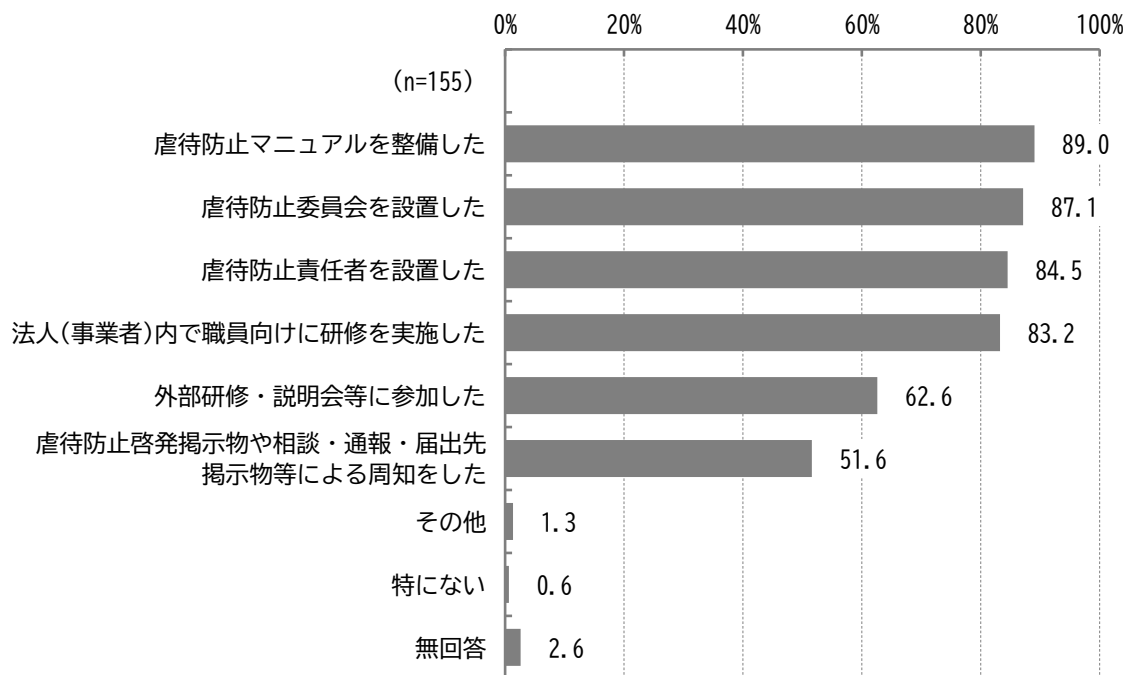
## (5) 虐待防止について

問 35 貴事業所で、障害者虐待防止に向けて取り組んでいることはなんですか。(〇はいくつでも)

「虐待防止マニュアルを整備した」が 89.0%と最も多く、次いで「虐待防止委員会を設置した」が 87.1%、「虐待防止責任者を設置した」が 84.5%、「法人（事業者）内で職員向けに研修を実施した」が 83.2%の順となっており、いずれも 8割を上回っています。

提供サービス別にみると、障害児系は「虐待防止マニュアルを整備した」と「虐待防止委員会を設置した」、「虐待防止責任者を設置した」、居住系は「虐待防止マニュアルを整備した」と「虐待防止委員会を設置した」、訪問系は「虐待防止マニュアルを整備した」、日中活動系と相談支援系は「虐待防止委員会を設置した」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複障害と肢体不自由、知的障害、精神障害は「虐待防止マニュアルを整備した」、発達障害は「虐待防止責任者を設置した」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	虐待防止マニュアルを整備した	虐待防止委員会を設置した	虐待防止責任者を設置した	法人(事業者)内で職員向けに研修を実施した	外部研修・説明会等に参加した	虐待防止啓発掲示物や相談・通報・届出先掲示物等による周知をした	その他	特にない	無回答
全体	155	89.0	87.1	84.5	83.2	62.6	51.6	1.3	0.6	2.6
訪問系	44	88.6	77.3	77.3	77.3	38.6	27.3	-	2.3	4.5
居住系	30	96.7	96.7	90.0	86.7	80.0	66.7	3.3	-	-
日中活動系	36	91.7	94.4	91.7	91.7	75.0	69.4	2.8	-	-
障害児系	39	89.7	89.7	89.7	84.6	71.8	64.1	-	-	5.1
相談支援系	25	76.0	84.0	76.0	80.0	68.0	36.0	-	-	-

【障害別】

単位：％

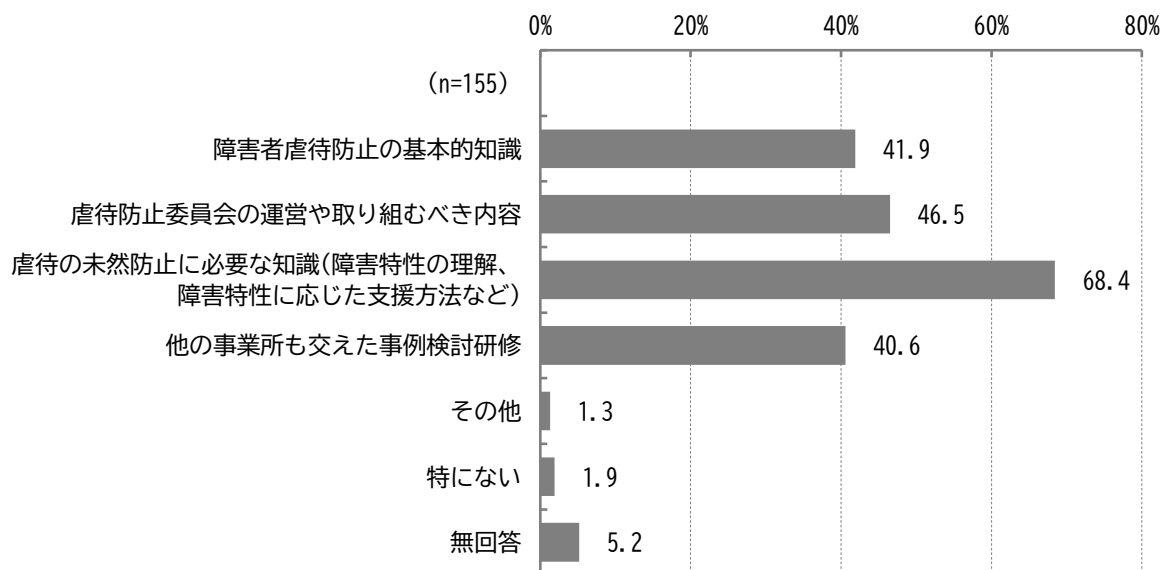
区分	回答者数(件)	虐待防止マニュアルを整備した	虐待防止委員会を設置した	虐待防止責任者を設置した	法人(事業者)内で職員向けに研修を実施した	外部研修・説明会等に参加した	虐待防止啓発掲示物や相談・通報・届出先掲示物等による周知をした	その他	特にない	無回答
全体	155	89.0	87.1	84.5	83.2	62.6	51.6	1.3	0.6	2.6
重度重複障害	16	87.5	81.3	68.8	68.8	62.5	56.3	-	6.3	6.3
視覚障害	6	83.3	100.0	83.3	83.3	50.0	33.3	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-
肢体不自由	22	100.0	90.9	86.4	81.8	50.0	36.4	-	-	-
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	87.5	62.5	62.5	87.5	75.0	12.5	-	12.5	-
知的障害	87	93.1	90.8	86.2	85.1	63.2	58.6	2.3	-	2.3
精神障害	54	92.6	85.2	81.5	87.0	51.9	48.1	1.9	-	-
発達障害	44	88.6	86.4	90.9	88.6	72.7	56.8	-	-	2.3
高次脳機能障害	3	66.7	66.7	66.7	100.0	100.0	-	-	-	-
その他	5	60.0	80.0	100.0	80.0	80.0	60.0	-	-	-

問 36 区の虐待防止研修で取り上げてほしい内容(テーマ)はなんですか。(〇はいくつでも)

「虐待の未然防止に必要な知識(障害特性の理解、障害特性に応じた支援方法など)」が 68.4%と最も多く、次いで「虐待防止委員会の運営や取り組むべき内容」が 46.5%、「障害者虐待防止の基本的知識」が 41.9%の順となっています。

提供サービス別にみると、「虐待の未然防止に必要な知識(障害特性の理解、障害特性に応じた支援方法など)」が最も多く、次いで訪問系は「障害者虐待防止の基本的知識」、居住系と相談支援系は「虐待防止委員会の運営や取り組むべき内容」、日中活動系と障害児系は「他の事業所も交えた事例検討会研修」となっています。

障害別にみると、重度重複障害は「障害者虐待防止の基本的知識」、肢体不自由は「虐待防止委員会の運営や取り組むべき内容」と「虐待の未然防止に必要な知識(障害特性の理解、障害特性に応じた支援方法など)」、それ以外は「虐待の未然防止に必要な知識(障害特性の理解、障害特性に応じた支援方法など)」が最も多く、次いで重度重複障害は「虐待防止委員会の運営や取り組むべき内容」と「虐待の未然防止に必要な知識(障害特性の理解、障害特性に応じた支援方法など)」、知的障害と精神障害、発達障害は「他の事業所も交えた事例検討会研修」となっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	障害者虐待防止の基本的知識	虐待防止委員会の運営や取り組むべき内容	虐待の未然防止に必要な知識(障害特性の理解、障害特性に応じた支援方法など)	他の事業所も交えた事例検討研修	その他	特にない	無回答
全体	155	41.9	46.5	68.4	40.6	1.3	1.9	5.2
訪問系	44	54.5	43.2	61.4	27.3	2.3	2.3	4.5
居住系	30	43.3	50.0	76.7	43.3	-	3.3	3.3
日中活動系	36	41.7	50.0	75.0	55.6	-	2.8	2.8
障害児系	39	30.8	43.6	71.8	46.2	2.6	-	7.7
相談支援系	25	32.0	48.0	52.0	16.0	-	4.0	12.0

【障害別】

単位：％

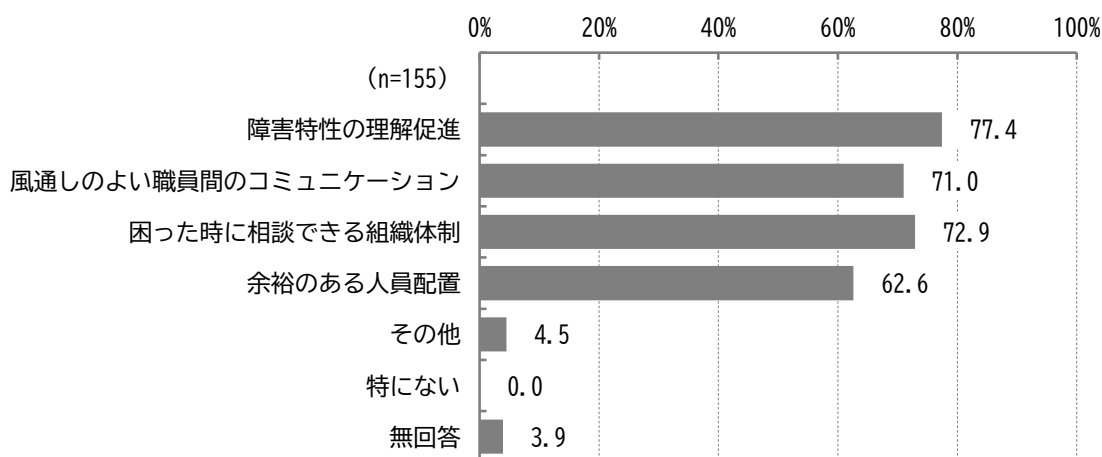
区分	回答者数(件)	障害者虐待防止の基本的知識	虐待防止委員会の運営や取り組むべき内容	虐待の未然防止に必要な知識(障害特性の理解、障害特性に応じた支援方法など)	他の事業所も交えた事例検討研修	その他	特にない	無回答
全体	155	41.9	46.5	68.4	40.6	1.3	1.9	5.2
重度重複障害	16	68.8	62.5	62.5	37.5	-	-	6.3
視覚障害	6	66.7	50.0	66.7	33.3	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	-	-	100.0
肢体不自由	22	50.0	68.2	68.2	22.7	4.5	-	-
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	87.5	62.5	62.5	37.5	-	-	-
知的障害	87	36.8	40.2	66.7	41.4	2.3	3.4	4.6
精神障害	54	44.4	44.4	74.1	48.1	1.9	5.6	1.9
発達障害	44	27.3	36.4	70.5	43.2	-	-	6.8
高次脳機能障害	3	33.3	-	66.7	33.3	-	-	33.3
その他	5	60.0	80.0	60.0	60.0	-	-	20.0

問 37 虐待防止に向けて必要と思うことはなんですか。(〇はいくつでも)

「障害特性の理解促進」が 77.4%と最も多く、次いで「困った時に相談できる組織体制」が 72.9%、「風通しのよい職員間のコミュニケーション」が 71.0%、「余裕のある人員配置」が 62.6%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系と居住系、相談支援系は「障害特性の理解促進」、日中活動系は「風通しのよい職員間のコミュニケーション」、障害児系は「風通しのよい職員間のコミュニケーション」と「困った時に相談できる組織体制」が最も多くなっています。

障害別にみると、知的障害は「障害特性の理解促進」と「風通しのよい職員間のコミュニケーション」、重度重複障害と肢体不自由、精神障害は「障害特性の理解促進」、発達障害は「風通しのよい職員間のコミュニケーション」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	障害特性の理解促進	風通しのよい職員間のコミュニケーション	困った時に相談できる組織体制	余裕のある人員配置	その他	特にない	無回答
全体	155	77.4	71.0	72.9	62.6	4.5	-	3.9
訪問系	44	75.0	47.7	61.4	54.5	-	-	4.5
居住系	30	90.0	80.0	83.3	66.7	10.0	-	-
日中活動系	36	75.0	91.7	77.8	61.1	2.8	-	2.8
障害児系	39	76.9	79.5	79.5	76.9	5.1	-	5.1
相談支援系	25	80.0	64.0	68.0	52.0	4.0	-	8.0

【障害別】

単位：%

区分	回答者数(件)	障害特性の理解促進	風通しのよい職員間の コミュニケーション	困った時に相談できる 組織体制	余裕のある人員配置	その他	特になし	無回答
全体	155	77.4	71.0	72.9	62.6	4.5	-	3.9
重度重複障害	16	81.3	62.5	75.0	43.8	6.3	-	6.3
視覚障害	6	100.0	33.3	66.7	50.0	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	-	-	100.0
肢体不自由	22	86.4	63.6	63.6	59.1	4.5	-	-
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	62.5	75.0	87.5	75.0	12.5	-	-
知的障害	87	77.0	77.0	73.6	66.7	4.6	-	2.3
精神障害	54	77.8	75.9	72.2	68.5	3.7	-	-
発達障害	44	70.5	81.8	77.3	65.9	6.8	-	4.5
高次脳機能障害	3	66.7	66.7	33.3	33.3	-	-	33.3
その他	5	80.0	40.0	60.0	60.0	20.0	-	20.0

## (6) 共生社会の実現に向けて

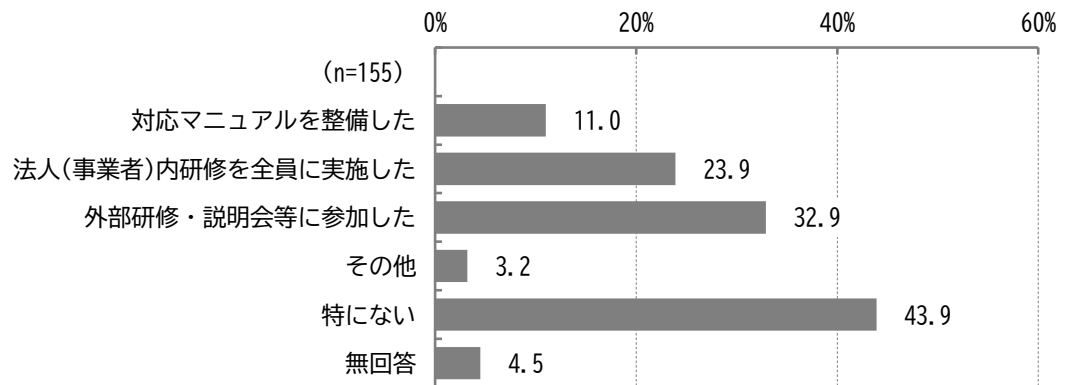
### 問 39 障害者差別解消の推進や合理的配慮の提供について

① 貴事業所で、障害者差別解消の推進や合理的配慮の提供など共生社会の実現に向けて取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

「特にない」が43.9%と最も多く、次いで「外部研修・説明会等に参加した」が32.9%、「法人(事業者)内研修を全員に実施した」が23.9%の順となっています。

提供サービス別にみると、居住系と日中活動系、相談支援系は「外部研修・説明会等に参加した」、訪問系と障害児系は「特にない」が最も多くなっています。

障害別にみると、いずれも「特にない」が最も多くなっていますが、重度重複障害と知的障害は「外部研修・説明会等に参加した」が3割を超えています。



### 【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	対応マニュアルを整備した	法人(事業者)内研修を全員に実施した	外部研修・説明会等に参加した	その他	特にない	無回答
全体	155	11.0	23.9	32.9	3.2	43.9	4.5
訪問系	44	15.9	27.3	22.7	-	40.9	4.5
居住系	30	6.7	33.3	56.7	3.3	30.0	-
日中活動系	36	13.9	25.0	47.2	5.6	33.3	2.8
障害児系	39	10.3	20.5	17.9	5.1	59.0	7.7
相談支援系	25	-	12.0	52.0	-	40.0	4.0

【障害別】

単位：％

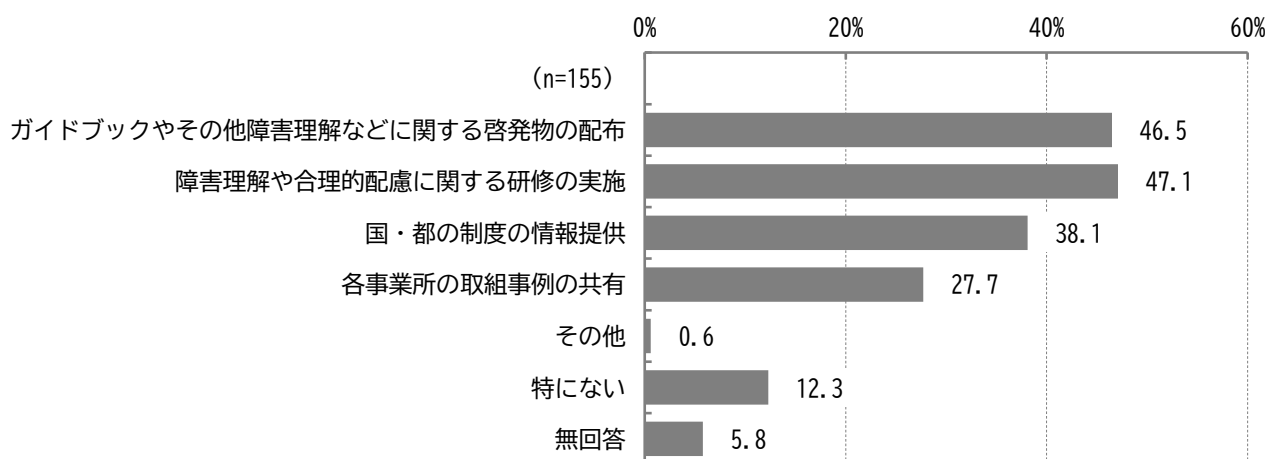
区分	回答者数(件)	対応マニュアルを整備した	法人(事業者)内研修を全員に実施した	外部研修・説明会等に参加した	その他	特にない	無回答
全体	155	11.0	23.9	32.9	3.2	43.9	4.5
重度重複障害	16	12.5	25.0	31.3	-	37.5	6.3
視覚障害	6	-	33.3	50.0	-	16.7	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	100.0	-	-	-
肢体不自由	22	4.5	13.6	27.3	-	59.1	-
内部障害	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	25.0	25.0	37.5	-	25.0	-
知的障害	87	12.6	28.7	33.3	3.4	42.5	4.6
精神障害	54	11.1	25.9	29.6	5.6	48.1	-
発達障害	44	9.1	25.0	29.5	6.8	45.5	6.8
高次脳機能障害	3	33.3	-	66.7	-	-	-
その他	5	-	20.0	60.0	-	20.0	20.0

問 39 ② 差別解消の推進や合理的配慮の提供などについて、貴事業所が区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

「障害理解や合理的配慮に関する研修の実施」が 47.1%と最も多く、次いで「ガイドブックやその他障害理解などに関する啓発物の配布」が 46.5%、「国・都の制度の情報提供」が 38.1%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系と居住系、相談支援系は「ガイドブックやその他障害理解などに関する啓発物の配布」、日中活動系と障害児系は「障害理解や合理的配慮に関する研修の実施」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複障害と知的障害、精神障害は「障害理解や合理的配慮に関する研修の実施」、肢体不自由は「ガイドブックやその他障害理解などに関する啓発物の配布」、発達障害は「国・都の制度の情報提供」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	ガイドブックやその他の障害理解などに関する啓発物の配布	障害理解や合理的配慮に関する研修の実施	国・都の制度の情報提供	各事業所の取組事例の共有	その他	特にない	無回答
全体	155	46.5	47.1	38.1	27.7	0.6	12.3	5.8
訪問系	44	54.5	45.5	31.8	15.9	-	6.8	6.8
居住系	30	60.0	50.0	56.7	30.0	-	3.3	-
日中活動系	36	44.4	58.3	44.4	30.6	2.8	13.9	2.8
障害児系	39	33.3	43.6	35.9	30.8	-	25.6	10.3
相談支援系	25	56.0	48.0	36.0	32.0	-	8.0	12.0

【障害別】

単位：％

区分	回答者数(件)	ガイドブックやその他の障害理解などに関する啓発物の配布	障害理解や合理的配慮に関する研修の実施	国・都の制度の情報提供	各事業所の取組事例の共有	その他	特にない	無回答
全体	155	46.5	47.1	38.1	27.7	0.6	12.3	5.8
重度重複障害	16	68.8	75.0	50.0	31.3	-	-	6.3
視覚障害	6	66.7	66.7	33.3	-	-	16.7	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	-	100.0	-
肢体不自由	22	63.6	45.5	36.4	31.8	-	13.6	-
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	62.5	25.0	62.5	-	-	12.5	-
知的障害	87	46.0	49.4	39.1	26.4	1.1	13.8	4.6
精神障害	54	40.7	44.4	37.0	33.3	1.9	11.1	3.7
発達障害	44	31.8	34.1	36.4	27.3	-	18.2	9.1
高次脳機能障害	3	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-
その他	5	40.0	40.0	40.0	20.0	-	-	20.0

問 40 障害特性で意思疎通が難しい利用者の対応について

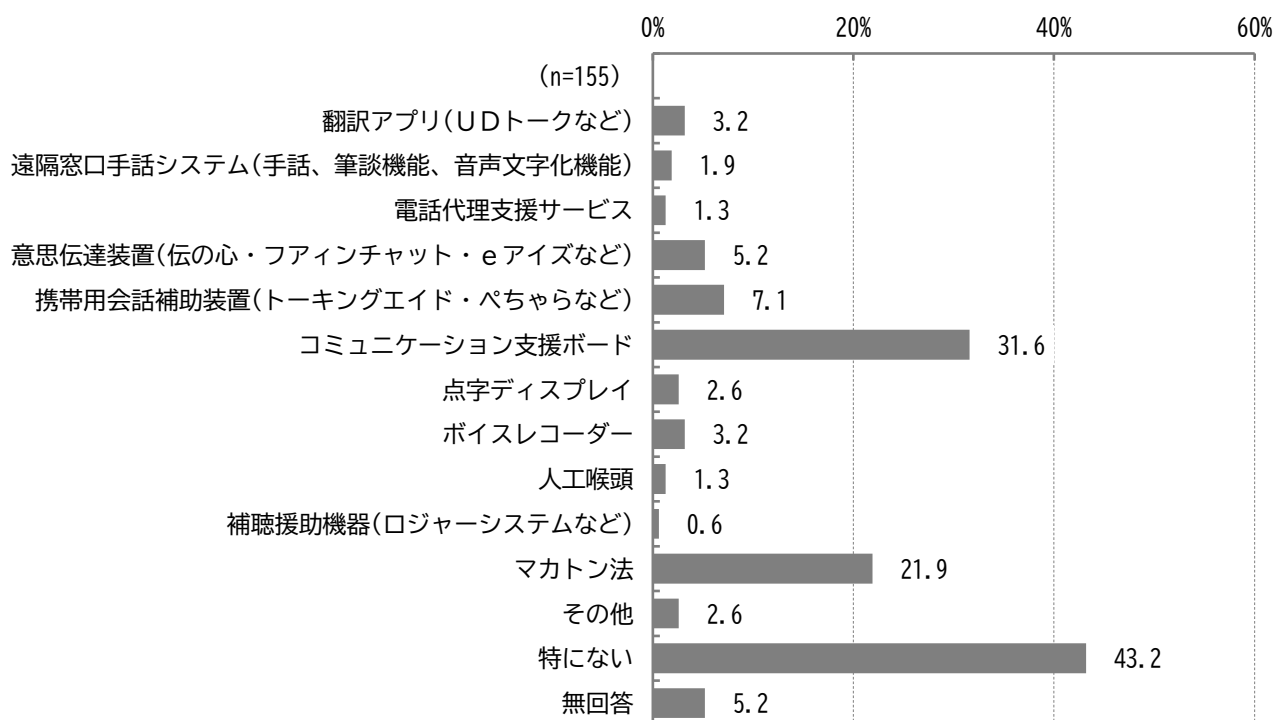
① 利用者を支援する中で、関わったことのある意思疎通支援のツールはありますか。(〇はいくつでも)

「特にない」が43.2%と最も多く、次いで「コミュニケーション支援ボード※」が31.6%、「マカトン法」が21.9%の順となっています。

提供サービス別にみると、居住系と相談支援系は「コミュニケーション支援ボード」、障害児系は「マカトン法」、それ以外は「特にない」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複障害は「コミュニケーション支援ボード」と「マカトン法」、肢体不自由と知的障害は「コミュニケーション支援ボード」が最も多くなっています。

※コミュニケーション支援ボードとは、文字盤・支援の要点を書いたもの・コミュニケーションカード・必要なものをピックアップした写真・イラスト・筆談ボードなど



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	翻訳アプリ(UDトークなど)	遠隔窓口手話システム(手話、筆談機能、音声文字化機能)	電話代理支援サービス	意思伝達装置(伝の心・フラインチャット・eアイズなど)	携帯用会話補助装置(トーキングエイド・パチャらなど)	コミュニケーション支援ボード	点字ディスプレイ	ボイスレコーダー	人工喉頭
全体	155	3.2	1.9	1.3	5.2	7.1	31.6	2.6	3.2	1.3
訪問系	44	-	2.3	-	13.6	6.8	27.3	4.5	2.3	2.3
居住系	30	6.7	-	-	3.3	13.3	53.3	-	6.7	-
日中活動系	36	2.8	5.6	5.6	2.8	8.3	36.1	5.6	2.8	2.8
障害児系	39	5.1	-	-	-	2.6	23.1	-	5.1	-
相談支援系	25	12.0	4.0	-	12.0	20.0	40.0	-	8.0	-
区分	補聴援助機器(ロジャールシステムなど)	マカトン法	その他	特にない	無回答					
全体	0.6	21.9	2.6	43.2	5.2					
訪問系	2.3	11.4	4.5	45.5	6.8					
居住系	-	30.0	3.3	40.0	-					
日中活動系	-	8.3	-	47.2	2.8					
障害児系	-	43.6	2.6	33.3	7.7					
相談支援系	-	32.0	-	40.0	12.0					

【障害別】

単位：%

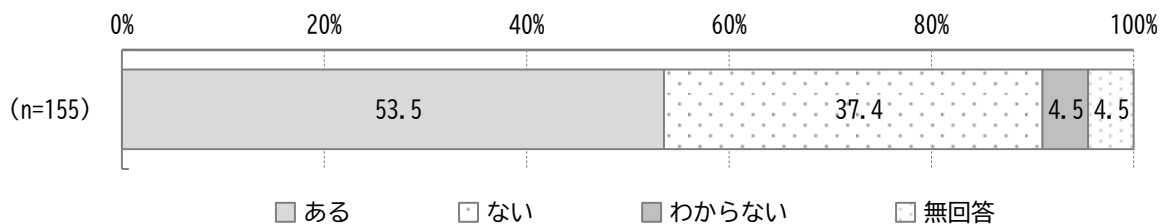
区分	回答者数(件)	翻訳アプリ(UDトークなど)	遠隔窓口手話システム(手話、筆談機能、音声文字化機能)	電話代理支援サービス	意思伝達装置(伝の心・フラインチャット・eアイスなど)	携帯用会話補助装置(トーキングエイド・ペチャらなど)	コミュニケーション支援ボード	点字ディスプレイ	ボイスレコーダー	人工喉頭
全体	155	3.2	1.9	1.3	5.2	7.1	31.6	2.6	3.2	1.3
重度重複障害	16	6.3	-	-	-	12.5	25.0	12.5	-	6.3
視覚障害	6	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肢体不自由	22	4.5	-	-	18.2	9.1	50.0	4.5	-	4.5
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	-	12.5	-	50.0	12.5	75.0	-	12.5	-
知的障害	87	4.6	3.4	1.1	5.7	8.0	39.1	1.1	4.6	-
精神障害	54	3.7	1.9	3.7	5.6	9.3	16.7	3.7	3.7	-
発達障害	44	4.5	-	-	-	6.8	27.3	-	2.3	2.3
高次脳機能障害	3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-
その他	5	-	-	-	-	-	40.0	-	-	-
区分	補聴援助機器(ロジャースシステムなど)	マカトン法	その他	特にない	無回答					
全体	0.6	21.9	2.6	43.2	5.2					
重度重複障害	6.3	25.0	12.5	18.8	6.3					
視覚障害	-	-	-	83.3	-					
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-					
音声・言語・そしゃく機能障害	-	-	-	-	100.0					
肢体不自由	-	18.2	4.5	27.3	-					
内部障害	-	-	-	-	-					
難病	-	-	-	25.0	-					
知的障害	-	29.9	3.4	36.8	3.4					
精神障害	1.9	13.0	1.9	61.1	1.9					
発達障害	-	27.3	2.3	45.5	6.8					
高次脳機能障害	-	-	-	-	33.3					
その他	-	-	-	40.0	20.0					

問 40 ② 貴事業所で支援している利用者に対し、この1年間で意思疎通において困難に感じたことはありますか。(〇は1つ)

「ある」が53.5%、「ない」が37.4%となっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「ある」と「ない」が同率で最も多く、それ以外は「ある」が最も多くなっています。

障害別にみると、発達障害は「ない」、それ以外は「ある」が最も多くなっていますが、肢体不自由と精神障害は「ない」が4割を超えています。



#### 【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	わからない	無回答
全体	155	53.5	37.4	4.5	4.5
訪問系	44	45.5	45.5	4.5	4.5
居住系	30	66.7	26.7	6.7	-
日中活動系	36	66.7	30.6	-	2.8
障害児系	39	53.8	33.3	5.1	7.7
相談支援系	25	48.0	36.0	8.0	8.0

#### 【障害別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	わからない	無回答
全体	155	53.5	37.4	4.5	4.5
重度重複障害	16	62.5	31.3	-	6.3
視覚障害	6	16.7	83.3	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	100.0
肢体不自由	22	50.0	40.9	9.1	-
内部障害	-	-	-	-	-
難病	8	62.5	25.0	12.5	-
知的障害	87	64.4	26.4	5.7	3.4
精神障害	54	48.1	46.3	5.6	-
発達障害	44	40.9	50.0	2.3	6.8
高次脳機能障害	3	66.7	-	-	33.3
その他	5	40.0	40.0	-	20.0

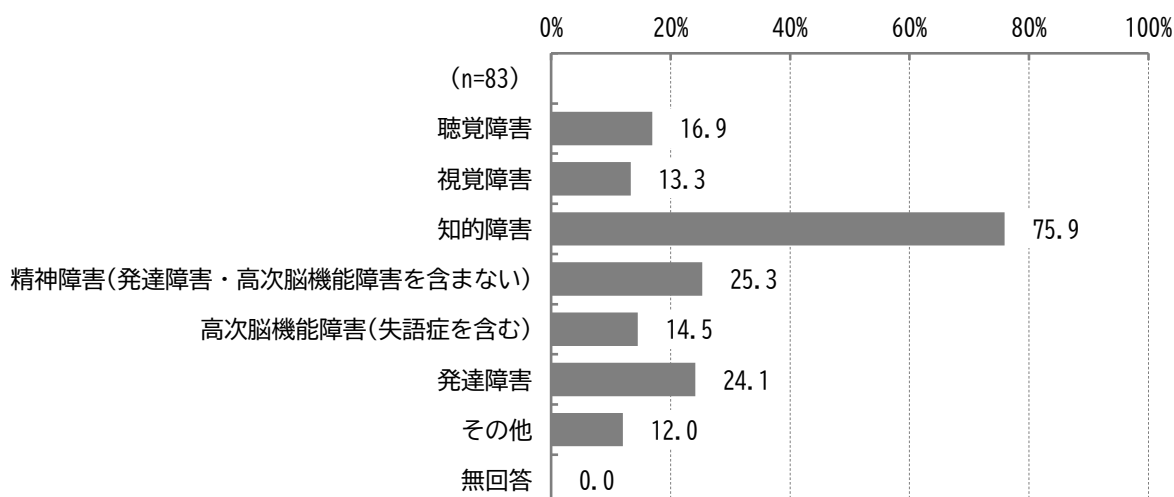
問 40 ③ (②で「1. ある」に○をつけた方)

困難を感じた利用者は、どのような障害のある方ですか。(○はいくつでも)

「知的障害」が 75.9%と最も多く、次いで「精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）」が 25.3%、「発達障害」が 24.1%、「聴覚障害」が 16.9%の順となっています。

提供サービス別にみると、「知的障害」が最も多く、次いで日中活動系は「精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）」と「高次脳機能障害（失語症を含む）」、障害児系は「発達障害」、それ以外は「精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）」となっています。

障害別にみると、「知的障害」が最も多く、次いで重度重複障害と肢体不自由は「その他」、知的障害と発達障害は「発達障害」、精神障害は「精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）」となっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	聴覚障害	視覚障害	知的障害	精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	高次脳機能障害(失語症を含む)	発達障害	その他	無回答
全体	83	16.9	13.3	75.9	25.3	14.5	24.1	12.0	-
訪問系	20	15.0	15.0	75.0	30.0	20.0	10.0	20.0	-
居住系	20	15.0	-	65.0	20.0	10.0	15.0	20.0	-
日中活動系	24	8.3	8.3	75.0	25.0	25.0	16.7	4.2	-
障害児系	21	28.6	23.8	85.7	19.0	-	61.9	4.8	-
相談支援系	12	16.7	16.7	83.3	25.0	16.7	16.7	8.3	-

【障害別】

単位：％

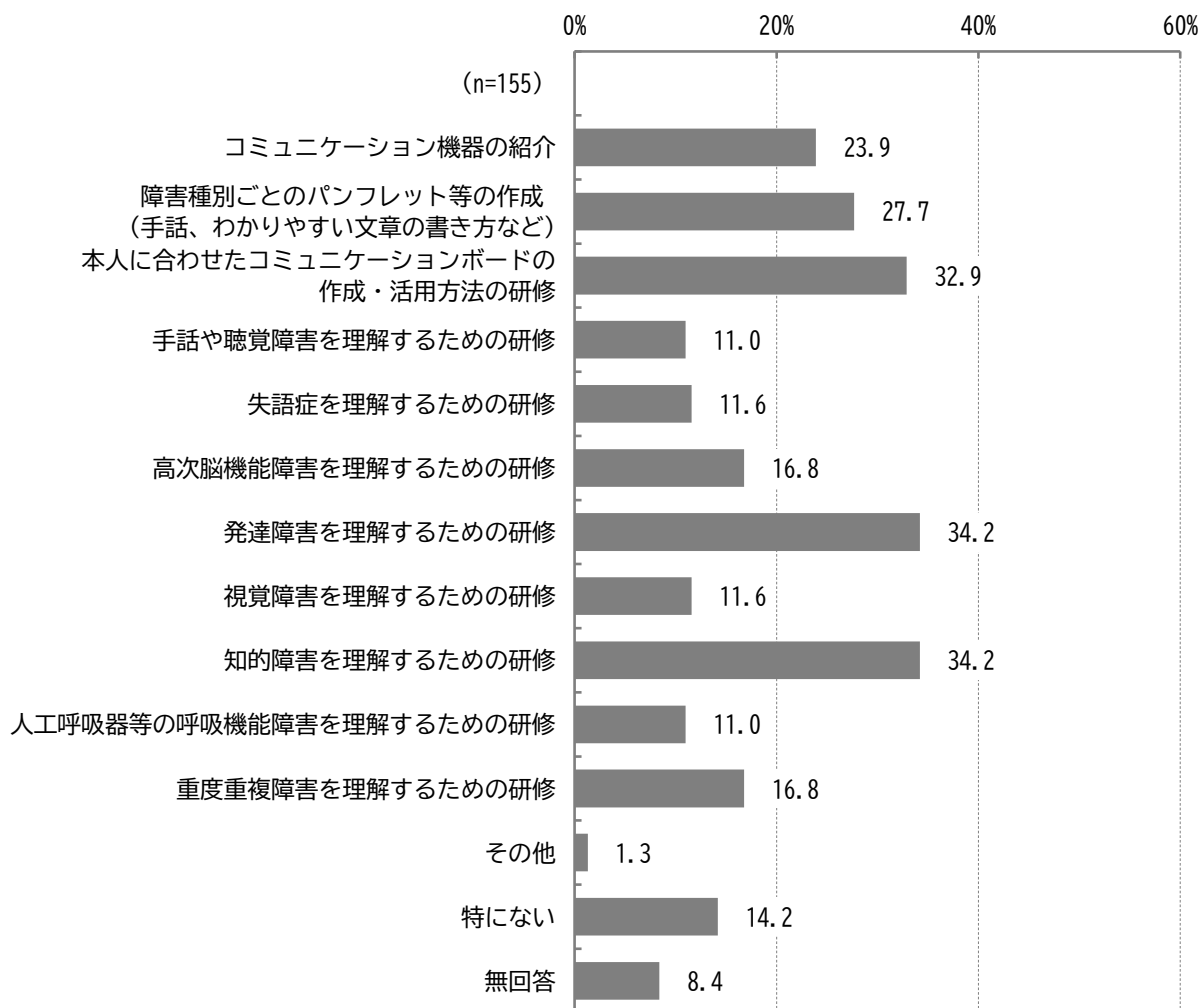
区分	回答者数(件)	聴覚障害	視覚障害	知的障害	精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	高次脳機能障害(失語症を含む)	発達障害	その他	無回答
全体	83	16.9	13.3	75.9	25.3	14.5	24.1	12.0	-
重度重複障害	10	20.0	20.0	70.0	-	20.0	20.0	40.0	-
視覚障害	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肢体不自由	11	27.3	27.3	72.7	-	27.3	18.2	36.4	-
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	5	-	-	20.0	40.0	60.0	20.0	40.0	-
知的障害	56	19.6	14.3	89.3	23.2	7.1	28.6	5.4	-
精神障害	26	11.5	11.5	65.4	53.8	19.2	11.5	7.7	-
発達障害	18	22.2	22.2	77.8	22.2	-	50.0	-	-
高次脳機能障害	2	-	-	50.0	50.0	100.0	50.0	-	-
その他	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-

問 40 ⑤ 障害特性で意思疎通が難しい利用者への対応にあたり、貴事業所で区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

「発達障害を理解するための研修」と「知的障害を理解するための研修」が 34.2%と最も多く、次いで「本人に合わせたコミュニケーションボードの作成・活用方法の研修」が 32.9%、「障害種別ごとのパンフレット等の作成（手話、わかりやすい文章の書き方など）」が 27.7%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系と居住系は「知的障害を理解するための研修」、日中活動系と相談支援系は「本人に合わせたコミュニケーションボードの作成・活用方法の研修」、障害児系は「発達障害を理解するための研修」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複障害は「重度重複障害を理解するための研修」、肢体不自由は「障害種別ごとのパンフレット等の作成（手話、わかりやすい文章の書き方など）」、知的障害は「知的障害を理解するための研修」、精神障害と発達障害は「発達障害を理解するための研修」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	コミュニケーション機器の紹介	障害種別ごとのパンフレット等の作成(手話、わかりやすい文章の書き方など)	本人に合わせたコミュニケーションボードの作成・活用方法の研修	手話や聴覚障害を理解するための研修	失語症を理解するための研修	高次脳機能障害を理解するための研修	発達障害を理解するための研修
全体	155	23.9	27.7	32.9	11.0	11.6	16.8	34.2
訪問系	44	25.0	29.5	22.7	9.1	18.2	22.7	29.5
居住系	30	20.0	23.3	36.7	13.3	6.7	13.3	36.7
日中活動系	36	19.4	33.3	38.9	11.1	13.9	25.0	30.6
障害児系	39	25.6	23.1	38.5	12.8	-	-	48.7
相談支援系	25	28.0	32.0	36.0	16.0	24.0	24.0	32.0
区分	視覚障害を理解するための研修	知的障害を理解するための研修	人工呼吸器等の呼吸機能障害を理解するための研修	重度重複障害を理解するための研修	その他	特になし	無回答	
全体	11.6	34.2	11.0	16.8	1.3	14.2	8.4	
訪問系	18.2	36.4	15.9	11.4	-	15.9	11.4	
居住系	3.3	40.0	10.0	23.3	3.3	6.7	6.7	
日中活動系	11.1	36.1	8.3	22.2	2.8	11.1	2.8	
障害児系	7.7	33.3	5.1	12.8	-	17.9	10.3	
相談支援系	16.0	28.0	16.0	24.0	4.0	8.0	16.0	

【障害別】

単位：％

区分	回答者数(件)	コミュニケーション機器の紹介	障害種別ごとのパンフレット等の作成(手話、わかりやすい文章の書き方など)	本人に合わせたコミュニケーションボードの作成・活用方法の研修	手話や聴覚障害を理解するための研修	失語症を理解するための研修	高次脳機能障害を理解するための研修	発達障害を理解するための研修
全体		23.9	27.7	32.9	11.0	11.6	16.8	34.2
重度重複障害	16	50.0	37.5	50.0	6.3	6.3	12.5	25.0
視覚障害	6	-	33.3	16.7	-	-	33.3	16.7
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	100.0	100.0	-
肢体不自由	22	40.9	54.5	40.9	13.6	18.2	22.7	31.8
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	50.0	37.5	50.0	25.0	25.0	37.5	25.0
知的障害	87	23.0	28.7	39.1	17.2	12.6	14.9	37.9
精神障害	54	27.8	33.3	31.5	14.8	20.4	29.6	42.6
発達障害	44	13.6	15.9	25.0	9.1	2.3	4.5	40.9
高次脳機能障害	3	33.3	-	-	-	66.7	100.0	33.3
その他	5	-	20.0	-	-	20.0	20.0	20.0
区分	視覚障害を理解するための研修	知的障害を理解するための研修	人工呼吸器等の呼吸機能障害を理解するための研修	重度重複障害を理解するための研修	その他	特にない	無回答	
全体	11.6	34.2	11.0	16.8	1.3	14.2	8.4	
重度重複障害	6.3	31.3	37.5	56.3	-	12.5	12.5	
視覚障害	50.0	-	-	-	-	16.7	-	
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	
音声・言語・そしゃく機能障害	-	-	-	-	-	-	-	
肢体不自由	18.2	36.4	27.3	31.8	-	13.6	4.5	
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	
難病	25.0	37.5	75.0	37.5	-	12.5	-	
知的障害	11.5	50.6	6.9	14.9	2.3	12.6	6.9	
精神障害	16.7	27.8	7.4	14.8	3.7	14.8	5.6	
発達障害	2.3	22.7	-	4.5	-	20.5	11.4	
高次脳機能障害	-	-	-	-	-	-	-	
その他	20.0	20.0	60.0	60.0	-	-	40.0	

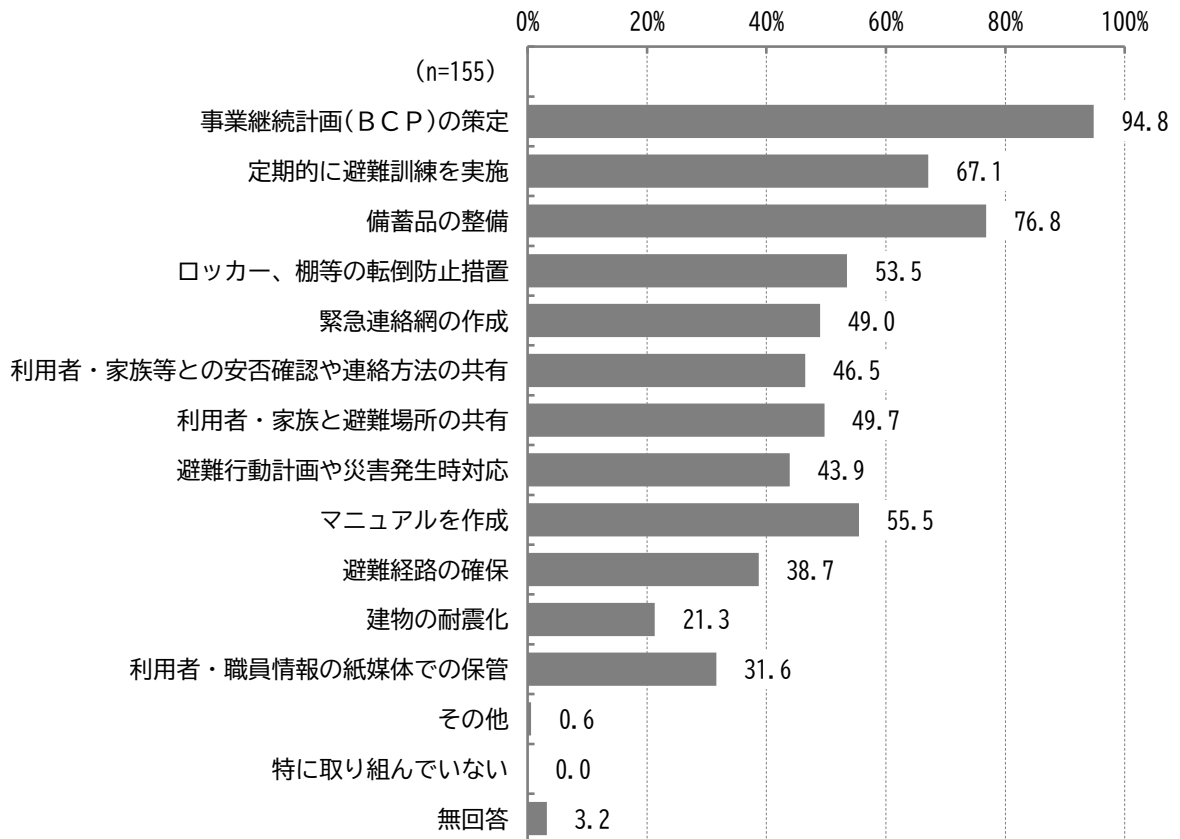
## (7) 災害時の対策について

問 41 貴事業所では災害時の対策についてどのような取組をしていますか。(〇はいくつでも)

「事業継続計画（BCP）の策定」が94.8%と最も多く、次いで「備蓄品の整備」が76.8%、「定期的に避難訓練を実施」が67.1%、「マニュアルを作成」が55.5%の順となっています。

提供サービス別にみると、いずれも「事業継続計画（BCP）の策定」が最も多く、居住系は「備蓄品の整備」、障害児系は「定期的に避難訓練を実施」も同率で最も多くなっています。

障害別にみると、いずれも「事業継続計画（BCP）の策定」が最も多くなっています。次いで重度重複は「定期的に避難訓練を実施」と「備蓄品の整備」、「緊急連絡網の作成」、「避難行動計画や災害発生時対応」、「マニュアルを作成」が同率、発達障害は「定期的に避難訓練を実施」と「備蓄品の整備」が同率、それ以外は「備蓄品の整備」が多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	事業継続計画(BCP)の策定	定期的に避難訓練を実施	備蓄品の整備	ロッカー、棚等の転倒防止措置	緊急連絡網の作成	利用者・家族等との安否確認や連絡方法の共有	利用者・家族と避難場所の共有	避難行動計画や災害発生時対応	マニュアルを作成
全体	155	94.8	67.1	76.8	53.5	49.0	46.5	49.7	43.9	55.5
訪問系	44	93.2	25.0	63.6	22.7	47.7	45.5	27.3	38.6	50.0
居住系	30	96.7	80.0	96.7	63.3	50.0	50.0	53.3	60.0	66.7
日中活動系	36	94.4	86.1	80.6	55.6	41.7	52.8	47.2	33.3	50.0
障害児系	39	94.9	94.9	84.6	89.7	66.7	59.0	87.2	66.7	76.9
相談支援系	25	100.0	56.0	68.0	52.0	60.0	36.0	28.0	32.0	32.0
区分	避難経路の確保	建物の耐震化	利用者・職員情報の紙媒体での保管	その他	特に取り組んでいない	無回答				
全体	38.7	21.3	31.6	0.6	-	3.2				
訪問系	6.8	2.3	22.7	-	-	4.5				
居住系	56.7	40.0	36.7	-	-	-				
日中活動系	44.4	16.7	30.6	2.8	-	2.8				
障害児系	64.1	41.0	46.2	-	-	5.1				
相談支援系	28.0	12.0	24.0	-	-	-				

【障害別】

単位：%

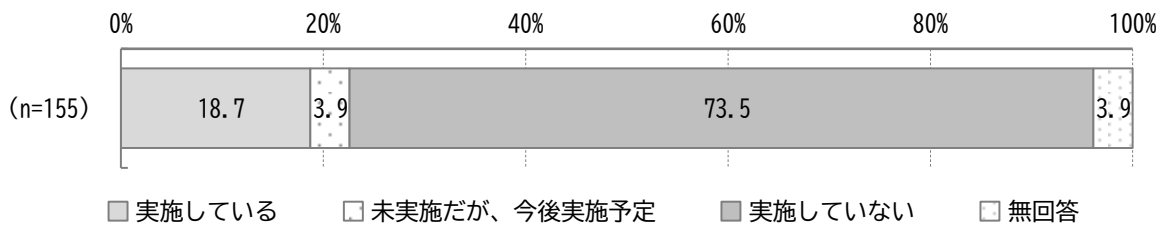
区分	回答者数(件)	事業継続計画(BCP)の策定	定期的に避難訓練を実施	備蓄品の整備	ロッカー、棚等の転倒防止措置	緊急連絡網の作成	利用者・家族等との安否確認や連絡方法の共有	利用者・家族と避難場所の共有	避難行動計画や災害発生時対応	マニュアルを作成
全体	155	94.8	67.1	76.8	53.5	49.0	46.5	49.7	43.9	55.5
重度重複障害	16	87.5	62.5	62.5	56.3	62.5	50.0	43.8	62.5	62.5
視覚障害	6	100.0	16.7	83.3	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-
肢体不自由	22	100.0	54.5	77.3	45.5	50.0	45.5	50.0	27.3	50.0
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	87.5	25.0	62.5	25.0	25.0	62.5	37.5	62.5	62.5
知的障害	87	94.3	73.6	81.6	55.2	51.7	46.0	52.9	48.3	60.9
精神障害	54	96.3	63.0	77.8	46.3	40.7	37.0	37.0	27.8	46.3
発達障害	44	97.7	81.8	81.8	70.5	56.8	45.5	61.4	52.3	61.4
高次脳機能障害	3	100.0	100.0	33.3	66.7	-	33.3	33.3	-	-
その他	5	100.0	80.0	60.0	80.0	60.0	60.0	40.0	60.0	60.0
区分	避難経路の確保	建物の耐震化	利用者・職員情報の紙媒体での保管	その他	特に取り組んでいない	無回答				
全体	39.1	21.9	31.8	0.7	-	2.0				
重度重複障害	50.0	31.3	43.8	6.3	-	6.3				
視覚障害	16.7	16.7	66.7	-	-	-				
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-				
音声・言語・そしゃく機能障害	-	-	-	-	-	-				
肢体不自由	31.8	18.2	36.4	-	-	-				
内部障害	-	-	-	-	-	-				
難病	25.0	12.5	12.5	-	-	-				
知的障害	37.9	20.7	31.0	-	-	3.4				
精神障害	24.1	9.3	22.2	-	-	1.9				
発達障害	54.5	31.8	31.8	-	-	2.3				
高次脳機能障害	-	-	33.3	-	-	-				
その他	60.0	40.0	60.0	-	-	-				

## (8) 医療的ケア児・者について

問 42 貴事業所において、医療的ケア児・者に対する支援を実施していますか。

「実施していない」が73.5%と最も多く、次いで「実施している」が18.7%、「未実施だが、今後実施予定」が3.9%の順となっています。

提供サービス別にみると、いずれも「実施していない」が最も多く、次いで障害児系は「未実施だが、今後実施予定」、それ以外は「実施している」となっています。



### 【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	実施している	未実施だが、今後実施予定	実施していない	無回答
全体	155	18.7	3.9	73.5	3.9
訪問系	44	25.0	-	68.2	6.8
居住系	30	13.3	-	86.7	-
日中活動系	36	16.7	-	83.3	-
障害児系	39	10.3	12.8	71.8	5.1
相談支援系	25	32.0	4.0	60.0	4.0

問 43 (医療的ケア児・者の支援を実施又は実施予定の事業所)

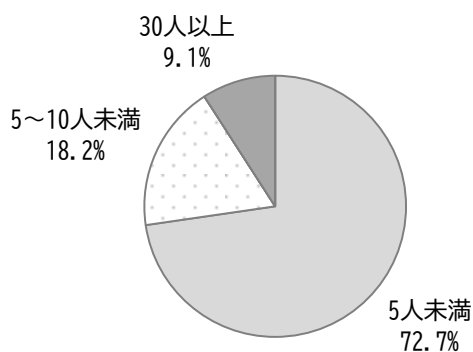
① 実施している障害児・者の人数をご記入ください。

※実施予定の場合は、現段階の見込み人数 (該当するものに○をして、人数を記入)

未就学児

実施又は実施予定は 11 事業所で、5 人未満が 72.7%、5～10 人未満が 18.2%、10～20 人未満が 9.1% となっています。

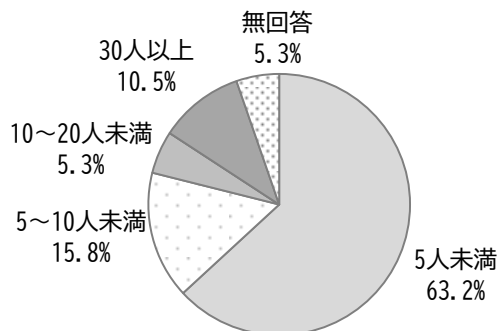
(n=11)



就学後～18 歳未満の人数

実施又は実施予定は 19 事業所で、5 人未満が 63.2%、5～10 人未満が 15.8%、10～20 人未満が 5.3%、30 人以上が 10.5% となっています。

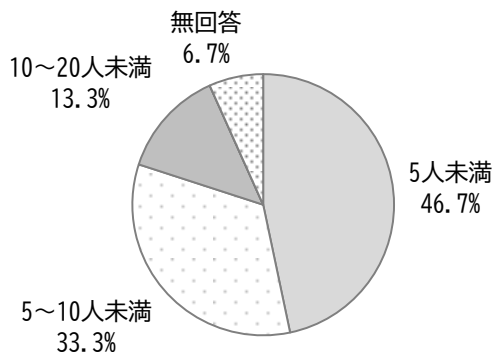
(n=19)



18 歳以上

実施又は実施予定は 15 事業所で、5 人未満が 46.7%、5～10 人未満が 33.3%、10～20 人未満が 13.3% となっています。

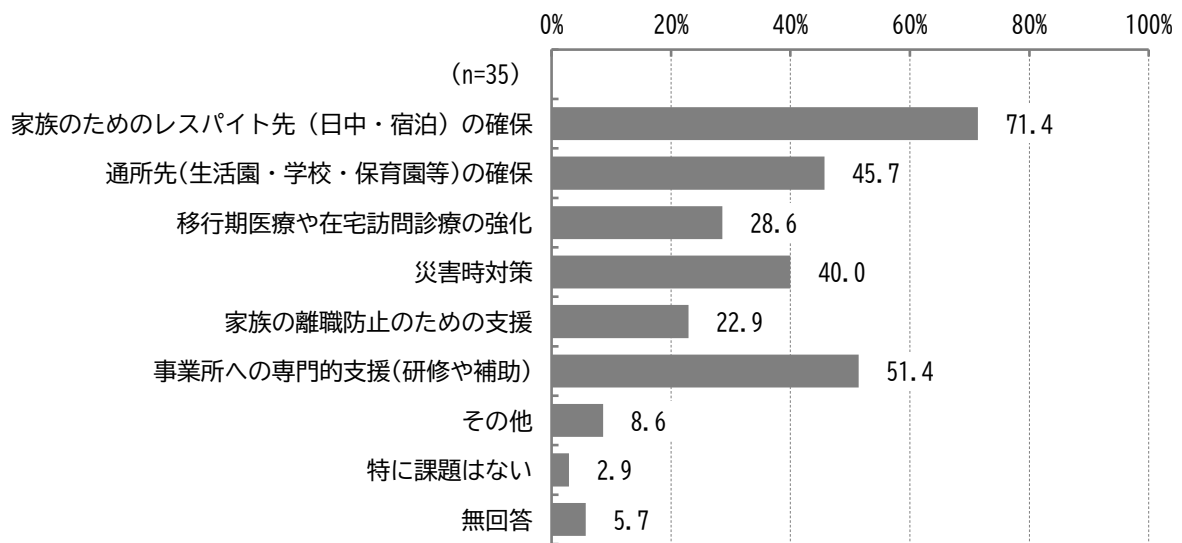
(n=15)



問 43 ② 医療的ケア児者の支援を実施するにあたっての区の取組で、今後、強化が必要と感じるものはどれですか。(〇はいくつでも)

「家族のためのレスパイト先（日中・宿泊）の確保」が 71.4%と最も多く、次いで「事業所への専門的支援(研修や補助)」が 51.4%、「通所先(生活園・学校・保育園等)の確保」が 45.7%、「災害時対策」が 40.0%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「家族のためのレスパイト先（日中・宿泊）の確保」が最も多く、次いで「事業所への専門的支援(研修や補助)」となっています。



【提供サービス別】

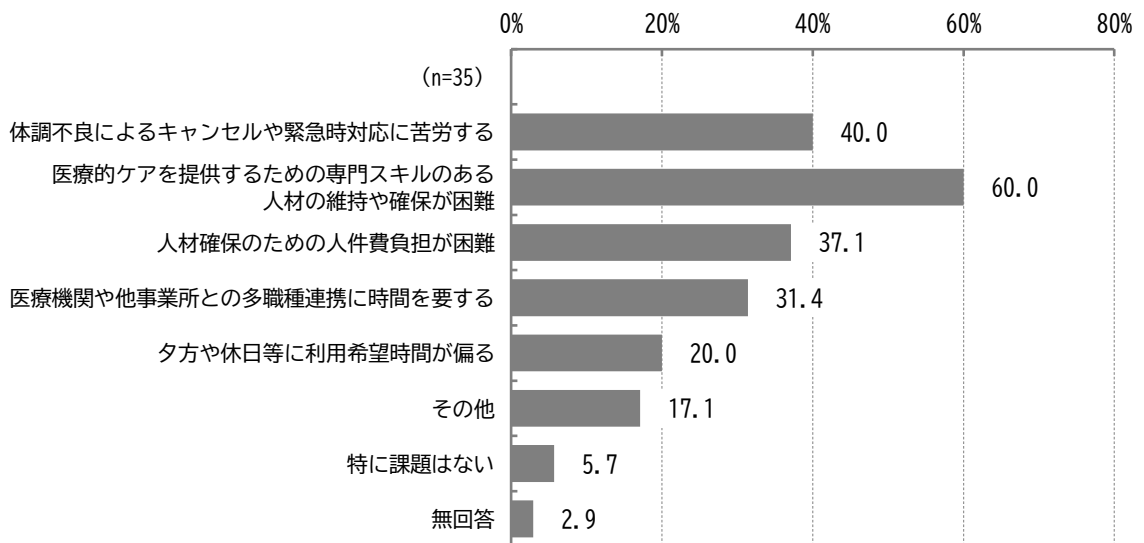
単位：%

区分	回答者数(件)	家族のためのレスパイト先(日中・宿泊)の確保	通所先(生活園・学校・保育園等)の確保	移行期医療や在宅訪問診療の強化	災害時対策	家族の離職防止のための支援	事業所への専門的支援(研修や補助)	その他	特に課題はない	無回答
全体	35	71.4	45.7	28.6	40.0	22.9	51.4	8.6	2.9	5.7
訪問系	11	81.8	27.3	18.2	36.4	-	54.5	-	9.1	-
居住系	4	25.0	50.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-
日中活動系	6	83.3	33.3	33.3	33.3	-	50.0	16.7	-	16.7
障害児系	9	66.7	66.7	33.3	66.7	55.6	77.8	-	-	11.1
相談支援系	9	66.7	66.7	22.2	33.3	33.3	33.3	11.1	-	11.1

問 43 ③ 医療的ケア児者の支援を実施するにあたって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図るうえでの課題は何ですか。(〇はいくつでも)

「医療的ケアを提供するための専門スキルのある人材の維持や確保が困難」が 60.0%と最も多く、次いで「体調不良によるキャンセルや緊急時対応に苦勞する」が 40.0%、「人材確保のための人件費負担が困難」が 37.1%、「医療機関や他事業所との多職種連携に時間を要する」が 31.4%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「医療的ケアを提供するための専門スキルのある人材の維持や確保が困難」が最も多く、次いで「夕方や休日等に利用希望時間が偏る」となっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	体調不良によるキャンセルや緊急時対応に苦勞する	医療的ケアを提供するための専門スキルのある人材の維持や確保が困難	人材確保のための人件費負担が困難	医療機関や他事業所との多職種連携に時間を要する	夕方や休日等に利用希望時間が偏る	その他	特に課題はない	無回答
全体	35	40.0	60.0	37.1	31.4	20.0	17.1	5.7	2.9
訪問系	11	36.4	72.7	18.2	9.1	45.5	-	9.1	-
居住系	4	-	25.0	50.0	75.0	-	50.0	-	-
日中活動系	6	50.0	33.3	50.0	50.0	-	33.3	16.7	16.7
障害児系	9	77.8	66.7	66.7	-	11.1	11.1	-	-
相談支援系	9	-	55.6	22.2	55.6	11.1	22.2	-	-

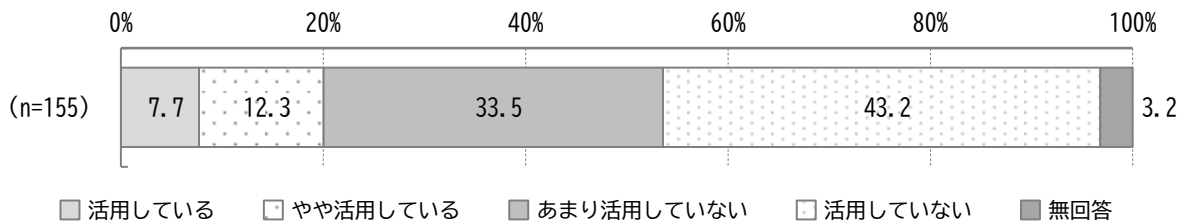
## (9) 「すぎなみ福祉サーチ」について

問 44 「すぎなみ福祉サーチ」の活用について

① 貴事業所では、普段から活用していますか。(〇は1つ)

「活用していない」が43.2%と最も多く、次いで「あまり活用していない」が33.5%、「やや活用している」が12.3%、「活用している」が7.7%の順となっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「あまり活用していない」、それ以外は「活用していない」が最も多く、次いで訪問系と日中活動系、障害児系は「あまり活用していない」、居住系は「やや活用している」、相談支援系は「やや活用している」と「活用していない」が同率となっています。



### 【提供サービス別】

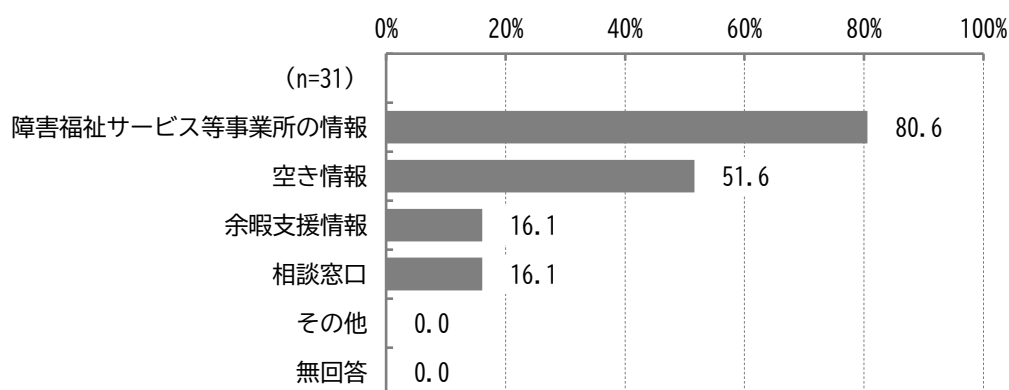
単位：%

区分	回答者数 (件)	活用している	やや活用している	あまり活用していない	活用していない	無回答
全体	155	7.7	12.3	33.5	43.2	3.2
訪問系	44	4.5	4.5	31.8	52.3	6.8
居住系	30	13.3	30.0	20.0	36.7	-
日中活動系	36	11.1	13.9	36.1	38.9	-
障害児系	39	2.6	2.6	35.9	53.8	5.1
相談支援系	25	16.0	24.0	36.0	24.0	-

問 44 ② (問 44 の①で「1. 活用している」「2. やや活用している」に○をつけた事業所)  
活用しているのはどの情報ですか。(○はいくつでも)

「障害福祉サービス等事業所の情報」が80.6%と最も多く、次いで「空き情報」が51.6%、「余暇支援情報」と「相談窓口」が16.1%の順となっています。

提供サービス別にみると、「障害福祉サービス等事業所の情報」が最も多く、次いで「空き情報」となっていますが、相談支援系は「空き情報」が8割となっています。



【提供サービス別】

単位：%

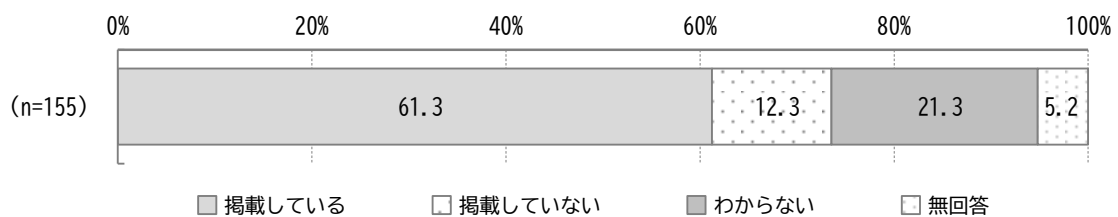
区分	回答者数 (件)	障害福祉サービス等事業所の情報	空き情報	余暇支援情報	相談窓口	その他	無回答
全体	31	80.6	51.6	16.1	16.1	-	-
訪問系	4	100.0	-	-	-	-	-
居住系	13	84.6	53.8	7.7	7.7	-	-
日中活動系	9	77.8	55.6	22.2	22.2	-	-
障害児系	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-
相談支援系	10	90.0	80.0	30.0	10.0	-	-

問 45 障害福祉サービス等事業所の営業情報について

① 情報には、事業所名・住所・連絡先などの基本情報だけでなく、サービス内容・営業時間などの詳細な営業情報があります。貴事業所は掲載していますか。(○は1つ)

「掲載している」が61.3%と最も高く、次いで「わからない」が21.3%、「掲載していない」が12.3%の順となっています。

提供サービス別にみると、いずれも「掲載している」が最も多く、次いで、相談支援系は「掲載していない」、それ以外は「わからない」となっています。



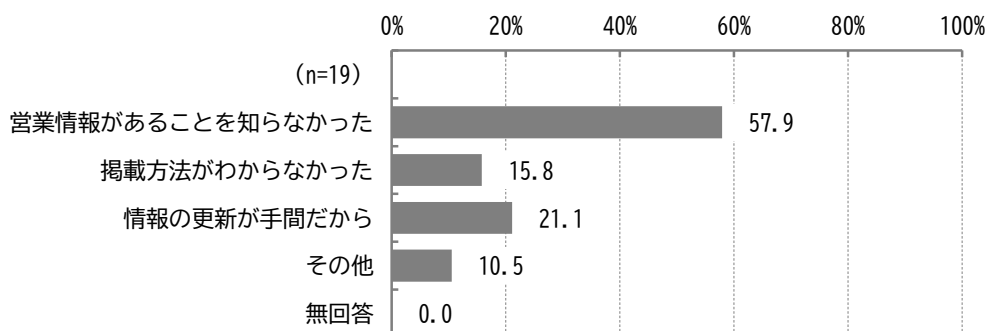
【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	掲載している	掲載していない	わからない	無回答
全体	155	61.3	12.3	21.3	5.2
訪問系	44	61.4	11.4	18.2	9.1
居住系	30	63.3	13.3	23.3	-
日中活動系	36	63.9	16.7	19.4	-
障害児系	39	56.4	7.7	28.2	7.7
相談支援系	25	60.0	24.0	8.0	8.0

問 45 ② (問 45 の①で「2. 掲載していない」に○をつけた事業所) なぜ掲載していないのですか。(○はいくつでも)

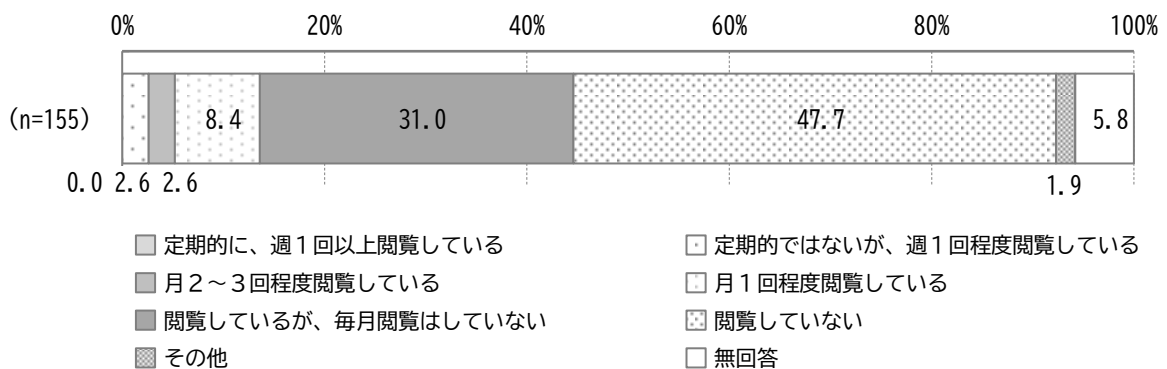
「営業情報があることを知らなかった」が57.9%と最も多く、次いで「情報の更新が手間だから」が21.1%、「掲載方法がわからなかった」が15.8%の順となっています。



問 46 「すぎなみ福祉サーチ」は、事業所だけがログインできる関係者サイトがあり、このサイトから情報の編集ができるとともに、区から事業所へのお知らせを掲載しています。  
 貴事業所では、この関係者サイトを閲覧していますか。(〇は1つ)

「閲覧していない」が47.7%と最も多く、次いで「閲覧しているが、毎月閲覧はしていない」が31.0%、「月1回程度閲覧している」が8.4%の順となっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「閲覧しているが、毎月閲覧はしていない」、それ以外の業種は「閲覧していない」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	定期的に、週1回以上閲覧している	定期的ではないが、週1回程度閲覧している	月2~3回程度閲覧している	月1回程度閲覧している	閲覧しているが、毎月閲覧はしていない	閲覧していない	その他	無回答
全体	155	-	2.6	2.6	8.4	31.0	47.7	1.9	5.8
訪問系	44	-	2.3	-	11.4	29.5	50.0	-	6.8
居住系	30	-	3.3	-	10.0	40.0	40.0	-	6.7
日中活動系	36	-	2.8	8.3	11.1	25.0	47.2	2.8	2.8
障害児系	39	-	2.6	-	2.6	20.5	64.1	5.1	5.1
相談支援系	25	-	8.0	4.0	8.0	52.0	16.0	-	12.0

## (10) 障害者施策について

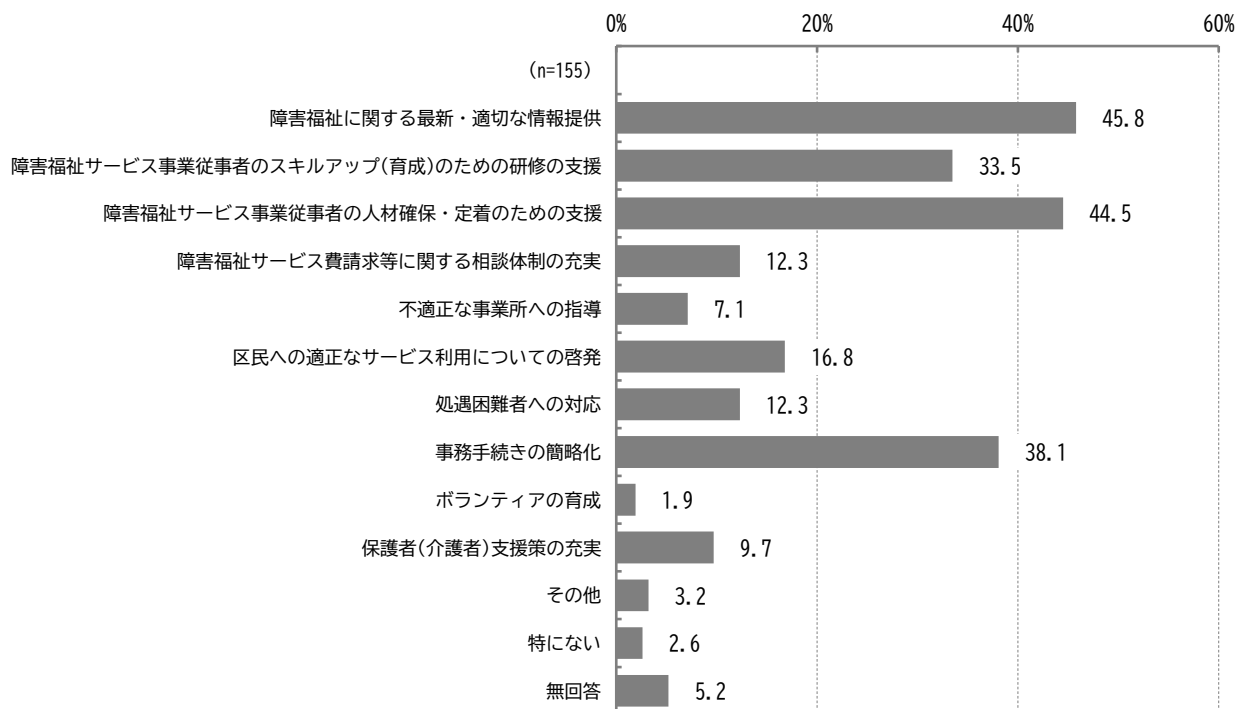
問 47 貴事業所として区に対して望むことはどのようなことですか。(〇は3つまで)

「障害福祉に関する最新・適切な情報提供」が45.8%と最も多く、次いで「障害福祉サービス事業従事者の人材確保・定着のための支援」が44.5%、「事務手続きの簡略化」が38.1%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系と障害児系、相談支援系は「障害福祉サービス事業従事者の人材確保・定着のための支援」、居住系と日中活動系は「障害福祉に関する最新・適切な情報提供」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複障害と肢体不自由、知的障害は「障害福祉サービス事業従事者の人材確保・定着のための支援」、精神障害は「事務手続きの簡略化」、発達障害は「障害福祉に関する最新・適切な情報提供」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5人未満は「事務手続きの簡略化」、5～10人未満は「障害福祉に関する最新・適切な情報提供」と「障害福祉サービス事業従事者の人材確保・定着のための支援」、10～30人未満は「障害福祉に関する最新・適切な情報提供」、30人以上は「障害福祉サービス事業従事者の人材確保・定着のための支援」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数(件)	障害福祉に関する最新・適切な情報提供	障害福祉サービス事業者のスキルアップ(育成)のための研修の支援	障害福祉サービス事業者の人材確保・定着のための支援	障害福祉サービス費請求等に関する相談体制の充実	不適正な事業所への指導	区民への適正なサービス利用についての啓発	処遇困難者への対応	事務手続きの簡略化	ボランティアの育成	保護者(介護者)支援策の充実	その他	特になし	無回答
全体	155	45.8	33.5	44.5	12.3	7.1	16.8	12.3	38.1	1.9	9.7	3.2	2.6	5.2
訪問系	44	43.2	25.0	47.7	9.1	6.8	18.2	11.4	40.9	-	11.4	-	-	4.5
居住系	30	53.3	36.7	43.3	20.0	10.0	20.0	20.0	46.7	-	10.0	6.7	-	-
日中活動系	36	52.8	38.9	33.3	11.1	2.8	13.9	19.4	30.6	-	2.8	2.8	5.6	5.6
障害児系	39	46.2	43.6	48.7	15.4	5.1	12.8	2.6	35.9	5.1	12.8	5.1	2.6	7.7
相談支援系	25	36.0	8.0	44.0	12.0	16.0	16.0	16.0	36.0	4.0	20.0	4.0	4.0	12.0

【障害別】

単位：%

区分	回答者数(件)	障害福祉に関する最新・適切な情報提供	障害福祉サービス事業者のスキルアップ(育成)のための研修の支援	障害福祉サービス事業者の人材確保・定着のための支援	障害福祉サービス費請求等に関する相談体制の充実	不適正な事業所への指導	区民への適正なサービス利用についての啓発	処遇困難者への対応	事務手続きの簡略化	ボランティアの育成	保護者(介護者)支援策の充実	その他	特になし	無回答
全体	155	45.8	33.5	44.5	12.3	7.1	16.8	12.3	38.1	1.9	9.7	3.2	2.6	5.2
重度重複障害	16	56.3	37.5	68.8	18.8	6.3	6.3	-	18.8	-	25.0	-	-	6.3
視覚障害	6	66.7	33.3	50.0	-	16.7	50.0	16.7	33.3	-	-	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
肢体不自由	22	40.9	36.4	59.1	9.1	-	22.7	-	36.4	4.5	27.3	-	-	-
内部障害	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	62.5	25.0	37.5	37.5	-	37.5	-	50.0	-	12.5	-	-	-
知的障害	87	40.2	39.1	46.0	13.8	6.9	16.1	10.3	40.2	2.3	8.0	3.4	3.4	3.4
精神障害	54	37.0	27.8	40.7	7.4	11.1	16.7	20.4	42.6	-	5.6	5.6	5.6	1.9
発達障害	44	47.7	34.1	40.9	11.4	4.5	11.4	13.6	36.4	4.5	6.8	6.8	4.5	6.8
高次脳機能障害	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7
その他	5	40.0	40.0	-	20.0	-	60.0	-	20.0	-	20.0	-	-	20.0

【職員数別】

単位：%

区分	回答者数(件)	障害福祉に関する最新・適切な情報提供	障害福祉サービス事業者のスキルアップ(育成)のための研修の支援	障害福祉サービス事業者の人材確保・定着のための支援	障害福祉サービス費請求等に関する相談体制の充実	不適正な事業所への指導	区民への適正なサービス利用についての啓発	処遇困難者への対応	事務手続きの簡略化	ボランティアの育成	保護者(介護者)支援策の充実	その他	特にない	無回答
全体	155	45.8	33.5	44.5	12.3	7.1	16.8	12.3	38.1	1.9	9.7	3.2	2.6	5.2
5人未満	26	26.9	11.5	38.5	7.7	23.1	15.4	23.1	46.2	3.8	19.2	7.7	3.8	3.8
5~10人未満	54	44.4	40.7	44.4	11.1	3.7	20.4	5.6	37.0	-	3.7	3.7	3.7	7.4
10~20人未満	47	51.1	34.0	42.6	10.6	-	14.9	8.5	38.3	4.3	12.8	2.1	2.1	4.3
20~30人未満	17	64.7	41.2	47.1	29.4	11.8	17.6	11.8	29.4	-	5.9	-	-	-
30人以上	11	45.5	36.4	63.6	9.1	9.1	9.1	36.4	36.4	-	9.1	-	-	9.1

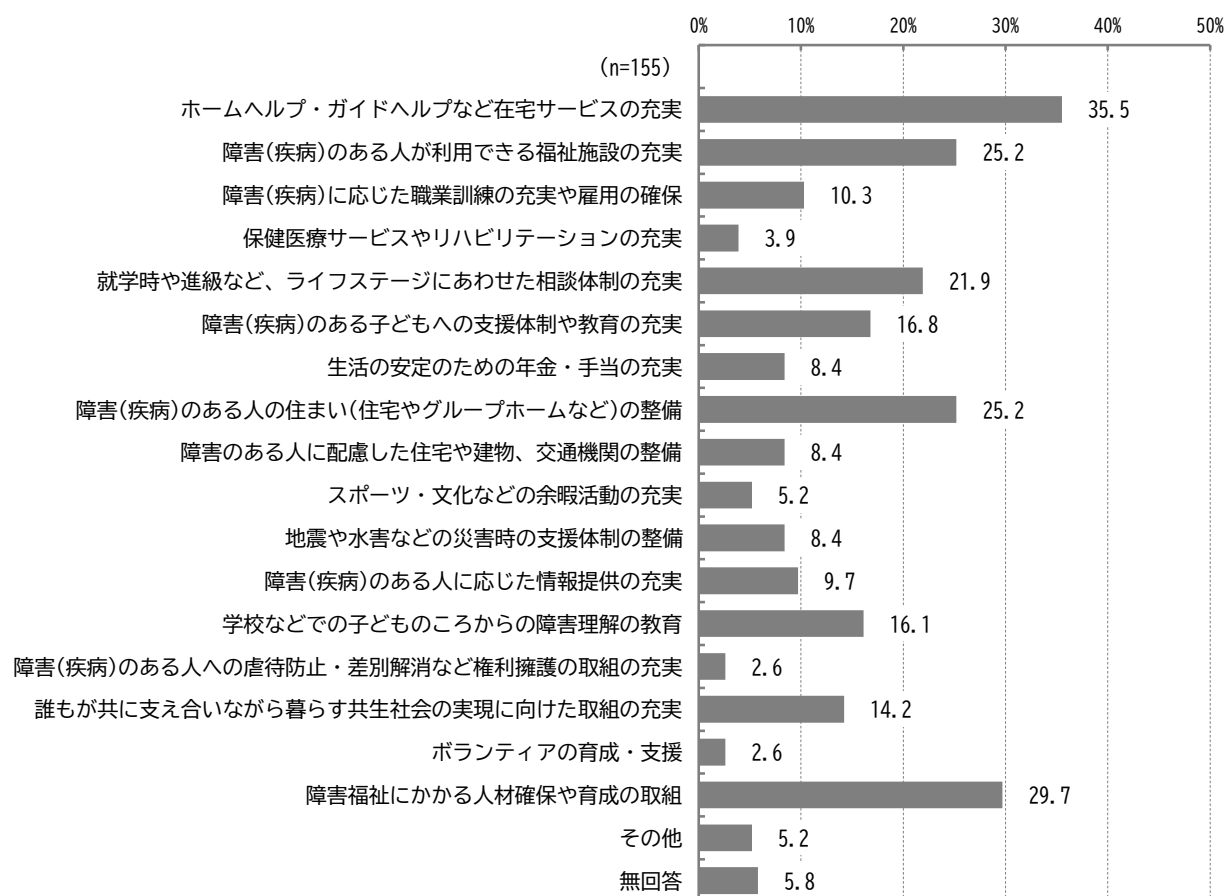
問 48 障害(疾病)のある人に関する杉並区の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものをお答えください。(〇は3つまで)

「ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実」が 35.5%と最も多く、次いで「障害福祉にかかる人材確保や育成の取組」が 29.7%、「障害(疾病)のある人が利用できる福祉施設の充実」と「障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備」が 25.2%の順となっています。

提供サービス別にみると、障害児系は「就学時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実」、居住系は「ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実」と「障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備」が同率、それ以外の業種は「ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実」が最も多くなっています。

障害別にみると、重度重複障害は「障害福祉にかかる人材確保や育成の取組」、肢体不自由と知的障害は「ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実」、精神障害は「障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備」、発達障害は「就学時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実」が最も多くなっています。

職員数別にみると、5人未満は「障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備」、20～30人未満は「障害福祉にかかる人材確保や育成の取組」、それ以外は「ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実」が最も多くなっています。



【提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実	障害(疾病)のある人が利用できる福祉施設の充実	障害(疾病)に応じた職業訓練の充実や雇用の確保	保健医療サービスの充実	就学時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実	障害(疾病)のある子どもへの支援体制や教育の充実	生活の安定のための年金・手当の充実	障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備	障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備
全体	155	35.5	25.2	10.3	3.9	21.9	16.8	8.4	25.2	8.4
訪問系	44	43.2	36.4	11.4	9.1	11.4	6.8	6.8	22.7	11.4
居住系	30	40.0	20.0	6.7	-	20.0	10.0	10.0	40.0	10.0
日中活動系	36	41.7	33.3	13.9	2.8	19.4	2.8	13.9	25.0	2.8
障害児系	39	30.8	15.4	10.3	2.6	41.0	43.6	7.7	10.3	5.1
相談支援系	25	48.0	16.0	4.0	-	8.0	8.0	4.0	36.0	16.0
区分	スポーツ・文化などの余暇活動の充実	地震や水害などの災害時の支援体制の整備	障害(疾病)のある人に応じた情報提供の充実	学校などでの子どもたちからの障害理解の教育	障害(疾病)のある人への虐待防止・差別解消など権利擁護の取組の充実	誰もが共に支え合いながら暮らす共生社会の実現に向けた取組の充実	ボランティアの育成・支援	障害福祉にかかる人材確保や育成の取組	その他	無回答
全体	5.2	8.4	9.7	16.1	2.6	14.2	2.6	29.7	5.2	5.8
訪問系	2.3	2.3	11.4	4.5	-	18.2	2.3	27.3	-	6.8
居住系	10.0	16.7	13.3	3.3	3.3	3.3	-	36.7	16.7	-
日中活動系	8.3	8.3	13.9	8.3	2.8	16.7	2.8	33.3	5.6	5.6
障害児系	2.6	5.1	-	38.5	5.1	15.4	2.6	20.5	2.6	7.7
相談支援系	-	12.0	4.0	16.0	-	12.0	4.0	28.0	8.0	16.0

【障害別】

単位：%

区分	回答者数(件)	ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実	障害(疾病)のある人が利用できる福祉施設の充実	障害(疾病)に応じた職業訓練の充実や雇用の確保	保健医療サービスやリハビリテーションの充実	就学時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実	障害(疾病)のある子どもへの支援体制や教育の充実	生活の安定のための年金・手当の充実	障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備	障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備
全体	155	35.5	25.2	10.3	3.9	21.9	16.8	8.4	25.2	8.4
重度重複障害	16	37.5	18.8	-	12.5	31.3	12.5	6.3	6.3	6.3
視覚障害	6	-	50.0	-	16.7	-	-	16.7	50.0	33.3
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肢体不自由	22	40.9	13.6	9.1	4.5	27.3	18.2	4.5	27.3	9.1
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	8	62.5	25.0	-	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5
知的障害	87	41.4	27.6	12.6	2.3	19.5	16.1	9.2	24.1	6.9
精神障害	54	31.5	31.5	16.7	5.6	13.0	9.3	11.1	33.3	11.1
発達障害	44	27.3	15.9	13.6	-	36.4	29.5	6.8	18.2	2.3
高次脳機能障害	3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-
その他	5	40.0	-	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0
区分	スポーツ・文化などの余暇活動の充実	地震や水害などの災害時の支援体制の整備	障害(疾病)のある人に応じた情報提供の充実	学校などでの子どもへの障害理解の教育	障害(疾病)のある人への虐待防止・差別解消など権利擁護の取組の充実	誰もが共に支え合いながら暮らす共生社会の実現に向けた取組の充実	ボランティアの育成・支援	障害福祉にかかわる人材確保や育成の取組	その他	無回答
全体	5.2	8.4	9.7	16.1	2.6	14.2	2.6	29.7	5.2	5.8
重度重複障害	6.3	18.8	6.3	12.5	-	25.0	-	43.8	6.3	6.3
視覚障害	-	16.7	16.7	-	-	33.3	-	16.7	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
肢体不自由	4.5	9.1	13.6	9.1	4.5	22.7	-	36.4	9.1	-
内部障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	-	-	25.0	12.5	-	25.0	-	50.0	12.5	-
知的障害	5.7	11.5	4.6	16.1	4.6	12.6	2.3	32.2	4.6	4.6
精神障害	7.4	5.6	11.1	13.0	1.9	11.1	3.7	29.6	3.7	3.7
発達障害	6.8	6.8	9.1	31.8	4.5	18.2	2.3	20.5	4.5	6.8
高次脳機能障害	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3
その他	-	-	40.0	-	-	-	-	-	20.0	20.0

【職員数別】

単位：%

区分	回答者数(件)	ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実	障害(疾病)のある人が利用できる福祉施設の充実	障害(疾病)に応じた職業訓練の充実や雇用の確保	保健医療サービスやリハビリテーションの充実	就学時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実	障害(疾病)のある子どもへの支援体制や教育の充実	生活の安定のための年金・手当の充実	障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備	障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備
全体	155	35.5	25.2	10.3	3.9	21.9	16.8	8.4	25.2	8.4
5人未満	26	26.9	23.1	3.8	-	19.2	23.1	3.8	38.5	15.4
5~10人未満	54	38.9	27.8	20.4	3.7	22.2	11.1	18.5	29.6	3.7
10~20人未満	47	29.8	27.7	2.1	2.1	25.5	25.5	2.1	14.9	12.8
20~30人未満	17	41.2	5.9	11.8	11.8	29.4	5.9	-	5.9	5.9
30人以上	11	54.5	36.4	9.1	9.1	-	9.1	9.1	45.5	-
区分	スポーツ・文化などの余暇活動の充実	地震や水害などの災害時の支援体制の整備	障害(疾病)のある人に応じた情報提供の充実	学校などでの子どもたちからの障害理解の教育	障害(疾病)のある人への虐待防止・差別解消など権利擁護の取組の充実	誰もが共に支え合いながら暮らす共生社会の実現に向けた取組の充実	ボランティアの育成・支援	障害福祉にかかる人材確保や育成の取組	その他	無回答
全体	5.2	8.4	9.7	16.1	2.6	14.2	2.6	29.7	5.2	5.8
5人未満	3.8	11.5	7.7	11.5	-	15.4	7.7	34.6	3.8	3.8
5~10人未満	3.7	7.4	14.8	13.0	3.7	5.6	-	25.9	5.6	5.6
10~20人未満	2.1	4.3	8.5	19.1	4.3	19.1	2.1	25.5	4.3	8.5
20~30人未満	11.8	23.5	-	29.4	-	29.4	-	47.1	5.9	-
30人以上	18.2	-	9.1	9.1	-	9.1	9.1	27.3	9.1	9.1

問 49 区の障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

区の障害者施策に関して、25 事業所からご意見・ご要望をいただきました。内容別に分類した結果と、各分類の主な意見は以下の通りです。

分類		件数
①	福祉サービスについて	11
②	雇用・就労について	7
③	その他	7
合計		25

【主な意見】※基本的に原文のまま掲載しています。

〔① 福祉サービスについて〕

- 送迎の課題について、重度障害者がグループホームに入居したが、生活介護事業所の送迎が困難であると言われるケースが多い。またガイドヘルパーを利用できることは、ありがたいが、ヘルパー数が足りておらず、家族が行っている。
- このところ、若年層(10～30代)の方からの相談が非常に多くなってきています。障害福祉サービスをそもそも知らなかったり、体力があり無理ができるぶん、生きづらさを抱えていても医療や福祉に繋がっていない方が多いと感じています。児童期・学童期に適切なケアを受けられなかったり、児童期が終わり成人に対するケアにうまく橋渡しされずにきた方も多く見聞きます。まだ支援に繋がっていない方をアウトリーチ的に掘り起こして、重症化や生活保護への移行を防ぐ取り組みを支援して行ってほしいです。

〔② 雇用・就労について〕

- 障害福祉に携わる人材確保促進について、自治体に率先して取り組んでもらいたいです。
- 支援に必要な専門的職員を募集しても来てくれません。ハローワークから「年金など控除して手取りで 20 万円以上の賃金でないとむずかしい」と言われましたが、初任給で手取り 20 万円以上はむずかしいです。生活支援を重視し、利用者も高齢化しており就労重視の施策と現補助金のあり方では限界があります。食事の提供、事業所家賃への助成金に加え、人材を紹介したり派遣してくれるサービスを要望します。たとえば、医療・相談・栄養の専門人材など。

〔③ その他〕

- 特に夏休みなど、放課後等デイサービスで区の体育館や、施設を優先的に使用したい。また体育館でイベントを企画していろんな団体が集まれる機会をつくってほしい。必要に応じて一緒に準備します。
- 以前より改善されていると思うのですが障害児通所支援について、初回の相談から受給者証発行や療育につながるまでに他の自治体と比較して時間がかかる印象があります。自治体での相談やアセスメントが手厚いのは杉並の良さだと思うのですが、仕組みについてご検討いただきたいです。

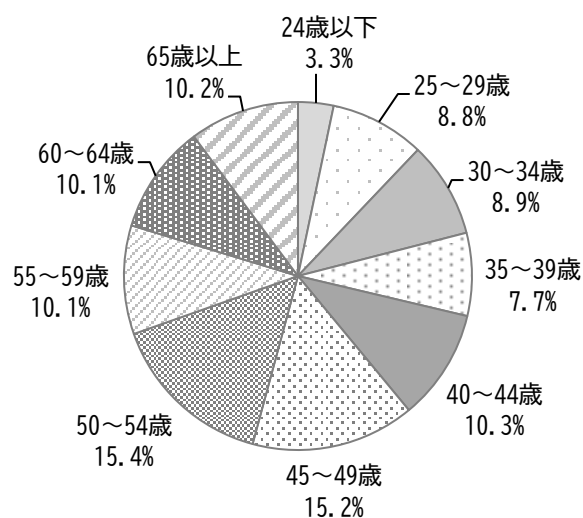
## 4. 従事者

### (1) 基本事項について

問1 あなたの年齢はいくつですか。(○は1つ)

「50～54歳」が15.4%と最も多く、次いで「45～49歳」が15.2%、「40～44歳」が10.3%、「65歳以上」が10.2%の順となっています。

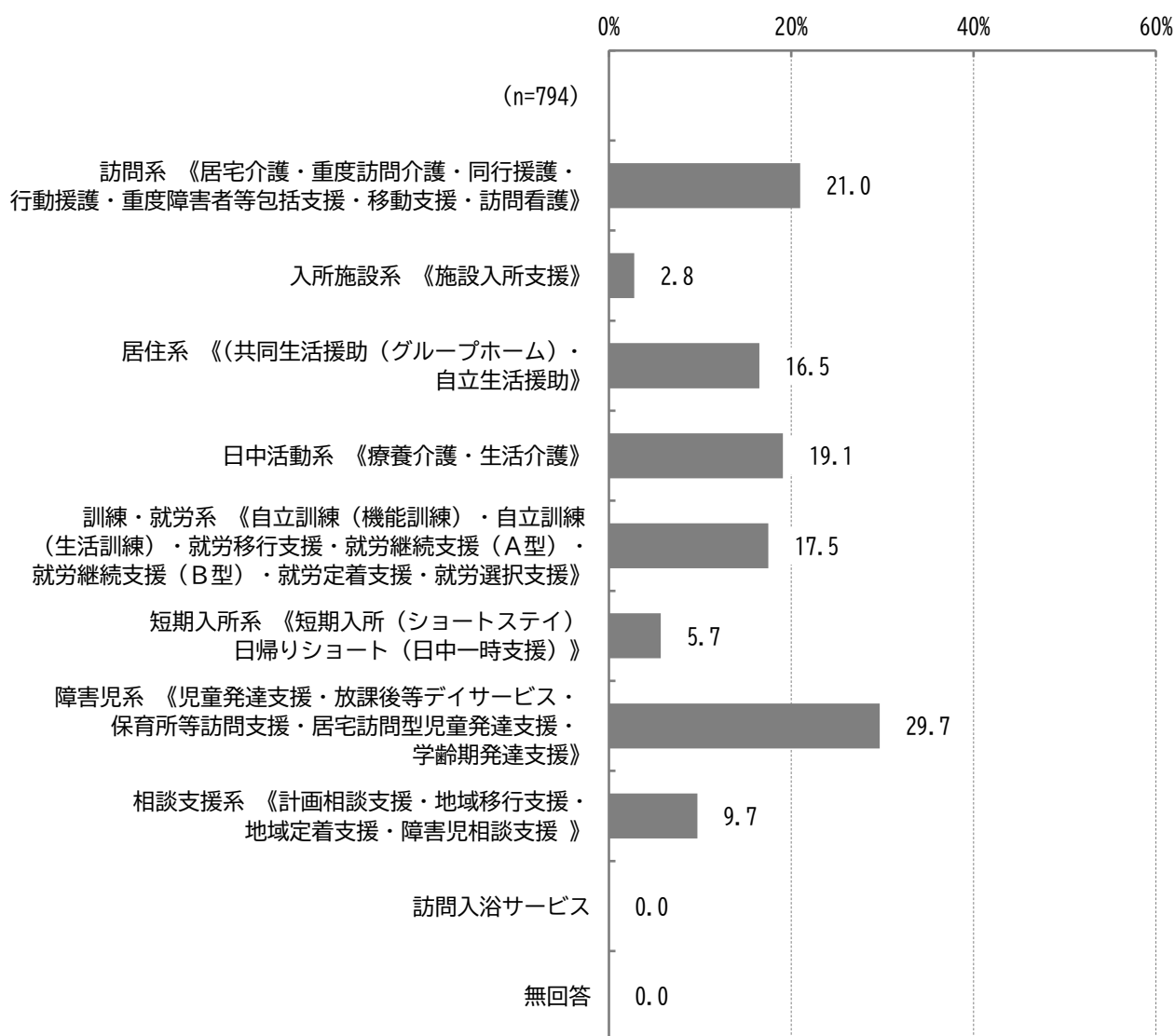
(n=794)



問2 あなたの事業所の提供しているサービスはどれですか。(〇はいくつでも)

「障害児系《児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援・学齢期発達支援》が29.7%と最も多く、次いで「訪問系《居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・重度障害者等包括支援・移動支援・訪問看護》」が21.0%、「日中活動系《療養介護・生活介護》」が19.1%、訓練・就労系《自立訓練（機能訓練）・自立訓練（生活訓練）・就労移行支援・就労継続支援（A型）・就労継続支援（B型）・就労定着支援・就労選択支援》が17.5%の順となっています。

年齢別にみると、35～39歳と45～49歳、50～54歳は「日中活動系」、55～59歳は「訪問系」、65歳以上は「居住系」、それ以外は「障害児系」が最も多くなっています。



【年齢別】

単位：%

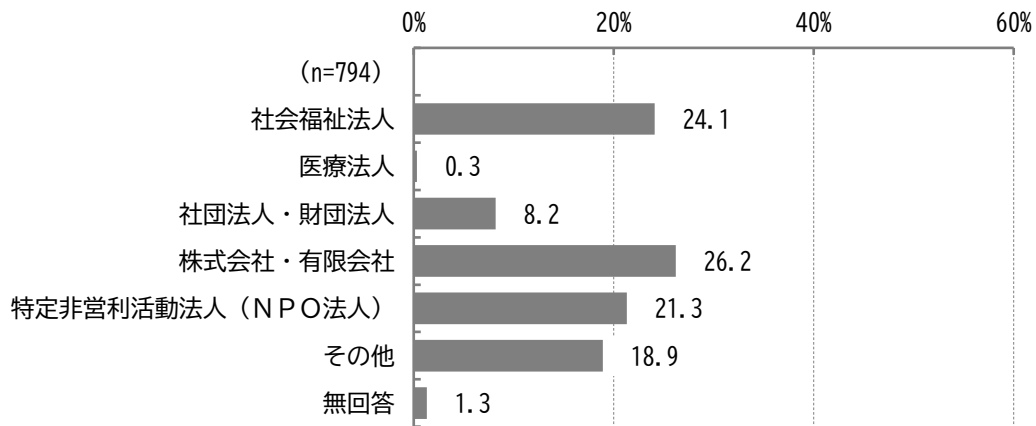
区分	回答者数 (件)	訪問系	居住系	日中活動系	障害児系	相談支援系	無回答	
全体	794	21.0	22.0	32.4	29.7	9.7	-	
年齢別	24歳以下	26	3.8	26.9	30.8	34.6	3.8	-
	25～29歳	70	14.3	12.9	35.7	38.6	4.3	-
	30～34歳	71	14.1	18.3	35.2	39.4	8.5	-
	35～39歳	61	14.8	19.7	49.2	26.2	6.6	-
	40～44歳	82	22.0	23.2	26.8	34.1	8.5	-
	45～49歳	121	21.5	21.5	37.2	25.6	15.7	-
	50～54歳	122	23.0	22.1	34.4	27.9	11.5	-
	55～59歳	80	31.3	18.8	30.0	20.0	7.5	-
	60～64歳	80	22.5	18.8	27.5	33.8	8.8	-
	65歳以上	81	27.2	39.5	17.3	24.7	12.3	-

問3 あなたの事業所の経営主体はどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

「株式会社・有限会社」が26.2%と最も多く、次いで「社会福祉法人」が24.1%、「特定非営利活動法人（NPO法人）」が21.3%、「社団法人・財団法人」が8.2%の順となっています。

年齢別にみると、35～49歳は「社会福祉法人」、65歳以上は「特定非営利活動法人（NPO法人）」、それ以外は「株式会社・有限会社」が多くなっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「株式会社・有限会社」、居住系、日中活動系、相談支援系は「社会福祉法人」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別】

単位：%

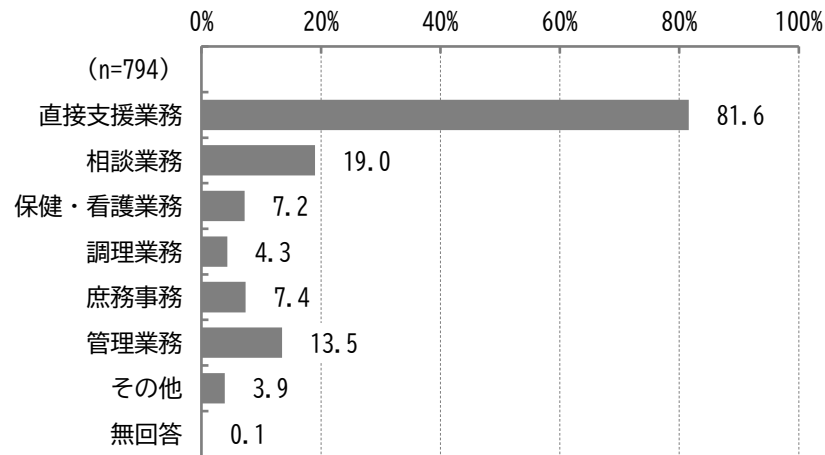
区分	回答者数 (件)	社会福祉法人	医療法人	社団法人・財団法人	株式会社・有限会社	特定非営利活動法人 (NPO法人)	その他	無回答	
全体	794	24.1	0.3	8.2	26.2	21.3	18.9	1.3	
年齢別	24歳以下	19.2	-	3.8	38.5	19.2	19.2	3.8	
	25～29歳	14.3	-	5.7	28.6	17.1	32.9	1.4	
	30～34歳	21.1	-	7.0	29.6	14.1	28.2	-	
	35～39歳	61	32.8	-	11.5	16.4	14.8	24.6	-
	40～44歳	82	25.6	-	9.8	22.0	18.3	22.0	2.4
	45～49歳	121	32.2	-	8.3	19.8	20.7	17.4	1.7
	50～54歳	122	25.4	0.8	4.9	27.9	18.9	20.5	1.6
	55～59歳	80	11.3	-	13.8	33.8	22.5	17.5	1.3
	60～64歳	80	26.3	-	8.8	30.0	23.8	10.0	1.3
65歳以上	81	24.7	1.2	7.4	24.7	40.7	1.2	-	
提供サービス別	訪問系	167	6.6	0.6	1.8	71.9	12.6	4.8	1.8
	居住系	175	37.1	-	17.1	10.9	33.1	1.1	0.6
	日中活動系	257	42.8	-	3.5	8.9	20.6	23.7	0.4
	障害児系	236	15.7	-	9.3	24.2	18.6	29.7	3.0
	相談支援系	77	31.2	2.6	5.2	11.7	23.4	26.0	-

問4 あなたの主な業務はどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

「直接支援業務」が81.6%と最も多く、次いで「相談業務」が19.0%、「管理業務」が13.5%、「庶務事務」が7.4%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「直接支援業務」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「相談業務」、それ以外は「直接支援業務」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別】

単位：%

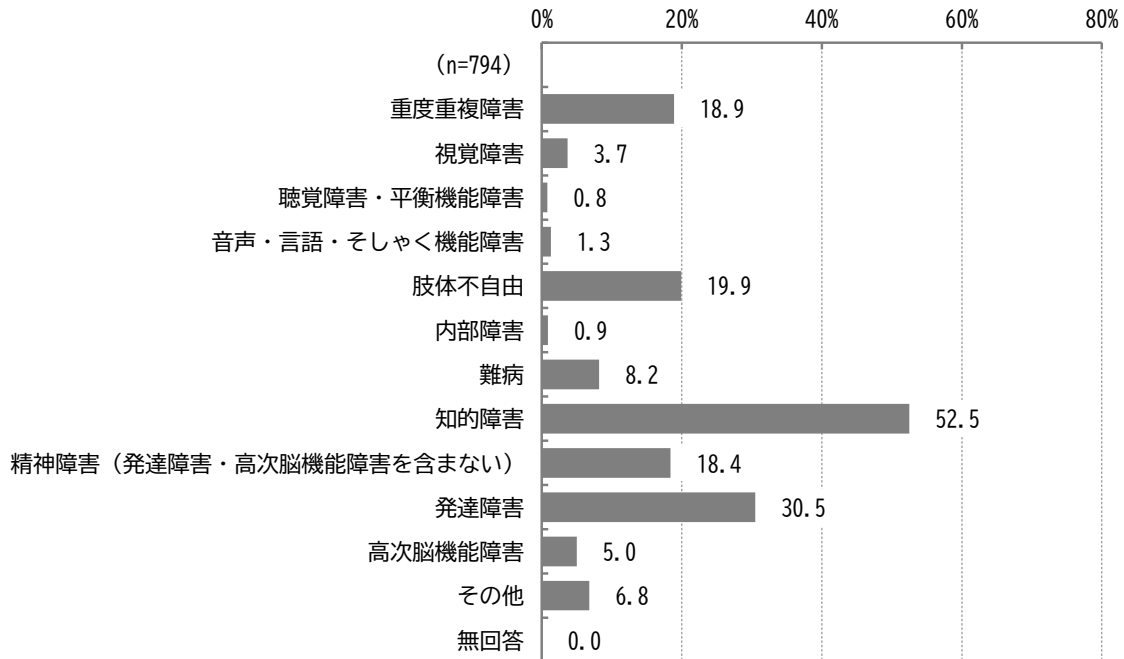
区分	回答者数 (件)	直接 支援 業務	相談 業務	保健・ 看護 業務	調理 業務	庶務 事務	管理 業務	その他	無 回答	
全体	794	81.6	19.0	7.2	4.3	7.4	13.5	3.9	0.1	
年齢別	24歳以下	26	92.3	23.1	-	7.7	7.7	-	3.8	-
	25～29歳	70	94.3	14.3	7.1	1.4	5.7	2.9	1.4	-
	30～34歳	71	84.5	25.4	11.3	2.8	4.2	2.8	1.4	-
	35～39歳	61	82.0	18.0	6.6	1.6	4.9	19.7	6.6	-
	40～44歳	82	84.1	17.1	6.1	3.7	11.0	15.9	3.7	-
	45～49歳	121	76.9	23.1	7.4	4.1	6.6	20.7	2.5	-
	50～54歳	122	76.2	23.0	12.3	7.4	14.8	18.0	4.9	-
	55～59歳	80	83.8	16.3	2.5	5.0	3.8	11.3	3.8	1.3
	60～64歳	80	75.0	16.3	5.0	2.5	10.0	17.5	5.0	-
65歳以上	81	81.5	12.3	6.2	6.2	1.2	9.9	6.2	-	
提供サービス別	訪問系	167	82.0	7.2	11.4	3.0	7.8	13.8	3.0	0.6
	居住系	175	91.4	16.6	3.4	12.0	9.1	18.3	6.9	-
	日中活動系	257	80.2	14.8	6.6	5.1	7.0	14.8	3.9	-
	障害児系	236	86.0	22.5	6.8	0.4	6.8	9.3	5.9	-
	相談支援系	77	50.6	67.5	5.2	1.3	7.8	19.5	2.6	-

問5 あなたが普段接している利用者の主な障害はどれですか。(〇は2つまで)

「知的障害」が52.5%と最も多く、次いで「発達障害」が30.5%、「肢体不自由」が19.9%、「重度重複障害」が18.9%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「知的障害」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、障害児系は「発達障害」、それ以外は「知的障害」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	重度重複障害	視覚障害	聴覚障害・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	難病	知的障害	精神障害 (発達障害・高次脳機能障害を含まない)	発達障害	高次脳機能障害	その他	無回答
全体	794	18.9	3.7	0.8	1.3	19.9	0.9	8.2	52.5	18.4	30.5	5.0	6.8	-
年齢別	24歳以下	26	11.5	-	-	15.4	-	7.7	57.7	26.9	46.2	3.8	15.4	-
	25～29歳	70	12.9	-	-	22.9	1.4	7.1	65.7	15.7	41.4	4.3	5.7	-
	30～34歳	71	8.5	7.0	1.4	2.8	19.7	2.8	60.6	11.3	42.3	4.2	1.4	-
	35～39歳	61	18.0	1.6	1.6	-	16.4	-	3.3	59.0	23.0	34.4	8.2	-
	40～44歳	82	22.0	4.9	1.2	-	15.9	-	12.2	47.6	14.6	30.5	2.4	9.8
	45～49歳	121	24.0	3.3	0.8	1.7	19.8	0.8	8.3	50.4	18.2	22.3	8.3	5.0
	50～54歳	122	18.9	1.6	-	1.6	26.2	0.8	9.8	48.4	20.5	32.0	4.9	8.2
	55～59歳	80	16.3	8.8	-	2.5	16.3	-	5.0	47.5	28.8	31.3	5.0	7.5
	60～64歳	80	23.8	3.8	-	-	27.5	1.3	6.3	48.8	13.8	30.0	1.3	2.5
	65歳以上	81	23.5	3.7	2.5	-	12.3	1.2	11.1	50.6	16.0	12.3	6.2	16.0
提供サービス別	訪問系	167	20.4	12.6	2.4	1.8	24.6	4.2	25.1	31.7	17.4	9.6	8.4	4.2
	居住系	175	14.9	0.6	0.6	0.6	11.4	-	11.4	58.3	22.9	16.0	3.4	21.7
	日中活動系	257	23.3	2.3	-	1.9	19.8	-	0.8	63.0	29.2	18.7	9.3	1.2
	障害児系	236	20.8	0.4	0.4	1.3	22.9	-	1.3	56.4	0.8	64.4	-	1.3
	相談支援系	77	9.1	5.2	-	2.6	14.3	-	1.3	59.7	26.0	41.6	1.3	3.9

## (2) 勤務状況について

問6 現在勤務する事業所で通算何年働いていますか。(正規、非正規含め通算して)(○は1つ)

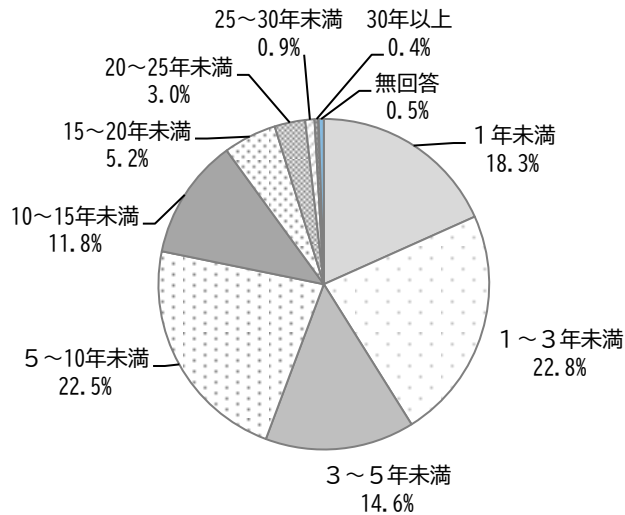
「1～3年未満」が22.8%と最も多く、次いで「5～10年未満」が22.5%、「1年未満」が18.3%、「3～5年未満」が14.6%の順となっています。

年齢別にみると、24歳以下と30～34歳は「1年未満」、25～29歳、35～39歳、50～54歳、55～59歳は「1～3年未満」、それ以外は「5～10年未満」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「1～3年未満」、相談支援系は「10～15年未満」、それ以外は「5～10年未満」が最も多くなっています。

業務別にみると、相談業務と管理業務は「5～10年未満」、それ以外は「1～3年未満」が多くなっています。

(n=794)



### 【年齢別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25～30年未満	30年以上	無回答	
		全体	794	18.3	22.8	14.6	22.5	11.8	5.2	3.0	0.9	0.4
年齢別	24歳以下	26	53.8	26.9	11.5	7.7	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	70	21.4	35.7	24.3	18.6	-	-	-	-	-	-
	30～34歳	71	40.8	19.7	9.9	28.2	1.4	-	-	-	-	-
	35～39歳	61	19.7	26.2	16.4	14.8	18.0	3.3	1.6	-	-	-
	40～44歳	82	20.7	18.3	22.0	23.2	11.0	3.7	-	-	-	1.2
	45～49歳	121	16.5	19.0	16.5	19.8	14.9	7.4	4.1	1.7	-	-
	50～54歳	122	13.9	25.4	9.8	25.4	13.1	6.6	2.5	2.5	-	0.8
	55～59歳	80	8.8	23.8	8.8	22.5	18.8	8.8	3.8	2.5	2.5	-
	60～64歳	80	8.8	22.5	7.5	31.3	16.3	5.0	6.3	-	1.3	1.3
65歳以上	81	8.6	16.0	19.8	22.2	13.6	9.9	8.6	-	-	1.2	

【提供サービス別・業務別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	1 年未 満	1 ～ 3 年未 満	3 ～ 5 年未 満	5 ～ 10 年未 満	10 ～ 15 年未 満	15 ～ 20 年未 満	20 ～ 25 年未 満	25 ～ 30 年未 満	30 年 以 上	無 回 答	
全体	794	18.3	22.8	14.6	22.5	11.8	5.2	3.0	0.9	0.4	0.5	
提供サービス別	訪問系	167	10.8	21.6	16.8	17.4	15.6	9.0	7.2	-	-	1.8
	居住系	175	19.4	22.9	15.4	23.4	8.6	6.9	2.9	0.6	-	-
	日中活動系	257	19.8	20.6	12.8	23.3	11.3	6.2	2.7	1.6	1.2	0.4
	障害児系	236	21.2	22.9	14.4	24.6	13.1	1.7	1.3	0.8	-	-
	相談支援系	77	14.3	15.6	10.4	20.8	23.4	9.1	6.5	-	-	-
業務別	直接支援業務	648	18.2	23.5	15.6	22.5	10.2	5.9	2.6	0.9	0.2	0.5
	相談業務	151	17.2	20.5	9.3	27.2	15.9	5.3	2.6	2.0	-	-
	保健・看護業務	57	22.8	28.1	14.0	24.6	8.8	1.8	-	-	-	-
	調理業務	34	17.6	26.5	17.6	17.6	11.8	5.9	-	2.9	-	-
	庶務事務	59	16.9	27.1	15.3	20.3	10.2	5.1	1.7	1.7	-	1.7
	管理業務	107	9.3	14.0	8.4	22.4	21.5	11.2	7.5	2.8	1.9	0.9
	その他	31	16.1	16.1	22.6	12.9	22.6	6.5	3.2	-	-	-

問7 他の事業所での経験を含めて、現在障害福祉分野の業務で通算何年働いていますか。  
 (正規、非正規含め通算して) (〇は1つ)

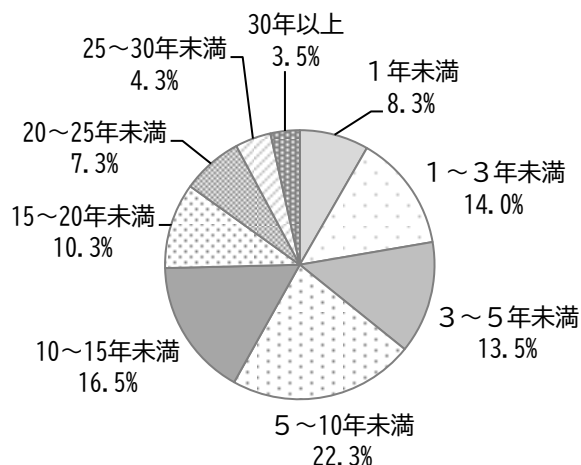
「5～10年未満」が22.3%と最も多く、次いで「10～15年未満」が16.5%、「1～3年未満」14.0%、「3～5年未満」13.5%の順となっています。

年齢別にみると、24歳以下は「1～3年未満」、25～29歳は「3～5年未満」、35～39歳と50～54歳、55～59歳は「10～15年未満」、それ以外は「5～10年未満」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「10～15年未満」、それ以外は「5～10年未満」が最も多くなっています。

業務別にみると、調理業務は「1～3年未満」、管理業務は「10～15年未満」、それ以外は「5～10年未満」が多くなっています。

(n=794)



【年齢別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25～30年未満	30年以上
全体	794	8.3	14.0	13.5	22.3	16.5	10.3	7.3	4.3	3.5
年齢別	24歳以下	26	38.5	42.3	11.5	7.7	-	-	-	-
	25～29歳	70	8.6	22.9	40.0	28.6	-	-	-	-
	30～34歳	71	16.9	11.3	8.5	50.7	12.7	-	-	-
	35～39歳	61	6.6	6.6	13.1	9.8	50.8	9.8	3.3	-
	40～44歳	82	8.5	9.8	15.9	26.8	19.5	8.5	11.0	-
	45～49歳	121	5.8	14.0	10.7	17.4	12.4	14.9	14.9	9.9
	50～54歳	122	4.9	13.1	7.4	17.2	23.8	12.3	9.8	9.0
	55～59歳	80	7.5	12.5	10.0	18.8	20.0	12.5	5.0	2.5
	60～64歳	80	2.5	16.3	8.8	23.8	10.0	15.0	7.5	3.8
	65歳以上	81	7.4	9.9	14.8	18.5	8.6	17.3	8.6	7.4

【提供サービス別・業務別】

単位：%

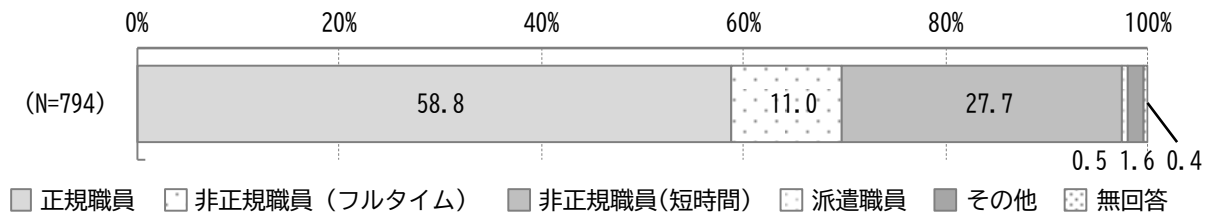
区分		回答者数 (件)	1 年 未 満	1 ～ 3 年 未 満	3 ～ 5 年 未 満	5 ～ 10 年 未 満	10 ～ 15 年 未 満	15 ～ 20 年 未 満	20 ～ 25 年 未 満	25 ～ 30 年 未 満	30 年 以 上
全体		794	8.3	14.0	13.5	22.3	16.5	10.3	7.3	4.3	3.5
提供サービス別	訪問系	167	6.0	11.4	12.6	23.4	20.4	11.4	12.0	3.0	-
	居住系	175	6.9	15.4	17.1	19.4	15.4	10.9	9.1	2.9	2.9
	日中活動系	257	8.9	11.7	12.8	21.0	19.8	11.7	5.1	4.7	4.3
	障害児系	236	9.7	14.8	13.1	24.2	15.7	8.5	6.4	3.0	4.7
	相談支援系	77	6.5	10.4	5.2	15.6	20.8	11.7	10.4	16.9	2.6
業務別	直接支援業務	648	8.0	14.4	14.7	22.2	15.7	10.5	7.7	3.5	3.2
	相談業務	151	6.6	10.6	4.6	23.2	17.2	11.9	9.3	11.9	4.6
	保健・看護業務	57	8.8	17.5	15.8	28.1	14.0	10.5	3.5	1.8	-
	調理業務	34	5.9	26.5	14.7	17.6	20.6	8.8	-	2.9	2.9
	庶務事務	59	11.9	16.9	15.3	18.6	16.9	13.6	1.7	3.4	1.7
	管理業務	107	2.8	3.7	5.6	22.4	24.3	11.2	14.0	10.3	5.6
	その他	31	12.9	16.1	16.1	6.5	25.8	19.4	3.2	-	-

問8 あなたの勤務形態はどれですか。(○は1つ)

「正規職員」が58.8%と最も多く、次いで「非正規職員（短時間）」が27.7%、「非正規職員（フルタイム）」が11.0%、「派遣職員」が0.5%の順となっています。

年齢別にみると、55～59歳と65歳以上は「非正規職員（短時間）」、それ以外は「正規職員」が最も多くなっています。

提供サービス別、業務別、障害分野の通算勤務年数別にみると、いずれも「正規職員」が多くなっています。



【年齢別】

単位：%

区分	回答者数(件)	正規職員	非正規職員(フルタイム)	非正規職員(短時間)	派遣職員	その他	無回答	
全体	794	58.8	11.0	27.7	0.5	1.6	0.4	
年齢別	24歳以下	26	76.9	7.7	11.5	3.8	-	-
	25～29歳	70	90.0	2.9	4.3	-	2.9	-
	30～34歳	71	74.6	2.8	22.5	-	-	-
	35～39歳	61	83.6	4.9	11.5	-	-	-
	40～44歳	82	67.1	6.1	25.6	-	1.2	-
	45～49歳	121	64.5	9.1	25.6	-	0.8	-
	50～54歳	122	54.9	16.4	24.6	-	3.3	0.8
	55～59歳	80	33.8	18.8	45.0	1.3	1.3	-
	60～64歳	80	41.3	20.0	32.5	-	3.8	2.5
65歳以上	81	24.7	13.6	58.0	2.5	1.2	-	

【提供サービス別・業務別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	正規職員	非正規職員 (フルタイム)	非正規職員 (短時間)	派遣職員	その他	無回答
全体		794	58.8	11.0	27.7	0.5	1.6	0.4
提供サービス別	訪問系	167	55.7	11.4	30.5	1.2	1.2	-
	居住系	175	52.6	13.7	31.4	0.6	1.7	-
	日中活動系	257	72.4	11.7	14.0	0.4	1.6	-
	障害児系	236	49.2	9.7	38.1	-	2.1	0.8
	相談支援系	77	61.0	11.7	24.7	-	1.3	1.3
業務別	直接支援業務	648	58.0	11.0	28.5	0.6	1.5	0.3
	相談業務	151	72.2	7.9	16.6	-	2.6	0.7
	保健・看護業務	57	70.2	5.3	21.1	-	3.5	-
	調理業務	34	50.0	20.6	17.6	5.9	5.9	-
	庶務事務	59	79.7	10.2	5.1	-	5.1	-
	管理業務	107	91.6	4.7	1.9	-	1.9	-
	その他	31	32.3	16.1	38.7	-	12.9	-
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	50.0	16.7	28.8	1.5	3.0	-
	1～3年未満	111	46.8	13.5	36.9	0.9	1.8	-
	3～5年未満	107	57.0	4.7	35.5	0.9	1.9	-
	5～10年未満	177	60.5	10.2	27.1	-	1.7	0.6
	10～15年未満	131	65.6	9.2	23.7	0.8	-	0.8
	15～20年未満	82	58.5	14.6	24.4	-	2.4	-
	20～25年未満	58	69.0	13.8	13.8	-	3.4	-
	25～30年未満	34	67.6	14.7	17.6	-	-	-
	30年以上	28	60.7	3.6	32.1	-	-	3.6

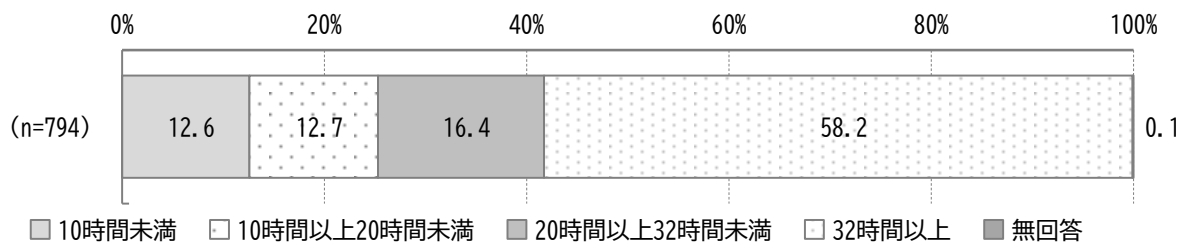
問9 あなたの1週間あたりの勤務時間はどれですか。(○は1つ)

「32時間以上」が58.2%と最も多く、次いで「20時間以上32時間未満」が16.4%、「10時間以上20時間未満」12.7%、「10時間未満」が12.6%の順となっています。

年齢別にみると、65歳以上は「10時間以上20時間未満」、それ以外は「32時間以上」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、いずれも「32時間以上」が最も多くなっていますが、訪問系と障害児系は「20時間未満」が3割を超えています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、いずれも「32時間以上」が最も多くなっていますが、5年未満は「20時間未満」が3割を超えています。



【年齢別・提供サービス別・障害分野の通算勤務年数別】

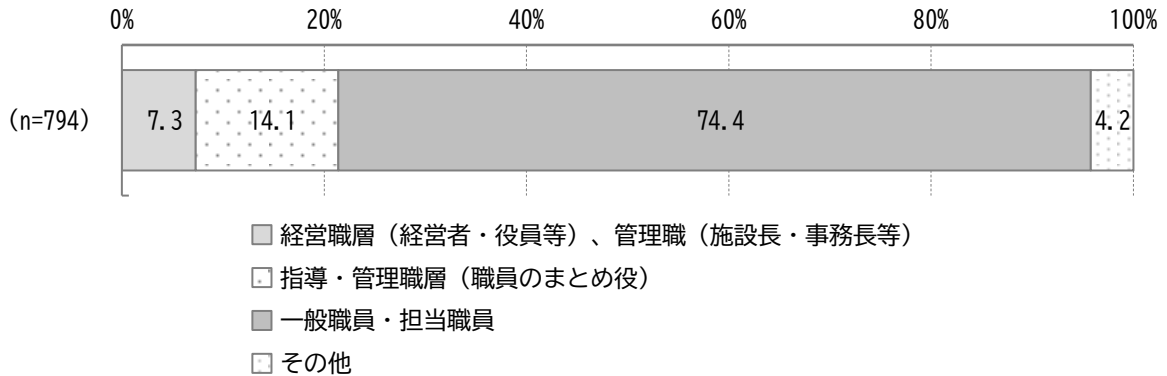
単位：%

区分	回答者数(件)	10時間未満	10時間以上20時間未満	20時間以上32時間未満	32時間以上	無回答
全体	794	12.6	12.7	16.4	58.2	0.1
年齢別	24歳以下	26	15.4	3.8	3.8	76.9
	25～29歳	70	21.4	2.9	7.1	68.6
	30～34歳	71	11.3	7.0	5.6	76.1
	35～39歳	61	9.8	6.6	13.1	70.5
	40～44歳	82	9.8	8.5	22.0	59.8
	45～49歳	121	13.2	8.3	19.8	58.7
	50～54歳	122	8.2	13.1	17.2	60.7
	55～59歳	80	8.8	20.0	23.8	47.5
	60～64歳	80	12.5	17.5	18.8	51.3
	65歳以上	81	19.8	32.1	18.5	29.6
提供サービス別	訪問系	167	17.4	16.8	16.8	49.1
	居住系	175	8.6	13.1	15.4	62.9
	日中活動系	257	8.6	6.2	11.3	73.9
	障害児系	236	14.8	15.7	22.5	46.6
	相談支援系	77	9.1	11.7	15.6	63.6
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	13.6	19.7	9.1	57.6
	1～3年未満	111	18.0	16.2	13.5	52.3
	3～5年未満	107	21.5	15.9	7.5	55.1
	5～10年未満	177	11.3	7.9	23.2	57.6
	10～15年未満	131	13.7	7.6	16.8	61.1
	15～20年未満	82	4.9	18.3	22.0	54.9
	20～25年未満	58	5.2	5.2	19.0	70.7
	25～30年未満	34	5.9	17.6	14.7	61.8
	30年以上	28	3.6	17.9	14.3	64.3

問 10 あなたの職層に一番近いのはどれですか。(○は1つ)

「一般職員・担当職員」が74.4%と最も多く、次いで「指導・管理職層（職員のまとめ役）」が14.1%、「経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）」が7.3%の順となっています。

年齢別、提供サービス別、障害分野の通算勤務年数別にみると、いずれも「一般職員・担当職員」が最も多くなっています。



【年齢別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）	指導・管理職層（職員のまとめ役）	一般職員・担当職員	その他	
全体	794	7.3	14.1	74.4	4.2	
年齢別	24歳以下	-	-	100.0	-	
	25～29歳	2.9	2.9	92.9	1.4	
	30～34歳	-	9.9	88.7	1.4	
	35～39歳	4.9	26.2	67.2	1.6	
	40～44歳	82	6.1	14.6	78.0	1.2
	45～49歳	121	14.9	19.0	64.5	1.7
	50～54歳	122	12.3	15.6	68.0	4.1
	55～59歳	80	2.5	13.8	76.3	7.5
	60～64歳	80	6.3	18.8	63.8	11.3
	65歳以上	81	9.9	8.6	72.8	8.6

【提供サービス別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：％

区分		回答者数 (件)	経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）	指導・管理職層（職員 のまごめ役）	一般職員・担当職員	その他
全体		794	7.3	14.1	74.4	4.2
提供サービス別	訪問系	167	9.0	14.4	71.9	4.8
	居住系	175	10.9	16.6	66.9	5.7
	日中活動系	257	7.4	16.0	70.8	5.8
	障害児系	236	2.5	11.0	82.6	3.8
	相談支援系	77	9.1	15.6	70.1	5.2
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	1.5	1.5	90.9	6.1
	1～3年未満	111	4.5	3.6	87.4	4.5
	3～5年未満	107	4.7	2.8	88.8	3.7
	5～10年未満	177	5.1	14.7	76.8	3.4
	10～15年未満	131	6.9	23.7	64.9	4.6
	15～20年未満	82	6.1	26.8	59.8	7.3
	20～25年未満	58	25.9	12.1	60.3	1.7
	25～30年未満	34	23.5	26.5	50.0	-
	30年以上	28	3.6	32.1	60.7	3.6

### (3) 仕事に対する考え方などについて

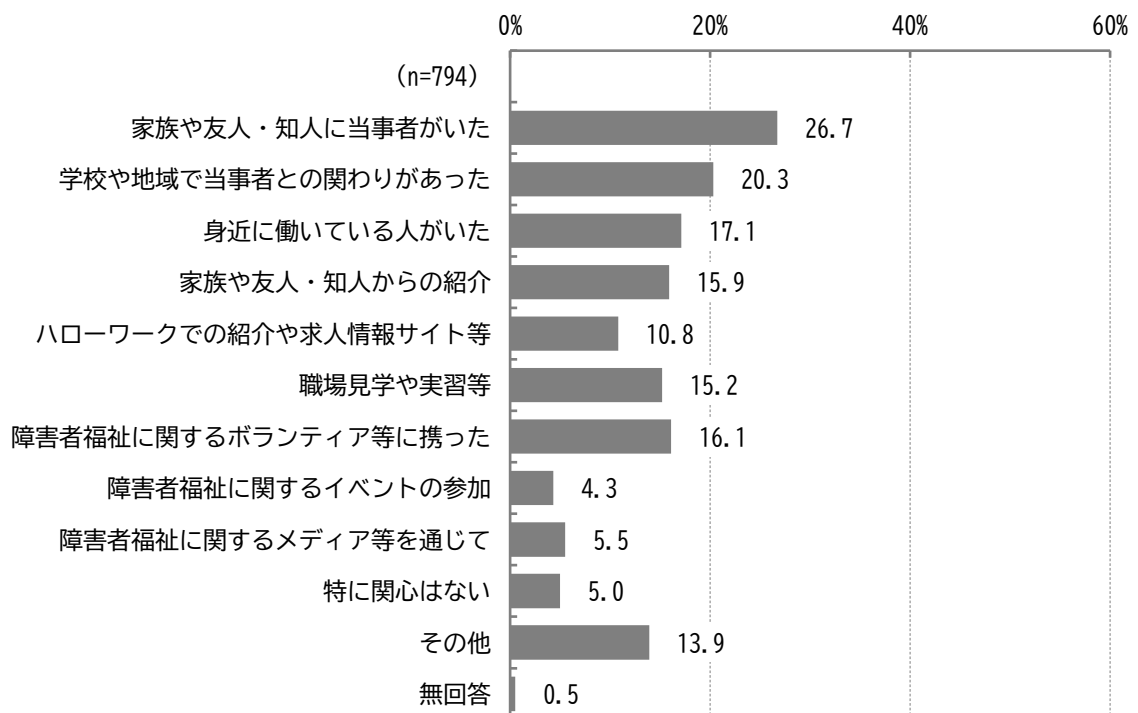
#### 問 11 障害者福祉に関心をもったきっかけはなんですか。(〇はいくつでも)

「家族や友人・知人に当事者がいた」が 26.7%と最も多く、次いで「学校や地域で当事者との関わりがあった」が 20.3%、「身近に働いている人がいた」が 17.1%、「障害者福祉に関するボランティア等に携った」が 16.1%の順となっています。

年齢別にみると、25～29 歳と 30～34 歳は「学校や地域で当事者との関わりがあった」、60～64 歳は「身近に働いている人がいた」と「障害者福祉に関するボランティア等に携った」、35～39 歳は「その他」、それ以外は「家族や友人・知人に当事者がいた」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、障害児系と相談支援系は「学校や地域で当事者との関わりがあった」、それ以外は「家族や友人・知人に当事者がいた」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、3～5 年未満は「家族や友人・知人に当事者がいた」と「学校や地域で当事者との関わりがあった」が同率、25～30 年以上は「障害者福祉に関するボランティア等に携った」、それ以外は「家族や友人・知人に当事者がいた」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：%

区分		回答者数(件)	家族や友人・知人に当事者がいた	学校や地域で当事者との関わりがあった	身近に働いている人がいた	家族や友人・知人からの紹介	ハローワークでの紹介や求人情報サイト等	職場見学や実習等	障害者福祉に関するボランティア等に携った	障害者福祉に関するイベントの参加	障害者福祉に関するメディア等を通じて	特に関心はない	その他	無回答
全体		794	26.7	20.3	17.1	15.9	10.8	15.2	16.1	4.3	5.5	5.0	13.9	0.5
年齢別	24歳以下	26	53.8	11.5	23.1	23.1	-	34.6	11.5	3.8	7.7	-	11.5	-
	25～29歳	70	28.6	34.3	11.4	10.0	5.7	28.6	15.7	4.3	7.1	8.6	10.0	1.4
	30～34歳	71	22.5	26.8	15.5	15.5	7.0	22.5	9.9	2.8	4.2	7.0	12.7	1.4
	35～39歳	61	13.1	23.0	16.4	11.5	8.2	13.1	16.4	1.6	1.6	9.8	24.6	-
	40～44歳	82	25.6	19.5	17.1	22.0	6.1	17.1	11.0	3.7	3.7	3.7	13.4	1.2
	45～49歳	121	22.3	21.5	17.4	10.7	10.7	14.0	19.0	3.3	5.8	5.8	15.7	-
	50～54歳	122	32.0	14.8	16.4	12.3	16.4	13.1	15.6	3.3	8.2	4.9	13.9	0.8
	55～59歳	80	36.3	25.0	17.5	18.8	10.0	10.0	20.0	5.0	3.8	3.8	10.0	-
	60～64歳	80	17.5	15.0	18.8	17.5	15.0	6.3	18.8	8.8	8.8	5.0	15.0	-
65歳以上	81	29.6	11.1	21.0	24.7	17.3	9.9	18.5	6.2	3.7	-	11.1	-	
提供サービス別	訪問系	167	26.9	15.0	18.0	18.6	11.4	7.8	9.0	4.8	5.4	8.4	15.6	1.2
	居住系	175	40.6	16.0	20.6	22.9	8.0	10.3	20.0	6.3	6.3	1.7	9.1	-
	日中活動系	257	23.3	22.2	16.3	14.0	12.1	16.7	21.0	3.9	4.7	7.4	14.0	0.4
	障害児系	236	22.5	24.2	17.4	13.6	11.4	23.3	17.8	3.8	6.8	1.7	16.5	0.4
	相談支援系	77	29.9	32.5	24.7	22.1	3.9	20.8	28.6	5.2	6.5	3.9	11.7	-
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	28.8	10.6	21.2	10.6	21.2	22.7	15.2	1.5	4.5	3.0	18.2	1.5
	1～3年未満	111	26.1	20.7	19.8	17.1	18.0	13.5	9.9	4.5	3.6	3.6	8.1	1.8
	3～5年未満	107	26.2	26.2	17.8	19.6	4.7	18.7	9.3	2.8	4.7	7.5	15.9	0.9
	5～10年未満	177	35.0	22.0	12.4	17.5	11.3	14.7	14.7	6.2	5.6	5.1	14.1	-
	10～15年未満	131	22.1	14.5	18.3	16.8	10.7	13.7	19.1	4.6	6.1	5.3	16.0	-
	15～20年未満	82	22.0	18.3	19.5	11.0	8.5	11.0	15.9	3.7	2.4	4.9	17.1	-
	20～25年未満	58	25.9	24.1	17.2	13.8	3.4	10.3	20.7	-	6.9	5.2	8.6	-
	25～30年未満	34	17.6	26.5	14.7	8.8	8.8	14.7	32.4	5.9	8.8	5.9	17.6	-
	30年以上	28	21.4	25.0	14.3	21.4	3.6	25.0	35.7	10.7	17.9	3.6	3.6	-

問 12 現在の事業所を選んだ理由はなんですか。(〇はいくつでも)

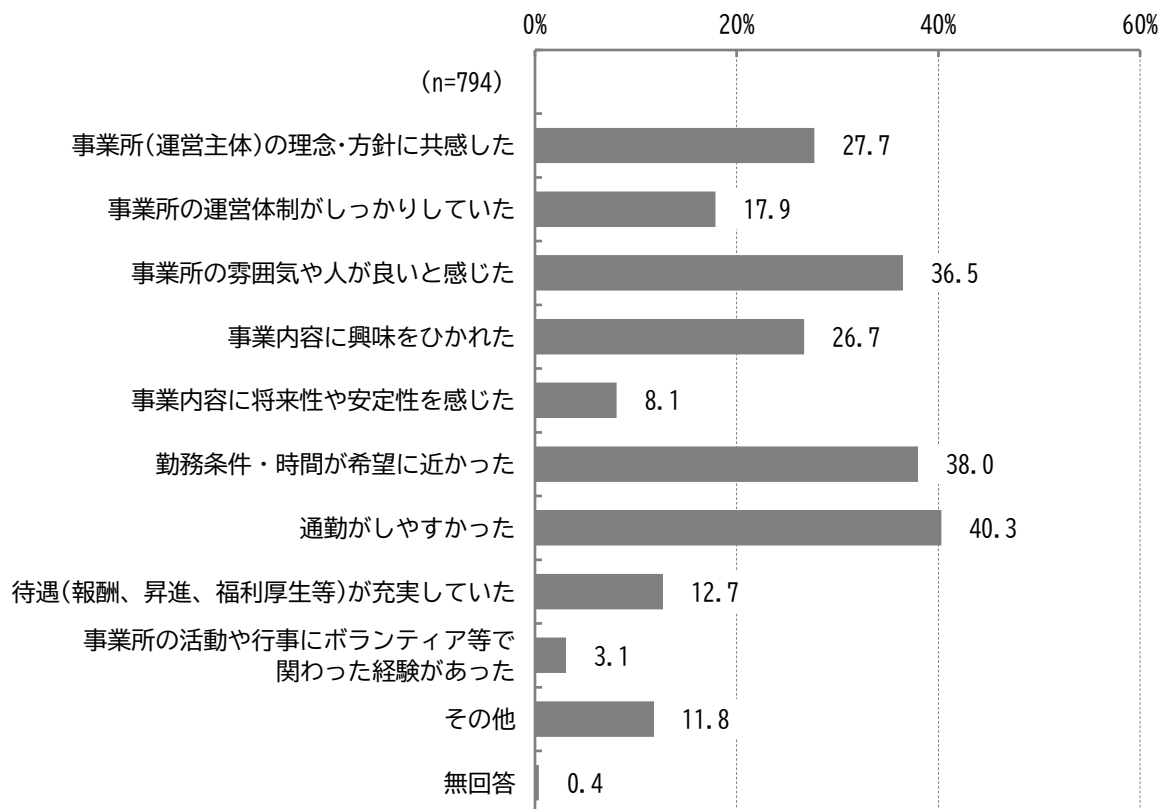
「通勤がしやすかった」が40.3%と最も多く、次いで「勤務条件・時間が希望に近かった」が38.0%、「事業所の雰囲気や人が良いと感じた」が36.5%、「事業所(運営主体)の理念・方針に共感した」が27.7%の順となっています。

年齢別にみると、24歳以下は「事業所(運営主体)の理念・方針に共感した」と「事業所の雰囲気や人が良いと感じた」、25～39歳と45～49歳は「勤務条件・時間が希望に近かった」、40～44歳と50～64歳は「通勤がしやすかった」、65歳以上は「事業所の雰囲気や人が良いと感じた」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、訪問系と居住系は「事業所の雰囲気や人が良いと感じた」、日中活動系は「通勤がしやすかった」、障害児系は「勤務条件・時間が希望に近かった」、相談支援系は「事業所の雰囲気や人が良いと感じた」と「勤務条件・時間が希望に近かった」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、1年未満と15～20年未満は「勤務条件・時間が希望に近かった」、3～5年未満は「事業所の雰囲気や人が良いと感じた」、20～25年未満は「事業所の雰囲気や人が良いと感じた」と「勤務条件・時間が希望に近かった」が同率、25～30年未満は「事業所(運営主体)の理念・方針に共感した」、30年以上は「事業内容に興味をひかれた」、それ以外は「通勤がしやすかった」が最も多くなっています。

職層別にみると、経営職層(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等)は「事業所(運営主体)の理念・方針に共感した」、一般職員・担当職員は「通勤がしやすかった」、それ以外は「勤務条件・時間が希望に近かった」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・障害分野の通算勤務年数別・職層別】

単位：％

区分	回答者数(件)	事業所(運営主体)の理念・方針に共感した	事業所の運営体制がしっかりしている	事業所の雰囲気や人が良いと感じた	事業内容に興味をひかれた	事業内容に将来性や安定性を感じた	勤務条件・時間が希望に近かった	通勤がしやすかった	待遇(報酬・昇進・福利厚生等)が充実していた	事業所の活動や行事にボランティア等で関わった経験があった	その他	無回答	
全体	794	27.7	17.9	36.5	26.7	8.1	38.0	40.3	12.7	3.1	11.8	0.4	
年齢別	24歳以下	26	38.5	30.8	38.5	26.9	7.7	15.4	26.9	11.5	7.7	7.7	-
	25～29歳	70	28.6	15.7	32.9	28.6	17.1	34.3	32.9	27.1	1.4	11.4	1.4
	30～34歳	71	19.7	15.5	31.0	28.2	8.5	35.2	31.0	21.1	2.8	8.5	1.4
	35～39歳	61	24.6	19.7	31.1	19.7	18.0	34.4	31.1	18.0	4.9	16.4	-
	40～44歳	82	26.8	12.2	36.6	29.3	1.2	42.7	45.1	11.0	-	9.8	-
	45～49歳	121	28.1	17.4	31.4	28.9	8.3	43.8	40.5	10.7	2.5	14.9	-
	50～54歳	122	26.2	13.9	37.7	27.0	7.4	39.3	42.6	9.8	5.7	13.1	0.8
	55～59歳	80	26.3	20.0	40.0	28.8	7.5	40.0	47.5	12.5	5.0	10.0	-
	60～64歳	80	26.3	16.3	33.8	27.5	6.3	37.5	47.5	8.8	2.5	10.0	-
65歳以上	81	38.3	28.4	53.1	19.8	2.5	37.0	43.2	2.5	1.2	12.3	-	
提供サービス別	訪問系	167	24.0	19.8	40.1	13.8	11.4	38.9	39.5	12.0	1.2	9.6	0.6
	居住系	175	37.7	32.0	51.4	16.0	7.4	32.6	41.7	10.3	2.3	15.4	-
	日中活動系	257	18.3	14.0	26.8	28.8	7.8	37.0	39.7	15.2	3.9	16.7	0.4
	障害児系	236	33.1	12.3	35.6	41.1	8.5	42.8	41.9	12.3	3.0	6.8	0.4
	相談支援系	77	29.9	16.9	37.7	36.4	6.5	37.7	31.2	14.3	5.2	14.3	-
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	31.8	15.2	34.8	27.3	7.6	50.0	34.8	13.6	6.1	7.6	1.5
	1～3年未満	111	30.6	16.2	39.6	27.9	4.5	37.8	50.5	7.2	0.9	14.4	0.9
	3～5年未満	107	25.2	16.8	45.8	28.0	8.4	33.6	42.1	13.1	1.9	12.1	-
	5～10年未満	177	32.2	22.0	38.4	23.2	7.3	36.7	42.9	15.3	1.7	5.6	-
	10～15年未満	131	17.6	19.1	32.8	28.2	10.7	38.2	39.7	14.5	6.1	16.0	0.8
	15～20年未満	82	20.7	12.2	26.8	24.4	8.5	43.9	39.0	12.2	3.7	14.6	-
	20～25年未満	58	27.6	13.8	34.5	25.9	10.3	34.5	29.3	8.6	3.4	13.8	-
	25～30年未満	34	47.1	14.7	41.2	29.4	2.9	32.4	29.4	11.8	2.9	14.7	-
30年以上	28	32.1	32.1	25.0	35.7	14.3	32.1	32.1	17.9	3.6	14.3	-	
職層別	経営職層(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等)	58	29.3	8.6	25.9	15.5	8.6	17.2	17.2	6.9	6.9	27.6	-
	指導・管理職層(職員のまとめ役)	112	33.9	22.3	33.0	22.3	12.5	35.7	33.9	15.2	8.0	14.3	-
	一般職員・担当職員	591	26.6	18.1	38.6	29.1	7.6	40.1	43.8	13.0	1.5	9.6	0.3
	その他	33	24.2	15.2	30.3	18.2	-	45.5	39.4	9.1	9.1	15.2	3.0

問 13 現在の事業所で働き続けたいと思いますか。(○は1つ)

「働ける限り続けたい」が 59.2%と最も多く、次いで「ライフステージに合わせ離職を考えている」が 14.7%、「3～5年程度続けたい」が 10.5%、「1～2年程度続けたい」が 6.9%の順となっています。

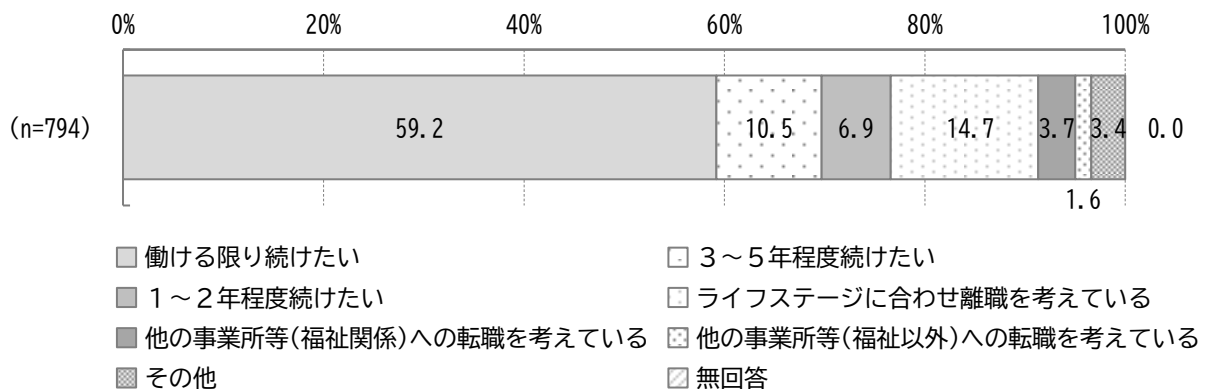
年齢別にみると、30歳以上は「働ける限り続けたい」の割合が5割を上回っている一方、29歳以下は5割を下回っています。

提供サービス別にみると、いずれも「働ける限り続けたい」が最も多く、次いで「ライフステージに合わせ離職を考えている」が多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、いずれも「働ける限り続けたい」が最も多く、次いで1年未満は「1～2年程度続けたい」、1～3年未満と20～25年未満は「3～5年程度続けたい」、それ以外は「ライフステージに合わせ離職を考えている」が多くなっています。

職層別にみると、いずれも「働ける限り続けたい」が最も多く、次いで「ライフステージに合わせ離職を考えている」が多くなっています。

仕事のやりがい別にみると、感じるとまあ感じるは「働ける限り続けたい」、どちらともいえないとあまり感じないは「ライフステージに合わせ離職を考えている」、感じないは「他の事業所等(福祉関係)への転職を考えている」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・障害分野の通算勤務年数別・職層別・仕事のやりがい別】

単位：％

区分	回答者数(件)	働ける限り続けたい	3～5年程度続けたい	1～2年程度続けたい	ライフステージに合わせ離職を考えている	他の事業所等(福祉関係)への転職を考えている	他の事業所等(福祉以外)への転職を考えている	その他	無回答	
全体	794	59.2	10.5	6.9	14.7	3.7	1.6	3.4	-	
年齢別	24歳以下	26	34.6	30.8	7.7	11.5	3.8	3.8	7.7	-
	25～29歳	70	48.6	2.9	17.1	18.6	7.1	1.4	4.3	-
	30～34歳	71	54.9	14.1	9.9	11.3	4.2	2.8	2.8	-
	35～39歳	61	57.4	11.5	3.3	16.4	6.6	1.6	3.3	-
	40～44歳	82	64.6	7.3	3.7	18.3	1.2	2.4	2.4	-
	45～49歳	121	50.4	10.7	7.4	17.4	5.8	2.5	5.8	-
	50～54歳	122	68.9	9.0	3.3	12.3	1.6	0.8	4.1	-
	55～59歳	80	68.8	10.0	2.5	12.5	3.8	2.5	-	-
	60～64歳	80	53.8	11.3	7.5	20.0	3.8	-	3.8	-
	65歳以上	81	70.4	11.1	9.9	7.4	-	-	1.2	-
提供サービス別	訪問系	167	67.1	6.6	4.8	17.4	2.4	0.6	1.2	-
	居住系	175	67.4	9.1	3.4	10.9	2.9	2.9	3.4	-
	日中活動系	257	54.1	11.7	4.7	16.7	5.1	3.1	4.7	-
	障害児系	236	56.4	11.4	11.4	14.0	3.8	0.4	2.5	-
	相談支援系	77	57.1	5.2	5.2	19.5	2.6	2.6	7.8	-
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	53.0	13.6	21.2	6.1	3.0	3.0	-	-
	1～3年未満	111	55.9	14.4	7.2	13.5	2.7	0.9	5.4	-
	3～5年未満	107	56.1	13.1	5.6	17.8	4.7	1.9	0.9	-
	5～10年未満	177	62.1	9.6	9.0	11.9	4.5	0.6	2.3	-
	10～15年未満	131	61.1	6.1	3.8	18.3	4.6	3.1	3.1	-
	15～20年未満	82	59.8	8.5	4.9	17.1	3.7	2.4	3.7	-
	20～25年未満	58	72.4	10.3	1.7	10.3	-	1.7	3.4	-
	25～30年未満	34	64.7	5.9	-	17.6	2.9	-	8.8	-
	30年以上	28	35.7	14.3	3.6	28.6	3.6	-	14.3	-
	職層別	経営職層(経営者・役員等)、 管理職(施設長・事務長等)	58	75.9	5.2	-	8.6	1.7	1.7	6.9
指導・管理職層 (職員のみとめ役)		112	56.3	9.8	2.7	22.3	5.4	1.8	1.8	-
一般職員・担当職員		591	57.9	11.2	8.3	14.2	3.7	1.4	3.4	-
その他		33	63.6	9.1	9.1	9.1	-	6.1	3.0	-
仕事のやりがい別	感じる	364	74.5	7.7	4.1	9.6	1.9	0.5	1.6	-
	まあ感じる	302	56.0	13.9	8.9	14.2	3.3	0.3	3.3	-
	どちらともいえない	93	26.9	12.9	7.5	32.3	6.5	6.5	7.5	-
	あまり感じない	17	5.9	5.9	23.5	35.3	5.9	17.6	5.9	-
	感じない	10	-	-	10.0	30.0	40.0	10.0	10.0	-
	わからない	7	42.9	-	14.3	-	14.3	-	28.6	-

問 14 (問 13 の 1 ~ 3 の働き続けたいに○をつけた人)  
その主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

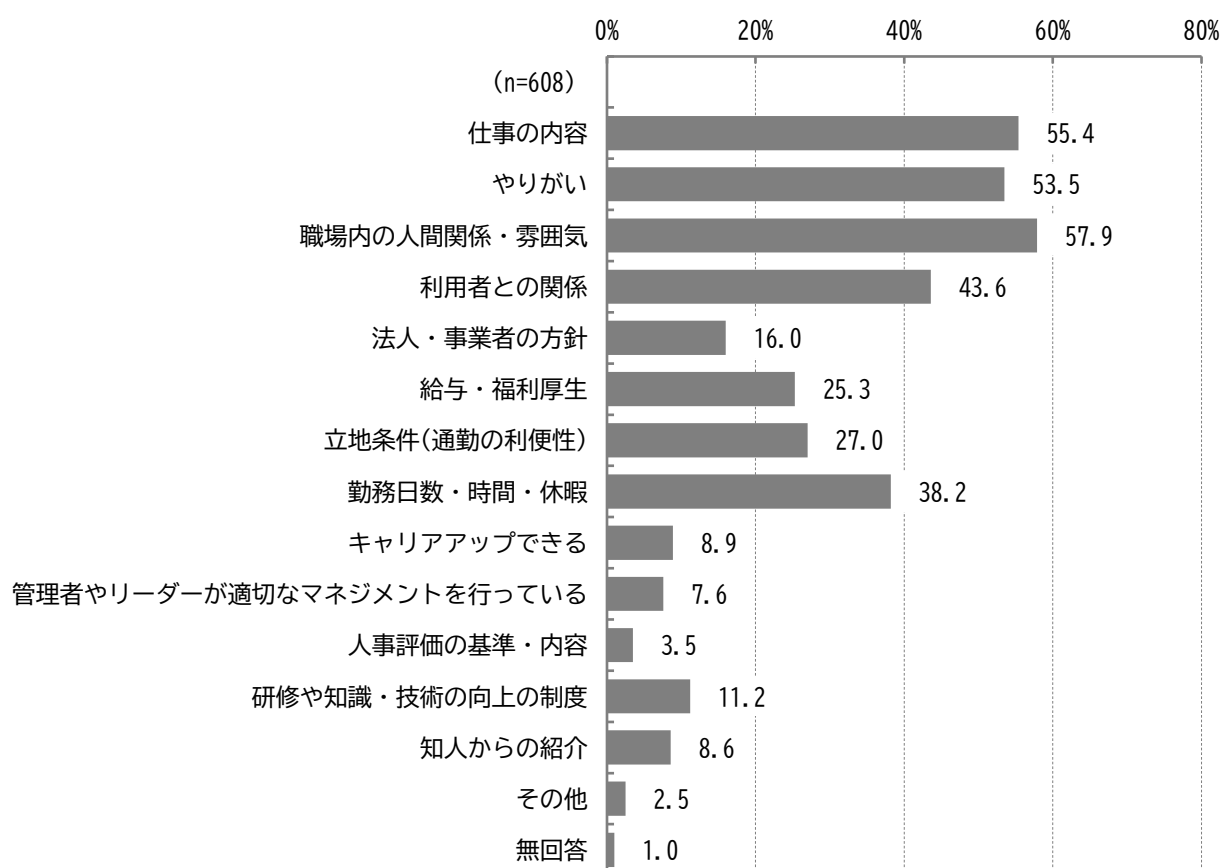
「職場内の人間関係・雰囲気」が 57.9% と最も多く、次いで「仕事の内容」が 55.4%、「やりがい」が 53.5%、「利用者との関係」が 43.6% の順となっています。

年齢別にみると、25~29 歳と 65 歳以上は「やりがい」、30~34 歳と 40~44 歳、45~49 歳は「仕事の内容」、それ以外は「職場内の人間関係・雰囲気」が最も高くなっています。

提供サービス別にみると、居住系は「職場内の人間関係・雰囲気」、日中活動系は「仕事の内容」、それ以外は「やりがい」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、1 年未満は「仕事の内容」と「やりがい」が同率、15~20 年未満は「やりがい」と「職場内の人間関係・雰囲気」が同率、30 年以上は「利用者との関係」、1~3 年未満と 10~15 年未満、20~25 年未満は「職場内の人間関係・雰囲気」、3~10 年未満と 25~30 年未満は「仕事の内容」が最も多くなっています。

職層別にみると、指導・管理職層（職員のまとめ役）は「やりがい」、その他は「仕事の内容」、それ以外は「職場内の人間関係・雰囲気」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・障害分野の通算勤務年数別・職層別】

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事の内容	やりがい	職場内の人間関係・雰囲気	利用者との関係	法人・事業者の方針	給与・福利厚生	立地条件(通勤の利便性)	勤務日数・時間・休暇	キャリアアップできる	管理者やリーダーが適切なマネジメントを行っている	人事評価の基準・内容	研修や知識・技術の向上の制度	知人からの紹介	その他	無回答	
全体	608	55.4	53.5	57.9	43.6	16.0	25.3	27.0	38.2	8.9	7.6	3.5	11.2	8.6	2.5	1.0	
年齢別	24歳以下	19	63.2	47.4	73.7	36.8	10.5	21.1	31.6	42.1	15.8	15.8	5.3	10.5	10.5	-	-
	25～29歳	48	47.9	58.3	47.9	37.5	20.8	45.8	29.2	35.4	10.4	2.1	4.2	12.5	10.4	2.1	2.1
	30～34歳	56	58.9	50.0	51.8	44.6	12.5	32.1	25.0	37.5	12.5	8.9	3.6	14.3	1.8	3.6	-
	35～39歳	44	54.5	56.8	65.9	52.3	9.1	31.8	15.9	27.3	13.6	2.3	4.5	15.9	2.3	-	-
	40～44歳	62	54.8	40.3	51.6	30.6	11.3	22.6	24.2	41.9	8.1	9.7	1.6	12.9	11.3	3.2	3.2
	45～49歳	83	56.6	55.4	56.6	39.8	25.3	25.3	27.7	43.4	10.8	10.8	6.0	10.8	8.4	2.4	1.2
	50～54歳	99	60.6	54.5	64.6	46.5	13.1	30.3	30.3	41.4	8.1	3.0	3.0	11.1	9.1	4.0	-
	55～59歳	65	50.8	52.3	55.4	49.2	15.4	26.2	35.4	52.3	7.7	10.8	1.5	10.8	7.7	-	-
	60～64歳	58	58.6	51.7	63.8	46.6	13.8	12.1	27.6	29.3	3.4	5.2	3.4	6.9	3.4	5.2	-
65歳以上	74	50.0	62.2	55.4	47.3	20.3	9.5	21.6	27.0	5.4	10.8	2.7	8.1	17.6	1.4	2.7	
提供サービス別	訪問系	131	48.1	60.3	59.5	44.3	14.5	26.7	22.9	26.7	9.2	13.7	3.1	8.4	3.1	1.5	0.8
	居住系	140	55.7	35.7	61.4	48.6	27.1	21.4	30.0	30.0	7.1	7.9	5.7	10.7	25.7	2.1	0.7
	日中活動系	181	56.4	47.0	55.2	51.9	12.2	30.9	28.2	45.3	3.9	5.5	2.8	11.0	3.3	2.8	0.6
	障害児系	187	62.0	63.6	61.0	38.0	14.4	21.4	27.3	42.8	13.9	5.3	3.2	13.9	4.3	2.1	1.1
	相談支援系	52	63.5	69.2	57.7	51.9	36.5	32.7	28.8	46.2	15.4	17.3	7.7	25.0	7.7	1.9	1.9
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	58	55.2	55.2	50.0	44.8	15.5	32.8	25.9	39.7	8.6	6.9	5.2	17.2	6.9	5.2	-
	1～3年未満	86	51.2	52.3	59.3	37.2	11.6	20.9	29.1	36.0	14.0	10.5	-	9.3	9.3	1.2	3.5
	3～5年未満	80	53.8	48.8	50.0	33.8	10.0	20.0	27.5	37.5	10.0	3.8	-	8.8	10.0	6.3	1.3
	5～10年未満	143	58.0	48.3	56.6	44.1	15.4	26.6	24.5	42.7	7.0	7.7	4.9	11.2	11.2	0.7	-
	10～15年未満	93	45.2	52.7	60.2	51.6	11.8	29.0	30.1	36.6	8.6	6.5	5.4	12.9	7.5	1.1	-
	15～20年未満	60	55.0	63.3	63.3	36.7	15.0	26.7	21.7	38.3	3.3	8.3	3.3	6.7	6.7	5.0	1.7
	20～25年未満	49	59.2	55.1	63.3	40.8	20.4	20.4	28.6	22.4	8.2	4.1	6.1	6.1	4.1	2.0	2.0
	25～30年未満	24	83.3	70.8	79.2	62.5	50.0	29.2	41.7	54.2	20.8	20.8	4.2	25.0	-	-	-
	30年以上	15	73.3	60.0	46.7	80.0	40.0	20.0	13.3	40.0	-	6.7	-	13.3	20.0	-	-
職層別	経営職層(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等)	47	53.2	53.2	57.4	48.9	34.0	17.0	19.1	21.3	2.1	6.4	2.1	6.4	6.4	8.5	2.1
	指導・管理職層(職員のまとめ役)	77	55.8	67.5	63.6	51.9	26.0	26.0	18.2	22.1	13.0	7.8	3.9	15.6	5.2	2.6	-
	一般職員・担当職員	457	54.9	51.0	57.5	42.5	12.7	26.3	29.1	42.0	9.2	7.4	3.5	11.4	9.4	2.0	1.1
	その他	27	66.7	55.6	48.1	29.6	11.1	22.2	29.6	48.1	3.7	11.1	3.7	3.7	7.4	-	-

問 15 (問 13 の 4～6 の離職・転職を考えているに○をつけた人)  
その主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

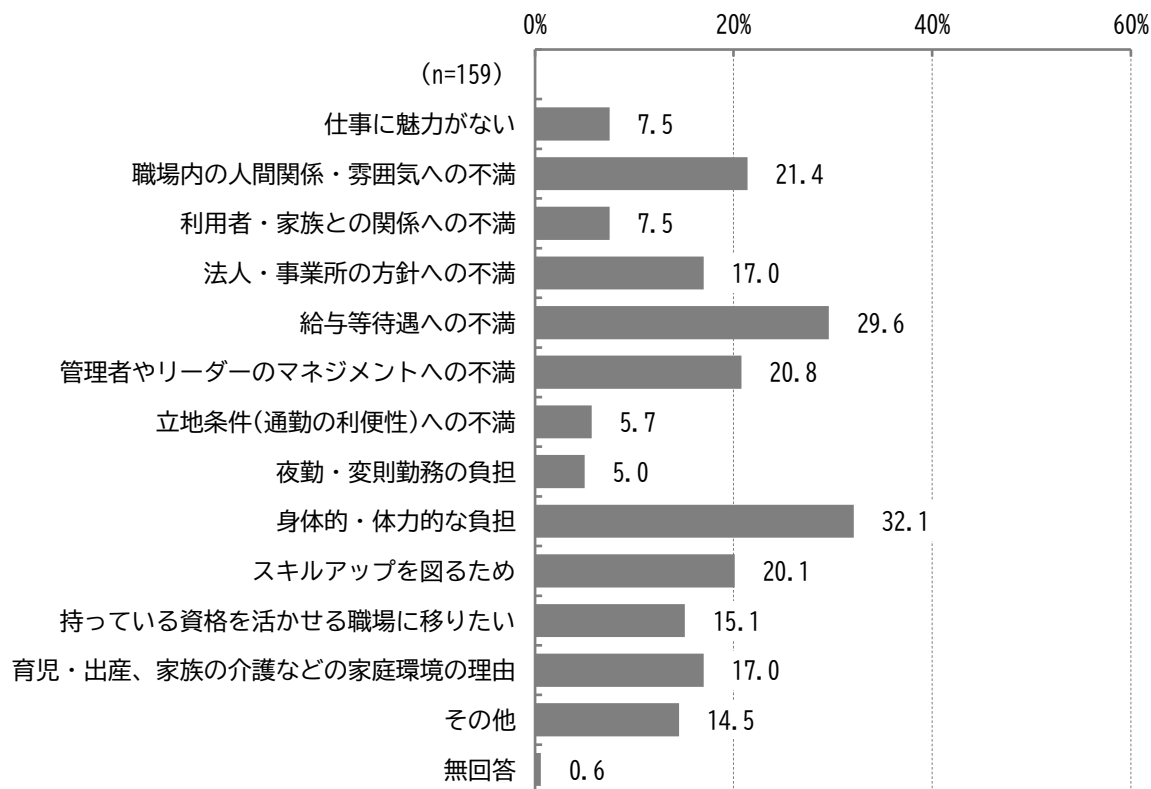
「身体的・体力的な負担」が 32.1%と最も多く、次いで「給与等待遇への不満」が 29.6%、「職場内の人間関係・雰囲気への不満」が 21.4%、「管理者やリーダーのマネジメントへの不満」が 20.8%の順となっています。

年齢別にみると、35～39 歳は「職場内の人間関係・雰囲気への不満」と「管理者やリーダーのマネジメントへの不満」、「スキルアップを図るため」、40～44 歳は「給与等待遇への不満」と「管理者やリーダーのマネジメントへの不満」、「持っている資格を活かせる職場に移りたい」、45～49 歳と 60～64 歳は「身体的・体力的な負担」、それ以外は「給与等待遇への不満」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、居住系と日中活動系は「職場内の人間関係・雰囲気への不満」、それ以外は「身体的・体力的な負担」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、1～5 年未満は「給与等待遇への不満」、5～15 年未満は「身体的・体力的な負担」、15～20 年未満は「給与等待遇への不満」と「管理者やリーダーのマネジメントへの不満」が同率で最も多くなっています。

職層別にみると、指導・管理職層(職員のまとめ役)は「管理者やリーダーのマネジメントへの不満」、一般職員・担当職員は「給与等待遇への不満」と「身体的・体力的な負担」が同率で最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・障害分野の通算勤務年数別・職層別】

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事に魅力がない	職場内の人間関係・雰囲気への不満	利用者・家族との関係への不満	法人・事業所の方針への不満	給与・待遇への不満	管理者やリーダーのマネジメントへの不満	立地条件(通勤の利便性)への不満	夜勤・変則勤務の負担	身体的・体力的な負担	スキルアップを図るため	持っている資格を活かせる職場に移りたい	育児・出産、家族の介護などの家庭環境の理由	その他	無回答
全体	159	7.5	21.4	7.5	17.0	29.6	20.8	5.7	5.0	32.1	20.1	15.1	17.0	14.5	0.6
年齢別	24歳以下	5	-	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0	60.0	-	-	20.0	-
	25～29歳	19	-	21.1	10.5	10.5	42.1	26.3	5.3	-	31.6	26.3	21.1	26.3	5.3
	30～34歳	13	-	23.1	7.7	38.5	46.2	15.4	-	-	15.4	30.8	30.8	23.1	7.7
	35～39歳	15	20.0	26.7	20.0	20.0	6.7	26.7	13.3	6.7	13.3	26.7	13.3	13.3	13.3
	40～44歳	18	5.6	22.2	11.1	22.2	33.3	33.3	5.6	16.7	27.8	27.8	33.3	22.2	11.1
	45～49歳	31	9.7	19.4	9.7	6.5	22.6	16.1	3.2	9.7	41.9	25.8	16.1	16.1	12.9
	50～54歳	18	5.6	22.2	-	11.1	44.4	16.7	-	-	33.3	5.6	-	11.1	22.2
	55～59歳	15	26.7	13.3	-	33.3	46.7	20.0	6.7	-	33.3	13.3	13.3	26.7	20.0
	60～64歳	19	-	26.3	-	21.1	15.8	26.3	10.5	5.3	47.4	-	5.3	-	21.1
65歳以上	6	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7	-	33.3	-	-	33.3	16.7	
提供サービス別	訪問系	34	2.9	11.8	5.9	8.8	38.2	14.7	-	14.7	44.1	5.9	2.9	5.9	26.5
	居住系	29	13.8	34.5	13.8	10.3	27.6	31.0	-	13.8	31.0	27.6	13.8	6.9	10.3
	日中活動系	64	12.5	31.3	9.4	20.3	29.7	26.6	4.7	3.1	29.7	25.0	15.6	20.3	9.4
	障害児系	43	2.3	11.6	2.3	20.9	30.2	20.9	16.3	-	32.6	25.6	25.6	23.3	14.0
	相談支援系	19	5.3	21.1	5.3	15.8	26.3	31.6	5.3	5.3	52.6	26.3	15.8	21.1	-
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	8	-	12.5	-	-	37.5	-	12.5	-	12.5	25.0	12.5	12.5	-
	1～3年未満	19	-	10.5	5.3	10.5	47.4	5.3	-	-	26.3	31.6	10.5	15.8	5.3
	3～5年未満	26	3.8	23.1	15.4	11.5	38.5	23.1	-	11.5	34.6	15.4	11.5	19.2	19.2
	5～10年未満	30	-	13.3	3.3	23.3	30.0	16.7	10.0	3.3	33.3	23.3	20.0	20.0	16.7
	10～15年未満	34	23.5	29.4	8.8	20.6	23.5	32.4	5.9	8.8	38.2	20.6	23.5	14.7	14.7
	15～20年未満	19	10.5	31.6	10.5	31.6	36.8	36.8	10.5	-	26.3	15.8	15.8	15.8	15.8
	20～25年未満	7	-	-	-	-	-	14.3	-	14.3	57.1	14.3	-	14.3	28.6
	25～30年未満	7	-	14.3	14.3	-	-	-	-	-	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3
	30年以上	9	11.1	44.4	-	22.2	11.1	22.2	11.1	-	33.3	-	-	11.1	11.1
職層別	経営職層(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等)	7	-	14.3	28.6	-	14.3	-	-	14.3	28.6	14.3	42.9	-	14.3
	指導・管理職層(職員のみ)	33	15.2	21.2	6.1	21.2	24.2	30.3	9.1	9.1	27.3	15.2	3.0	6.1	15.2
	一般職員・担当職員	114	5.3	21.9	6.1	17.5	32.5	18.4	4.4	3.5	32.5	21.9	16.7	21.9	14.9
	その他	5	20.0	20.0	20.0	-	20.0	40.0	20.0	-	60.0	20.0	20.0	-	-

問 16 現在の事業所に対して、改善してほしいことはなんですか。（〇はいくつでも）

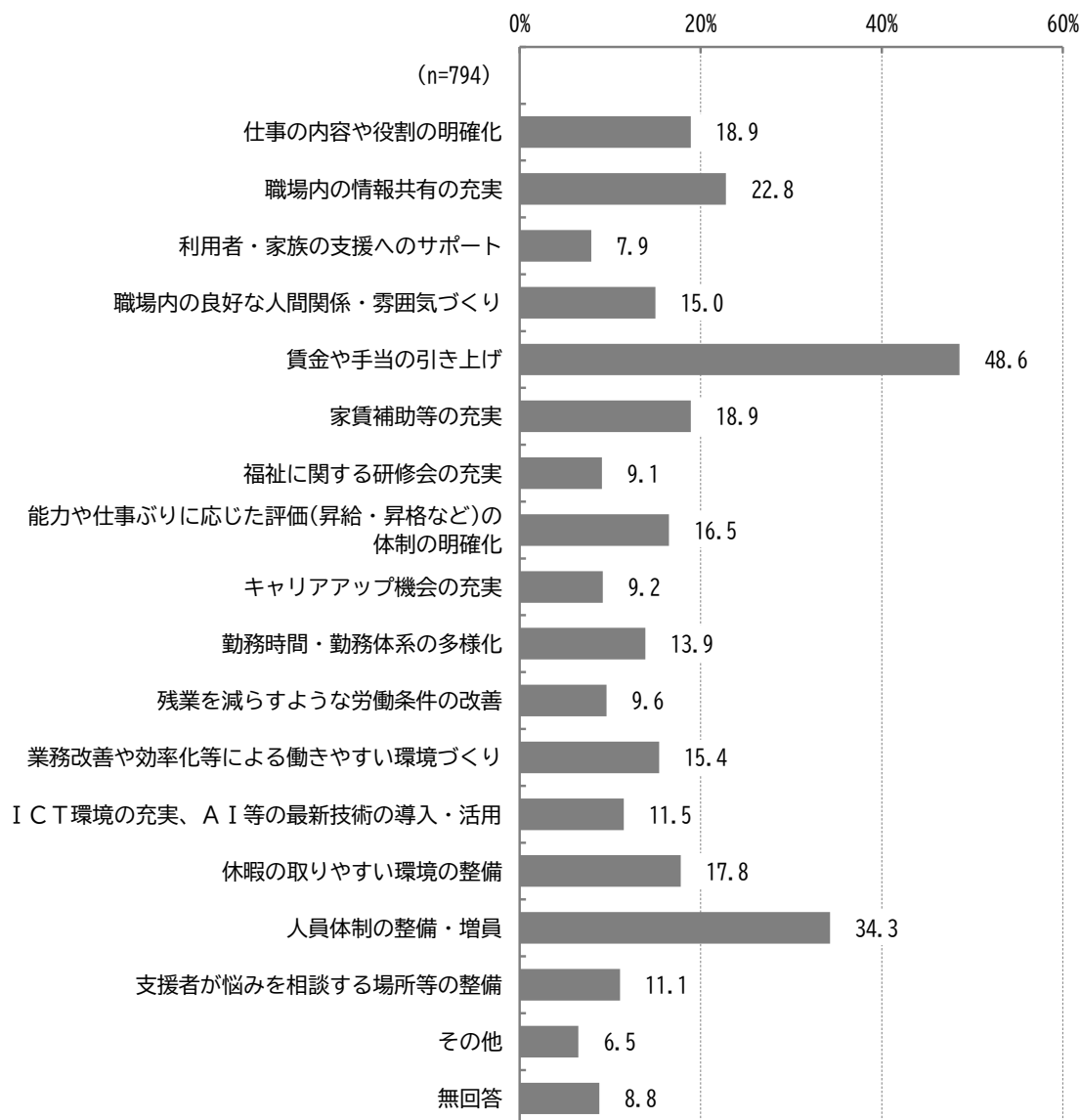
「賃金や手当の引き上げ」が48.6%と最も多く、次いで「人員体制の整備・増員」が34.3%、「職場内の情報共有の充実」が22.8%、「仕事の内容や役割の明確化」と「家賃補助等の充実」が18.9%の順となっています。

年齢別にみると、65歳以上は「賃金や手当の引き上げ」と「人員体制の整備・増員」が同率、それ以外は「賃金や手当の引き上げ」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「人員体制の整備・増員」、それ以外は「賃金や手当の引き上げ」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、30年以上は「職場内の良好な人間関係・雰囲気づくり」と「人員体制の整備・増員」が同率、それ以外は「賃金や手当の引き上げ」が最も多くなっています。

職層別にみると、経営職層（経営者・役員等）と管理職（施設長・事務長等）は「人員体制の整備・増員」、それ以外は「賃金や手当の引き上げ」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別】

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事の内容や役割の明確化	職場内の情報共有の充実	利用者・家族の支援へのサポート	職場内の良好な人間関係・雰囲気づくり	賃金や手当の引き上げ	家賃補助等の充実	福祉に関する研修会の充実	能力や仕事ぶりに応じた評価(昇給・昇格など)の体制の明確化	キャリアアップ機会の充実	
全体	794	18.9	22.8	7.9	15.0	48.6	18.9	9.1	16.5	9.2	
年齢別	24歳以下	26	7.7	23.1	7.7	7.7	46.2	30.8	3.8	11.5	7.7
	25～29歳	70	20.0	28.6	7.1	20.0	68.6	32.9	14.3	21.4	14.3
	30～34歳	71	16.9	26.8	7.0	18.3	63.4	31.0	9.9	15.5	8.5
	35～39歳	61	26.2	21.3	18.0	19.7	60.7	36.1	9.8	27.9	19.7
	40～44歳	82	32.9	23.2	12.2	15.9	45.1	26.8	13.4	18.3	11.0
	45～49歳	121	19.8	22.3	9.1	15.7	47.9	13.2	8.3	23.1	13.2
	50～54歳	122	15.6	18.9	1.6	9.8	45.9	10.7	9.0	10.7	5.7
	55～59歳	80	18.8	28.8	10.0	16.3	43.8	11.3	6.3	13.8	7.5
	60～64歳	80	15.0	18.8	7.5	15.0	42.5	11.3	6.3	16.3	5.0
65歳以上	81	11.1	19.8	3.7	11.1	29.6	7.4	7.4	6.2	1.2	
提供サービス別	訪問系	167	14.4	19.2	6.6	11.4	50.9	17.4	8.4	10.8	7.8
	居住系	175	19.4	20.6	8.0	14.9	43.4	20.6	10.9	17.7	9.7
	日中活動系	257	25.3	27.6	10.5	23.0	51.8	21.4	8.9	23.0	9.3
	障害児系	236	18.2	23.7	5.5	12.7	50.8	19.5	8.9	16.1	9.7
	相談支援系	77	24.7	24.7	6.5	9.1	45.5	20.8	11.7	23.4	13.0
区分		化勤務時間・勤務体系の多様化	残業を減らすような労働条件の改善	業務改善や効率化等による働きやすい環境づくり	ICT環境の充実、AI等の最新技術の導入・活用	休暇の取りやすい環境の整備	人員体制の整備・増員	支援者が悩みを相談する場所等の整備	その他	無回答	
全体		13.9	9.6	15.4	11.5	17.8	34.3	11.1	6.5	8.8	
年齢別	24歳以下		7.7	23.1	11.5	11.5	11.5	34.6	7.7	11.5	15.4
	25～29歳		24.3	15.7	21.4	14.3	27.1	47.1	20.0	1.4	7.1
	30～34歳		14.1	7.0	21.1	19.7	23.9	28.2	11.3	4.2	4.2
	35～39歳		19.7	16.4	19.7	16.4	19.7	44.3	21.3	4.9	1.6
	40～44歳		15.9	11.0	19.5	7.3	20.7	37.8	13.4	3.7	6.1
	45～49歳		18.2	9.9	14.9	14.0	16.5	35.5	11.6	10.7	9.1
	50～54歳		10.7	5.7	13.9	10.7	16.4	27.9	5.7	5.7	8.2
	55～59歳		10.0	10.0	13.8	7.5	12.5	31.3	11.3	10.0	8.8
	60～64歳		10.0	6.3	8.8	12.5	18.8	32.5	7.5	7.5	5.0
65歳以上		6.2	3.7	9.9	2.5	9.9	29.6	4.9	6.2	24.7	
提供サービス別	訪問系		16.2	7.2	10.2	6.0	22.8	33.5	5.4	6.6	7.8
	居住系		9.1	9.1	14.3	8.6	13.1	29.7	12.6	10.3	20.6
	日中活動系		13.6	12.5	18.3	16.3	17.5	40.1	16.7	5.1	3.1
	障害児系		16.1	9.3	16.9	11.0	19.1	33.9	9.3	3.8	6.8
	相談支援系		10.4	10.4	24.7	20.8	6.5	46.8	16.9	5.2	2.6

【障害分野の通算勤務年数別・職層別】

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事の内容や役割の明確化	職場内の情報共有の充実	利用者・家族の支援へのサポート	職場内の良好な人間関係・雰囲気づくり	賃金や手当の引き上げ	家賃補助等の充実	福祉に関する研修会の充実	能力や仕事ぶりに応じた評価(昇給・昇格など)の体制の明確化	キャリアアップ機会の充実	
全体	794	18.9	22.8	7.9	15.0	48.6	18.9	9.1	16.5	9.2	
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	10.6	15.2	3.0	9.1	48.5	28.8	12.1	4.5	10.6
	1～3年未満	111	13.5	17.1	6.3	12.6	44.1	16.2	4.5	13.5	10.8
	3～5年未満	107	15.0	19.6	4.7	13.1	51.4	25.2	11.2	15.9	10.3
	5～10年未満	177	22.6	26.0	7.3	18.1	52.5	18.6	10.7	18.1	6.8
	10～15年未満	131	29.8	29.0	13.7	16.8	58.0	22.9	7.6	23.7	8.4
	15～20年未満	82	15.9	30.5	8.5	14.6	46.3	17.1	11.0	15.9	8.5
	20～25年未満	58	15.5	19.0	10.3	12.1	43.1	8.6	5.2	15.5	8.6
	25～30年未満	34	8.8	8.8	8.8	5.9	29.4	5.9	8.8	20.6	17.6
	30年以上	28	28.6	28.6	7.1	35.7	28.6	7.1	10.7	14.3	7.1
職層別	経営職層(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等)	58	12.1	10.3	6.9	8.6	31.0	13.8	3.4	19.0	10.3
	指導・管理職層(職員のまどめ役)	112	25.9	18.8	9.8	15.2	54.5	21.4	8.9	27.7	11.6
	一般職員・担当職員	591	18.3	24.7	7.6	15.6	49.6	19.8	9.6	14.2	9.0
	その他	33	18.2	24.2	9.1	15.2	42.4	3.0	9.1	15.2	3.0
区分	化勤務時間・勤務体系の多様	残業を減らすような労働条件の改善	業務改善や効率化等による働きやすい環境づくり	ICT環境の充実、AI等の最新技術の導入・活用	備休暇の取りやすい環境の整備	人員体制の整備・増員	支援者が悩みを相談する場所等の整備	その他	無回答		
全体	13.9	9.6	15.4	11.5	17.8	34.3	11.1	6.5	8.8		
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	10.6	12.1	12.1	9.1	10.6	31.8	9.1	7.6	6.1	
	1～3年未満	9.0	7.2	15.3	8.1	16.2	34.2	9.9	3.6	11.7	
	3～5年未満	17.8	10.3	16.8	9.3	15.9	33.6	12.1	9.3	15.9	
	5～10年未満	18.1	9.6	14.7	13.6	22.6	31.6	10.7	6.2	8.5	
	10～15年未満	11.5	9.2	19.8	13.0	22.1	37.4	15.3	5.3	2.3	
	15～20年未満	14.6	11.0	14.6	11.0	24.4	37.8	8.5	8.5	8.5	
	20～25年未満	15.5	8.6	13.8	10.3	8.6	39.7	5.2	5.2	5.2	
	25～30年未満	11.8	8.8	11.8	11.8	8.8	23.5	8.8	11.8	17.6	
	30年以上	7.1	10.7	10.7	21.4	7.1	35.7	21.4	3.6	7.1	
職層別	経営職層(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等)	13.8	5.2	12.1	13.8	10.3	34.5	6.9	8.6	15.5	
	指導・管理職層(職員のまどめ役)	13.4	20.5	21.4	17.9	24.1	48.2	14.3	7.1	3.6	
	一般職員・担当職員	14.2	8.1	14.7	10.3	17.6	32.5	11.0	6.4	8.8	
	その他	9.1	6.1	12.1	6.1	12.1	18.2	9.1	3.0	15.2	

問 17 あなたは、現在の仕事にやりがいを感じていますか。もっともあてはまるものを選んでください。  
(○は1つ)

「感じる」が45.8%と最も多く、次いで「まあ感じる」が38.0%、「どちらともいえない」が11.7%、「あまり感じない」が2.1%の順となっています。

年齢別にみると、35～39歳は「まあ感じる」、それ以外は「感じる」が最も多くなっています。

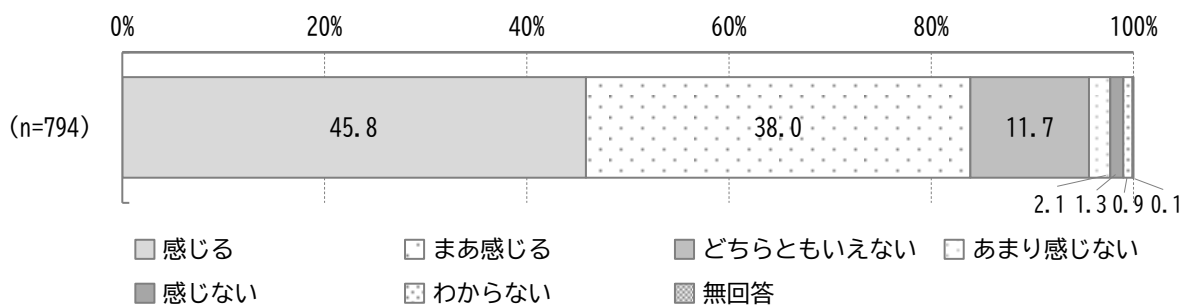
提供サービス別にみると、訪問系は「感じる」と「まあ感じる」が同率、日中活動系は「まあ感じる」、それ以外は「感じる」が最も多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、難病と知的障害、精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）、発達障害、その他（聴覚障害・平衡機能障害と内部障害を除く）は「感じる」、それ以外は「まあ感じる」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、10～20年未満は「まあ感じる」、それ以外は「感じる」が最も多くなっています。

職層別にみると、その他は「まあ感じる」、それ以外は「感じる」が最も多くなっています。

障害者福祉に関心をもったきっかけ別にみると、障害者福祉に関するイベントの参加と特に関心はないは「まあ感じる」、それ以外は「感じる」が最も多くなっています。



### 【年齢別】

単位：%

区分	回答者数(件)	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	無回答	
全体	794	45.8	38.0	11.7	2.1	1.3	0.9	0.1	
年齢別	24歳以下	26	50.0	34.6	11.5	-	-	3.8	-
	25～29歳	70	47.1	32.9	15.7	2.9	1.4	-	-
	30～34歳	71	43.7	36.6	14.1	4.2	-	1.4	-
	35～39歳	61	29.5	47.5	16.4	3.3	1.6	1.6	-
	40～44歳	82	42.7	41.5	11.0	3.7	-	1.2	-
	45～49歳	121	44.6	35.5	12.4	2.5	5.0	-	-
	50～54歳	122	47.5	40.2	10.7	0.8	0.8	-	-
	55～59歳	80	45.0	36.3	13.8	1.3	1.3	1.3	1.3
	60～64歳	80	46.3	40.0	11.3	2.5	-	-	-
	65歳以上	81	60.5	34.6	2.5	-	-	2.5	-

【提供サービス別・利用者の主な障害別・障害分野の通算勤務年数

・職層別・障害者福祉に関心をもったきっかけ別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	感じる	まあ感じる	どちらとも いえな	あまり感じ ない	感じない	わからない	無回答	
全体	794	45.8	38.0	11.7	2.1	1.3	0.9	0.1	
提供サービス別	訪問系	167	41.9	41.9	13.8	1.2	-	0.6	0.6
	居住系	175	52.0	30.9	12.6	2.3	1.1	1.1	-
	日中活動系	257	33.9	44.7	13.2	3.5	3.5	1.2	-
	障害児系	236	53.4	36.0	8.1	1.7	-	0.8	-
	相談支援系	77	44.2	40.3	9.1	3.9	1.3	1.3	-
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	40.0	41.3	10.7	2.7	4.7	-	0.7
	視覚障害	29	37.9	48.3	6.9	3.4	3.4	-	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	16.7	33.3	-	50.0	-	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	30.0	70.0	-	-	-	-	-
	肢体不自由	158	39.2	44.3	11.4	2.5	2.5	-	-
	内部障害	7	14.3	71.4	14.3	-	-	-	-
	難病	65	56.9	26.2	16.9	-	-	-	-
	知的障害	417	45.6	37.4	12.7	2.4	1.0	1.0	-
	精神障害 (発達障害・高次脳機能障害を含まない)	146	42.5	37.7	15.8	1.4	0.7	2.1	-
	発達障害	242	49.6	36.8	11.6	1.2	-	0.8	-
高次脳機能障害	40	30.0	47.5	12.5	5.0	2.5	2.5	-	
その他	54	77.8	16.7	3.7	-	-	1.9	-	
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	47.0	37.9	12.1	1.5	-	1.5	-
	1～3年未満	111	47.7	32.4	14.4	3.6	-	1.8	-
	3～5年未満	107	47.7	39.3	9.3	2.8	0.9	-	-
	5～10年未満	177	50.8	33.9	11.9	1.1	0.6	1.1	0.6
	10～15年未満	131	38.2	44.3	9.9	2.3	3.8	1.5	-
	15～20年未満	82	34.1	48.8	13.4	2.4	1.2	-	-
	20～25年未満	58	46.6	39.7	10.3	1.7	1.7	-	-
	25～30年未満	34	61.8	26.5	8.8	-	2.9	-	-
	30年以上	28	46.4	32.1	17.9	3.6	-	-	-
職層別	経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）	58	62.1	20.7	13.8	1.7	-	1.7	-
	指導・管理職層（職員のまとめ役）	112	45.5	37.5	12.5	1.8	2.7	-	-
	一般職員・担当職員	591	44.7	39.6	11.2	2.4	1.0	1.0	0.2
	その他	33	39.4	42.4	15.2	-	3.0	-	-
障害者福祉に関心をもったきっかけ別	家族や友人・知人に当事者がいた	212	58.0	28.8	9.4	1.4	1.4	0.5	0.5
	学校や地域で当事者との関わりがあった	161	47.2	37.9	9.3	2.5	1.9	0.6	0.6
	身近に働いている人がいた	136	47.8	39.7	8.1	2.9	0.7	0.7	-
	家族や友人・知人からの紹介	126	46.8	35.7	13.5	2.4	-	0.8	0.8
	ハローワークでの紹介や求人情報サイト等	86	48.8	36.0	11.6	1.2	-	2.3	-
	職場見学や実習等	121	47.1	43.0	9.1	0.8	-	-	-
	障害者福祉に関するボランティア等に携った	128	45.3	39.1	7.8	3.9	3.1	0.8	-
	障害者福祉に関するイベントの参加	34	38.2	55.9	2.9	-	2.9	-	-
	障害者福祉に関するメディア等を通じて	44	47.7	40.9	9.1	2.3	-	-	-
	特に関心はない	40	15.0	37.5	35.0	5.0	7.5	-	-
その他	110	47.3	40.9	7.3	0.9	0.9	2.7	-	

問 18 (問 17 で 1・2 に ○ を つ け た 人)

やりがいを感じる主な理由はなんですか。(○は2つまで)

「人の役に立っている」が 48.5% と最も多く、次いで「利用者として過ごす楽しさ」が 47.6%、「自分の資格や持ち味が活かしている」が 35.0%、「職員としての自分の成長」が 20.6% の順となっています。

年齢別にみると、40～44 歳と 45～49 歳は「人の役に立っている」と「利用者として過ごす楽しさ」、24 歳以下と 55～59 歳、60～64 歳は「人の役に立っている」、それ以外は「利用者として過ごす楽しさ」が最も多くなっています。

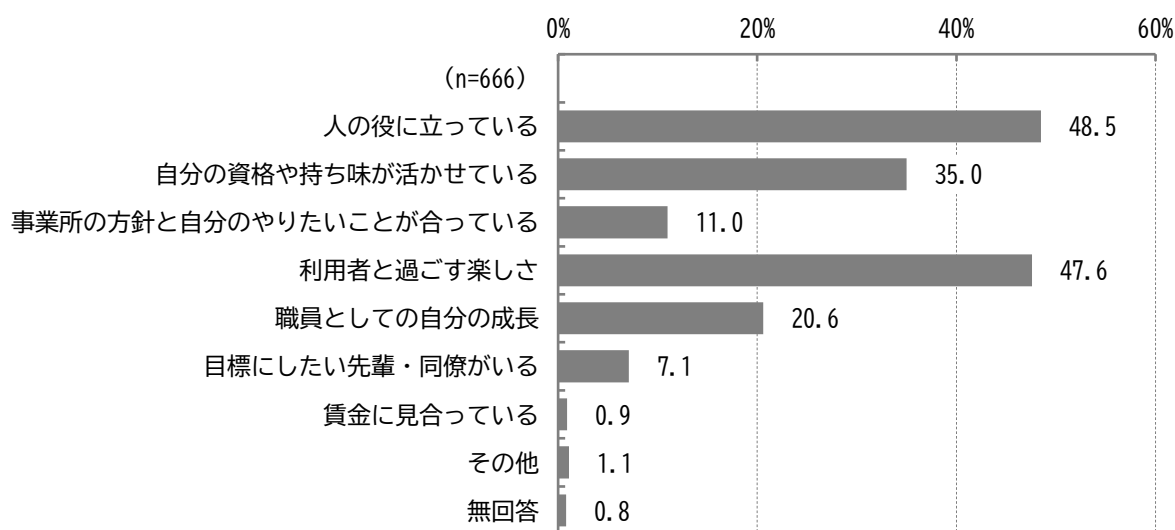
提供サービス別にみると、訪問系と居住系は「人の役に立っている」、日中活動系と障害児系は「利用者として過ごす楽しさ」、相談支援系は「自分の資格や持ち味が活かしている」が最も多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害は「人の役に立っている」と「利用者として過ごす楽しさ」が同率、視覚障害と難病、精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）、その他は「人の役に立っている」、それ以外（聴覚障害・平衡機能障害と内部障害を除く）は「利用者として過ごす楽しさ」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、1 年未満と 10～20 年未満は「利用者として過ごす楽しさ」、25～30 年以上は「自分の資格や持ち味が活かしている」、それ以外は「人の役に立っている」が最も多くなっています。

職層別にみると、一般職員・担当職員は「利用者として過ごす楽しさ」、それ以外は「人の役に立っている」が最も多くなっています。

障害者福祉に関心をもったきっかけ別にみると、家族や友人・知人に当事者がいたと身近に働いている人がいた、家族や友人・知人からの紹介、特に関心はないは「人の役に立っている」、それ以外は「利用者として過ごす楽しさ」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・利用者の主な障害別】

単位：%

区分		回答者数(件)	人の役に立っている	自分の資格や持ち味が活かされている	事業所の方針と自分のやりたいことが合っている	利用者として過ごす楽しさ	職員としての自分の成長	目標にしたい先輩・同僚がいる	賃金に見合っている	その他	無回答
全体		666	48.5	35.0	11.0	47.6	20.6	7.1	0.9	1.1	0.8
年齢別	24歳以下	22	54.5	13.6	9.1	31.8	31.8	27.3	-	4.5	4.5
	25～29歳	56	51.8	21.4	10.7	58.9	32.1	12.5	1.8	-	-
	30～34歳	57	43.9	29.8	8.8	52.6	29.8	10.5	-	1.8	-
	35～39歳	47	42.6	29.8	8.5	55.3	31.9	8.5	-	2.1	-
	40～44歳	69	50.7	36.2	13.0	50.7	20.3	1.4	1.4	-	-
	45～49歳	97	45.4	38.1	14.4	45.4	14.4	6.2	1.0	2.1	1.0
	50～54歳	107	43.0	35.5	8.4	46.7	17.8	5.6	1.9	0.9	0.9
	55～59歳	65	58.5	30.8	12.3	41.5	20.0	7.7	-	-	1.5
	60～64歳	69	50.7	49.3	14.5	36.2	13.0	1.4	1.4	-	-
	65歳以上	77	50.6	42.9	7.8	51.9	14.3	6.5	-	1.3	1.3
提供サービス別	訪問系	140	67.9	35.0	8.6	36.4	16.4	6.4	-	-	0.7
	居住系	145	54.5	24.8	11.0	50.3	17.9	9.7	2.1	0.7	0.7
	日中活動系	202	44.1	24.8	8.9	57.4	22.8	7.4	1.5	0.5	1.0
	障害児系	211	34.6	48.8	14.2	51.2	19.4	5.7	0.5	1.9	-
	相談支援系	65	44.6	47.7	9.2	32.3	20.0	7.7	4.6	4.6	3.1
利用者の主な障害別	重度重複障害	122	46.7	38.5	8.2	54.1	13.1	7.4	0.8	-	0.8
	視覚障害	25	76.0	24.0	16.0	40.0	8.0	4.0	-	-	-
	聴覚障害・平衡機能障害	3	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	50.0	40.0	-	50.0	30.0	10.0	-	-	10.0
	肢体不自由	132	50.0	34.8	7.6	53.0	15.9	7.6	0.8	-	0.8
	内部障害	6	66.7	66.7	16.7	33.3	-	-	-	-	-
	難病	54	74.1	38.9	5.6	37.0	11.1	13.0	-	-	-
	知的障害	346	43.4	30.3	12.1	52.3	21.7	6.6	0.9	1.7	1.2
	精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）	117	47.9	35.0	12.0	35.9	28.2	5.1	2.6	0.9	1.7
	発達障害	209	41.1	43.5	12.0	46.4	25.4	4.3	1.0	1.9	-
高次脳機能障害	31	54.8	29.0	3.2	64.5	16.1	6.5	-	-	3.2	
その他	51	68.6	25.5	9.8	37.3	23.5	19.6	-	-	-	

【障害分野の通算勤務年数別・職層別・障害者福祉に関心をもったきっかけ別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	人の役に立っている	自分の資格や持ち味が活かされている	事業所の方針と自分のやりたいことが合っている	利用者として過ごす楽しさ	職員としての自分の成長	目標にしたい先輩・同僚がいる	賃金に見合っている	その他	無回答
全体		666	48.5	35.0	11.0	47.6	20.6	7.1	0.9	1.1	0.8
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	56	53.6	28.6	5.4	55.4	17.9	8.9	1.8	3.6	-
	1～3年未満	89	49.4	27.0	9.0	43.8	29.2	9.0	-	-	1.1
	3～5年未満	93	55.9	20.4	12.9	45.2	25.8	11.8	2.2	1.1	-
	5～10年未満	150	51.3	37.3	9.3	46.7	23.3	6.7	0.7	0.7	-
	10～15年未満	108	47.2	35.2	12.0	49.1	17.6	6.5	1.9	1.9	0.9
	15～20年未満	68	42.6	44.1	10.3	51.5	13.2	4.4	-	-	1.5
	20～25年未満	50	50.0	42.0	6.0	46.0	12.0	-	-	2.0	4.0
	25～30年未満	30	36.7	53.3	26.7	40.0	20.0	3.3	-	-	-
	30年以上	22	18.2	59.1	22.7	54.5	9.1	9.1	-	-	-
職層別	経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）	48	47.9	33.3	16.7	35.4	12.5	-	2.1	4.2	2.1
	指導・管理職層（職員のまとめ役）	93	49.5	35.5	14.0	45.2	20.4	3.2	-	1.1	-
	一般職員・担当職員	498	47.8	35.3	9.8	48.8	21.7	8.8	1.0	0.8	0.8
	その他	27	59.3	29.6	11.1	55.6	14.8	-	-	-	-
障害者福祉に関心をもったきっかけ別	家族や友人・知人に当事者がいた	184	53.3	30.4	11.4	52.2	19.0	9.2	0.5	0.5	1.1
	学校や地域で当事者との関わりがあった	137	44.5	38.7	12.4	54.0	21.2	8.8	0.7	0.7	-
	身近に働いている人がいた	119	50.4	38.7	7.6	40.3	26.9	9.2	1.7	0.8	1.7
	家族や友人・知人からの紹介	104	50.0	34.6	15.4	39.4	27.9	8.7	1.0	1.0	1.0
	ハローワークでの紹介や求人情報サイト等	73	54.8	31.5	5.5	60.3	15.1	4.1	1.4	-	1.4
	職場見学や実習等	109	38.5	39.4	12.8	53.2	25.7	11.0	0.9	0.9	-
	障害者福祉に関するボランティア等に携った	108	41.7	37.0	12.0	58.3	17.6	4.6	2.8	1.9	-
	障害者福祉に関するイベントの参加	32	40.6	34.4	9.4	59.4	25.0	6.3	-	-	-
	障害者福祉に関するメディア等を通じて	39	30.8	43.6	7.7	51.3	30.8	12.8	-	-	-
	特に関心はない	21	52.4	28.6	9.5	33.3	14.3	14.3	-	-	-
その他	97	36.1	37.1	13.4	49.5	22.7	6.2	-	4.1	1.0	

## (4) 人材確保・育成の取組について

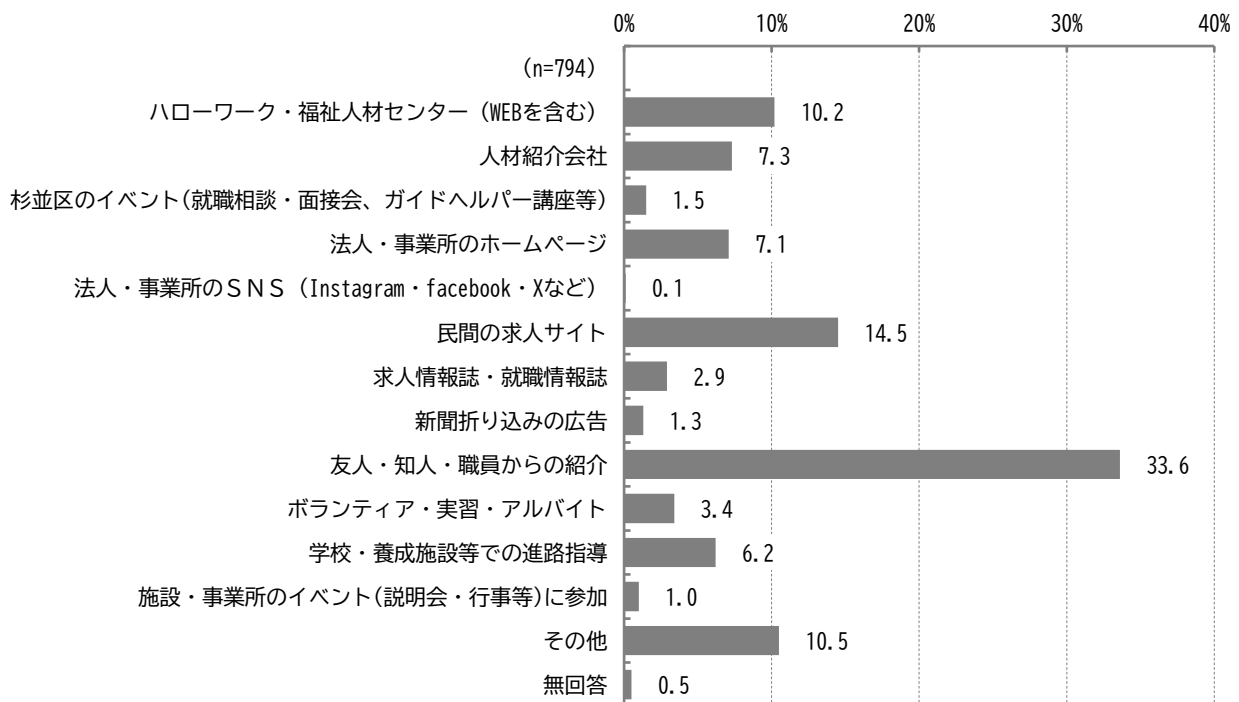
問 19 あなたが現在の法人・事業所に就職したきっかけはなんですか。(〇は1つ)

「友人・知人・職員からの紹介」が33.6%と最も多く、次いで「民間の求人サイト」が14.5%、「ハローワーク・福祉人材センター（WEBを含む）」が10.2%、「人材紹介会社」7.3%の順となっています。

年齢別にみると、30～34歳は「民間の求人サイト」、35～39歳は「民間の求人サイト」と「学校・養成施設等での進路指導」が同率、それ以外は「友人・知人・職員からの紹介」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、いずれも「友人・知人・職員からの紹介」が最も多く、次いで訪問系は「人材紹介会社」、日中活動系と相談支援系は「ハローワーク・福祉人材センター（WEBを含む）」、それ以外は「民間の求人サイト」となっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、いずれも「友人・知人・職員からの紹介」が最も多く、次いで15年未満は「民間の求人サイト」、15～20年未満と25～30年未満は「ハローワーク・福祉人材センター（WEBを含む）」、20～25年未満は「その他」、30年以上は「学校・養成施設等での進路指導」と「その他」が同率となっています。



【年齢別・提供サービス別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：％

区分	回答者数(件)	ハローワーク・福祉人材センター(WBを含む)	人材紹介会社	杉並区のイベント(就職相談・面接会、ガイドヘルパー講座等)	法人・事業所のホームページ	法人・事業所のSNS (Instagram・facebook・x等)	民間の求人サイト	求人情報誌・就職情報誌	新聞折り込みの広告	友人・知人・職員からの紹介	ボランティア・実習・アルバイト	学校・養成施設等での進路指導	施設・事業所のイベント(説明会・行事等)に参加	その他	無回答	
全体	794	10.2	7.3	1.5	7.1	0.1	14.5	2.9	1.3	33.6	3.4	6.2	1.0	10.5	0.5	
年齢別	24歳以下	26	-	-	-	7.7	-	19.2	-	-	38.5	-	23.1	-	7.7	3.8
	25～29歳	70	5.7	14.3	1.4	10.0	-	12.9	-	-	21.4	4.3	8.6	5.7	12.9	2.9
	30～34歳	71	5.6	9.9	2.8	12.7	1.4	29.6	1.4	-	16.9	1.4	2.8	2.8	12.7	-
	35～39歳	61	14.8	8.2	3.3	6.6	-	18.0	1.6	-	16.4	4.9	18.0	-	8.2	-
	40～44歳	82	8.5	11.0	-	11.0	-	14.6	4.9	-	34.1	3.7	2.4	-	9.8	-
	45～49歳	121	13.2	7.4	0.8	5.8	-	16.5	2.5	-	36.4	2.5	5.0	-	9.9	-
	50～54歳	122	17.2	3.3	1.6	7.4	-	9.8	4.1	2.5	32.0	6.6	6.6	-	9.0	-
	55～59歳	80	6.3	10.0	-	6.3	-	12.5	3.8	1.3	35.0	3.8	5.0	2.5	13.8	-
	60～64歳	80	10.0	6.3	2.5	5.0	-	11.3	3.8	6.3	37.5	2.5	3.8	-	11.3	-
65歳以上	81	8.6	1.2	2.5	-	-	7.4	3.7	1.2	63.0	1.2	1.2	-	8.6	1.2	
提供サービス別	訪問系	167	4.8	13.8	3.0	3.0	0.6	12.0	2.4	1.8	41.3	1.2	4.8	1.8	9.0	0.6
	居住系	175	10.9	5.7	1.1	4.0	-	16.0	4.0	0.6	47.4	1.1	0.6	0.6	8.0	-
	日中活動系	257	16.0	5.4	2.3	8.6	-	15.2	4.7	1.6	22.2	4.3	8.6	1.2	8.9	1.2
	障害児系	236	6.8	7.6	0.4	11.4	-	16.1	0.8	0.8	32.6	4.2	5.5	0.8	12.7	-
	相談支援系	77	11.7	6.5	2.6	3.9	-	11.7	-	-	40.3	5.2	7.8	-	10.4	-
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	9.1	10.6	3.0	6.1	-	22.7	3.0	1.5	27.3	3.0	3.0	-	10.6	-
	1～3年未満	111	12.6	6.3	0.9	5.4	-	17.1	6.3	-	27.9	2.7	7.2	3.6	8.1	1.8
	3～5年未満	107	6.5	10.3	1.9	7.5	-	17.8	1.9	-	29.0	3.7	7.5	-	13.1	0.9
	5～10年未満	177	11.3	7.3	2.3	9.0	0.6	14.7	2.8	1.7	32.8	2.8	4.0	1.7	9.0	-
	10～15年未満	131	9.2	6.9	0.8	9.2	-	18.3	3.1	2.3	27.5	4.6	5.3	0.8	11.5	0.8
	15～20年未満	82	14.6	4.9	1.2	4.9	-	7.3	1.2	1.2	47.6	3.7	2.4	-	11.0	-
	20～25年未満	58	6.9	10.3	-	8.6	-	6.9	1.7	3.4	37.9	3.4	8.6	-	12.1	-
	25～30年未満	34	17.6	2.9	-	2.9	-	2.9	-	-	52.9	2.9	14.7	-	2.9	-
30年以上	28	-	-	3.6	-	-	3.6	3.6	-	50.0	3.6	17.9	-	17.9	-	

問 20 福祉に関する資格・研修等について

① あなたが現在のお持ちの資格、修了した研修はどれですか。(〇はいくつでも)

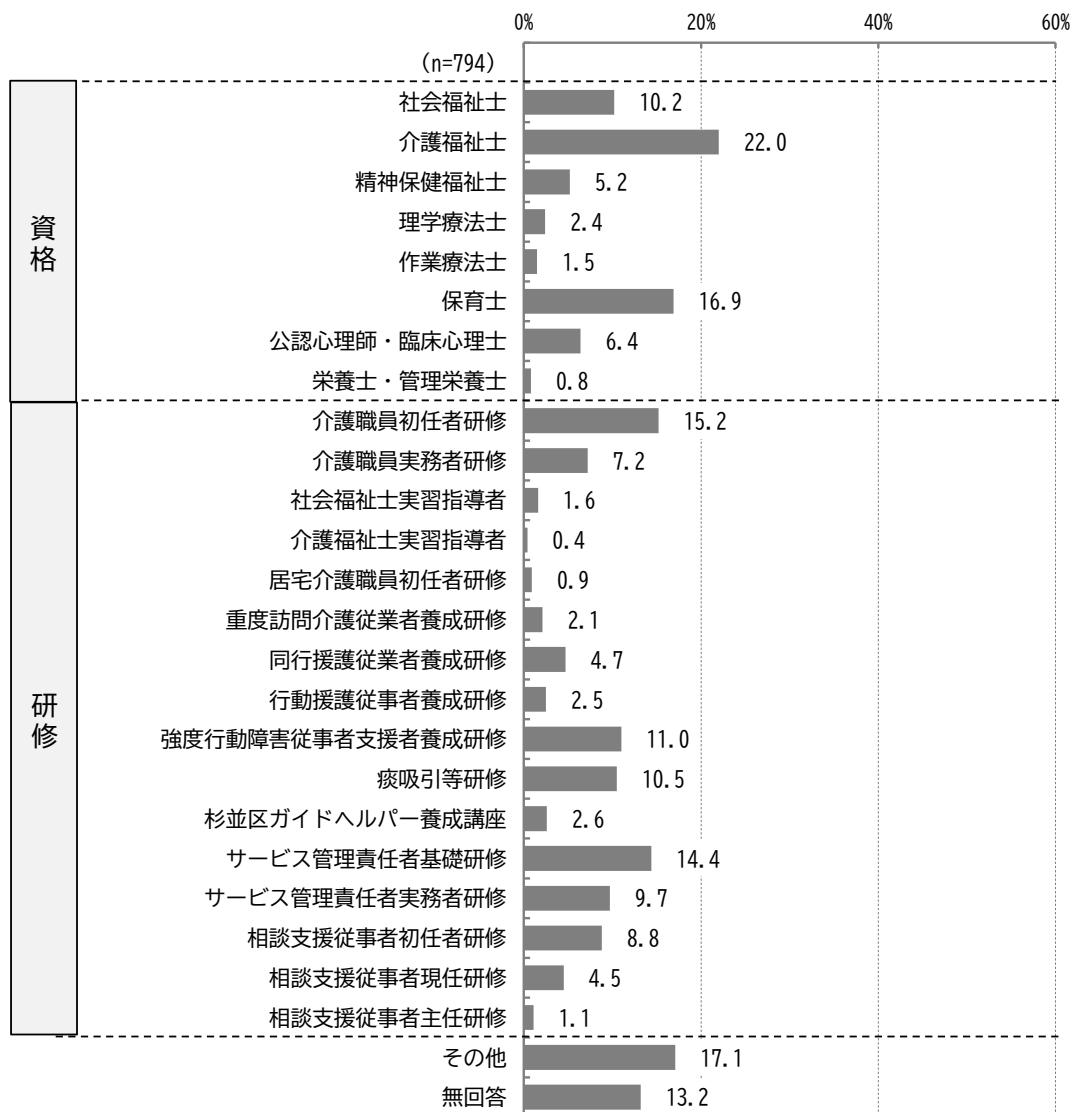
保有している資格は、「介護福祉士」が22.0%と最も多く、次いで「保育士」が16.9%、「社会福祉士」が10.2%の順となっています。

修了した研修は、「介護職員初任者研修」が15.2%、「サービス管理責任者基礎研修」が14.4%、「強度行動障害従事者支援者養成研修」が11.0%の順となっています。

年齢別にみると、24歳以下と60～64歳は「その他」、25～29歳と30～34歳は「保育士」、35～39歳は「サービス管理責任者基礎研修」、それ以外は「介護福祉士」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、訪問系と居住系は「介護福祉士」、日中活動系は「社会福祉士」、障害児系は「保育士」、相談支援系は「相談支援従事者初任者研修」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、1年未満は「その他」、1～3年未満と5～10年未満は「介護職員初任者研修」、3～5年未満は「保育士」、25～30年未満は「サービス管理責任者実務者研修」、30年以上は「サービス管理責任者基礎研修」、それ以外は「介護福祉士」が最も多くなっています。



【年齢別】

単位：％

区分	回答者数(件)	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	理学療法士	作業療法士	保育士	公認心理師・臨床心理士	栄養士・管理栄養士
全体	794	10.2	22.0	5.2	2.4	1.5	16.9	6.4	0.8
年齢別	24歳以下	26	19.2	7.7	3.8	3.8	-	19.2	-
	25～29歳	70	10.0	8.6	1.4	2.9	-	25.7	2.9
	30～34歳	71	12.7	9.9	2.8	4.2	5.6	21.1	11.3
	35～39歳	61	11.5	13.1	13.1	4.9	-	23.0	13.1
	40～44歳	82	4.9	26.8	2.4	2.4	1.2	14.6	8.5
	45～49歳	121	17.4	26.4	9.1	4.1	1.7	19.0	9.9
	50～54歳	122	10.7	27.0	7.4	1.6	-	15.6	7.4
	55～59歳	80	7.5	28.8	3.8	-	2.5	13.8	2.5
	60～64歳	80	7.5	26.3	5.0	1.3	3.8	12.5	2.5
65歳以上	81	3.7	25.9	-	-	-	8.6	1.2	
区分	介護職員初任者研修	介護職員実務者研修	社会福祉士実習指導者	介護福祉士実習指導者	居宅介護職員初任者研修	重度訪問介護従業者養成研修	同行援護従業者養成研修	行動援護従事者養成研修	強度行動障害従事者支援者養成研修
全体	15.2	7.2	1.6	0.4	0.9	2.1	4.7	2.5	11.0
年齢別	24歳以下	15.4	7.7	-	-	-	3.8	-	-
	25～29歳	17.1	7.1	-	-	-	1.4	-	-
	30～34歳	15.5	7.0	-	-	-	2.8	5.6	1.4
	35～39歳	14.8	4.9	3.3	-	-	1.6	1.6	3.3
	40～44歳	12.2	8.5	1.2	1.2	3.7	6.1	6.1	3.7
	45～49歳	9.9	4.1	5.0	1.7	-	-	3.3	2.5
	50～54歳	12.3	8.2	2.5	-	0.8	0.8	4.9	-
	55～59歳	22.5	8.8	-	-	-	3.8	8.8	5.0
	60～64歳	16.3	6.3	1.3	-	-	-	5.0	6.3
65歳以上	21.0	9.9	-	-	3.7	3.7	7.4	2.5	
区分	喫吸引等研修	杉並区ガイドヘルパー養成講座	サービス管理責任者基礎研修	サービス管理責任者実務者研修	相談支援従事者初任者研修	相談支援従事者現任研修	相談支援従事者主任研修	その他	無回答
全体	10.5	2.6	14.4	9.7	8.8	4.5	1.1	17.1	13.2
年齢別	24歳以下	11.5	-	-	-	-	-	23.1	11.5
	25～29歳	8.6	1.4	5.7	4.3	5.7	-	-	15.7
	30～34歳	2.8	1.4	18.3	2.8	8.5	-	-	18.3
	35～39歳	3.3	3.3	27.9	13.1	14.8	4.9	-	9.8
	40～44歳	12.2	3.7	13.4	12.2	4.9	2.4	1.2	11.0
	45～49歳	14.0	0.8	19.8	17.4	11.6	7.4	2.5	10.7
	50～54歳	13.9	2.5	20.5	14.8	12.3	6.6	2.5	17.2
	55～59歳	13.8	2.5	8.8	6.3	6.3	5.0	-	20.0
	60～64歳	3.8	2.5	8.8	5.0	10.0	5.0	1.3	27.5
65歳以上	14.8	7.4	7.4	7.4	6.2	7.4	1.2	23.5	

【提供サービス別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	理学療法士	作業療法士	保育士	公認心理師・ 床心理士	栄養士・ 管理栄養士	
全体	794	10.2	22.0	5.2	2.4	1.5	16.9	6.4	0.8	
提供サービス別										
訪問系	167	4.2	47.9	3.6	4.8	1.8	3.6	1.8	0.6	
居住系	175	9.7	26.9	5.7	1.7	0.6	6.3	1.1	0.6	
日中活動系	257	19.5	17.5	9.3	2.3	1.6	16.3	1.2	1.6	
障害児系	236	4.7	7.2	1.3	1.7	2.1	30.9	16.9	0.4	
相談支援系	77	22.1	24.7	14.3	1.3	1.3	16.9	11.7	1.3	
障害分野の通算勤務年数別										
1年未満	66	6.1	9.1	3.0	1.5	1.5	19.7	-	-	
1～3年未満	111	4.5	9.0	1.8	2.7	-	15.3	2.7	-	
3～5年未満	107	5.6	13.1	-	1.9	-	19.6	1.9	-	
5～10年未満	177	7.3	16.9	2.8	3.4	1.1	16.9	7.3	1.1	
10～15年未満	131	16.8	31.3	8.4	3.1	3.1	13.7	13.7	1.5	
15～20年未満	82	8.5	34.1	11.0	3.7	2.4	18.3	3.7	-	
20～25年未満	58	10.3	46.6	3.4	-	-	13.8	12.1	1.7	
25～30年未満	34	32.4	29.4	26.5	-	-	11.8	11.8	2.9	
30年以上	28	25.0	32.1	3.6	-	10.7	28.6	3.6	-	
区分		介護職員 初任者 研修	介護職員 実務者 研修	社会福祉士 実習 指導者	介護福祉士 実習 指導者	居宅介護職員 初任者 研修	重度訪問介護 従業者 養成研修	同行援護従 業者 養成研修	行動援護従 事者 養成研修	強度行動障害 従事者 支援者養成 研修
全体	15.2	7.2	1.6	0.4	0.9	2.1	4.7	2.5	11.0	
提供サービス別										
訪問系	21.6	15.0	1.2	-	1.2	4.2	14.4	4.2	3.0	
居住系	22.9	10.3	2.3	1.1	2.3	1.7	2.9	3.4	17.1	
日中活動系	12.8	4.3	3.5	0.4	-	0.8	2.7	3.1	10.5	
障害児系	9.7	3.0	-	-	-	1.3	1.3	0.4	11.0	
相談支援系	13.0	7.8	2.6	-	3.9	5.2	7.8	5.2	16.9	
障害分野の通算勤務年数別										
1年未満	10.6	4.5	-	-	-	3.0	1.5	-	4.5	
1～3年未満	17.1	4.5	-	-	0.9	0.9	4.5	1.8	12.6	
3～5年未満	17.8	7.5	0.9	-	0.9	1.9	3.7	3.7	13.1	
5～10年未満	19.8	9.6	-	-	-	1.1	6.8	2.8	6.8	
10～15年未満	14.5	8.4	3.1	-	-	2.3	4.6	2.3	13.0	
15～20年未満	13.4	8.5	1.2	-	3.7	2.4	3.7	3.7	9.8	
20～25年未満	12.1	6.9	3.4	5.2	1.7	6.9	6.9	3.4	12.1	
25～30年未満	2.9	2.9	11.8	-	2.9	2.9	5.9	2.9	26.5	
30年以上	10.7	3.6	3.6	-	-	-	-	-	10.7	
区分		療吸引等 研修	杉並区 ガイドハ ルパー 養成講座	サービス 基礎研 修	サービス 管理責 任者 実務者 研修	相談支援 従事者 初任者 研修	相談支援 従事者 現任研 修	相談支援 従事者 主任研 修	その他	無回答
全体	10.5	2.6	14.4	9.7	8.8	4.5	1.1	17.1	13.2	
提供サービス別										
訪問系	18.6	5.4	1.8	2.4	3.6	3.0	-	11.4	6.6	
居住系	21.1	2.9	21.1	13.1	9.1	5.7	1.1	16.0	12.0	
日中活動系	5.4	1.2	18.3	12.8	7.8	1.6	0.4	13.6	20.6	
障害児系	1.7	2.5	14.8	8.9	7.6	3.0	-	27.1	11.4	
相談支援系	9.1	6.5	19.5	19.5	36.4	28.6	10.4	15.6	6.5	
障害分野の通算勤務年数別										
1年未満	7.6	-	1.5	-	1.5	-	1.5	25.8	21.2	
1～3年未満	9.0	2.7	1.8	1.8	4.5	0.9	-	14.4	22.5	
3～5年未満	6.5	3.7	5.6	2.8	2.8	1.9	0.9	18.7	22.4	
5～10年未満	11.9	1.1	13.6	6.8	6.2	-	0.6	16.4	13.6	
10～15年未満	9.2	5.3	21.4	14.5	13.0	6.9	2.3	11.5	5.3	
15～20年未満	6.1	2.4	18.3	12.2	9.8	8.5	-	15.9	8.5	
20～25年未満	22.4	3.4	25.9	22.4	15.5	12.1	-	17.2	5.2	
25～30年未満	11.8	2.9	35.3	38.2	32.4	23.5	8.8	17.6	-	
30年以上	21.4	-	39.3	17.9	17.9	7.1	-	35.7	3.6	

問 20 ② あなたがこれから取得したい資格、受講したい研修はどれですか。(〇はいくつでも)

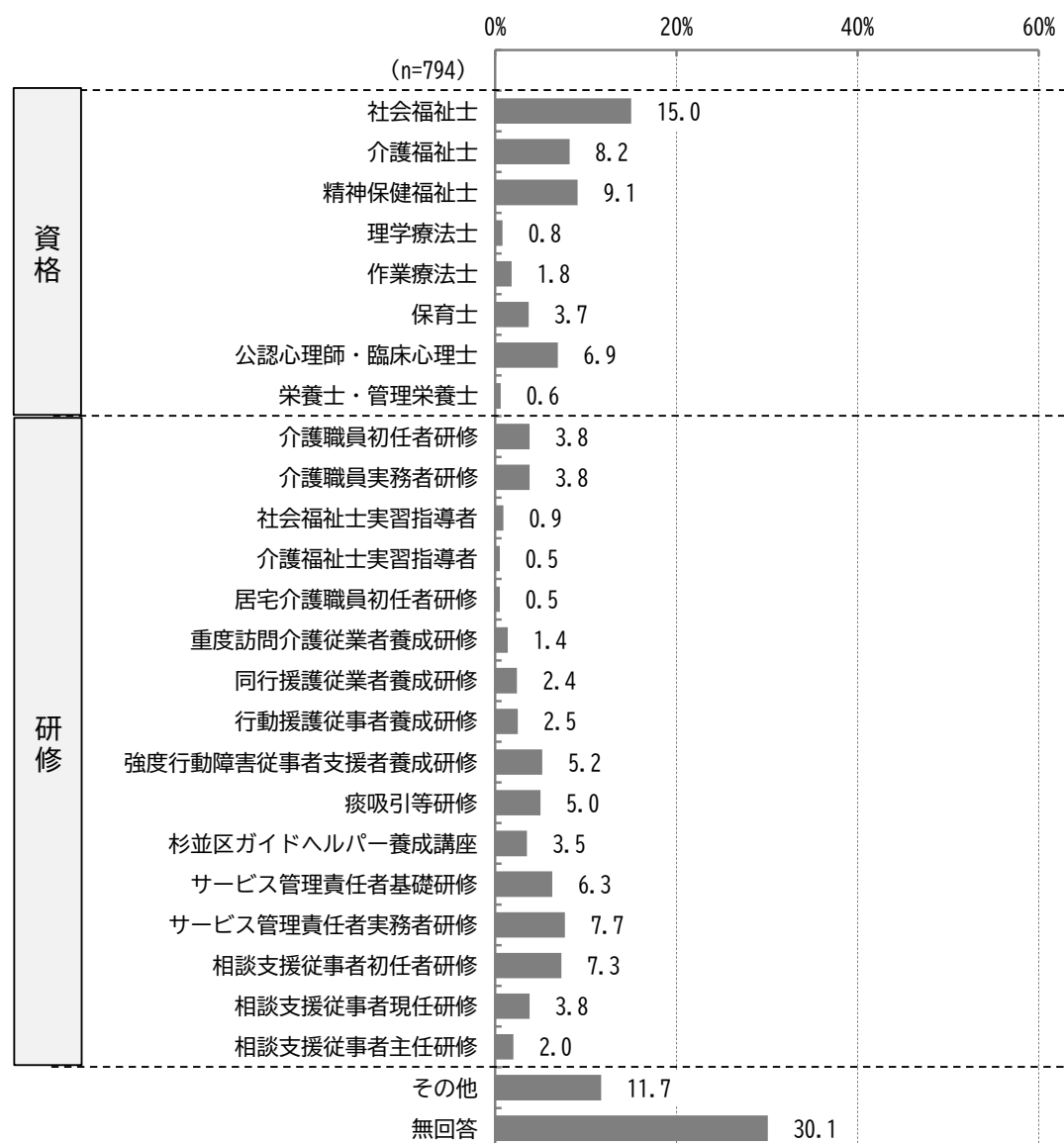
取得したい資格は、「社会福祉士」が15.0%と最も多く、次いで「精神保健福祉士」が9.1%、「介護福祉士」が8.2%の順となっています。

受講したい研修は、「サービス管理責任者実務者研修」が7.7%と最も多く、次いで「相談支援従事者初任者研修」が7.3%、「サービス管理責任者基礎研修」が6.3%の順となっています。

年齢別にみると、24歳以下は「介護福祉士」と「精神保健福祉士」が同率、55～59歳は「精神保健福祉士」、60～64歳と65歳以上は「その他」、それ以外は「社会福祉士」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、居住系と日中活動系は「社会福祉士」、それ以外は「その他」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、1～3年未満は「介護福祉士」、10～20年未満は「その他」、20～25年未満は「強度行動障害従事者支援者養成研修」と「その他」が同率、30年以上は「公認心理師・臨床心理士」、それ以外は「社会福祉士」が最も多くなっています。



【年齢別】

単位：％

区分	回答者数(件)	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	理学療法士	作業療法士	保育士	公認心理師・臨床心理士	栄養士・管理栄養士	
全体	794	15.0	8.2	9.1	0.8	1.8	3.7	6.9	0.6	
年齢別	24歳以下	26	19.2	26.9	26.9	-	7.7	15.4	7.7	3.8
	25～29歳	70	28.6	15.7	14.3	-	1.4	7.1	7.1	1.4
	30～34歳	71	23.9	4.2	11.3	1.4	1.4	5.6	7.0	1.4
	35～39歳	61	26.2	8.2	11.5	1.6	1.6	11.5	4.9	1.6
	40～44歳	82	14.6	6.1	9.8	-	3.7	1.2	3.7	-
	45～49歳	121	12.4	6.6	5.8	-	1.7	1.7	9.1	0.8
	50～54歳	122	12.3	5.7	6.6	0.8	0.8	1.6	9.8	-
	55～59歳	80	10.0	11.3	13.8	3.8	3.8	1.3	10.0	-
	60～64歳	80	10.0	7.5	6.3	-	-	1.3	6.3	-
65歳以上	81	3.7	4.9	1.2	-	-	2.5	1.2	-	
区分	介護職員初任者研修	介護職員実務者研修	社会福祉士実習指導者	介護福祉士実習指導者	居宅介護職員初任者研修	重度訪問介護従業者養成研修	同行援護従業者養成研修	行動援護従事者養成研修	強度行動障害従事者支援者養成研修	
全体	3.8	3.8	0.9	0.5	0.5	1.4	2.4	2.5	5.2	
年齢別	24歳以下	-	-	7.7	-	-	3.8	3.8	11.5	
	25～29歳	7.1	5.7	1.4	1.4	1.4	1.4	-	8.6	
	30～34歳	2.8	-	-	-	-	2.8	4.2	2.8	
	35～39歳	4.9	6.6	1.6	-	-	1.6	1.6	3.3	
	40～44歳	2.4	3.7	1.2	1.2	1.2	2.4	3.7	4.9	
	45～49歳	3.3	2.5	-	-	-	2.5	2.5	2.5	
	50～54歳	1.6	4.1	-	0.8	0.8	0.8	0.8	4.9	
	55～59歳	6.3	6.3	1.3	1.3	1.3	2.5	1.3	2.5	
	60～64歳	6.3	5.0	1.3	-	-	1.3	5.0	2.5	
65歳以上	2.5	2.5	-	-	-	-	3.7	2.5		
区分	痰吸引等研修	杉並区ガイドヘルパー養成講座	サービス管理責任者基礎研修	サービス管理責任者実務者研修	相談支援従事者初任者研修	相談支援従事者現任研修	相談支援従事者主任研修	その他	無回答	
全体	5.0	3.5	6.3	7.7	7.3	3.8	2.0	11.7	30.1	
年齢別	24歳以下	11.5	-	3.8	3.8	15.4	3.8	3.8	3.8	11.5
	25～29歳	4.3	2.9	11.4	11.4	7.1	1.4	-	8.6	15.7
	30～34歳	8.5	-	11.3	21.1	11.3	8.5	4.2	9.9	19.7
	35～39歳	3.3	-	4.9	6.6	8.2	-	-	9.8	27.9
	40～44歳	6.1	2.4	8.5	7.3	8.5	3.7	1.2	12.2	41.5
	45～49歳	2.5	2.5	7.4	7.4	2.5	3.3	2.5	11.6	35.5
	50～54歳	4.1	2.5	7.4	10.7	9.0	2.5	0.8	10.7	32.0
	55～59歳	6.3	5.0	3.8	3.8	3.8	5.0	2.5	7.5	36.3
	60～64歳	3.8	10.0	2.5	2.5	7.5	6.3	3.8	17.5	20.0
65歳以上	6.2	7.4	-	-	7.4	3.7	2.5	19.8	40.7	

【提供サービス別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：%

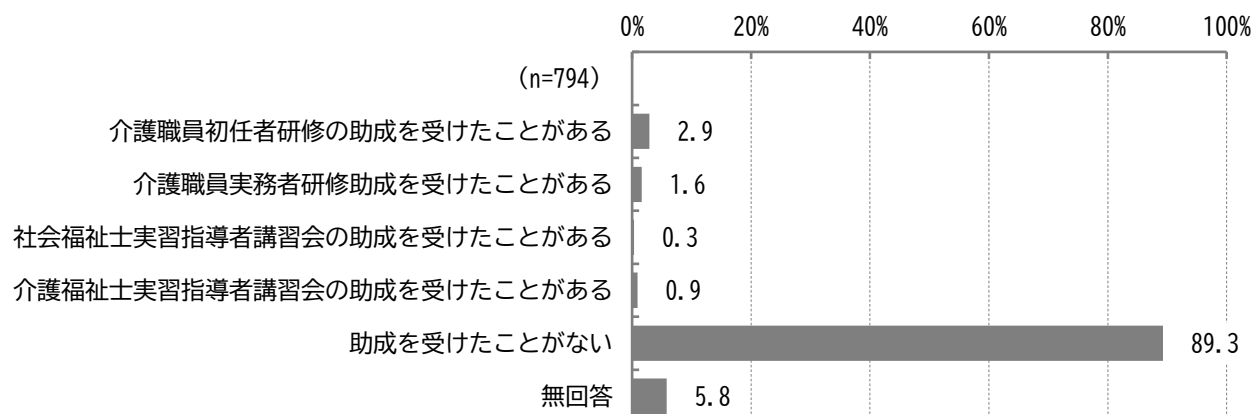
区分	回答者数 (件)	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	理学療法士	作業療法士	保育士	公認心理師・臨床心理士	栄養士・管理栄養士	
全体	794	15.0	8.2	9.1	0.8	1.8	3.7	6.9	0.6	
提供サービス別	訪問系	167	9.6	9.6	6.0	1.2	1.2	1.2	5.4	0.6
	居住系	175	18.9	15.4	12.0	-	-	2.3	2.3	0.6
	日中活動系	257	23.7	6.2	13.6	0.8	0.4	3.9	6.6	0.8
	障害児系	236	9.7	3.0	4.2	0.8	4.7	6.4	12.3	0.4
	相談支援系	77	14.3	9.1	13.0	-	1.3	2.6	10.4	-
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	22.7	9.1	19.7	1.5	4.5	4.5	12.1	3.0
	1～3年未満	111	17.1	21.6	7.2	0.9	3.6	5.4	6.3	-
	3～5年未満	107	18.7	5.6	12.1	0.9	2.8	3.7	8.4	-
	5～10年未満	177	14.1	9.0	7.9	0.6	1.1	4.0	4.0	0.6
	10～15年未満	131	13.0	3.8	9.2	1.5	0.8	5.3	6.1	0.8
	15～20年未満	82	11.0	1.2	7.3	-	1.2	-	4.9	1.2
	20～25年未満	58	12.1	5.2	5.2	-	-	1.7	6.9	-
	25～30年未満	34	14.7	5.9	-	-	-	-	11.8	-
	30年以上	28	7.1	7.1	10.7	-	-	3.6	14.3	-
区分	介護職員初任者研修	介護職員実務者研修	社会福祉士実習指導者	介護福祉士実習指導者	居宅介護職員初任者研修	重度訪問介護従業者養成研修	同行援護従業者養成研修	行動援護従事者養成研修	強度行動障害従事者支援者養成研修	
全体	3.8	3.8	0.9	0.5	0.5	1.4	2.4	2.5	5.2	
提供サービス別	訪問系	3.0	4.8	0.6	1.2	1.8	4.8	3.0	1.8	2.4
	居住系	5.1	6.9	0.6	-	0.6	0.6	1.1	2.3	7.4
	日中活動系	3.5	4.3	0.8	0.4	-	1.2	2.7	2.3	3.9
	障害児系	4.7	1.7	0.4	0.4	-	0.4	2.5	3.8	8.1
	相談支援系	5.2	1.3	2.6	1.3	-	1.3	-	-	3.9
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	10.6	7.6	3.0	1.5	1.5	7.6	6.1	4.5	6.1
	1～3年未満	5.4	9.0	0.9	0.9	1.8	1.8	2.7	3.6	8.1
	3～5年未満	3.7	5.6	1.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	5.6
	5～10年未満	2.3	1.7	-	-	-	1.1	4.0	5.1	4.0
	10～15年未満	3.1	2.3	1.5	-	-	0.8	0.8	0.8	3.8
	15～20年未満	1.2	1.2	-	-	-	-	1.2	1.2	1.2
	20～25年未満	5.2	3.4	-	-	-	-	3.4	1.7	12.1
	25～30年未満	-	-	-	2.9	-	-	-	-	2.9
	30年以上	3.6	-	-	-	-	-	-	-	3.6
区分	痰吸引等研修	杉並区ガイドヘルパー養成講座	サービス基礎研修	サービス管理責任者実務者研修	相談支援従事者初任者研修	相談支援従事者現任研修	相談支援従事者主任研修	その他	無回答	
全体	5.0	3.5	6.3	7.7	7.3	3.8	2.0	11.7	30.1	
提供サービス別	訪問系	7.2	3.6	5.4	3.6	6.0	4.2	1.8	11.4	34.1
	居住系	5.1	2.9	9.7	13.7	6.3	2.3	1.7	10.9	26.3
	日中活動系	3.1	2.7	6.2	7.4	8.2	3.1	0.8	10.1	28.8
	障害児系	4.7	3.8	4.7	7.2	7.6	3.8	3.0	13.1	30.1
	相談支援系	2.6	2.6	2.6	6.5	9.1	10.4	9.1	18.2	20.8
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	9.1	4.5	9.1	7.6	13.6	1.5	-	7.6	21.2
	1～3年未満	3.6	2.7	9.9	5.4	6.3	5.4	2.7	7.2	27.0
	3～5年未満	8.4	2.8	7.5	9.3	7.5	1.9	0.9	8.4	30.8
	5～10年未満	3.4	5.1	6.2	11.3	7.3	4.0	2.3	12.4	27.7
	10～15年未満	3.8	3.8	3.8	6.1	6.1	0.8	-	16.8	30.5
	15～20年未満	3.7	2.4	6.1	6.1	9.8	9.8	3.7	17.1	37.8
	20～25年未満	6.9	1.7	3.4	6.9	3.4	5.2	1.7	12.1	31.0
	25～30年未満	2.9	-	5.9	5.9	-	5.9	8.8	8.8	41.2
	30年以上	7.1	7.1	-	3.6	10.7	-	3.6	10.7	35.7

問 21 区の研修（講座）受講料助成事業について

① 区では次の研修（講座）の受講料を助成しています。あなたは助成を受けたことがありますか。  
（〇はいくつでも）

「助成を受けたことがない」が 89.3%と最も多く、次いで「介護職員初任者研修の助成を受けたことがある」が 2.9%、「介護職員実務者研修助成を受けたことがある」が 1.6%、「介護福祉士実習指導者講習会の助成を受けたことがある」が 0.9%の順となっています。

年齢別、提供サービス別、利用者の主な障害別、障害分野の通算勤務年数別にみると、いずれも「助成を受けたことがない」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・利用者の主な障害別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：％

区分		回答者数(件)	介護職員初任者研修の助成を受けたことがある	介護職員実務者研修助成を受けたことがある	社会福祉士実習指導者講習会の助成を受けたことがある	介護福祉士実習指導者講習会の助成を受けたことがある	助成を受けたことがない	無回答
全体		794	2.9	1.6	0.3	0.9	89.3	5.8
年齢別	24歳以下	26	-	-	-	-	96.2	3.8
	25～29歳	70	4.3	1.4	-	1.4	91.4	4.3
	30～34歳	71	4.2	-	1.4	1.4	91.5	1.4
	35～39歳	61	4.9	-	-	1.6	88.5	4.9
	40～44歳	82	3.7	1.2	-	1.2	87.8	6.1
	45～49歳	121	3.3	1.7	0.8	-	90.1	5.8
	50～54歳	122	2.5	2.5	-	-	90.2	6.6
	55～59歳	80	3.8	3.8	-	-	85.0	7.5
	60～64歳	80	1.3	2.5	-	-	90.0	6.3
	65歳以上	81	-	1.2	-	3.7	86.4	8.6
提供サービス別	訪問系	167	3.6	2.4	0.6	3.6	85.6	6.0
	居住系	175	3.4	3.4	-	0.6	90.3	3.4
	日中活動系	257	1.9	0.8	-	-	90.7	7.0
	障害児系	236	3.8	-	0.4	-	89.8	5.9
	相談支援系	77	1.3	2.6	-	-	90.9	5.2
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	2.7	2.7	-	-	89.3	6.0
	視覚障害	29	-	3.4	-	3.4	93.1	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	-	-	-	16.7	83.3	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	-	-	-	-	80.0	20.0
	肢体不自由	158	1.9	2.5	0.6	1.9	88.0	7.0
	内部障害	7	-	-	-	-	100.0	-
	難病	65	3.1	-	1.5	-	95.4	1.5
	知的障害	417	3.6	1.7	0.2	0.5	88.2	6.0
	精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）	146	2.1	2.7	-	1.4	92.5	3.4
	発達障害	242	4.1	0.4	-	0.4	88.4	7.0
高次脳機能障害	40	-	2.5	-	2.5	82.5	12.5	
その他	54	-	1.9	-	-	96.3	1.9	
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	4.5	-	-	-	89.4	6.1
	1～3年未満	111	6.3	1.8	1.8	-	89.2	3.6
	3～5年未満	107	4.7	2.8	-	0.9	87.9	4.7
	5～10年未満	177	2.8	2.3	-	1.7	89.3	5.1
	10～15年未満	131	1.5	-	-	-	94.7	3.8
	15～20年未満	82	-	3.7	-	1.2	82.9	12.2
	20～25年未満	58	1.7	-	-	1.7	89.7	6.9
	25～30年未満	34	-	2.9	-	2.9	82.4	11.8
	30年以上	28	-	-	-	-	96.4	3.6

問 21 ② あなたが今後助成を受けて受講したい研修はどれですか。(〇はいくつでも)

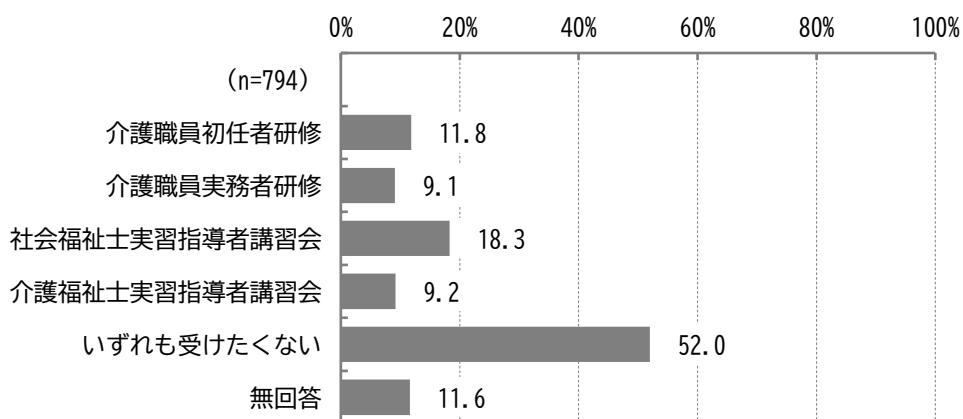
「いずれも受けたくない」が 52.0%と最も多く、次いで「社会福祉士実習指導者講習会」が 18.3%、「介護職員初任者研修」が 11.8%、「介護福祉士実習指導者講習会」が 9.2%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「いずれも受けたくない」が最も多く、次いで 24 歳以下と 65 歳以上は「介護職員初任者研修」、それ以外は「社会福祉士実習指導者講習会」が多くなっています。

提供サービス別にみると、いずれも「いずれも受けたくない」が最も多く、次いで障害児系は「介護職員初任者研修」、それ以外は「社会福祉士実習指導者講習会」が多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、いずれも「いずれも受けたくない」が最も多く、次いで肢体不自由は「介護職員初任者研修」、それ以外は「社会福祉士実習指導者講習会」が多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、いずれも「いずれも受けたくない」が最も多く、次いで 25～30 年未満は「介護職員初任者研修」と「介護職員実務者研修」、「社会福祉士実習指導者講習会」、「介護福祉士実習指導者講習会」が同率で、25～30 年未満は「介護福祉士実習指導者講習会」、30 年以上は「介護職員初任者研修」、それ以外は「社会福祉士実習指導者講習会」が多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・利用者の主な障害別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：％

区分	回答者数(件)	介護職員初任者研修	介護職員実務者研修	社会福祉士実習指導者講習会	介護福祉士実習指導者講習会	いずれも受けたくない	無回答	
全体	794	11.8	9.1	18.3	9.2	52.0	11.6	
年齢別	24歳以下	26	26.9	7.7	23.1	3.8	30.8	15.4
	25～29歳	70	15.7	10.0	27.1	11.4	51.4	5.7
	30～34歳	71	18.3	9.9	29.6	5.6	46.5	8.5
	35～39歳	61	9.8	11.5	27.9	14.8	52.5	6.6
	40～44歳	82	6.1	6.1	17.1	7.3	57.3	14.6
	45～49歳	121	11.6	11.6	19.0	9.9	50.4	12.4
	50～54歳	122	7.4	6.6	10.7	9.8	56.6	15.6
	55～59歳	80	12.5	10.0	16.3	11.3	46.3	12.5
	60～64歳	80	12.5	10.0	15.0	10.0	50.0	11.3
	65歳以上	81	11.1	7.4	8.6	4.9	61.7	11.1
提供サービス別	訪問系	167	4.8	7.8	16.8	12.6	54.5	11.4
	居住系	175	13.1	15.4	22.3	12.0	48.6	6.9
	日中活動系	257	12.8	10.5	21.8	8.9	47.9	12.8
	障害児系	236	13.6	5.9	12.7	3.4	56.4	15.3
	相談支援系	77	15.6	7.8	20.8	6.5	50.6	9.1
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	12.0	11.3	16.7	8.7	52.7	10.7
	視覚障害	29	10.3	6.9	31.0	10.3	37.9	17.2
	聴覚障害・平衡機能障害	6	16.7	16.7	16.7	33.3	50.0	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	10.0	-	20.0	10.0	50.0	20.0
	肢体不自由	158	15.8	7.6	14.6	6.3	51.3	12.7
	内部障害	7	-	-	14.3	-	85.7	-
	難病	65	1.5	3.1	9.2	7.7	73.8	4.6
	知的障害	417	15.1	12.2	19.7	11.8	46.5	11.8
	精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）	146	9.6	6.2	27.4	12.3	49.3	4.8
	発達障害	242	11.6	9.1	19.4	6.6	54.1	13.2
高次脳機能障害	40	2.5	5.0	20.0	7.5	45.0	20.0	
その他	54	5.6	1.9	1.9	-	83.3	7.4	
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	22.7	13.6	25.8	15.2	34.8	15.2
	1～3年未満	111	16.2	18.9	26.1	13.5	41.4	9.0
	3～5年未満	107	9.3	7.5	27.1	8.4	48.6	8.4
	5～10年未満	177	10.2	7.3	15.8	5.1	56.5	11.3
	10～15年未満	131	9.2	4.6	14.5	6.9	61.8	10.7
	15～20年未満	82	8.5	6.1	14.6	9.8	57.3	12.2
	20～25年未満	58	6.9	6.9	6.9	6.9	69.0	12.1
	25～30年未満	34	11.8	8.8	11.8	20.6	32.4	26.5
	30年以上	28	21.4	10.7	10.7	7.1	46.4	10.7

問 22 あなたが過去1年間に参加した研修内容はなんですか。(〇はいくつでも)

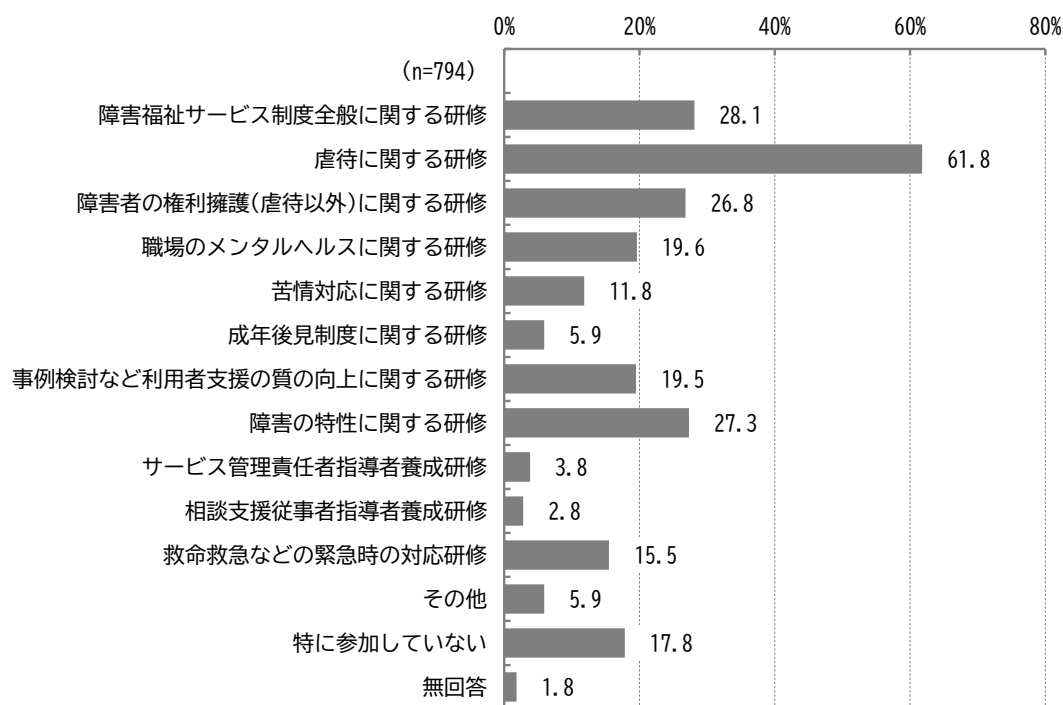
「虐待に関する研修」が 61.8%と最も多く、次いで「障害福祉サービス制度全般に関する研修」が 28.1%、「障害の特性に関する研修」が 27.3%、「障害者の権利擁護（虐待以外）に関する研修」が 26.8%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「虐待に関する研修」が最も多く、次いで 30～34 歳と 60～64 歳、65 歳以上は「障害の特性に関する研修」、35～39 歳は「事例検討など利用者支援の質の向上に関する研修」と「障害の特性に関する研修」が同率で、40～44 歳は「障害福祉サービス制度全般に関する研修」と「障害者の権利擁護（虐待以外）に関する研修」が同率で、50～54 歳は「障害福祉サービス制度全般に関する研修」と「障害者の権利擁護（虐待以外）に関する研修」、「障害の特性に関する研修」が同率で、それ以外は「障害福祉サービス制度全般に関する研修」が多くなっています。

提供サービス別にみると、いずれも「虐待に関する研修」が最も多く、次いで訪問系は「特に参加していない」、居住系と日中活動系は「障害福祉サービス制度全般に関する研修」、障害児系は「障害の特性に関する研修」、相談支援系は「事例検討など利用者支援の質の向上に関する研修」が多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、いずれも「虐待に関する研修」が最も多く、重度重複障害と高次脳機能障害は「特に参加していない」、視覚障害は「障害者の権利擁護（虐待以外）に関する研修」と「職場のメンタルヘルスに関する研修」、音声・言語・そしゃく機能障害は「事例検討など利用者支援の質の向上に関する研修」、肢体不自由と精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）は「障害福祉サービス制度全般に関する研修」、難病は「苦情対応に関する研修」、知的障害と発達障害は「障害の特性に関する研修」が多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、1年未満は「特に参加していない」、それ以外は「虐待に関する研修」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・利用者の主な障害別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：%

区分	回答者数(件)	障害福祉サービス制度全般に関する研修	虐待に関する研修	障害者の権利擁護(虐待以外)に関する研修	職場のメンタルヘルスに関する研修	苦情対応に関する研修	成年後見制度に関する研修	事例検討など利用者支援の質の向上に関する研修	障害の特性に関する研修	研修	サービス管理責任者指導者養成研修	相談支援従事者指導者養成研修	救命救急などの緊急時の対応研修	その他	特に参加していない	無回答
全体	794	28.1	61.8	26.8	19.6	11.8	5.9	19.5	27.3	3.8	2.8	15.5	5.9	17.8	1.8	
年齢別	24歳以下	26	34.6	57.7	19.2	11.5	7.7	23.1	26.9	-	-	23.1	11.5	19.2	-	
	25～29歳	70	38.6	68.6	31.4	15.7	11.4	4.3	15.7	1.4	2.9	25.7	7.1	14.3	1.4	
	30～34歳	71	31.0	50.7	22.5	12.7	7.0	-	22.5	32.4	2.8	2.8	16.9	2.8	23.9	1.4
	35～39歳	61	18.0	57.4	19.7	16.4	8.2	3.3	24.6	24.6	13.1	4.9	16.4	6.6	19.7	3.3
	40～44歳	82	29.3	69.5	29.3	19.5	13.4	3.7	22.0	28.0	6.1	2.4	11.0	2.4	11.0	-
	45～49歳	121	29.8	62.8	28.9	22.3	13.2	7.4	15.7	20.7	1.7	5.8	19.0	7.4	16.5	1.7
	50～54歳	122	27.9	62.3	27.9	18.9	16.4	7.4	22.1	27.9	6.6	2.5	13.1	6.6	16.4	2.5
	55～59歳	80	31.3	60.0	30.0	25.0	8.8	10.0	22.5	23.8	3.8	-	12.5	6.3	20.0	2.5
	60～64歳	80	16.3	58.8	23.8	18.8	3.8	7.5	18.8	30.0	1.3	2.5	13.8	10.0	20.0	1.3
65歳以上	81	27.2	65.4	27.2	27.2	19.8	6.2	12.3	30.9	-	1.2	9.9	1.2	19.8	2.5	
提供サービス別	訪問系	167	18.0	58.1	19.2	28.1	16.2	6.6	15.0	13.2	0.6	1.8	9.0	2.4	29.3	3.0
	居住系	175	49.7	69.1	47.4	35.4	25.7	6.9	11.4	38.9	2.3	2.3	13.1	5.7	15.4	-
	日中活動系	257	30.7	59.5	25.7	13.6	5.1	7.8	24.1	26.1	4.7	0.4	19.5	7.8	16.0	0.4
	障害児系	236	15.7	62.3	15.7	8.1	5.9	1.3	22.0	29.2	4.7	3.0	18.2	7.6	16.5	3.4
	相談支援系	77	33.8	62.3	27.3	13.0	10.4	6.5	37.7	26.0	5.2	13.0	9.1	9.1	10.4	-
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	24.0	47.3	22.0	9.3	5.3	2.7	16.0	24.0	2.0	1.3	18.0	4.0	28.0	2.0
	視覚障害	29	24.1	65.5	34.5	34.5	10.3	6.9	24.1	10.3	-	6.9	17.2	6.9	17.2	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	16.7	66.7	16.7	33.3	16.7	-	16.7	16.7	-	-	16.7	-	16.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	30.0	60.0	30.0	10.0	20.0	20.0	50.0	30.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0
	肢体不自由	158	25.9	59.5	20.3	12.0	5.7	5.7	17.1	25.3	1.9	1.9	22.2	4.4	19.0	3.2
	内部障害	7	14.3	57.1	14.3	42.9	28.6	-	28.6	14.3	-	-	28.6	14.3	28.6	-
	難病	65	41.5	61.5	43.1	41.5	46.2	10.8	15.4	36.9	1.5	3.1	15.4	-	23.1	1.5
	知的障害	417	25.2	66.9	25.2	17.3	7.4	7.0	23.3	28.8	5.0	2.6	15.6	7.2	12.9	1.4
	精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	146	37.0	59.6	32.2	24.0	10.3	10.3	19.9	22.6	4.1	2.7	12.3	5.5	13.7	-
	発達障害	242	21.1	60.3	19.0	9.1	5.8	4.1	24.8	27.3	5.8	3.7	16.9	7.9	16.5	2.5
高次脳機能障害	40	20.0	45.0	17.5	22.5	7.5	-	12.5	17.5	2.5	-	5.0	5.0	30.0	2.5	
その他	54	70.4	81.5	68.5	63.0	66.7	3.7	3.7	70.4	-	1.9	5.6	5.6	13.0	-	
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	24.2	34.8	16.7	3.0	1.5	3.0	9.1	15.2	-	-	13.6	3.0	42.4	1.5
	1～3年未満	111	29.7	59.5	18.9	13.5	9.0	3.6	9.9	25.2	1.8	2.7	19.8	7.2	18.0	1.8
	3～5年未満	107	29.9	65.4	29.0	25.2	15.0	4.7	12.1	33.6	3.7	0.9	15.0	6.5	15.9	1.9
	5～10年未満	177	36.2	70.1	34.5	25.4	14.7	7.9	23.7	33.9	2.8	3.4	15.3	4.5	11.9	1.1
	10～15年未満	131	16.8	60.3	23.7	17.6	10.7	3.8	26.0	22.1	5.3	3.8	16.8	9.2	19.8	-
	15～20年未満	82	17.1	64.6	24.4	19.5	11.0	6.1	19.5	25.6	4.9	1.2	9.8	6.1	17.1	2.4
	20～25年未満	58	32.8	60.3	34.5	19.0	15.5	8.6	20.7	25.9	3.4	3.4	12.1	-	22.4	3.4
	25～30年未満	34	41.2	52.9	23.5	23.5	11.8	14.7	32.4	20.6	17.6	11.8	17.6	11.8	-	5.9
30年以上	28	32.1	82.1	35.7	32.1	17.9	7.1	35.7	39.3	-	-	21.4	3.6	7.1	3.6	

問 23 区主催の公民事業者職員の合同研修について

① 区では、区内の公民事業者職員の合同研修を開催しています。あなたが過去3年間で受けたことがある研修はどれですか。(〇はいくつでも)

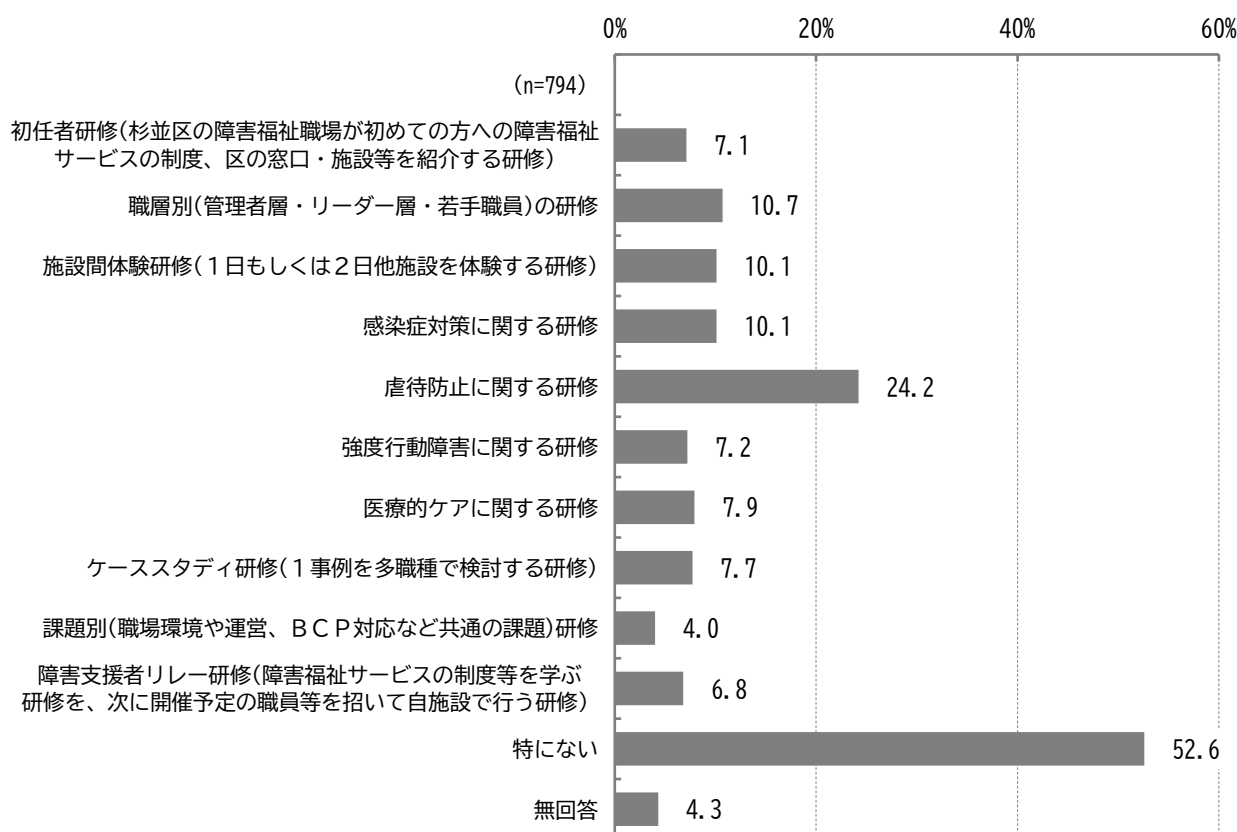
「虐待防止に関する研修」が24.2%と最も多く、次いで「職層別（管理者層・リーダー層・若手職員）の研修」が10.7%、「施設間体験研修（1日もしくは2日他施設を体験する研修）」と「感染症対策に関する研修」が10.1%の順となっており、「特にない」は52.6%となっています。

年齢別にみると、25～29歳は「虐待防止に関する研修」、それ以外は「特にない」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、いずれも「特にない」が最も多く、次いで「虐待防止に関する研修」が多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害は「虐待防止に関する研修」、それ以外は「特にない」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、いずれも「特にない」が最も多く、次いで1年未満は「初任者研修（杉並区の障害福祉職場が初めての方への障害福祉サービスの制度、区の窓口・施設等を紹介する研修）」、それ以外は「虐待防止に関する研修」が多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・利用者の主な障害別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：％

区分	回答者数(件)	初任者研修(杉並区の障害福祉サービスの制度・区の窓口・施設等を紹介する研修)	職層別(管理者層・リーダー層・若手職員)の研修	施設間体験研修(1日もしくは2日他施設を体験する研修)	感染症対策に関する研修	虐待防止に関する研修	強度行動障害に関する研修	医療的ケアに関する研修	ケーススタディ研修(事例を多職種で検討する研修)	課題別(職場環境や運営、BCP対応など共通の課題)研修	障害支援者リーダー研修(障害福祉サービスの制度等を学ぶ研修を、次に開催予定の職員等を招いて自施設で行う研修)	特になし	無回答	
全体	794	7.1	10.7	10.1	10.1	24.2	7.2	7.9	7.7	4.0	6.8	52.6	4.3	
年齢別	24歳以下	26	23.1	23.1	26.9	15.4	15.4	3.8	11.5	11.5	3.8	11.5	38.5	7.7
	25～29歳	70	21.4	24.3	22.9	21.4	40.0	17.1	11.4	14.3	5.7	15.7	37.1	1.4
	30～34歳	71	5.6	12.7	12.7	9.9	22.5	7.0	4.2	8.5	4.2	8.5	49.3	4.2
	35～39歳	61	14.8	19.7	16.4	9.8	27.9	8.2	6.6	14.8	6.6	9.8	29.5	4.9
	40～44歳	82	6.1	4.9	9.8	9.8	19.5	4.9	7.3	4.9	4.9	3.7	57.3	4.9
	45～49歳	121	2.5	12.4	5.8	14.0	21.5	5.8	13.2	10.7	7.4	9.1	51.2	4.1
	50～54歳	122	6.6	10.7	8.2	11.5	25.4	8.2	7.4	8.2	1.6	4.9	54.1	6.6
	55～59歳	80	1.3	7.5	6.3	2.5	21.3	7.5	5.0	5.0	2.5	6.3	66.3	2.5
	60～64歳	80	5.0	3.8	7.5	5.0	26.3	3.8	7.5	1.3	2.5	3.8	56.3	3.8
65歳以上	81	1.2	-	2.5	3.7	19.8	4.9	4.9	1.2	1.2	-	69.1	3.7	
提供サービス別	訪問系	167	1.8	2.4	0.6	8.4	12.0	1.8	5.4	1.2	1.2	-	74.9	4.8
	居住系	175	5.1	6.9	4.0	6.9	20.6	5.7	3.4	2.9	2.3	3.4	62.3	2.9
	日中活動系	257	9.3	19.8	16.7	7.4	22.2	9.7	8.6	12.5	5.1	16.7	42.4	4.3
	障害児系	236	7.6	8.1	11.9	15.7	33.1	7.6	9.3	7.6	4.2	2.1	46.2	5.9
	相談支援系	77	6.5	9.1	10.4	10.4	22.1	5.2	10.4	10.4	9.1	7.8	51.9	3.9
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	9.3	16.0	19.3	10.7	21.3	11.3	21.3	9.3	5.3	13.3	43.3	2.7
	視覚障害	29	10.3	6.9	3.4	-	13.8	3.4	3.4	6.9	-	3.4	65.5	6.9
	聴覚障害・平衡機能障害	6	-	-	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	33.3	16.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	-	10.0	20.0	20.0	50.0	10.0	20.0	40.0	10.0	10.0	40.0	10.0
	肢体不自由	158	10.1	12.7	16.5	12.7	27.2	7.0	18.4	7.6	5.1	8.2	46.8	5.7
	内部障害	7	-	-	-	14.3	14.3	-	14.3	-	14.3	-	71.4	-
	難病	65	1.5	-	-	6.2	10.8	1.5	10.8	-	3.1	-	78.5	3.1
	知的障害	417	8.2	13.4	9.4	11.0	26.9	10.3	4.6	9.6	5.0	7.9	48.4	4.6
	精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	146	7.5	11.0	7.5	8.9	26.0	4.8	2.7	5.5	2.1	6.2	54.1	2.1
	発達障害	242	8.7	8.3	10.7	14.9	33.5	7.9	5.0	9.5	4.5	4.5	47.9	5.0
高次脳機能障害	40	2.5	10.0	15.0	7.5	12.5	-	7.5	5.0	2.5	2.5	62.5	5.0	
その他	54	1.9	5.6	3.7	1.9	7.4	1.9	5.6	-	-	3.7	77.8	3.7	
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	13.6	1.5	4.5	6.1	9.1	3.0	1.5	6.1	1.5	3.0	63.6	6.1
	1～3年未満	111	12.6	7.2	10.8	8.1	19.8	9.9	7.2	4.5	4.5	6.3	60.4	1.8
	3～5年未満	107	14.0	15.9	15.9	10.3	30.8	13.1	7.5	7.5	3.7	8.4	51.4	-
	5～10年未満	177	5.6	15.3	10.7	14.1	28.2	7.9	11.3	7.9	6.2	5.6	51.4	4.0
	10～15年未満	131	2.3	8.4	12.2	10.7	26.0	3.8	6.1	11.5	5.3	7.6	45.8	4.6
	15～20年未満	82	3.7	6.1	6.1	9.8	23.2	2.4	9.8	6.1	1.2	2.4	54.9	7.3
	20～25年未満	58	-	6.9	5.2	6.9	20.7	5.2	6.9	10.3	-	8.6	53.4	5.2
	25～30年未満	34	2.9	23.5	2.9	8.8	29.4	11.8	5.9	8.8	2.9	11.8	38.2	14.7
	30年以上	28	3.6	14.3	14.3	7.1	21.4	7.1	14.3	3.6	7.1	17.9	50.0	3.6

問 23 ② あなたが今後受けたい研修はどれですか。(〇はいくつでも)

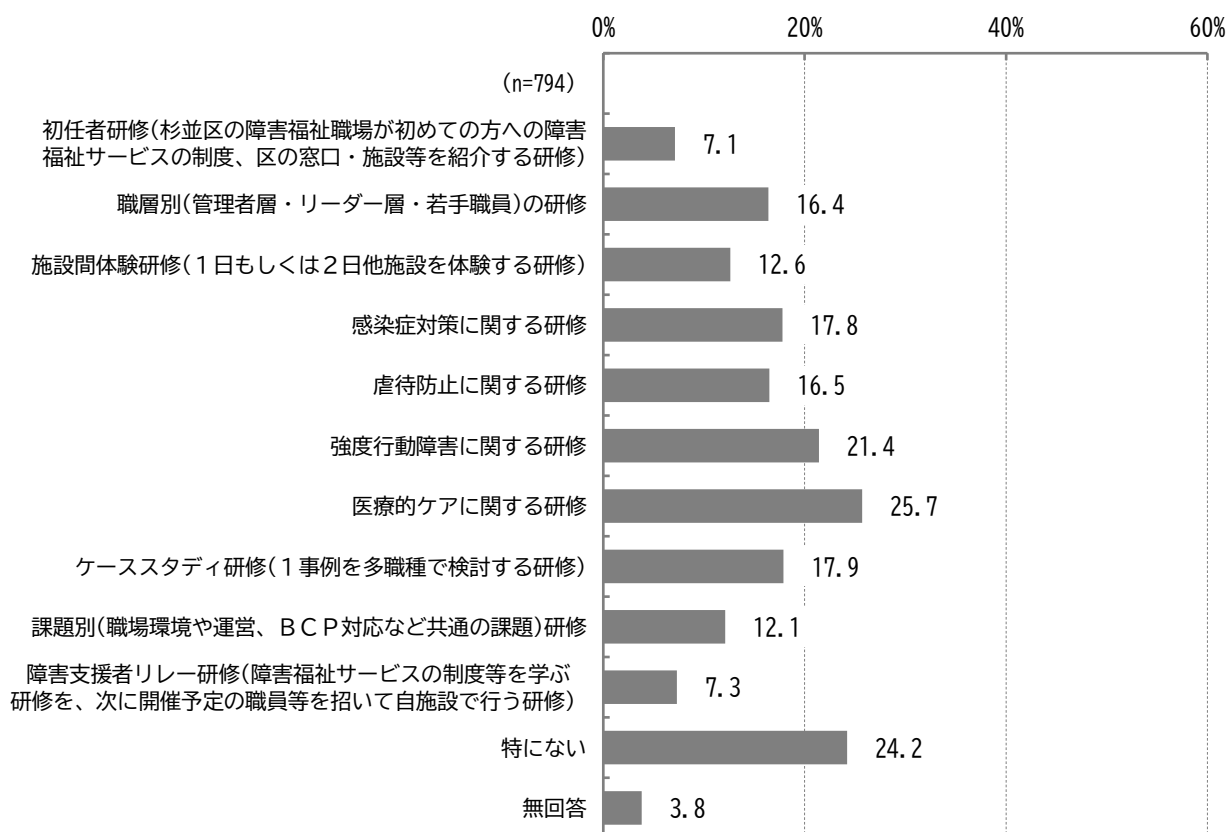
「医療的ケアに関する研修」が 25.7%と最も多く、次いで「強度行動障害に関する研修」が 21.4%、「ケーススタディ研修(1事例を多職種で検討する研修)」が 17.9%、「感染症対策に関する研修」が 17.8%の順となっており、「特にない」は 24.2%となっています。

年齢別にみると、24歳以下と 25～29歳は「強度行動障害に関する研修」と「医療的ケアに関する研修」、30～34歳と 45～49歳は「強度行動障害に関する研修」、35～39歳と 40～44歳、55～59歳は「医療的ケアに関する研修」、それ以外は「特にない」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、訪問系と日中活動系は「特にない」、居住系は「感染症対策に関する研修」、障害児系は「医療的ケアに関する研修」、相談支援系は「強度行動障害に関する研修」と「ケーススタディ研修(1事例を多職種で検討する研修)」が同率で最も多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、視覚障害は「職層別(管理者層・リーダー層・若手職員)の研修」と「特にない」が同率で、音声・言語・そしゃく機能障害は「ケーススタディ研修(1事例を多職種で検討する研修)」と「障害支援者リレー研修(障害福祉サービスの制度等を学ぶ研修を、次に開催予定の職員等を招いて自施設で行う研修)」が同率で、知的障害は「強度行動障害に関する研修」、精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)は「階層別(管理職層・リーダー層・若手職員)の研修」と「特にない」が同率で、発達障害は「強度行動障害に関する研修」、それ以外は「医療的ケアに関する研修」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、1年未満と 25～30年未満は「強度行動障害に関する研修」、1～3年未満と 10～15年未満、20～25年未満は「特にない」、それ以外は「医療的ケアに関する研修」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・利用者の主な障害別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：％

区分	回答者数（件）	初任者研修（杉並区の障害福祉職場が初めての方への障害福祉サービスの制度、区の窓口・施設等を紹介する研修）	職層別（管理者層・リーダー層・若手職員）の研修	施設間体験研修（1日もしくは2日他施設を体験する研修）	感染症対策に関する研修	虐待防止に関する研修	強度行動障害に関する研修	医療的ケアに関する研修	ケーススタディ研修（1事例を多職種で検討する研修）	課題別（職場環境や運営、BCP対応など共通の課題）研修	障害支援者リレー研修（障害福祉サービスの制度等を学ぶ研修を、次に開催予定の職員等を招いて自施設で行う研修）	特になし	無回答	
全体	794	7.1	16.4	12.6	17.8	16.5	21.4	25.7	17.9	12.1	7.3	24.2	3.8	
年齢別	24歳以下	26	11.5	23.1	11.5	3.8	11.5	30.8	30.8	19.2	7.7	11.5	15.4	3.8
	25～29歳	70	17.1	32.9	14.3	20.0	20.0	34.3	34.3	21.4	14.3	7.1	12.9	7.1
	30～34歳	71	7.0	21.1	18.3	15.5	15.5	23.9	19.7	22.5	12.7	8.5	18.3	2.8
	35～39歳	61	1.6	23.0	19.7	11.5	13.1	19.7	26.2	14.8	11.5	6.6	21.3	3.3
	40～44歳	82	8.5	18.3	8.5	24.4	18.3	24.4	28.0	18.3	18.3	11.0	26.8	3.7
	45～49歳	121	8.3	23.1	17.4	14.9	19.8	25.6	24.8	19.8	19.0	8.3	19.8	3.3
	50～54歳	122	5.7	12.3	4.9	20.5	14.8	15.6	23.8	15.6	11.5	4.1	28.7	4.1
	55～59歳	80	7.5	7.5	13.8	20.0	17.5	13.8	32.5	22.5	8.8	5.0	23.8	5.0
	60～64歳	80	2.5	7.5	12.5	15.0	8.8	18.8	16.3	11.3	10.0	8.8	31.3	2.5
	65歳以上	81	3.7	2.5	8.6	21.0	21.0	16.0	25.9	14.8	1.2	6.2	34.6	2.5
提供サービス別	訪問系	167	4.2	16.2	7.2	16.2	16.2	12.0	29.3	13.8	7.2	8.4	31.7	3.0
	居住系	175	6.9	20.6	12.6	33.7	32.0	24.0	30.9	16.6	16.0	9.1	19.4	1.7
	日中活動系	257	10.5	23.0	15.2	13.2	15.2	22.2	18.7	19.1	16.7	7.0	24.9	2.3
	障害児系	236	7.2	9.3	13.6	13.1	11.4	24.6	26.3	19.9	8.5	6.8	22.0	6.8
	相談支援系	77	3.9	18.2	18.2	19.5	23.4	35.1	20.8	35.1	18.2	5.2	16.9	2.6
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	7.3	14.0	17.3	12.0	16.7	18.7	34.7	21.3	13.3	8.0	24.7	2.7
	視覚障害	29	-	24.1	6.9	13.8	6.9	10.3	20.7	13.8	6.9	3.4	24.1	6.9
	聴覚障害・平衡機能障害	6	16.7	16.7	16.7	-	50.0	-	-	-	-	16.7	33.3	16.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	30.0	20.0	30.0	20.0	10.0
	肢体不自由	158	3.2	15.8	13.3	15.2	11.4	22.2	34.2	16.5	11.4	7.6	26.6	4.4
	内部障害	7	-	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	14.3	-
	難病	65	4.6	7.7	6.2	29.2	29.2	6.2	36.9	9.2	3.1	7.7	26.2	3.1
	知的障害	417	8.2	17.7	13.7	16.8	14.6	31.4	18.7	19.4	12.0	8.6	23.0	3.4
	精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）	146	8.9	21.9	10.3	18.5	14.4	18.5	17.8	21.2	17.8	6.2	21.9	2.7
	発達障害	242	8.7	16.5	14.5	13.6	10.7	25.6	19.0	21.9	13.2	7.4	23.6	6.2
高次脳機能障害	40	5.0	17.5	7.5	10.0	20.0	12.5	32.5	15.0	15.0	2.5	27.5	5.0	
その他	54	3.7	3.7	5.6	59.3	55.6	1.9	66.7	3.7	1.9	5.6	16.7	3.7	
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	19.7	18.2	18.2	13.6	18.2	34.8	25.8	15.2	13.6	9.1	22.7	4.5
	1～3年未満	111	13.5	18.9	14.4	13.5	15.3	17.1	25.2	12.6	9.9	9.0	27.9	2.7
	3～5年未満	107	14.0	14.0	19.6	23.4	16.8	25.2	26.2	17.8	12.1	12.1	21.5	1.9
	5～10年未満	177	2.8	17.5	11.3	22.0	18.6	17.5	27.7	21.5	9.6	9.0	22.0	3.4
	10～15年未満	131	3.1	16.0	8.4	13.7	9.9	18.3	21.4	18.3	12.2	3.8	29.0	3.8
	15～20年未満	82	3.7	13.4	11.0	14.6	17.1	14.6	29.3	11.0	8.5	3.7	24.4	6.1
	20～25年未満	58	-	13.8	6.9	19.0	20.7	24.1	20.7	19.0	8.6	5.2	32.8	3.4
	25～30年未満	34	2.9	26.5	14.7	17.6	17.6	41.2	23.5	26.5	32.4	5.9	5.9	8.8
	30年以上	28	-	7.1	7.1	21.4	21.4	21.4	35.7	28.6	25.0	-	17.9	3.6

問 24 人材育成にあたり、あなたが区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

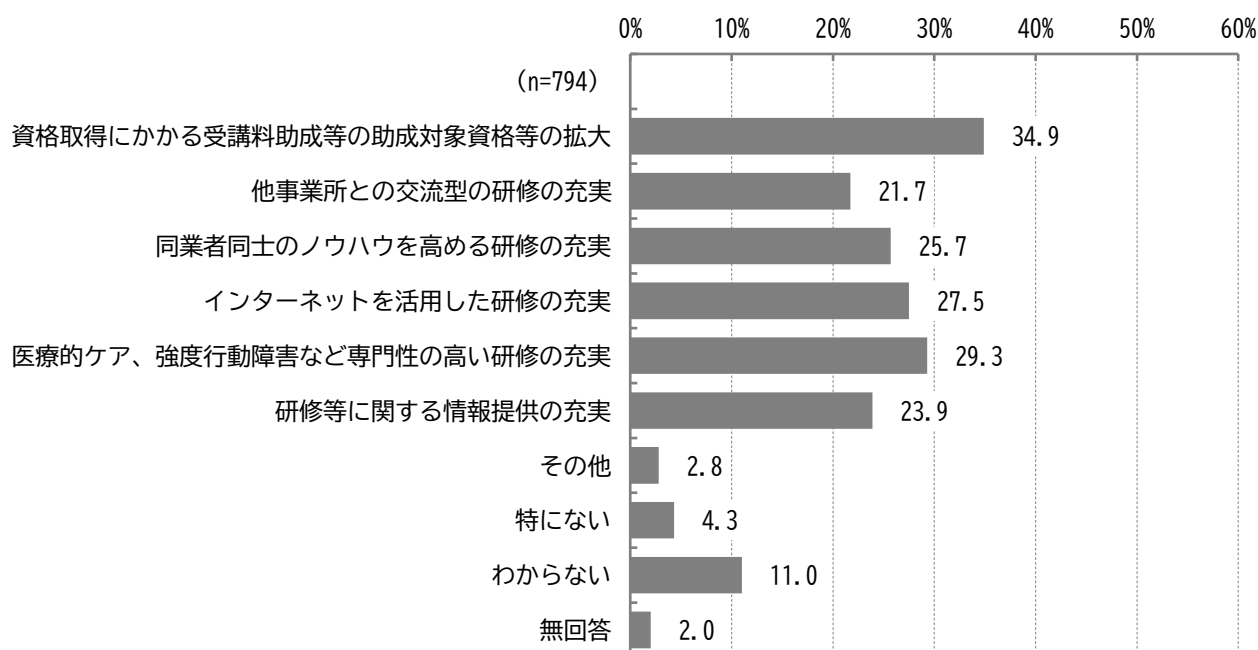
「資格取得にかかる受講料助成等の助成対象資格等の拡大」が 34.9%と最も多く、次いで「医療的ケア、強度行動障害など専門性の高い研修の充実」が 29.3%、「インターネットを活用した研修の充実」が 27.5%、「同業者同士のノウハウを高める研修の充実」が 25.7%の順となっています。

年齢別にみると、35～39歳と40～44歳は「インターネットを活用した研修の充実」、55～59歳は「資格取得にかかる受講料助成等の助成対象資格等の拡大」と「医療的ケア、強度行動障害など専門性の高い研修の充実」、65歳以上は「インターネットを活用した研修の充実」と「研修等に関する情報提供の充実」、それ以外は「資格取得にかかる受講料助成等の助成対象資格等の拡大」が最も多くなっています。

提供サービス別にみると、居住系は「インターネット活用した研修の充実」、相談支援系は「同業者同士のノウハウを高める研修の充実」、それ以外は「資格取得にかかる受講料助成等の助成対象資格等の拡大」が最も多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、重度重複障害と肢体不自由、難病は「医療的ケア、強度行動障害など専門性の高い研修の充実」、音声・言語・そしゃく機能障害は「インターネットを活用した研修の充実」、高次脳機能障害は「研修等に関する情報提供の充実」、それ以外は「資格取得にかかる受講料助成等の助成対象資格等の拡大」が最も多くなっています。

障害分野の通算勤務年数別にみると、5～10年未満は「インターネットを活用した研修の充実」と「医療的ケア、強度行動障害など専門性の高い研修の充実」が同率で、20～25年未満は「同業者同士のノウハウを高める研修の充実」、25～30年未満と30年以上は、「医療的ケア、強度行動障害など専門性の高い研修の充実」、それ以外は「資格取得にかかる受講料助成等の助成対象資格等の拡大」が最も多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・利用者の主な障害別・障害分野の通算勤務年数別】

単位：％

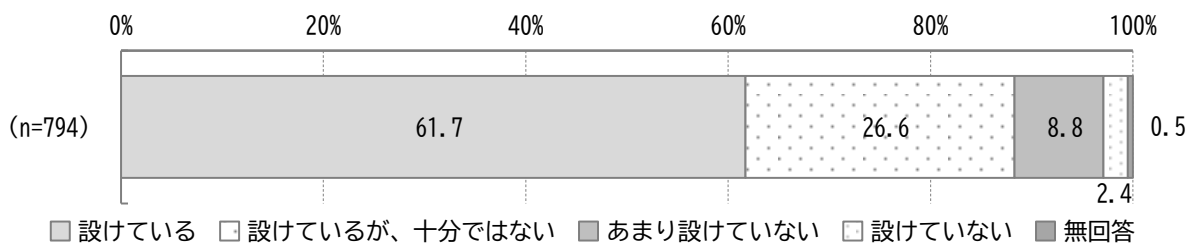
区分	回答者数(件)	資格取得にかかる受講料助成等の 助成対象資格等の拡大	他事業所との交流型の研修の充実	同業者同士のノウハウを高める研 修の充実	インターネットを活用した研修の 充実	医療的ケア、強度行動障害など専 門性の高い研修の充実	研修等に関する情報提供の充実	その他	特にな い	わから ない	無回 答
全体	794	34.9	21.7	25.7	27.5	29.3	23.9	2.8	4.3	11.0	2.0
年齢別	24歳以下	26	65.4	34.6	23.1	23.1	26.9	7.7	-	11.5	3.8
	25～29歳	70	38.6	24.3	25.7	20.0	27.1	31.4	1.4	4.3	4.3
	30～34歳	71	35.2	22.5	32.4	21.1	32.4	16.9	4.2	2.8	5.6
	35～39歳	61	31.1	27.9	34.4	37.7	19.7	16.4	6.6	3.3	4.9
	40～44歳	82	34.1	17.1	30.5	37.8	29.3	28.0	4.9	3.7	9.8
	45～49歳	121	38.0	21.5	35.5	28.1	32.2	22.3	2.5	3.3	6.6
	50～54歳	122	32.8	16.4	15.6	27.9	27.0	30.3	1.6	3.3	13.1
	55～59歳	80	30.0	25.0	20.0	22.5	30.0	20.0	3.8	5.0	17.5
	60～64歳	80	37.5	27.5	20.0	20.0	33.8	17.5	-	7.5	11.3
65歳以上	81	25.9	13.6	21.0	33.3	30.9	33.3	2.5	7.4	13.6	
提供サービス別	訪問系	167	31.7	14.4	22.8	26.9	21.0	21.0	2.4	4.2	17.4
	居住系	175	36.6	18.3	21.1	37.1	35.4	35.4	3.4	5.1	6.9
	日中活動系	257	32.7	25.7	29.2	21.4	26.1	20.2	3.1	5.4	13.6
	障害児系	236	36.0	24.2	28.0	25.0	31.4	20.8	3.0	2.1	6.8
	相談支援系	77	35.1	27.3	36.4	33.8	32.5	14.3	1.3	2.6	9.1
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	29.3	20.0	30.7	23.3	38.7	21.3	3.3	6.7	8.0
	視覚障害	29	37.9	3.4	13.8	31.0	24.1	20.7	10.3	6.9	10.3
	聴覚障害・平衡機能障 害	6	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	-	16.7	16.7
	音声・言語・そしゃく 機能障害	10	30.0	30.0	20.0	40.0	20.0	10.0	10.0	-	10.0
	肢体不自由	158	27.8	22.2	30.4	17.7	37.3	21.5	1.3	3.8	13.3
	内部障害	7	28.6	-	14.3	14.3	28.6	14.3	-	-	28.6
	難病	65	21.5	9.2	23.1	43.1	47.7	27.7	3.1	7.7	10.8
	知的障害	417	36.7	25.2	27.3	25.2	26.4	19.9	2.9	2.9	12.0
	精神障害（発達障害・ 高次脳機能障害を含ま ない）	146	46.6	27.4	27.4	26.7	15.1	22.6	2.7	3.4	11.0
	発達障害	242	38.4	26.9	28.9	25.6	28.5	25.6	1.7	2.1	8.3
高次脳機能障害	40	30.0	15.0	17.5	22.5	20.0	32.5	5.0	12.5	10.0	
その他	54	14.8	11.1	3.7	61.1	63.0	61.1	1.9	11.1	5.6	
障害分野の通算勤務年数別	1年未満	66	45.5	19.7	27.3	33.3	24.2	21.2	1.5	1.5	13.6
	1～3年未満	111	46.8	21.6	25.2	24.3	18.9	18.9	1.8	3.6	17.1
	3～5年未満	107	39.3	21.5	22.4	29.9	32.7	28.0	3.7	5.6	8.4
	5～10年未満	177	29.9	18.1	27.1	34.5	34.5	27.7	1.7	5.1	9.0
	10～15年未満	131	31.3	23.7	24.4	22.1	28.2	22.1	3.1	5.3	10.7
	15～20年未満	82	32.9	24.4	28.0	23.2	23.2	23.2	3.7	3.7	9.8
	20～25年未満	58	25.9	17.2	27.6	20.7	25.9	17.2	3.4	3.4	15.5
	25～30年未満	34	32.4	29.4	23.5	26.5	44.1	29.4	2.9	-	2.9
30年以上	28	21.4	32.1	25.0	25.0	50.0	28.6	7.1	7.1	7.1	

## (5) サービスの提供について

問 26 あなたの事業所では、利用者の障害特性や生活状況に応じて、よりよい支援・相談となるような従事者の話し合いや学びの場などを設けていますか。(〇は1つ)

「設けている」が61.7%と最も多く、次いで「設けているが、十分ではない」が26.6%、「あまり設けていない」が8.8%、「設けていない」が2.4%の順となっています。

年齢別、提供サービス別、利用者の主な障害別にみると、いずれも「設けている」が最も多く、次いで「設けているが、十分ではない」が多くなっています。



### 【年齢別】

単位：%

区分	回答者数(件)	設けている	設けているが、十分ではない	あまり設けていない	設けていない	無回答	
全体	794	61.7	26.6	8.8	2.4	0.5	
年齢別	24歳以下	26	65.4	34.6	-	-	-
	25～29歳	70	57.1	28.6	10.0	1.4	2.9
	30～34歳	71	66.2	23.9	5.6	4.2	-
	35～39歳	61	55.7	34.4	6.6	3.3	-
	40～44歳	82	53.7	28.0	13.4	4.9	-
	45～49歳	121	66.1	24.0	8.3	1.7	-
	50～54歳	122	63.9	24.6	9.8	0.8	0.8
	55～59歳	80	66.3	21.3	10.0	2.5	-
	60～64歳	80	53.8	32.5	10.0	3.8	-
	65歳以上	81	66.7	23.5	7.4	1.2	1.2

【提供サービス別・利用者の主な障害別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	設けている	設けているが、 十分ではない	あまり設けていない	設けていない	無回答
全体		794	61.7	26.6	8.8	2.4	0.5
提供サービス別	訪問系	167	53.3	25.7	15.6	4.8	0.6
	居住系	175	68.0	19.4	10.9	1.7	-
	日中活動系	257	59.9	26.1	10.1	3.5	0.4
	障害児系	236	64.4	30.1	4.2	0.4	0.8
	相談支援系	77	53.2	40.3	5.2	1.3	-
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	55.3	29.3	12.0	3.3	-
	視覚障害	29	58.6	24.1	10.3	6.9	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	33.3	50.0	-	16.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	70.0	20.0	10.0	-	-
	肢体不自由	158	58.9	24.7	10.1	3.8	2.5
	内部障害	7	57.1	14.3	28.6	-	-
	難病	65	70.8	18.5	3.1	6.2	1.5
	知的障害	417	61.2	29.3	7.4	1.9	0.2
	精神障害（発達障害・高次脳機能障害を 含まない）	146	62.3	23.3	11.0	3.4	-
	発達障害	242	60.7	30.2	7.4	0.8	0.8
高次脳機能障害	40	50.0	25.0	17.5	7.5	-	
その他	54	79.6	14.8	5.6	-	-	

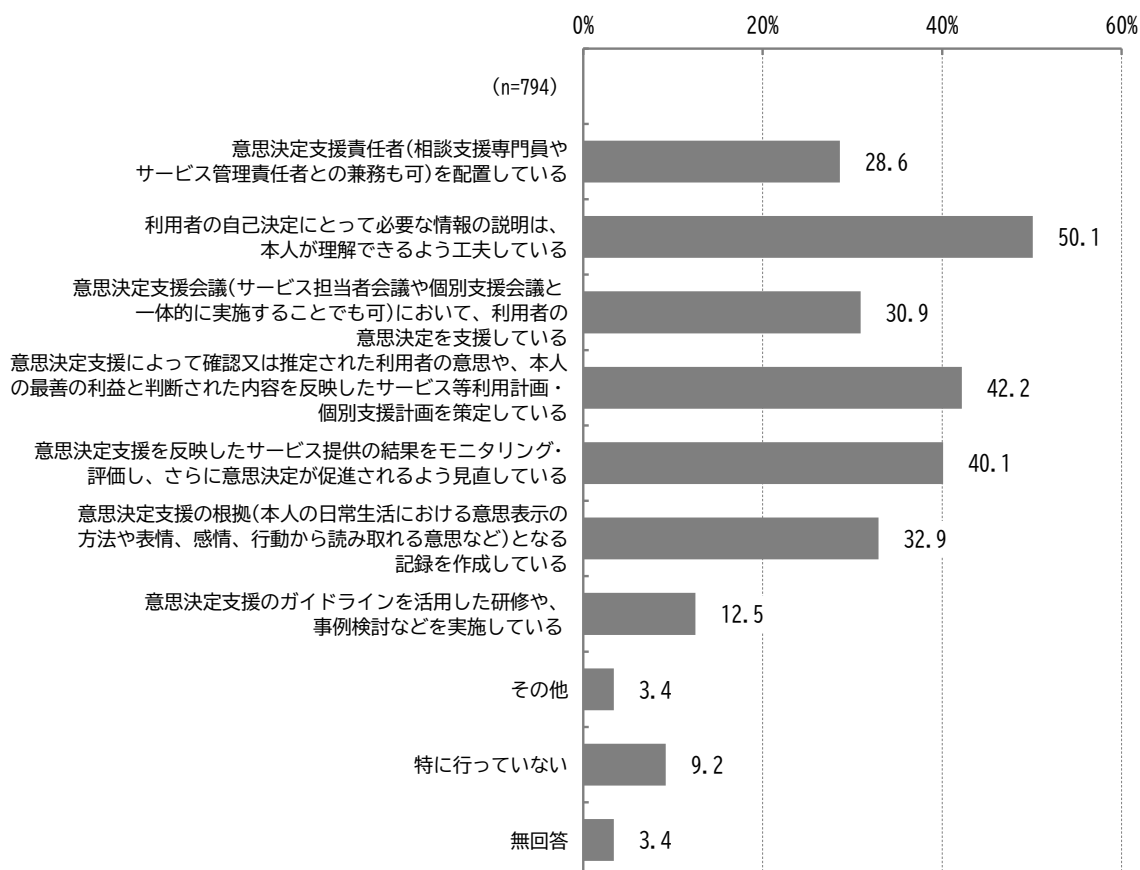
問 27 あなたの事業所では、利用者の意思決定を支援する取組や相談をしていますか。(〇はいくつでも)

「利用者の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるよう工夫している」が50.1%と最も多く、次いで「意思決定支援によって確認又は推定された利用者の意思や、本人の最善の利益と判断された内容を反映したサービス等利用計画・個別支援計画を策定している」が42.2%、「意思決定支援を反映したサービス提供の結果をモニタリング・評価し、さらに意思決定が促進されるよう見直している」が40.1%、「意思決定支援の根拠(本人の日常生活における意思表示の方法や表情、感情、行動から読み取れる意思など)となる記録を作成している」が32.9%の順となっています。

提供サービス別にみると、居住系は「意思決定支援によって確認又は推定された利用者の意思や、本人の最善の利益と判断された内容を反映したサービス等利用計画・個別支援計画を策定している」、障害児系は「意思決定支援を反映したサービス提供の結果をモニタリング・評価し、さらに意思決定が促進されるよう見直している」、それ以外は「利用者の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるよう工夫している」が最も多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、重度重複障害は「意思決定支援によって確認又は推定された利用者の意思や、本人の最善の利益と判断された内容を反映したサービス等利用計画・個別支援計画を策定している」、難病は「意思決定支援会議(サービス担当者会議や個別支援会議と一体的に実施することでも可)において、利用者の意思決定を支援している」、それ以外は「利用者の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるよう工夫している」が最も多くなっています。

現在の事業所での勤務の希望別にみると、いずれも「利用者の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるよう工夫している」が最も多くなっています。



【提供サービス別・利用者の主な障害別・現在の事業所での勤務の希望別】

単位：%

区分		回答者数（件）	意思決定支援責任者（相談支援専門員やサービス管理責任者との兼務も可）を配置している	利用者の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるように工夫している	意思決定支援会議（サービス担当者会議や個別支援会議と一体的に実施することも可）において、利用者の意思決定を支援している	意思決定支援によって確認又は推定された利用者の意欲や、本人の最善の利益と判断された内容を反映したサービス等利用計画・個別支援計画を策定している	意思決定支援を反映したサービス提供の結果をモニタリング・評価し、さらに意思決定が促進されるよう見直している	意思決定支援の根拠（本人の日常生活における意思表示の方法や表情、感情、行動から読み取れる意欲など）となる記録を作成している	意思決定支援のガイドラインを活用した研修や、事例検討などを実施している	その他	特に行っていない	無回答
全体		794	28.6	50.1	30.9	42.2	40.1	32.9	12.5	3.4	9.2	3.4
提供サービス別	訪問系	167	24.6	51.5	26.9	29.3	24.0	25.1	13.8	2.4	13.8	3.6
	居住系	175	30.3	49.1	53.1	56.6	56.0	35.4	14.9	2.9	1.7	1.1
	日中活動系	257	30.0	61.5	29.6	46.7	42.4	35.8	14.4	5.1	5.4	3.1
	障害児系	236	28.8	36.9	19.1	36.4	38.1	34.7	10.6	5.1	12.7	5.1
	相談支援系	77	35.1	57.1	27.3	51.9	44.2	35.1	14.3	2.6	6.5	2.6
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	34.7	42.7	30.7	46.7	34.7	44.0	16.0	4.0	9.3	2.7
	視覚障害	29	37.9	69.0	24.1	34.5	27.6	27.6	6.9	3.4	3.4	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	-	83.3	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	50.0	80.0	20.0	40.0	50.0	50.0	20.0	10.0	-	-
	肢体不自由	158	28.5	51.9	26.6	38.6	37.3	35.4	10.8	1.9	12.7	5.7
	内部障害	7	28.6	42.9	28.6	14.3	-	14.3	14.3	-	14.3	-
	難病	65	13.8	44.6	53.8	52.3	46.2	23.1	12.3	1.5	9.2	1.5
	知的障害	417	29.3	54.0	28.3	40.3	39.8	33.1	12.5	3.6	8.6	2.9
	精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）	146	32.9	68.5	35.6	41.8	41.1	36.3	15.1	2.1	8.9	2.1
	発達障害	242	27.7	47.1	24.0	38.8	42.1	34.3	9.9	4.1	10.7	5.0
	高次脳機能障害	40	22.5	60.0	32.5	40.0	37.5	40.0	20.0	5.0	7.5	2.5
	その他	54	9.3	16.7	72.2	79.6	75.9	11.1	1.9	1.9	1.9	1.9
現在の事業所での勤務の希望別	働き続けたい	608	183	304	191	256	248	199	73	18	51	22
	離職・転職を考えている	159	39	79	47	68	60	49	23	8	19	5
	その他	27	5	15	7	11	10	13	3	1	3	-

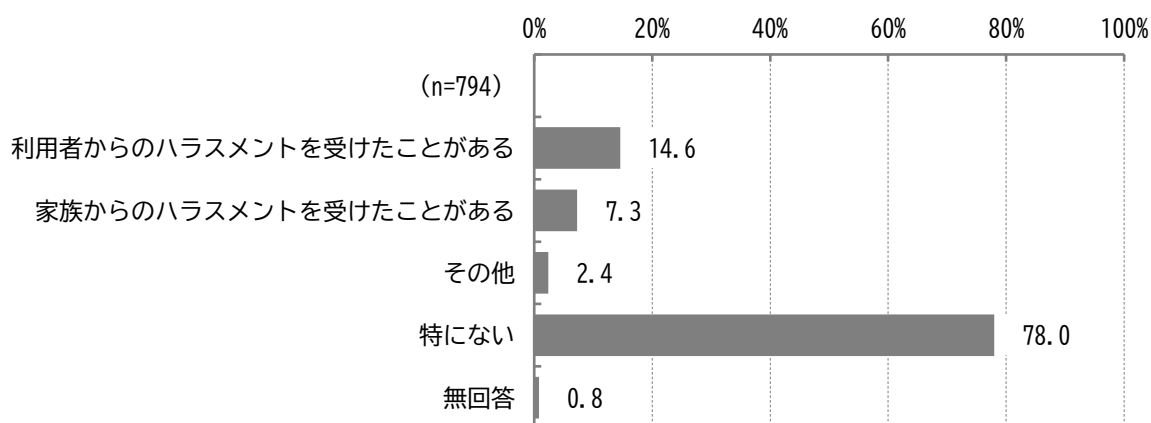
問 28 あなたは、この1年間で利用者やその家族から暴力や暴言、契約以外のサービスの強要などのハラスメントを受けたことはありますか。(〇はいくつでも)

「利用者からのハラスメントを受けたことがある」が14.6%、「家族からのハラスメントを受けたことがある」が7.3%の順となっており、「特にない」は78.0%となっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「家族からのハラスメントを受けたことがある」、それ以外は「利用者からのハラスメントを受けたことがある」が多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害は「利用者からのハラスメントを受けたことがある」と「家族からのハラスメントを受けたことがある」が同率で、それ以外は「利用者からのハラスメントを受けたことがある」が多くなっています。

職層別にみると、経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）は「利用者からのハラスメントを受けたことがある」と「家族からのハラスメントを受けたことがある」が同率で、それ以外は「利用者からのハラスメントを受けたことがある」が多くなっています。



【提供サービス別・利用者の主な障害別・職層別】

単位：％

区分		回答者数(件)	利用者からのハラスメントを受けたことがある	家族からのハラスメントを受けたことがある	その他	特にない	無回答
全体		794	14.6	7.3	2.4	78.0	0.8
提供サービス別	訪問系	167	22.2	10.8	1.2	69.5	0.6
	居住系	175	16.6	9.1	2.9	75.4	0.6
	日中活動系	257	19.8	7.4	4.3	72.4	0.4
	障害児系	236	4.7	4.2	1.3	89.4	1.3
	相談支援系	77	13.0	14.3	2.6	75.3	-
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	22.0	8.0	4.0	70.0	0.7
	視覚障害	29	31.0	3.4	3.4	62.1	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	16.7	16.7	16.7	50.0	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	10.0	10.0	-	90.0	-
	肢体不自由	158	17.7	10.1	1.9	73.4	1.9
	内部障害	7	28.6	14.3	-	57.1	-
	難病	65	9.2	3.1	-	86.2	1.5
	知的障害	417	14.9	8.4	2.6	78.2	0.2
	精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）	146	19.2	6.8	3.4	74.0	0.7
	発達障害	242	7.4	6.6	1.2	84.7	1.7
高次脳機能障害	40	20.0	7.5	-	75.0	-	
その他	54	7.4	-	1.9	90.7	-	
職層別	経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）	58	10.3	10.3	5.2	75.9	1.7
	指導・管理職層（職員のまとめ役）	112	14.3	12.5	1.8	75.9	-
	一般職員・担当職員	591	15.6	6.3	2.2	77.8	0.8
	その他	33	6.1	3.0	3.0	90.9	-

問 29 (問 28 で「1」「2」に○をつけた方)

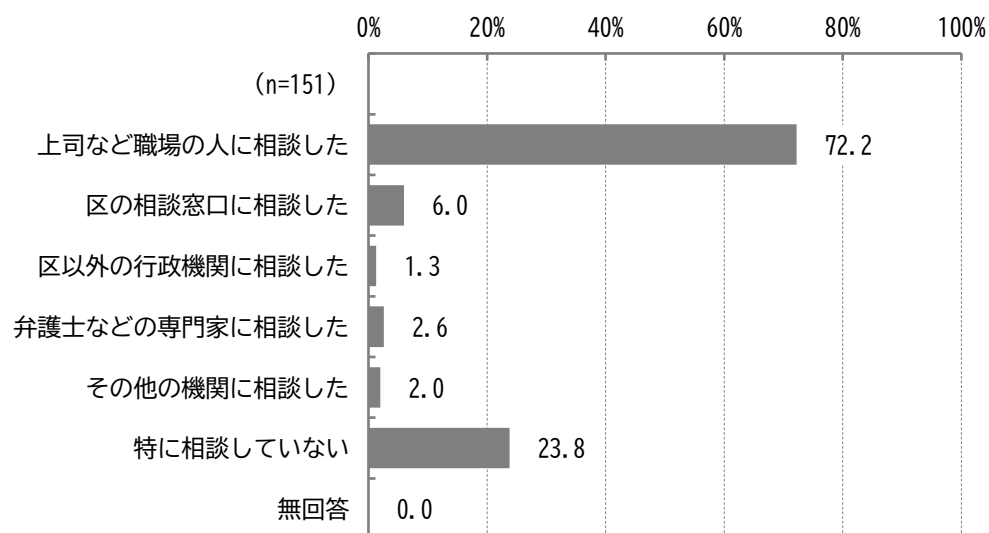
あなたはハラスメントを受けたことを、どなたかに相談・報告をしましたか。(○はいくつでも)

「上司など職場の人に相談した」が72.2%と最も多く、「区の相談窓口相談した」が6.0%、「弁護士などの専門家に相談した」が2.6%の順となっており、「特に相談していない」は23.8%となっています。

提供サービス別にみると、いずれも「上司など職場の人に相談した」が最も多く、次いで「特に相談していない」が多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、視覚障害は「上司など職場の人に相談した」と「特に相談していない」、それ以外は「上司など職場の人に相談した」が最も多くなっています。

職層別にみると、いずれも「上司など職場の人に相談した」が最も多く、次いで経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）は「区の相談窓口相談した」、それ以外は「特に相談していない」が多くなっています。



【提供サービス別・利用者の主な障害別・職層別】

単位：%

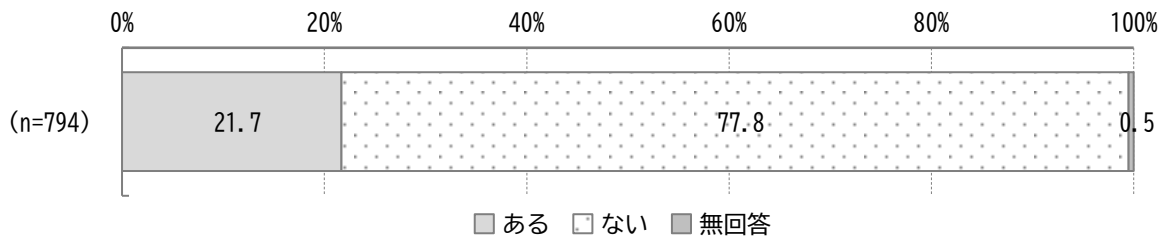
区分		回答者数(件)	上司など職場の人に相談した	区の相談窓口にご相談した	区以外の行政機関に相談した	弁護士などの専門家に相談した	その他の機関に相談した	特に相談していない	無回答
全体		151	72.2	6.0	1.3	2.6	2.0	23.8	-
提供サービス別	訪問系	48	79.2	6.3	-	4.2	2.1	14.6	-
	居住系	38	68.4	7.9	2.6	2.6	5.3	23.7	-
	日中活動系	60	63.3	3.3	1.7	-	1.7	35.0	-
	障害児系	19	68.4	-	-	5.3	-	26.3	-
	相談支援系	17	76.5	11.8	-	-	5.9	23.5	-
利用者の主な障害別	重度重複障害	39	74.4	5.1	-	-	2.6	20.5	-
	視覚障害	10	50.0	10.0	-	-	-	50.0	-
	聴覚障害・平衡機能障害	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	肢体不自由	36	72.2	5.6	-	2.8	-	27.8	-
	内部障害	3	100.0	-	-	-	-	-	-
	難病	8	87.5	12.5	-	12.5	-	-	-
	知的障害	80	67.5	5.0	2.5	1.3	3.8	28.8	-
	精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）	32	78.1	12.5	3.1	3.1	3.1	15.6	-
	発達障害	30	80.0	10.0	-	3.3	-	16.7	-
高次脳機能障害	10	70.0	-	-	10.0	-	20.0	-	
その他	4	75.0	-	-	-	-	25.0	-	
職層別	経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）	10	40.0	30.0	-	20.0	10.0	20.0	-
	指導・管理職層（職員のみとめ役）	25	80.0	12.0	4.0	-	4.0	16.0	-
	一般職員・担当職員	113	73.5	2.7	0.9	1.8	-	26.5	-
	その他	3	66.7	-	-	-	33.3	-	-

## (6) 虐待防止について

問 31 あなたは、虐待や不適切な支援と思われるような場面を見聞きしたことがありますか。  
ある場合は、具体的にどのような場面ですか。(〇は1つ)

「ある」が21.7%、「ない」が77.8%となっています。

提供サービス別、利用者の主な障害別・職層別にみると、いずれも「ない」が最も多く、次いで「ある」が多くなっています。



### 【提供サービス別・利用者の主な障害別・職層別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全体	794	21.7	77.8	0.5
提供サービス別				
訪問系	167	26.9	71.9	1.2
居住系	175	26.3	73.7	-
日中活動系	257	26.5	73.5	-
障害児系	236	13.6	85.6	0.8
相談支援系	77	29.9	70.1	-
利用者の主な障害別				
重度重複障害	150	24.7	75.3	-
視覚障害	29	24.1	75.9	-
聴覚障害・平衡機能障害	6	50.0	50.0	-
音声・言語・そしゃく機能障害	10	30.0	70.0	-
肢体不自由	158	23.4	74.1	2.5
内部障害	7	14.3	85.7	-
難病	65	18.5	80.0	1.5
知的障害	417	26.9	73.1	-
精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）	146	17.8	82.2	-
発達障害	242	19.4	79.8	0.8
高次脳機能障害	40	15.0	82.5	2.5
その他	54	5.6	94.4	-
職層別				
経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）	58	32.8	65.5	1.7
指導・管理職層（職員のみ）	112	36.6	63.4	-
一般職員・担当職員	591	17.8	81.7	0.5
その他	33	21.2	78.8	-

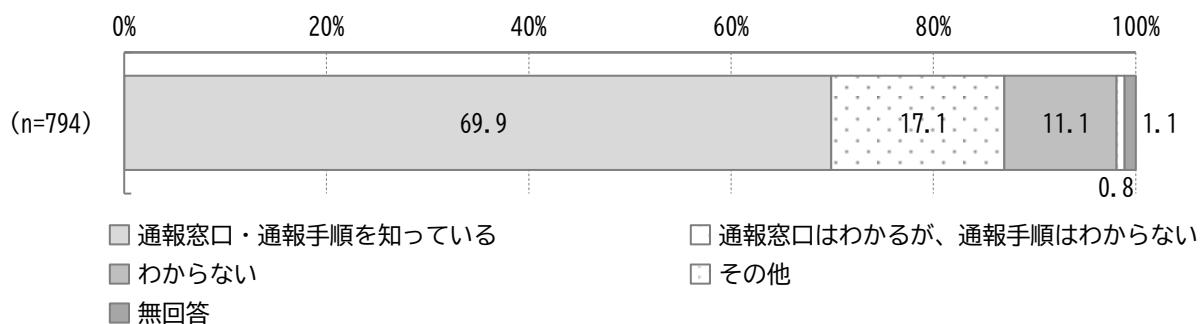
問 32 あなたは、虐待や不適切な支援などがあった場合の通報窓口や、通報手順を知っていますか。  
(〇は1つ)

「通報窓口・通報手順を知っている」が 69.9%と最も多く、次いで「通報窓口はわかるが、通報手順はわからない」が 17.1%、「わからない」が 11.1%の順となっています。

提供サービス別にみると、いずれも「通報窓口・通報手順を知っている」が最も多く、次いで訪問系は「通報窓口はわかるが、通報手順はわからない」と「わからない」が同率で、それ以外は「通報窓口はわかるが、通報手順はわからない」が多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、いずれも「通報窓口・通報手順を知っている」が最も多く、次いで難病は「わからない」、それ以外は「通報窓口はわかるが、通報手順はわからない」が多くなっています。

職層別にみると、いずれも「通報窓口・通報手順を知っている」が最も多く、次いで「通報窓口はわかるが、通報手順はわからない」が多くなっています。



【提供サービス別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	通報窓口・通報手順を知っている	通報窓口はわかるが、通報手順はわからない	わからない	その他	無回答
全体	794	69.9	17.1	11.1	0.8	1.1
提供サービス別						
訪問系	167	65.9	15.6	15.6	1.2	1.8
居住系	175	77.1	14.3	5.7	1.7	1.1
日中活動系	257	66.1	21.8	10.9	0.8	0.4
障害児系	236	68.2	16.5	14.0	-	1.3
相談支援系	77	79.2	11.7	6.5	1.3	1.3

【利用者の主な障害別・職層別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	通報窓口・通報手順を 知っている	通報窓口はわかるが、 通報手順はわからない	わからない	その他	無回答	
全体	794	69.9	17.1	11.1	0.8	1.1	
利用者の 主な障害別	重度重複障害	150	64.7	21.3	12.0	0.7	1.3
	視覚障害	29	65.5	24.1	10.3	-	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	83.3	16.7	-	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	80.0	10.0	-	-	10.0
	肢体不自由	158	67.1	19.0	11.4	0.6	1.9
	内部障害	7	57.1	14.3	28.6	-	-
	難病	65	75.4	9.2	13.8	-	1.5
	知的障害	417	71.7	16.8	10.1	1.0	0.5
	精神障害（発達障害・高次脳機能障害 を含まない）	146	65.8	22.6	8.9	1.4	1.4
	発達障害	242	70.7	14.9	12.8	-	1.7
	高次脳機能障害	40	55.0	27.5	15.0	-	2.5
その他	54	85.2	5.6	7.4	1.9	-	
職層別	経営職層（経営者・役員等）、管理職 （施設長・事務長等）	58	89.7	5.2	3.4	-	1.7
	指導・管理職層（職員のまとめ役）	112	90.2	8.0	1.8	-	-
	一般職員・担当職員	591	65.1	20.0	12.5	1.0	1.4
	その他	33	51.5	18.2	30.3	-	-

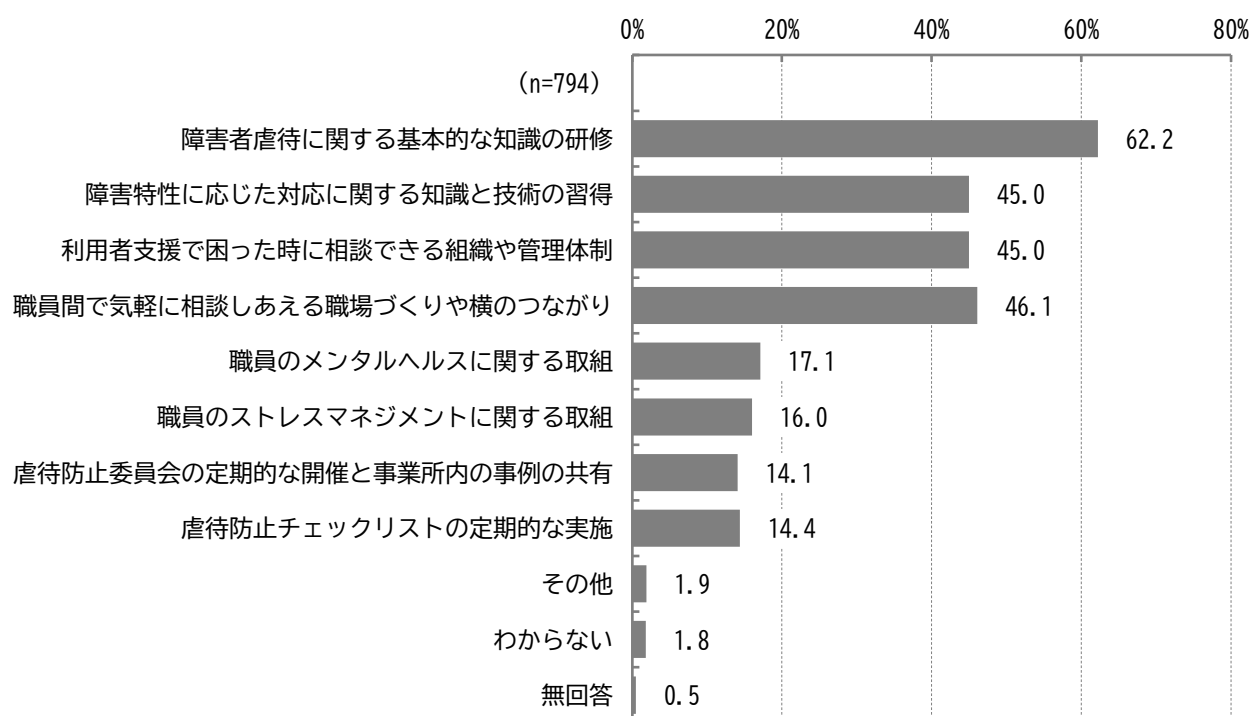
問 33 あなたの事業所は、障害者虐待を起こさないために必要な仕組みや取組は、どんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

「障害者虐待に関する基本的な知識の研修」が62.2%と最も多く、次いで「職員間で気軽に相談しあえる職場づくりや横のつながり」が46.1%、「障害特性に応じた対応に関する知識と技術の習得」と「利用者支援で困った時に相談できる組織や管理体制」が45.0%、「職員のメンタルヘルスに関する取組」が17.1%の順となっています。

提供サービス別にみると、相談支援系は「利用者支援で困った時に相談できる組織や管理体制」、それ以外は「障害者虐待に関する基本的な知識の研修」が最も多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、音声・言語・そしゃく機能障害は「職員間で気軽に相談しあえる職場づくりや横のつながり」、それ以外は「障害者虐待に関する基本的な知識の研修」が最も多くなっています。

職層別にみると、いずれも「障害者虐待に関する基本的な知識の研修」が最も多く、次いで経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）は「職員間で気軽に相談しあえる職場づくりや横のつながり」、指導・管理職層（職員のまとめ役）は「利用者支援で困った時に相談できる知識や管理体制」、一般職員・担当職員は「障害特性に応じた対応に関する知識と技術の習得」が多くなっています。



【提供サービス別・利用者の主な障害別・職層別】

単位：%

区分	回答者数(件)	障害者虐待に関する基本的な知識の研修	障害特性に応じた対応に関する知識と技術の習得	利用者支援で困った時に相談できる組織や管理体制	職員間で気軽に相談しあえる職場づくりや横のつながり	職員のメンタルヘルスに関する取組	職員のストレスマネジメントに関する取組	虐待防止委員会の定期的な開催と事業所内の事例の共有	虐待防止チェックリストの定期的な実施	その他	わからない	無回答	
全体	794	62.2	45.0	45.0	46.1	17.1	16.0	14.1	14.4	1.9	1.8	0.5	
提供サービス別	訪問系	167	61.1	43.1	47.9	44.9	13.8	13.2	11.4	13.2	0.6	3.0	0.6
	居住系	175	59.4	41.1	41.1	40.0	14.3	17.1	28.0	22.3	2.9	1.1	-
	日中活動系	257	63.4	44.0	46.3	45.9	20.2	19.8	11.3	12.1	3.5	1.2	0.4
	障害児系	236	63.6	47.9	45.8	52.5	16.5	13.6	10.2	11.0	0.4	2.1	0.8
	相談支援系	77	59.7	54.5	62.3	48.1	9.1	14.3	11.7	5.2	1.3	1.3	-
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	63.3	38.0	46.0	40.7	15.3	14.7	13.3	12.0	3.3	3.3	0.7
	視覚障害	29	55.2	44.8	48.3	34.5	17.2	31.0	6.9	17.2	3.4	3.4	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	50.0	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	-	-	16.7	16.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	50.0	60.0	40.0	70.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-
	肢体不自由	158	66.5	42.4	48.1	40.5	17.7	12.7	10.8	12.7	1.9	0.6	2.5
	内部障害	7	57.1	42.9	42.9	42.9	-	14.3	-	-	-	-	-
	難病	65	50.8	43.1	41.5	47.7	13.8	9.2	30.8	32.3	-	1.5	1.5
	知的障害	417	61.4	46.5	46.3	49.4	19.7	19.7	11.0	11.3	2.4	1.0	-
	精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	146	67.1	46.6	46.6	46.6	16.4	17.1	10.3	16.4	2.1	1.4	-
	発達障害	242	61.2	49.6	46.3	51.7	16.5	15.3	12.4	7.9	0.4	2.5	0.8
高次脳機能障害	40	57.5	47.5	37.5	52.5	27.5	12.5	7.5	10.0	-	2.5	-	
その他	54	61.1	38.9	29.6	24.1	11.1	1.9	57.4	51.9	1.9	1.9	-	
職層別	経営職層(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等)	58	62.1	37.9	37.9	53.4	12.1	19.0	25.9	15.5	1.7	-	-
	指導・管理職層(職員のまとめ役)	112	55.4	36.6	50.0	41.1	19.6	25.0	23.2	19.6	0.9	-	0.9
	一般職員・担当職員	591	64.0	47.2	44.8	46.4	17.6	14.4	11.3	13.5	1.9	2.2	0.5
	その他	33	54.5	45.5	42.4	45.5	9.1	9.1	12.1	9.1	6.1	3.0	-

## (7) 共生社会の実現に向けて

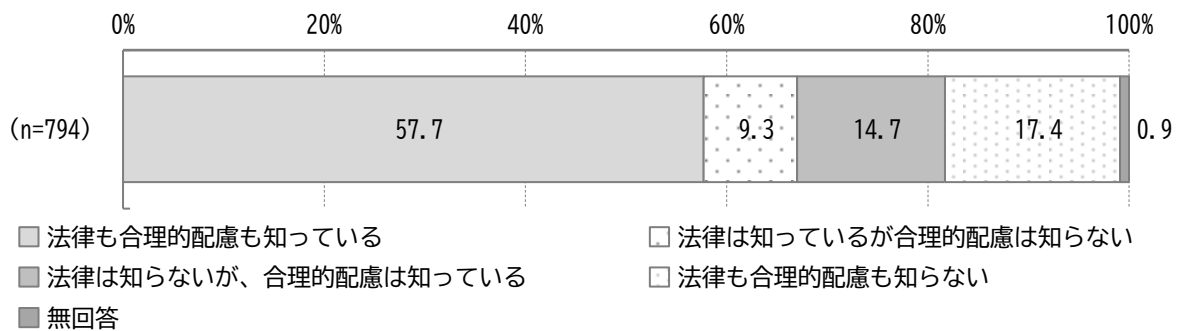
問 34 あなたは「障害者差別解消法」や「合理的配慮」について、知っていますか。(○は1つ)

「法律も合理的配慮も知っている」が57.7%と最も多く、次いで「法律も合理的配慮も知らない」が17.4%、「法律は知らないが、合理的配慮は知っている」が14.7%、「法律は知っているが合理的配慮は知らない」が9.3%の順となっています。

年齢別にみると、いずれも「法律も合理的配慮も知っている」が最も多く、次いで50～54歳は「法律は知っているが合理的配慮は知らない」、24歳以下、25～39歳、35～39歳、45～49歳は「法律は知らないが、合理的配慮は知っている」、それ以外は「法律も合理的配慮も知らない」が多くなっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「法律も合理的配慮も知っている」と「法律も合理的配置も知らない」が同率で、それ以外は「法律も合理的配慮も知っている」が最も多くなっています。

職層別にみると、いずれも「法律も合理的配慮も知っている」が最も多く、次いで経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）は「法律も合理的配慮も知らない」、指導・管理職層（職員のまとめ役）は「法律は知らないが、合理的配慮は知っている」、一般職員・担当職員は「法律は知っているが、合理的配慮は知らない」が多くなっています。



【年齢別・提供サービス別・職層別】

単位：%

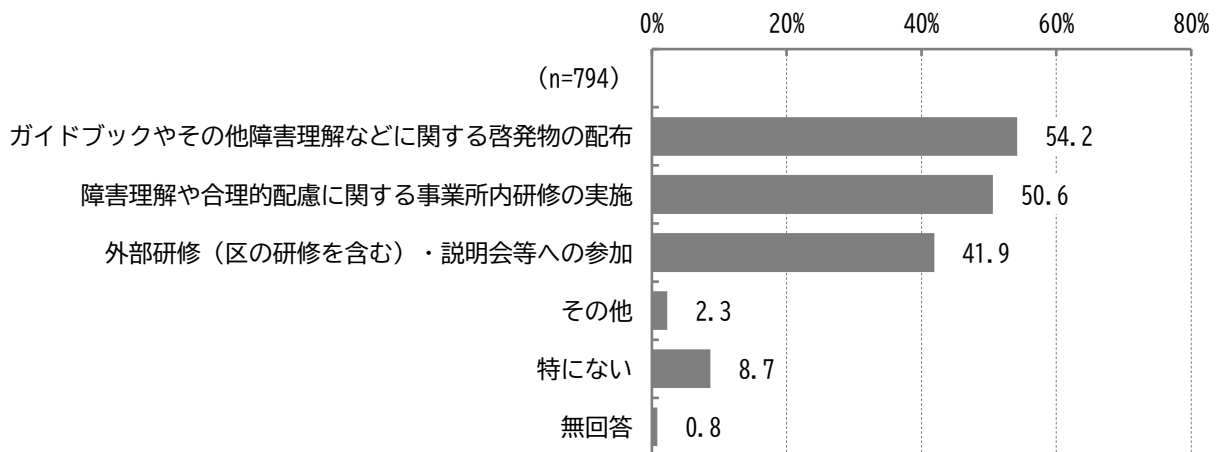
区分		回答者数 (件)	法律も合理的配慮も知っ ている	法律は知っているが合理 的配慮は知らない	法律は知らないが、合理 的配慮は知っている	法律も合理的配慮も知ら ない	無回答
全体		794	57.7	9.3	14.7	17.4	0.9
年齢別	24歳以下	26	69.2	3.8	15.4	11.5	-
	25～29歳	70	60.0	8.6	17.1	11.4	2.9
	30～34歳	71	66.2	4.2	14.1	15.5	-
	35～39歳	61	63.9	4.9	16.4	14.8	-
	40～44歳	82	61.0	4.9	14.6	18.3	1.2
	45～49歳	121	57.9	10.7	16.5	14.0	0.8
	50～54歳	122	61.5	14.8	12.3	11.5	-
	55～59歳	80	56.3	10.0	11.3	22.5	-
	60～64歳	80	48.8	7.5	16.3	25.0	2.5
	65歳以上	81	40.7	14.8	14.8	28.4	1.2
提供サービス別	訪問系	167	33.5	18.6	12.6	33.5	1.8
	居住系	175	65.7	10.3	8.6	14.9	0.6
	日中活動系	257	65.0	6.2	14.8	13.2	0.8
	障害児系	236	58.9	7.6	18.6	14.0	0.8
	相談支援系	77	79.2	9.1	5.2	6.5	-
職層別	経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）	58	62.1	37.9	37.9	53.4	12.1
	指導・管理職層（職員のまとめ役）	112	55.4	36.6	50.0	41.1	19.6
	一般職員・担当職員	591	64.0	47.2	44.8	46.4	17.6
	その他	33	54.5	45.5	42.4	45.5	9.1

問 35 「障害者差別解消法」や「合理的配慮」をより多くの職員が知るにあたり、あなたが区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

「ガイドブックやその他障害理解などに関する啓発物の配布」が 54.2%と最も多く、次いで「障害理解や合理的配慮に関する事業所内研修の実施」が 50.6%、「外部研修（区の研修を含む）・説明会等への参加」が 41.9%の順となっており、「特にない」は 8.7%となっています。

提供サービス別にみると、居住系は「ガイドブックやその他障害理解などに関する啓発物の配布」と「外部研修（区の研修を含む）・説明会等への参加」、障害児系と相談支援系は「障害理解や合理的配慮に関する事業所内研修の実施」、それ以外は「ガイドブックやその他障害理解などに関する啓発物の配布」が最も多くなっています。

職層別にみると、いずれも「ガイドブックやその他障害理解などに関する啓発物の配布」が最も多く、次いで経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）は「外部研修（区の研修を含む）・説明会等への参加」、それ以外は「ガイドブックやその他障害理解などに関する啓発物の配布」が多くなっています。



【提供サービス別・職層別】

単位：%

区分	回答者数(件)	ガイドブックやその他障害理解などに関する啓発物の配布	障害理解や合理的配慮に関する事業所内研修の実施	外部研修（区の研修を含む）・説明会等への参加	その他	特にない	無回答	
全体	794	54.2	50.6	41.9	2.3	8.7	0.8	
提供サービス別	訪問系	167	58.1	40.7	32.3	1.2	10.2	1.8
	居住系	175	58.3	56.6	58.3	1.7	7.4	-
	日中活動系	257	52.1	49.4	39.7	3.1	8.9	-
	障害児系	236	50.0	51.3	43.2	2.1	6.8	1.3
	相談支援系	77	51.9	59.7	54.5	1.3	9.1	-
職層別	経営職層（経営者・役員等）、管理職（施設長・事務長等）	58	60.3	46.6	48.3	1.7	8.6	-
	指導・管理職層（職員のまとめ役）	112	58.0	55.4	48.2	1.8	8.0	0.9
	一般職員・担当職員	591	53.3	50.6	40.9	2.2	8.5	0.7
	その他	33	45.5	42.4	27.3	6.1	15.2	3.0

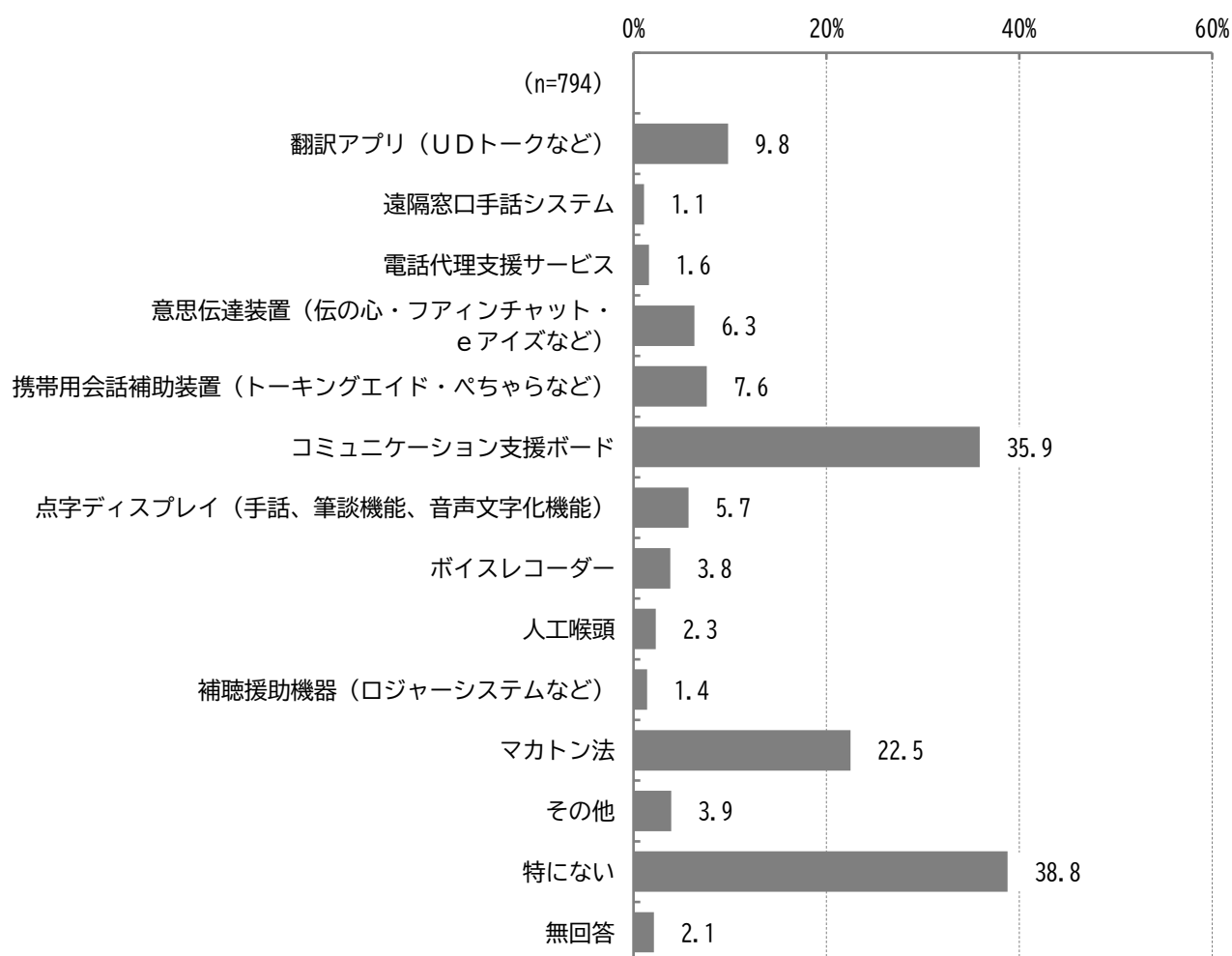
問 36 障害特性で意思疎通が難しい利用者の対応について

① あなたが支援に関わったことのある意思疎通支援のツールはありますか。(〇はいくつでも)

「コミュニケーション支援ボード」が35.9%と最も多く、次いで「マカトン法」が22.5%、「翻訳アプリ（UDトークなど）」が9.8%、「携帯用会話補助装置（トーキングエイド・ペチャらなど）」が7.6%の順となっており、「特にない」は38.8%となっています。

提供サービス別にみると、障害児系は「マカトン法」が最も多くなっており、それ以外は「コミュニケーション支援ボード」が多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、重度重複障害と音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、難病は「コミュニケーション支援ボード」、視覚障害と知的障害、精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）、発達障害、高次脳機能障害は「特にない」が最も多くなっています。



【提供サービス別・利用者の主な障害別】

単位：％

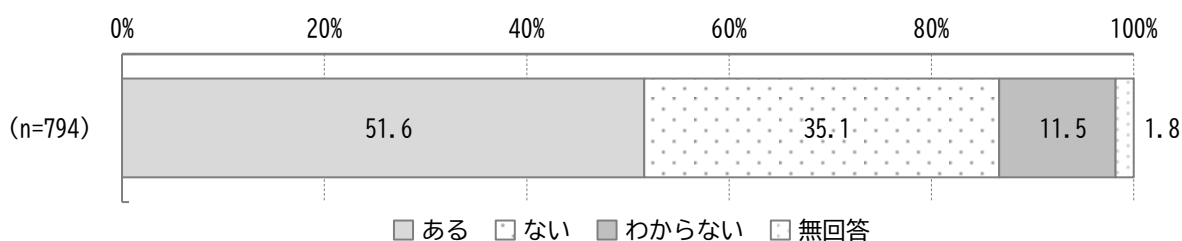
区分	回答者数(件)	翻訳アプリ(UDトークなど)	遠隔窓口手話システム	電話代理支援サービス	意思伝達装置 (伝の心・フラインチャット・eアイズなど)	携帯用会話補助装置 (トーキングエイド・ペチャらなど)	コミュニケーション支援ボード	点字ディスプレイ (手話、筆談機能、音声文字化機能)	ボイスレコーダー	人工喉頭	補聴援助機器(ロジャーシステムなど)	マカトン法	その他	特にない	無回答	
全体	794	9.8	1.1	1.6	6.3	7.6	35.9	5.7	3.8	2.3	1.4	22.5	3.9	38.8	2.1	
提供サービス別	訪問系	167	7.8	1.8	1.2	16.8	6.0	31.7	4.8	4.8	3.0	5.4	3.0	44.3	1.8	
	居住系	175	4.0	0.6	1.7	1.1	5.7	45.1	4.0	2.9	0.6	13.7	4.6	35.4	2.3	
	日中活動系	257	8.2	0.4	2.3	4.3	10.9	32.7	6.2	4.3	1.6	24.1	5.8	40.9	1.9	
	障害児系	236	13.6	0.8	-	3.8	5.9	35.6	5.1	3.8	2.1	1.3	38.6	4.2	34.3	2.1
	相談支援系	77	22.1	3.9	3.9	6.5	10.4	33.8	5.2	3.9	2.6	3.9	28.6	2.6	40.3	2.6
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	8.0	1.3	0.7	11.3	14.7	44.7	6.0	3.3	4.0	-	28.0	3.3	27.3	1.3
	視覚障害	29	6.9	3.4	3.4	6.9	3.4	17.2	20.7	13.8	-	3.4	13.8	-	51.7	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	16.7	-	-	16.7	-	50.0	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	50.0	10.0	-	10.0	20.0	80.0	10.0	-	10.0	-	50.0	10.0	-	10.0
	肢体不自由	158	12.0	0.6	1.9	5.7	14.6	41.1	5.1	3.8	2.5	0.6	27.2	2.5	28.5	3.2
	内部障害	7	-	-	-	28.6	14.3	42.9	-	-	-	14.3	-	-	57.1	-
	難病	65	4.6	-	-	27.7	10.8	67.7	4.6	-	4.6	1.5	1.5	1.5	18.5	1.5
	知的障害	417	11.5	1.2	1.9	2.9	5.8	32.6	5.0	4.1	1.7	1.7	29.5	4.6	40.5	1.7
	精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	146	6.8	0.7	4.8	4.1	4.8	17.8	5.5	6.8	3.4	2.7	8.9	4.8	61.0	0.7
	発達障害	242	12.8	0.8	1.2	2.9	6.2	34.7	5.4	3.3	1.7	2.1	31.0	4.5	38.4	2.9
高次脳機能障害	40	5.0	2.5	5.0	12.5	10.0	30.0	12.5	5.0	10.0	2.5	10.0	5.0	40.0	2.5	
その他	54	9.3	-	-	3.7	1.9	77.8	3.7	-	1.9	-	3.7	1.9	11.1	1.9	

問 36 ② あなたが支援している利用者に対し、この1年間で意思疎通において困難に感じたことはありますか。(○は1つ)

「ある」が51.6%、「ない」が35.1%、「わからない」が11.5%となっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「ない」、それ以外は「ある」が最も多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、重度重複障害と音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、難病、知的障害、発達障害、高次脳機能障害は「ある」、視覚障害と精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）は「ない」が最も多くなっています。



【提供サービス別・利用者の主な障害別】

単位：%

区分		回答者数 (件)	ある	ない	わからない	無回答
全体		794	51.6	35.1	11.5	1.8
提供サービス別	訪問系	167	43.1	43.7	11.4	1.8
	居住系	175	48.6	42.3	7.4	1.7
	日中活動系	257	67.3	23.7	7.8	1.2
	障害児系	236	50.8	31.4	15.7	2.1
	相談支援系	77	49.4	29.9	16.9	3.9
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	69.3	17.3	12.7	0.7
	視覚障害	29	37.9	51.7	10.3	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	66.7	16.7	16.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	70.0	20.0	10.0	-
	肢体不自由	158	61.4	24.7	10.8	3.2
	内部障害	7	57.1	14.3	28.6	-
	難病	65	44.6	43.1	10.8	1.5
	知的障害	417	58.3	30.7	9.8	1.2
	精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）	146	44.5	48.6	4.8	2.1
	発達障害	242	47.9	37.6	12.0	2.5
	高次脳機能障害	40	52.5	32.5	15.0	-
その他	54	14.8	68.5	14.8	1.9	

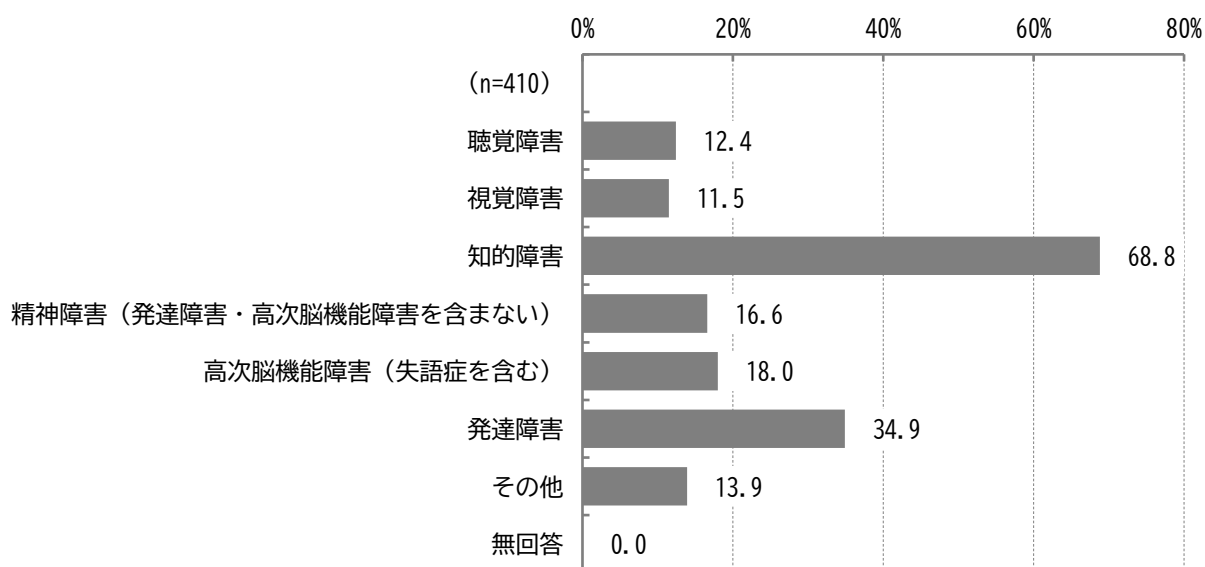
問 36 ③ (②で「1. ある」に○をつけた人)

困難に感じた利用者は、どのような障害のある方ですか。(○はいくつでも)

「知的障害」が68.8%と最も多く、次いで「発達障害」が34.9%、「高次脳機能障害(失語症を含む)」が18.0%、「精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)」が16.6%の順となっています。

提供サービス別にみると、いずれも「知的障害」が最も多く、次いで居住系は「精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)」、日中活動系は「高次脳機能障害(失語症を含む)」、障害児系と相談支援系は「発達障害」が多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、重度重複障害と視覚障害、肢体不自由、知的障害、精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)は「知的障害」、発達障害は「発達障害」、高次脳機能障害は「高次脳機能障害(失語症を含む)」が最も多くなっています。



【提供サービス別・利用者の主な障害別】

単位：％

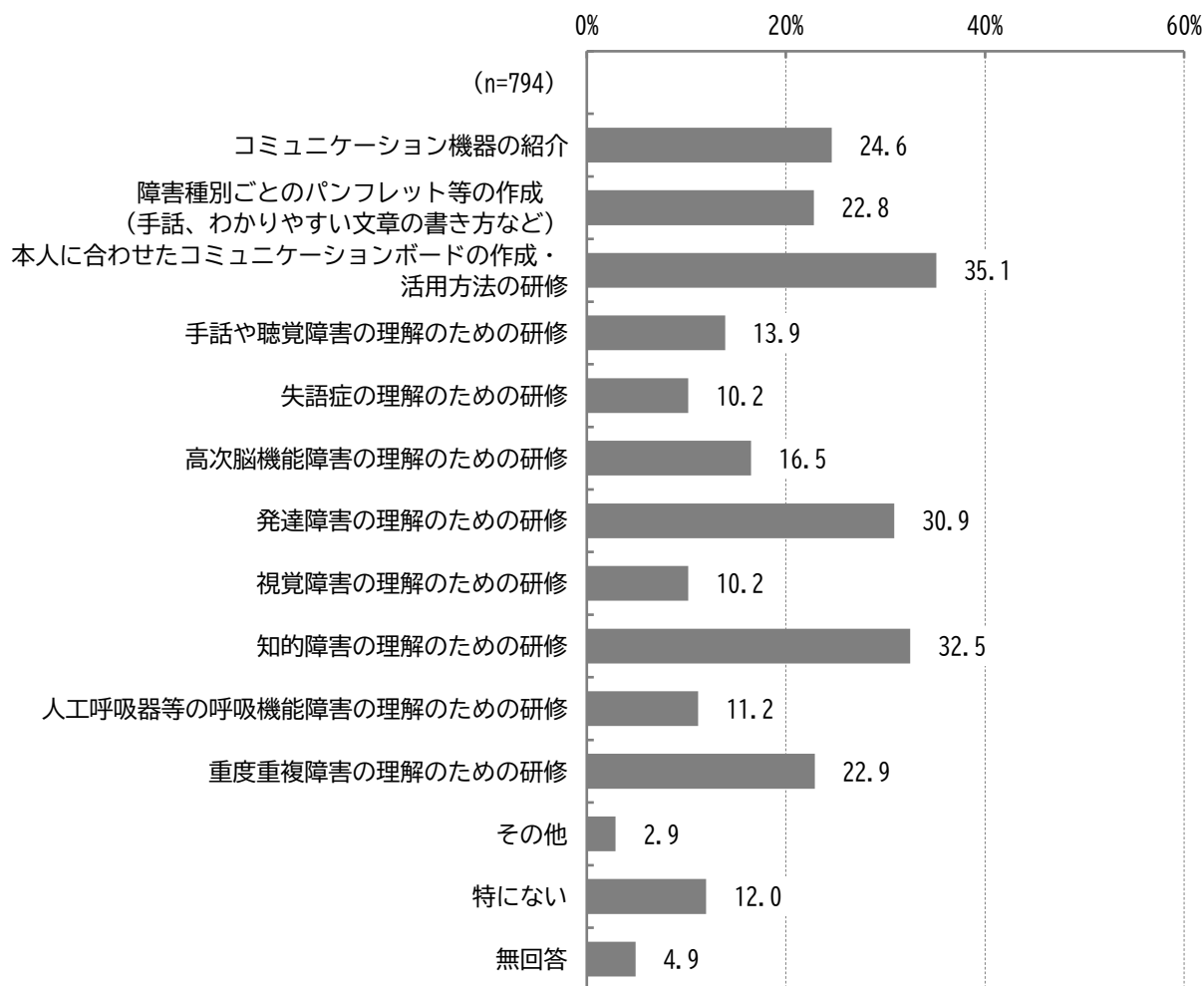
区分	回答者数 (件)	聴覚障害	視覚障害	知的障害	精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	高次脳機能障害(失語症を含む)	発達障害	その他	無回答	
全体	410	12.4	11.5	68.8	16.6	18.0	34.9	13.9	-	
提供サービス別	訪問系	72	16.7	6.9	43.1	15.3	27.8	22.2	34.7	-
	居住系	85	9.4	7.1	81.2	27.1	15.3	25.9	9.4	-
	日中活動系	173	12.1	15.6	75.7	19.7	24.9	22.5	9.2	-
	障害児系	120	10.8	13.3	70.8	5.8	4.2	63.3	11.7	-
	相談支援系	38	10.5	13.2	52.6	15.8	18.4	36.8	15.8	-
利用者の主な障害別	重度重複障害	104	14.4	17.3	69.2	13.5	27.9	29.8	22.1	-
	視覚障害	11	45.5	54.5	63.6	27.3	9.1	27.3	9.1	-
	聴覚障害・平衡機能障害	4	100.0	-	75.0	25.0	-	25.0	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	7	28.6	14.3	28.6	-	71.4	42.9	-	-
	肢体不自由	97	19.6	22.7	71.1	16.5	30.9	30.9	12.4	-
	内部障害	4	-	-	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0	-
	難病	29	10.3	3.4	20.7	6.9	27.6	10.3	62.1	-
	知的障害	243	10.3	8.6	83.1	15.6	9.9	35.4	8.2	-
	精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	65	9.2	3.1	53.8	47.7	20.0	24.6	9.2	-
	発達障害	116	7.8	7.8	62.1	13.8	6.9	63.8	8.6	-
高次脳機能障害	21	23.8	9.5	61.9	28.6	66.7	33.3	9.5	-	
その他	8	12.5	12.5	62.5	12.5	12.5	25.0	37.5	-	

問 36 ⑤ 障害特性で意思疎通が難しい利用者への対応にあたり、あなたが区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

「本人に合わせたコミュニケーションボードの作成・活用方法の研修」が 35.1%と最も多く、次いで「知的障害の理解のための研修」が 32.5%、「発達障害の理解のための研修」が 30.9%、「コミュニケーション機器の紹介」が 24.6%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「コミュニケーション機器の紹介」、居住系と日中活動系は「知的障害の理解のための研修」、障害児系は「発達障害の理解のための研修」、相談支援系は「本人に合わせたコミュニケーションボードの作成・活用方法の研修」が最も多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、重度重複障害は「重度重複障害の理解のための研修」、視覚障害は「視覚障害の理解のための研修」と「知的障害の理解のための研修」、音声・言語・そしゃく機能障害と精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）は「本人に合わせたコミュニケーションボードの作成・活用方法の研修」、肢体不自由と知的障害は「知的障害の理解のための研修」、難病は「人工呼吸器等の呼吸機能障害の理解のための研修」、発達障害は「発達障害の理解のための研修」、高次脳機能障害は「高次脳機能障害の理解のための研修」が最も多くなっています。



【提供サービス別・利用者の主な障害別】

単位：%

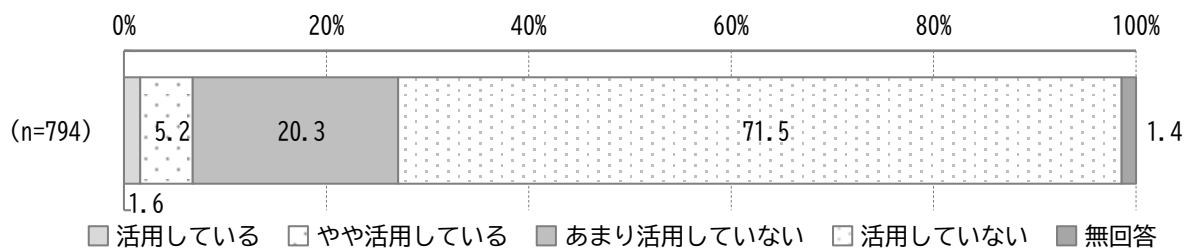
区分	回答者数 (件)	コミュニケーション機器の紹介	障害種別ごとのパンフレット等の作成 (手話、わかりやすい文章の書き方など)	本人に合わせたコミュニケーションボード の作成・活用方法の研修	手話や聴覚障害の理解のための研修	失語症の理解のための研修	高次脳機能障害の理解のための研修	発達障害の理解のための研修	視覚障害の理解のための研修	知的障害の理解のための研修	人工呼吸器等の呼吸機能障害の理解のため の研修	重度重複障害の理解のための研修	その他	特になし	無回答	
全体	794	24.6	22.8	35.1	13.9	10.2	16.5	30.9	10.2	32.5	11.2	22.9	2.9	12.0	4.9	
提供サービス別	訪問系	167	34.1	26.3	32.3	13.8	12.0	22.2	22.2	10.2	18.6	16.2	13.8	3.6	10.8	3.6
	居住系	175	13.7	16.6	26.9	7.4	8.6	11.4	22.3	5.1	36.6	12.0	27.4	2.9	12.0	12.0
	日中活動系	257	21.0	24.5	36.2	11.3	14.8	21.8	29.2	9.3	40.5	8.2	23.3	2.3	13.2	1.9
	障害児系	236	28.0	22.9	41.9	21.2	6.4	9.3	45.3	14.4	33.5	8.1	23.7	2.5	11.4	3.8
	相談支援系	77	23.4	32.5	48.1	19.5	10.4	11.7	29.9	10.4	35.1	10.4	22.1	9.1	10.4	3.9
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	40.7	16.0	38.0	15.3	10.7	19.3	21.3	8.0	24.7	20.7	50.7	1.3	7.3	2.7
	視覚障害	29	17.2	20.7	20.7	17.2	3.4	10.3	13.8	27.6	27.6	6.9	10.3	-	17.2	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	16.7	50.0	33.3	33.3	16.7	-	33.3	-	16.7	16.7	16.7	-	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	20.0	10.0	50.0	40.0	30.0	20.0	40.0	10.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-
	肢体不自由	158	29.7	18.4	32.9	18.4	13.3	22.2	34.2	22.8	35.4	15.2	33.5	3.2	7.6	5.7
	内部障害	7	14.3	28.6	28.6	-	14.3	28.6	71.4	-	14.3	14.3	-	-	14.3	-
	難病	65	26.2	18.5	29.2	9.2	6.2	20.0	15.4	4.6	9.2	38.5	27.7	3.1	6.2	18.5
	知的障害	417	23.0	26.9	40.3	12.2	10.1	12.7	33.6	8.4	46.0	3.1	17.7	3.6	13.4	2.2
	精神障害（発達障害・高次脳機能障害を含まない）	146	18.5	32.9	34.9	12.3	16.4	26.0	32.9	7.5	31.5	6.2	12.3	2.7	16.4	1.4
	発達障害	242	23.6	27.3	41.7	18.2	10.7	15.7	48.3	14.0	34.3	5.4	13.2	3.7	12.8	3.7
高次脳機能障害	40	25.0	27.5	25.0	7.5	20.0	47.5	22.5	5.0	20.0	10.0	20.0	-	15.0	2.5	
その他	54	11.1	3.7	11.1	7.4	3.7	9.3	13.0	3.7	7.4	38.9	38.9	-	3.7	33.3	

## (8) 「すぎなみ福祉サーチ」について

問 37 令和7年3月に運用開始した「すぎなみ福祉サーチ」は、区内の障害福祉サービス等事業所の検索にあたり必要な詳細情報や、地図・空き情報などで検索できるとともに、余暇支援情報も掲載された区独自のシステムです。あなたは、普段から活用していますか。(○は1つ)

「活用していない」が71.5%と最も多く、次いで「あまり活用していない」が20.3%、「やや活用している」が5.2%、「活用している」が1.6%の順となっています。

提供サービス別、利用者の主な障害別にみると、いずれも「活用していない」が最も多く、次いで「あまり活用していない」が多くなっています。



### 【提供サービス別・利用者の主な障害別】

単位：%

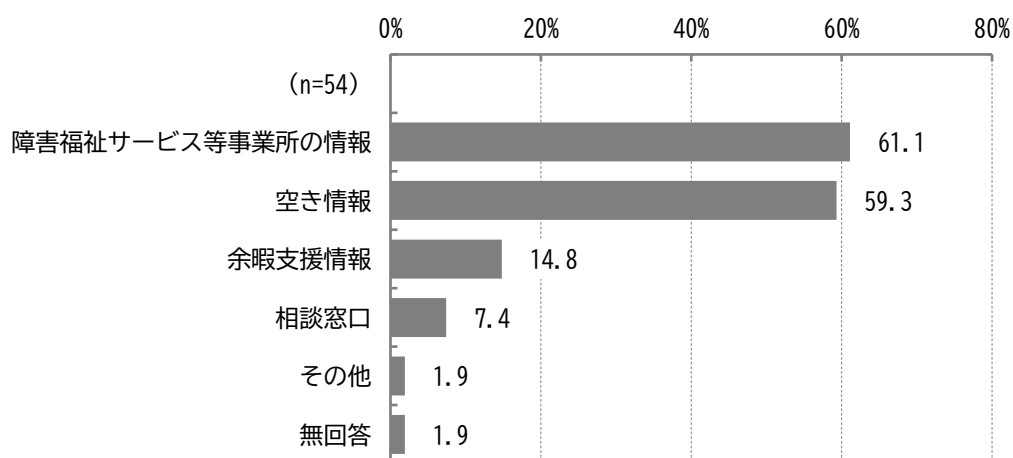
区分	回答者数 (件)	活用している	やや活用している	あまり活用していない	活用していない	無回答
全体	794	1.6	5.2	20.3	71.5	1.4
提供サービス別						
訪問系	167	1.8	6.0	21.6	67.7	3.0
居住系	175	2.9	3.4	16.6	76.6	0.6
日中活動系	257	0.8	4.3	25.7	69.3	-
障害児系	236	-	3.0	16.5	78.8	1.7
相談支援系	77	9.1	16.9	24.7	48.1	1.3
利用者の主な障害別						
重度重複障害	150	0.7	3.3	18.0	76.0	2.0
視覚障害	29	-	6.9	24.1	69.0	-
聴覚障害・平衡機能障害	6	-	-	16.7	83.3	-
音声・言語・そしゃく機能障害	10	-	10.0	20.0	70.0	-
肢体不自由	158	0.6	7.0	24.1	65.2	3.2
内部障害	7	-	-	-	85.7	14.3
難病	65	1.5	1.5	16.9	76.9	3.1
知的障害	417	1.7	6.7	20.4	70.7	0.5
精神障害 (発達障害・高次脳機能障害を含まない)	146	4.8	7.5	25.3	61.6	0.7
発達障害	242	1.2	3.7	20.2	73.1	1.7
高次脳機能障害	40	5.0	5.0	27.5	62.5	-
その他	54	1.9	-	14.8	83.3	-

問 38 (問 37 で「1. 活用している」「2. やや活用している」に○をつけた人)  
「すぎなみ福祉サーチ」で活用しているのはどの情報ですか。(○はいくつでも)

「障害福祉サービス等事業所の情報」が61.1%と最も多く、次いで「空き情報」が59.3%、「余暇支援情報」が14.8%、「相談窓口」が7.4%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「障害福祉サービス等事業所の情報」、居住系は「障害福祉サービス等事業所の情報」と「空き情報」、日中活動系と相談支援系は「空き情報」が最も多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、知的障害と発達障害は「障害福祉サービス等事業所の情報」、精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)は「空き情報」が最も多くなっています。



【提供サービス別・利用者の主な障害別】

単位：%

区分	回答者数(件)	障害福祉サービス等事業所の情報	空き情報	余暇支援情報	相談窓口	その他	無回答
全体	54	61.1	59.3	14.8	7.4	1.9	1.9
提供サービス別							
訪問系	13	53.8	38.5	23.1	-	7.7	-
居住系	11	54.5	54.5	9.1	-	-	-
日中活動系	13	61.5	69.2	-	15.4	-	7.7
障害児系	7	71.4	28.6	-	14.3	-	-
相談支援系	20	70.0	90.0	20.0	10.0	5.0	-
利用者の主な障害別							
重度重複障害	6	83.3	66.7	-	-	-	-
視覚障害	2	50.0	50.0	-	-	-	-
聴覚障害・平衡機能障害	-	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	1	-	-	-	-	-	100.0
肢体不自由	12	58.3	58.3	8.3	8.3	-	8.3
内部障害	-	-	-	-	-	-	-
難病	2	-	50.0	50.0	-	-	-
知的障害	35	68.6	60.0	17.1	2.9	2.9	-
精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	18	55.6	72.2	16.7	11.1	-	-
発達障害	12	75.0	50.0	16.7	16.7	8.3	-
高次脳機能障害	4	50.0	75.0	-	-	-	-
その他	1	-	-	100.0	-	-	-

## (9) サービス・施策について

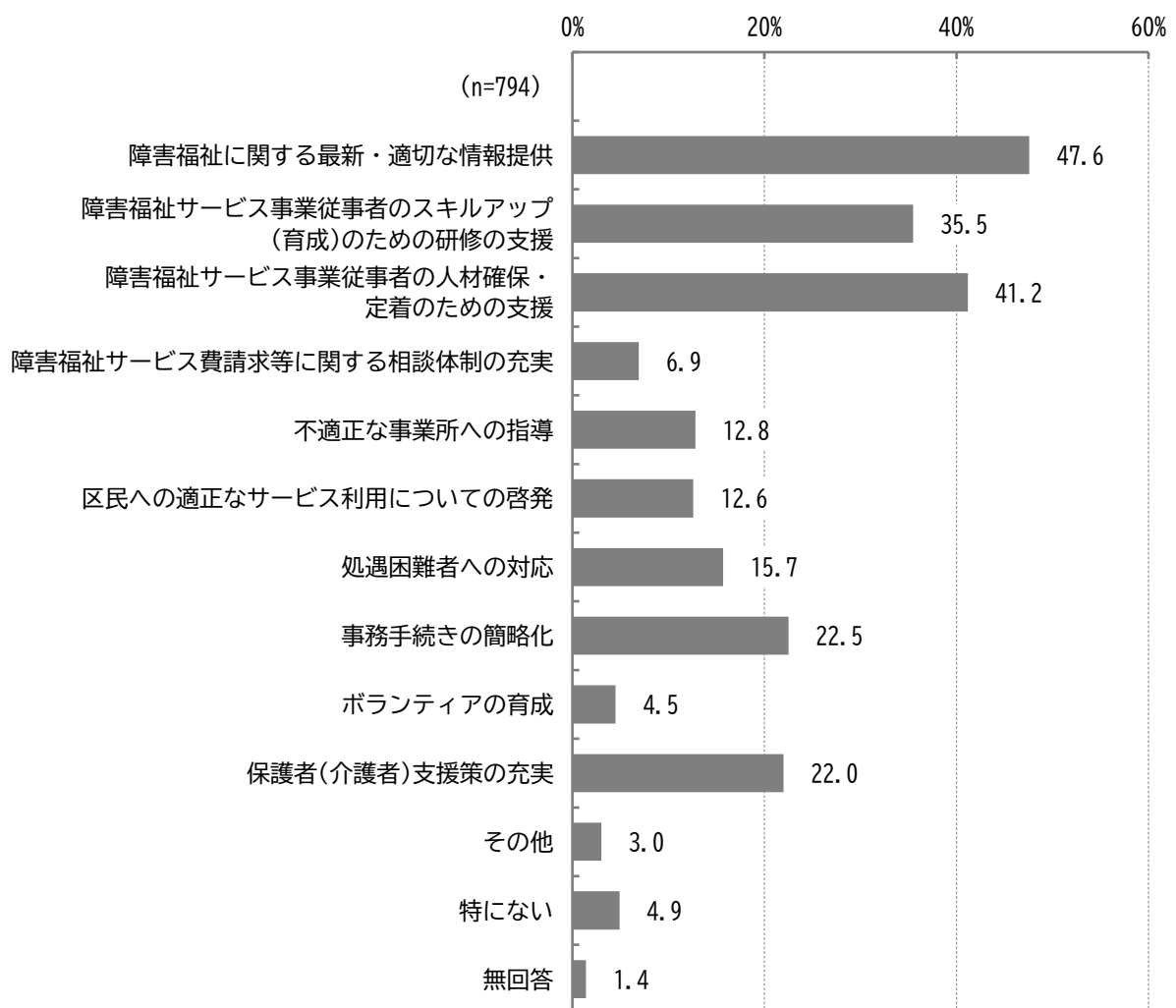
問 39 あなたが、区に対して望むことはどのようなことですか。(〇は3つまで)

「障害福祉に関する最新・適切な情報提供」が47.6%と最も多く、次いで「障害福祉サービス事業従事者の人材確保・定着のための支援」が41.2%、「障害福祉サービス事業従事者のスキルアップ（育成）のための研修の支援」が35.5%、「事務手続きの簡略化」が22.5%の順となっています。

提供サービス別にみると、日中活動系と相談支援系は「障害福祉サービス事業従事者の人材確保・定着のための支援」、それ以外は「障害福祉に関する最新・適切な情報提供」が最も多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、視覚障害と知的障害は「障害福祉サービス事業従事者の人材確保・定着のための支援」、音声・言語・そしゃく機能障害は「不適正な事業所への指導」、それ以外は「障害福祉に関する最新・適切な情報提供」が最も多くなっています。

職層別にみると、指導・管理職層（職員のまとめ役）は「障害福祉サービス事業従事者の人材確保・定着のための支援」、それ以外は「障害福祉に関する最新・適切な情報提供」が最も多くなっています。



【提供サービス別・利用者の主な障害別・職層別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	障害福祉に関する最新・適切な情報提供	障害福祉サービス事業者のスキルアップ (育成)のための研修の支援	障害福祉サービス事業者の人材確保・定着のための支援	障害福祉サービス費請求等に関する相談体制の充実	不適正な事業所への指導	区民への適正なサービス利用についての啓発	処遇困難者への対応	事務手続きの簡略化	ボランティアの育成	保護者(介護者)支援策の充実	その他	特にない	無回答	
全体	794	47.6	35.5	41.2	6.9	12.8	12.6	15.7	22.5	4.5	22.0	3.0	4.9	1.4	
提供サービス別	訪問系	167	47.3	31.7	36.5	8.4	12.6	9.0	12.6	25.7	3.6	14.4	3.0	6.6	2.4
	居住系	175	50.9	30.3	33.7	9.7	17.1	28.0	29.1	16.0	4.0	13.7	4.0	4.6	0.6
	日中活動系	257	47.1	39.7	48.6	7.4	13.2	10.1	14.0	21.4	7.4	19.1	2.3	5.1	0.4
	障害児系	236	44.5	38.1	42.8	4.2	10.2	8.5	8.9	25.4	4.2	36.0	3.8	3.4	1.7
	相談支援系	77	41.6	37.7	54.5	6.5	19.5	6.5	19.5	31.2	-	26.0	6.5	-	3.9
利用者の主な障害別	重度重複障害	150	46.7	45.3	46.0	5.3	15.3	10.0	10.0	15.3	3.3	23.3	4.0	5.3	2.0
	視覚障害	29	44.8	34.5	51.7	6.9	6.9	10.3	3.4	27.6	-	6.9	6.9	6.9	-
	聴覚障害・平衡機能障害	6	33.3	-	16.7	-	16.7	-	16.7	33.3	16.7	-	-	16.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障害	10	30.0	10.0	20.0	-	50.0	10.0	10.0	20.0	10.0	20.0	30.0	-	-
	肢体不自由	158	43.0	37.3	41.1	5.7	10.8	10.1	11.4	22.8	5.1	23.4	2.5	7.0	3.8
	内部障害	7	42.9	28.6	28.6	14.3	-	-	14.3	14.3	14.3	-	-	14.3	-
	難病	65	58.5	20.0	24.6	6.2	9.2	35.4	38.5	26.2	1.5	15.4	1.5	4.6	1.5
	知的障害	417	44.8	38.4	45.6	6.0	14.4	7.0	13.2	23.5	6.2	24.9	3.1	4.8	1.0
	精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	146	52.7	37.0	43.8	14.4	14.4	9.6	15.8	26.0	3.4	17.1	2.1	2.7	-
	発達障害	242	50.0	38.4	40.5	7.4	12.0	9.5	10.7	25.6	2.9	28.5	3.3	3.3	1.7
高次脳機能障害	40	45.0	20.0	40.0	10.0	25.0	10.0	10.0	30.0	7.5	7.5	2.5	12.5	-	
その他	54	72.2	5.6	9.3	1.9	11.1	68.5	61.1	5.6	1.9	5.6	-	5.6	3.7	
職層別	経営職層(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等)	58	41.4	29.3	37.9	12.1	5.2	22.4	24.1	39.7	3.4	3.4	8.6	1.7	1.7
	指導・管理職層(職員のまとめ役)	112	42.9	37.5	49.1	4.5	11.6	10.7	27.7	31.3	4.5	21.4	4.5	0.9	2.7
	一般職員・担当職員	591	49.2	36.0	40.3	7.1	13.7	12.0	13.2	19.8	4.6	23.7	2.2	5.9	1.2
	その他	33	45.5	30.3	36.4	3.0	15.2	12.1	6.1	12.1	6.1	27.3	3.0	6.1	-

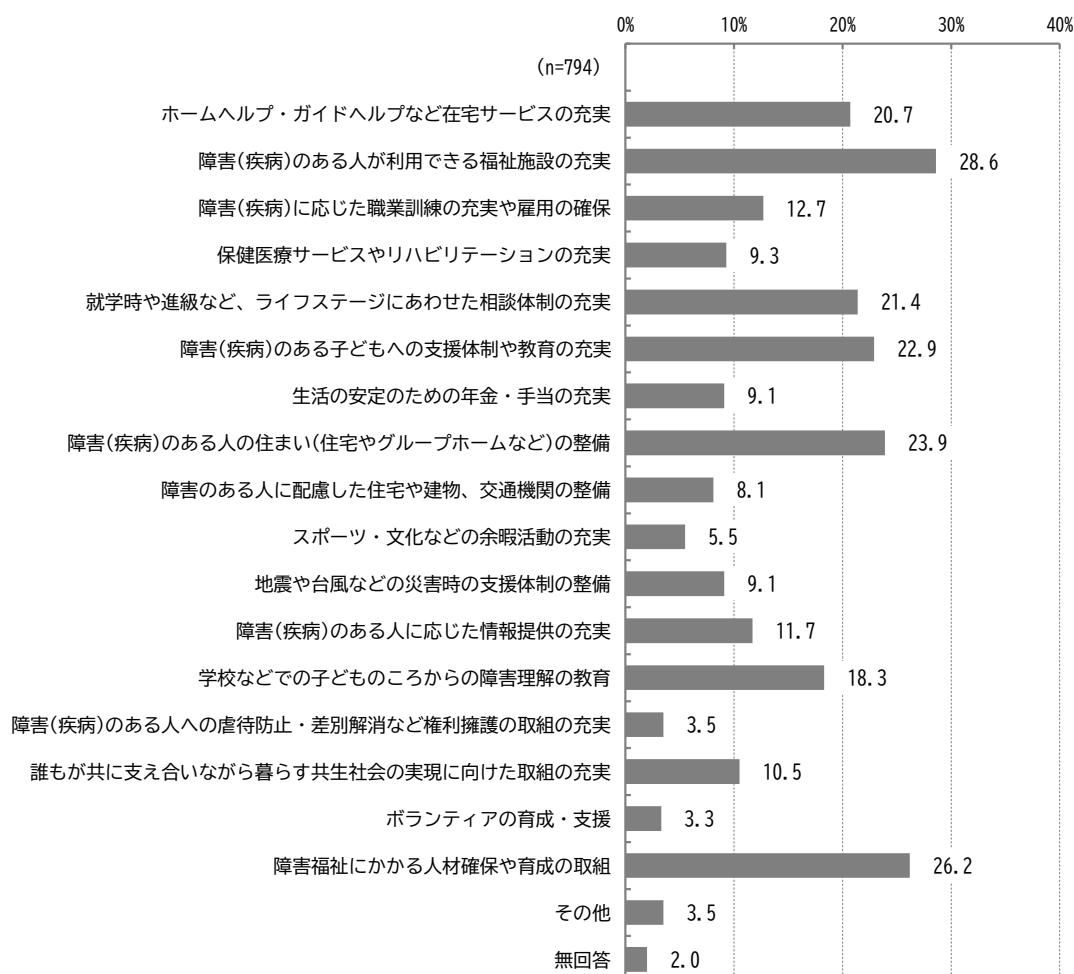
問 40 障害(疾病)のある人に関する杉並区の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものをお答えください。(〇は3つまで)

「障害(疾病)のある人が利用できる福祉施設の充実」が28.6%と最も多く、次いで「障害福祉にかかる人材確保や育成の取組」が26.2%、「障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備」が23.9%、「障害(疾病)のある子どもへの支援体制や教育の充実」が22.9%の順となっています。

提供サービス別にみると、訪問系は「ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実」、居住系は「障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備」、日中活動系と相談支援系は「障害福祉にかかる人材確保や育成の取組」、障害児系は「就学時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実」が最も多くなっています。

利用者の主な障害別にみると、難病は「障害(疾病)のある子どもへの支援体制や教育の充実」、発達障害は「就学時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実」、視覚障害と知的障害は「障害福祉にかかる人材確保や育成の取組」、それ以外は「障害(疾病)のある人が利用できる福祉施設の充実」が最も多くなっています。

職層別にみると、経営職層(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等)は「障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備」、一般職員・担当職員は「障害(疾病)のある人が利用できる福祉施設の充実」、それ以外は「障害福祉にかかる人材確保や育成の取組」が最も多くなっています。



【提供サービス別・利用者の主な障害別・職層別】

単位：％

区分	回答者数(件)	ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実	障害(疾病)のある人が利用できる福祉施設の充実	障害(疾病)に応じた職業訓練の充実や雇用の確保	保健医療サービスやリハビリテーションの充実	就学時や進級など、ライフステージにあわせて相談体制の充実	障害(疾病)のある子どもへの支援体制や教育の充実	生活の安定のための年金・手当の充実	障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備	障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備	
全体	794	20.7	28.6	12.7	9.3	21.4	22.9	9.1	23.9	8.1	
提供サービス別											
訪問系	167	37.1	27.5	13.2	12.6	14.4	16.8	9.0	15.0	13.8	
居住系	175	15.4	22.3	8.0	2.9	10.3	26.3	10.9	39.4	10.3	
日中活動系	257	19.1	32.3	13.2	11.7	13.2	7.8	11.7	31.5	7.0	
障害児系	236	13.6	30.9	13.1	8.9	41.9	38.1	6.8	7.6	4.7	
相談支援系	77	24.7	28.6	9.1	5.2	24.7	23.4	6.5	31.2	6.5	
利用者の主な障害別											
重度重複障害	150	26.0	36.7	10.0	14.0	16.0	21.3	4.7	23.3	8.7	
視覚障害	29	17.2	24.1	27.6	10.3	10.3	6.9	13.8	27.6	13.8	
聴覚障害・平衡機能障害	6	50.0	33.3	16.7	-	16.7	16.7	-	-	16.7	
音声・言語・そしゃく機能障害	10	10.0	50.0	-	10.0	40.0	10.0	10.0	-	10.0	
肢体不自由	158	22.2	33.5	9.5	12.0	19.6	19.0	2.5	22.8	11.4	
内部障害	7	28.6	14.3	14.3	28.6	-	14.3	-	14.3	-	
難病	65	26.2	21.5	4.6	12.3	9.2	38.5	6.2	35.4	12.3	
知的障害	417	20.4	28.1	12.9	6.2	24.9	19.7	10.3	22.3	7.0	
精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	146	21.9	28.8	20.5	6.2	17.1	11.6	15.1	24.0	10.3	
発達障害	242	16.1	30.2	18.2	10.3	34.3	27.3	9.5	13.6	5.4	
高次脳機能障害	40	15.0	32.5	10.0	7.5	17.5	12.5	10.0	22.5	15.0	
その他	54	9.3	3.7	-	5.6	7.4	66.7	5.6	70.4	7.4	
職層別											
経営職層(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等)	58	27.6	20.7	8.6	5.2	8.6	27.6	12.1	29.3	8.6	
指導・管理職層(職員のまとめ役)	112	23.2	29.5	9.8	10.7	23.2	17.0	7.1	30.4	3.6	
一般職員・担当職員	591	19.6	29.6	13.5	9.6	23.2	23.9	9.1	22.5	8.6	
その他	33	18.2	21.2	15.2	6.1	6.1	18.2	9.1	18.2	12.1	
区分	スポーツ・文化などの余暇活動の充実	地震や台風などの災害時の支援体制の整備	障害(疾病)のある人に応じた情報提供の充実	学校などでの子どもたちの障害理解の教育	虐待防止・差別解消など権利擁護の取組の充実	障害(疾病)のある人への虐待防止・差別解消など権利擁護の取組の充実	誰もが共に支え合いながら暮らす共生社会の実現に向けた取組の充実	ボランティアの育成・支援	障害福祉にかかると人材確保や育成の取組	その他	無回答
全体	5.5	9.1	11.7	18.3	3.5	10.5	3.3	26.2	3.5	2.0	
提供サービス別											
訪問系	5.4	10.2	8.4	12.6	1.8	10.2	6.0	21.6	3.6	1.2	
居住系	8.0	9.7	25.7	11.4	5.1	6.3	2.3	26.3	6.3	1.1	
日中活動系	3.9	10.5	8.9	14.8	3.1	12.5	3.5	33.1	5.4	1.9	
障害児系	3.8	8.1	5.9	30.9	3.8	9.7	2.1	24.2	1.7	3.0	
相談支援系	2.6	7.8	7.8	19.5	1.3	10.4	1.3	41.6	7.8	2.6	
利用者の主な障害別											
重度重複障害	4.7	8.7	5.3	14.7	2.7	12.7	1.3	25.3	3.3	2.7	
視覚障害	3.4	10.3	13.8	6.9	3.4	20.7	-	31.0	-	-	
聴覚障害・平衡機能障害	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	
音声・言語・そしゃく機能障害	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	10.0	10.0	-	
肢体不自由	4.4	7.6	6.3	19.0	2.5	12.7	4.4	25.3	7.0	3.8	
内部障害	14.3	-	14.3	-	14.3	14.3	14.3	28.6	-	-	
難病	3.1	9.2	33.8	7.7	4.6	7.7	4.6	18.5	1.5	1.5	
知的障害	6.2	11.0	7.9	21.3	4.6	10.3	4.3	30.2	4.6	1.7	
精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	8.2	8.2	10.3	17.1	2.1	13.7	4.1	27.4	2.7	0.7	
発達障害	4.1	5.8	6.6	28.1	3.7	10.3	2.5	26.4	1.2	2.9	
高次脳機能障害	7.5	17.5	17.5	10.0	5.0	10.0	7.5	12.5	10.0	-	
その他	5.6	1.9	63.0	7.4	3.7	1.9	1.9	7.4	1.9	1.9	
職層別											
経営職層(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等)	8.6	5.2	17.2	13.8	5.2	5.2	3.4	27.6	8.6	-	
指導・管理職層(職員のまとめ役)	1.8	11.6	8.9	17.9	3.6	10.7	2.7	33.0	3.6	1.8	
一般職員・担当職員	6.1	8.8	12.0	18.4	3.4	10.7	3.6	24.7	2.9	2.2	
その他	3.0	12.1	6.1	24.2	3.0	15.2	-	27.3	6.1	3.0	

問 41 区の障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

区の障害者施策に関して、87人の方からご意見・ご要望をいただきました。内容別に分類した結果と、各分類の主な意見は以下の通りです。

分類		件数
①	福祉サービスについて	28
②	経済的不安・経済的支援について	7
③	障害理解について	19
④	生活環境について	3
⑤	雇用・就労について	14
⑥	保育・療育・教育について	8
⑦	その他	8
合計		87

【主な意見】※基本的に原文のまま掲載しています。

〔① 福祉サービスについて〕

- 重度障害者に対する送迎支援の強化。
- 必要な方に必要なサービスが届くように、臨機応変な対応をしてもらいたい。

〔② 経済的不安・経済的支援について〕

- 区として研修・資格取得費用の補助。
- 福祉に携わっている職員が、十分な給料をもらえるよう、対策を考えてください。フルタイムで働いていても、手取りは20万円にも満たない賃金で、介護職員の志と人の良さに頼っている現状をしっかりと見てください。また、一般の会社なら定年退職してゆとりある生活を始める年齢になっても、あとを引き継ぐ職員が見つからず、辞めることができません。本当に疲れてしまいます。心身ともに疲労になれば、虐待などマイナスな支援も起こり得ると思います。各事業所に任せるだけではなく、十分な賃金、十分な人材を確保できる体制をお願いしたいです。また、困難ケースにはもっと手を差し伸べてください。

〔③ 障害理解について〕

- 全ての人に納得理解していただくのは難しいとかんじるが、知らないことを知ってもらいたいと思いますので、啓発をお願い致します。
- 障がい者、支援者の生の声をよく聞く。行政に一番求められることではと思います。

#### 〔④ 生活環境について〕

- 施設の老朽化は避けられません。ぜひ30年以上経過している施設等補修建替えも含め現地視察を積極的に行っていただき、施設側の職員は毎日そこにいる為当たり前になって気が付かない点をご指摘いただきたい。ご家族や来客者も不快や災害時不安にならない施設にしていっていただきたいと思えます。
- 車椅子での外出で困るのはトイレ。できるだけ綺麗なトイレが区内にあるとありがたい。大きなシートがあるトイレは有料でも確保してもらえとお出かけしやすいのではと感じる。

#### 〔⑤ 雇用・就労について〕

- 報酬の引き上げをお願いしたい。特に移動支援に関しては必須。助けられる、支援できる、共存したいと思っても、事業所や働く者がなくなるとは意味がないため。
- 人材や育成に関しては、賃金が上がること、勤務時間がフレキシブルになり、平均労働時間が下がる必要がある。特に社会人の賃金が上がらないことは世界的に見て大きな課題といえる。

#### 〔⑥ 保育・療育・教育について〕

- 書類の簡略化。手続きが煩雑な為、ただでさえ大変な保護者、介助者の負担を減らす事。放課後等デイサービスの拡充。保護者、介助者の負担を少しでも減らす為に子ども達が安心して過ごせる場所の確保が必要と感じます。
- 他の区から杉並の放デイで働いております。研修などがとても多く、また放デイサイドもそれを意欲的に受けている印象でした。それだけ発達支援に対して関心がある事業者が多いようで、さらにご家族様方が安心して利用できるデイにしていこうという気持ちになりました。学校でも支援級の児童の幅が広がっていると思いますので、教員の皆様とも連携を図れる場があると嬉しいと思いました。

#### 〔⑦ その他〕

- 区の施策に直接関わることがないため、もっと知るようになります。
- 障害者の方々にとって大変偏りがちな食事情報のチェックや提供は必須だと感じています。日々摂取する食事の栄養を個別別に改善する事で、症状の緩和や薬の削減、健康維持効果もある事から家族への栄養相談の出来る取り組みも是非取り入れていただきたいです。

### Ⅲ 資料

#### 1. 18歳以上調査票

##### 【参考】調査内容

調査項目	設問数
ご記入いただくにあたって	1問
1 あなたについて	7問
2 暮らしと住まいについて	6問
3 健康・医療について	2問
4 仕事の状況について	4問
5 福祉サービスなどについて	8問
6 情報の手やコミュニケーションについて	6問
7 社会参加について	6問
8 災害時の備えについて	3問
9 差別解消と共生社会の実現に向けて	4問
10 エネルギー機器について	3問
11 区の施策について	2問
12 主な介護者の状況	5問
合計	57問

問い合わせ先 【受付時間】月曜日～金曜日 午前9時～午後5時  
 (正午～午後1時、祝日を除く)

調査についてのご質問など  
 杉並区保健福祉部「地域生活に関する調査」担当  
 電話：03-3312-2111 (内線1142) ファクス：03-3312-8808

WEBページ回覧についてのご質問など  
 株式会社 創建 「杉並区地域生活に関する調査」担当  
 業務委託先  
 電話：0120-844-271 ファクス：03-6809-1782  
 メールアドレス：shakai@soken.co.jp



##### 18歳以上の方へ

#### ◆ 地域生活に関するアンケート ◆

いつも杉並区の福祉にご理解いただき、ありがとうございます。  
 杉並区では、障害のある人や杉並区ですと暮らしていただけるような計画をつくります。そのため、みなさまの生活の様子やご意見などを知るためのアンケートを行います。アンケートは、18才以上の障害のある人などから選んで送っています。



岸本 聡子  
 杉並区長

アンケートは、だれが書いたのか、わからないようになっていまして、安心して答えてください。  
 なお、この調査の報告書は、令和8年4月以降に区公式ホームページなどで公開する予定です。よろしくお願いたします。  
 令和7年11月

#### 【お答えにあたってのお願い】

- 答える人  
 ○アンケートで「あなた」というのは、封筒のあて名の人をさします。できるだけ、封筒のあて名の方が答えてください。  
 ○封筒のあて名の方が答えるのが難しい場合は、ご家族の方が代わりに答えてください。
- 提出の方法 (①か②のどちらかの方法で提出してください。)  
 ①アンケートに答えて書いて、一緒に入っていた封筒にいれて、郵便で送ってください。切手はいりません。  
 ②WEBページ...下に書いてあるURLまたは2次元コードから、回答ページへアクセスして答えてください。

<https://www16.webcas.net/form/pub/survey-2311/suginami-seikatsu01>  
 回答するときは、以下のID番号を入力してください。

ID番号 ●●●●●●●●●●

※全部で57問あります (裏面の調査内容のとおり)。  
 アンケートの途中で一時保存ができます。ご利用ください。

3 しめきり 令和7年12月1日(月)



ご記入いただくにあたって

問1 このアンケートにお答えいただくのは、どなたですか。 (〇は1つ)  
 1. ご本人 2. ご家族 3. 支援者

1 あなたについて

問2 今、なん才ですか。  
 【 】才 (年齢を記入)

問3 あなたの障害や病気がなんですか。 (〇はいくつでも)  
 1. 視覚障害 7. 知的障害 → 問4-1ハ  
 2. 聴覚障害・平衡機能障害 8. 発達障害 9. 精神障害 → 問4-2ハ  
 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 10. 高次脳機能障害 (英語を含む) → 問4-2ハ  
 4. 肢体不自由 11. その他 ( )  
 5. 内部障害 1~7と9・11に○をつけた人 → 問5ハ  
 6. 雑病 (病名)

問4-1 (問3で、「8. 発達障害」に○をつけた人) (〇はいくつでも)  
 どのような症状ですか。

1. コミュニケーションをとるのが苦手 5. 我慢ができない  
 2. こだわりがある・変化が苦手 6. 感覚が敏感  
 3. 忘れ物や不注意が多い 7. その他 ( )  
 4. かんしゃくをおこしたり、自分を傷つけてしまう → 問5ハ

問4-2 (問3で、「10. 高次脳機能障害」に○をつけた人) (〇はいくつでも)  
 どのような症状ですか。

1. 記憶障害 5. 失語症  
 2. 注意障害 6. 半側空間無視  
 3. 遂行機能障害 7. その他 ( )  
 4. 社会的行動障害

問5 あなたに必要な医療的ケアはなんですか。 (〇はいくつでも)

1. 人工呼吸器 10. 透析 (血液透析、腹膜透析など)  
 2. 気管切開 11. 皮下注射  
 3. 鼻咽喉工アウエイ 12. 血糖測定  
 4. 換気療法 13. 排便管理 (ストーマや浣腸など)  
 5. 吸引 (口鼻、気管内吸引) 14. 導尿 (定時導尿、留置カテーテルなど)  
 6. ネプライザー 15. けいれん時の医療処置 (酸素吸入、迷走神経刺激装置など)  
 7. 経管栄養 (経鼻、胃ろう、腸ろうなど) 吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置など)  
 8. 中心静脈カテーテル 16. その他 ( )  
 9. 持続注入ポンプ 17. 医療的ケアは必要ない

問6 あなたの手帳の等級・等級はなんですか。 (持っている手帳すべて)

1. 身体障害者手帳 → 【 】級  
 2. 愛の手帳 → 【 】度  
 3. 精神保健福祉手帳 → 【 】級

問7 令和6年1月から12月の間のあなたの収入はなんですか。 (〇はいくつでも)

1. 賞金・給料 5. 生活保護費  
 2. 事業所得 6. 手当  
 3. 家賃・地代 7. 収入なし  
 4. 年金 8. その他 ( )

問8 あなたが、令和6年1月~12月の間にもらった収入はどのくらいですか。 (〇は1つ)  
 生活保護費は入れないでください。

1. 収入なし 6. 300万円以上~500万円未満  
 2. 50万円未満 7. 500万円以上~1,000万円未満  
 3. 50万円以上~122万円未満 8. 1,000万円以上  
 4. 122万円以上~200万円未満 9. わからない  
 5. 200万円以上~300万円未満

※未満というのは、その数より少ないことです。以上というのは、その数か、その数より多いことです。



## 2 暮らしと住まいについて

- 問9 今、だれと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)
1. 夫・妻
  2. 子ども
  3. お父さん
  4. お母さん
  5. 兄弟姉妹
  6. おいさん
  7. おばあさん
  8. 施設やグループホームの職員
  9. その他( )
  10. ひとり暮らし

問10-1 毎日の生活の中で、手伝ってもらっていることはどれですか。家族だけでなく、近所の人やヘルパーに手伝ってもらっていることも含みます。(〇はいくつでも)

1. お風呂・トイレ・着替え・食事など
2. お出かけ・通院など
3. 調理、洗濯、掃除など
4. コミュニケーション(意見や気持ち)を伝えること
5. 薬の管理
6. お金の管理
7. 規則正しい生活を送るための声かけ
8. 手伝ってもらっていないが負けてもらっている
9. その他( )
10. 手伝ってもらっていない →  問11へ

問10-2 (問10-1で1～9に〇をつけた人)

- 今、主にだれに手伝ってもらっていますか。(〇は1つ)
1. 夫・妻
  2. 子ども
  3. お父さん
  4. お母さん
  5. 兄弟姉妹
  6. おいさん
  7. おばあさん
  8. ヘルパー
  9. 施設やグループホームの職員
  10. その他( )

問11 あなたが今住んでいる家は、どれですか。(〇は1つ)

1. 持ち家(家族の持ち家を含む)
2. 都営住宅・区営住宅
3. 社宅・公務員住宅
4. 民間賃貸住宅
5. グループホーム
6. その他( )
7. わからない

問12 あなたが家を探すときに、困ることはありますか。(〇は3つまで)

1. 不動産会社や大家さんなどが障害に理解がないこと
2. バリアフリー住宅がないこと
3. 保証人になってくれる人がいないこと
5. 公共住宅の空きがないこと
6. 家賃が払えないこと
7. 探し方がわからないこと
8. 住まいの簡易が生活しやすいか不安なこと
9. 近隣の人とうまくつきあえるか不安なこと
10. わからない
11. その他( )
12. 探す必要がない
13. とくにない



問13 あなたはこれからどのような暮らしを望んでいますか。(〇はいくつでも)

1. 一人で暮らしたい
2. 今の家族と暮らしたい
3. グループホームなどで暮らしたい
4. 障害者の施設で暮らしたい
5. 高齢者の施設で暮らしたい
6. わからない
7. その他( )

問14 杉並区で暮らしていくのに必要なことはなんですか。(〇はいくつでも)

1. 自分で身の回りのことができる
2. 障害にあわせた手助け
3. 自分が、自分の障害をよく知ること
4. 家族の協力
5. 住んでいるまわりの人の障害理解
6. 自分の障害を認めてくれる医療機関(病院)
7. 生活できるお金
8. バリアフリー住宅
9. 希望のグループホームや施設
10. 障害差別的ないまち
11. お金(財産)の管理の手伝い
12. 見守り
13. 災害時の手伝い
14. わからない
15. その他( )

## 3 健康・医療について

問15 あなたは、近くにかかりつけの病院はありますか。ある場合はその病院の名前を記入してください。

※かかりつけの病院とは、具合が悪くなった時に相談に行くことを決めている病院です。病院には、診療所(クリニック)も含まれます。(〇は1つ)

1. かかりつけの病院が近く(歩いて行けるところ)にある  
→【病院の名前: ( )】
2. かかりつけの病院は訪問診療(家にお医者さんが来てくれる)である  
→【病院の名前: ( )】
3. かかりつけの病院はあるけれど、近く(歩いて行けるところ)にはない
4. かかりつけの病院は知らない
5. かかりつけの病院を探しているが、見つからない
6. その他( )



問16. あなたは、病院について、困ることはありませんか。  
※病院は、かかりつけの病院以外の含みます。

(○はいくつでも)

1. 障害や病気の専門の病院が近くにない
2. 病院で、障害を理由に断られたことがある
3. 検査や診察の時に、手伝ってくれる人が少ない
4. 待ち時間が長くて、待ってられない
5. 病院に行くのに時間がかかる
6. 病院に行くのに、だれかに手伝ってもらわなければならない  
→【病院には、だれと一緒に行っていますか】
7. お医者さんなどの説明がわからなくて、一人で行くことができない
8. リハビリテーションが十分に受けられない
9. 往診が受けにくい
10. 障害や病気で、十分な検査・診療が受けにくい
11. 健康診断（病気の早期発見や予防を目的としたもの）や歯科健診が受けにくい
12. 家族が休むためのレスパイト入居ができる病院がない
13. 小児科から成人科に変わるときに、病院を探すのに苦労した
14. バリアフリーの設備や駐車場がない
15. 医療費が高い
16. 医療的ケアにかかる消耗品の金額が高い
17. その他（ ）
18. 特に困ったことはない

#### 4 仕事の状況について

問17. あなたは、企業などで働いたことがありますか。  
作業所などでの「福祉的就労」は含みません。

(○はいつ)

1.  働いている → 問18へ
2.  働いたことがある → 問18へ
3.  働いたことがない → 問19へ

問18. (問17で「1. 今、働いている」または、「2. 働いたことがある」に○をつけた人)  
働き続けるために、一番必要だと思うことはなんですか？ (○はいつ)

1. 「ワークサポート」や「すまいる」 5. ジョブコーチなどの働く場での支援などの相談ができること
2. 作業が障害への理解を進めること 6. 同じ障害のある方による相談
3. 上司や同僚が障害を理解してくれ 7. 働く障害者同士が集まる場所
8. 通勤のための手助け
9. その他（ ）
4. スキルアップのための講座など

問19. (問17で「3. 働いたことがない」に○をつけた人)  
これからは会社などで働いてみたいですか。

(○はいつ)

1.  働いてみたい → 問20-1へ
2.  働きたくない → 問20-2へ

問20-1. (問19で「1. 働いてみたい」に○をつけた人)  
現在、あなたが働くには何が必要だと思いますか。 (○はいくつでも)

1. 働く自信をもつこと
2. 主治医の許可をもらえること
3. 体調を整えること
4. ビジネスマナーや作業の練習
5. コミュニケーション能力の向上
6. 自分の障害（病気）や特性を理解し、自分をよく知ること
7. 通勤ができるようになること
8. わからない
9. その他（ ）

問20-2. (問19で「2. 働きたくない」に○をつけた人)  
働きたくない理由はなんですか。 (○はいくつでも)

1. 年齢的にゆっくりしたい
2. 日中に活動すること（就労継続支援施設や生活介護施設などの活動、趣味や地域での活動など）がある
3. 一般就労する必要がない
4. 障害（病気）や特性から難しと思っている
5. その他（ ）

#### 5 福祉サービスなどについて

問21. 次の①～④の福祉サービスの利用についてうかがいます。

Aで「利用している」に○をした人 → 表のBとCに答えてください。  
「給付決定しているが利用していない」「福祉サービスを申請していない」に○をした人 → 表のDとEに答えてください。

※各サービスの説明については、調査票の最後にある「障害福祉サービスなどの内容」をご覧ください。



D. A. 「利用の状況」で「利用していない」「申請していない」に○をつけた人  
 (①～⑯のサービス各ごとに○はいくつでも)

サービス名	D. 利用していない理由は何ですか。その他の場合は理由を書いてください。										
	事業者が見えない	サービスの内容が不安	サービスの内容がわからない	予約や手続きが大変	利用料が高い	送迎がない	利用する必要がある	その他			
① 居宅介護 (ホームヘルプ)								( )			
② 重度訪問介護								( )			
③ 生活介護								( )			
④ 就労継続支援 (A型・B型)								( )			
⑤ 就労移行支援								( )			
⑥ 就労定着支援								( )			
⑦ 自立訓練 (機能訓練)								( )			
⑧ 自立訓練 (生活訓練)								( )			
⑨ 共同生活援助 (グループホーム)								( )			
⑩ 自立生活援助								( )			
⑪ 短期入所 (ショートステイ)								( )			
⑫ 行動援護								( )			
⑬ 同行援護								( )			
⑭ 計画相談支援								( )			
⑮ 移動支援								( )			
⑯ 訪問入浴								( )			
⑰ 日帰りショートステイ								( )			

A～C ①～⑯のサービス各ごとに○は1つずつ

サービス名	A. 利用の状況		B. 「利用している人」回数と時間は足りていますか。		C. 「利用している人」サービスに満足していますか。		
	利用している	利用していない	十分に足りている	あまり足りていない	満足している	あまり満足していない	満足していない
⑮ 移動支援 (記入例)	○			○	○		
① 居宅介護 (ホームヘルプ)							
② 重度訪問介護							
③ 生活介護							
④ 就労継続支援 (A型・B型)							
⑤ 就労移行支援							
⑥ 就労定着支援							
⑦ 自立訓練 (機能訓練)							
⑧ 自立訓練 (生活訓練)							
⑨ 共同生活援助 (グループホーム)							
⑩ 自立生活援助							
⑪ 短期入所 (ショートステイ)							
⑫ 行動援護							
⑬ 同行援護							
⑭ 計画相談支援							
⑮ 移動支援							
⑯ 訪問入浴							
⑰ 日帰りショートステイ							



E. A. 「利用の状況」で「利用していない」「申請していない」に○をつけた人  
 (①～⑰のサービス各ごとに○はひとつ)

サービス名	E. これから(2～3年後)に利用 したいですか。		
	利用したい	つては利用したい あなたの状況によ	あてはまる状況によ ては利用したい
①居宅介護(ホームヘルプ)			利用するつもりはない
②重度訪問介護			
③生活介護			
④就労継続支援 (A型・B型)			
⑤就労移行支援			
⑥就労定着支援			
⑦自立訓練(機能訓練)			
⑧自立訓練(生活訓練)			
⑨共同生活援助 (グループホーム)			
⑩自立生活援助			
⑪短期入所 (ショートステイ)			
⑫行動援護			
⑬同行援護			
⑭計画相談支援			
⑮移動支援			
⑯訪問入浴			
⑰白幡リハビリテーション			

65歳以上の介護保険サービスの対象の人(40～64歳で特定疾病の人を含みます) → 問22へ  
 介護保険サービスの対象でない人 → 問25へ

※介護保険サービスが利用できるのは、次の①②のいずれかに該当する人で、認定を受ける必要があります。

- ① 65歳以上で介護が必要な人
- ② 40歳から64歳で特定疾病が原因で介護が必要な人

問22 今、あなたは介護保険のサービスを利用していますか。(○は1つ)

1. 介護保険サービスを利用している	→ 問23-1へ
2. 要介護(要支援)認定を受けているが、介護保険サービスを利用していない	} 問24-1へ
3. 要介護(要支援)認定を受けていないので、介護保険サービスを利用していない	
4. 要介護(要支援)認定を受けて非該当だったので、介護保険サービスを利用していない	→ 問26へ
5. その他( )	

問23-1 (問22で「1.介護保険サービスを利用している」に○をつけた人)  
 今、あなたが利用している介護保険のサービスに○をつけてください。  
 (○はいくつでも)

1. 訪問介護(ホームヘルプ)	5. 訪問リハビリテーション
2. 通所介護(デイサービス)	6. 訪問入浴介護
3. 短期入所(ショートステイ)・短期入所 療養介護(医療型ショートステイ)	7. 訪問看護
4. 通所リハビリテーション(デイケア)	8. その他の介護保険サービス
( )	( )

※各サービスの説明については、調査票の裏面にある「介護保険サービスなどの内容」をご覧ください。



問23-2 介護保険サービスを利用したときに、どう思いましたか。(〇はいくつでも)

1. 利用を始めるとき、手続きがわかりにくかった  
 2. 利用を始めるとき、お手伝いをしてくれる人(※ケアマネジャーなど)から丁寧な説明があった  
 3. これまで利用していた通所先が、そのまま利用できた  
 4. これまで利用していた通所先が、介護保険の施設に変わった  
 →なぜ変わったのですか？【  
 5. 利用時間などが定まらない  
 6. サービスが選べるようになった  
 7. サービス利用料が安い  
 8. 介護保険の事業者の人が、なかなか障害を理解してくれない  
 9. 福祉用具がレンタルできるようになった  
 10. 介護保険のお手伝いをしてくれる人(※ケアマネジャーなど)に、すぐ相談できるようになった  
 11. その他( )  
 12. 特にない

※ケアマネジャー(介護支援専門員)とは、介護の知識を広く持った専門家で、利用者に適したケアプランを作成し、利用者とサービス提供事業者の間で立ち、連絡調整をします。

→問26へ

問24-1 (問22で「2・3介護保険サービスを利用していない」に〇をつけた人)  
なぜ介護保険サービスを利用しないのですか。(〇はいくつでも)

1. 障害福祉サービスなどを利用しているから  
 4. 利用料金がかるから  
 2. 利用したい介護保険サービスがないから  
 5. その他( )  
 3. 介護保険サービスがわからないから

問24-2 今後、介護保険サービスを利用したいですか？ (〇は1つ)

1. 利用したい  
 3. わからない  
 2. 利用したくない  
 4. その他( )

介護保険の対象でない人

問25 区では65歳未満の介護保険の対象とならない障害者が、介護保険事業所が提供するデイサービス・ショートステイを利用できるよう「共生型サービス事業所」の開設を進め、利用できるサービスの選択肢を増やしています。  
あなたは今、年齢が上がったことで食事、歩く、トイレなどの日常動作で困ることがありますか。(〇は1つ)

1. ある  
 3. わからない  
 2. ない  
 4. その他( )



すべての人

問26 あなたが、障害福祉サービスの事業者へのぞむことはなんですか。(〇はいくつでも)

1. 手続きについてのわかりやすい説明  
 2. サービスの内容についてのわかりやすい説明  
 3. 動画などでのサービスの様子の紹介  
 4. ホームページなどでのわかりやすい案内  
 5. サービスをいつでも使えること  
 6. 職員が障害を理解して、対応してくれること  
 7. 職員が障害について、くわしく知っていること  
 8. 職員が障害者の立場を考えた対応してくれること  
 9. 地震、台風などの時に安全な対応ができること  
 10. 区役所、保健所、病院などつながっていること  
 11. 利用料金が安いこと  
 12. その他( )  
 13. 特にない

問27 あなたが困ったとき、相談するところはどこですか。(〇はいくつでも)

1. すまいる  
 7. 病院(クリニックを含む)  
 2. 特定相談支援事業所  
 8. 都立中部総合精神保健福祉センター  
 (サービスの計画を作成するところ)  
 9. 通所施設や作業所  
 3. 区役所  
 (障害者施策課、障害者施設支援課) 10. 障害者団体  
 4. 地域生活支援係(障害者福祉会館) 11. その他( )  
 5. 福祉事務所  
 6. 保健センター  
 12. 特にない

問28 あなたは「成年後見制度」を利用していますか。(〇は1つ)

1. 利用している  
 2. 利用していない。これから先、利用したい  
 3. 利用していない  
 4. 知らない  
 5. その他( )

※「成年後見制度」とは、障害のある人が、安心して暮らし続けられるよう、その人の生活を守るためのしくみです。「成年後見人」などが、その障害のある人の気持ちを確認しながら、お金の管理をしたり、サービスや病院の手続きなどのお手伝いをします。



## 6 情報の入手やコミュニケーションについて

問29 あなたは、福祉サービスの情報などを何で知りますか。(〇はいくつでも)

1. 区役所の相談窓口
2. 広報紙など区のお知らせ
3. 障害福祉のしおり
4. 区のホームページ、のーまらいふ、杉並など
5. すざなみ福祉サーチ（事業者・余暇情報などの検索システム）
6. 相談支援事業所
7. サービスの事業者
8. 障害福祉のしおり
9. 友人や知人、家族
10. 病院・医院
11. その他（ ）
12. 情報を知るところがない

問30 あなたは、家族や友達、作業所の職員などとコミュニケーションをとるときに、どのような方法をとりますか。(〇はいくつでも)

### ①手話

1. 手話
2. 口話
3. 筆談
4. 補聴器・補聴援助機器
5. パソコン・携帯・タブレット（読み上げ機能・文字化機能などの利用を含む）
6. コミュニケーションボード
7. ジェスチャー
8. その他（ ）
9. 特に支援の必要はない

※コミュニケーションボードには、文字盤・支援の要点を書いたもの、コミュニケーションカード・必要なものをピックアップした写真・イラストも含まれます。

### ②支援

1. 家族が代わりに説明する
2. 手話通訳者
3. 筆談通訳者
4. 盲ろう者向け通訳・介助員
5. ヘルパー（移動支援を含む）
6. ボランティア
7. 支援の要点を書いたものを作成する
8. その他（ ）
9. 特に支援などの必要はない



問31-1 あなたがいろいろな情報を知るのに困ることはなんですか。(〇は3つまで)

1. 文字・音声の出版物が少ない
2. 音声による情報が少ない
3. 視覚障害者向けの区や東京都、国などの情報などが手に入りにくい
4. 字幕付きのテレビ・動画などが少ない
5. 手話付きのテレビ・動画などが少ない
6. 問合せ先にファクス番号やメールアドレスが書いていない
7. 電車のなどで緊急の時の情報がわかりにくい
8. 区役所、図書館、駅、病院など誰もが利用できる施設の案内がわかりにくい
9. インターネットで知りたいことを調べるのがむずかしい
10. 話している内容が理解できない
11. 要点がわからない、必要な情報を選ぶことができない
12. 文字・文章が理解できない
13. 欲しい情報を伝えられない
14. 情報が多すぎてわからない
15. その他（ ）
16. 特に困らない

問31-2 あなたがコミュニケーションをとるときに困ることばなんですか。(〇はいくつでも)

1. 話している相手の表情がわからない
2. 手話で伝えることに限りがある
3. 筆談で伝えることに限りがある
4. 話せない
5. 書けない
6. 言っていることが理解できない
7. 書いてあることが理解できない
8. 思っていることをことばで表せない
9. 考えがまとまらない
10. 話そうと思っていたことを忘れる
11. 話したことを忘れる
12. その他（ ）
13. 特に困らない

問32 インターネットやパソコンなどの情報技術・情報機器を使った情報の入手について、格差を感じていますか。(〇は1つ)

1. 感じている
2. どちらかというと感じている
3. どちらかというと感じていない
4. 感じていない

問33-1 スマートフォンやパソコンなどを持っていますか。(〇はいくつでも)

1. スマートフォンを持っている
2. パソコンを持っている
3. タブレットを持っている
4. その他（ ）
5. 持っていない



問33-2 (問33-1で1～4に○をつけた人)

スマートフォンやパソコンを十分に使いこなせていますか。(○は1つ)

1. 問題なく使えている 3. 使い方がわからないとわかるが、困っていない  
2. 使い方がわからず、困ることがある 4. わからない

→ 問34へ

問33-3 (問33-1で5に○をつけた人)

今後、スマートフォンやパソコンを使う予定はありますか。(○は1つ)

1. 使う予定がある 4. わからない  
2. 使う予定はないが、使いたい 5. その他 ( )  
3. 使う予定はなく、使いたくない

問34 インターネットやパソコンなどの情報技術・情報機器による情報入手の格差を解消するために、区に期待することはありますか。(○は3つまで)

1. スマートフォンなどの講習会 6. デジタルを利用するメリットの周知  
2. いつでも利用できる相談窓口 7. 手書きなどのオンライン対応だけでなく、  
対面や紙などによる対応  
3. 端末の購入費や通信費などの支援  
4. 公共施設のWi-Fi環境の整備 8. その他 ( )  
5. わかりやすいアプリケーションの提供

7 社会参加について

問35 出かけるときに、困ることはありますか。(○はいくつでも)

1. 電車やバスの乗り降り 7. 手広げてくれる人がみつからない  
2. 道路や駅の階段や段差 8. 障害についてわかってもらえない  
3. 歩道が少ない・せまい 9. 人と話すのが難しい  
4. 道路や駅の表示がわかりにくい 10. 道に迷う  
5. 建物のトイレ・エレベーターなど 11. お金の管理  
が使いにくい 12. その他 ( )  
6. 建物のトイレ・エレベーターが 13. 特に困っていない  
どこにあるかわかりにくい



問36 あなたは、この1年間で、次のような外に出る活動をしましたか。(○はいくつでも)

1. コンサートや映画などに行く 7. 町会などの活動  
2. スポーツ・運動 8. ボランティアなどの活動  
3. 遊園地、カラオケなどのレジャー活動 9. 事業者・グループホームの活動  
4. 学習活動 10. 外に出る活動をしていない  
5. 趣味のサークル 11. その他 ( )  
6. 障害者団体などの活動

問37 あなたが、この1年間でスポーツ・運動などをした日はどのくらいですか。(○は1つ)

1. 週3日以上 5. 3か月以上、2日以下  
2. 週2日以下 6. 月に1～3日以下  
3. 週1日以下 7. わからない  
4. 月に1～3日以下

問38 あなたは、ピア活動(当事者活動)を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っており、実際に活動している  
2. 知っており、これから活動したい、または活動予定  
3. 知っているが、活動の予定はない、または今は活動していない  
→ [理由があれば書いてください] } 問40へ  
4. 知らない

問39 (問38で1または2に○をつけた人)

どのようなピア活動をしていますか? またはどのような活動を希望していますか?

(○はいくつでも)

1. 仲間作り・交流 (例: すまいるでのグループ活動など)  
2. 区民に向けた障害者の地域生活などについての普及・啓発  
3. 支援者に向けた講演会や研修などへの協力  
4. 当事者による相談 (例: ピア相談、地域移行プレ相談など※)  
5. その他 ( )

※ピア相談～障害当事者の方による相談事業

※地域移行プレ相談～精神科病院に長期入院している方に、退院に向けた動機付け支援や本人の生活の方のアセスメントを行い、地域での生活に向け支援すること



問40 外に出て楽しい活動をするには、何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 参加しやすい場所などの情報  
 2. 一緒に行く仲間  
 3. 外に出ることを手伝ってくれる人  
 4. 出かけられる場所が近くにあること  
 5. 出かけた場所にいる人が、障害について理解し、対応してくれること  
 6. 出かけた施設・建物が、障害のある人に利用しやすいこと
7. コミュニケーションの支援  
 8. 車などの移動できるものや、お手伝いしてくれる人を募つけること  
 9. その他( )  
 10. 特になし  
 11. わからない

## 8 災害時(地震や水害など)の備えについて

問41 あなたは、「地域のたすけあいネットワーク」※1の手続きをしていますか。(〇は1つ)  
 いない場合はその理由を書いてください。

1. 手続きをしている  
 2. 手続きをしていない → [手続きをしていない理由] ]  
 3. わからない

※1 「地域のたすけあいネットワーク」とは、地震・台風などの災害の際に、障害があることにより自分で避難することが難しい人に、まちの人がお手伝いするものです。お手伝いを希望する人は、前もって手続きが必要です。

問42 あなたは、震災教養所訓練※2に参加したことがありますか。参加したことがない場合はその理由を書いてください。(〇は1つ)

1. 参加したことがある  
 2. 参加したことがない → [参加したことがない理由] ]  
 3. 震災教養所を知らない

※2 震災教養所とは、杉並区内で震度5強以上の地震が発生した時、区立の小中学校が避難所になって、避難者の教養活動を実施する場所のことです。

問43 あなたは、震災教養所での避難生活が難しい災害時要配慮者※3を受け入れ、専門性の高い支援を行う福祉教養所の存在を知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている  
 2. 知らない

※3 災害時要配慮者とは、災害が起きた時の避難行動や避難生活で支援が必要な人のことです。



## 9 差別解消と共生社会の実現に向けて

問44 あなたは、これまでに障害があることを理由に差別されたり、いやな思いをしたことがありますか。(〇は1つ)

1. よくある  
 2. ときどきある  
 3. ない → 問47へ

問45 (問44で「1. よくある」「2. ときどきある」に〇をつけた人) どのような場所で差別されたり、いやな思いをしましたか。その場所の番号に〇をしてください。よろしければ、どのようないやな思いをしたかを書いてください。(書きたくない場合は、書かなくてもかまいません。)

(〇はいくつでも)

1. 区役所などの行政機関で  
 2. 電車・バスなどの公共交通機関で  
 3. 職場で  
 4. 仕事を採る場所で  
 5. 学校・教育機関で  
 6. 病院などの医療機関で  
 7. 障害者の通所施設や作業所で  
 8. グループホームで  
 9. 住んでいる地域で  
 10. 住む場所や家を借りる場面で  
 11. スーパー・コンビニ・店で  
 12. レストラン・食堂・ホテルで  
 13. 習い事・趣味の場で  
 14. 家庭内で  
 15. その他( )

よろしければ、いやな思いをした内容を書いてください。(書きたくない場合は書かなくてもかまいません。)



問46 (問44で「1. よくある」「2. ときどきある」に○をつけた人)  
 あなたが、差別を受けたり、いやな思いをしたときに、相手や周りの人へのどのようなことをしてほしかったですか。(○はいくつでも)

障害への理解	1. 障害を理解してほしかった 2. 人により、できることや困ることが違うことを知ってほしかった
コミュニケーション	3. 一緒にいるお手伝いをしていて、自分に話してほしかった 4. 言葉や行動が、差別にあたりと知ってほしかった
話し方	5. ゆっくり確認しながら話してほしかった 6. ジェスチャーなどを使い、わかりやすく説明してほしかった
行動	7. 嫌なことをされているときに周りの人に止めに入ってほしかった 8. 自分に何をしてほしいか聞いて行動してほしかった
その他	9. その他 ( ) 10. わからない

★ 杉並区では、令和4年度から、障害者と支援者などが様々な生活の場面に出席し、出向いた所の職員と一緒に、障害者や職員の抱える困りごとや荷をどうすればよいかわからないことを話し合い、お互い納得できる解決策を見つけて「良かったこと」にする取組をしています。

問47 あなたが、「良かったこと」を広げてほしい場所は、どこですか。(○はいくつでも)

1. 区役所などの行政機関の窓口	7. 障害者(児)の通所施設や作業所
2. 図書館・地域区民センター	8. スーパー・コンビニ・店
3. 電車・バスなどの公共交通機関	9. レストラン・食堂などの飲食店
4. 銀行・郵便局などの金融機関	10. その他 ( )
5. 病院などの医療機関	11. 必要ない
6. 学校などの教育機関	

10 エネルギー機器について

問48-1 現在、ご家庭で使用しているエアコン(一番古いもの)を購入したのはいつ頃ですか。(○は1つ)

1. 3年未満	4. 10年以上前
2. 3年以上～5年未満	5. わからない
3. 5年以上～10年未満	6. 持っていない

問48-2 おおむね1年以内エアコンを買った人は購入する予定はありますか。(○は1つ)

1. 予定がある	2. 検討している	3. 予定はない
----------	-----------	----------

問48-3 (問48-2で「3. 予定はない」に○をつけた人)  
 予定はないとした最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

1. 経済的な負担が大きい	2. エアコンより優先するものがある	3. 現在のものでまだ使える	4. エアコンの必要性を感じない
---------------	--------------------	----------------	------------------

問49 エネルギー経費(電気・ガス・ガソリン代など)が家計の負担となっていて、エアコンやガスなどの使用を控えたり、その他の生活費(食費、服飾費、住居費など)を削減していますか。(○は1つ)

1. エネルギー経費を削るようにしている	2. エネルギー経費以外の生活費を削るようになっている	3. エネルギー経費と生活費の全体を削るようになっている	4. 特に削っていません
----------------------	-----------------------------	------------------------------	--------------

問50 エネルギー経費削減のため、住宅の壁、床、屋根、窓などの断熱化や太陽光発電機器の導入などの対策を行っていますか。(○は1つ)

1. 行っている	2. 今後行う予定である	3. 行いたいかなどの方法が良いかわからない	4. 行いたいけど経済的負担が心配である	5. 行う考えはない
----------	--------------	------------------------	----------------------	------------



## 11 区の施策について

問51 障害のある人に対して、杉並区が今よりもっと取り組んだほうが良いと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

1. ホームヘルプなどの在宅サービス
2. 障害のある人が利用できる福祉施設
3. 障害に合わせた職業訓練や働く場所
4. 保健医療サービスやリハビリテーション
5. 就労する時や連続する時などの相談の場所
6. 障害のある子どもへの教育
7. 生活の安定のための年金・手当
8. グループホームなどの住まい
9. 障害のある人が利用しやすい住宅や建物、交通機関
10. スポーツ・文化などの活動
11. 地震や水害などの災害時のお手伝い
12. 障害のある人にあわせて情報をお知らせすること
13. 学校などでの障害理解の教育
14. 障害のある人の雇用の拡大や差別解消
15. 誰もが一緒に暮らせるように助け合うまちをつくること
16. ボランティアの育成・支援
17. 障害福祉で働く人を増やしたり、育てたりすること
18. その他( )

問52 これから10年くらいの杉並区に望むことはなんですか。(自由に書いてください)

## 12 主な介護者の状況

問53 57歳から74歳は、介護をする人が増えてください。あなたの年齢はいくつですか。(〇は1つ)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18歳以下  | 4. 40～49歳 | 7. 65～74歳 |
| 2. 19～29歳 | 5. 50～59歳 | 8. 75～84歳 |
| 3. 30～39歳 | 6. 60～64歳 | 9. 85歳以上  |

問54 あなたが病気などで介護できなくなった場合に、代わりに介護できる人はどなたですか。(〇は1つ)

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| 1. 本人の子ども  | 5. 本人の祖父(おじいさん・おばあさん) |
| 2. 本人の父親   | 6. ヘルパー               |
| 3. 本人の母親   | 7. 施設やグループホームの職員      |
| 4. 本人の兄弟姉妹 | 8. その他( )             |
|            | 9. いない                |

問55-1 あなたは就労していますか。(〇は1つ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 就労している | 2. 就労していない |
|           | 問55-4へ     |

問55-2 (問55-1で「1. 就労している」に〇をつけた人) 雇用はどのような形態ですか。(〇は1つ)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 正規の職員・従業員    | 5. 会社などの役員    |
| 2. パートタイム・アルバイト | 6. 自営業・フリーランス |
| 3. 契約・嘱託社員      | 7. その他( )     |
| 4. 派遣社員         |               |

問55-3 (問55-1で「1. 就労している」に〇をつけた人) 就労できている理由は、どれですか。(〇はいくつでも)

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 職場の理解が得られるため | 4. 本人以外の家族の預け先があるため |
| 2. 家族の理解が得られるため | 5. その他( )           |
| 3. 本人の預け先があるため  |                     |



**参考**

**障害福祉サービスなどの内容 (問21)関連**

サービス名	サービスの内容
1 居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、入浴・排せつ・食事などの介護、家事援助や通院介護などを行います。
2 重度訪問介護	重度の肢体不自由者などで常に介護を必要とする人に、自宅で入浴、排せつ、食事等の介護、家事援助や外出時の移動支援等総合的にを行います。
3 生活介護	常に介護を必要とする人に施設で日中、入浴、排せつ、食事の介護などを行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供します。
4 就労継続支援 (A型)	雇用契約に基づく働く場を提供するとともに、一般就労に向けて、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
5 就労継続支援 (B型)	一般企業などでの就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
6 就労移行支援	一般企業などへの就労を希望する人に、定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
7 就労定着支援	障害福祉サービスから一般企業などに就労した人に、就労の継続に必要な事業所・家族などとの連絡調整等の支援を行います。
8 自立訓練 (機能訓練)	自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、身体能力向上のための必要な訓練を行います。
9 自立訓練 (生活訓練)	自立した日常生活または社会生活ができるよう、生活能力向上のための必要な訓練を行います。
10 共同生活援助 (グループホーム)	共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います。
11 自立生活援助	一人暮らしに必要な理解力・生活力などを備うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行います。
12 短期入所 (ショートステイ)	自宅で介護する人が病気の都合や休養などのために、短期間、夜間も含め施設で入浴、排せつ、食事の介護などを行います。
13 行動援護	行動に著しい困難を有する知的障害者や精神障害者が行動するときに、危険を回避するために必要な支援や外出支援を行います。
14 同行支援	視覚障害により、移動に著しい困難を有する人に、移動に必要な情報の提供、移動の援護などの外出支援を行います。
15 計画相談支援	障害福祉サービスなどの利用を希望する障害者について、サービス等利用計画を作成し、一定期間ごとに計画の検証などを行います。

**問55-4. (問55-1で「2. 就労していない」に○をつけた人)**

就労していない理由は、どれですか。

1. お子さんのやきやきようだいの子育てに専念するため
2. 働く必要がないため
3. 仕事が負つからないため
4. 職場の理解が得られないため
5. 家族の理解が得られないため
6. 本人の預け先がないため
7. 本人以外の家族の預け先がないため
8. 自身の健康上の理由
9. 本人以外にも介護が必要な家族がいるため
10. その他 ( )

(○はいくつでも)

**問56 この6か月以内に介護が原因で本人との関係が難しくなりましたか。**

1. 本人を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったことがある
2. 本人をどなどなことをしたことがある
3. 本人の介護やお世話を放棄してしまったことがある
4. 本人に手をあげたりしてしまっことがある
5. その他 ( )
6. ない

(○はいくつでも)

**問57 介護を続けるために、どのような支援が必要だと思いますか。**

1. 介護者が休むことができるように、障害者が就労間隔泊できるサービス
2. 介護者が急抜きできるような、代わりに見守りを行うサービス
3. 介護相談やサービスの紹介・手続きの代行
4. 介護者が勤務時間中に施設などで預かるサービス
5. 介護の悩みを相談できる窓口
6. 同じ悩みを抱える介護者や家族の会など
7. その他 ( )
8. 特にない

\*\*\*ご協力ありがとうございました\*\*\*

郵送で回答する人は、書き終わったアンケートを一緒に入っていた返信用封筒(切手はいりません。)に入れて令和7年12月1日(月)までに送ってください。



障害福祉サービスなどの内容（問21関連）のつづき

サービス名	サービスの内容
16 移動支援	外出時に移動に関する支援が必要な障害者に対し、ガイドヘルパーなどによる移動の支援を行います。
17 訪問入浴	家庭での入浴が困難な重度障害者などに、巡回入浴車による訪問入浴サービスを行います。
18 日帰りショートステイ	自宅で介護する人が病気や休養、就労などで介護できない場合に、障害者を日中一時的に施設で受け入れます。
19 施設入所	施設入所する人に夜間や休日に、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行います。

介護保険サービスなどの内容（問23関連）

サービス名	サービスの内容
1 訪問介護（ホームヘルプ）	ヘルパーが家庭を訪問して、食事、入浴、排泄の介助や、家事などの日常生活の手助けを行います。
2 通所介護（デイサービス）	利用定員9人以上のデイサービスセンターなどで、食事、入浴の提供や、機能訓練などを行います。
3 短期入所（ショートステイ）	介護老人福祉施設などが、短期間の入所を受け入れ、日常生活上の介護を行います。
4 短期入所療養介護（医療型ショートステイ）	介護老人保健施設などが、短期間の入所を受け入れ、医療上のケアを含む日常生活上の介護を行います。
5 通所リハビリテーション（デイケア）	医療施設や介護老人保健施設で、理学療法士や作業療法士が機能訓練などを行います。
6 訪問リハビリテーション	主治医の指示に基づき理学療法士や作業療法士などが家庭を訪問して、日常生活の自立に向けた機能訓練を行います。
7 訪問入浴介護	看護職員や介護職員が簡易浴槽を積んだ移動入浴車などで家庭を訪問し、健康状態を確認しながら、入浴の介助を行います。
8 訪問看護	主治医の指示に基づき、看護師などが家庭を訪問して、療養上の世話や診療の補助などを行います。



## 2. 18歳未満調査票

18歳未満の方へ

### ◆ 地域生活に関する調査 ◆

#### 【調査ご協力をお願い】

いつも杉並区の福祉にご理解いただき、ありがとうございます。  
杉並区では、障害のある人が杉並区ですと暮らしていきけるような計画をつくりまします。



岸本 聡子  
令和7年11月 杉並区長

そのため、お子さん、お父さん、お母さんの生活の様子やご意見などを知るためのアンケートを行っています。アンケートは、だれが書いたのか、わからないようになっていますので、安心して答えてください。  
なお、この調査の報告書は、令和8年4月以降に区公式サイトホームページなどで公開する予定です。よろしくお願ひします。

#### 【お答えにあたってのお願い】

1 この調査は、以下のいずれかに該当する区内在住の18歳未満の方から、無作為に選んでいます。

- 児童発達支援受給者証をお持ちの方
- 学童発達支援事業決定通知書をお持ちの方
- 身体障害者手帳・愛の手帳・精神保健福祉手帳をお持ちの方
- 難病の診断を受けている方

2 答える人

- このアンケートで「お子さん」とは、封筒の「あて名のご本人」のことを指します。
- このアンケートは、お子さんのご家族や身近な支援者の方が回答してください。

※問49～問53は、お子さんへの質問です。お子さんがご自分で回答できる場合は、できるだけお子さんに回答していただく。

3 提出の方法 ①か②のどちらかの方法で提出してください。

①アンケートに答えを書いて、一緒に入っていた封筒にいれて、郵便で送ってください。切手はいりません。

②WEBページ・・・下に書いてあるURLまたは二次元コードから、回答ページへアクセスして答えてください。

<https://www16.webcas.net/form/pub/survey-2311/suginami-se-ikatsuo2>

回答することばは、以下のID番号を入力してください。

ID番号 ●●●●●●●●●●

※設問は、全部で53問あります（裏面の調査内容のとおり）。アンケートの途中で一時保存ができます。ご利用ください。

4 締め切り 令和7年12月1日(月)

#### 【参考】調査内容

調査項目	設問数
ご記入いただくにあたって	1問
1 お子さんについて	9問
2 ご家族について	6問
3 療育・教育について	3問
4 福祉サービスなどについて	8問
5 情報の入手やコミュニケーションについて	5問
6 社会参加について	4問
7 災害時の備えについて	3問
8 差別解消と共生社会の実現に向けて	4問
9 エネルギー機器について	3問
10 区の施策について	2問
11 お子さんへの質問	5問
合計	53問

問い合わせ先 【受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時  
(正午～午後1時、祝日を除く)】

調査についてのご質問など  
杉並区保健福祉部「地域生活に関する調査」担当  
電話：03-3312-2111 (内線1142) ファクス：03-3312-8808

WEBページ回答についてのご質問など  
株式会社 創建 「杉並区地域生活に関する調査」担当  
業務委託先  
電話：0120-844-2711 ファクス：03-6809-1782  
メールアドレス：shaka@soken.co.jp



**ご記入いただくにあたって**

この調査票で「お子さん」とあるのは、封筒の「あて名ご本人」のことです。

問1 この調査票に回答いただく方とお子さんとの関係を記入してください。(〇は1つ)

- 1. 父親
- 2. 母親
- 3. 兄弟姉妹
- 4. 祖父母
- 5. その他 ( )

**1 お子さんについて**

問2 お子さんの年齢を、令和7年11月1日現在で記入してください。(年齢を記入)

満 [ ] 歳

問3 お子さんは病院や相談機関などで、診断を受けたことがありますか。(〇は1つ)

- 1. 受けたことがある
- 2. 受けたことがない → 問9ハ

問4 お子さんの診断・障害(疑いを含む)についてお答えください。(〇はいくつでも)

- 1. 複発障害
- 2. 聴覚障害・平衡機能障害
- 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 → 問5-1ハ
- 4. 肢体不自由
- 5. 内部障害
- 6. 難病(病名) ( )
- 7. 知的障害 ( )
- 8. 発達障害(自閉症スペクトラム症、注意欠如・多動症(ADHD)、学習障害(LD)など) → 問5-1ハ
- 9. 精神障害
- 10. 高次脳機能障害(失語症を含む) → 問5-2ハ
- 11. その他 ( )

問5-1 (問4で「8. 発達障害」に〇をつけた人) どのような症状ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 周囲とのコミュニケーションが苦手
- 2. こだわりが強い・変化が苦手
- 3. 忘れ物や不注意が自立つ
- 4. かんしゃくや自傷行為
- 5. 感情をコントロールできない
- 6. 感覚過敏
- 7. その他 ( )

問5-2 (問4で、「10. 高次脳機能障害」に〇をつけた人) どのような症状ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 記憶障害
- 2. 注意障害
- 3. 遂行機能障害
- 4. 社会的行動障害
- 5. 失語症
- 6. 単純空間無視
- 7. その他 ( )

問6 お子さんが必要とする医療的ケアは何か教えてください。(〇はいくつでも)

- 1. 人工呼吸器
- 2. 気管切開
- 3. 鼻関頭エアウェイ
- 4. 酸素療法
- 5. 吸引(口鼻腔、気管内吸引)
- 6. ネプライザー
- 7. 経管栄養(経鼻、胃ろうなど)
- 8. 中心静脈カテーテル
- 9. 持続注入ポンプ
- 10. 透析(血液透析、腹膜透析など)
- 11. 皮下注射
- 12. 血糖測定
- 13. 排便管理(ストーマや尻嚢など)
- 14. 導尿(定時導尿、留置カテーテルなど)
- 15. けいれん時の医療処置(薬剤挿入、吸引、酸素投与、選定神経刺激装置など)
- 16. その他 ( )
- 17. 特に必要としない

問7 お子さんは、障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つ)

- 1. 持っている
- 2. 持っていない → 問9ハ

問8 (問7で「1. 持っている」に〇をつけた方) 現在お持ちの手帳および等級・等度を教えてください。(持っている手帳すべて)

- 1. 身体障害者手帳 → [ ] 級
- 2. 愛の手帳 → [ ] 度
- 3. 精神保健福祉手帳 → [ ] 級

問9 お子さんは、自宅からの徒歩圏内に、日常的なかかりつけの医療機関はありますか。ある場合はその医療機関名を記入してください。(〇は1つ)

- 1. かかりつけの医療機関が徒歩圏内にある  
→ 【医療機関名: 】
- 2. かかりつけの医療機関はあるけれど、徒歩圏内ではない
- 3. かかりつけの医療機関は訪問診療である  
→ 【医療機関名: 】
- 4. かかりつけの医療機関は不要
- 5. かかりつけの医療機関を探しているが見つからない
- 6. その他 ( )



問10 お子さんの医療機関や健康管理について、困ったり不便に思ったりすることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 疾病や障害に対応できる専門的な医療機関が身近にない 2. 近くの医療機関で受診を断られたことがある 3. 検査や診察中のスタッフの数が少ない 4. 待ち時間の対応が悪い 5. 通院に時間がかかる 6. 通院するのに人手がいる →【病院】には、だれと一緒にに行っていますか： ) 7. 医師などの説明が理解できなくて、一人で行くことができない 8. リハビリテーションが十分に受けられない 9. 地域で往診・訪問診療が受けにくい 10. 疾病や障害の状態によって十分な検査・診療が受けにくい 11. パリアフリーの設備や駐車場がない 12. 医療費の負担が大きい 13. 家族の休息目的のためのレスパイト入居のできる医療機関がない 14. 小児科から成人科へ変更するときに病院を探すのに不安がある 15. 医療的ケアにかかる消耗品の負担が大きい 16. その他 ( ) 17. 特に困ったことはない
--

2 ご家族について

問11 現在、お子さんと一緒に暮らしている人は、どなたですか。(〇はいくつでも)

1. 父親 2. 母親 3. 兄弟姉妹 4. 祖父母 5. その他の親族 6. その他 ( )
--

問12-1 お子さんを主にケア(介護)している人についてご記入ください。(〇は1つ)

お子さんを主にケア(介護)している人は、どなたですか。

1. 父親 2. 母親 3. 兄弟姉妹 4. 祖父母 5. その他の親族 6. その他 ( )
--

問12-2 お子さんを主にケア(介護)している人は、就労していますか。(〇は1つ)

1. 就労している 2. 就労していない → 問12-5へ
----------------------------------



問12-3 (問12-2で「1. 就労している」に○をつけた人) 雇用はどのような形態ですか。(〇は1つ)

1. 正規の職員・従業員 2. パートタイム・アルバイト 3. 契約・嘱託社員 4. 派遣社員 5. 会社などの役員 6. 自営業・フリーランス 7. その他 ( )
---

問12-4 (問12-2で「1. 就労している」に○をつけた人) 就労できている理由は、どれですか。(〇はいくつでも)

1. 職場の理解が得られるため 2. 家族の理解が得られるため 3. お子さんの預け先があるため 4. きょうだいの預け先があるため 5. その他 ( )
---

問12-5 (問12-2で「2. 就労していない」に○をつけた人) 就労していない理由は、どれですか。(〇はいくつでも)

1. お子さんやきょうだいの子育てに専念するため 2. 働く必要がないため 3. 仕事が見つからないため 4. 職場の理解が得られないため 5. 家族の理解が得られないため 6. お子さんの預け先がないため 7. きょうだいの預け先がないため 8. 自身の健康上の理由 9. お子さんの他に介護が必要な家族がいるため 10. その他 ( )
---

問13 お子さんを主にケア(介護)している人以外に、代わりにケア(介護)を頼める家族や友人はいますか。(〇はいくつでも)

1. 休息を取りたい時に頼める人がいる 2. 仕事に行く時に頼める人がいる 3. 病気の時に頼める人がいる 4. 冠婚葬祭に頼める人がいる 5. お子さんのきょうだいの用事(学校行事など)がある時に頼める人がいる 6. 家族が病気の時に頼める人がいる 7. その他 ( ) 8. 頼める人はいない(家族や友人に頼めず、サービス等を利用している人も含みます)
---



問14 この6か月以内に介護が原因でお子さんとの関係が難しくなったことがありますか。(〇はいくつでも)

1. お子さんを侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある
2. お子さんをなだててしまったことがある
3. お子さんの介護やお世話を放棄してしまったことがある
4. お子さんに手をあげたりしてしまったことがある
5. その他 ( )
6. ない

問15 介護を続けるために、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 介護者が休息できるように、お子さんが数日間宿泊できるサービス
2. 介護者が応援できできるように、代わりに見守りを行うサービス
3. お子さんのきょうだいを預かるサービス
4. 介護相談やサービスの紹介・手続きの代行
5. 介護者が勤務時間中に施設などでお子さんを預かるサービス
6. 介護の悩みを相談できる窓口
7. 同じ悩みを抱える介護者や家族の会など
8. その他 ( )
9. 特にない

問16 現在、きょうだいについて、困っていることはありませんか。(〇はいくつでも)

1. きょうだいの気持ちのケア
2. きょうだい本人の体験などの機会を作れない
3. きょうだいの預け先
4. きょうだいを預けるための費用
5. お子さんの病気や障害について、きょうだいへの伝え方
6. その他 ( )
7. 困っていることはない
8. きょうだいはいない

### 3 療育・教育について

問17 お子さんが、主に日中に過ごしている場所についてお答えください。(〇はいくつでも)

- 【就学前の方】
1. 児童発達支援事業所
  2. 保育園
  3. 幼稚園
  4. 子供園
  5. 児童館・子ども・子育てプラザ
- 【小学生・中学生・高校生の方】
1. 通常の学級 (小学校・中学校)
  2. 特別支援学級 (小学校・中学校)
  3. 特別支援学校 (身体・知的)
  4. 特別支援学校 (盲学校・ろう学校)
  5. 高等学校
  6. サポート校
  7. その他 ( )
  8. ほとんど家で過ごしている
  9. 訪問系のサービスを利用している

問18-1 (お子さんが、通園・通学している人) 通園・通学する上で困っていることは、ありますか。(〇はいくつでも)

1. 登下校(園)が大変
2. 本人特性に応じた授業などのサポート
3. 段差やトイレなどの設備
4. 園内・校内での介助
5. 生徒や職員などの本人特性への理解
6. 選択できる園や学校が少ない
7. 教育や療育に関する情報が少ない
8. 家族への支援が少ない
9. 学校以外の相談先が少ない
10. その他 ( )
11. 特に困っていない

問18-2 現在の通園・通学先を卒業した後、どのような進路を希望しますか。(〇は1つ)

1. 通常の学級 (小学校・中学校)
2. 特別支援学級 (小学校・中学校)
3. 特別支援学校 (身体・知的)
4. 特別支援学校 (盲学校・ろう学校)
5. 高等学校
6. サポート校
7. フリースクール
8. 大学
9. 職業能力開発センター
10. 就職 (アルバイトなどを含む)
11. 障害者通所施設
12. 自宅
13. その他 ( )
14. わからない



問19-1 (お子さんが通学している人)

放課後、自宅以外に通う場所について記入してください。(〇はいくつでも)

1. 学童クラブ	5. 老人学
2. 放課後等デイサービス	6. 高齢者
3. 児童館	7. その他 ( )
4. 習い事	8. 持っていない

問19-2 放課後の居場所について、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

1. お子さんの状態に合った施設がない、または少ないこと
2. 夏休みなど長期休暇中の居場所がない、または少ないこと
3. 施設を利用できる時間が短いこと
4. 施設の情報が少ないこと
5. 施設までの送迎が負担であること
6. お子さんの障害や病気に理解のある職員がいない、または少ないこと
7. その他 ( )
8. 持っていない

問19-3 放課後の居場所が必要なのは、どんなメニューですか。(〇はいくつでも)

1. 身体介護や医療的ケア	6. 職業につながるトレーニング
2. 安全面での見守り	7. 進路や将来のことが相談できる
3. 同世代とのグループ活動	8. 安全な空間で、一人でゆっくりできる
4. 学習面でのサポート	9. コミュニケーションのトレーニング
5. 日常生活の困りごとのサポート	10. スタッフが介入するレクリエーション活動

(例えば、金銭管理やスケジュール管理など)

4 福祉サービスなどについて

問20 次の①～⑫の福祉サービスの利用についてうかがいます。

Aで「利用している」に〇をした人 → 表のBとCに答えてください。

Aで「給付決定しているが利用していない」「福祉サービスを申請していない」に

〇をした人 → 表のDとEに答えてください。

※各サービスの説明については、調査票の巻末の「福祉サービスなどの内容」をご参照ください。

A～C ①～⑫のサービスごとに〇は1つずつ

サービス名	A. 利用の状況		B. 「利用している人」回数と時間は足りていますか。			C. 「利用している人」サービスに満足していますか。					
	利用している	利用していない	給付決定している	給付決定していない	足りている	あまり足りていない	足りていない	とても満足している	まあまあ満足している	あまり満足しないう	満足していない
①移動支援 (記入例)	○				○				○		
①児童発達支援											
②放課後等デイサービス											
③保育所等訪問支援											
④居宅介護 (ホームヘルプ)											
⑤ショートステイ (短期入所)											
⑥行動補護											
⑦同行補護											
⑧相談支援事業所											
⑨労働調整支援事業											
⑩移動支援											
⑪訪問入浴											
⑫日帰りショートステイ											



D. A. 「利用の状況」で「利用していない」「申請していない」に○をつけた人  
 (①～⑫のサービス各ごとに○はいくつでも)

サービス名	D. 利用していない理由は何ですか。その他の場合は理由を記入してください。									
	事業者が見てくれない	サービスの内容がわからない	サービスの内容が不安	希望の回数・回数が増えない	予約や手続きが大変	利用料が高い	送迎がない	利用する必要がない	その他	
①居宅発達支援									( )	
②放課後等デイサービス									( )	
③療育所等訪問支援									( )	
④居宅介護 (ホームヘルプ)									( )	
⑤ショートステイ (短期入所)									( )	
⑥行動援護									( )	
⑦同行援護									( )	
⑧相談支援事業所									( )	
⑨学習発達支援事業									( )	
⑩移動支援									( )	
⑪訪問入浴									( )	
⑫白癩リショートステイ									( )	

E. A. 「利用の状況」で「利用していない」「申請していない」に○をつけた人  
 (①～⑫のサービス各ごとに○は1つ)

サービス名	E. これから(2～3年後)に利用したいですか。	
	利用したい	利用するつもりはない
①居宅発達支援	あなたの状況によっては利用したい	家族の状況によっては利用したい
②放課後等デイサービス		
③療育所等訪問支援		
④居宅介護 (ホームヘルプ)		
⑤ショートステイ (短期入所)		
⑥行動援護		
⑦同行援護		
⑧相談支援事業所		
⑨学習発達支援事業		
⑩移動支援		
⑪訪問入浴		
⑫白癩リショートステイ		



問21 サービスを提供する事業者へのぞむことはなんですか。(〇はいくつでも)

1. 利用手続きについてのわかりやすい説明
2. サービス内容についてのわかりやすい説明
3. 動画などのサービス提供中の具体的な様子紹介
4. ホームページなどでのわかりやすい事業者情報の提供
5. 希望するサービスを提供できる人材の確保
6. 購買の障害(疾病)への理解と的確な対応
7. 本人特性に対応できる職員の専門性の確保
8. 当事者の意思を尊重した支援
9. 利用面の安全性(防犯・防災等)
10. 行政や医療とのつながり
11. 又、会費や利用料金が安いこと
12. その他( )
13. 特になし

問22 お子さんのことで現在困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 育児や教育のこと
2. 医療のこと
3. リハビリのこと
4. 福祉サービスのこと
5. 生活費、医療費などの生活のこと
6. お子さんの金銭管理のこと
7. 外出が困難なこと
8. 子育てや障害についての情報が得にくいこと
9. 子どもの将来像が見えにくいこと
10. 強く叱咤したり、手をあげてしまうこと
11. 臆病を言ったり、相談できる相手がないこと
12. お子さんとのコミュニケーションがとりにくいこと
13. お子さんの性のこと
14. 発達の遅れや障害・病気についてまわりの理解が得られないこと
15. お子さんから目が離せないこと
16. 預け先が見つからないこと
17. 近くに理解のある医療機関が見つからないこと
18. 情報収集の方法がわからないこと
19. その他( )
20. 特になし

問23 現在、困ったときの身内以外の相談先はどこですか。(〇はいくつでも)

1. 保健センター
2. 区役所(児童発達相談係)
3. 区役所(障害者施策課、障害者施設支援課)
4. 地域生活支援係(障害者福祉会館)
5. 福祉事務所
6. 子ども発達センターなどの療育機関
7. 子ども家庭支援センター
8. 消費教育センター・就学前教育支援センター
9. 障害者地域相談支援センター(すまいる)
10. 相談支援事業所(児童発達利用計画の作成を行う事業所)
11. 児童相談所
12. 保育園・幼稚園・子供園
13. 学校
14. 児童館・学童クラブ・放課後等デイサービス
15. 医療機関
16. 障害者団体・家族会・保護者会
17. その他( )
18. 特になし

問24 お子さんに何らかの症状や発達上の不安があるとわかったとき、最初に相談したところはどこですか。(〇は1つ)

1. 家族親族
2. 友人知人(地域・職場など)
3. 医療機関
4. 保健センター(健診時)
5. 保健センター(健診時以外)
6. 区役所(児童発達相談係)
7. 子ども家庭支援センター
8. 児童相談所
9. 子ども発達センターなどの療育機関
10. 消費教育センター・就学前教育支援センター
11. 相談支援事業所(児童発達利用計画の作成を行う事業所)
12. 保育園・幼稚園・子供園
13. 学校
14. 児童館・学童クラブ・放課後等デイサービス
15. 民生委員・児童委員
16. 障害者団体・家族会・保護者会
17. インターネット、SNSの相談サイト・掲示板
18. その他( )
19. 特になし

問25 問24の最初の相談先は、スムーズにみつかりましたか。(〇は1つ)

1. スムーズに見つかった
2. 見つけにくかったがわかった
3. はじめはわからず、別の場所に相談してわかった
4. うまく見つからなかった
5. その他( )



問26 区の子育て支援について、保護者の方が希望するものはどれですか。(〇はいくつでも)

- |                                 |             |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 一時保育                         | 6. 育児家事援助   |
| 2. 親子で遊べる場                      | 7. 子育て全般的相談 |
| 3. 同じ悩みを持つ親の集まり                 | 8. 発達相談     |
| 4. 障害児の家族への支援                   | 9. 教育相談     |
| 5. 子育てを学ぶ親の講座<br>(ペアレントプログラムなど) | 10. その他 ( ) |

問27 杉並区の子育て施策について、今後必要と思われることなどのご意見・ご要望があればご記入ください。

## 5 情報の入手やコミュニケーションについて

問28 福祉サービスの情報の入手方法はどれですか。(〇はいくつでも)

- |                                      |                    |
|--------------------------------------|--------------------|
| 1. 区役所の相談窓口                          | 7. サービス提供事業者       |
| 2. 広報紙など区のお知らせ                       | 8. 障害者団体           |
| 3. 障害福祉のしおり                          | 9. 友人や知人、家族        |
| 4. 区のホームページ、のーまらいふ彩並                 | 10. 病院・診療所         |
| 5. すざなみ福祉サーチャ<br>(事業者・余暇情報などの検索システム) | 11. 保育園、幼稚園・子供園、学校 |
| 6. 相談支援事業所                           | 12. その他 ( )        |
|                                      | 13. 情報を知るところがない    |

問29 お子さんは、家族、親族、知人、支援者とコミュニケーションをとるときに、どのような意思疎通手段、支援を利用していますか。(〇はいくつでも)

- ①手段
- |   |                  |
|---|------------------|
| 1. 手話                                   | 6. コミュニケーションボード※ |
| 2. 電話                                   | 7. ジェスチャー        |
| 3. 筆談                                   | 8. その他 ( )       |
| 4. 補聴器・補聴援助機器                           | 9. 特に支援の必要はない    |
| 5. パソコン・携帯・タブレット (読み上げ機能・文字化機能などの利用を含む) |                  |

※コミュニケーションボードには、文字盤・支援の要点を書いたもの・コミュニケーションカード・必要なものをピックアップした写真・イラストも含まれます。

②支援

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 家族が代わりに説明する    | 6. ボランティア           |
| 2. 手話通訳者          | 7. 支援の要点を書いたものを作成する |
| 3. 契約筆記者          | 8. その他 ( )          |
| 4. 盲ろう者向け通訳・介助員   | 9. 特に支援などの必要はない     |
| 5. ヘルパー (移動支援を含む) |                     |

問30-1 お子さんがいろいろな情報を知るのにはなんですか。(〇は3つまで)

- |                                      |                               |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 点字・音声の出版物が少ない                     | 11. 要点がわからない、必要な情報を調べることができない |
| 2. 音声による情報が少ない                       | 12. 文字・文章が理解できない              |
| 3. 視覚障害者向けの区や東京都、国などの情報が手に入りにくい      | 13. 欲しい情報を伝えられない              |
| 4. 字幕付きのテレビ・動画などが少ない                 | 14. 情報が多すぎてわからない              |
| 5. 手話付きのテレビ・動画などが少ない                 | 15. その他 ( )                   |
| 6. 問合せ先にファクス番号やメールアドレスが書いていない        | 16. 特に困らない                    |
| 7. 電車などで緊急の時の情報がわかりにくい               |                               |
| 8. 区役所、図書館、駅、病院など誰もが利用する施設の案内がわかりにくい |                               |
| 9. インターネットで知りたいたいことを調べることがむずかしい      |                               |
| 10. 話している内容が理解できない                   |                               |



問30-2 お子さんがコミュニケーションをとるときに困ることはありますか。(○はいくつでも)

1. 話している相手の表情がわからない
2. 手話で伝えることに限りがある
3. 筆談で伝えることに限りがある
4. 話せない
5. 書けない
6. 言っていることが理解できない
7. 書いてあることが理解できない
8. 黙っていることをとばで責めない
9. 考えがまとまらない
10. 話そうと想っていたことを忘れる
11. 話したことを忘れる
12. その他 ( )
13. 特に困らない

問31 お子さんがインターネットやパソコンなどの情報技術・情報機器を使って情報を入手することについて、格差を感じていますか。(○はいくつでも)

1. 感じている
2. どちらかというと感じている
3. どちらかというと感じていない
4. 感じていない

問32 お子さんがインターネットやパソコンなどの情報技術・情報機器による情報入手の格差を解消するために、区に期待することはありますか。(○は3つまで)

1. スマートフォン等の講習会
2. いつでも利用できる相談窓口
3. 端末の購入費や通信費などの支援
4. 公共施設のWi-Fi環境の整備
5. わかりやすいアプリケーションの提供
6. デジタルを利用するメリットの周知
7. 手書きなどのオンライン対応だけでなく、対面や紙などによる対応
8. その他 ( )

## 6 社会参加について

問33 お子さんが、家庭や学校以外で、地域で楽しく過ごせる場所はありますか。(○はいくつでも)

1. 公園
2. 児童館
3. 子ども・子育てプラザ
4. 図書館
5. スポーツ施設
6. 飲食店
7. アミューズメント施設
8. 買い物
9. 趣味・サークル活動
10. 友達同士の遊びの場
11. 障害者団体の活動
12. 地域やボランティア団体の活動
13. その他 ( )
14. 特にない



- 15 -

問34 (問33で1～13に○をつけた人)のくわい出かけますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日
2. 週3日程度
3. 週1日程度
4. 月に1～3日程度
5. 年に1～3日程度
6. わからない

問35 お子さんが外出するとき、困ることはありますか(特に区内で)。(○はいくつでも)

1. 電車やバスの乗り降りが困難
2. 道路や駅に階段や段差が多い
3. 歩道が少ない・せまい
4. 道路や駅の表示がわかりにくい
5. 外出発の建物の設備が不便(通路・トイレ・エレベーターなど)
6. 外出発の建物の設備の情報(通)がわかりにくい(通路・トイレ・エレベーターなど)
7. 介助してくれる人がいない
8. 障害や症状が理解されにくい
9. 人と話すのが難しい
10. 道に迷う
11. お金の管理
12. その他 ( )
13. 特に困っていない

問36 障害のある人もない人も誰もが地域で一層楽しめるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 障害者が参加しやすい余暇活動や場所などの情報提供
2. 一緒に行く仲間がいること
3. 一緒に行く支援者・介助者がいること
4. 余暇活動の場が身近にあること
5. 地域の様々な場所での障害理解と配慮ある対応の促進
6. 地域の様々な場所での障害のある人に配慮した施設・設備の充実
7. 障害にあった支援・対応があること
8. コミュニケーションの支援
9. 外出のための移動手段や介助の確保
10. その他 ( )
11. 特にない
12. わからない



- 16 -

## 7 災害時（地震や水害など）の備えについて

問37 お子さんは、「地域のたすけあいネットワーク」※1に登録していますか。していない場合はその理由を記入してください。（〇は1つ）

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| 1. 登録している                |  |
| 2. 登録していない → 【登録していない理由】 |  |
| 3. わからない                 |  |

※1 「地域のたすけあいネットワーク」とは、災害時に高齢や障害などの理由により、自らの避難行動が困難な方に対し、地域の皆さまにより支援を行うものです。災害時の支援を希望する区民の方に登録していただき、災害時の支援の線に役立てています。

問38 お子さんは、震災救護所訓練※2に参加したことがありますか。参加したことがない場合はその理由を記入してください。（〇は1つ）

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| 1. 参加したことがある                 |  |
| 2. 参加したことがない → 【参加したことがない理由】 |  |
| 3. 震災救護所を知らない                |  |

※2 震災救護所とは、杉並区内で震度5強以上の地震が発生した際、区立の小中学校が避難所として開設され、避難者の救護活動を実施する拠点のことです。

問39 あなたは、震災救護所での避難生活が難しい災害時要配慮者※3を受け入れ、専門性の高い支援を行う福祉救護所の存在を知っていますか。（〇は1つ）

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 知っている |  |
| 2. 知らない  |  |

※3 災害時要配慮者とは、災害が起きた時の避難行動や避難生活で支援が必要な人のことです。



## 8 差別解消と共生社会の実現に向けて

問40 お子さんについて、これまでに障害や病氣、本人特性などを理由に差別を受けたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。（〇は1つ）

- |         |           |       |
|---------|-----------|-------|
| 1. よくある | 2. とまどきある | 3. ない |
|---------|-----------|-------|

問41 (問40で「1.よくある」「2.とまどきある」に〇をつけた人) どのような場所で差別を受けたり、いやな思いを感じたりしましたか。あてはまる場所の番号に〇をしてください。よろしければ、枠内に具体的な内容を記入してください。（書きたくない場合は、記入しなくてもかまいません。）（〇はいくつでも）

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 区役所などの行政機関で     | 8. 住んでいる地域で       |
| 2. 電車・バスなどの公共交通機関で | 9. スーパー・コンビニ・店で   |
| 3. 学校・教育機関で        | 10. レストラン・食堂・ホテルで |
| 4. 保育園で            | 11. 習い事・趣味の場で     |
| 5. 児童の通所施設で        | 12. 家庭で           |
| 6. 放課後過ごしている場所で    | 13. その他 ( )       |
| 7. 病院などの医療機関で      |                   |

よろしければ、具体的な内容を書いてください。（書きたくない場合は、記入しなくてもかまいません。）



問42 (問40で「1.よくある」「2.ときどきある」に○をつけた人)  
お子さんが差別を受けたり、いやな思いを感じたりしたときに、相手や周りの人にも  
そのような対応(配慮)をしてほしかったですか。(○はいくつでも)

本人特性への理解	1. 本人特性について、思い込みではなく、理解をしてほしかった
コミュニケーション	2. 個人により、できることや困難なことが違うことを知っておいてほしかった 3. 同行者等にはではなく、直接、本人に話し(かけ)てほしかった 4. 言動や行動が、差別にあたるのと知ってほしかった
話し方	5. ゆっくりわかりやすく話してほしかった 6. 筆談やジェスチャー・手話など使い、わかりやすく説明してほしかった
行動	7. 差別的行動を免かけた周りの人へのために入ってほしかった 8. 思い込みではなく、本人に何をしてほしいか聞いて行動してほしかった
その他	9. その他( ) 10. わからない

★ 杉並区では、令和4年度から、障害者と支援者などが様々な生活の場面に出席し、出向いた所の職員と一緒に、障害者や職員の抱える困りごとや何をどうすればよいかのわからないことを話し合い、お互い納得できる解決策を見つけて「良かったこと」にする取組をしています。

問43 うれしかったり、助かったりした「良かったこと」を広げてほしい場所は、どこですか。(○はいくつでも)

1. 区役所などの行政機関の窓口	7. 児童の通所施設・障害者の通所施設や作業所
2. 図書館・地域住民センター	8. スーパー・コンビニ・店
3. 電車・バスなどの公共交通機関	9. レストラン・食堂などの飲食店
4. 銀行・郵便局などの金融機関	10. その他( )
5. 病院などの医療機関	11. 必要ない
6. 学校などの教育機関	



## 9 エネルギー機器について

問44-1 現在、ご家庭で使用しているエアコン(一番古いもの)を購入したのはいつ頃ですか。(○は1つ)

1. 3年未満	3. 5年以上~10年未満	5. わからない
2. 3年以上~5年未満	4. 10年以上前	6. 持っていない

問44-2 おおむね1年以内にエアコンを買い替え又は購入する予定はありますか。(○は1つ)

1. 予定がある	3. 予定がない
2. 検討している	問45へ

問44-3 (問44-2で「3. 予定がない」に○をつけた人)  
予定はないとした最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

1. 経済的な負担が大きい	3. 現在のものがまだ使える
2. エアコンより優先するものがある	4. エアコンの必要性を感じない

問45 エネルギー経費(電気・ガス・ガソリン代など)が家計の負担となっていて、エアコンやガスなどの使用を控えたり、その他の生活費(食費、服飾費、住居費など)を削減していますか。(○は1つ)

1. エネルギー経費を削るようにしている	3. エネルギー経費と生活費の全体を削る
2. エネルギー経費以外の生活費を削る	ようになっている
	4. 特になにもしていない

問46 エネルギー経費削減のため、住宅の壁、床、屋根、窓などの断熱化や太陽光発電機器の導入などの対策を行っていますか。(○は1つ)

1. 行っている	4. 行いたいけど経済的負担が心配である
2. 今後行う予定である	5. 行う考えはない
3. 行いたいけどどのような方法が良いかわからない	



10 区の施策について

問47 障害(疾病)のある人に関する杉並区の施策のうち、もっと力を入れる必要があると思うものはどれですか。(〇は3つまで)

1. ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実
2. 障害(疾病)のある人が利用できる福祉施設の充実
3. 障害(疾病)に応じた職業訓練の充実や雇用の確保
4. 保健医療サービスやリハビリテーションの充実
5. 就学時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実
6. 障害(疾病)のある子どもへの支援体制や教育の充実
7. 生活の安定のための年金・手当の充実
8. 障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備
9. 障害(疾病)のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備
10. スポーツ・文化などの余暇活動の充実
11. 地域や水害などの災害時の支援体制の整備
12. 障害(疾病)のある人に応じた情報提供の充実
13. 学校などでの子どものところからの障害理解の教育
14. 障害(疾病)のある人の虐待防止・差別解消など権利擁護の取組の充実
15. 誰もが共に支え合えないながら暮らす地域共生社会の実現に向けた取組の充実
16. ボランティアの育成・支援
17. 障害福祉にかかわる人材確保や育成の取組
18. その他 ( )

問48 今後概ね10年程度の杉並区の障害者施策に望むことはなんですか。(自由にご記入ください)



11 お子さんへの質問

【保護者の方へ】

問49から問53は、お子さんご本人への質問です。お子さんがご自分で回答できる場合は、できるだけお子さんに回答していただくようお願いいたします。お子さんがご自分で回答するのが難しい場合は、お子さんの意見を聞いて保護者の方が代わりに答えていただくか、またはご回答いただけなくても構いません。

【あなたへ (お子さんへ)】

問49から問53はなるべく自分で答えてください。答えたくない質問や、答えがわからない質問は、そのまま飛ばして次の質問に答えてください。答えは、あてはまる番号を選んで〇をつけてください。

問49 このアンケートには、誰が答えていますか。

1. 本人 ( )
2. 保護者
3. その他 ( )

問50 あなたが「こんなところですごしたいな」「こんなところがあるといいな」と思うところはどこですか。(〇はいくつでも)

1. スポーツができる場所
2. 音楽ができる場所
3. ゲームができる場所
4. おしゃべりできる場所
5. 安心できる場所
6. しずかにできる場所
7. とくにない
8. そのほか ( )



問51 あなたは今までに、障言や病氣などが理由でいやなことをされたり、いやな思いをしたことがありますか。(〇は1つ)

1. ある
2. ない
3. わからない

問52 困ったことやいやなことがあったとき、あなたは誰かに相談できましたか。(〇はいくつでも)

1. 友達に相談できた
2. お父さんやお母さん、家族に相談できた
3. 学校の先生や事業所の人に相談できた
4. 相談できなかつた
5. 相談したくなかつた
6. わからない
7. そのほか ( )

問53 話をするとき、相手がどんなふうにしてくれるとうれしいですか。(〇はいくつでも)

1. ゆっくりわかりやすく話してくれる
2. 絵や文字をつかって、わかりやすく説明してくれる
3. 荷をしてほしいか聞いて、してほしいことを一緒にやってくれる
4. 自分の話が終わるまで待ってくれる
5. 付き添いの人ではなく、自分に話しかけてくれる
6. こども扱いするような話し方をしない
7. わからない
8. そのほか ( )

\*\*\*ご協力ありがとうございました\*\*\*

郵送で回答する人は、記入した調査票を同封の返信用封筒(切手不要)に入れて令和7年12月1日(月)までに返送してください。



福祉サービスなどの内容 (問20関連)

参考

サービス名	サービスの内容
1 児童発達支援	療育の必要がある未就学の児童を対象に、日常生活の基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行います。
2 放課後等デイサービス	小学校から中学、高校までの学校に通う障害児を対象に、生活能力の向上のために必要な訓練、その他必要な支援を行います。
3 保育所等訪問支援	専門員が保育所などを定期的に訪問し、保育所などに通う児童が集団生活に適応するために必要な専門的支援を提供します。
4 居宅介護(ホームヘルプ)	自宅で、入浴・排せつ・食事などの介護、家事援助や通院介助などを行います。
5 ショートステイ(短期入所)	自宅で介護する人が病気の場合や休養などのために、短期間、夜間も含め施設で入浴、排せつ、食事の介護などを行います。
6 行動支援	行動に著しい困難を有する知的障害児などが行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います。
7 同行支援	視覚障害により、移動に著しい困難を有する児童に、移動に必要となる相対の提供、移動の保護などの外出支援を行います。
8 相談支援事業所	発達に關する相談や障言に關する様々な相談に応じ、必要な情報の提供や関係機関との調整を行うとともに、通所サービスの内容などを定めた児童支援利用計画などの作成を行います。
9 学校1～3年生の発達障害児に対する支援事業	小学館やコミュニケーション、社会性を促す支援などを行う小学館1～3年生の発達障害児に対し、学校などと連携しながら、発達支援事業を実施します。
10 移動支援	外出時に移動に關する支援が必要な障言者に対し、ガイドヘルパーなどによる移動の支援を行います。
11 訪問入浴	家庭での入浴が困難な重度障害児などに、巡回入浴車による訪問入浴サービスを行います。
12 白塗りショートステイ	自宅で介護する人が病氣や休養、就労などで介護できない場合に、障害児を日中一時的に施設で受け入れます。



### 3. サービス事業所調査票

#### サービス事業所の方へ

#### ◆ 障害分野の計画策定のための事業所調査 ◆

ID番号

※依頼文に記載されたID  
番号をご記入ください。

※調査票で「貴事業所」とするのは、封筒のあて名に記載されている事業所（サービス提供にあたり都・区に指定を受けた事業所番号ごと）です。

※事業所番号が異なる複数サービスを提供している場合は、それぞれのサービスごとに異なる回答用のID番号を入力して、インターネットからご回答ください。

#### 1 事業運営について

問1 貴事業所の運営主体の種類はどれに当てはまりますか。(○は1つ)

1. 社会福祉法人  
2. 医療法人  
3. 社団法人・財団法人  
4. 株式会社・有限会社  
5. 特定非営利活動法人（NPO法人）  
6. その他（ ）

問2 貴事業所の開業年をご記入ください。

西暦 [ ] 年

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、相談支援、児童福祉法に基づく障害児サービス等はどれに当てはまりますか。(○はいくつでも)

1. 訪問系《居宅介護・重度訪問介護 同行搬送・行動援護・重度障害者等包括支援・移動支援・訪問看護》
2. 入所施設系《施設入所支援》
3. 居住系《共同生活援助（グループホーム）・自立生活援助》
4. 日中活動系《障害介護・生活介護》
5. 訓練・就労系《自立訓練（機能訓練）・自立訓練（生活訓練）・就労移行支援・就労継続支援（A型）・就労継続支援（B型）・就労定着支援・就労選択支援》
6. 短期入所系《短期入所（ショートステイ）日帰りショート（日中一時支援）》
7. 障害児系《児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援・学童期発達支援》
8. 相談支援系《計画相談支援・地域移行支援・地域定着支援・障害児相談支援》
9. 訪問入浴サービス

問4 貴事業所でサービスを提供している利用者の主な障害はどれに当てはまりますか。(○は2つまで)

1. 重度重複障害  
2. 視覚障害  
3. 聴覚障害・平衡機能障害  
4. 音声・言語・そしゃく機能障害  
5. 肢体不自由  
6. 内部障害  
7. 難病  
8. 知的障害  
9. 精神障害(発達障害・高次機能障害を含む)  
10. 発達障害  
11. 高次脳機能障害  
12. その他（ ）

問5 貴事業所の現在の経営状況はどれに当てはまりますか。(○は1つ)

1. 悪化傾向にある  
2. 特段の変化はない  
3. 好転傾向にある  
4. わからない

問6 貴事業所の、福祉・介護職員等処遇改善加算の算定状況はどれに当てはまりますか。(○は1つ)

1. 加算Ⅰ  
2. 加算Ⅱ  
3. 加算Ⅲ  
4. 加算Ⅳ  
5. 加算対象外の事業所  
6. わからない

問7 貴事業所の令和7年10月1日時点の職員数をご記入ください。

[ ] 人

問8 職員の内訳を、①雇用形態別 ②勤務時間別 ③経験年数別でご記入ください。いずれも問7の合計数と同じになります。

①雇用形態別

職員種別	人数
正規職員	人
非正規職員 雇託・契約・臨時・パート等 派遣職員	人
合計	人

②勤務時間別

職員種別	人数
10時間未満	人
20時間以上20時間未満	人
20時間以上32時間未満	人
32時間以上	人
合計	人

③経験年数(貴事業所でなく障害分野で勤務した通算年数)別

経験年数	人	数
1年未満		人
1年以上3年未満		人
3年以上5年未満		人
5年以上10年未満		人
10年以上		人

## 2 人材確保・育成・定着の取組について

※採用を事業所単位で行っており、かつ法人で行っている場合、人材確保等に関する設問については「貴事業所」を「貴法人」に読み替えて回答してください。

問9 貴事業所の令和6年4月1日以降の採用者数と退職者数をご記入ください。

(令和6年4月1日～現在)		人	数
採用者数	経験者		人
	未経験者		人
退職者数			人

問10 貴事業所で、採用にあたり効果的だった取組はどれですか。(〇は3つまで)

1. ハローワーク・福祉人材センターでの求人活動
2. 人材紹介会社での求人活動
3. 杉並区のイベント(就職相談・面接会等)での求人活動
4. 法人・事業所のホームページでの発信
5. 法人・事業所のSNS (Instagram・facebook・Xなど)での発信
6. 民間の求人サイトの募集掲載
7. 求人情報誌・就職情報誌への掲載
8. 新聞折り込みの広告
9. 友人・知人・職員などからの口コミ
10. ボランティア・実習・アルバイトの受入
11. 学校・養成施設等への働きかけ
12. 施設・事業所のイベント(説明会・行事等)での働きかけ
13. その他 ( )
14. 特に行っていない

問11 貴事業所の職員の定着率はどれに近いですか。(〇は1つ)

1. 定着率は高い
2. 定着率が低くて(離職率が高く)、困っている
3. 定着率は低い(離職率が高い)、困っていない
4. わからない

問12 貴事業所で、職員の早期離職防止や定着促進を図るために行った効果的な取組はどれですか。(〇は5つまで)

1. 仕事の内容や役割の明確化
2. 職場内の情報共有の充実
3. 利用者・家族の支援へのサポート
4. 職場内の良好な人間関係、雰囲気づくり
5. 資金や手当の引き上げ
6. 家賃補助等の充実
7. 福祉に関する研修会の充実
8. 能力や仕事ぶりに応じた評価(昇給・昇格)などの体制の明確化
9. キャリアアップ機会の充実
10. 勤務時間・勤務体系の多様化
11. 残業を減らすような労働条件の改善
12. 業務改善や効率化等による働きやすい環境づくり
13. ICT環境の充実、AI等の最新技術の導入・活用
14. 休暇の取りやすい環境の整備
15. 人員体制の整備・増員
16. 支援者が悩みを相談する場所等の整備
17. その他 ( )

問13 貴事業所の職員の充足状況はいかがですか。(〇は1つ)

1. 大変不足している
2. やや不足している
3. 適当である
4. 過剰である

問14 貴事業所で、人材確保や人材不足への対応のため、どのように取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

1. 採用説明会や職場体験を実施
2. 大学・専門学校等の教育機関に働きかけ
3. ボランティアや実習生を積極的に受け入れ
4. インターンや実習生を積極的に受け入れ
5. 同業の他事業者よりも賃金を高めに設定
6. 勤務時間・福利厚生など働きやすい環境整備
7. 人材確保のための動画を作成
8. 近隣の事業所と採用に関する情報交換
9. 資格や支援経験の有無を採用条件にしない
10. 介護福祉機器や介護ロボットの導入
11. 支援記録から給付費等の請求までシステムで一括管理
12. 外国人材を活用
13. その他 ( )
14. 特に行っていない

問15 人材確保に当たり、貴事業所が区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 障害福祉の仕事の魅力発信
2. 学生等への積極的な働きかけ
3. 就職相談・面接会等のイベントの開催
4. 採用募集にかかる経費の支援
5. 資格取得にかかる経費の支援
6. 区内事業者が連携した情報発信
7. その他 ( )
8. 特にない
9. わからない

問16 職員の資格保有者・研修修了者等について

①貴事業所の職員の資格保有者・研修修了者等の人数をご記入ください。(人数を記入)

資格等	人数	資格等	人数
1. 社会福祉士	人	14. 重度訪問介護従業者養成研修	人
2. 介護福祉士	人	15. 同行援護従業者養成研修	人
3. 精神保健福祉士	人	16. 行動援護従事者養成研修	人
4. 理学療法士	人	17. 強度行動障害従事者支援者養成研修	人
5. 作業療法士	人	18. 接吸引等研修	人
6. 保育士	人	19. 杉並区ガイドヘルパー養成講座	人
7. 公認心理師・臨床心理士	人	20. サービス管理責任者基礎研修	人
8. 栄養士・管理栄養士	人	21. サービス管理責任者実務者研修	人
9. 介護職員初任者研修	人	22. 相談支援従事者初任者研修	人
10. 介護職員実務者研修	人	23. 相談支援従事者現任研修	人
11. 社会福祉士実習指導者	人	24. 相談支援従事者主任研修	人
12. 介護福祉士実習指導者	人	25. その他	人
13. 居宅介護職員初任者研修	人	( )	人

②貴事業所の職員に、今後保有してほしい資格・受講させたい研修等はどれですか。

(〇はいくつでも)

1. 社会福祉士	14. 重度訪問介護従業者養成研修
2. 介護福祉士	15. 同行援護従業者養成研修
3. 精神保健福祉士	16. 行動援護従事者養成研修
4. 理学療法士	17. 強度行動障害従事者支援者養成研修
5. 作業療法士	18. 接吸引等研修
6. 保育士	19. 杉並区ガイドヘルパー養成講座
7. 公認心理師・臨床心理士	20. サービス管理責任者基礎研修
8. 栄養士・管理栄養士	21. サービス管理責任者実務者研修
9. 介護職員初任者研修	22. 相談支援従事者初任者研修
10. 介護職員実務者研修	23. 相談支援従事者現任研修
11. 社会福祉士実習指導者	24. 相談支援従事者主任研修
12. 介護福祉士実習指導者	25. その他
13. 居宅介護職員初任者研修	( )

問17 貴事業所では、人材育成のためにどのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

1. 資格取得のための支援(費用面など)	7. 職員に後輩の育成経験を持たせている
2. 外部研修への参加支援	8. 能力の向上が認められたものに、報酬制度を設けている
3. 区が実施する研修等への参加	9. 地域の事業所との協力、連携した育成
4. 事業所での研修の実施	10. その他 ( )
5. 自立支援協議会や専門部会などの各種会議への参加	11. いずれも行っていません
6. 教育責任者、研修計画を立てている	

問18 人材育成にあたり、貴事業所が区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 資格取得にかかる受講料助成等の対象拡大	6. 研修等に関する情報提供の充実
2. 他事業所との交流型の研修の充実	7. その他
3. 同業者同士のノウハウを高める研修の充実	8. 特になし
4. インターネットを活用した研修の充実	9. わからぬ
5. 医療的ケア、強度行動障害など専門性の高い研修の充実	

問19 区の研修や人材確保・育成の取組に関する情報を、どこで入手しますか。(〇はいくつでも)

1. 会議・研修等で配布されるし	4. 「すぎなみ福祉サーチ」の関係者サイト
2. 公民事業者情報誌「つぐみ」(奇数月に区が発行)	5. のーまらひふ杉並
3. 案内のメール	6. 口コミ
	7. その他 ( )

問20 地域の事業所が一体となって取り組む人材確保・育成・定着の取組について、アイデアや要望などありましたら、ご記入ください。

--

3 サービス提供について

問21 貴事業所で、サービスの提供にあたっての課題はなんですか。(〇は3つまで)

1. 職員の確保	6. 収入(採算)の見込み
2. 専門職の確保	7. スペース・設備等の職場環境
3. 職員の育成・定着	8. 他サービス事業所・関係機関との連携
4. 新規利用者の確保	9. その他 ( )
5. 高齢化・重度化等の利用者対応	10. 特になし

問22 貴事業所では、サービスの質の向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。

(〇はいくつでも)

1. 困難事例のケース検討会などの開催	9. 事故防止対策
2. 事業者独自の評価	10. 感染症対策
3. 利用者による評価	11. 利用者への説明の徹底
4. 第三者機関の評価	12. 苦情や相談の受付体制の整備
5. 専門職の配置	13. その他
6. サービス提供マニュアルの作成	[ ]
7. 緊急時マニュアルの作成	
8. 虐待防止マニュアルの作成	14. 特になし

問23 サービスの質の確保・向上のために、貴事業所が区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 困難事例の相談・支援
2. 困難事例のケース検討会などの開催
3. 区職員への巡回支援・アドバイス
4. 専門的知識取得のための研修
5. 同業者同士のネットワークづくりの支援
6. 関係機関の連携支援
7. 支援に必要なマニュアル等の作成支援
8. 指簿の多い指導内容の情報提供
9. その他

問24 貴事業所では、支援等にあたりICT機器等を活用していますか。(〇はいくつでも)

1. パソコンで利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している
2. タブレット端末機能で利用者情報(支援プラン、支援記録、健康状態等)を共有している
3. グループウェア等で支援にあたって職員間との情報を共有している
4. 情報共有システム等を用いて、他事業所と連携している
5. その他
6. 特に行っていない

問25 貴事業所では、利用者の意思決定を支援する取組や相談をしていますか。(〇はいくつでも)

1. 意思決定支援責任者(相談支援専門員やサービス管理責任者との兼務も可)を配置している
2. 利用者の自己決定にとつて必要な情報の説明は、本人が理解できるよう工夫している
3. 意思決定支援会議(サービス担当者会議や個別支援会議と一体的に実施することでも可)において、利用者の意思決定を支援している
4. 意思決定支援によって確認又は推定された利用者の意思や、本人の最善の利益と判断された内容を反映したサービス等利用計画・個別支援計画を策定している
5. 意思決定支援を反映したサービス提供の結果をモニタリング・評価し、さらに意思決定が促進されるよう見直ししている
6. 意思決定支援の根拠(本人の日常生活における意思表示の方法や表情、感情、行動から読み取れる意思など)となる記録を作成している
7. 意思決定支援のガイドラインを活用した研修や、事例検討などを実施している
8. その他
9. 特に行っていない

問26 貴事業所では、この1年間で利用者やその家族から、暴力や暴言、契約以外のサービスの強要などのハラスメントの事例がありますか。(〇はいくつでも)

1. 利用者からのハラスメントの事例がある
2. 家族からのハラスメントの事例がある
3. その他
4. 特にない

問27 貴事業所では、「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。(〇は1つ)

1. 言葉を知っており、事業所として意識して対応している
2. 言葉は知っているが、事業所としては特別な対応をしていない
3. 言葉を知っているが、具体的な事例があるが、具体的には知らない
4. 言葉を知らない

★ 杉並区では、介護者が疾病などで不意となった緊急時を想定した「緊急時対応計画」を作成し、その計画に基づいた「緊急時対応事業」を提供できる体制を整える取組を、令和3年度から実施しています。

なお、「緊急時対応事業」は、地域で普段から関わっている支援者がみんな、介護者が不意となった緊急時の原則5日間の障害者の生活支援を行うものです。短期入所サービスだけでなく、居宅サービス、通所先の施設など様々な支援者が協力していくことを考えています。

問28 「緊急時対応計画」を知っていますか。(〇は1つ)

1. 計画の作成・相談などに関わったことがある
2. 作成・相談などにあたり関わったことはないが、内容を知っている
3. 言葉だけ聞いたことがある
4. 知らない

問29 「緊急時対応事業」を知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っており、該当するサービスを提供している
2. 知っているが、該当するサービスを提供していない
3. 知らないし、該当するサービスを提供していない

#### 4 高次脳機能障害・高齢障害者の支援について

問30 貴事業所では、高次脳機能障害の方を受け入れていますか。(〇は1つ)

1. 受け入れている → 問31へ
2. 受け入れていない → 問32へ

問31 貴事業所では、高次脳機能障害者支援体制加算を取っていますか。(〇は1つ)

1. 取っている
2. 取らうと思っている
3. 取っていない・知らなかった

★ 杉並区では65歳未満の介護保険の対象とならない障害者が、介護保険事業所が提供するデイサービス・ショートステイを利用できるように「住居型サービス事業所」の開設を促進しています。

問32 共生型サービス事業所について

① 貴事業所では、65歳になる前に加齢による機能低下がみられる方はいますか。(〇は1つ)

1. いる → ②へ
2. いない
3. わからない → ③へ

② ①で「1.いる」に〇をつけた事業所

何人くらいますか。

人
---

③「共生型サービス事業所」の開設促進について、貴事業所では、どう考えますか。(〇はいくつでも)

1. ショートステイを提供する介護保険事業所への開設(共生型短期入所)を促進してほしい
2. デイサービスを提供する介護保険事業所への開設(共生型生活介護)を促進してほしい
3. 介護保険事業所への障害理解を進めてほしい
4. 障害者本人へのわかりやすい案内が必要である
5. 家族への丁寧な働きかけが必要である
6. 介護保険事業所での受け入れは難しい
7. 障害者や家族への利用を促すのは難しい
8. その他 ( )

問33 貴事業所で、高齢障害者の課題をどう考えていますか。(〇は1つ)

1. 差し迫った課題として感じている
2. 近い将来の課題として感じている
3. 課題と感じているが、差し迫ってはいない
4. その他 ( )
5. 特にない
6. わからない

問34 区では、高齢障害者の支援の充実にあたり、介護保険移行期の障害・高齢両サービスや手続き等の情報をまとめたリーフレットの作成を検討しています。掲載してほしい項目はありますか。(〇はいくつでも)

1. 介護保険制度の概要
2. 介護保険サービスの利用に向けた手続き
3. 障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に関する情報(比較表など)
4. 利用料や利用者負担軽減(新高額障害福祉サービス等給付費)に関すること
5. 介護保険サービスに移行した方などの事例
6. 介護保険サービス用語の解説
7. 介護保険サービスへの移行スケジュール
8. 成年後見制度
9. その他 ( )
10. 特にない
11. わからない

## 5 虐待防止について

問35 貴事業所で、障害者虐待防止に向けて取り組んでいることはなんですか。(〇はいくつでも)

1. 虐待防止マニュアルを整備した
2. 虐待防止委員会を設置した
3. 虐待防止責任者を設置した
4. 法人(事業者)内で職員向けに研修を実施した
5. 外部研修・説明会等に参加した
6. 虐待防止啓発掲示物や相談・通報・届出先掲示物等による周知をした
7. その他 ( )
8. 特にない

問36 区の虐待防止研修で取り上げてほしい内容(テーマ)はなんですか。(〇はいくつでも)

1. 障害者虐待防止の基本的知識
2. 虐待防止委員会の運営や取り組み内容
3. 虐待の未然防止に必要な知識(障害特性の理解、障害特性に応じた支援方法など)
4. 他の事業所も交えた事例検討研修
5. その他
6. 特にない

問37 虐待防止に向けて必要と思うことはなんですか。(〇はいくつでも)

1. 障害特性の理解促進
2. 風通しのよい職員間のコミュニケーション
3. 困った時に相談できる組織体制
4. 余裕のある人員配置
5. その他
6. 特にない

問38 貴事業所で虐待防止に取り組んで良かったこと(成果)などありましたら、ご自由にご記入ください。

## 6 共生社会の実現に向けて

★ 杉並区では、差別解消や合理的配慮の提供などが地域に広がるよう、合理的配慮ガイドブックの作成、ガイドブックを使った事業者向け研修などを実施しています。

問39 障害者差別解消の推進や合理的配慮の提供について  
①貴事業所で、障害者差別解消の推進や合理的配慮の提供など共生社会の実現に向けて取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 対応マニュアルを整備した
2. 法人(事業者)内研修を全員に実施した
3. 外部研修・説明会等に参加した
4. その他 ( )
5. 特にない

②差別解消の推進や合理的配慮の提供などについて、貴事業所が区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. ガイドブックやその他障害理解などに関する啓発物の配布
2. 障害理解や合理的配慮に関する研修の実施
3. 国・都の制度の情報提供
4. 各事業所の取組事例の共有
5. その他 ( )
6. 特にない

問40 障害特性で意思疎通が難しい利用者の対応について

①利用者を支援する中で、関わったことのある意思疎通支援のツールはありますか。(〇はいくつでも)

1. 翻訳アプリ(UDトークなど)	6. コミュニケーション支援ボード※
2. 遠隔窓口手話システム	7. 点字ディスプレイ
3. 手話、筆談機能、音声文字化機能)	8. ボイスレコーダー
4. 電話代理支援サービス	9. 人工喉頭
5. 意思伝達装置(伝の心・フラインチャット・eアイズなど)	10. 補聴援助機器(ロジャーシステムなど)
6. 携帯用会話補助装置(トーキングエイド・パチャらなど)	11. マカトン法
	12. その他 ( )
	13. 特になし

※コミュニケーション支援ボードとは、文字盤・支援の要点を書いたもの・コミュニケーションカード・必要なものをピックアップした写真・イラスト・筆談ボードなど

②貴事業所で支援している利用者に対し、この1年間で意思疎通において困難に感じたことはありますか？ (〇はいくつでも)

1. ある	→	問③へ	2. ない	3. わからない	→	問⑤へ
-------	---	-----	-------	----------	---	-----

③ (②で「1. ある」に〇をつけた方)

困難に感じた利用者は、どのような障害のある方ですか？ (〇はいくつでも)

1. 聴覚障害	5. 高次脳機能障害(失語症を含む)
2. 視覚障害	6. 発達障害
3. 知的障害	7. その他
4. 精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含む)	

④ (②で「1. ある」に〇をつけた方)

困ったことや、困っていることを、具体的に記入してください。

⑤障害特性で意思疎通が難しい利用者への対応にあたり、貴事業所で区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. コミュニケーション機器の紹介	7. 発達障害を理解するための研修
2. 障害種別ごとのパンフレット等の作成(手話、わかりやすい文章の書き方など)	8. 視覚障害を理解するための研修
3. 本人に合わせたコミュニケーションボードの作成・活用方法の研修	9. 知的障害を理解するための研修
4. 手話や聴覚障害を理解するための研修	10. 人工呼吸器等の呼吸機能障害を理解するための研修
5. 失語症を理解するための研修	11. 重度重複障害を理解するための研修
6. 高次脳機能障害を理解するための研修	12. その他 ( )
	13. 特になし

7 災害時の対策について

問41 貴事業所では災害時の対策についてどのような取組をしていますか。(〇はいくつでも)

1. 事業継続計画(BCP)の策定	8. 避難行動指図面や災害発生時対応マニュアルを作成
2. 定期的に避難訓練を実施	9. ー
3. 備蓄品の整備	10. 避難経路の確保
4. ロッカー、朝等の転倒防止措置	11. 建物の耐震化
5. 緊急連絡網の作成	12. 利用者・職員情報の紙媒体での保管
6. 利用者・家族等との安否確認や連絡方法の共有	13. その他 ( )
7. 利用者・家族と避難場所の共有	14. 特に取り組んでいない

8 医療的ケア児・者について

問42 貴事業所において、医療的ケア児・者に対する支援を実施していますか。

1. 実施している	問43へ
2. 未実施だが、今後実施予定	年 月 日(未定)
3. 実施していない	問44へ

問43 (医療的ケア児・者の支援を実施又は実施予定の事業所)

①実施している障害児・者の人数をご記入ください。

※実施予定の場合は、理線障の見込み人数 (該当するものに〇をして、人数を記入)

1. 未就学児	( )人	3. 18歳以上	( )人
2. 就学後～18歳未満	( )人		

②医療的ケア児者の支援を実施するにあたっての区の取組で、今後、強化が必要と感じるものはどれですか。(〇はいくつでも)

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 家族のためのレスパイト先(日中・宿舎)の確保 | 5. 家族の離職防止のための支援     |
| 2. 通所先(生活圏・学校・保育園等)の確保    | 6. 事業所への専門的支援(研修や補助) |
| 3. 移行期医療や在宅訪問診療の強化        | 7. その他( )            |
| 4. 災害対策                   | 8. 特に課題はない           |

③医療的ケア児者の支援を実施するにあたって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図るうえでの課題は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                                     |                            |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. 体調不良によるキャンセルや緊急時対応に苦勞する          | 4. 医療機関や他事業所との多職種連携に時間や要する |
| 2. 医療的ケアを提供するための専門スキルのある人材の維持や確保が困難 | 5. タ方や休日等に利用希望時間が偏る        |
| 3. 人材確保のための人件費負担が困難                 | 6. その他( )                  |
|                                     | 7. 特に課題はない                 |

## 9 「すぎなみ福祉サーチ」について

★ 令和7年3月に運用開始した「すぎなみ福祉サーチ」は、区内の障害福祉サービス等事業所の検索にあたり必要な詳細情報や、地図・空き情報などで検索できるとともに、余暇支援情報も掲載された区独自のシステムです。

問44 「すぎなみ福祉サーチ」の活用について  
①貴事業所では、普段から活用していますか。(〇は1つ)

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. 活用している   | 3. あまり活用していない |
| 2. やや活用している | 4. 活用していない    |
- ▶問44②へ ▶問45へ

②(問44の①で「1. 活用している」「2. やや活用している」に○をつけた事業所)活用しているのはどの情報ですか。(〇はいくつでも)

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 1. 障害福祉サービス等事業所の情報 | 4. 相談窓口   |
| 2. 空き情報            | 5. その他( ) |
| 3. 余暇支援情報          |           |

問45 障害福祉サービス等事業所の営業情報について  
①情報には、事業所名・住所・連絡先などの基本情報だけでなく、サービス内容・営業時間などの詳細な営業情報があります。貴事業所は掲載していますか。(〇は1つ)

- |         |       |          |        |          |       |
|---------|-------|----------|--------|----------|-------|
| 1. している | ▶問46へ | 2. していない | ▶問45②へ | 3. わからない | ▶問46へ |
|---------|-------|----------|--------|----------|-------|

②(問45の②で「2. していない」に○をつけた事業所)なぜ掲載していないのですか。(〇はいくつでも)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1. 営業情報があることを知らなかった | 3. 情報の更新が手間だから |
| 2. 掲載方法がわからなかった     | 4. その他( )      |

問46 「すぎなみ福祉サーチ」は、事業所だけがログインできる関係者サイトがあり、このサイトから情報の編集ができることにも、区から事業所へのお知らせを掲載しています。貴事業所では、この関係者サイトを閲覧していますか。(〇は1つ)

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 定期的に、週1回以上閲覧している。     | 4. 月1回程度閲覧している。        |
| 2. 定期的ではないが、週1回程度閲覧している。 | 5. 閲覧しているが、毎月閲覧はしていない。 |
| 3. 月2~3回程度閲覧している。        | 6. 閲覧していない。            |
|                          | 7. その他( )              |

## 10 障害者施策について

問47 貴事業所として区に対して望むことはどのようなことですか。(〇は3つまで)

- |                                    |                         |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1. 障害福祉に関する最新・適切な情報提供              | 6. 区民への適正なサービス利用についての啓発 |
| 2. 障害福祉サービス事業者のスキルアップ(育成)のための研修の支援 | 7. 処遇困難者への対応            |
| 3. 障害福祉サービス事業者の人材確保・定着のための支援       | 8. 事務手続きの簡略化            |
| 4. 障害福祉サービス精請求等に関する相談体制の充実         | 9. ボランティアの育成            |
| 5. 不適正な事業所への指導                     | 10. 保護者(介護者)支援策の充実      |
|                                    | 11. その他( )              |
|                                    | 12. 特にない                |

問48 障害(疾病)のある人に関する杉並区の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものをお答えください。(〇は3つまで)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実           |
| 2. 障害(疾病)のある人が利用できる福祉施設の充実            |
| 3. 障害(疾病)に応じた職業訓練の充実や雇用の確保            |
| 4. 保健医療サービスやリハビリテーションの充実              |
| 5. 就労時や通勤など、ライフステージにあわせた相談体制の充実       |
| 6. 障害(疾病)のある子どもへの支援体制や教育の充実           |
| 7. 生活の安定のための年金・手当の充実                  |
| 8. 障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備    |
| 9. 障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備           |
| 10. スポーツ・文化などの余暇活動の充実                 |
| 11. 地震や水害などの災害時の支援体制の整備               |
| 12. 障害(疾病)のある人に応じた情報提供の充実             |
| 13. 学校などでの子どもたちの障害理解の教育               |
| 14. 障害(疾病)のある人への虐待防止・差別解消など権利擁護の取組の充実 |
| 15. 誰もが共に支え合いながら暮らす共生社会の実現に向けた取組の充実   |
| 16. ボランティアの育成・支援                      |
| 17. 障害福祉にかかる人材確保や育成の取組                |
| 18. その他( )                            |

問49 区の障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

--

今後アンケート結果を踏まえ、連携して取り組んでいきたいこともあります。  
差し支えなければ、事業所名とご担当者様のお名前、連絡先をご記入ください。

事業所名
担当者
連絡先

質問は以上で終わりです。  
調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

# 4. 従事者調査票

## 従事者の方へ

### ◆ 障害分野の計画策定のための事業所従事者調査 ◆

ID番号

※依頼文に記載されたID  
番号をご記入ください。

## 1 基本事項について

問1. あなたの年齢はいくつですか。 (○は1つ)

1. 24歳以下 3. 30~34歳 5. 40~44歳 7. 50~54歳 9. 60~64歳  
2. 25~29歳 4. 35~39歳 6. 45~49歳 8. 55~59歳 10. 65歳以上

問2. あなたの事業所の提供しているサービスはどれですか。 (○はいくつでも)

1. 訪問系 《居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・重度障害者等包括支援・移動支援・訪問看護》  
2. 入所施設系 《施設入所支援》  
3. 居住系 《(共同生活援助(グループホーム)・自立生活援助》  
4. 日中活動系 《療養介護・生活介護》  
5. 訓練・就労系 《自立訓練(機能訓練)・自立訓練(生活訓練)・就労移行支援・就労継続支援(A型)・就労継続支援(B型)・就労定着支援・就労選択支援》  
6. 短期入所系 《短期入所(ショートステイ)日帰りシフト(日中一時支援)》  
7. 障害児系 《児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援・学齢期発達支援》  
8. 相談支援系 《計画相談支援・地域移行支援・地域定着支援・障害児相談支援》  
9. 訪問入浴サービス

問3. あなたの事業所の経営主体はどれに当たりますか。 (○はいくつでも)

1. 社会福祉法人 4. 株式会社・有限会社  
2. 医療法人 5. 特定非営利活動法人(NPO法人)  
3. 社団法人・財団法人 6. その他 ( )

問4. あなたの主な業務はどれに当たりますか。 (○はいくつでも)

1. 直接支援業務 3. 保健・看護業務 5. 庶務事務 7. その他  
2. 相談業務 4. 調理業務 6. 管理業務 ( )

問5. あなたが直接接している利用者の主な障害はどれですか。 (○は2つまで)

1. 重度重複障害 7. 難病  
2. 視覚障害 8. 知的障害  
3. 聴覚障害・平衡機能障害 9. 精神障害(発達障害・高次機能障害を含む)  
4. 音声・言語・しゃく機能障害 10. 発達障害  
5. 肢体不自由 11. 高次脳機能障害  
6. 内部障害 12. その他 ( )

## 2 勤務状況について

問6. 現在勤務する事業所で通算何年働いていますか。(正規、非正規含む通算して) (○は1つ)

1. 1年未満 4. 5~10年未満 7. 20~25年未満  
2. 1~3年未満 5. 10~15年未満 8. 25~30年未満  
3. 3~5年未満 6. 15~20年未満 9. 30年以上

問7. 他の事業所での経験を含めて、現在障害福祉分野の業務で通算何年働いていますか。(正規、非正規含む通算して) (○は1つ)

1. 1年未満 4. 5~10年未満 7. 20~25年未満  
2. 1~3年未満 5. 10~15年未満 8. 25~30年未満  
3. 3~5年未満 6. 15~20年未満 9. 30年以上

問8. あなたの勤務形態はどれですか。 (○は1つ)

1. 正規職員 4. 派遣職員  
2. 非正規職員(フルタイム) 5. その他 ( )  
3. 非正規職員(短時間)

問9. あなたの1週間あたりの勤務時間はどれですか。 (○は1つ)

1. 10時間未満 3. 20時間以上 32時間未満  
2. 10時間以上 20時間未満 4. 32時間以上

問10. あなたの職階に一番近いのはどれですか。 (○は1つ)

1. 経営職階(経営者・役員等)、管理職(施設長・事務長等) 3. 一般職員・担当職員  
2. 指導・管理職階(職員のまとも役) 4. その他 ( )

## 3 仕事に対する考え方などについて

問11. 障害者福祉に関心をもったきっかけはなんですか。 (○はいくつでも)

1. 家族や友人・知人に当事者がいた 7. 障害者福祉に関するボランティア等に携った  
2. 学校や地域で当事者との関わりがあった 8. 障害者福祉に関するイベントの参加  
3. 身近に働いている人がいた 9. 障害者福祉に関するメディア等を通じて  
4. 家族や友人・知人からの紹介 10. 特に関心はない  
5. ハローワークでの紹介や求人情報サイト等 11. その他 ( )  
6. 職場見学や実習等

問12 現在の事業所を選んだ理由はなんですか。(〇はいくつでも)

1. 事業所(運営主体)の理念・方針に共感した
2. 事業所の運営体制がしっかりしていた
3. 事業所の雰囲気や人が良いと感じた
4. 事業内容に興味をひかれた
5. 事業内容に将来性や安定性を感じた
6. 勤務条件・時間が希望に近かった
7. 通勤がしやすかった
8. 待遇(報酬、昇進、福利厚生等)が充実していた
9. 事業所の活動や行事にボランティア等で関わった経験があった
10. その他( )

問13 現在の事業所で働き続けたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 働ける限り続けたい
2. 3～5年程度続けたい
3. 1～2年程度続けたい
4. ライフステージに合わせ転職を考えている
5. 他の事業所等(福祉関係)への転職を考えている
6. 他の事業所等(福祉以外)への転職を考えている
7. その他( )

問14 (問13の1～3の働き続けたい〇をつけた人) その主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 仕事の内容
2. やりがい
3. 職場内の人間関係・雰囲気
4. 利用者との関係
5. 法人・事業者の方針
6. 給与・福利厚生
7. 立地条件(通勤の利便性)
8. 勤務日数・時間・休暇
9. キャリアアップできる
10. 管理者やリーダーが適切なマネジメントを行っている
11. 人事評価の基準・内容
12. 研修や知識・技術の向上の制度
13. 知人からの紹介
14. その他( )

問15 (問13の4～6の転職・転職を考えている〇をつけた人) その主な理由はなんですか。(〇はいくつでも)

1. 仕事に魅力がない
2. 職場内の人間関係・雰囲気への不満
3. 利用者・家族との関係への不満
4. 法人・事業者の方針への不満
5. 給与や待遇への不満
6. 管理者やリーダーのマネジメントへの不満
7. 立地条件(通勤の利便性)への不満
8. 夜勤・変則勤務の負担
9. 身体的・体力的な負担
10. スキルアップを図るため
11. 持っている資格を活かせる職場に移りたい
12. 育児・出産、家族の介護などの家庭環境の理由
13. その他( )

問16 現在の事業所に対して、改善してほしいことはなんですか。(〇はいくつでも)

1. 仕事の内容や役割の明確化
2. 職場内の情報共有の充実
3. 利用者・家族の支援へのサポート
4. 職場内の良好な人間関係・雰囲気づくり
5. 資金や手当の引き上げ
6. 家賃補助等の充実
7. 福祉に関する研修会の充実
8. 能力や仕事ぶりに応じた評価(昇給・昇格など)の体制の明確化
9. キャリアアップ機会の充実
10. 勤務時間・勤務体系の多様化
11. 残業を減らすような労働条件の改善
12. 業務改善や効率化等による働きやすい環境づくり
13. ICT環境の充実、AI等の最新技術の導入・活用
14. 休暇の取りやすい環境の整備
15. 人員体制の整備・増員
16. 支援者が悩みを相談する場所等の整備
17. その他( )

問17 あなたは、現在の仕事にやりがいを感じていますか。もともとはあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

- |        |          |              |            |         |          |
|--------|----------|--------------|------------|---------|----------|
| 1. 感じる | 2. まあ感じる | 3. どちらともいえない | 4. あまり感じない | 5. 感じない | 6. わからない |
| 問18へ   |          |              | 問19へ       |         |          |

問18 (問17で1・2に〇をつけた人) やりがいを感じる主な理由はなんですか。(〇は2つまで)

1. 人の役に立っている
2. 自分の資格や持ち味が活かされている
3. 事業所の方針と自分のやりたいことが合っている
4. 利用者と過ごす楽しさ
5. 職員としての自分の成長
6. 目標にしたい先輩・同僚がいる
7. 賃金に見合っている
8. その他( )

#### 4 人材確保・育成の取組について

問19 あなたが現在の法人・事業所に就職したきっかけはなんですか。(〇は1つ)

1. ハローワーク・福祉人材センター(〇印を含む)
2. 人材紹介会社
3. 杉並区のイベント(就職相談・面接会、ガイドヘルパー講座等)
4. 法人・事業所のホームページ
5. 法人・事業所のSNS (Instagram・facebook・Xなど)
6. 民間の求人サイト
7. 求人情報誌・就職情報誌
8. 新聞折り込みの広告
9. 友人・知人・職員からの紹介
10. ボランティア・実習・アルバイト
11. 学校・養成施設等での連絡指導
12. 施設・事業所のイベント(説明会・行事等)に参加
13. その他( )

問20 福祉に関する資格・研修等について

- ①あなたが現在のお持ちの資格、修了した研修はどれですか。(○はいいくつでも)
1. 社会福祉士
  2. 介護福祉士
  3. 精神保健福祉士
  4. 理学療法士
  5. 作業療法士
  6. 保育士
  7. 公認心理師・臨床心理士
  8. 栄養士・管理栄養士
  9. 介護職員初任者研修
  10. 介護職員実務者研修
  11. 社会福祉士実習指導者
  12. 介護福祉士実習指導者
  13. 居宅介護職員初任者研修
  14. 重度訪問介護従業者養成研修
  15. 同行援護従業者養成研修
  16. 行動援護従事者養成研修
  17. 強度行動障害従事者支援者養成研修
  18. 療育引等研修
  19. 杉並区ガイドヘルパー養成講座
  20. サービス管理責任者基礎研修
  21. サービス管理責任者実務者研修
  22. 相談支援従事者初任者研修
  23. 相談支援従事者現任研修
  24. 相談支援従事者主任研修
  25. その他 ( )

②あなたがこれから取得したい資格、受講したい研修はどれですか。(○はいいくつでも)

1. 社会福祉士
2. 介護福祉士
3. 精神保健福祉士
4. 理学療法士
5. 作業療法士
6. 保育士
7. 公認心理師・臨床心理士
8. 栄養士・管理栄養士
9. 介護職員初任者研修
10. 介護職員実務者研修
11. 社会福祉士実習指導者
12. 介護福祉士実習指導者
13. 居宅介護職員初任者研修
14. 重度訪問介護従業者養成研修
15. 同行援護従業者養成研修
16. 行動援護従事者養成研修
17. 強度行動障害従事者支援者養成研修
18. 療育引等研修
19. 杉並区ガイドヘルパー養成講座
20. サービス管理責任者基礎研修
21. サービス管理責任者実務者研修
22. 相談支援従事者初任者研修
23. 相談支援従事者現任研修
24. 相談支援従事者主任研修
25. その他 ( )

問21 区の研修(講座)受講料助成事業について

①区では次の研修(講座)の受講料を助成しています。あなたは助成を受けたことがありますか。(○はいいくつでも)

1. 介護職員初任者研修の助成を受けたことがある
2. 介護職員実務者研修助成を受けたことがある
3. 社会福祉士実習指導者講習会の助成を受けたことがある
4. 介護福祉士実習指導者講習会の助成を受けたことがある
5. 助成を受けたことがない

②あなたが今後助成を受けて受講したい研修はどれですか。(○はいいくつでも)

1. 介護職員初任者研修
2. 介護職員実務者研修
3. 社会福祉士実習指導者講習会
4. 介護福祉士実習指導者講習会
5. いずれも受けたくない

問22 あなたが過去1年間に参加した研修内容はなんですか。(○はいいくつでも)

1. 障害福祉サービス制度全般に関する研修
2. 虐待に関する研修
3. 障害者の権利擁護(虐待以外)に関する研修
4. 職場のメンタルヘルスに関する研修
5. 苦情対応に関する研修
6. 成年後見制度に関する研修
7. 事例検討など利用者支援の質の向上に関する研修
8. 障害の特性に関する研修
9. サービス管理責任者指導者養成研修
10. 相談支援従事者指導者養成研修
11. 救命救急などの緊急時の対応研修
12. その他 ( )
13. 特に参加していない

問23 区主催の公民事業者職員の合同研修について

※特定相談支援事業所、障害児通所事業所、就労継続支援事業所など特定の事業所を対象とした研修を除きます。

①区では、区内の公民事業者職員の合同研修を開催しています。あなたが過去3年間で受けたことがある研修はどれですか。(○はいいくつでも)

1. 初任者研修(杉並区の障害福祉職場が初めての方への障害福祉サービスの制度、区役所の窓口・施設等を紹介する研修)
2. 職層別(管理者層・リーダー層・若手職員)の研修
3. 施設間体験研修(1日もしくは2日他施設を体験する研修)
4. 感染症対策に関する研修
5. 虐待防止に関する研修
6. 強度行動障害に関する研修
7. 医療的ケアに関する研修
8. ケーススタディ研修(1事例を多職種で検討する研修)
9. 課題別(職場環境や運営、BCP対応など共通の課題)研修
10. 障害支援者リレー研修(障害福祉サービスの制度等を学ぶ研修を、次に開催予定の職員等を招いて自施設で行う研修)
11. 特にない

②あなたが今後受けたい研修はどれですか。(○はいいくつでも)

1. 初任者研修(杉並区の障害福祉職場が初めての方への障害福祉サービスの制度、区役所の窓口・施設等を紹介する研修)
2. 職層別(管理者層・リーダー層・若手職員)の研修
3. 施設間体験研修(1日もしくは2日他施設を体験する研修)
4. 感染症対策に関する研修
5. 虐待防止に関する研修
6. 強度行動障害に関する研修
7. 医療的ケアに関する研修
8. ケーススタディ研修(1事例を多職種で検討する研修)
9. 課題別(職場環境や運営、BCP対応など共通の課題)研修
10. 障害支援者リレー研修(障害福祉サービスの制度等を学ぶ研修を、次に開催予定の職員等を招いて自施設で行う研修)
11. 特にない

問24 人材育成にあたり、あなたが区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 資格取得にかかる受講料助成等の助成
2. 他事業所との交流型の研修の充実
3. 同業者同士のノウハウを高める研修の充実
4. インターネットを活用した研修の充実
5. 医療的ケア、強要行動障害など専門性の高い研修の充実
6. 研修等に関する情報提供の充実
7. その他
8. 特になし
9. わからず

問25 地域の事業所が一体となって取り組む人材確保・育成・定着の取組について、アイデアなどありましたら、ご記入ください。

### 5 サービスの提供について

問26 あなたの事業所では、利用者の障害特性や生活状況に応じて、よりよい支援・相談となるような従事者の話し合いや学びの場などを設けていますか。(〇は1つ)

1. 設けている
2. 設けているが、十分ではない
3. あまり設けていない
4. 設けていない

問27 あなたの事業所では、利用者の意思決定を支援する取組や相談をしていますか。(〇はいくつでも)

1. 意思決定支援責任者(相談支援専門員やサービス管理責任者との兼務も可)を配置している
2. 利用者の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるよう工夫している
3. 意思決定支援会議(サービス担当者会議や個別支援会議と一体的に実施することでも可)において、利用者の意思決定を支援している
4. 意思決定支援によって確認又は推定された利用者の意思や、本人の意思の利益と判断された内容を反映したサービス等利用計画・個別支援計画を策定している
5. 意思決定支援を反映したサービス提供の結果をモニタリング・評価し、さらに意思決定が促進されるよう見直ししている
6. 意思決定支援の根拠(本人の日常生活における意思表示の方法や表情、感情、行動から読み取れる意思など)となる記録を作成している
7. 意思決定支援のガイドラインを活用した研修や、事例検討などを実施している
8. その他( )
9. 特に行っていない

問28 あなたは、この1年間で利用者やその家族から暴力や暴言、契約以外のサービスの強要などのハラスメントを受けたことはありませんか。(〇はいくつでも)

1. 利用者からのハラスメントを受けたことがある 2. 家族からのハラスメントを受けたことがある 3. その他( ) 4. 特になし	問29へ 問30へ
---	--------------

問29 (問28で「1」「2」に〇をつけた方)

あなたはハラスメントを受けたことを、どなたかに相談・報告をしましたか。(〇はいくつでも)

1. 上司など職場の人に相談した
2. 区の相談窓口で相談した
3. 区以外の行政機関に相談した
4. 弁護士などの専門家に相談した
5. その他の機関に相談した( )
6. 特に相談していない

問30 利用者やその家族について、支援や相談をしている上で感じている課題や今後必要と思われることについて、ご意見、ご提案があれば、ご記入ください。

### 6 虐待防止について

問31 あなたは、虐待や不適切な支援と思われるような場面を見聞きしたことがありますか。ある場合は、具体的にどのような場面ですか。(〇は1つ)

1. ある (具体的な場面: )
2. ない

問32 あなたは、虐待や不適切な支援などがあつた場合の通報窓口や、通報手順を知っていますか。(〇は1つ)

1. 通報窓口・通報手順を知っている
2. 通報窓口はわかるが、通報手順はわからない
3. わからない
4. その他( )

問33 あなたの事業所は、障害者虐待を起ささないために必要な仕組みや取組は、どんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 障害者虐待に関する基本的な知識の研修
2. 障害特性に応じた対応に関する知識と技術の習得
3. 利用者支援で困った時に相談できる組織や管理体制
4. 職員間で気軽に相談しあえる職場づくりや接のつながり
5. 職員のメンタルヘルスに関する取組
6. 職員のストレスマネジメントに関する取組
7. 虐待防止委員会の定期的な開催と事業所内の事例の共有
8. 虐待防止チャットリストの定期的な実施
9. その他( )
10. わからない

## 7 共生社会の実現に向けて

問34 あなたは、「障害者差別解消法」や「合理的配慮」について、知っていますか。(〇は1つ)

1. 法律も合理的配慮も知っている	3. 法律は知らないが、合理的配慮は知っている
2. 法律は知っているが合理的配慮は知らない	4. 法律も合理的配慮も知らない

問35 「障害者差別解消法」や「合理的配慮」をより多くの職員が知るに当たり、あなたが区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. ガイドブックやその他の障害者理解などに関する啓発物の配布
2. 障害者理解や合理的配慮に関する事業所内研修の実施
3. 外部研修(区)の研修を含む、説明会等への参加
4. その他( )
5. 特になし

問36 障害特性で意思疎通が難しい利用者への対応について

①あなたが支援で関わったことのある意思疎通支援のツールはありますか。(〇はいくつでも)

1. 翻訳アプリ(UDトークなど)	7. 点字ディスプレイ(手話、筆談機能、音声文字化機能)
2. 遠隔窓口手話システム	8. ボイスレコーダー
3. 電話代理支援サービス	9. 人工喉頭
4. 意思伝達装置(丘の心・フィンチャット・eアイズなど)	10. 補聴援助機器(ロジャーシステムなど)
5. 携帯用会話補助装置(トーキングエイド・バチャラなど)	11. マカトン法
6. コミュニケーション支援ボード※	12. その他( )
	13. 特になし

※コミュニケーション支援ボードとは、文字盤・支援の要点を書いたもの、コミュニケーションカード・必要なものをピックアップした写真・イラスト・筆談ボードなど

②あなたが支援している利用者に対し、この1年間で意思疎通において困難を感じたことはありませんか。(〇は1つ)

1. ある → 問37へ	2. ない	3. わからない → 問38へ
--------------	-------	-----------------

③(②で「1. ある」に〇をつけた人) 困難を感じた利用者は、どのような障害のある方ですか。(〇はいくつでも)

1. 聴覚障害	5. 高次脳機能障害(失語症を含む)
2. 視覚障害	6. 発達障害
3. 知的障害	7. その他
4. 精神障害(発達障害・高次脳機能障害を含まない)	

④(②で「1. ある」に〇をつけた人) 困ったことや、困っていることを、具体的に記入してください。

--

⑤障害特性で意思疎通が難しい利用者への対応に当たり、あなたが区に力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. コミュニケーション機器の紹介	7. 発達障害の理解のための研修
2. 障害種別ごとのパンフレット等の作成(手話、わかりやすい文章の書き方など)	8. 視覚障害の理解のための研修
3. 本人に合わせたコミュニケーションボードの作成・活用方法の研修	9. 知的障害の理解のための研修
4. 手話や聴覚障害の理解のための研修	10. 人工呼吸器等の呼吸機能障害の理解のための研修
5. 失語症の理解のための研修	11. 重度重複障害の理解のための研修
6. 高次脳機能障害の理解のための研修	12. その他( )
	13. 特になし

## 8 「すぎなみ福祉サーチャ」について

問37 令和7年3月に運用開始した「すぎなみ福祉サーチャ」は、区内の障害福祉サービス等事業所の検索に当たり必要な詳細情報や、地図・空き情報などで検索できるとともに、余剰支援情報も掲載された区独自のシステムです。

あなたは、普段から活用していますか。(〇は1つ)

1. 活用している	2. やや活用している	3. あまり活用していない	4. 活用していない
→ 問38へ	→ 問38へ	→ 問39へ	→ 問39へ

問38 (問37で「1. 活用している」「2. やや活用している」に○をつけた人)  
「すぎなみ福祉サーチ」で活用しているのはどの情報ですか。(○はいくつでも)

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 1. 障害福祉サービス等事業所の情報 | 4. 相談窓口 |
| 2. 空き情報            | 5. その他  |
| 3. 余暇支援情報          | ( )     |

## 9 サービス・施策について

問39 あなたが、区に対して望むことはどのようなことですか。(○は3つまで)

- |                                      |                         |
|--------------------------------------|-------------------------|
| 1. 障害福祉に関する最新・適切な情報提供                | 6. 区民への適正なサービス利用についての啓発 |
| 2. 障害福祉サービス事業従事者のスキルアップ(育成)のための研修の支援 | 7. 処遇困難者への対応            |
| 3. 障害福祉サービス事業従事者の人材確保                | 8. 事務手帳きの簡略化            |
| 4. 障害福祉サービス費請求等に関する相談体制の充実           | 9. ボランティアの育成            |
| 5. 不適正な事業所への指導                       | 10. 保護者(介護者)支援策の充実      |
|                                      | 11. その他                 |
|                                      | ( )                     |
|                                      | 12. 特になし                |

問40 障害(疾病)のある人に関する杉並区の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものをお答えください。(○は3つまで)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. ホームヘルプ・ガイドヘルプなど在宅サービスの充実           |
| 2. 障害(疾病)のある人が利用できる福祉施設の充実            |
| 3. 障害(疾病)に応じた職業訓練の充実や雇用の確保            |
| 4. 保健医療サービスやリハビリテーションの充実              |
| 5. 就労時や進級など、ライフステージにあわせた相談体制の充実       |
| 6. 障害(疾病)のある子どもへの支援体制や教育の充実           |
| 7. 生活の安定のための年金・手当の充実                  |
| 8. 障害(疾病)のある人の住まい(住宅やグループホームなど)の整備    |
| 9. 障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備           |
| 10. スポーツ・文化などの余暇活動の充実                 |
| 11. 地震や台風などの災害時の支援体制の整備               |
| 12. 障害(疾病)のある人に応じた情報提供の充実             |
| 13. 学校などでの子どもの虐待防止・差別解消など権利擁護の取組の充実   |
| 14. 障害(疾病)のある人への虐待防止・差別解消など権利擁護の取組の充実 |
| 15. 誰もが共に支え合いながら暮らす共生社会の実現に向けた取組の充実   |
| 16. ボランティアの育成・支援                      |
| 17. 障害福祉にかかるとる人材確保や育成の取組              |
| 18. その他                               |

問41 区の障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。  
調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

地域生活に関する調査報告書

登録印刷物番号

令和8年3月発行

07-0101

編集・発行

杉並区保健福祉部障害者施策課

〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

電話：03-3312-2111（代表）

★杉並区のホームページでご覧になれます。<https://www.city.suginami.tokyo.jp/>

調査委託機関：株式会社 創建 東京本部  
東京都港区芝公園一丁目3番8号  
電話 （03）6809-1781（代表）